(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第93集

上越新幹線関係
埋蔵文化財発掘調査報告

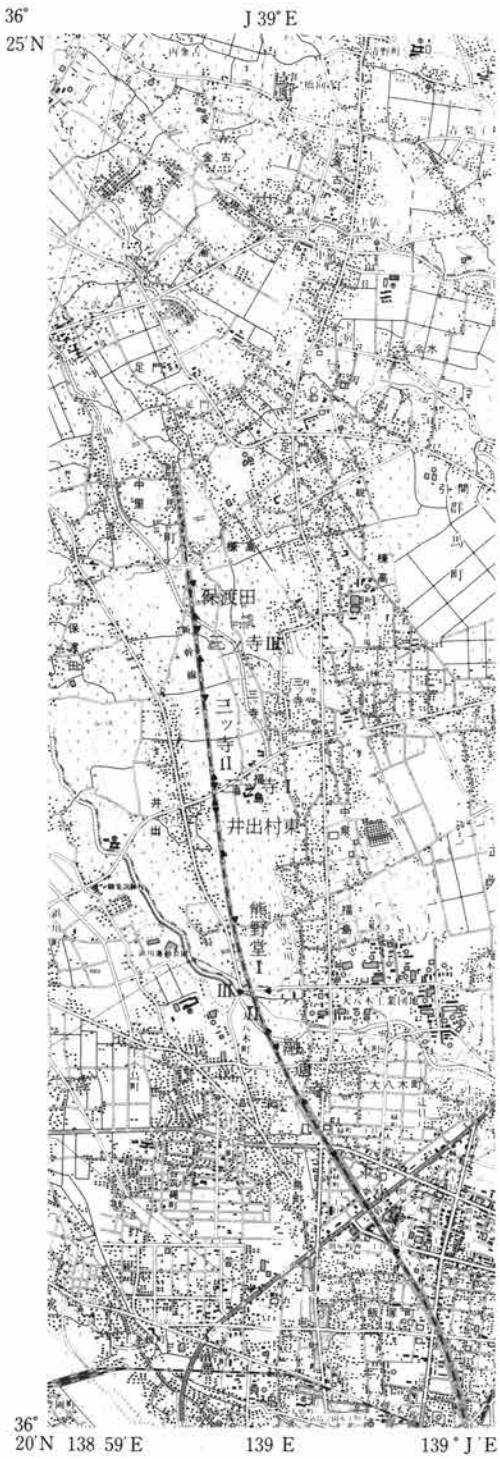
第13集

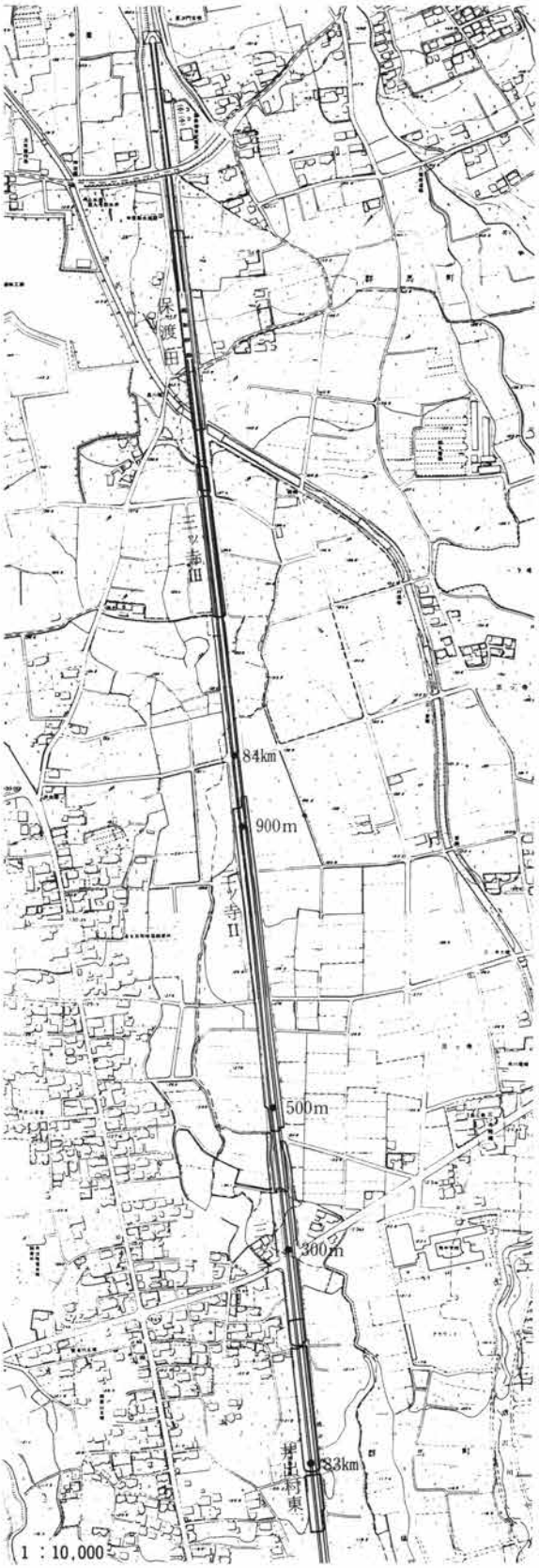
三ッ寺II遺跡

資料編2

1990

群馬県教育委員会
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
東日本旅客鉄道株式会社





原図：昭和61年群馬町都市計画図
（1：2,500）

昭和63年	下室田	前橋	平成元年
3月			9月

1：2．5万　国土地理院

2－1図　上越新幹線関係
高崎北部～群馬町の遺跡

群埋文報告第93集,上越新幹線関係第13集　三ッ寺Ⅱ遺跡『資料編２』　正誤表

19910117関0119

	誤	正
423頁	第377図４区65号住居跡　右下図土坑番号 135号	153号
501頁	４区147号住居跡　住居表に追加	カマドは東向き,住居プランは調査区外の西へ広がる, カマド対称軸方位　N90度前後E
615頁	第600図５区46号住居跡遺物出土状態(西から)	住居中央床面の割れた甕の遺物番号＝1262
681頁	第687図４区１号住居跡出土遺物　左上遺物番号	1000
694頁	第700図４区63・65・68・70号住居跡出土遺物0712	0721
782頁	４区81号住居跡　0807重さ15.2ｋｇ	重さ1.52ｋｇ
762頁	４区81号住居跡　0808重さ15.1ｋｇ	重さ1.51ｋｇ

資料
No. 98-4882
(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団保管
平成10年5月13日
01-310
20
3(7)

㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第93集

上越新幹線関係
埋蔵文化財発掘調査報告

第13集

三ッ寺II遺跡

資料編 2

1990

群馬県教育委員会
㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団
東日本旅客鉄道株式会社

凡　　例

1　本書は全４分冊（『本文編』『資料編１』『資料編２』『写真図版編』）で構成する、三ッ寺Ⅱ遺跡の発掘調査報告書『資料編２』である。

2　『資料編』は１～６区発見の遺構・遺物の個別的報告である。『資料編１』には１・２・３区、『資料編２』には４・５・６区の遺構・遺物を掲載した。なお、１区１号井戸（木簡出土地点）については、『本文編』で報告する。

3　『資料編２』の掲載順序は４→５→６区とし、各区ごとに概要、住居跡、その他の順である。また、個別の遺構種ごとに番号順に掲載してあり、時代別の掲載ではない。

4　大宮起点のキロ程と各区の範囲は、次の通りである。

１区：83km455m～83km500m　　２区：83km500m～83km600m　　３区：83km600m～83km700m

４区：83km700m～83km800m　　５区：83km800m～83km900m　　６区：83km900m～83km939m

5　遺構及び遺構図の方位は磁北を基準としている。グリッド設定の基準とした新幹線中軸線（直線）と磁北とのなす角度は、Ｎ１度21分40秒Ｅである。

6　住居跡の個別的説明はすべて表の中に納めた。個別住居の図は、原則として全形の判明したものを掲載し、半掘状態で調査を終了したものは『本文編』全体図で示した。遺物出土状態を示す図は原則として掲載せず、遺物出土状態写真に遺物番号を記入して図に代えた。住居表中の屋内施設のうち、「壁溝」は住居壁際の床面に掘り込まれた壁に沿った溝を指す。「床溝」は従来「間仕切り溝」等と呼ばれたもので、主として壁溝に直角な方向に延びる長さ50～100cmほどの床面・床下検出の溝状遺構を指す。

7　住居跡の計測値については、下の原則による。すべて1/20原図から起こした数値である。

①平面形は方形・長方形・台形・その他に分けた。向かい合う辺の距離が1/20図で10cm以上の差があるとき、長方形と呼ぶ

②長軸の方位を住居の主軸とする。南北に長い（＝主軸を南北方向にとる）住居で、東辺にカマドを設置しているときはN●度E、西辺にカマドを設置しているときはN●度Wと表現した。

③壁高は床面からの現存高さを示す。

④主柱穴間の距離は、主柱穴が認定できたときに、下ハ心心距離で示した。

⑤規模は各辺の長さ、または向かい合う辺の距離で示した。

⑥面積は長軸×短軸で計算した。

⑦計測値・形状等に推定復元を伴うときは、かっこ（　）でくくった。

8　掘立柱建物跡の計測値は、すべて1/20原図から起こした数値である。

9　文中または一覧表中で、榛名山・浅間山を給源とする軽石・火山灰（テフラ）を下の記号で表現したものがある。それぞれの降下年代は、次の年代観をとっている。

浅間Ａ軽石：天明３年（1783年）

浅間Ｂ軽石：天仁元年（1108年）

ＦＰ　　：６世紀中頃（榛名山二ツ岳）

ＦＡ　　：６世紀初頭（榛名山二ツ岳）

浅間Ｃ軽石：４世紀中頃

10　遺物の計測値等は、原則として巻末に掲載した。

11　遺物の整理番号は４桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・計測値表の遺物番号・写真図版編の遺物番号は同じ遺物を指す。整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号が連続しない場合がある。掲載した遺物は、出土位置（水平・垂直）が図と照合可能なものを原則とし、遺物と図との同定ができなかったものは、特別な場合を除き、割愛した。掲載遺物は主として床面出土、カマド出土、貯蔵穴出土、壁際出土の遺物であり、住居の廃棄時期に比較的近いものと推定した。

12　住居表及び遺構集計表での時代区分の用語は、おおむね下記のように使用した（実年代観は主として坂口編年による*1）。縄文時代～弥生時代では土器型式名・時期区分（前期、後期等）で示し、西暦表現はしなかった。また、浅間Ｂテフラを遺構底面に純層に近い状態で含む遺構と、浅間Ｂテフラを含む土層よりも上位で検出した遺構について「中世以降」とした。

古墳時代前期：４世紀（古墳前期と略記する。以下同様。）　　古墳時代中期：５世紀

古墳時代後期：６～７世紀*2　　奈良時代　　：８世紀

平安時代　　：９～11世紀*3

＊１　坂口　一「群馬県における古墳時代中期の土器の編年」『研究紀要－４－』群馬県埋蔵文化財調査事業団，1987他。なお、表中の「５世紀末」は「５世紀後半」に広がる可能性がある。

＊２　ここでは７世紀代を「古墳時代後期」に含めた。なお、７世紀代の土器には、いわゆる「真間式土器」の一部を含んでいる。

＊３　12世紀以降とみられる竪穴式住居は検出していない。

目　　次

資料編 2

4 区　概　　要 ……344
住 居 跡 ……345
畠　　跡 ……514
掘立柱建物跡 ……516
溝 ……519
土　　坑 ……522
縄文時代土坑群 ……522

5 区　概　　要 ……543
住 居 跡 ……544
ピ ッ ト 群 ……658
溝 ……660
土　　坑 ……668

6 区　概　　要 ……673
住 居 跡 ……675

出土遺物図 ……681
遺物計測値表 ……745

《資料編１》

１区　概　　要 …… 3
　　住 居 跡 …… 4
　　水 田 跡 …… 48
　　溝 …… 48
　　土　　坑 …… 52

２区　概　　要 …… 57
　　住 居 跡 …… 58
　　畠　　跡 …… 114
　　溝 …… 117
　　土　　坑 …… 118

３区　概　　要 …… 121
　　住 居 跡 …… 122
　　竪穴遺構 …… 208
　　掘立柱建物跡 …… 209
　　井　　戸 …… 210
　　溝 …… 212
　　土　　坑 …… 214

出土遺物図 …… 221
遺物計測値表 …… 283

挿　図　目　次

第282図　変貌する沿線（4）……(341)
第283図　4区遺構配置図（1）……(342)
第284図　4区遺構配置図（2）……(343)
第285図　4区1号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……345
第286図　4区1号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……346
第287図　4区1号住居跡遺物出土状態・写真（3）……346
第288図　4区1号住居跡（1）……347
第289図　4区1号住居跡（2）カマド……348
第290図　4区2号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……349
第291図　4区3号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……350
第292図　4区3号住居跡……351
第293図　4区4号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……351
第294図　4区4号住居跡……352
第295図　4区5号住居跡……353
第296図　4区6号住居跡……353
第297図　4区6号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……354
第298図　4区7号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……355
第299図　4区8号住居跡カマド（西から）・写真……356
第300図　4区8号住居跡……357
第301図　4区9号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……358
第302図　4区9号住居跡……359
第303図　4区10号住居跡……360
第304図　4区11号住居跡……361
第305図　4区11号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……361
第306図　4区12号住居跡……362
第307図　4区13号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……363
第308図　4区13号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……364
第309図　4区13号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）・写真（3）……364
第310図　4区14・49・50号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……365
第311図　4区14・49・50号住居跡（1）……366
第312図　4区14・49・50号住居跡（2）　断面……367
第313図　4区14・49・50号住居跡（3）　掘形……368
第314図　4区15号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……369
第315図　4区16号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……370
第316図　4区17号住居跡遺物出土状態・写真……371
第317図　4区17・18号住居跡……372
第318図　4区18号住居跡（西から）・写真……373
第319図　4区19号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……374
第320図　4区21号住居跡カマド遺物（西から）・写真……375
第321図　4区21・22号住居跡……376
第322図　4区23号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……377
第323図　4区24号住居跡（1）……378
第324図　4区24号住居跡カマド（西から）・写真（1）……379
第325図　4区24号住居跡下層（西から）・写真（2）……379
第326図　4区24号住居跡（2）……380
第327図　4区26号住居跡（西から）・写真……381
第328図　4区27号住居跡カマド遺物（西から）・写真……382
第329図　4区28・29号住居跡……383
第330図　4区30号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……384
第331図　4区30号住居跡（1）……385
第332図　4区30号住居跡（2）カマド……386
第333図　4区31号住居跡カマド遺物（西から）・写真……387
第334図　4区32号住居跡カマド……388
第335図　4区32号住居跡カマド遺物（西から）・写真……388
第336図　4区33号住居跡カマド（西から）・写真……389
第337図　4区33号住居跡……390
第338図　4区34号住居跡……390

第339図　4区34号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……391
第340図　4区35号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……392
第341図　4区35号住居跡……393
第342図　4区36号住居跡カマド遺物（西から）・写真……394
第343図　4区37号住居跡カマド……395
第344図　4区37号住居跡カマド遺物（東から）・写真……395
第345図　4区38号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……396
第346図　4区40・42号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……397
第347図　4区40・42号住居跡……398
第348図　4区41号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……399
第349図　4区41号住居跡……400
第350図　4区43号住居跡遺物出土状態・写真……401
第351図　4区44号住居跡遺物出土状態・写真……402
第352図　4区46号住居跡（東から）・写真……403
第353図　4区46号住居跡……404
第354図　4区48号住居跡……405
第355図　4区48号住居跡カマド遺物（西から）・写真……405
第356図　4区53号住居跡……407
第357図　4区53号住居跡遺物出土状態・写真……407
第358図　4区54号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……408
第359図　4区54号住居跡……409
第360図　4区55号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……410
第361図　4区55号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……411
第362図　4区55号住居跡遺物出土状態（北西から）・写真（3）……411
第363図　4区55号住居跡……412
第364図　4区55号住居跡カマド（西から）・写真（4）……412
第365図　4区56号住居跡カマド遺物（南から）・写真……413
第366図　4区56・57号住居跡……414
第367図　4区57号住居跡カマド遺物（西から）・写真……415
第368図　4区58号住居跡土層断面……416
第369図　4区58号住居跡カマド遺物（西から）・写真……416
第370図　4区59号住居跡カマド付近遺物（西から）・写真（1）……417
第371図　4区59・61・62号住居跡　掘形……418
第372図　4区58・59・61・62号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（2）……418
第373図　4区60号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……419
第374図　4区60号住居跡……420
第375図　4区63・65・66号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……421
第376図　4区65号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……422
第377図　4区65号住居跡……423
第378図　4区66号住居跡……424
第379図　4区68号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……425
第380図　4区69号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……426
第381図　4区70号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……427
第382図　4区70号住居跡……428
第383図　4区68・69・70・71・73・74号住居跡掘形（南から）・写真……429
第384図　4区68・69・70・71・73号住居跡　掘形……430
第385図　4区72号住居跡……431
第386図　4区72号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……431
第387図　4区73号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……432
第388図　4区73号住居跡……433
第389図　4区73号住居跡貯蔵穴付近遺物（西から）・写真（2）……433
第390図　4区74号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……434
第391図　4区74号住居跡（1）……435
第392図　4区74号住居跡（2）掘形……436
第393図　4区74号住居跡付近掘形（北から）・写真（2）……436
第394図　4区75号住居跡カマド遺物（南から）・写真……437
第395図　4区76号住居跡カマド（西から）・写真……438
第396図　4区76号住居跡……439
第397図　4区77号住居跡土層断面（西から）・写真……440
第398図　4区78号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……441

第399図　4区78号住居跡……442
第400図　4区80号住居跡……443
第401図　4区81号住居跡……444
第402図　4区81号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……444
第403図　4区82号住居跡掘形（西から）・写真……445
第404図　4区82・151号住居跡……446
第405図　4区84号住居跡……447
第406図　4区84号住居跡土層断面（西から）・写真……447
第407図　4区85号住居跡……448
第408図　4区85号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……448
第409図　4区86号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……449
第410図　4区86号住居跡……450
第411図　4区101号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……451
第412図　4区102号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……452
第413図　4区102号住居跡……453
第414図　4区103号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……454
第415図　4区103・104号住居跡（1）……455
第416図　4区103・104号住居跡（2）……456
第417図　4区104号住居跡柱穴内遺物出土状態（北から）・写真……457
第418図　4区105号住居跡遺物出土状態（東から）・写真（1）……458
第419図　4区105号住居跡……459
第420図　4区105号住居跡カマド・写真（2）……459
第421図　4区106号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……460
第422図　4区106号住居跡……461
第423図　4区107・109・110号住居跡　掘形……462
第424図　4区109号住居跡カマド（西から）・写真……463
第425図　4区111号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……464
第426図　4区111号住居跡……465
第427図　4区112号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……466
第428図　4区112号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……466
第429図　4区113号住居跡カマド遺物（南から）・写真……467
第430図　4区106・112・113号住居跡　掘形……468
第431図　4区114号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……469
第432図　4区114・116号住居跡　カマド・掘形……470
第433図　4区117号住居跡（東から）・写真……471
第434図　4区117・118号住居跡……472
第435図　4区119号住居跡掘形……473
第436図　4区120号住居跡カマド遺物（西から）・写真……474
第437図　4区121（140）・131・148A号住居跡　掘形……475
第438図　4区121号住居跡付近……476
第439図　4区121号住居跡付近（北から）・写真……476
第440図　4区122・123号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……477
第441図　4区121号住居跡付近　掘形（1）……478
第442図　4区121号住居跡付近　掘形（2）……479
第443図　4区127号住居跡貯蔵穴遺物（西から）・写真……481
第444図　4区127・128号住居跡……482
第445図　4区128号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……482
第446図　4区128号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……483
第447図　4区128号住居跡カマド遺物（北から）・写真（3）……483
第448図　4区128号住居跡カマド遺物……484
第449図　4区129号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……485
第450図　4区130号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……486
第451図　4区130号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……487
第452図　4区130号住居跡カマド支脚・写真（3）……487
第453図　4区137号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……489
第454図　4区138・139号住居跡掘形（北から）・写真……490
第455図　4区141号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……491
第456図　4区141号住居跡……492
第457図　4区145号住居跡遺物出土状態（東から）・写真（1）……494
第458図　4区145号住居跡カマド遺物（東から）・写真（2）……495

第459図　4区145号住居跡遺物出土状態（東から）・写真（3）……495
第460図　4区145号住居跡……496
第461図　4区145号住居跡（西から）・写真（4）……496
第462図　4区146号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……497
第463図　4区146号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（2）……498
第464図　4区146号住居跡カマド遺物（西から）・写真（3）……498
第465図　4区146号住居跡（1）……499
第466図　4区146号住居跡（2）……500
第467図　4区147号住居跡カマド遺物（南から）・写真……501
第468図　4区149号住居跡掘形（西から）・写真……502
第469図　4区150号住居跡遺物出土状態・写真……503
第470図　4区151号住居跡（西から）・写真……504
第471図　4区152号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……504
第472図　4区153号住居跡掘形（東から）・写真（1）……505
第473図　4区153号住居跡遺物出土状態（北西から）・写真（2）……505
第474図　4区153号住居跡……506
第475図　4区154号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……507
第476図　4区154号住居跡……508
第477図　4区155号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……509
第478図　4区155号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……510
第479図　4区155号住居跡カマド遺物（西から）・写真（3）……510
第480図　4区155号住居跡（1）……511
第481図　4区155号住居跡（2）……512
第482図　4区154・155号住居跡　掘形……513
第483図　4区畠跡1、畠跡2……514
第484図　4区畠跡3（西から）・写真（1）……515
第485図　4区畠跡3（北西から）・写真（2）……515
第486図　4区1号掘立柱建物跡……516
第487図　4区2・101号掘立柱建物跡……518
第488図　4区溝　断面……521
第489図　4区土坑……523
第490図　3～4区縄文時代土坑分布図……524
第491図　4区125号土坑（北から）・写真……525
第492図　4区134号土坑（北から）・写真……525
第493図　4区135号土坑（西から）・写真……526
第494図　4区138号土坑（東から）・写真……526
第495図　4区139号土坑（北から）・写真……527
第496図　4区140号土坑（東から）・写真……527
第497図　4区141号土坑（北から）・写真……528
第498図　4区144号土坑遺物出土状態（西から）・写真……528
第499図　4区217号土坑遺物出土状態（北から）・写真……529
第500図　4区224号土坑遺物出土状態（西から）・写真……529
第501図　変貌する沿線（5）……(541)
第502図　5区遺構配置図……(542)
第503図　5区1号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……544
第504図　5区2号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……545
第505図　5区2号住居跡……546
第506図　5区3号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……547
第507図　5区3号住居跡……548
第508図　5区4号住居跡……549
第509図　5区4号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……549
第510図　5区5号住居跡……550
第511図　5区5号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……550
第512図　5区6号住居跡……551
第513図　5区6号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……551
第514図　5区7号住居跡……552
第515図　5区7号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……552
第516図　5区8号住居跡（1）……553
第517図　5区8号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……553
第518図　5区8号住居跡（2）……554

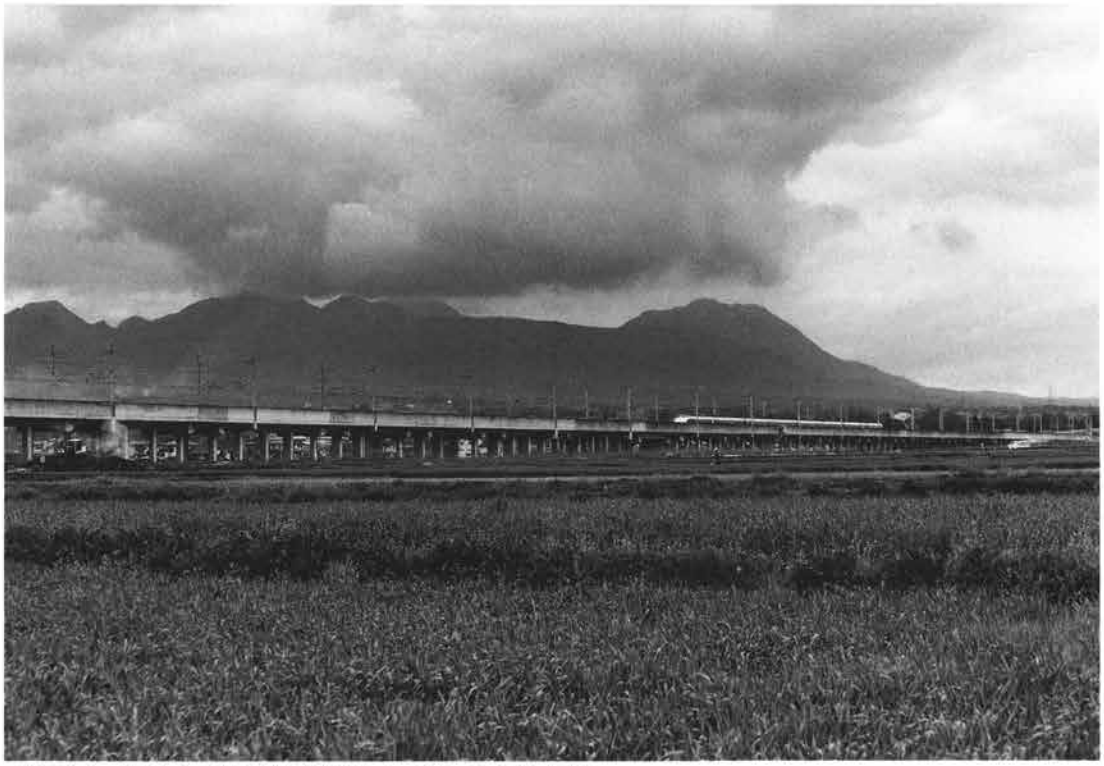
第519図　5区9号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……555
第520図　5区10号住居跡カマド遺物（西から）・写真（1）……556
第521図　5区10号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……556
第522図　5区10号住居跡……557
第523図　5区11号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……558
第524図　5区11号住居跡カマド掘形（西から）・写真（2）……558
第525図　5区12号住居跡　掘形……559
第526図　5区12号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……559
第527図　5区13号住居跡　掘形……560
第528図　5区13号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……560
第529図　5区14号住居跡　掘形……561
第530図　5区14号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……561
第531図　5区15号住居跡……562
第532図　5区15号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……562
第533図　5区16号住居跡　掘形……563
第534図　5区16号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……563
第535図　5区17号住居跡……564
第536図　5区17号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……564
第537図　5区19号住居跡　カマド……565
第538図　5区19号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……565
第539図　5区19・20号住居跡……566
第540図　5区20号住居跡……567
第541図　5区20号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……567
第542図　5区21号住居跡……568
第543図　5区21号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……568
第544図　5区22号住居跡……569
第545図　5区22号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……569
第546図　5区23号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……570
第547図　5区24号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……571
第548図　5区24号住居跡……572
第549図　5区25号住居跡カマド遺物（西から）・写真……573
第550図　5区26号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……574
第551図　5区26号住居跡……575
第552図　5区27号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……576
第553図　5区27号住居跡カマド－貯蔵穴遺物（西から）・写真（2）……577
第554図　5区27号住居跡貯蔵穴遺物（南から）・写真（3）……577
第555図　5区27号住居跡……578
第556図　5区28号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……579
第557図　5区28号住居跡……580
第558図　5区29号住居跡……581
第559図　5区29号住居跡カマド遺物（西から）・写真……581
第560図　5区30号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……582
第561図　5区31号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……583
第562図　5区31号住居跡……584
第563図　5区32号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……585
第564図　5区33号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……586
第565図　5区33号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……587
第566図　5区33号住居跡貯蔵穴遺物（南から）・写真（3）……587
第567図　5区33号住居跡……588
第568図　5区34号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……589
第569図　5区34・35号住居跡　掘形……590
第570図　5区35号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……590
第571図　5区36号住居跡遺物出土状態（南から）・写真（1）……591
第572図　5区36号住居跡（1）カマド……592
第573図　5区36号住居跡カマド遺物（西から）・写真……592
第574図　5区36号住居跡（2）……593
第575図　5区37号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……594
第576図　5区38号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……595
第577図　5区38号住居跡（1）カマド……596
第578図　5区38号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……596

第579図　5区38号住居跡（2）……597
第580図　5区39号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……598
第581図　5区39号住居跡（1）……599
第582図　5区39号住居跡（2）カマド・掘形……600
第583図　5区40号住居跡……601
第584図　5区40号住居跡カマド遺物（南西から）・写真……601
第585図　5区41号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……602
第586図　5区41号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……603
第587図　5区41号住居跡張出部遺物（南から）・写真（3）……603
第588図　5区41号住居跡（1）……604
第589図　5区41号住居跡（2）カマド・掘形……605
第590図　5区42号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……606
第591図　5区42号住居跡……607
第592図　5区43号住居跡カマド付近遺物（西から）・写真……608
第593図　5区43号住居跡……609
第594図　5区44号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……610
第595図　5区44号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……611
第596図　5区44号住居跡土層断面（北から）・写真（3）……611
第597図　5区44号住居跡……612
第598図　5区45号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……613
第599図　5区45号住居跡……614
第600図　5区46号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……615
第601図　5区46号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……616
第602図　5区46号住居跡貯蔵穴付近（西から）・写真（3）……616
第603図　5区47号住居跡遺物出土状態（東から）・写真……617
第604図　5区47号住居跡……618
第605図　5区48号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……619
第606図　5区48号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……620
第607図　5区48号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（3）……620
第608図　5区48号住居跡カマド……621
第609図　5区48号住居跡カマド遺物（西から）・写真（4）……621
第610図　5区49号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……622
第611図　5区49号住居跡……623
第612図　5区49号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……623
第613図　5区50号住居跡カマド遺物（西から）・写真……624
第614図　5区50号住居跡……625
第615図　5区51号住居跡　掘形……626
第616図　5区51号住居跡（西から）・写真……626
第617図　5区52号住居跡　掘形……627
第618図　5区52号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……627
第619図　5区53号住居跡……628
第620図　5区53号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……628
第621図　5区54号住居跡　掘形……629
第622図　5区54号住居跡遺物出土状態（南から）・写真……629
第623図　5区55号住居跡　掘形……630
第624図　5区55号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……630
第625図　5区56号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（1）……631
第626図　5区56号住居跡カマド遺物（西から）・写真（2）……632
第627図　5区56号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（3）……632
第628図　5区56号住居跡（1）……633
第629図　5区56号住居跡（2）カマド……634
第630図　5区56号住居跡カマド遺物（西から）・写真（4）……634
第631図　5区57号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……635
第632図　5区57号住居跡……636
第633図　5区57号住居跡カマド遺物（北西から）・写真（2）……636
第634図　5区58号住居跡カマド遺物（西から）・写真（1）……637
第635図　5区58号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（2）……637
第636図　5区58号住居跡……638
第637図　5区59号住居跡（東から）・写真（1）……639
第638図　5区59号住居跡（1）……640

第639図　5区59号住居跡（2）……641
第640図　5区59号住居跡カマド（東から）・写真（2）……641
第641図　5区60号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……642
第642図　5区60号住居跡……643
第643図　5区60・61・63号住居の推定……644
第644図　5区60号住居跡下層の推定（北から）・写真……644
第645図　5区61・63号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……645
第646図　5区61号住居跡カマド掘形（西から）・写真（2）……645
第647図　5区61・63号住居跡……646
第648図　5区62号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……647
第649図　5区63号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）・写真……648
第650図　5区64号住居跡遺物出土状態（西から）・写真……649
第651図　5区64・65号住居跡……650
第652図　5区64号住居跡カマド遺物（西から）・写真……650
第653図　5区65号住居跡遺物出土状態・写真（1）……651
第654図　5区65号住居跡カマド掘形（西から）・写真（2）……651
第655図　5区66号住居跡……652
第656図　5区66号住居跡遺物出土状態（北から）・写真……652
第657図　5区67号住居跡遺物出土状態（北から）・写真（1）……653
第658図　5区67号住居跡遺物出土状態（西から）・写真（2）……654
第659図　5区67号住居跡カマド遺物（西から）・写真（3）……654
第660図　5区67号住居跡……655
第661図　5区68号住居跡……656
第662図　5区68号住居跡遺物出土状態（南東から）・写真……656
第663図　5区69号住居跡……657
第664図　5区69号住居跡（南から）・写真……657
第665図　5区ピット群2（南から）・写真……658
第666図　5区ピット群1（南から）・写真……659
第667図　5区A類溝、C1号溝（南から）・写真……660
第668図　5区A類溝群北半（北から）・写真……661
第669図　5区A・B・C類溝群……662
第670図　5区101・102号溝　断面……663
第671図　5区B2号溝（南から）・写真（1）……664
第672図　5区B2号溝遺物出土状態（西から）・写真（2）……664
第673図　5区B2号溝……665
第674図　5区C1号溝（北から）・写真（1）……666
第675図　5区C1号溝　イ区遺物出土状態（北から）・写真（2）……666
第676図　5区C1号溝　ロ区遺物出土状態（北から）・写真（3）……667
第677図　5区C1号溝　ハ区遺物出土状態（東から）・写真（4）……667
第678図　変貌する沿線（6）……(671)
第679図　6区遺構配置図……(672)
第680図　6区B軽石面全景（南から）・写真……674
第681図　6区1号住居跡カマド（西から）・写真……675
第682図　6区1号住居跡……676
第683図　6区1号土坑、B1号溝……676
第684図　6区水田跡（1）……677
第685図　6区水田跡（2）……678
第686図　5－6区東側道（北から）・写真……678
第687図　4区1号住居跡出土遺物……681
第688図　4区1・2号住居跡出土遺物……682
第689図　4区3・4・6・7・8・9号住居跡出土遺物……683
第690図　4区11・12・13・14号住居跡出土遺物……684
第691図　4区15・16・17・18・19号住居跡出土遺物……685
第692図　4区21・22・23・24・29号住居跡出土遺物……686
第693図　4区30・32・33号住居跡出土遺物……687
第694図　4区34・35・36・37号住居跡出土遺物……688
第695図　4区38・40・41・43・44号住居跡出土遺物……689
第696図　4区45・54・55号住居跡出土遺物……690
第697図　4区55号住居跡出土遺物……691
第698図　4区56・57・58号住居跡出土遺物……692

第699図　4区59・60・62号住居跡出土遺物 ……693
第700図　4区63・65・68・70号住居跡出土遺物 ……694
第701図　4区71・72・73・75号住居跡出土遺物 ……695
第702図　4区74・76・77号住居跡出土遺物 ……696
第703図　4区78号住居跡出土遺物 ……697
第704図　4区80・81・84・85号住居跡出土遺物 ……698
第705図　4区86号住居跡出土遺物（1） ……699
第706図　4区86号住居跡出土遺物（2） ……700
第707図　4区101・102・103号住居跡出土遺物……701
第708図　4区104・105・106号住居跡出土遺物……702
第709図　4区107・109・110・111・112・113号住居跡出土遺物 ……703
第710図　4区114・117・119・120号住居跡出土遺物 ……704
第711図　4区121・122・127号住居跡出土遺物……705
第712図　4区128・129号住居跡出土遺物 ……706
第713図　4区130号住居跡出土遺物……707
第714図　4区130・135・137・138・141・142号住居跡出土遺物 ……708
第715図　4区145・146号住居跡出土遺物 ……709
第716図　4区146・147号住居跡出土遺物 ……710
第717図　4区147・149・150・152号住居跡出土遺物 ……711
第718図　4区153号住居跡出土遺物……712
第719図　4区154・155号住居跡出土遺物 ……713
第720図　4区155号住居跡出土遺物……714
第721図　4区34・88・144・223・224号土坑出土遺物……715
第722図　5区1・2・3・4・6・8・9・10号住居跡出土遺物 ……716
第723図　5区11・12・17・19・20・21号住居跡出土遺物 ……717
第724図　5区22・23・24号住居跡出土遺物 ……718
第725図　5区25・26・27号住居跡出土遺物 ……719
第726図　5区27号住居跡出土遺物（1） ……720
第727図　5区27号住居跡出土遺物（2） ……721
第728図　5区28・29・30・31号住居跡出土遺物 ……722
第729図　5区31・32・33・34・35号住居跡出土遺物 ……723
第730図　5区36号住居跡出土遺物 ……724
第731図　5区36・37・38号住居跡出土遺物 ……725
第732図　5区38・39・41・42・43号住居跡出土遺物 ……726
第733図　5区44・45・46号住居跡出土遺物 ……727
第734図　5区46・47・48号住居跡出土遺物 ……728
第735図　5区48・49号住居跡出土遺物 ……729
第736図　5区49・50・52・53・54・56号住居跡出土遺物 ……730
第737図　5区56・57・58号住居跡出土遺物 ……731
第738図　5区59・60・61・62号住居跡出土遺物 ……732
第739図　5区62・63号住居跡出土遺物 ……733
第740図　5区64・65・66・67号住居跡出土遺物 ……734
第741図　5区67・68号住居跡、101・B2号溝出土遺物……735
第742図　5区C1号溝、23・43号土坑出土遺物 ……736
第743図　5区遺構外出土遺物 ……737
第744図　6区1号住居跡、6区1号土坑出土遺物 ……737
第745図　遺構外出土縄文時代遺物（1） ……738
第746図　遺構外出土縄文時代遺物（2） ……739
第747図　遺構外出土縄文時代遺物（3） ……740
第748図　遺構外出土縄文時代遺物（4） ……741
第749図　遺構外出土縄文時代遺物（5） ……742

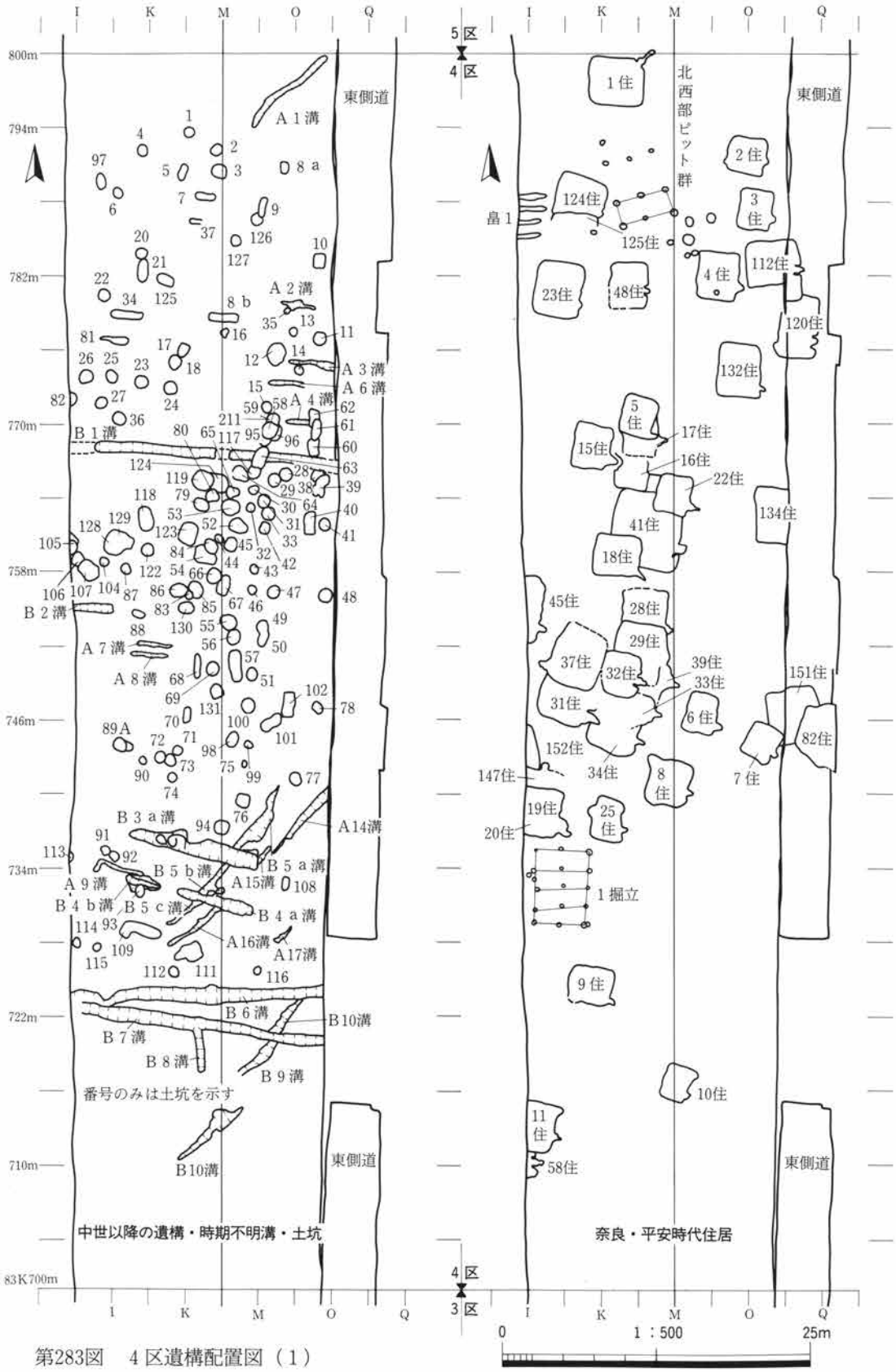
4 区 の 遺 構



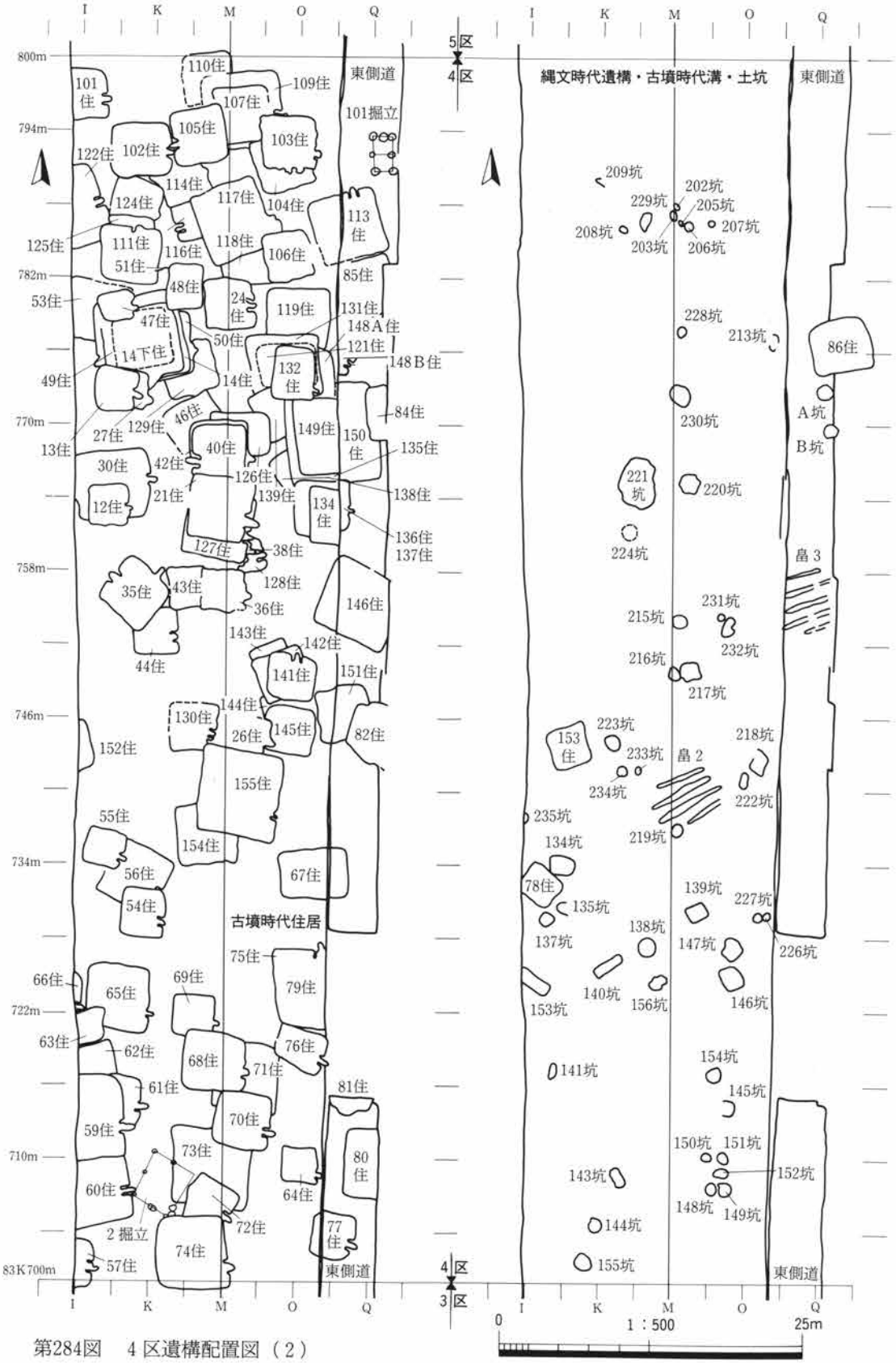
第282図　変貌する沿線(4)群馬町三ッ寺から北西を望む

三ッ寺II遺跡地の東側には水田・畠が広がる。
西側では住宅開発が進む。後方は榛名山。

1990年4月撮影



第283図　4区遺構配置図（1）



第284図　4 区遺構配置図（2）

4 区の概要

大宮を起点とする4区のキロ程は、83km700mから83km800mの範囲である。キロ程715mから728mの東側道部は、側道調査着手時点で生活道路が完成・利用されていたため、調査不可能であった。本区南端のキロ程700m付近、および北端の800m付近では、遺構の分布が連続的であり、それぞれの線上の遺構は調整して便宜的に3区・4区・5区に帰属させた。3区に帰属する遺構は『資料編1』に、4・5区に帰属する遺構は『資料編2』に掲載した。

4区では下表の遺構を検出した。本区は他の区に比べてやや高く、遺構の重複がもっとも激しい調査区であった。とくにキロ程750m～800mの間は、1軒の住居を拡張的に建て替えるケースがみられ、さらにより新しい時期の住居が重なるという状態であった。ある時期には継続的に集落が営まれたことを示している。

キロ程750m付近から3区にかけて、地割れを伴う遺構を検出した。一部に、噴砂痕跡とみられるものもあり、遺構同士の前後関係、および地割れ等と住居との前後関係から、地割れを生じた時期が限定できる可能性が高い。遺構と地割れとの関係は『本文編』で詳細に報告する。

本区では古墳時代住居跡の上に作られた畠跡とみられる溝群を2カ所で検出しており、これらの畠跡には榛名山二ツ岳を給源とする火山灰（FA）が認められた。

本区も、遺構検出状態からみて、さらに新幹線用地外に遺構が広がることが確実である。

表4　4区検出遺構

遺構	時代									欠番	小計
	縄文	弥生	古墳				奈良	平安	不明		
			前期	中期	後期	(古)*1					
住居	3	0	0	11	58	22	13*2	28*3	1*4	21*5	157
掘立柱建物						2		1			3
ピット群									1		1
井戸											0
溝									22+6	8	36
土坑	19					32			140	43+3	237
水田											0
畠						2		1			3

＊1　時期分離できない
＊2　古墳～奈良と推定したもの8軒を含む
＊3　奈良～平安と推定したもの1軒を含む
＊4　152住＝古墳～平安
＊5　52住＝111住，83住＝欠番，87～100住＝欠番，108住＝24住，115住＝109住，123住＝欠番，133住＝欠番，140住＝欠番

三ッ寺II　4区　1号住居跡（第285・687図，図版206・479）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　472×383，面積　(18.1m²)，壁高　18～38，長軸方位　N96度E
壁　溝	幅　5～13，深さ　2～5
主柱穴	不明
カマド	位置　北東隅，対称軸方位　N51度E，構築材　粘土・石・円筒形土製品？ 支脚　円筒形土製品の半裁
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ60×51，下パ35×23，深さ　48

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層　　，検出位置：K～Lライン・797m付近

重複関係：１１０住→１住

覆　　土：灰褐色系の土，上位に軽石含む　　，壁　　：直に近い

床　　面：西辺・南辺の内側で幅約１mの範囲が軟弱，その他は堅く締まる

主　柱　穴：－　　，壁　　溝：北辺カマド寄り・西辺中央～東辺中央で検出

カ　マ　ド：両袖の芯に石を据えて粘土で固める，焚口天井部に50cm長の細長い石を架ける，燃焼部中央やや右寄りに円筒形土製品の半裁を起てる，煙道部との境に段がある，煙道部長約100・対角線方向，カマド右袖脇から円筒埴輪破片出土，東辺中央壁際から円筒形土製品出土

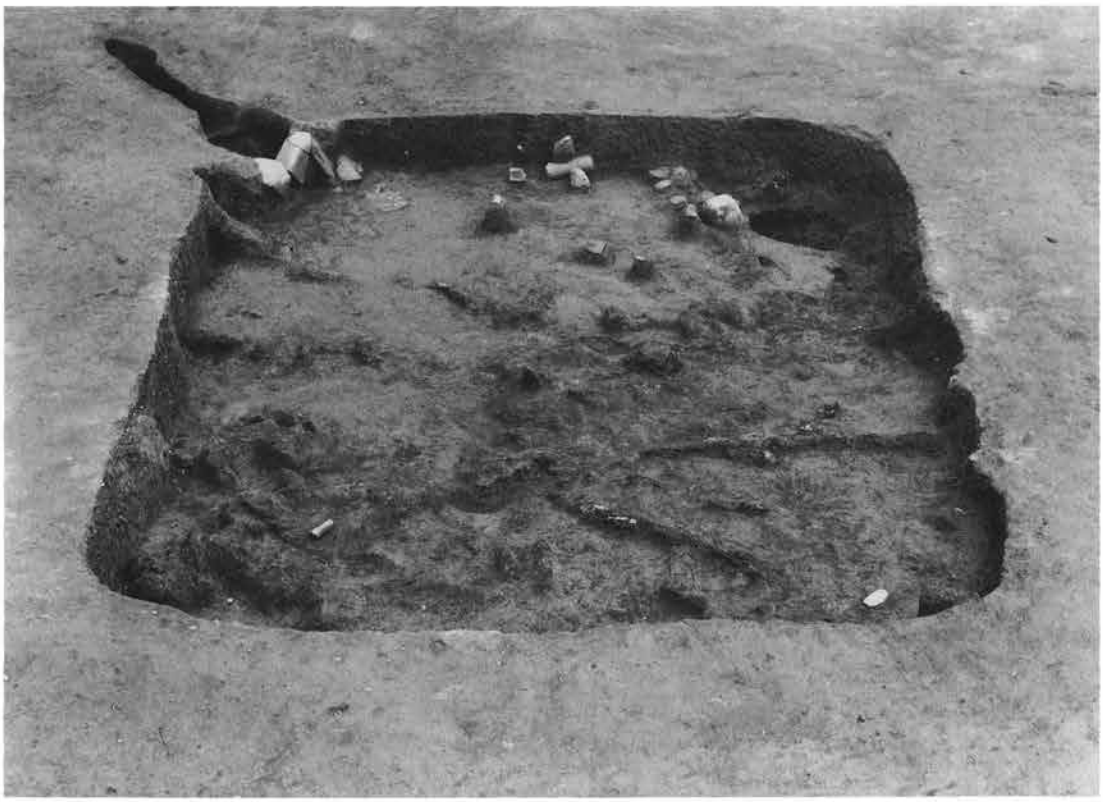
貯　蔵　穴：底面は楕円形

掘　　形：西辺中央壁際やや南寄りで55×40・深さ15の掘り込み検出，北辺中央部で不整形掘り込み検出

そ　の　他：穴のあいた棒状炭化物・ワラ状炭化物・棒状炭化物が床面から出土，火災を受けたか？，棒状炭化物は壁と直角方向に延びるもの多い，ワラ状炭化物はその上に乗る，建築部材か？

遺　　物：土器306片・石13cm大2個（炭化物付着），床面の全面に炭化物分布，覆土から灰釉陶器高台付椀・土師質高台付椀出土，0681（鉄製鎌）・1000（円筒形土製品）・1001（円筒埴輪）・1002（円筒埴輪）・1003（円筒形土製品）・1004（円筒形土製品）・1005（土師質甑）

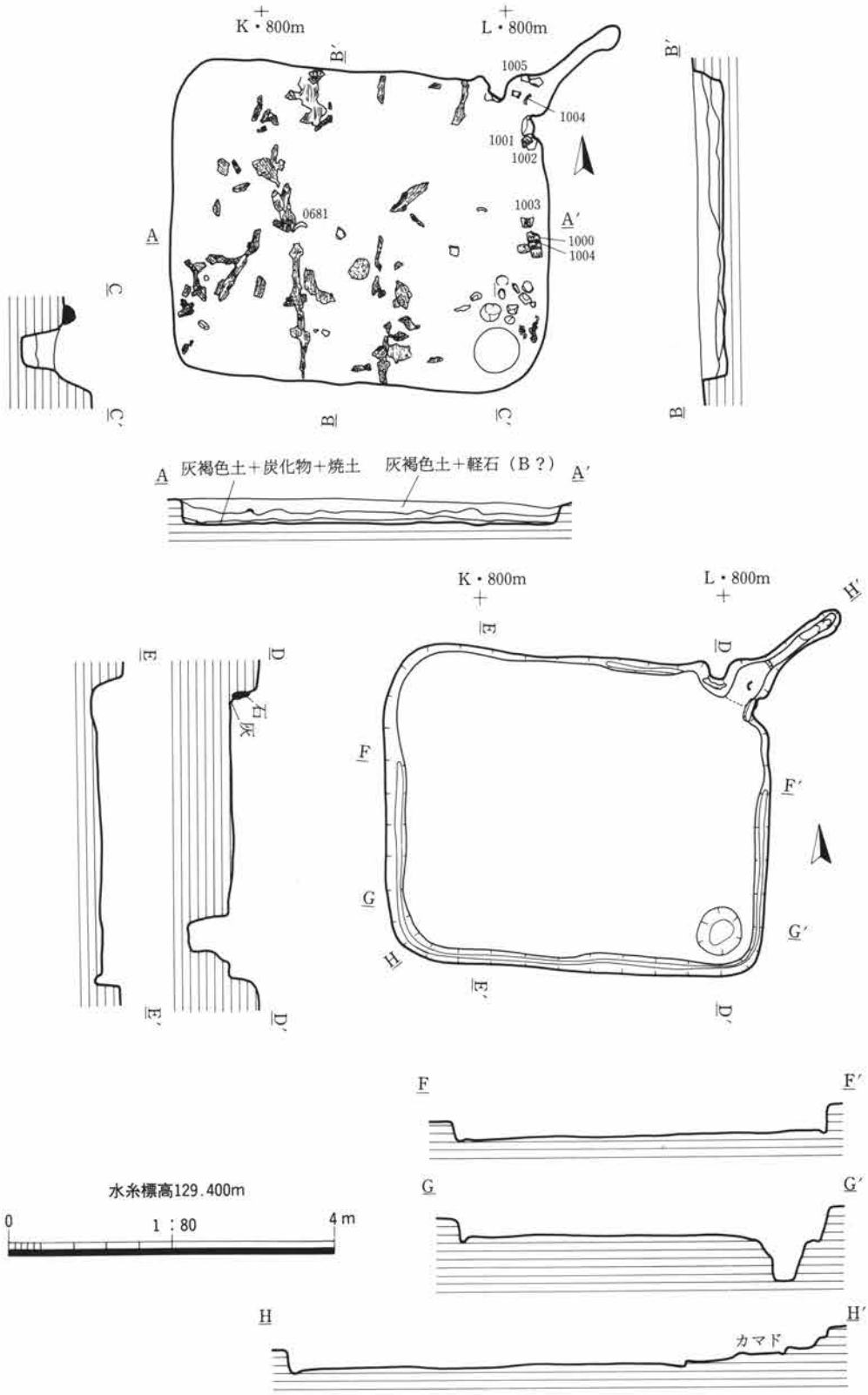
時　　期：平安，10世紀後半～11世紀



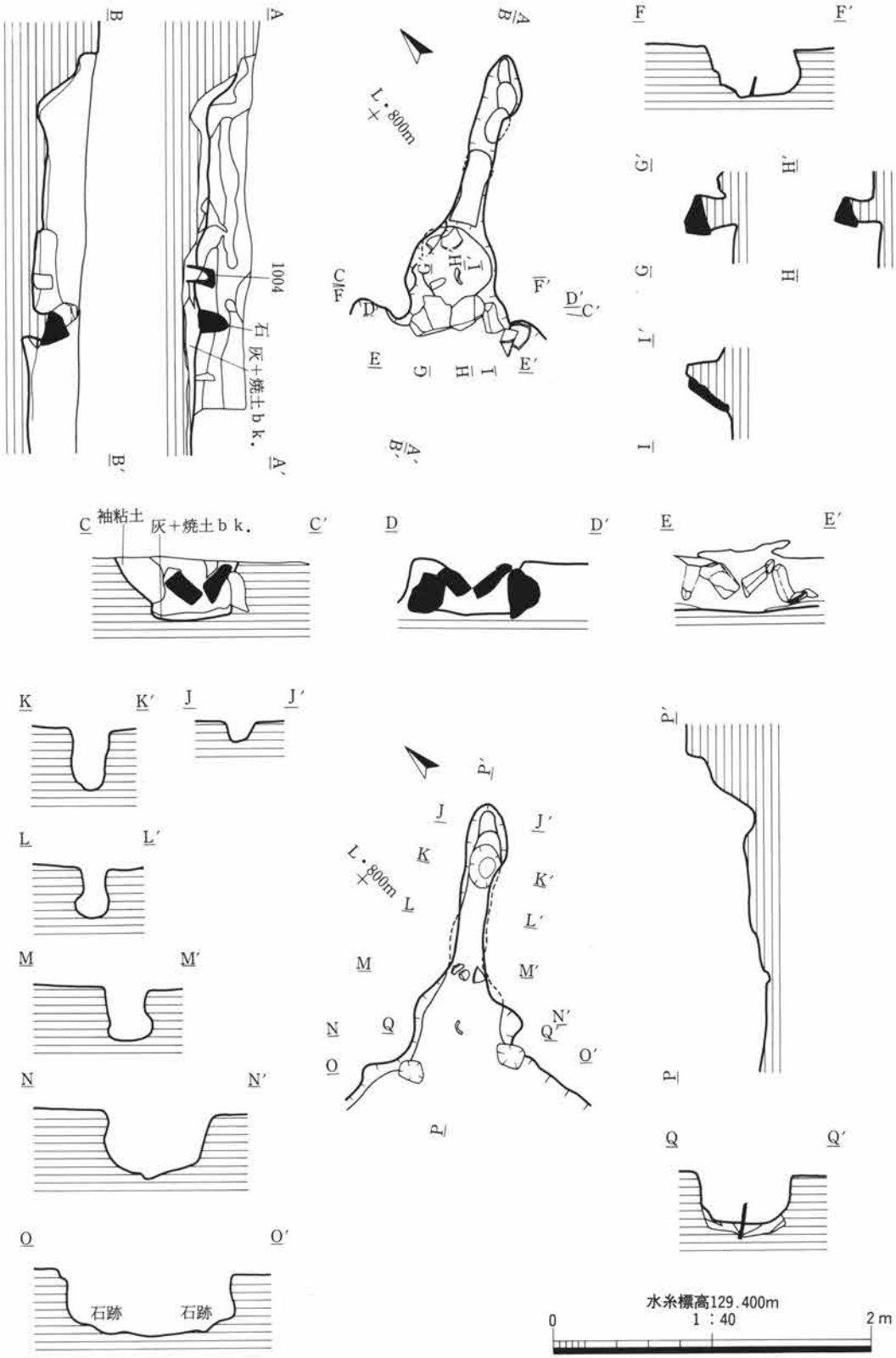
第285図　4区1号住居跡遺物出土状態（西から）

第286図　4区1号住居跡遺物出土状態（西から）

第287図　4区1号住居跡遺物出土状態



第288図　4区1号住居跡（1）



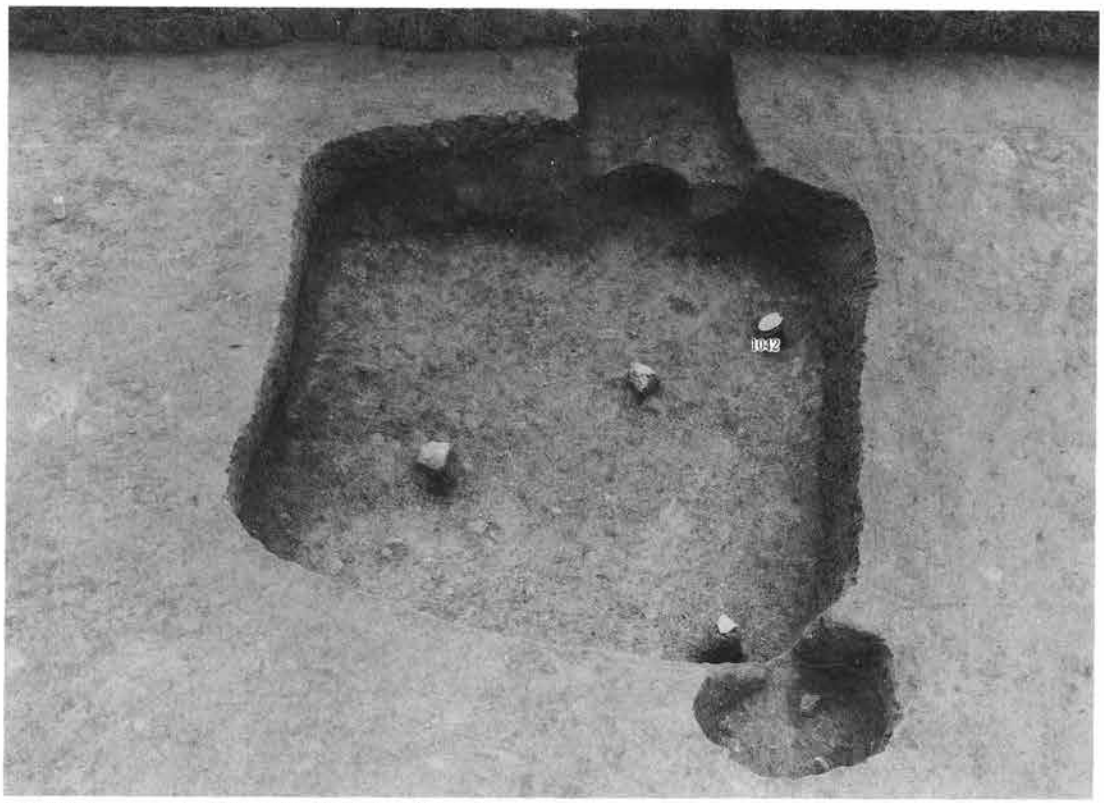
第289図　4区1号住居跡（2）　カマド

三ッ寺II　4区　2号住居跡（第290・688図，図版207・480）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模 331×298，面積 9.9m²，壁高 46～70，長軸方位 N106度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り，対称軸方位 －，構築材 粘土？，支脚 不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確 認 面	褐色土，5層	検出位置	Oライン・792m付近
重複関係	2住→8坑，103住→2住	覆 土	黄褐色土bk.を含む褐色系の土
壁	直に近い	床 面	貼床
主 柱 穴	－	壁 溝	－
カ マ ド	袖部未検出，燃焼部奥壁は東辺ラインから突出する		
貯 蔵 穴	－		
掘 形	底面凹凸著しい，西半は下層遺構のため軟弱		
そ の 他	やや深い，東側掘り込みはカマド調査のため		
遺 物	土器111片，覆土から須恵器カエリのある蓋・平瓶頸部片・台付き甕底部片・頸部に段のある土師器甕出土，1042（須恵器蓋）		
時 期	奈良，7世紀後半～8世紀前半		



第290図　4区2号住居跡遺物出土状態（西から）

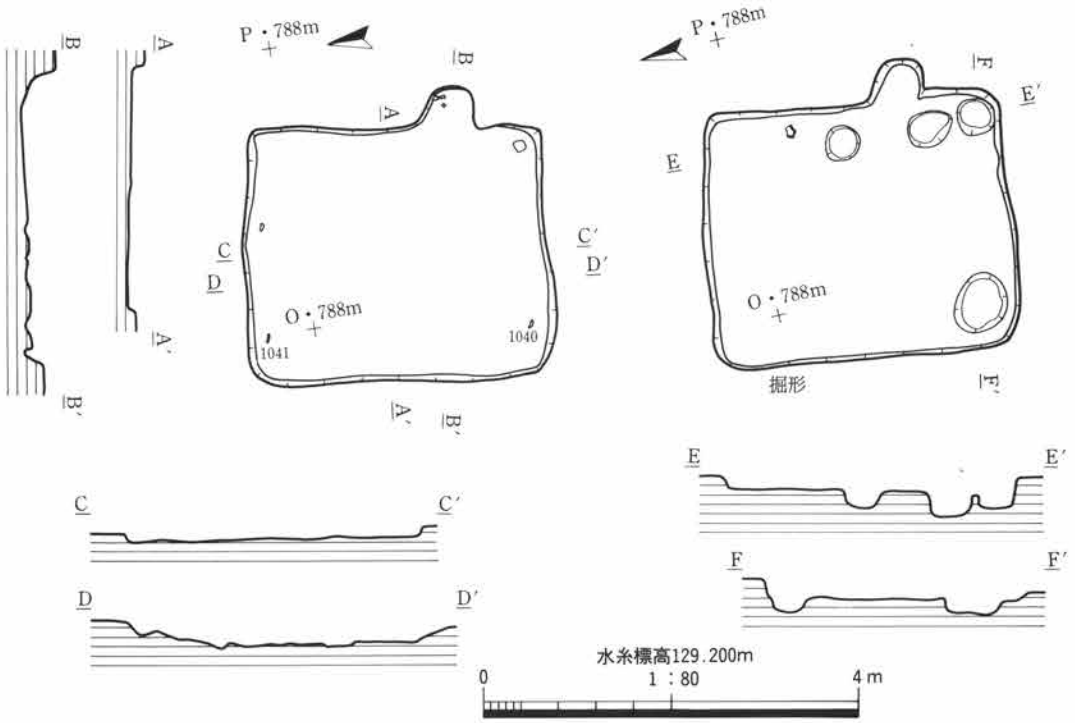
三ッ寺II　4区　3号住居跡（第291・689図，図版208・480）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　324×266，面積　8.6m²，壁高　5～14，長軸方位　N8度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央南寄り，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確認面	褐色土，5層	,検出位置	O～Pライン・787m付近
重複関係	113住→3住，106住→3住		
覆土	軽石を含む褐色系の土	,壁	：浅い
床面	平坦，貼床		
主柱穴	－	,壁溝	－
カマド	袖部未検出，燃焼部から羽釜破片出土		
貯蔵穴	不明，床下から4基の円形土坑検出		
掘形	北西寄りに凹凸著しい		
その他	カマド前～南東隅・南西隅に円形土坑検出，径40～50・深さ15～24，いずれも貯蔵穴ではない？		
遺物	土器126片，羽釜破片出土，1040・1041		
時期	平安，10世紀後半		

第291図　4区3号住居跡遺物出土状態（西から）



第292図　4 区 3 号住居跡

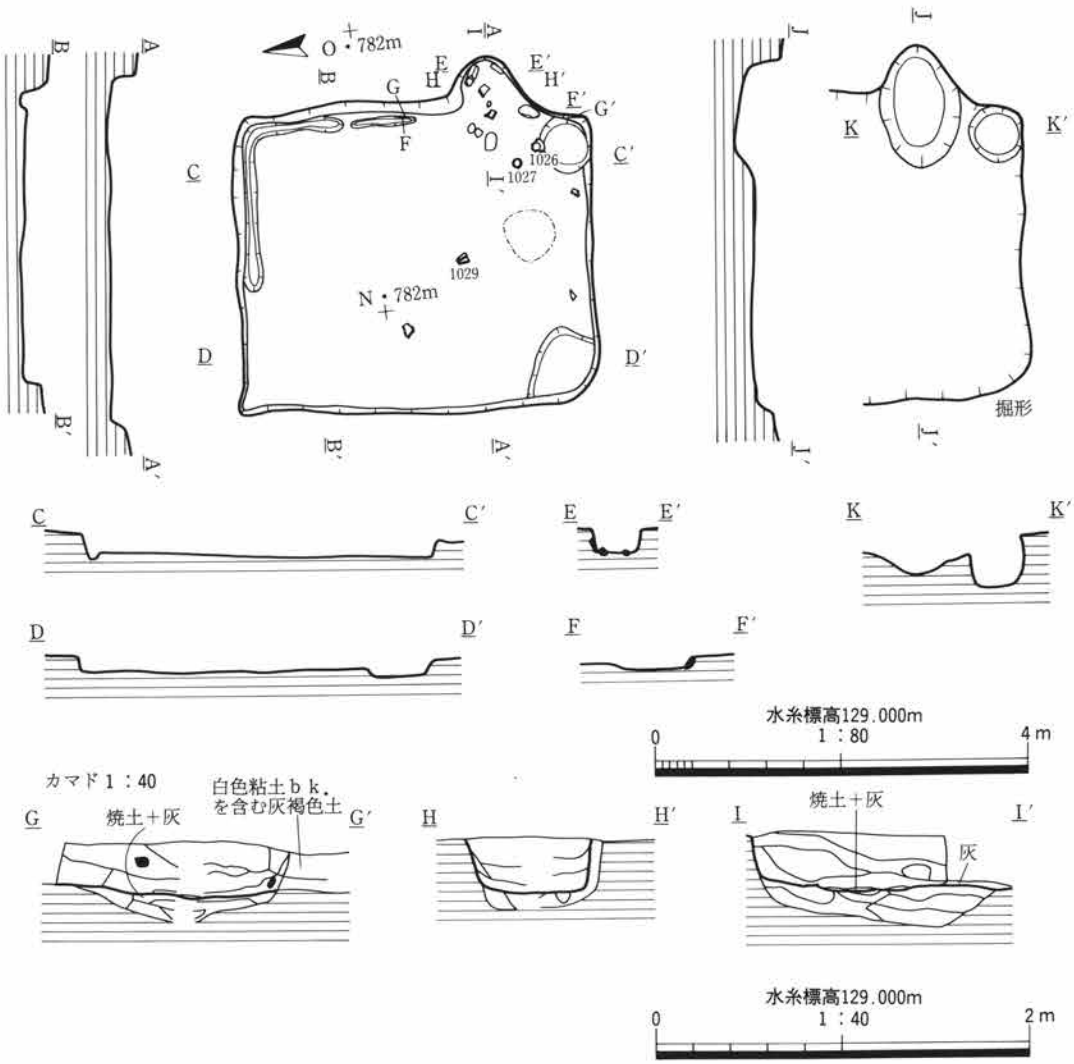
第293図　4 区 4 号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　4号住居跡（第293・689図，図版209）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　377×325，面積　12.3m²，壁高　6～25，長軸方位　N7度E	
壁　溝　幅　8～17，深さ　2～5	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N92度E，構築材　粘土・石，支脚　石？	
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　円形，上パ60×51，下パ42×45，深さ　37	

その他（状況の記録）

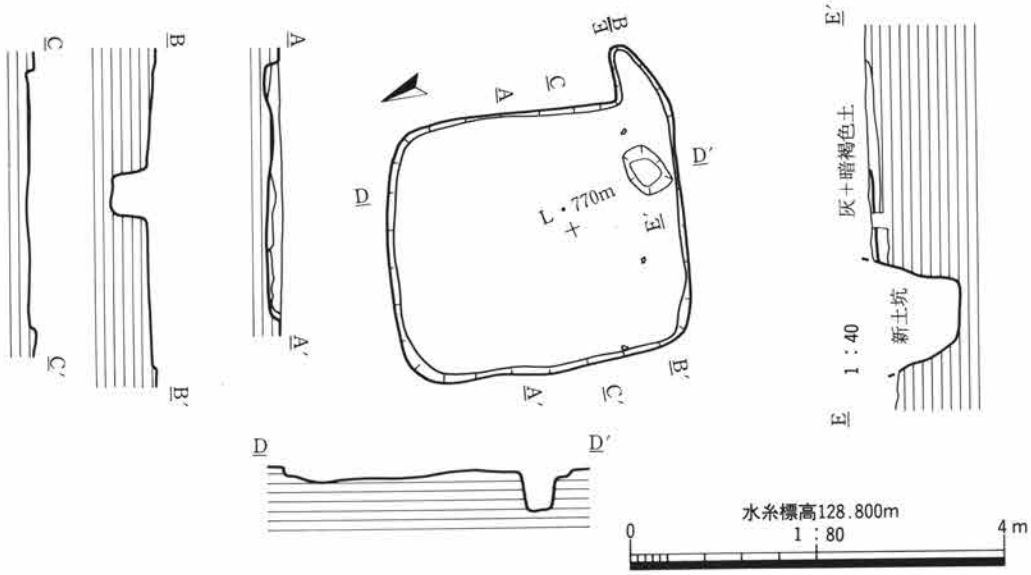
確　認　面：褐色土，5層	検出位置：N～Oライン・781m付近
重複関係：106住→4住，24住→4住	覆　　土：褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，細かい凹凸あり，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：東辺北半～北辺東半で検出，その他不明
カ　マ　ド：袖部不明，燃焼部奥壁は略三角形に突出する，奥壁に沿って細長い石2個出土，右袖基部に石を据える，燃焼部前に凝灰岩出土，土器小片出土	
貯　蔵　穴：底面から土器片出土	
掘　　形：カマド燃焼部は楕円形に掘り込む，凹凸あり	
そ　の　他：中央床面南寄りに径50～60の範囲で焼土分布，浅い掘り込み，南西隅は下層住居の一部か？	
遺　　物：土器186片，灰釉陶器壺・土師器高台付椀・還元焼成小皿・カマド内羽釜出土，1026・1027・1028・1029	
時　　期：平安，11世紀前半	



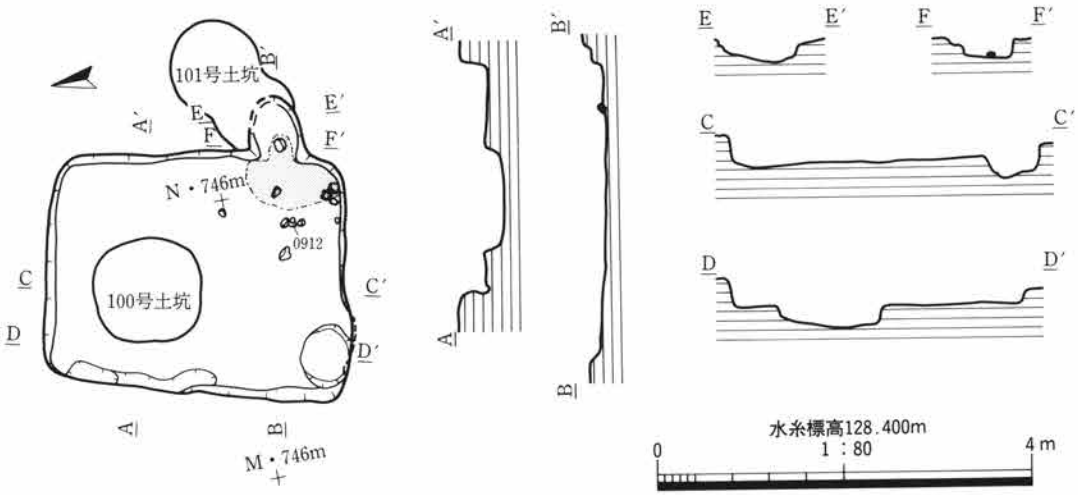
第294図　4区4号住居跡

三ッ寺II　4区　5号住居跡（第295図，図版210）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　315×278，　面積　8.8m²，　壁高　5～15，　長軸方位　N18度E	
壁　溝　不明	
カマド　位置　南東隅，　対称軸方位　－，　構築材　不明，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：褐色土，５層	検出位置：Lライン・769m付近
重複関係：周辺の住居より新しい，１７住→５住	覆　土：軽石を含む黄褐色系の土
壁　：浅い	床　面：平坦
主柱穴：－	壁　溝：－
カマド：南東隅の東辺側で東辺に対して直角方向へ煙道がのびる，削平されて焼土・灰の遺存少ない	
貯蔵穴：－	掘　形：－
その他：カマド前の掘り込みは灰層を切っているので本住居より新しい	
遺　物：土器120片・石1個，覆土から羽釜口縁部出土，掲載遺物なし	
時　期：重複関係・出土遺物から平安？	



第295図　4区5号住居跡



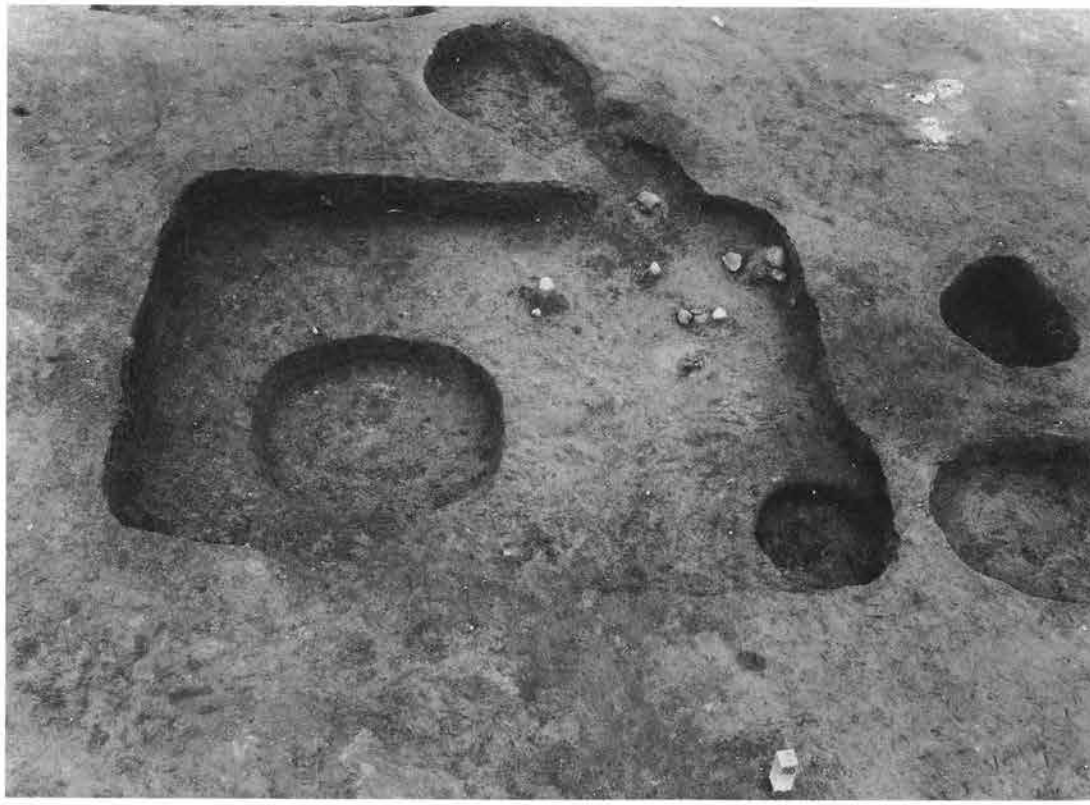
第296図　4区6号住居跡

三ッ寺II　4区　6号住居跡（第296・689図，図版211）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　312×255，面積　8.0m²，壁高　16～33，長軸方位　N15度E
壁　溝	幅　10～15，深さ　1～5
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N99度E，構築材　粘土・石？，支脚　石
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　楕円形，上パ67×53，下パ25×18，深さ　22

その他（状況の記録）

確　認　面	褐色土，5層，検出位置：Nライン・747m付近
重複関係	周辺住居→6住→100・101坑，26住→6住
覆　　土	灰褐色系の土，壁　：直に近い
床　　面	平坦，貼床，カマド前は灰・炭化物分布
主　柱　穴	－，壁　溝：西辺北半のみ壁溝状掘り込み検出
カ　マ　ド	袖部未検出，燃焼部奥壁の半分は101土坑により破壊，燃焼部やや右寄りに石支脚出土，カマド前から石9個出土，カマド構築材か？，燃焼部は壁外へ突出する
貯　蔵　穴	当初99土坑，底面中央くぼむ，南側は住居壁下奥へ入る
掘　　形	カマド掘形調査で土師器小型甕出土，東側下層住居のもの
そ　の　他	中央やや北の円形100号土坑は上層からの掘り込み，101号土坑も同様
遺　　物	覆土から須恵器高杯脚部・高台付椀底部・土師器甕体部片出土，カマド下層から略完形の土師器小型甕出土，0912（土師質高台付椀）
時　　期	平安，10世紀後半



第297図　4区6号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　7号住居跡（第298・689図，図版212・481）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　305×253，面積　7.7m²，壁高　5～13，長軸方位　N33度E
壁　溝	幅　10～14，深さ　1～3
主柱穴	不明
カマド	位置　南東辺中央南寄り，対称軸方位　N126度E，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	位置　西隅，平面形　円形，上パ径80，下パ43×36，深さ　26
その他（状況の記録）	
確　認　面	：褐色土，5層，検出位置：O～Pライン・744m付近
重複関係	：周辺住居より新しい，ピット1Aとの関係は不明，15住→7住，145住→7住
覆　　土	：黄褐色系の土，壁　：斜めに立ち上がる
床　　面	：遺物は浮いて検出，掘り過ぎか？，平坦，貼床
主　柱　穴	：－，壁　溝：北西辺中央部のみ検出
カ　マ　ド	：袖部不明確，燃焼部は壁外へ突出する，床下は深く掘り込む
貯　蔵　穴	：覆土から土器片出土
掘　　形	：カマド前から中央部にかけて溝状に深く掘り込む，凹凸著しい
そ　の　他	：南西辺中央で浅い掘り込み2カ所検出，ピット1；50×35・深さ6，ピット2；30×14・深さ8・壁に接する
遺　　物	：土器139片・石1個，遺物は全体に床面から浮いている，覆土から土師質高台付椀・黒色土器高台付椀・無台杯出土，0837（高台付椀，片口状割れ）・0838（灰釉陶器高台付椀，内底平滑）・0839
時　　期	：平安，11世紀前半

第298図　4区7号住居跡遺物出土状態（西から）

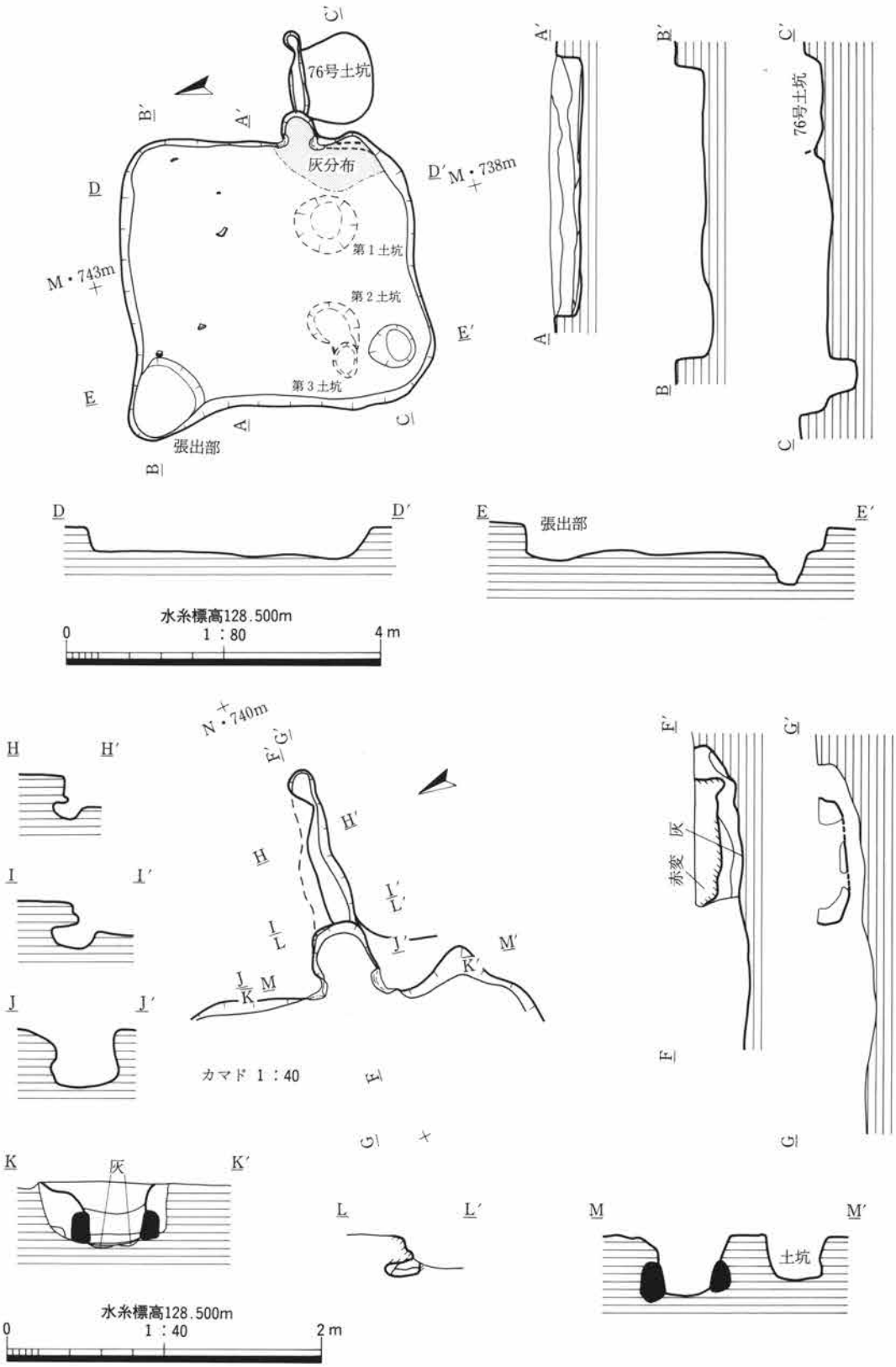
三ッ寺II　4区　8号住居跡（第299・689図，図版213・509）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　372×331，面積　12.3m²，壁高　29～41，長軸方位　N16度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N102度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　不整円形，上パ55×50，下パ42×32，深さ　32

その他（状況の記録）

確認面	褐色土，5層	検出位置	Mライン・740m付近
重複関係	8住→76坑，155住→8住	覆土	軽石を含む灰褐色系の土
壁	直に近い	床面	平坦，カマド前ややくぼむ，貼床
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	両袖部に石を据える，燃焼部は壁外へ突出する，煙道部約100cm検出，燃焼部と煙道部との境に段をもつ，燃焼部奥壁近くから土器片出土，カマド前に灰分布		
貯蔵穴	底面は楕円形を呈する		
掘形	土坑3基検出，第1土坑；81×72・深さ8，第2土坑；70×50・深さ11・中から石出土，第3土坑；42×31・深さ17		
その他	北西隅に略三角形の張出部をもつ，張出部は床面から12cm低い土坑状		
遺物	土器382片・石1個，覆土から須恵器すり鉢底部・土師器高杯出土，その他須恵器甕体部片・高台付杯底部・土師器内黒模倣杯出土，0682（鉄鏃）・0683（鉄鏃）・0836（土師器杯，小型）		
時期	平安，11世紀		

第299図　4区8号住居跡カマド（西から）



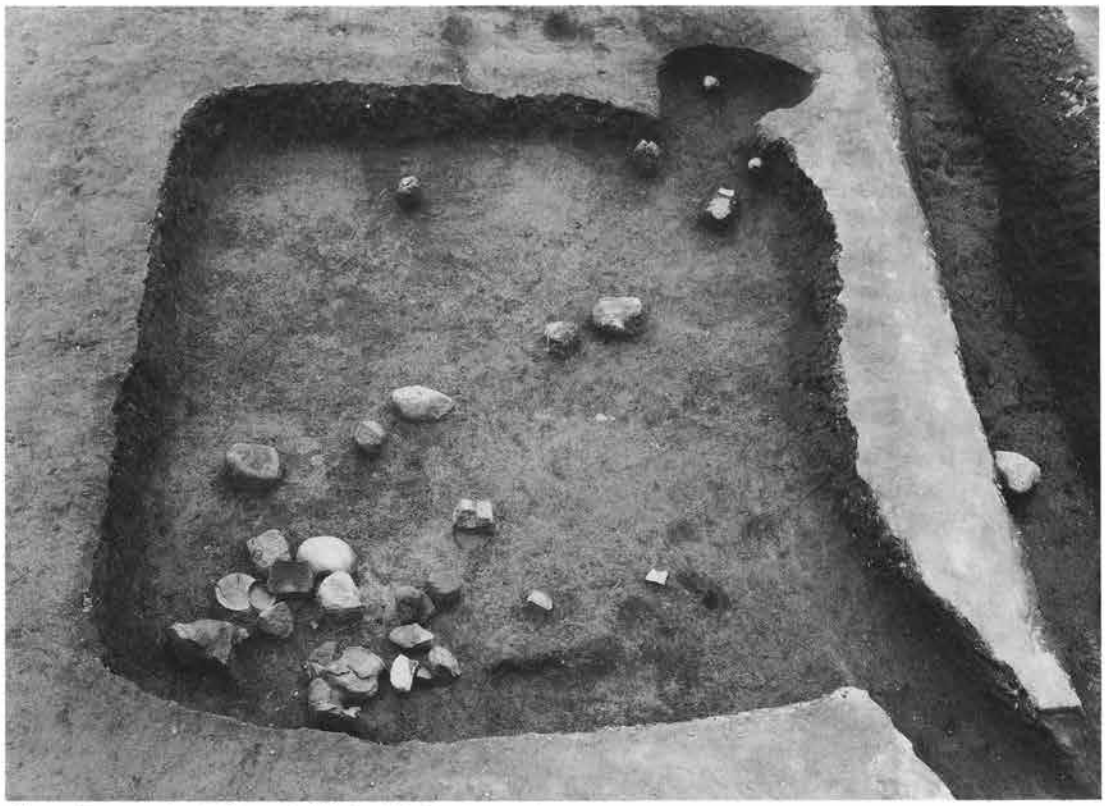
第300図　4 区 8 号住居跡

三ッ寺II　4区　9号住居跡（第301・689図，図版214）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

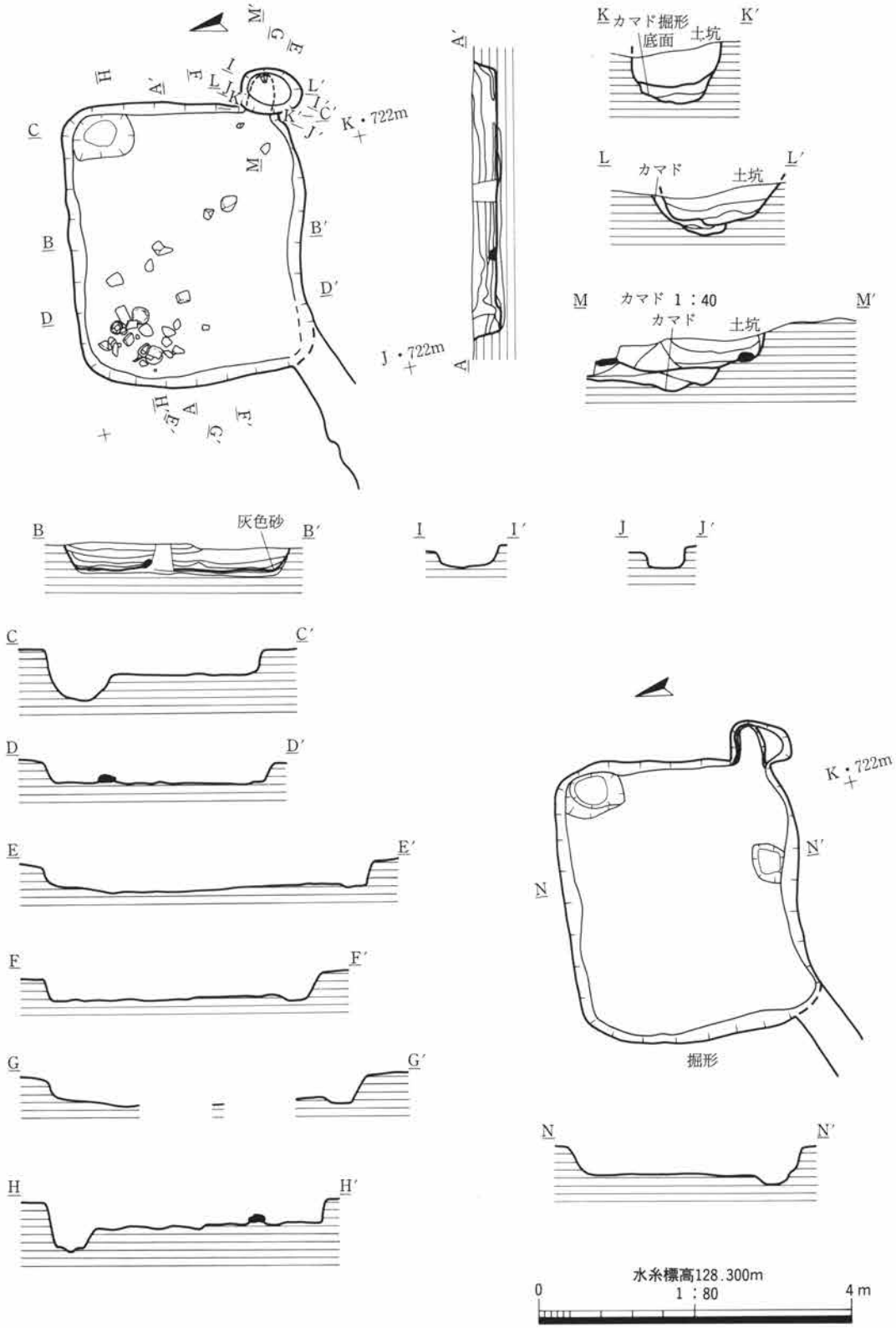
平面形	長方形，規模　358×297，面積　10.6m²，壁高　23～32，長軸方位　N102度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　南東隅，対称軸方位　－，構築材　粘土・石？，支脚　不明
貯蔵穴	位置　北東隅，平面形　長方形，上パ78×55，下パ41×30，深さ　27

その他（状況の記録）

確認面	褐色土，5層	検出位置	J～Kライン・724m付近
重複関係	65住・140坑→9住→B6溝	覆土	軽石を含む灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面	平坦，貼床
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	大半を土坑によって破壊されている，燃焼部は東辺と直角方向に突出する，カマド掘形調査で底面検出		
貯蔵穴	底面は楕円形を呈する，北東隅の壁に接して設置する		
掘形	南辺中央の壁に接して50×40・深さ8の不整形土坑検出，西側に小ピット多い		
その他	南西隅はB6号溝により破壊		
遺物	土器224片・石1個・鉄滓1個，火を受けた10cm大の丸石出土，0690・0691・0692・0693		
時期	平安，10世紀前半		



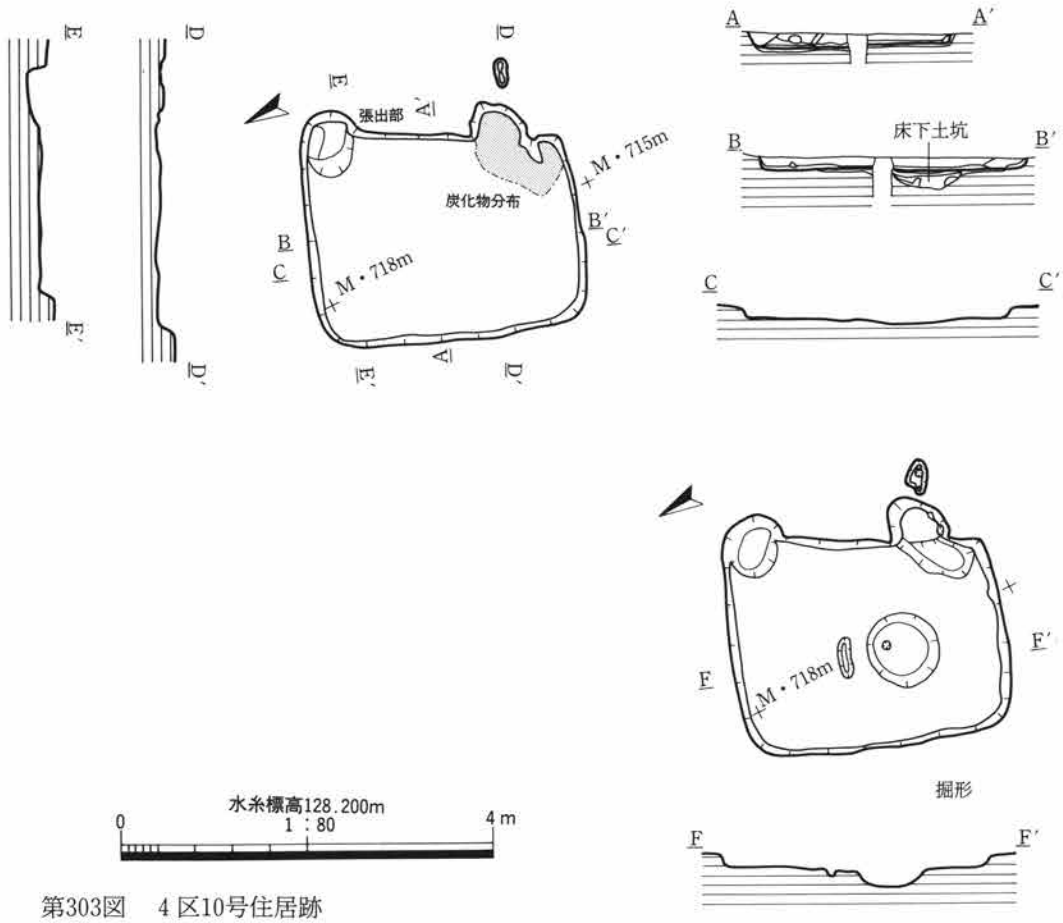
第301図　4区9号住居跡遺物出土状態（西から）



第302図　4 区 9 号住居跡

三ッ寺II　4区　10号住居跡（第303図，図版215）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

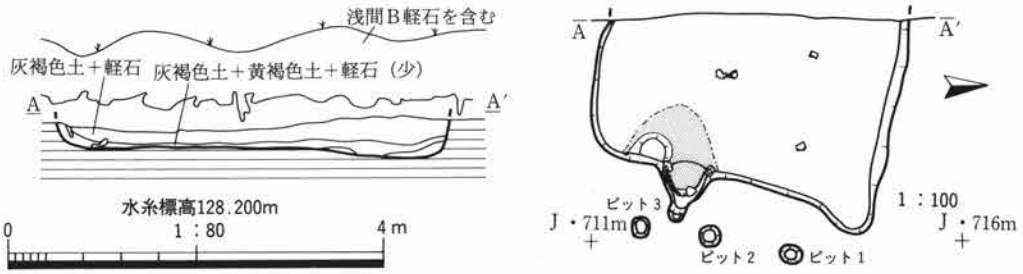
平面形　長方形，規模　291×223，面積　6.5m²，壁高　7～14，長軸方位　N25度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：褐色土，5層	検出位置：Mライン・717m付近
重複関係：B9溝→10住，68住→10住	覆　土：軽石を含む灰褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる，浅い	床　面：平坦，貼床，西側は低い
主柱穴：－	壁　溝：－
カマド：遺存不良，周辺に炭化物分布，燃焼部奥壁は住居壁と平行にならない，奥壁は角張る	
貯蔵穴：張出部か？	
掘　形：中央部に長さ42・幅13・深さ8の溝状掘り込み，中央部やや南寄りに径75・深さ18前後の掘り込み	
その他：北東隅に楕円形・深さ10の土坑状張出部検出	
遺　物：土器60片，カマドから須恵器大甕体部片・羽釜底部出土，覆土から高台付椀底部出土，遺物図掲載なし	
時　期：平安	



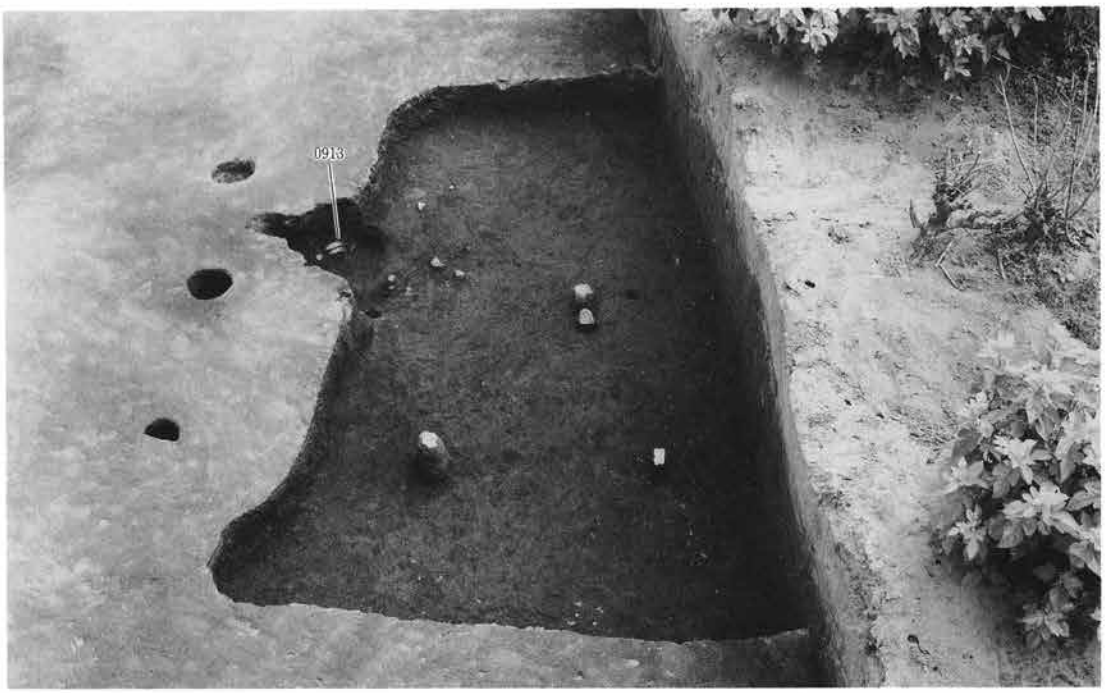
第303図　4区10号住居跡

三ッ寺II　4区　11号住居跡（第304・690図，図版216）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，規模　南北409，面積　－，壁高　24～38，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N104度E，構築材　粘土・石，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	検出位置：I～Jライン・712m付近
重複関係：周辺住居より新しい，58住→11住	覆　土：軽石を含む灰褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる	床　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部奥壁は角張る，燃焼部は東辺から突出する，煙道の一部検出，両袖部相当位置で径10・深さ4～5の小ピット検出（袖石抜跡か？），右袖部相当位置に高まりあり，カマド前の床面に炭化物分布，カマド前から土器片出土	
貯　蔵　穴：－	掘　形：－
そ　の　他：東辺に平行してピット3基検出，本住居との関係不明，ピット1：29×23・深さ16，ピット2：径27・深さ24，ピット3：21×28・深さ9，西半は調査区外にある	
遺　物：土器389片，カマド内から羽釜口縁部出土，覆土から土師質高台付椀出土，0913（土師質羽釜）	
時　期：平安，10世紀後半	



第304図　4区11号住居跡



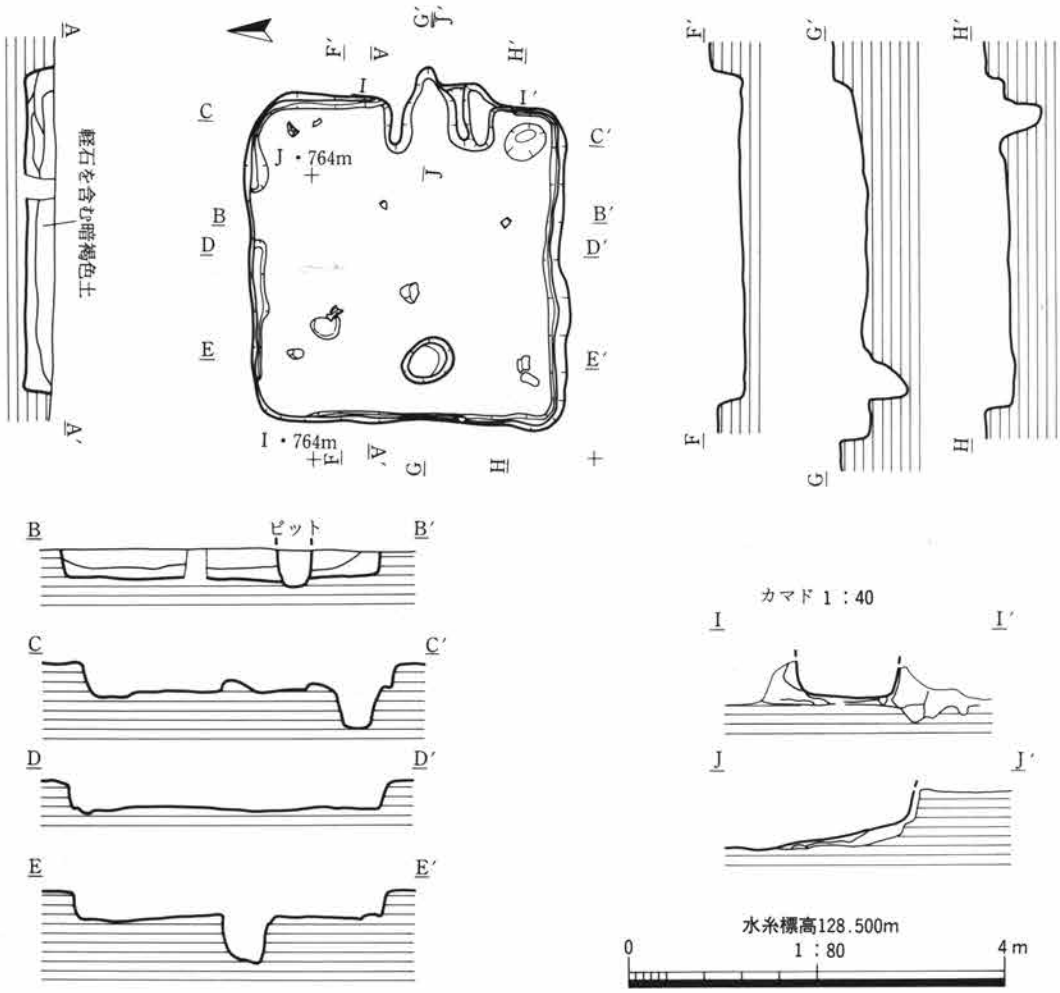
第305図　4区11号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区　12号住居跡（第306・690図，図版217）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　345×327，面積　11.3m²，壁高　24～41，長軸方位　N91度E
壁　溝	幅　7～16，深さ　1～4
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N90度E，構築材　粘土，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　楕円形，上パ43×36，下パ21×10，深さ　46

その他（状況の記録）

確認面	暗褐色土，5層下位	検出位置	I～Jライン・763m付近
重複関係	30住→12住	覆土	軽石を含む褐色系の土
壁	直に近い	床面	平坦，中央ややくぼむ，貼床
主柱穴	西辺寄り中央ピットは30号住居主柱穴		
壁溝	北西隅・北辺中央を除き全周，カマド左袖際まで壁溝検出		
カマド	燃焼部奥壁は住居壁の外に突出する，煙道一部遺存		
貯蔵穴	上パの縁にやや高まりがある，平面形の長軸は住居の対角線方向		
掘形	カマド前に不整形の掘り込み，西辺中央壁溝内に小ピット検出，北辺中央やや南寄りに楕円形の掘り込み，凹凸著しい，黄褐色土の面に達する		
その他遺物	石・土器片は全面に散布 土器444片，土師器甕口縁部出土（掲載なし），18cm大の細長い石出土（南西隅），覆土から土師器内斜杯・模倣杯・多孔式甑底部（11孔以上）・灰釉陶器出土，0914（土師器杯）		
時期	古墳後期，7世紀前半		



第306図　4区12号住居跡

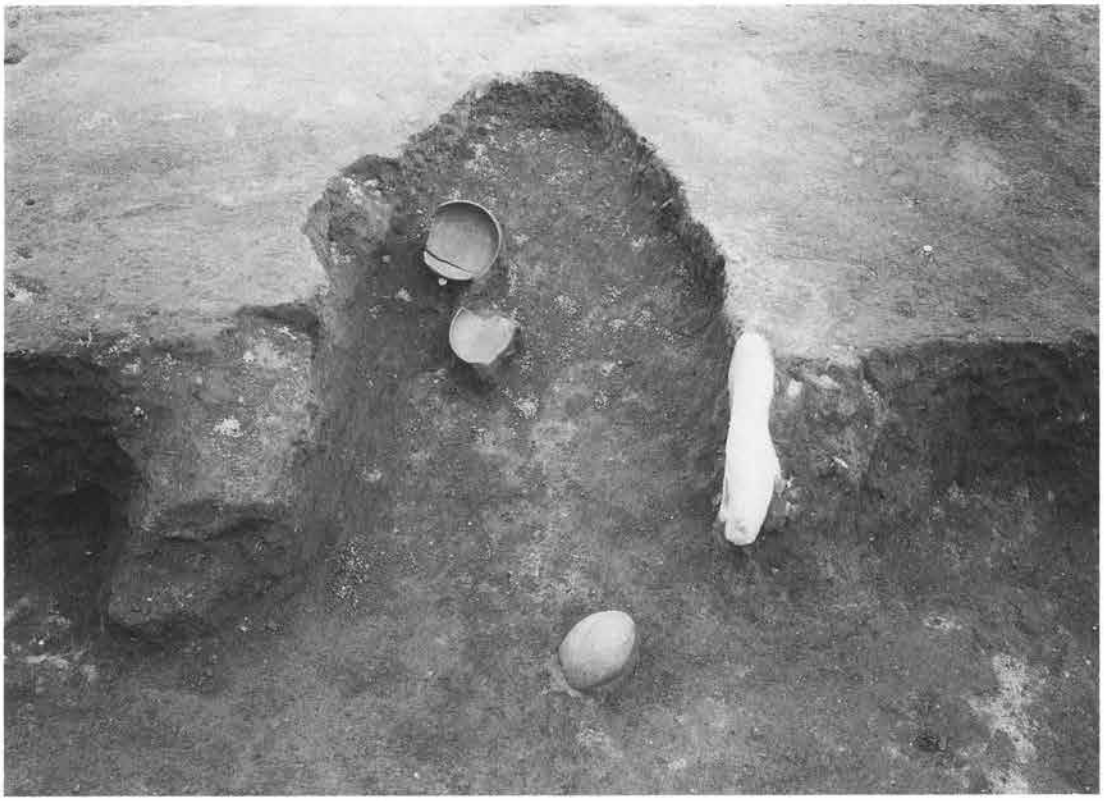
三ッ寺II　4区　13号住居跡（第307・690図，図版218・481）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	台形，規模　東西352×南北345，面積　12.1m²，壁高　14～24，長軸方位　N98度E
壁　溝	幅　14～28，深さ　1～4
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　N103度E，構築材　粘土・石，支脚　土器？
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ45×40，下パ25×20　，深さ　34

その他（状況の記録）

確　認　面	暗褐色土，5層下位，検出位置：Jライン・772m付近
重複関係	14・49住→27住→13住→36坑，25・26・27坑との関係不明
覆　　土	軽石を含む褐色系の土，壁　：斜めに立ち上がる
床　　面	貼床，カマド前堅く締まる，西側はやや低い，北側は下層住居のためか軟弱
主 柱 穴	－，壁　溝：南辺～西辺で検出
カ マ ド	右袖部に細長い石を据える，焚口～煙道部は段がない，燃焼部の半分は壁外へ突出する
貯 蔵 穴	上パの周縁がやや高くなる，西側は二段に掘り込む，南西側の床面から土器出土
掘　　形	黄褐色土の面に達する，凹凸著しい
そ の 他	東辺290・北辺335・西辺340・南辺287，下層・周辺住居の影響で一部掘り過ぎている
遺　　物	土器533片，南辺東寄り壁際から径13cmの土師器杯・カマド燃焼部から径10cmの土師器杯出土，覆土から滑石製紡錘車小片・須恵器杯底部・須恵器高杯脚部出土，甕類の出土なし，鬼高期の杯多い，1045（須恵器杯）・1046・1047・1048（カマド出土破片接合，外面炭化物）・1049・1050
時　　期	古墳後期，7世紀後半

第307図　4区13号住居跡遺物出土状態（西から）



第308図　4区13号住居跡カマド遺物（西から）

第309図　4区13号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）

三ッ寺II　4区　14号住居跡（第310・690図，図版218・482）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	略方形，規模　694×東西691（742），面積　48.0（51.5）㎡，壁高　19～30，長軸方位　N101度W
壁　溝	幅　11～15，深さ　5前後
主柱穴	確定せず
カマド	位置　西辺中央南寄り，対称軸方位　N105度W，構築材　粘土，支脚　石？
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　長方形，上パ67×50，下パ35×28，深さ　87

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：I～Lライン・777m付近

重複関係：14下住→14・49住→47住，14住→51住→23・48住

覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：直に近い　　床　　面：平坦，薄い貼床

主　柱　穴：重複のため不確定，所見図参照　　壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインの内側にある，加工痕のある紡錘形の石が燃焼部やや右寄りで出土，
左袖部遺存不良，カマド前の床下から小穴検出

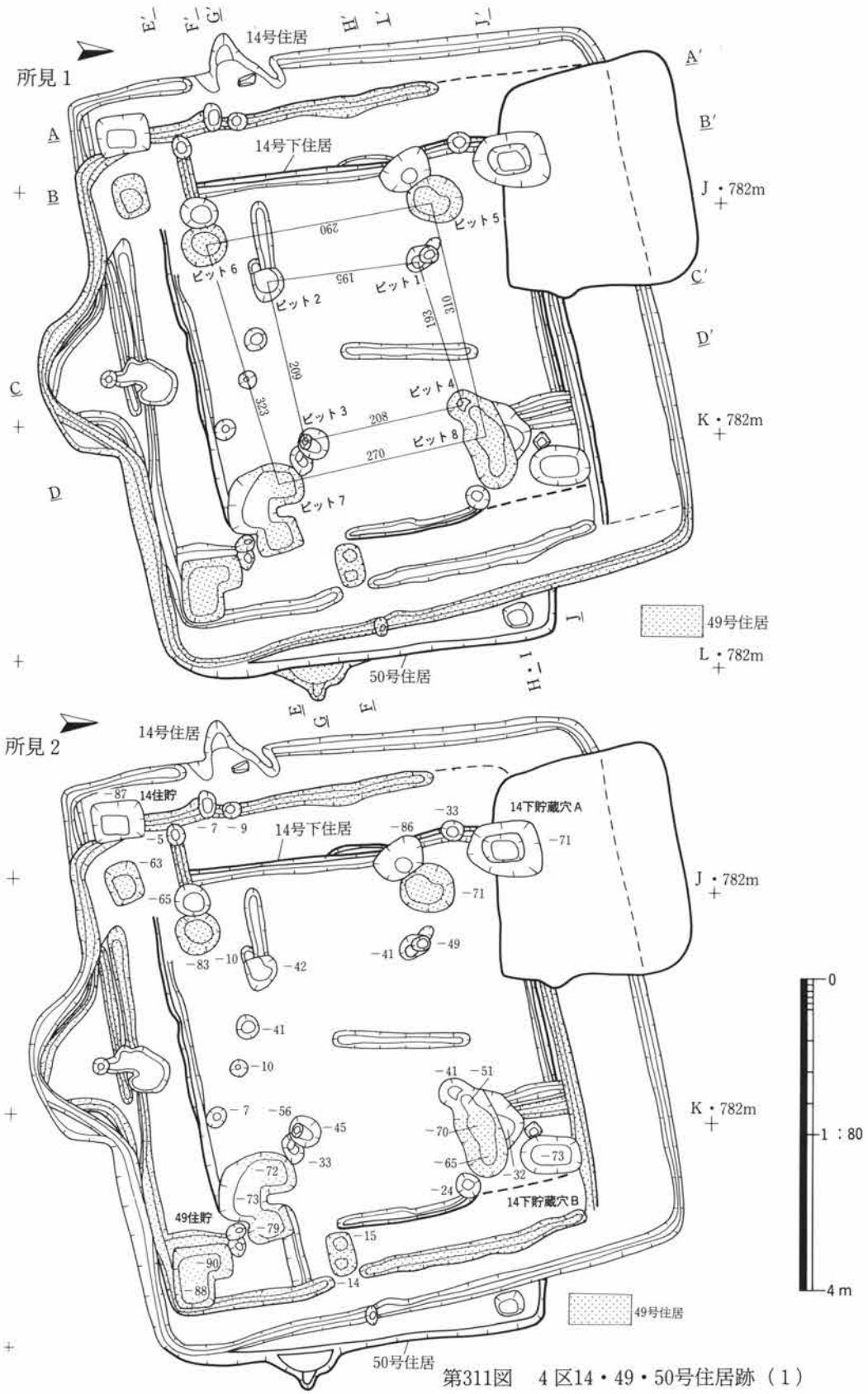
貯　蔵　穴：底面も長方形，直線的に掘り込む　　掘　　形：14号下住居壁溝を検出

そ　の　他：14・14下・49・50号住居が重複，土層観察用アゼを残し掘り下げた，所見1・2の案，
所見1：49号（東側）→14号（西側）の東西方向建て替え，
所見2：49号（内側）→14号（外側）の同心円的拡張建て替え，
中央部で南北方向の溝状遺構検出（不明），南辺中央部で張出部検出（出入口），
東側の50号住居壁にかかるのはカマド痕跡

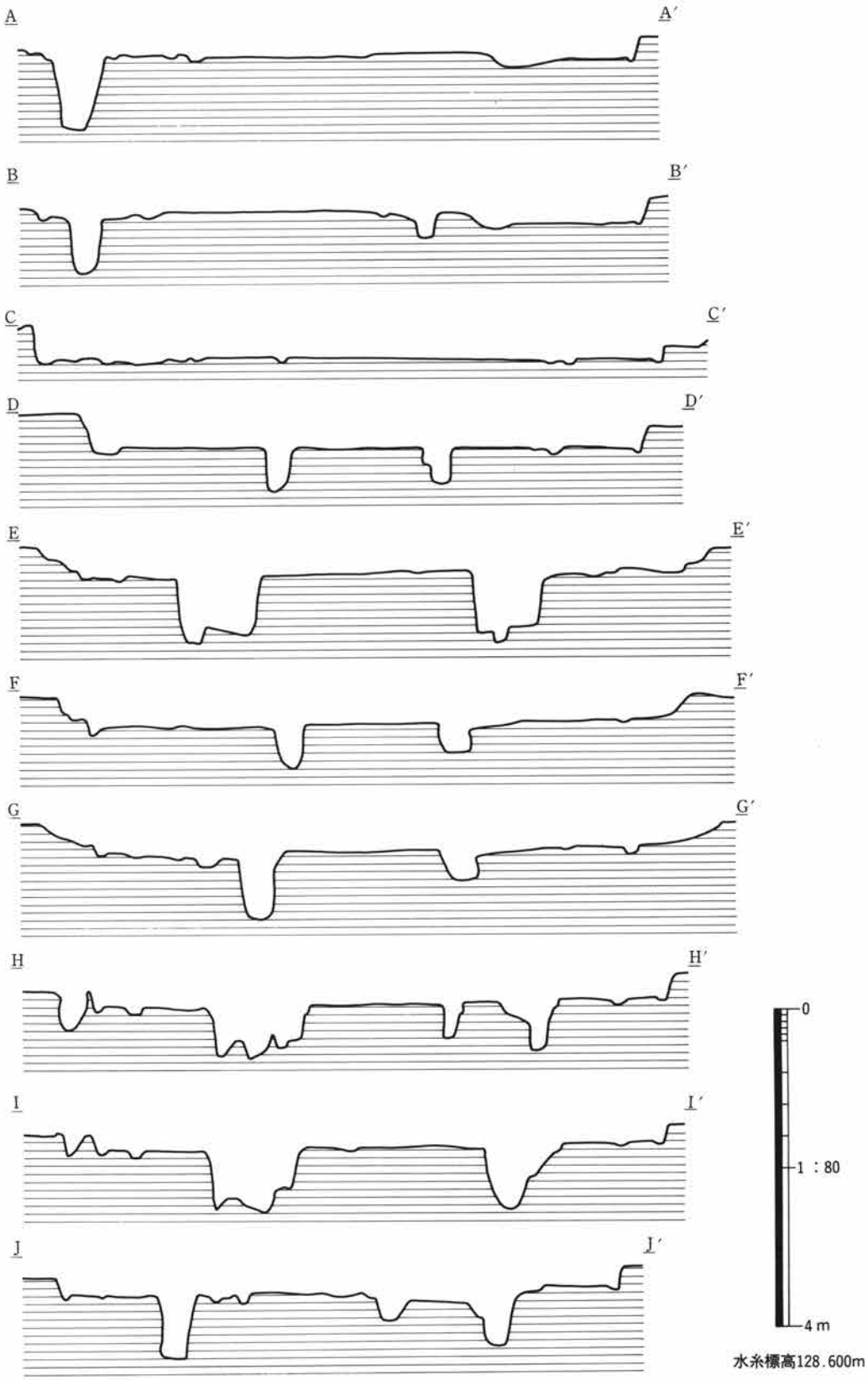
遺　　物：土器875片・石1個，重複が著しいため混入の可能性大，甕破片多い，土師器高杯脚部（短脚）・
大型甕出土，
1051・1052・1053・1054・1055・1056・1057（石製支脚？）・1058（滑石製紡錘車，掘形）

時　　期：古墳後期，6世紀後半

第310図　4区14・49・50号住居跡遺物出土状態（東から）



第311図　4区14・49・50号住居跡（1）



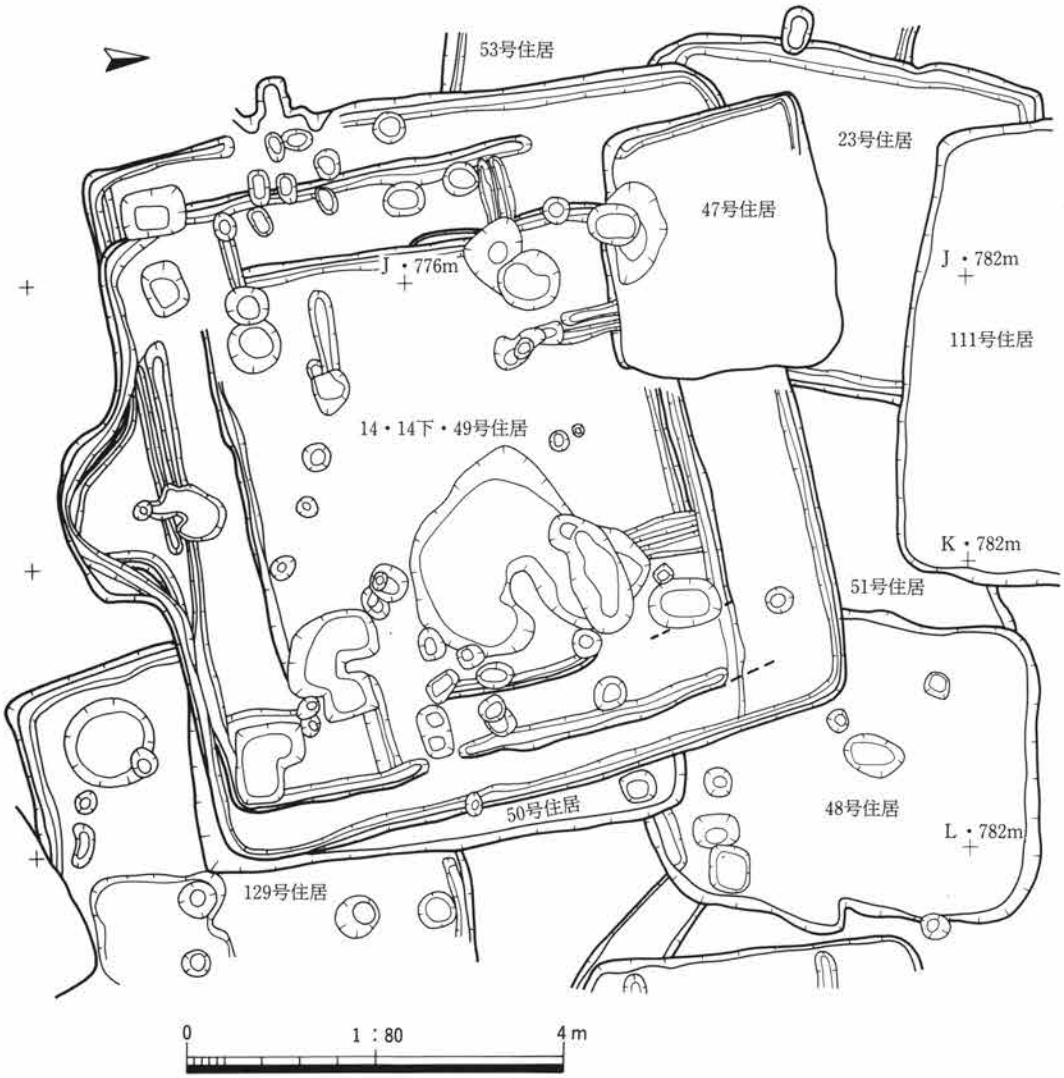
第312図　4区14・49・50号住居跡（2）断面

三ッ寺II　4区　14号下住居跡（第313図，図版218）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形？，規模　東西480×南北463（488），面積　22.2（23.4）㎡，壁高　－，長軸方位　N101度W						
壁　溝　幅　15～23，深さ　5前後						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	42×30	48	38	38	1－2：195	2－3：209
下パ径	15	27	10	15	3－4：208	4－1：193
深　さ	41	42	56	41		
カマド　不明						
貯蔵穴　A；位置　北西隅，平面形　長方形，上パ98×70，下パ35×24，深さ　71 B；位置　北東隅，平面形　楕円形，上パ75×50，下パ48×26，深さ　73						

その他（状況の記録）

確　認　面：14号住居下	，検出位置：I～Lライン・777m付近
重複関係：14下住→14・49住→47住	，覆　　土：－
壁　　：－	，床　　面：－
主　柱　穴：1～2回の建て替えか？	，壁　　溝：北辺～北東隅不確定
カ　マ　ド：－	，貯　蔵　穴：北辺の東西隅の掘り込みを推定
掘　　形：－	，そ　の　他：北辺は壁溝2本検出，外側は別住居所属か？
遺　　物：14号住居所属の1058（滑石製紡錘車）は本住居のものか？，遺物図掲載なし	
時　　期：重複関係・相互の位置関係から古墳後期	



第313図　4区14・49・50号住居跡（3）掘形

三ッ寺II　4区　15号住居跡（第314・691図，図版219）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	台形，規模　346×322，面積　11.1m²，壁高　4～24，長軸方位　N14度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N112度E，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	不明
その他（状況の記録）	
確　認　面	暗褐色土，5層下位，検出位置：Kライン・768m付近
重複関係	30住→15住→B1溝，16住→15住
覆　　土	浅間B軽石を含む黒褐色系の土，壁　：斜めに立ち上がる，浅い
床　　面	北側に凹凸あり，カマド前を除き床下か？
主 柱 穴	－，壁　溝：－
カ マ ド	袖部未検出，燃焼部は壁外へ突出する
貯 蔵 穴	ピット3か？，掘　形：凹凸著しい
そ の 他	中央部をB1溝により破壊，東辺322・北辺300・西辺359・南辺255， ピット1；径43・深さ7，ピット2；80×52・深さ19，ピット3；径70・深さ15， ピット4；43×34・深さ12，ピット5；径36・深さ15，ピット6；37×33・深さ16， いずれも主柱穴とはみられない
遺　　物	土器235片・石2個，カマド内から土釜破片・中央やや北寄りから円筒埴輪片出土， 0921（土師質甕）
時　　期	平安，11世紀

第314図　4区15号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　16号住居跡（第315・691図，図版220）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　東西255×南北400以上，面積　－，壁高　2～19，長軸方位　N6度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確　認　面	暗褐色土，5層下位，検出位置：K～Lライン・766m付近
重複関係	221坑→40住→16住→15住→B1溝・119坑
覆　　土	軽石を含む灰褐色系の土，壁　：浅い，斜めに立ち上がる
床　　面	平坦
主　柱　穴	－，壁　溝：－
カ　マ　ド	東辺119坑付近の土層断面で焼土を検出，119坑により破壊か？
貯　蔵　穴	－，掘　形：－
そ　の　他	南東隅・南西隅検出，B1溝北側で西辺延長部検出，東辺265・南辺247・西辺105＋22，西辺中央は15住カマドにより破壊，北辺未検出
遺　　物	土器155片・石2個，覆土から須恵器無台杯・羽釜口縁部・灰釉陶器椀口縁部出土，0924（土師質高台付椀）
時　　期	平安，11世紀

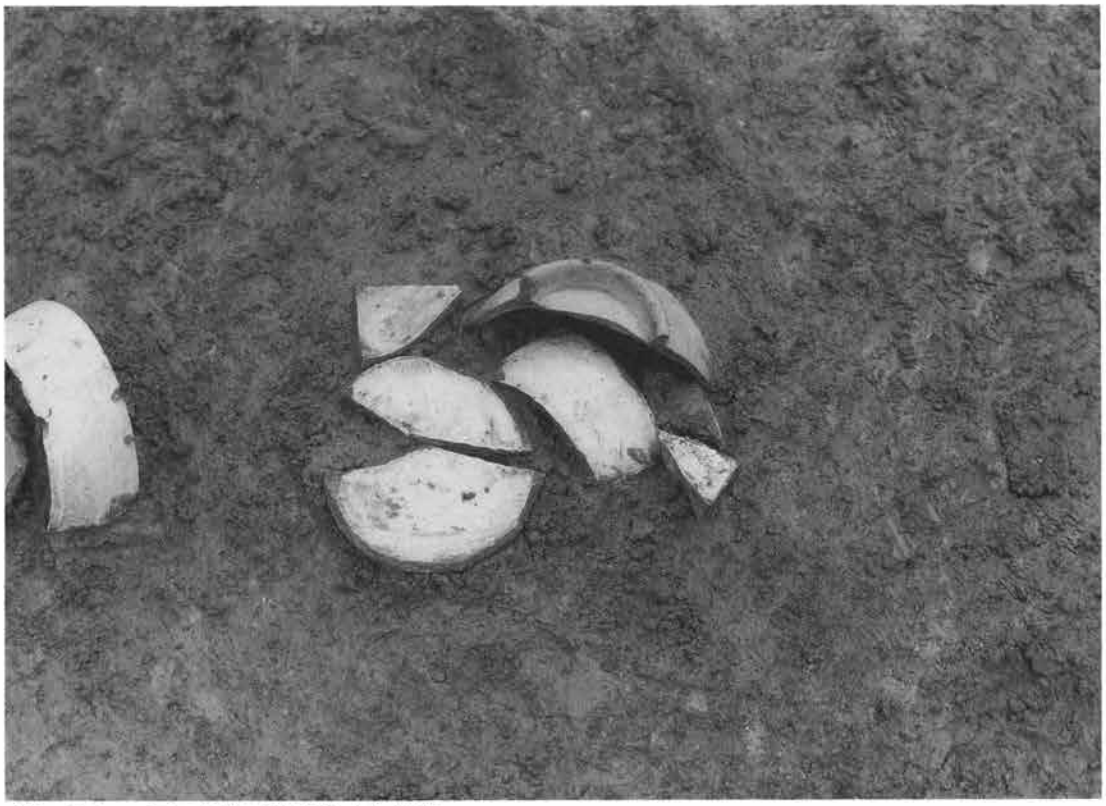
第315図　4区16号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　17号住居跡（第316・691図，図版220・482）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

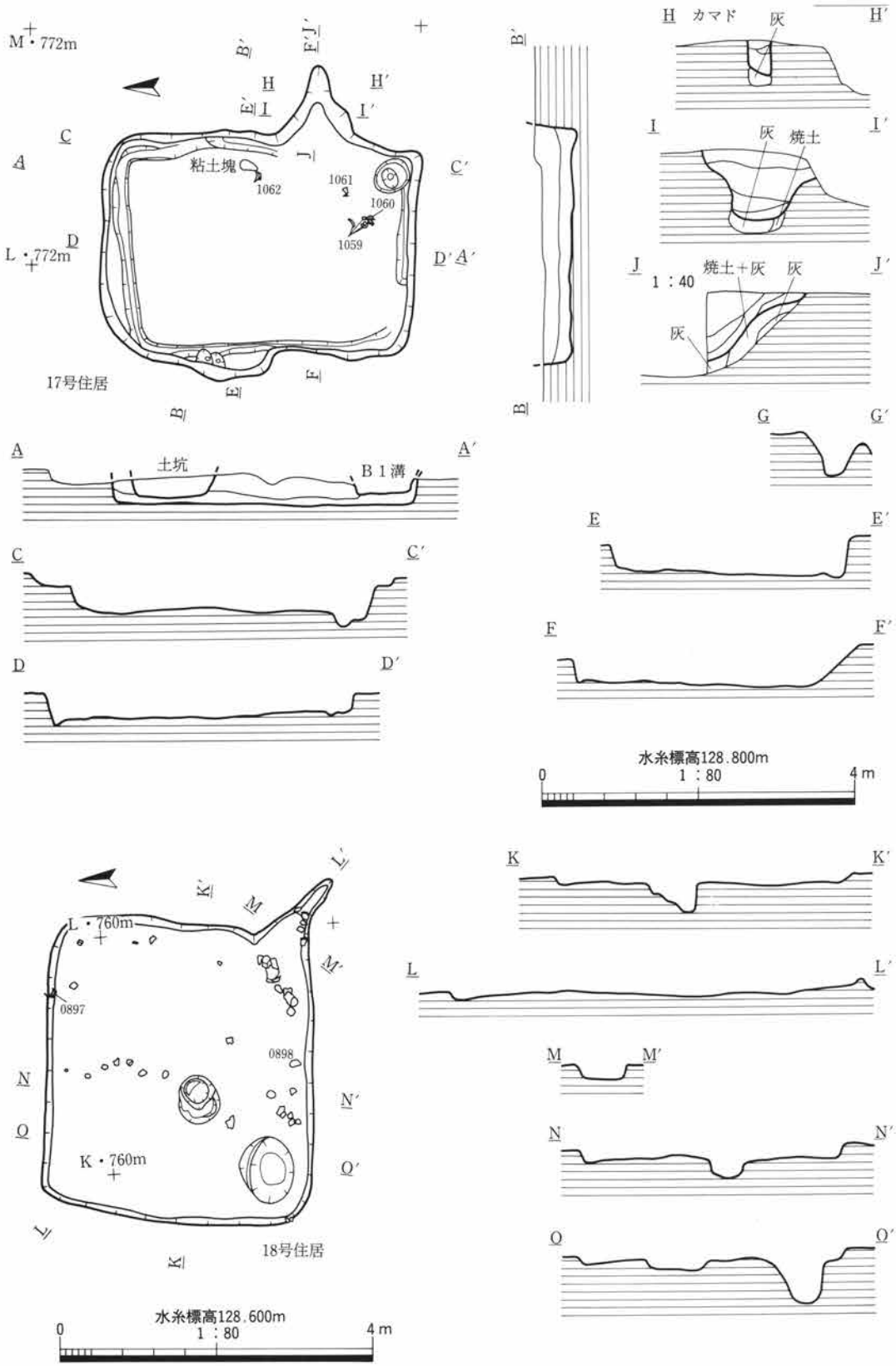
平面形	長方形，規模 399×276，面積 11.0m²，壁高 22～49，長軸方位 N2度E
壁溝	幅 8～23，深さ 1～5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り，対称軸方位 N94度E，構築材 粘土，支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 楕円形，上パ48×40，下パ径8，深さ 20

その他（状況の記録）

確認面	暗褐色土，5層下位，検出位置：L～Mライン・769m付近
重複関係	17住→5住，46住→40住→17住→B1溝
覆土	軽石を含む黒褐色系の土，壁：直に近い
床面	平坦，貼床，カマド前軟弱（下層住居のためか）
主柱穴	－，壁溝：南辺西端を除き全周
カマド	袖部未検出，燃焼部は三角形を呈する
貯蔵穴	二段に掘り込む，長軸は住居対角線方向
掘形	－
その他	北辺～西辺北半の上パ線は不明確，掘り過ぎか？，西辺北半に突出部あり（張出部？）
遺物	土器409片，覆土から須恵器カエリのある蓋・高杯脚部（透かし）・壺口縁部出土，南東壁外から須恵器無台杯（完形）出土，粘土塊（東辺中央壁際床面）出土，1059（須恵器杯，外底右回転糸切・ヘラ調整）・1060（須恵器高台付杯）・1061（土師器杯）・1062（土師器甕口縁部）
時期	奈良，8世紀後半



第316図　4区17号住居跡遺物出土状態



第317図　4区17・18号住居跡

三ッ寺II　4区　18号住居跡（第317・691図，図版221・483）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　375×340，面積　12.8m²，壁高　9～22，長軸方位　N98度E
壁　溝	不明
カマド	位置　南東隅，対称軸方位　N135度E，構築材　粘土，支脚　土器？または円筒形土製品？
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　楕円形，上パ83×68，下パ40×31，深さ　51

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位　　，検出位置：K～Lライン・758m付近

重複関係：周辺住居より新しい，土坑との関係は不明，41住→18住

覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土　　，壁　　：直に近い

床　　面：平坦，貼床

主柱穴：－　　，壁　　溝：－

カ　マ　ド：燃焼部・煙道部は住居対角線方向に延びる，燃焼部・煙道部との境は滑らか，袖部未検出，
燃焼部・カマド前から土器出土，いずれも破片のみ

貯　蔵　穴：北側は二段に掘り込む，内部からの出土遺物なし

掘　　形：－

そ　の　他：住居中央部でピット1：61×51・深さ36検出，内部は二段に掘り込む

遺　　物：土器241片・石9個，覆土から羽釜または甑破片出土，カマドから埴輪または円筒形土製品出土，
0897（土師質杯）・0898（円筒形土製品）

時　　期：平安，10世紀前半

第318図　4区18号住居跡（西から）

三ッ寺II　4区　19号住居跡（第319・691図，図版221・483）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北410×東西300以上，　面積　－，　壁高　22～35，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，　対称軸方位　N116度E，　構築材　粘土・石？，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	検出位置：I～Jライン・738m付近
重複関係：55住→19住→20住	覆　　土：軽石を含む灰褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：右袖部に石を据える，カマド前に散布する石はカマド構築材か？，左袖部付近は半円形の土坑状に掘り込む，上層からの土坑掘り込みか？	
貯　蔵　穴：－	掘　　形：－
そ　の　他：西辺未検出，西半は調査区外にある，北辺300・東辺358・南辺261	
遺　　物：土器256片，灰釉陶器小片（輪花？，緑釉？），覆土から須恵器高台付椀・甕体部片・土師器甕体部片出土，0829（土師質杯）・0830（灰釉陶器椀）・0831（須恵器甕破片）	
時　　期：平安，11世紀前半	

三ッ寺II　4区　20号住居跡（第283図，図版221）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，　規模　－，　面積　－，　壁高　－，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺？，　対称軸方位　－，　構築材　粘土？，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	検出位置：Iライン・737m付近，壁中
重複関係：19住→20住	覆　　土：－
壁　　：－	床　　面：－
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：焼土混じりの煙道立ち上がりを検出	貯　蔵　穴：－
掘　　形：－	そ　の　他：住居本体は西側調査区外にある
遺　　物：土器12片，小片のみ，遺物図掲載なし	
時　　期：平安	

第319図　4区19号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区　21号住居跡（第320・692図，図版222・483）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模 550×524，面積 28.8m²，壁高 4～20，長軸方位 N9度E					
壁 溝	幅 10～20，深さ 1～5					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下ハ心心）	
上ハ径	27×22	27×33	37×30	径31	1－2：224	2－3：260
下ハ径	17×13	径12	径15	12×16	3－4：225	4－1：235
深 さ	90	50	48	40		

カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明
貯蔵穴　不明，北東隅壁溝外の長方形掘り込みか？（隣接40号住居のものか？）

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位　　，検出位置：Mライン・763m付近，22住床下
重複関係：40住→21住→22住，128住→38住→127住→21住→41住→18住
覆　　土：黄褐色土bk，を含む暗灰色系の土　　，　壁　　：直に近い
床　　面：黄褐色土面に達する，堅い，細かい凹凸あり
主 柱 穴：4本検出，その他小径ながら比較的深いピット多い
壁　　溝：南西部（未検出）はやや浅い高さにあったか？
カ マ ド：燃焼部は住居壁ライン位置，奥壁は滑らかに煙道部に移行する，左袖部前で小石出土
貯 蔵 穴：南東隅ピット15中から略完形土器（土師器杯）出土，他に比較して小さい
掘　　形：－
そ の 他：両袖前に小ピット（5・6）検出，主柱穴脇・住居中央からもピット検出，
ピット5；28×30・深さ32，ピット6；24×19・深さ53，ピット7；20×15・深さ55，
ピット8；25×20・深さ26，ピット9；44×39・深さ27，ピット10；23×18・深さ37，
ピット11；方形26×24・深さ19，ピット12；30×23・深さ19，ピット13；径20・深さ8，
ピット14；25×28・深さ36，ピット15；径30・深さ89，ピット16；径30・深さ49
遺　　物：土器790片・石6個・滑石剝片2，須恵器壺口縁部・ケズリ甕底部・土師器甕体部片多数出土，
覆土から甑底部・外稜杯・模倣杯・須恵器大型甕口縁部出土，
0929・0930・0931・0932・0933（須恵器蓋，覆土）
時　　期：古墳後期，7世紀後半

第320図　4区21号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　22号住居跡（第321・692図，図版223）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　316×272，面積　8.6m²，壁高　6～20，長軸方位　N14度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　楕円形，上パ70×63，下パ37×27，深さ　37

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層　　検出位置：Mライン・765m付近

重複関係：124坑→22住→53・79・119坑，21・41住→22住

覆　　土：浅間B軽石を含む茶褐色系の土　　壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：－　　壁　　溝：－

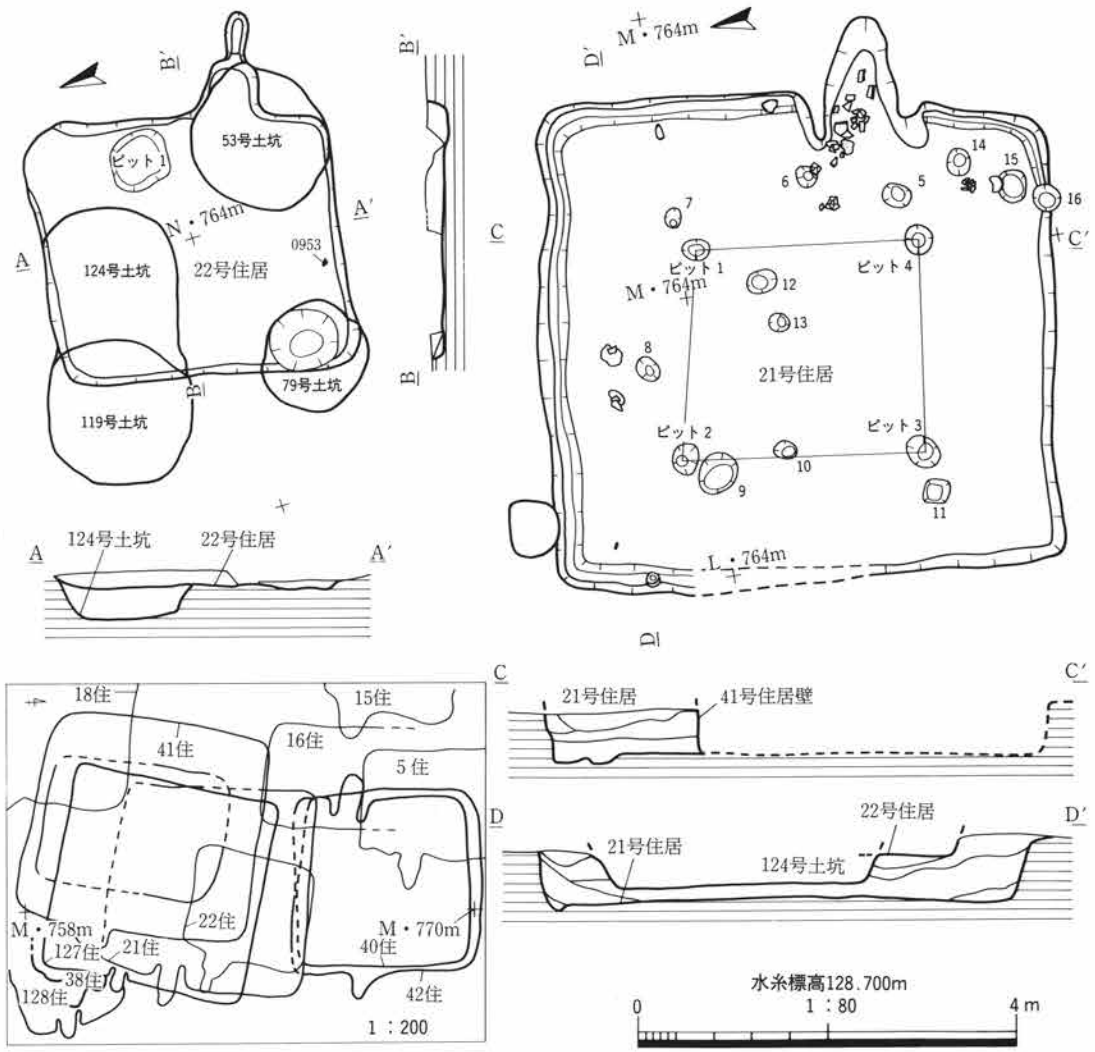
カ　マ　ド：カマド付近を53土坑により破壊，奥壁左側のみ検出，奥壁は角張る，煙道部との境に段あり，煙道部長さ45

貯　蔵　穴：79土坑下位で検出　　掘　　形：－

そ　の　他：東辺やや北寄りでピット1検出，ピット1：61×63・深さ13

遺　　物：土器104片，覆土から須恵器甕口縁部・土師質大型甕口縁部・ケズリ甕体部片出土，0953（灰釉陶器高台付皿）

時　　期：平安，10世紀後半



第321図　4区21・22号住居跡

三ッ寺II　4区　２３号住居跡（第322・692図，図版223・483）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北（450）×364，面積　（16.4）m²，壁高　13～32，長軸方位　（N11度E）	
壁　溝　幅　11～16，深さ　2～10	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N105度E，構築材　粘土・石？，支脚　石	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，５層下位	検出位置：Jライン・781m付近
重複関係：５３住→１４住→４７住→１１１住→２３住，１４住→５１住→２３・４８住	
覆　　土：浅間C軽石を含む暗褐色系の土	壁　　：直に近い
床　　面：平坦，貼床，一部軟弱	主　柱　穴：－
壁　　溝：南辺未検出，北東部は１１１号住居により破壊	
カ　マ　ド：右袖部やや短い，燃焼部中央に10cm大の浮いた石出土，奥壁は略三角形を呈する，住居壁ラインの位置に（燃焼部奥寄り）石を据える，石周囲に土師器甕破片分布，焚口～燃焼部は浅くくぼむ	
貯　蔵　穴：－	掘　　形：－
そ　の　他：北東隅未検出，南辺は重複関係確認作業中に破壊，南東隅・南西隅検出	
遺　　物：土器1049片，覆土から須恵器長頸壺・無台杯・ケズリ甕体部片出土，1016・1017・1018・1019・1020（土師器広口甕，鉢形）	
時　　期：奈良，８世紀後半	

第322図　４区23号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　24号住居跡（第323・692図，図版224・484）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模 419×417，面積 17.5m²，壁高 13～37，長軸方位 N90度E					
壁溝	幅 7～15，深さ 1～9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	23×20	16×21	36×30	22×34	1－2：157	2－3：178
下パ径	16×11	9×13	18×12	16×13	3－4：148	4－1：192
深さ	29	36	45	34		
カマド	位置 東辺中央，対称軸方位 N88度E，構築材 粘土，支脚 石・土器					
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 円形，上パ72×68，下パ径20，深さ 55					

その他（状況の記録）

確認面：暗褐色土，5層下位　　検出位置：Mライン・780m付近

重複関係：118住→24（＝108）住→4住　　覆土：黄褐色土bk，を含む灰褐色系の土

壁：直に近い　　床面：平坦，貼床，下層あり

主柱穴：上位で不明，下層で検出　　壁溝：全周する，掘形ではカマド袖下でも検出

カマド：燃焼部奥壁は直に近く立ち上がる，支脚は石の上に高杯を逆位に置く，支脚は燃焼部やや左寄り

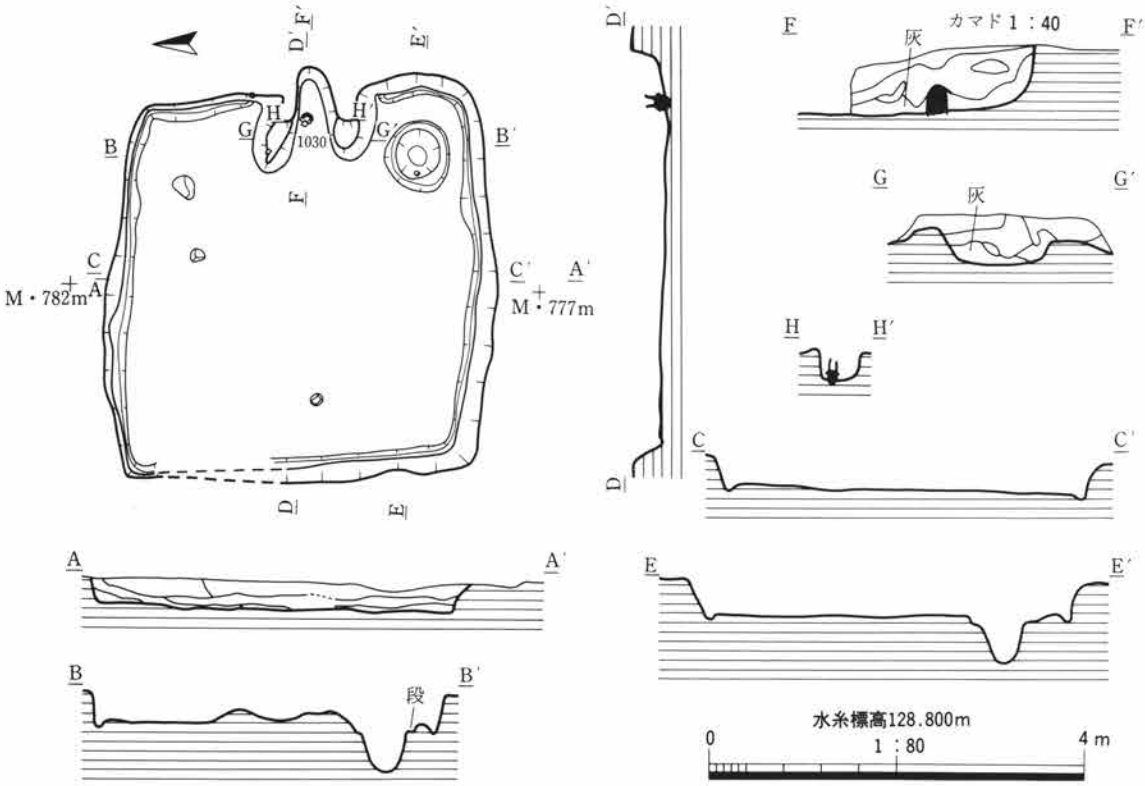
貯蔵穴：二段に掘り込む，上段浅い，周囲の中央部寄りはやや高い

掘形：下層でピット1～3検出，ピット4はその下で検出，床溝・別住居掘形検出

その他：下層は108号住居，ピット5；30×26・深さ11，
床溝：北側；長さ130・幅20前後・深さ4，南側；長さ105・幅25前後・深さ8，
下層（108住）カマドでは燃焼部中央で石2個出土，上層（24住）と異なる，
プランは殆ど同じ，24住床面誤認か？，下層住居廃棄後やや時間をおいて再建されたか？

遺物：土器284片，覆土から小型甕・半球内黒杯・甑・不明土器片（径0.6cmの穴あり，甑？）・
須恵器壺体部片出土，
1030（土師器高杯，内外面炭化物）・1031

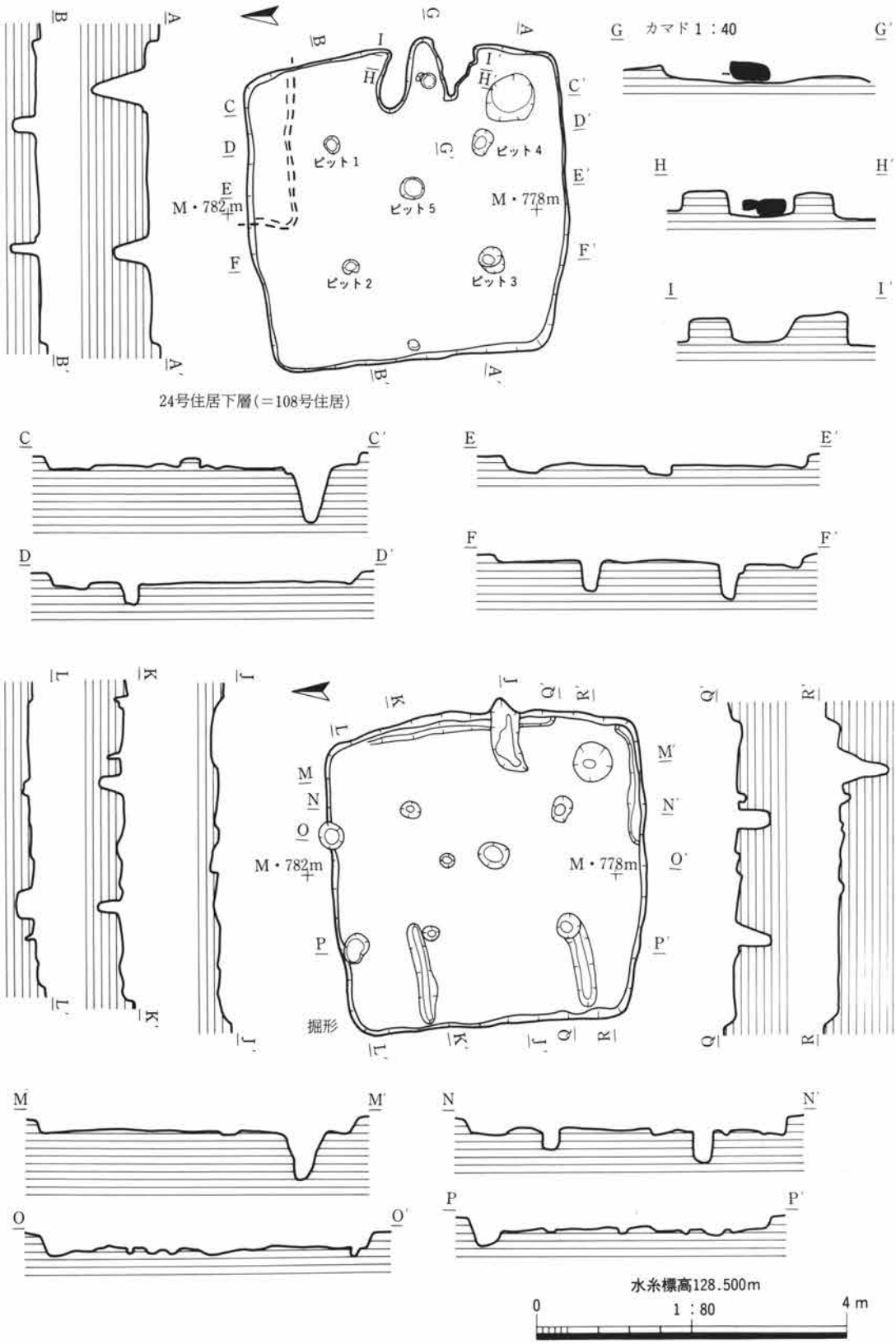
時期：古墳後期，6世紀前半



第323図　4区24号住居跡（1）

第324図　4 区24号住居跡カマド（西から）

第325図　4 区24号住居跡下層（西から）



第326図　4区24号住居跡（2）

三ッ寺II　4区　25号住居跡（第283図，図版224）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　（長方形），規模　南北（343）×234，面積　（8.0）m²，壁高　1～2，長軸方位　（N10度E）	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　（N90度E），構築材　不明，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	，検 出 位 置：Kライン・738m付近
重 複 関 係：154住→25住→B3溝	，覆　　土：－
壁　　：－	，床　　面：－
主　柱　穴：－	，壁　　溝：－
カ　マ　ド：焼土を含む浅い掘り込みを検出，痕跡のみ	
貯　蔵　穴：－	，掘　　形：－
そ　の　他：床下近くまで削平して詳細不明，北半部で重複する番号なし土坑は本住居より新しい	
遺　　物：土器3片，覆土から須恵器高台付椀（内面炭化物）・土師器小型甕破片出土，遺物図掲載なし	
時　　期：平安	

三ッ寺II　4区　26号住居跡（第327図，図版182）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　－，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	，検 出 位 置：M～Nライン・745m付近
重 複 関 係：26住→6住，26住→75・89B・99坑	
覆　　土：－	，　壁　　：－
床　　面：－	，主　柱　穴：－
壁　　溝：－	，カ　マ　ド：焼土を含む浅い掘り込みを検出，痕跡のみ
貯　蔵　穴：－	，掘　　形：－
そ　の　他：床下近くまで削平して詳細不明	
遺　　物：土器75片，覆土から内斜口縁杯・模倣杯（内黒）・甕破片出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	

第327図　4区26号住居跡（西から）

三ッ寺II　4区　27号住居跡（第328図，図版225）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北298×（290），面積　（8.6）m²，壁高　23～39，長軸方位　N9度E	
壁　溝　幅　12～14，深さ　1～4	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N105度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位，13住床下	,検出位置：Jライン・772m付近
重複関係：14・49住→27住→13住，27住→23坑	
覆　　土：－	,　壁　　：直に近い
床　　面：細かい凹凸あり，北半軟弱，貼床	
主　柱　穴：－	,壁　　溝：南辺のみ検出
カ　マ　ド：燃焼部奥壁は住居壁ラインより外側にある，燃焼部底面からやや浮いて甕底部出土（所在不明）	
貯　蔵　穴：－	,掘　　形：北半は下層住居あり
そ　の　他：南西隅検出，北西隅未検出	
遺　　物：土器126片，カマド中央出土土師器甕底部所在不明，カマド内から土師器杯・甕口縁部・須恵器杯	
小片出土，遺物図掲載なし	
時　　期：重複関係から古墳	

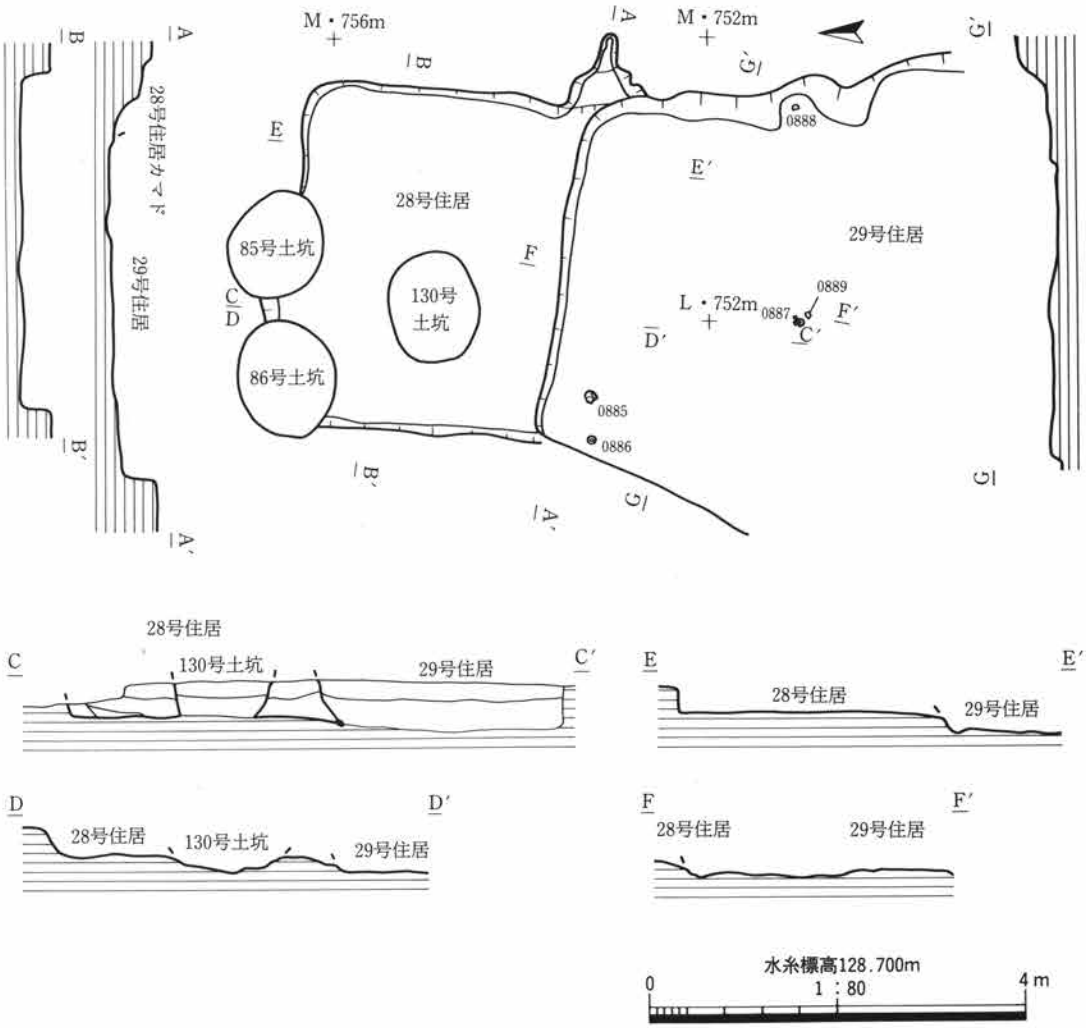
三ッ寺II　4区　28号住居跡（第329図，図版225）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　東西360×南北280以上，面積　－，壁高　25～34，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　N100度E，構築材　粘土？，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	,検出位置：L～Mライン・754m付近
重複関係：28住→29住→34住→32住→31住，28住→85・86・130坑	
覆　　土：浅間B軽石を含む黒褐色系の土	,　壁　　：直に近い
床　　面：平坦，貼床	
主　柱　穴：－	,壁　　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部の大半を29号住居により破壊，燃焼部と煙道部との境に段をもつ	
貯　蔵　穴：－	,掘　　形：－
そ　の　他：北西隅未検出，南半は29号住居により破壊	
遺　　物：土器118片・石1個，中央床面から須恵器杯底部片出土，覆土から土師器ケズリ甕底部片・	
土釜破片・羽釜破片出土，遺物図掲載なし	
時　　期：重複関係・遺物から平安	

第328図　4区27号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　29号住居跡（第329・692図，図版226・484）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西（421）×南北400以上，　面積　－，　壁高　11～38，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　－，　構築材　粘土？，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	,検出位置：L～Mライン・751m付近
重複関係：28住→29住→34住→32住→31住，39住→29住	
覆　　土：浅間B軽石を含む黒褐色系の土	,　壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面：凹凸あり，貼床	,主　柱　穴：－
壁　　溝：－	,カ　マ　ド：東辺で痕跡検出，詳細不明
貯　蔵　穴：－	,掘　　形：－
そ　の　他：北東隅・北西隅検出，南辺は32号住居により破壊	
遺　　物：土器15片，覆土から羽釜破片出土，床面から小皿出土，黒色土器多い，0885（黒色土器高台付椀）・0886（黒色土器高台付椀）・0887（黒色土器高台付椀）・0888（土師器小皿）・0889（土師器小皿）	
時　　期：平安，11世紀	



第329図　4区28・29号住居跡

三ッ寺II　4区　30号住居跡（第330・693図，図版226・484）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　596×567，　面積　33.8m²，　壁高　8～29，　長軸方位　N85度E

壁　溝　幅　10～32，　深さ　1～13

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	40×35	42	40×45	48×40	1－2：333	2－3：303
下バ径	24×27	23×18	22×30	26	3－4：336	4－1：327
深　さ	41	63	31	68		

カマド　位置　東辺中央，　対称軸方位　N94度E，　構築材　粘土・石，　支脚　土師器高杯脚部

貯蔵穴　位置　東辺カマド右脇，　平面形　長方形，　上バ58×40，下バ28×17　，　深さ　58

その他（状況の記録）

確　認　面：浅間C軽石を含む黒色土，6層　　，検出位置：I～Jライン・765m付近

重複関係：30住→12・15住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む暗茶褐色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：平坦，堅く締まる，貼床

主　柱　穴：4本を結ぶと菱形　　，壁　　溝：カマド下を除き全周

カ　マ　ド：袖部は粘土で形成，袖部中から甕破片出土，燃焼部壁～奥壁は人頭大の石で形成（一部は二段積み），燃焼部中央やや左寄りに高杯脚部（正立）を据える，燃焼部は住居壁ラインにのる，燃焼部掘形は楕円形を呈する

貯　蔵　穴：住居壁と長辺を平行に作る，北側床面に10cm大の石3個が並ぶ，底面も長方形を呈する

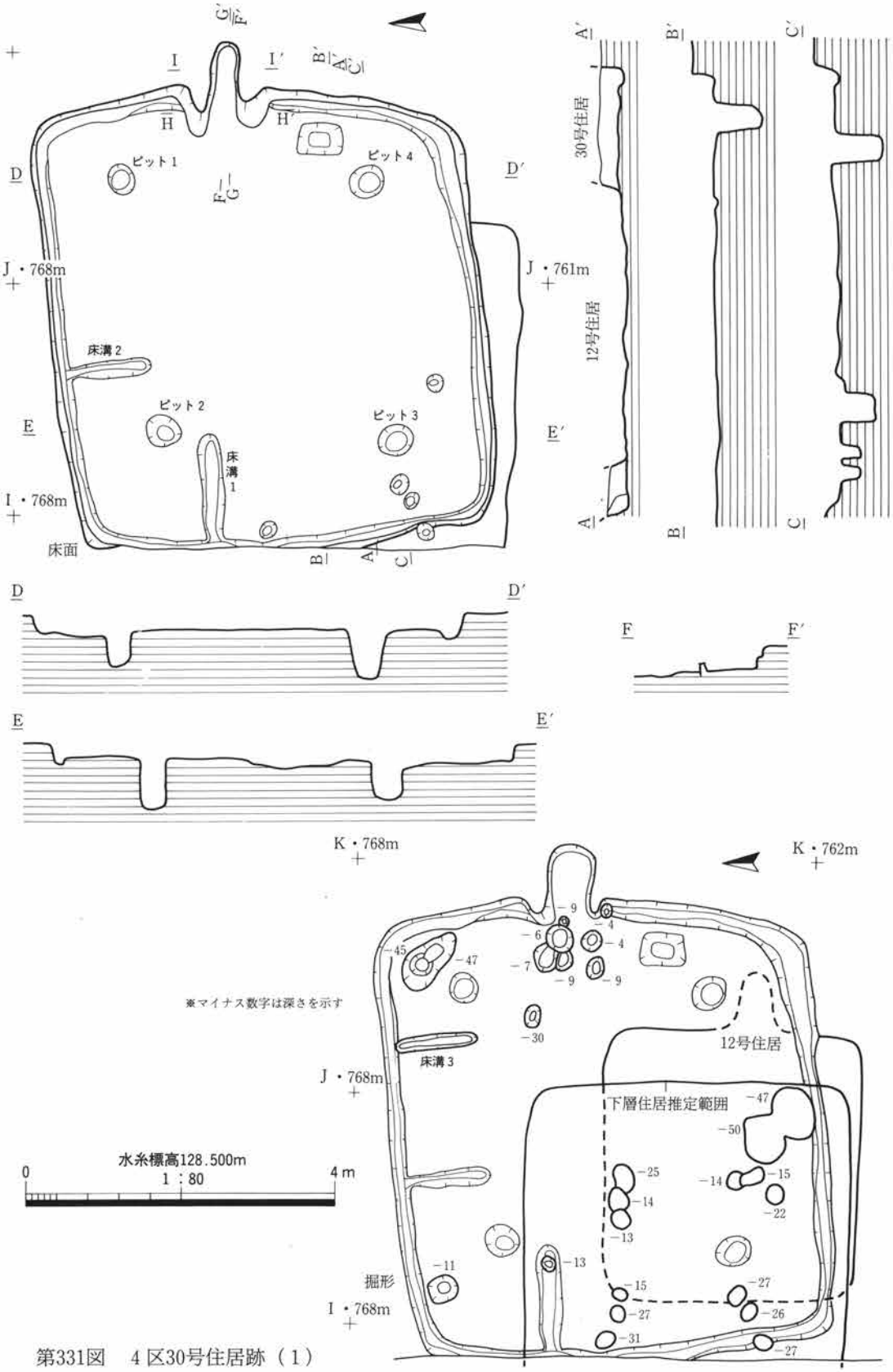
掘　　形：床溝3（長さ106・幅18・深さ15）検出，カマド前で小ピット6個検出，貯蔵穴・小ピット（3個1組）×4組を検出，30住下層に1軒あったか？，中央南東寄り検出のL字状溝は上層12住の壁溝

そ　の　他：西辺北寄りの壁立ち上がりは未検出，床溝1；長さ137・幅20・深さ8，床溝2；長さ110・幅22・深さ7

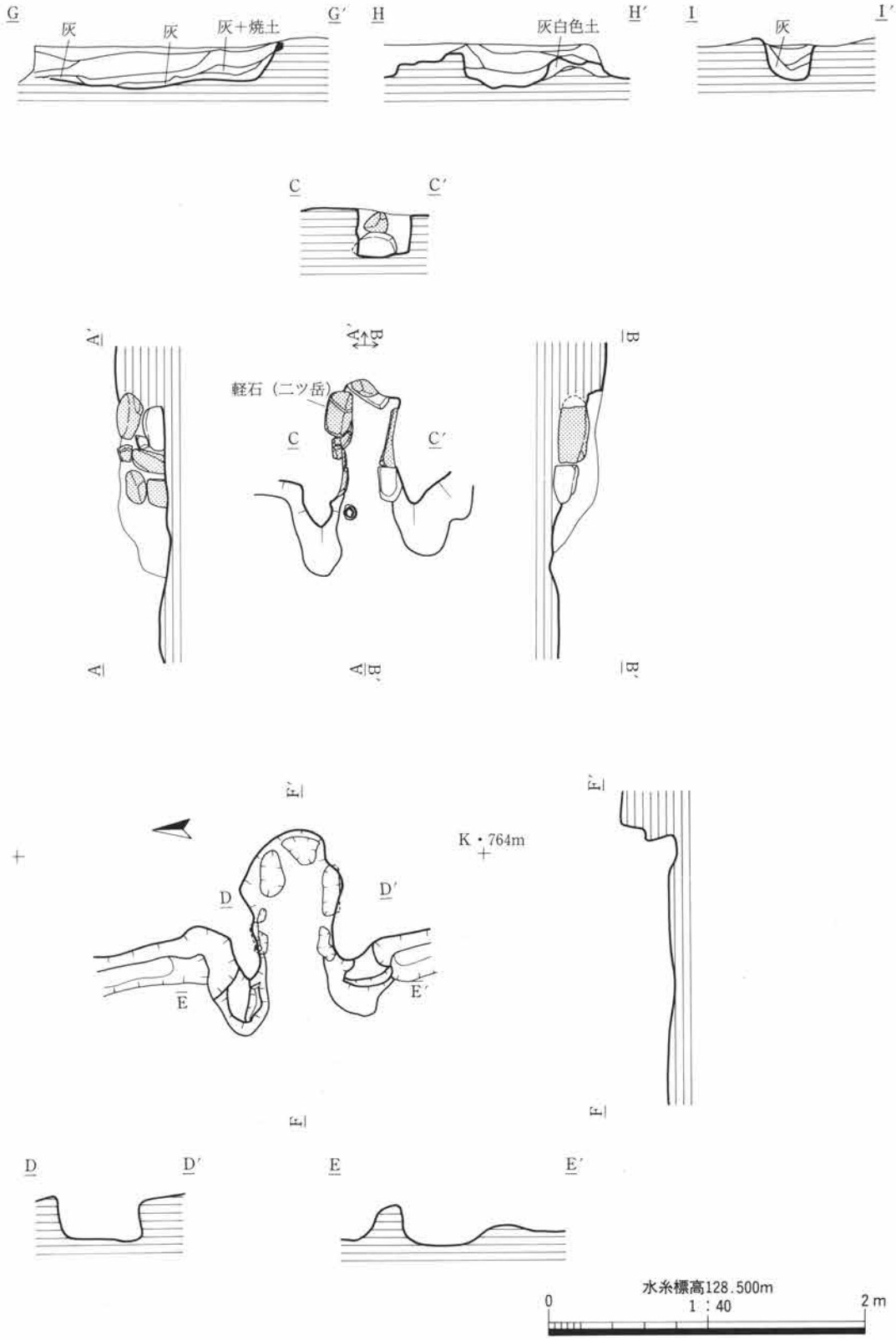
遺　　物：土器245片，覆土から模倣杯・半球杯・須恵器蓋出土，東南柱穴から須恵器甕出土，0684（鉄鏃？）・0915・0916・0917・0918・0919・0920・0959（土師器高杯脚部，カマド燃焼部）・0960

時　　期：古墳後期，6世紀後半

第330図　4区30号住居跡遺物出土状態（南から）



第331図　4区30号住居跡（1）



第332図　4区30号住居跡（2）カマド

三ッ寺II　4区　31号住居跡（第333図，図版227）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，　規模　東西（465）×南北340以上，　面積　－，　壁高　18～29，　長軸方位　－
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，　対称軸方位　N127度E，　構築材　粘土・石？，　支脚　石？
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確　認　面	暗褐色土，5層下位	検出位置	J～Kライン・746m付近
重複関係	34住→31住，37住との関係不明	覆　　土	軽石を多く含む褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床　　面	平坦，貼床
主　柱　穴	－	壁　　溝	－
カ　マ　ド	燃焼部奥壁は住居壁外に突出する，右袖部は遺存不良，燃焼部中央底面からやや浮いて石出土，燃焼部は浅く掘り込む		
貯　蔵　穴	－	掘　　形	－
そ　の　他	南東隅不明確，南西隅検出，東辺カマド北側の住居壁は推定，南辺393・西辺315		
遺　　物	土器227片，カマド脇から土釜口縁部出土，覆土から滑石剝片2個・土師質高台付椀底部・土師質甑底部・土師質内外面ミガキ高台付椀出土，遺物図掲載なし		
時　　期	重複関係・出土遺物から平安		

第333図　4区31号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　32号住居跡（第334・693図，図版228）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　東西（313）×南北290以上，面積　－，壁高　40前後，長軸方位　－
壁　溝	幅　20前後，深さ　7
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺，対称軸方位　N110度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確　認　面：軽石を含む暗褐色土，5層下位　　，検出位置：K～Lライン・749m付近

重複関係：33住→34住→32住→31住，32住→37住

覆　　土：軽石を多量に含む黒褐色系の土　　，　壁　　：直に近い

床　　面：平坦，貼床，範囲確認

主柱穴：－　　，壁　　溝：北辺中央部のみ検出

カ マ ド：燃焼部を石で囲み粘土で固める，奥壁にも石を据える，煙道部へ連なる部分は丸く突出する

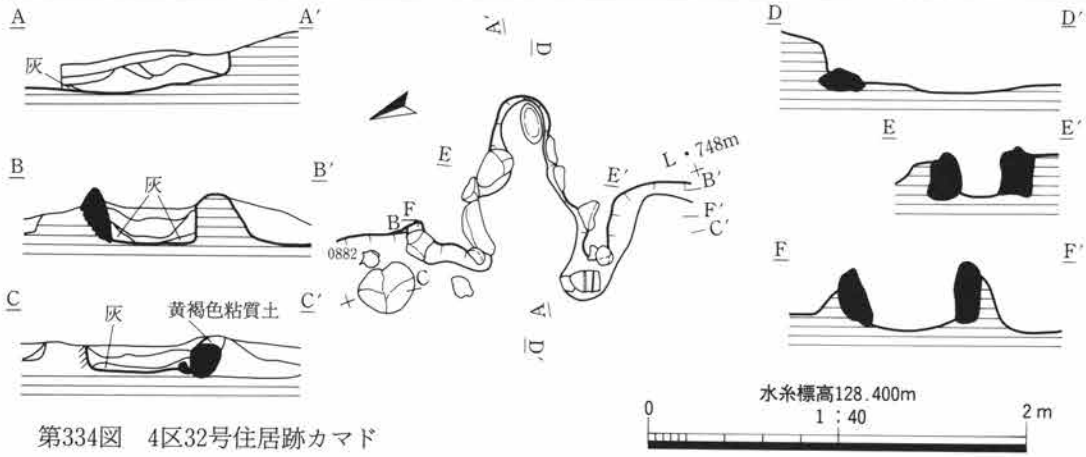
貯蔵穴：－　　，掘　　形：－

そ の 他：重複関係確認のため壁を取り払って調査，北辺・西辺は土層観察用アゼで確認，床面範囲検出，南辺320・北辺287・東辺270，ピット1；58×41・深さ15，重複著しい

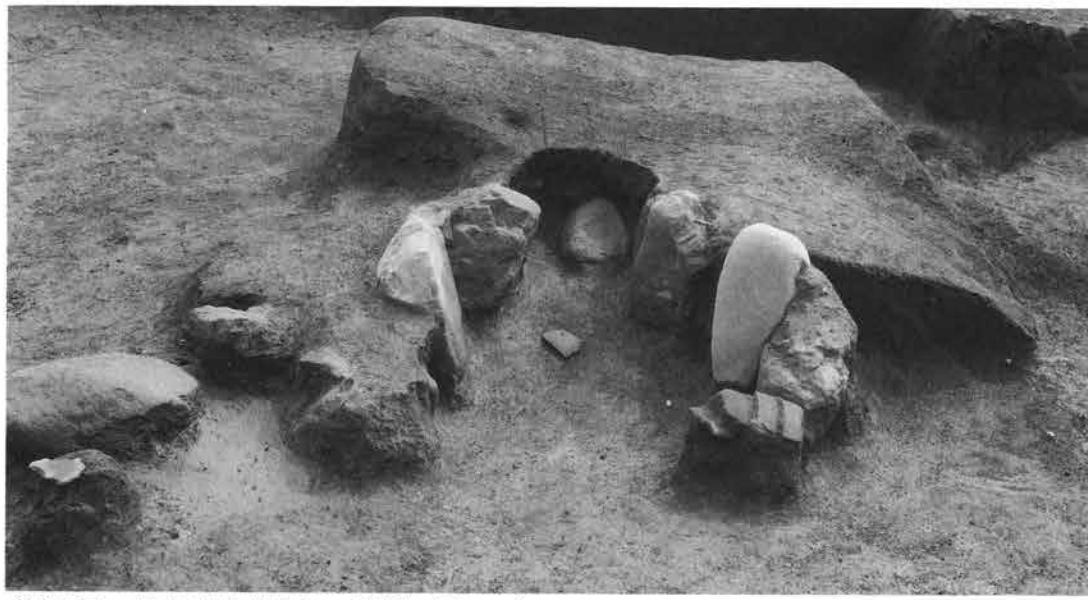
遺　　物：土器311片・石2個，カマド周辺の床面から浮いた状態で土釜口縁部・羽釜口縁部・須恵器大型甕体部片出土，覆土から鍔を雑に貼り付けた羽釜口縁部出土，

0882（小皿）・0883（小皿）・0884（剣形滑石製品，覆土）

時　　期：平安，11世紀



第334図　4区32号住居跡カマド



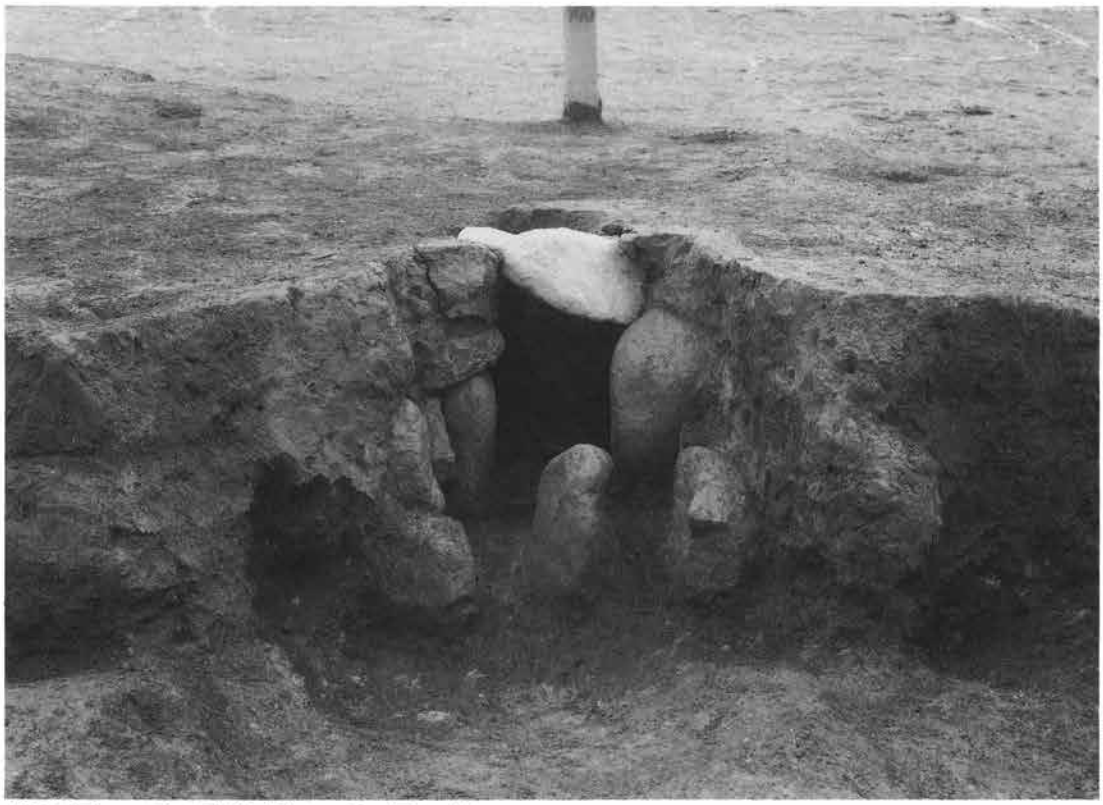
第335図　4区32号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　３３号住居跡（第336・693図，図版228）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

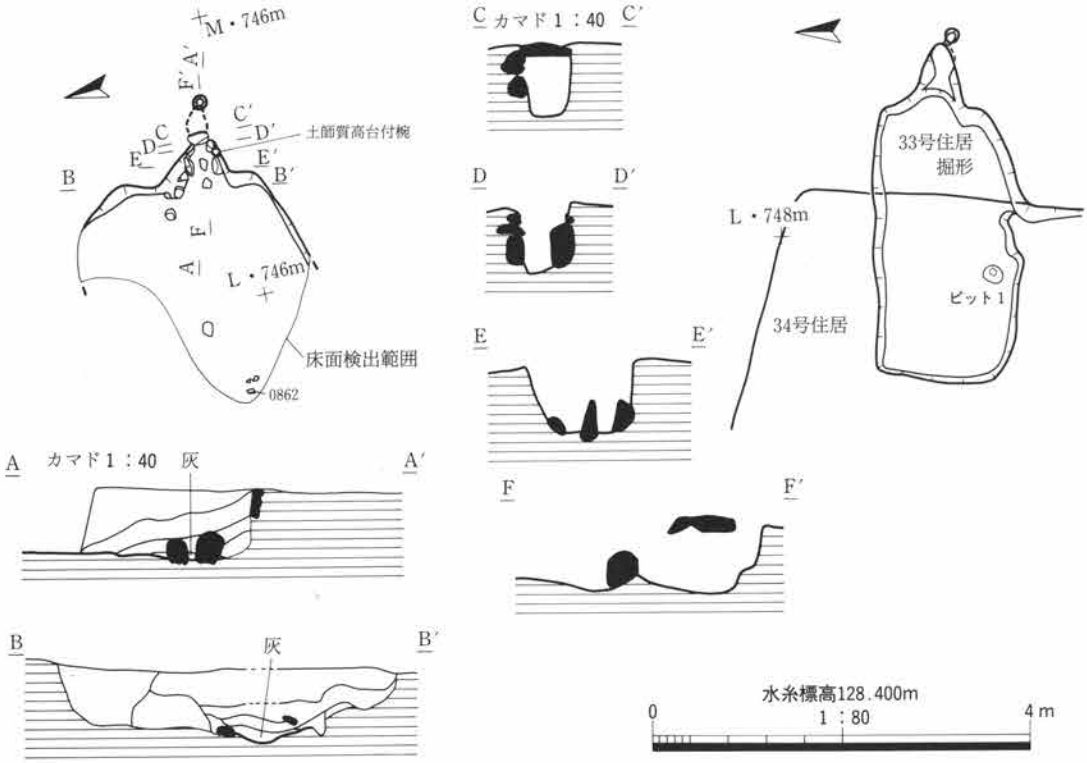
平面形	長方形（掘形），規模（掘形291×160），面積（掘形4.7㎡），壁高 9～30，長軸方位（掘形N94度E）
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺，対称軸方位　N104度E，構築材　粘土・石・瓦・土器？，支脚　石
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

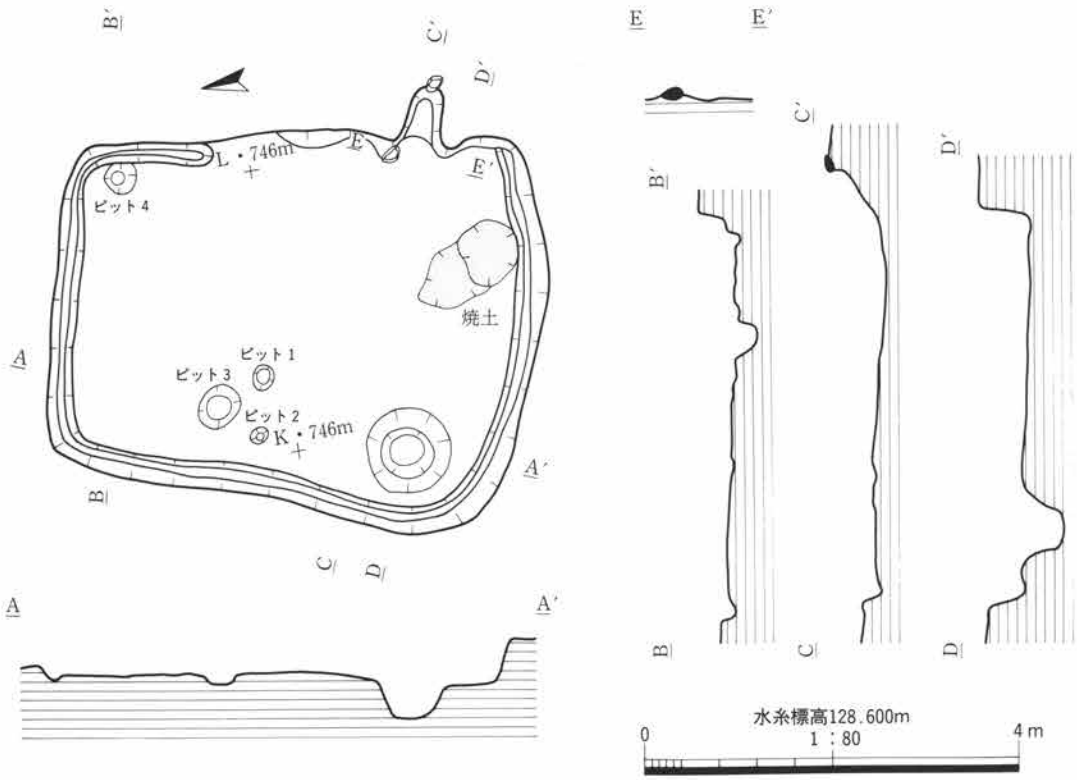
確　認　面	暗褐色土，５層下位	検出位置	L～Mライン・746m付近
重複関係	３３住→３４住，１３０住→３３住	覆　　土	－
壁	斜めに立ち上がる	床　　面	カマド前のみ検出，貼床
主柱穴	－	壁　　溝	－
カ マ ド	燃焼部を人頭大の石で囲み粘土で固める，煙道部との境の天井に細長い石を据える，袖部不明確，燃焼部中央に前後2個の石を据えて支脚とする，煙り出しは小ピット		
貯 蔵 穴	－		
掘　　形	東西に細長く浅い（10cm前後）掘り込みを検出，住居の一部を検出したか？，これが本住居のプランとすれば本遺跡では他に例がない		
そ の 他	壁の立ち上がりは南東隅のみ検出，検出南辺の延長線下に長方形掘形を検出，重複関係確認のため土層観察用アゼを残して掘り下げた，北西部にプランが広がる可能性あり，ピット１；径20・深さ28		
遺　　物	土器164片・炭化物サンプル，カマド石の間から土師質高台付椀出土，覆土から羽釜口縁部・掘形から土釜底部出土，0862（灰釉陶器椀）・0863（滑石剝片，カマド）		
時　　期	平安，10世紀後半		



第336図　４区33号住居跡カマド（西から）



第337図　4区33号住居跡



第338図　4区34号住居跡

三ッ寺II　4区　34号住居跡（第338・694図，図版229・485）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	台形，規模　523×392，面積　(20.5) ㎡，壁高　24～50，長軸方位　N17度E
壁　溝	幅　11～18，深さ　2～7
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N115度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　円形，上パ90×86，下パ35×32　，深さ　44

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層　　，検出位置：K～Lライン・745m付近

重複関係：28住→29住→34住→32住→31住，33住→34住

覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：－　　，壁　　溝：東辺を除き全周

カ　マ　ド：左袖部に石を据える，燃焼部奥壁上端から石出土，燃焼部を浅く掘り込む，
奥壁は住居壁外へ突出する

貯　蔵　穴：内部は二段に掘り込む　　，掘　　形：黄褐色土層に達する，堅い

そ　の　他：南辺に比べ北辺が短い，ピット1：25×21・深さ13，ピット2：径15・深さ11，
ピット3：47×40・深さ10，ピット4：径34・深さ24，ピット3・4は32号住居のものか？，
南辺東寄り壁際の浅い掘り込みに焼土分布

遺　　物：土器156片，覆土から足高高台付椀・灰釉陶器椀・大型甕口縁部出土，小皿の出土多い，
0857・0858・0859・0860・0861

時　　期：平安，11世紀

第339図　4区34号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　35号住居跡（第340・694図，図版230・485）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　485×452，面積　21.9m²，壁高　7～45，長軸方位　N47度W

壁　溝　幅　10～30，深さ　2～7

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	59×52	32×35	32	39×34	1－2：265	2－3：235
下バ径	10×12	12	19×13	20	3－4：255	4－1：254
深　さ	78	60	82	73		

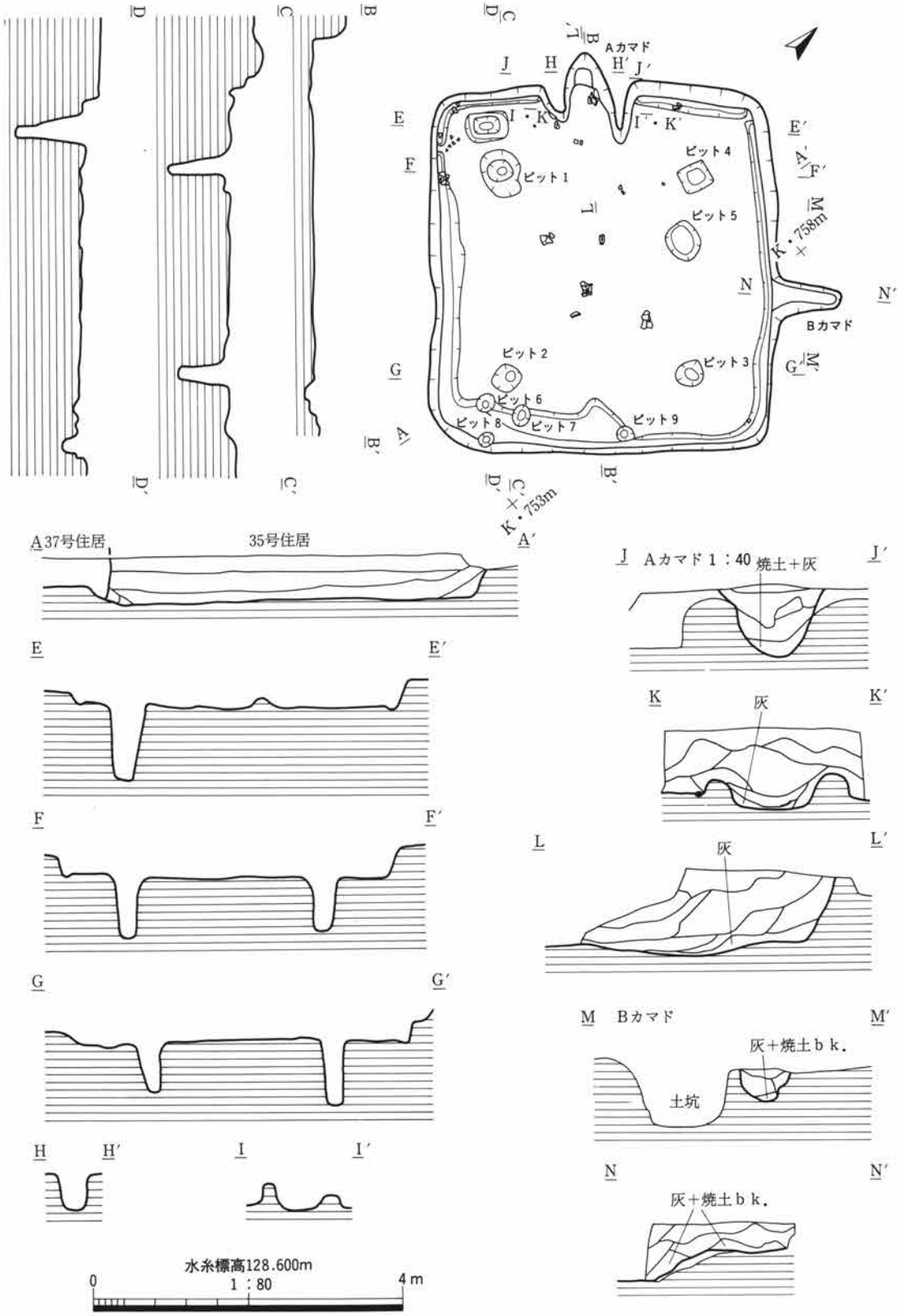
Aカマド；位置　北西辺中央，対称軸方位　N49度W，構築材　粘土，支脚　不明
Bカマド；位置　北東辺中央，対称軸方位　N48度E，構築材　不明，支脚　不明

貯蔵穴　位置　西隅，平面形　長方形，上バ57×39，下バ19×9，深さ　93

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：J～Kライン・756m付近
重複関係：43・44住→35住→37住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：平坦，細かい凹凸あり，貼床
主　柱　穴：4本検出，北隅柱穴の平面は長方形　　，壁　　溝：南隅付近は幅が広い
カ　マ　ド：Aカマド：左袖部はやや短い，燃焼部奥壁は角張る，
Bカマド：煙道部長さ80前後検出，袖部未検出
貯　蔵　穴：内部は二段に掘り込む　　，掘　　形：黄褐色土面に達する
そ　の　他：カマド作り替え（Bカマド→Aカマド），南東辺に小ピット4本，
ピット5；48×41・深さ15，ピット6；径26・深さ10，ピット7；径25・深さ7，
ピット8；径20・深さ15，ピット9；径24・深さ9，南西隅付近の壁溝は不整形
遺　　物：土器230片，覆土から模倣杯・小型甕出土，
0894（模倣杯，内面黒色）・0895（甑口縁部，内面ミガキ，Aカマド）・0896（丸胴甕，中央床面）
時　　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀

第340図　4区35号住居跡遺物出土状態（東から）



第341図　4区35号住居跡

三ッ寺II　4区　36号住居跡（第342・694図，図版230）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模 371×318，面積 (11.8) m²，壁高 47～55，長軸方位 N94度E
壁溝	幅 5～13，深さ 1～3
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南，対称軸方位 N95度E，構築材 粘土，支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 楕円形，上パ77×56，下パ58×39，深さ 8

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	Mライン・757m付近
重複関係	43・128住→36住→28・41住	覆土	浅間C軽石を含む黒褐色系の土
壁	直に近い	床面	平坦，貼床
主柱穴	－	壁溝	南辺未検出
カマド	袖部遺存不良，燃焼部は住居壁にかかる		
貯蔵穴	浅い，北西部の掘り込みは上層土坑か？		
掘形	黄褐色土面に達する，堅い	その他	南辺中央は外側に凸，出入口痕跡？
遺物	土器122片，覆土から須恵器口縁部・土師器高杯・小型甕口縁部出土，0903（甕，中央床面）・0904		
時期	古墳後期，6世紀前半		

第342図　4区36号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　37号住居跡（第343・694図，図版231・485）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	（長方形？），規模　南北（470）×（450），面積　－，壁高　7前後，長軸方位　－
壁　溝	幅　15～20，深さ　2前後
主柱穴	不明
カマド	位置　西辺南寄り，対称軸方位　N84度W，構築材　粘土・石，支脚　石？
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ85×80，下パ径38，深さ　27

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位　　，検出位置：I～Jライン・751m付近

重複関係：44住→35住→37住，33住→34住→32住→31住→37住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：－　　，壁　　溝：西辺のみ検出

カ　マ　ド：袖部不明確，燃焼部奥壁近くの両側に細長い石を据える，両袖基部下層で小ピット検出

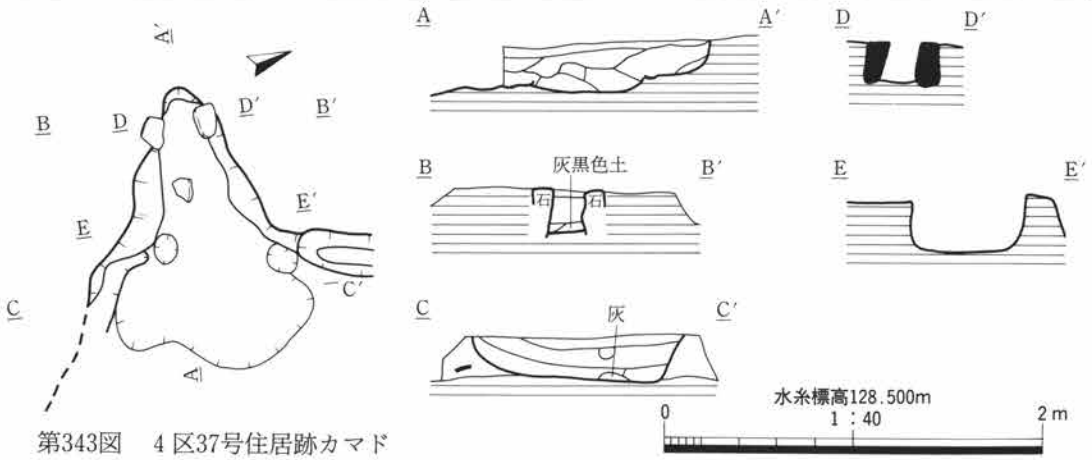
貯　蔵　穴：ピット1も貯蔵穴か？　　，掘　　形：小穴多数検出，凹凸著しい

そ　の　他：床面プランはカマドに対して横長・掘形は縦長，重複関係調査のため土層観察用アゼを残して掘りあげてしまった，西辺と南辺の一部を除き壁立ち上がり不明，住居プラン不明瞭

遺　　物：土器96片，覆土から灰釉陶器段皿・すり鉢・土師器甕口縁部出土，カマド左脇から円筒埴輪破片出土，床下から外稜杯出土，

0852・0853・0854・0855

時　　期：平安，11世紀後半



第343図　4区37号住居跡カマド

第344図　4区37号住居跡カマド遺物（東から）

三ッ寺II　4区　38号住居跡（第345・695図，図版222）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，規模　－，面積　－，壁高　－，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：M～Nライン・759m付近
重複関係：128住→38住→127住	覆　　土：－
壁　　：－	床　　面：－
主柱穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：袖の一部と燃焼部～煙道部を検出したのみ，煙道部幅50・長さ70・深さ10前後	
貯蔵穴：－	掘　　形：－
そ　の　他：カマドの一部を検出，重複住居により破壊され詳細不明	
遺　　物：土器14片，カマド内から内黒模倣杯小片出土，その他小片，0954（土師器杯，カマド）	
時　　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀	

三ッ寺II　4区　39号住居跡（第283図，図版232）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，規模　－，面積　－，壁高　24～33，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　N111度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：Mライン・749m付近
重複関係：39住→29住→34住→32住	覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：カマド前のみ検出，貼床
主柱穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：袖部未検出，燃焼部の一部・煙道部を検出，焼土少ない，詳細不明	
貯蔵穴：－	掘　　形：－
そ　の　他：重複住居により破壊され詳細不明	
遺　　物：土器79片，覆土から壺肩部（灰釉陶器？）・羽釜口縁部・土師器甕（外面ハケ目），遺物図掲載なし	
時　　期：平安	

第345図　4区38号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　40号住居跡（第346・695図，図版187）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　東西438×南北448以上，面積　－，壁高　－，長軸方位　N1度E					
壁　溝	幅　7～28，深さ　2～11					
主柱穴	1	2	3	4（床下）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	34×37	40×33	28×25	24	1－2：212	2－3：199
下バ径	17	23×18	10	12	3－4：187	4－1：193
深　さ	47	57	42	48		
カマド	位置　西辺南寄り，対称軸方位　N80度W，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南西部，平面形　長方形，上バ52×46，下バ37×29，深さ　51					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層，21住北側上層　　，検出位置：Mライン・768m付近

重複関係：126住→42住→40住→21住，40住→17住→5住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：－

床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：ピット4は掘形調査で検出　　，壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：左袖部は貯蔵穴にかかり右袖部より短い，燃焼部は細長く住居壁ラインにかかる，
下層42号住居壁溝を切って構築する

貯　蔵　穴：南辺の上部は21号住居により破壊，底面も長方形を呈する

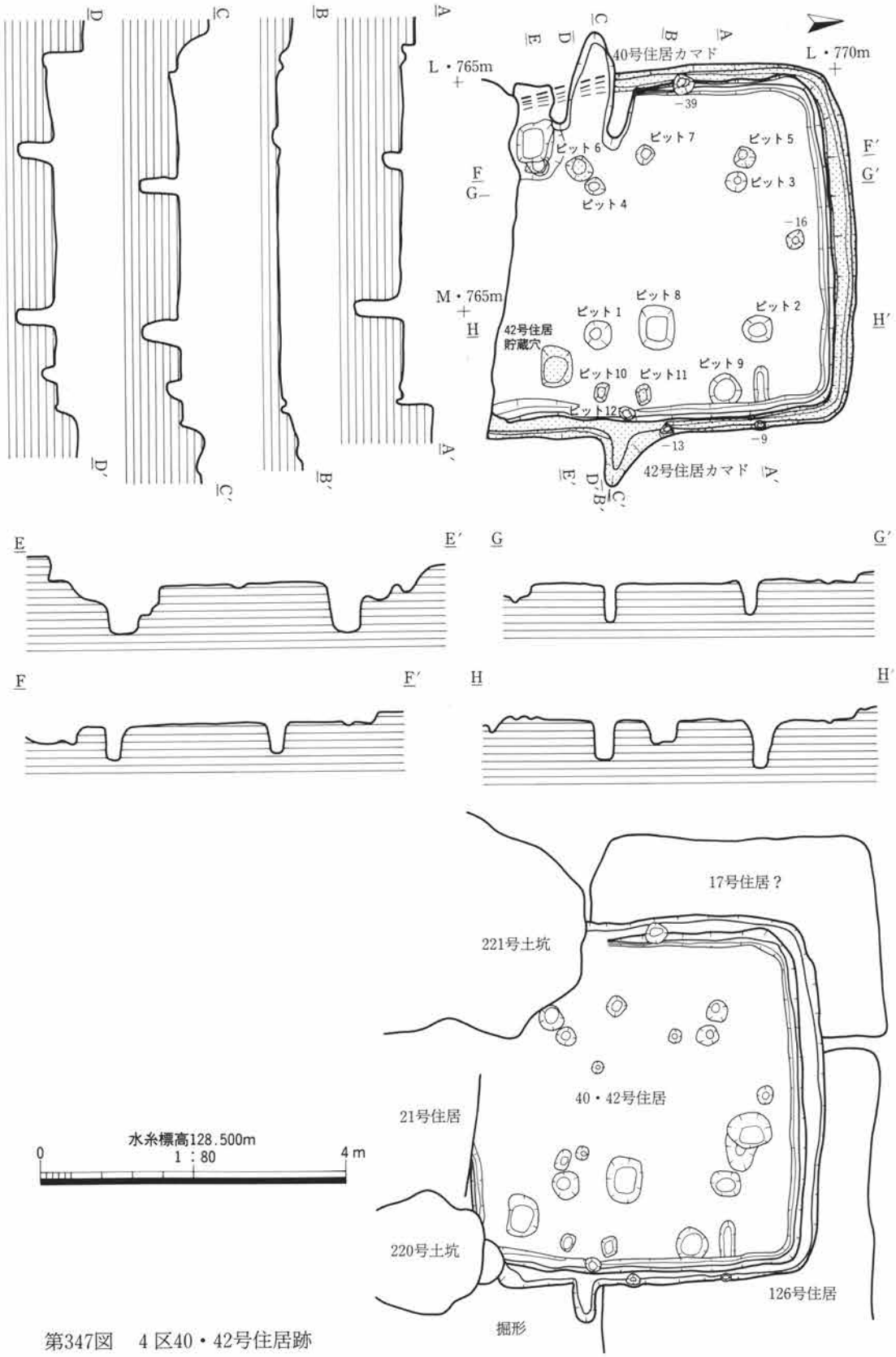
掘　　形：カマド前で下層42号住居柱穴を検出

そ　の　他：42号住居を建て替えて40号住居を作る，ピット8は別住居の貯蔵穴か？，
ピット7；24×24・方形・深さ8，ピット8；59×45・長方形・深さ31，ピット9；径40・深さ4，
床溝；長さ45・幅18・深さ2

遺　　物：土器205片・石2個，全面に散布，床上から壺口縁部・甑底部出土，覆土から模倣杯・甕底部・
鉄滓（磁石の反応あり）出土，
0909・0910・0911

時　　期：古墳後期，6世紀後半

第346図　4区40・42号住居跡遺物出土状態（東から）



第347図　4区40・42号住居跡

三ッ寺II　4区　41号住居跡（第348・695図，図版187・485）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模 619×563，面積 34.8m²，壁高 2～59，長軸方位 N13度E					
壁 溝	幅 10～24，深さ 2～9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	35×43	42	58×43	53	1－2：245	2－3：277
下バ径	18×13	18	14×16	13	3－4：270	4－1：283
深 さ	73	47	83	69		
カマド	位置 東辺中央南寄り，対称軸方位 N111度E，構築材 粘土・石，支脚 石？					
貯蔵穴	位置 東辺カマド右脇，平面形 長方形，上バ48×41，下バ39×25，深さ 46					

その他（状況の記録）

確 認 面：暗褐色土～黒色土，5～6層　　検出位置：K～Mライン・760m付近，21号住居南側

重複関係：21・36住→41住→18・22住　　覆 土：軽石を含む黒褐色系の土

壁 ：直に近い，西辺～南辺遺存良好　　床 面：細かい凹凸あり，わずかに貼床

主 柱 穴：重複住居の柱穴も検出したか？

壁 溝：検出内全周，北東隅・南西隅は二重，ピット1の北東部でL字状溝検出，
ピット1－2－3を結ぶ溝・ピット2－3の外側にも溝検出，
壁溝とすれば拡張・建て替えか？，床溝の一部か？，
底面幅一杯に幅2～3cm・半円形の線多数を検出（工具痕か？）

カ マ ド：燃焼部を略方形に作る，燃焼部と煙道部との境に段をもつ，両袖部には石を1～2段積み上げる，
カマド周辺から土師器甕破片出土

貯 蔵 穴：カマド右袖に接して設置，中から土師器甕破片出土，壁は直線的に掘り込む

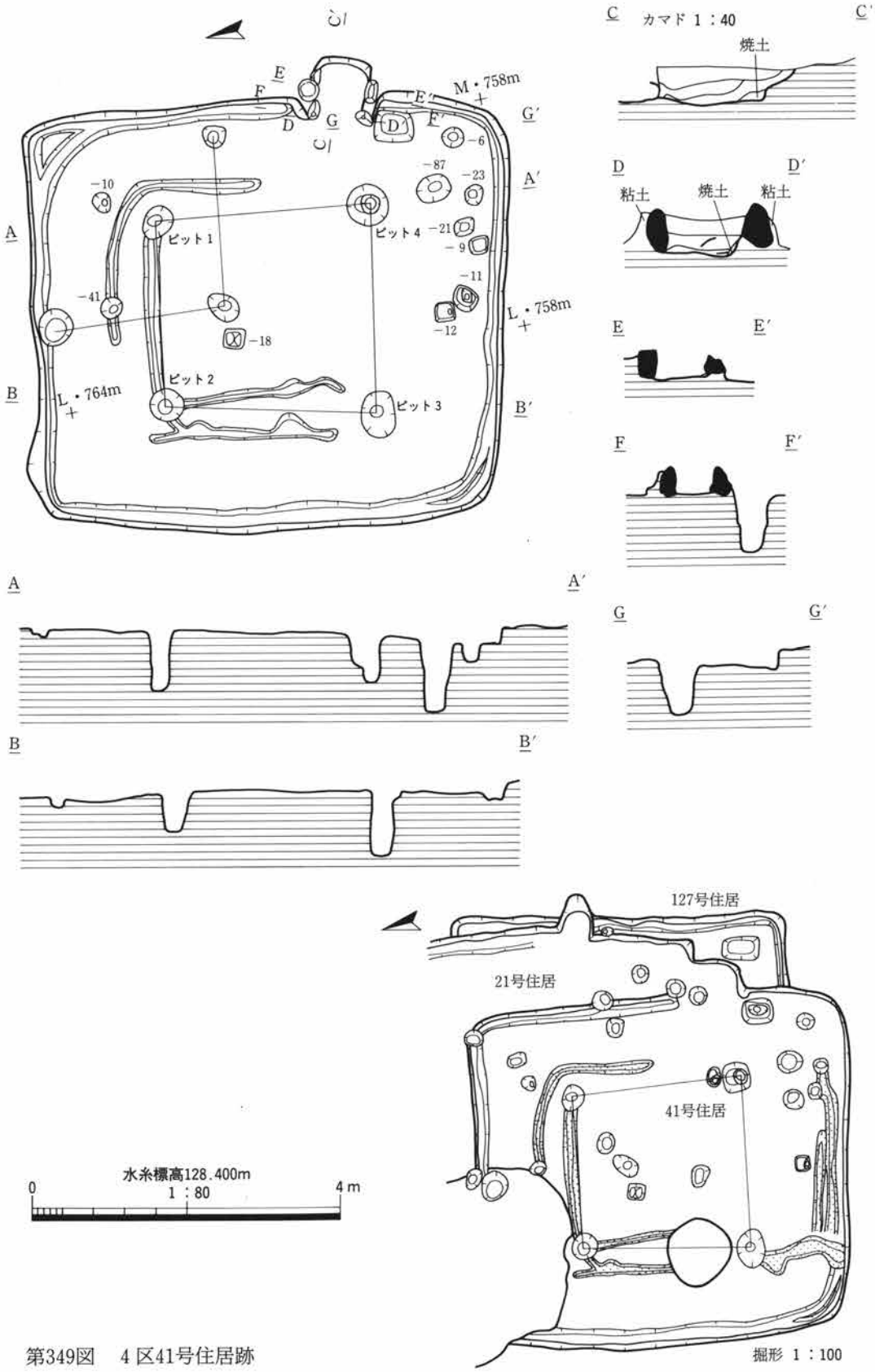
掘 形：南辺内側に壁溝2本検出，ピット1・2・3外側の溝と合わせて内部をほぼ全周する

そ の 他：出入り口は南側か？

遺 物：土器800片・石1個，中央床面から土師器甕体部片多数出土，土師器杯類は覆土出土のみ，
覆土から須恵器カエリ付き蓋・短頸壺・鉄滓（磁石反応あり）出土，
0905（須恵器蓋ツマミ）・0906・0907・0908

時 期：奈良，8世紀前半

第348図　4区41号住居跡遺物出土状態（西から）



第349図　4区41号住居跡

三ッ寺II　4区　42号住居跡（第346図，図版234）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西478×南北472以上，　面積　－，　壁高　11～17，　長軸方位　－

壁　溝　幅　5～20，　深さ　2～4

主柱穴	1	2	5	6	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	34×37	40×33	27	35×30	1－2：212	2－5：232
下パ径	17	23×18	10	18	5－6：216	6－1：222
深　さ	47	57	39	43		

カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N102度E，　構築材　粘土，　支脚　不明

貯蔵穴　位置　東南部，　平面形　長方形，　上パ52×41，下パ35×29，　深さ　59

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層，21住北側上層　　検出位置：Mライン・768m付近

重複関係：126住→42住→40住→21住　　覆　土：黒褐色系の土

壁　：直に近い，浅い　　床　面：－

主　柱　穴：ピット1・2は上層40号住居と同じ　　壁　溝：検出内全周

カ　マ　ド：燃焼部～煙道部の一部検出，袖部未検出

貯　蔵　穴：40住床面で検出　　掘　形：細かい凹凸あり

そ　の　他：カマド前でピット10・11・12検出，袖石抜き跡か？

ピット10；24×16・深さ18，ピット11；24×18・深さ17，ピット12；径20・深さ11

遺　物：土器32片，覆土から土師器杯口縁部・小型甕出土，遺物図掲載なし

時　期：古墳

三ッ寺II　4区　43号住居跡（第350・695図，図版235・486）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北334×290以上，　面積　－，　壁高　9～16，　長軸方位　－

壁　溝　幅　15～30，　深さ　4～11

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	17	15×18	20×16	15	1－2：171	2－3：160
下パ径	9	7	7	7	3－4：160	4－1：159
深　さ	28	47	39	36		

カマド　不明（東辺？）

貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：K～Lライン・756m付近

重複関係：43住→36住，43住→35住　　覆　土：浅間C軽石を含む黒色土

壁　：直に近い　　床　面：平坦，薄い貼床

主　柱　穴：4本とも細い　　壁　溝：検出内全周

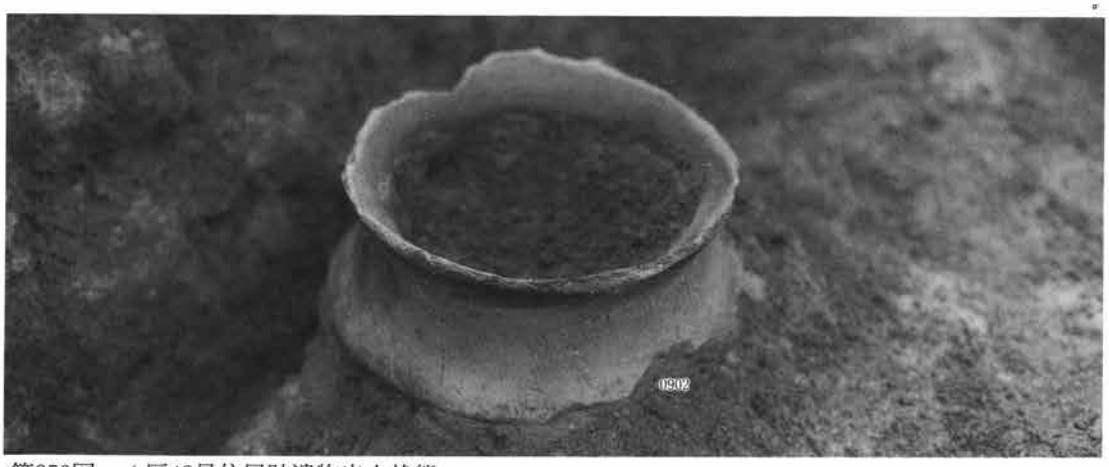
カ　マ　ド：－　　貯　蔵　穴：－

掘　形：－

そ　の　他：北辺256・西辺313・南辺250，東半部は36号住居により破壊

遺　物：土器11片・石1個，覆土から甕体部片出土，石剣片出土，滑石製品は北辺壁溝際出土，
0899・0900（滑石製品）・0901（滑石製品）・0902（土師器甕口縁部，口唇部下）

時　期：古墳中期，5世紀末



第350図　4区43号住居跡遺物出土状態

三ッ寺II　4区　44号住居跡（第351・695図，図版235・486）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　375×374，面積　(14.0) m²，壁高　7～16，長軸方位　N86度E					
壁　溝　幅　15～23，深さ　1～9					
主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	30×22	24×20	20	1－2：187	2－3：139
下パ径	10	10	10		
深　さ	28	30	28		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N71度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ70×49，下パ41×20，深さ　60					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Kライン・753m付近
重複関係：44住→35住→37住　　，覆　　土：黒褐色系の土
　　壁　　：直に近い　　，床　　面：薄い貼床，堅く締まる
主　柱　穴：南東部の主柱穴不明　　，壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインの内側にある，袖部遺存不良
貯　蔵　穴：壁を直に掘り込む　　，掘　　形：－
そ　の　他：北西隅未検出，35号住居により北東部は破壊，ピット4；径28・深さ33，
　　ピット5；径18・深さ2，ピット6；径24・深さ9，ピット7；50×31・深さ8，
　　床溝；長さ135・幅10～17・深さ6前後
遺　　物：土器71片，覆土から須恵器甕体部片出土，
　　0890・0891・0892・0893
時　　期：古墳後期，6世紀前半

三ッ寺II　4区　45号住居跡（第283・696図，図版236・486）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　8～27，長軸方位　－					
壁　溝　幅　8～15，深さ　2～4					
主柱穴　不明					
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N106度E，構築材　粘土・石，支脚　石？					
貯蔵穴　不明					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Iライン・754m付近
重複関係：－　　，覆　　土：浅間B軽石を含む黒褐色系の土
　　壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：細かい凹凸あり
主　柱　穴：－　　，壁　　溝：東辺250前後検出
カ　マ　ド：燃焼部南側に石を据える，その他石数個検出，遺存不良
貯　蔵　穴：－　　，掘　　形：－
そ　の　他：北東隅は丸みが強い，大半は東側調査区外にあり詳細不明
遺　　物：土器60片，土師器甕底部片・円筒状土製品・高台付椀底部出土，
　　鉄製鎌または鋤先出土（細片のため掲載なし），
　　0922（土師器杯，椀の高台か？）・0923
時　　期：平安，11世紀後半

第351図　4区44号住居跡遺物出土状態

三ッ寺II　4区　46号住居跡（第352図，図版236）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　東西456×南北（430），　面積　（19.6）㎡，　壁高　10～28，　長軸方位　N58度E						
壁　溝　幅　7～15，　深さ　3～7						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	33×28	27×21	29×24	23	1－2：255	2－3：215
下パ径	8	14×10	15×9	10	3－4：259	4－1：222
深　さ	63 ―	35	38	34		
カマド　不明（北東辺？）						
貯蔵穴　位置　東隅付近，　平面形　不整形，　上パ57×43，下パ32×21，　深さ　30						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：K～Mライン・770m付近

重複関係：46住→126住→42住→40住→21住→41住→18住，46住→17住→5住，129住→46住

覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土　　，　壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床

主　柱　穴：ピット3は40号住居の調査で検出（西辺壁溝内），ピット4は42住掘形調査で検出

壁　　溝：北東辺～南西辺で検出，全周か？

カ　マ　ド：貯蔵穴の位置から北東辺か（40・126号住居により破壊）

貯　蔵　穴：40・42号住居の掘形調査で検出，一部は北側へ広がる

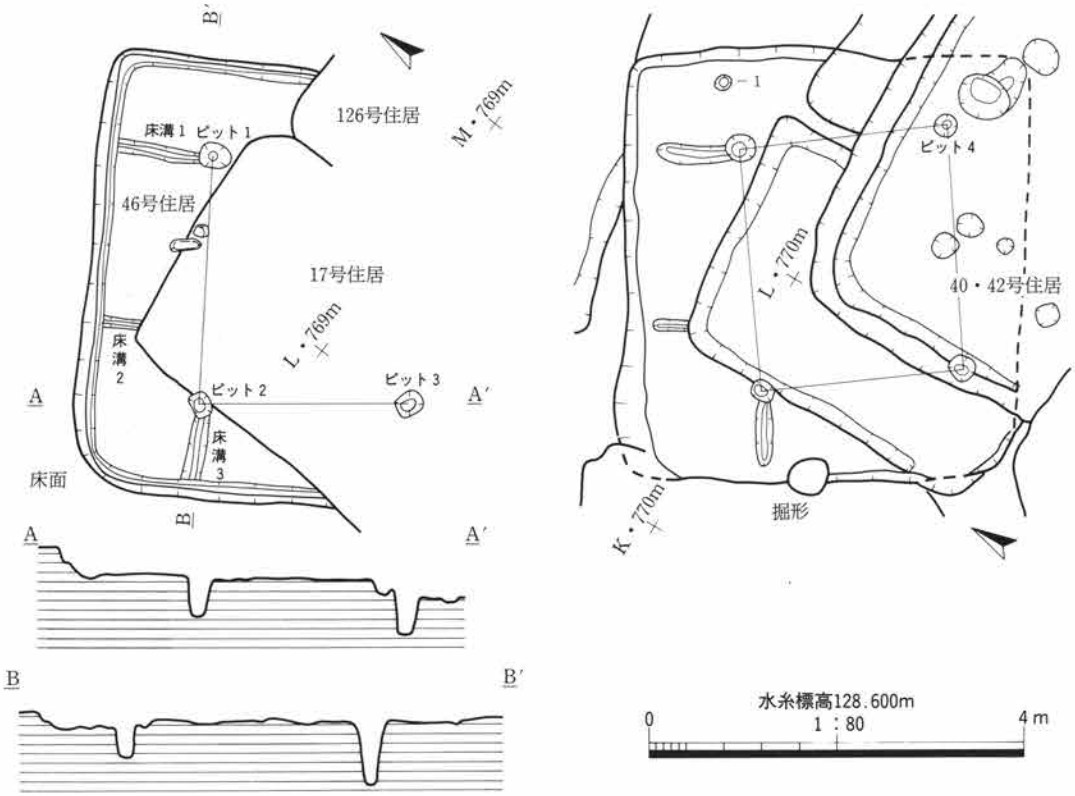
掘　　形：－

そ　の　他：床溝3本（床面検出），北隅・西隅検出，重複住居により破壊され詳細不明，床溝1；長さ88・幅15・深さ3，床溝2；長さ43・幅11・深さ6，床溝3；長さ66・幅20・深さ7

遺　　物：土器74片，覆土から土師器高杯口縁部・黒色模倣杯・手づくね壺・須恵器蓋天井部出土，遺物図掲載なし

時　　期：古墳

第352図　4区46号住居跡（東から）



第353図　4区46号住居跡

三ッ寺II　4区　47号住居跡（第284図，図版237）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　台形，規模　東西281×南北238，面積　6.7m²，壁高　11～34，長軸方位　N82度E	
壁　溝　幅　7～15，深さ　4	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N87度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上バ40×22，下バ20×13，深さ　23	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層，23住下層	，検出位置：Jライン・781m付近
重複関係：14・49住→47住→23住	，覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	，床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床
主　柱　穴：－	，壁　　溝：北西隅～西辺で検出
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにかかる	，貯　蔵　穴：底面も長方形，直線的に掘り込む
掘　　形：黄褐色土面に達する，堅い	，そ　の　他：北辺が長く南辺が短い
遺　　物：土器52片，カマドから模倣杯小片・内黒杯小片出土，覆土から内斜口縁杯・丸胴甕出土，カマド前の床面で人頭大の石2個出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	

三ッ寺II　4区　48号住居跡（第354図，図版237）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　380×318，面積　12.1m²，壁高　9～20，長軸方位　N4度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央南寄り，対称軸方位　N93度E，構築材　粘土・土器，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　方形，上パ49×43，下パ37×32，深さ　17

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：K～Lライン・781m付近

重複関係：14・49住→48住，14住→51住→23・48住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：直に近い，南西部は14住調査と平行

床　　面：細かい凹凸あり，南西部軟弱，黄褐色土面に達する

主 柱 穴：－　　，壁　　溝：－

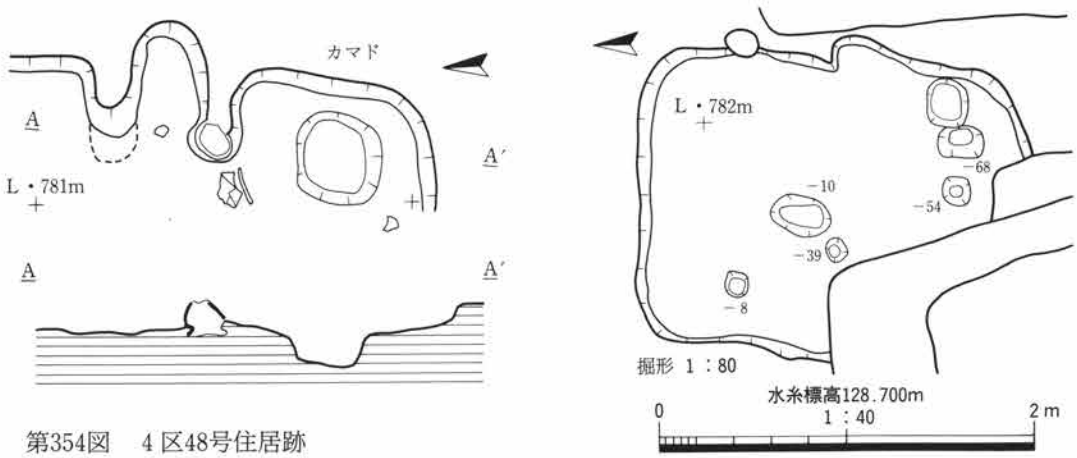
カ マ ド：右袖部に土器（甕）を据える，粘土で固める，燃焼部は半円形

貯 蔵 穴：底面平坦　　，掘　　形：－

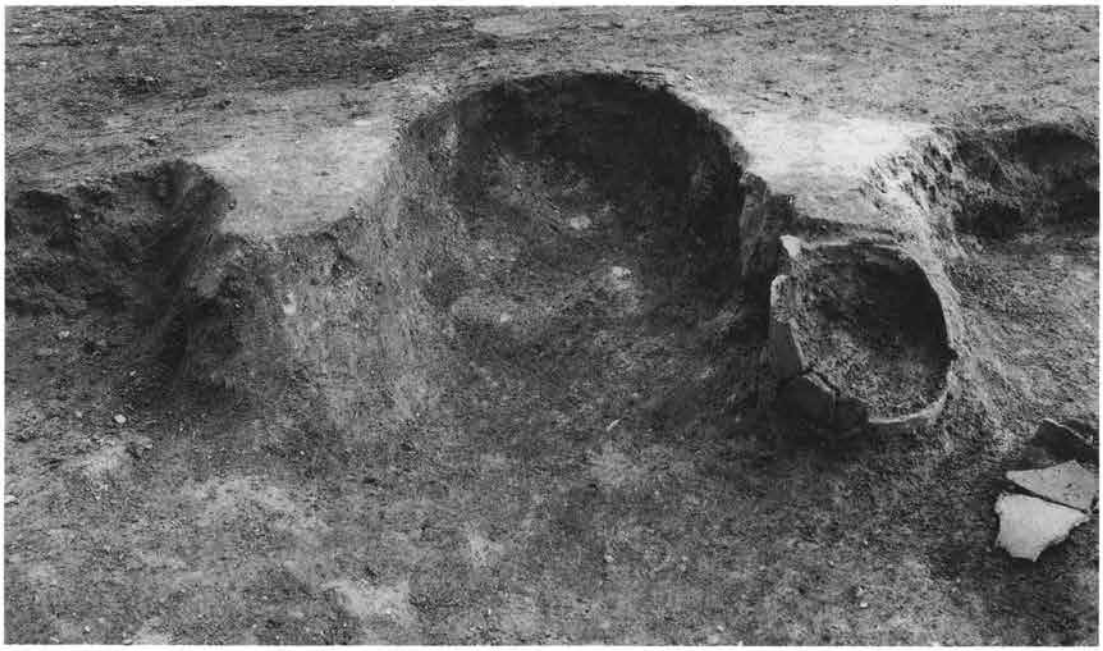
そ の 他：浅い掘り込み5カ所検出，柱穴？

遺　　物：土器22片・土壌サンプル1袋，土師器ケズリ甕体部片出土，カマド右袖先端部甕出土（遺物不明），遺物図掲載なし

時　　期：古墳～奈良



第354図　4区48号住居跡



第355図　4区48号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　49号住居跡（第310図，図版219）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略方形，規模　東西628（677），面積　－，壁高　－，長軸方位　－

壁　溝　幅　15～30，深さ　5前後

主柱穴	5	6	7	8	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	65	56	52	56	5－6：290	6－7：323
下バ径	45×32	30	34	32	7－8：270	8－5：310
深　さ	71	83	72	76		

カマド　位置　東辺？，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明

貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　L字形，上バ東西81×南北76，下バ東西62×南北54，深さ　88

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層，14住と同時調査　　，検出位置：I～Lライン・777m付近

重複関係：14下住→14・49住→47住　　，覆　　土：－

壁　　：－　　，床　　面：－

主　柱　穴：建て替えあり　　，壁　　溝：所見図参照

カ　マ　ド：東辺カマド痕跡は50号住居所属か？

貯　蔵　穴：東西長方形・南北長方形の重複か？，上バ西側に浅い段あり

掘　　形：－

そ　の　他：所見1図では北辺東側の壁溝を14・49住居が共有し不自然，所見2図では南辺西側壁溝を共有し不自然，南辺中央部の張出部（出入り口）は重複があり2軒（14・49住）相当

遺　　物：土器55片，覆土から土師器模倣杯・須恵器蓋・瓶口縁部出土，遺物図掲載なし

時　　期：重複関係から古墳

三ッ寺II　4区　50号住居跡（第310図，図版218）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　18～29，長軸方位　－

壁　溝　不明

主柱穴	北側	南側	主柱穴間の距離（下バ心心）
上バ径	30	25×20	北－南：298
下バ径	14	10×7	
深　さ	24	42	

カマド　不明（東辺？）

貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Lライン・778m付近

重複関係：14下住・50住→14・49住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む黒色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：凹凸あり

主　柱　穴：2本は14住居内で認定　　，壁　　溝：－

カ　マ　ド：－　　，貯　蔵　穴：－

掘　　形：南辺185検出，南東隅は角張る

そ　の　他：北東隅・南東隅検出，東辺470，北東隅ピット：33×35・深さ47，14号住居等により破壊，詳細不明

遺　　物：出土遺物なし　　，時　　期：重複関係から古墳

三ッ寺II　4区　51号住居跡（第284図，図版199）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，規模　－，面積　－，壁高　12，長軸方位　－

壁　溝　不明

主柱穴　不明

カマド　不明

貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Kライン・781m付近

重複関係：14住→51住→23・48住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：平坦，貼床，100×200程の範囲

主　柱　穴：－　　，壁　　溝：－

カ　マ　ド：－　　，貯　蔵　穴：－

掘　　形：－

そ　の　他：南北170・東西220の範囲を検出，北辺50，周辺の遺構により破壊され詳細不明

遺　　物：出土遺物なし　　，時　　期：重複関係から古墳

三ッ寺II　4区　52号住居跡

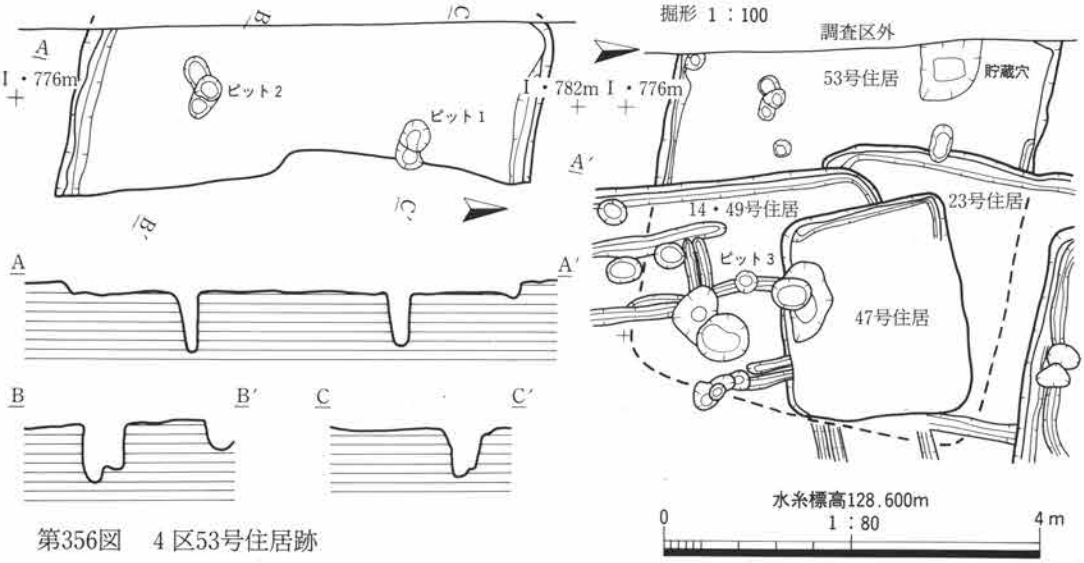
欠番，111号住居に同じ

三ッ寺II　4区　53号住居跡（第356図，図版238）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北495，面積　－，壁高　10～15，長軸方位　－					
壁　溝　幅　13～20，深さ　3前後					
主柱穴	1（西）	2（西）	3（14住内）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	30	28×22	28	1－2：226	2－3：245
下バ径	12	20×15	15		
深　さ	55	59	33		
カマド　不明					
貯蔵穴　位置　北西部，平面形　不整形，上バ80×80以上，下バ41×27，深さ　27					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層	,検出位置：Iライン・779m付近
重複関係：53住→14住→47住→23住	,覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土
壁　　：浅く斜めに立ち上がる	,床　　面：薄い貼床，細かい凹凸あり
主　柱　穴：底面の高さはほぼ同じ，ピット1・2とも西側の掘り込みが深い，北東部柱穴未検出	
壁　　溝：南辺・北辺検出	,カ　マ　ド：西側か？
貯　蔵　穴：床下検出，長方形？	,掘　　形：重複住居の掘り込みが深く壁溝延長分未検出
そ　の　他：北西隅付近検出，北辺180・南辺180，東半は重複住居により破壊，西側は調査区外にある	
遺　　物：土器63片・石剝片1，覆土から内斜口縁杯・模倣杯・円筒状土製品出土，遺物図掲載なし	
時　　期：重複関係から古墳	

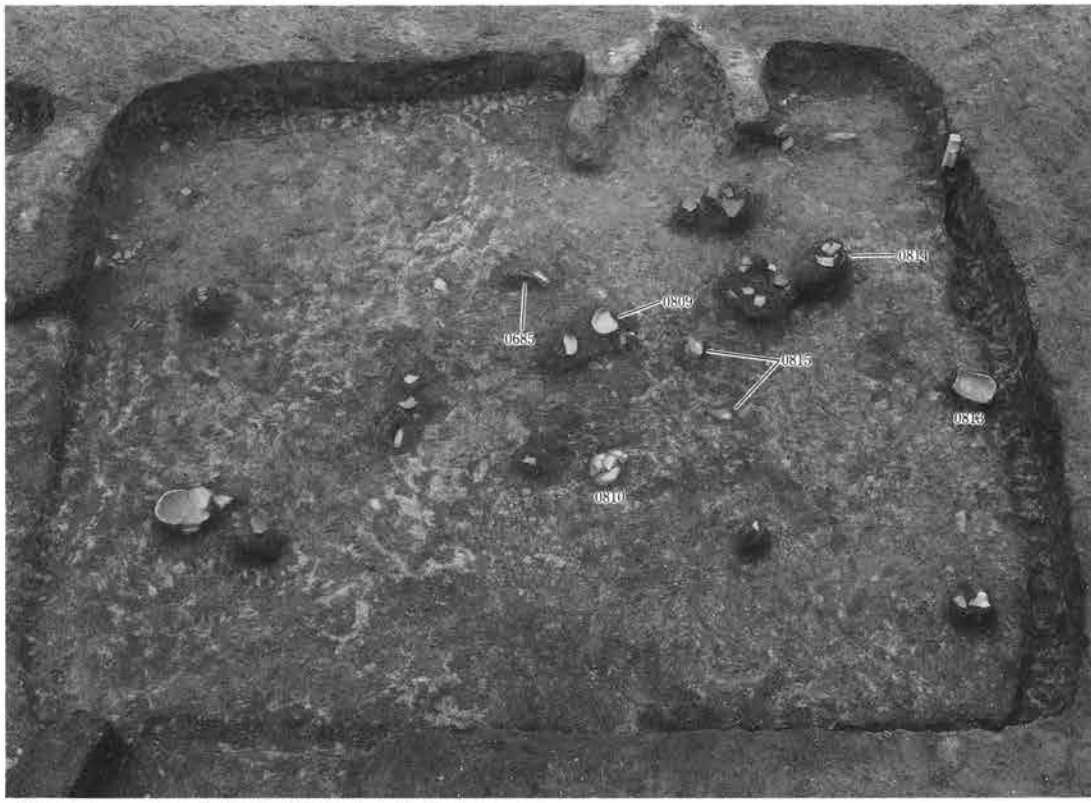


第356図　4区53号住居跡

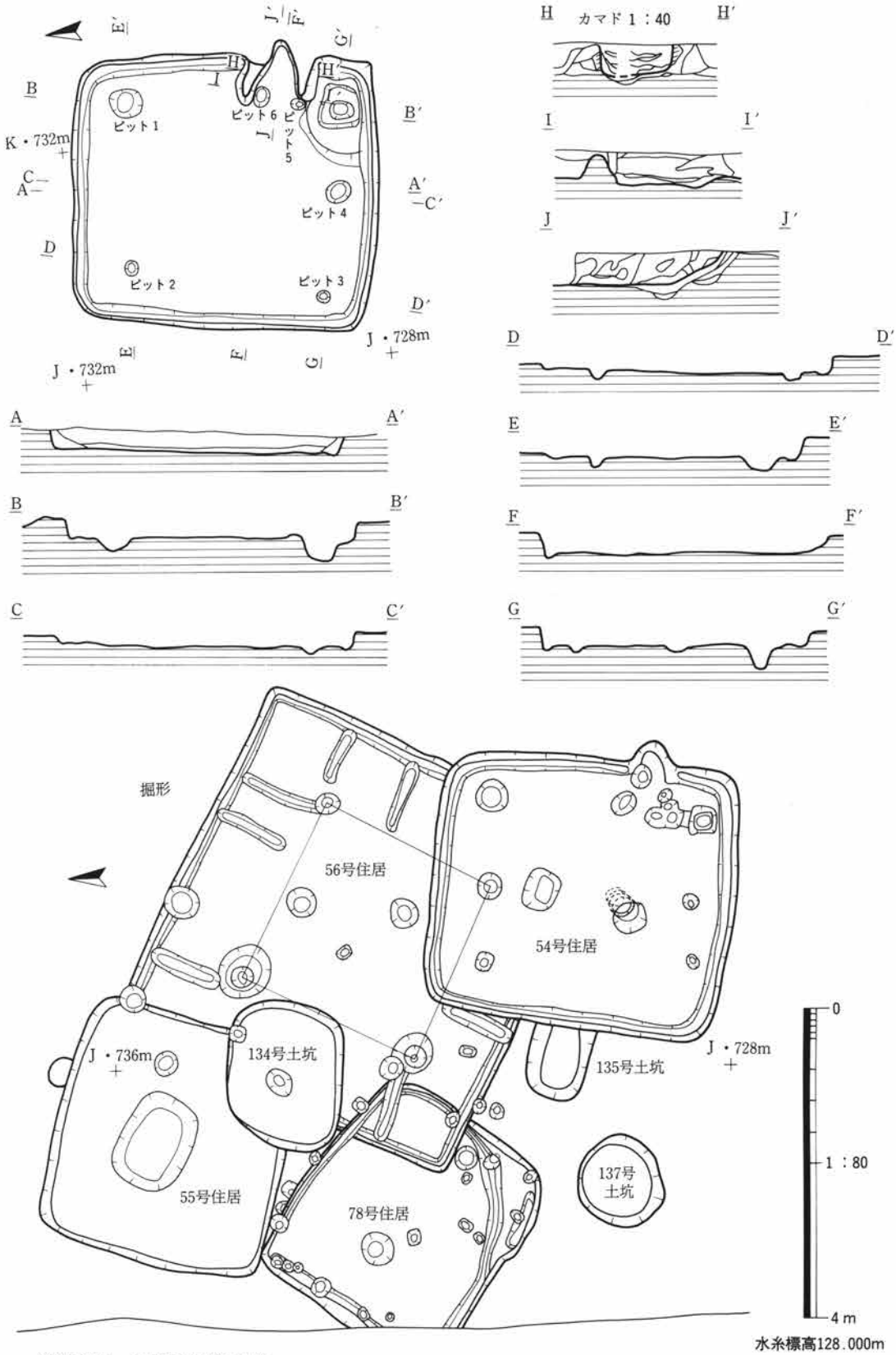
第357図　4区53号住居跡遺物出土状態

三ッ寺II　4区　54号住居跡（第358・696図，図版239・486）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　397×355，面積　14.1m²，壁高　5～35，長軸方位　N7度E	
壁　溝　幅　10～18，深さ　1～5	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N100度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　台形，上パ56×50，下パ18×19，深さ　31	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	，検出位置：J～Kライン・730m付近
重複関係：56住→54住→1掘	，覆　　土：浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁　　：直に近い	，床　　面：平坦，薄い貼床，黄褐色土面に達する
主　柱　穴：床面検出ピットはいずれも浅く小さい	，壁　　溝：全周，カマド燃焼部下未検出
カ　マ　ド：両袖部先端の内側に小ピット検出，燃焼部は住居壁ラインの内側にある，奥壁は三角形を呈する	
貯　蔵　穴：上パの周囲が高さ5cmほどの土手状をなす，内部は二段に掘り込む，底面は略円形を呈する	
掘　　形：カマド前で小ピット検出，重複する56号住居の主柱穴・貯蔵穴を検出，中央部で南西に傾くピット検出	
そ　の　他：掘り込みのしっかりした主柱穴未検出，ピット1；40×36・深さ15，ピット2；径18・深さ13，ピット3；径17・深さ8，ピット4；35×26・深さ9，ピット5；18×13・深さ1，ピット6；26×19・深さ6	
遺　　物：土器165片，中央部に多い，全体にやや浮いた状態で出土，覆土から内斜口縁杯出土，接合しない甕破片あり，0685（刀子，木質遺存）・0809・0810・0811・0813・0814・0815	
時　　期：古墳後期，6世紀後半	



第358図　4区54号住居跡遺物出土状態（西から）



第359図　4 区54号住居跡

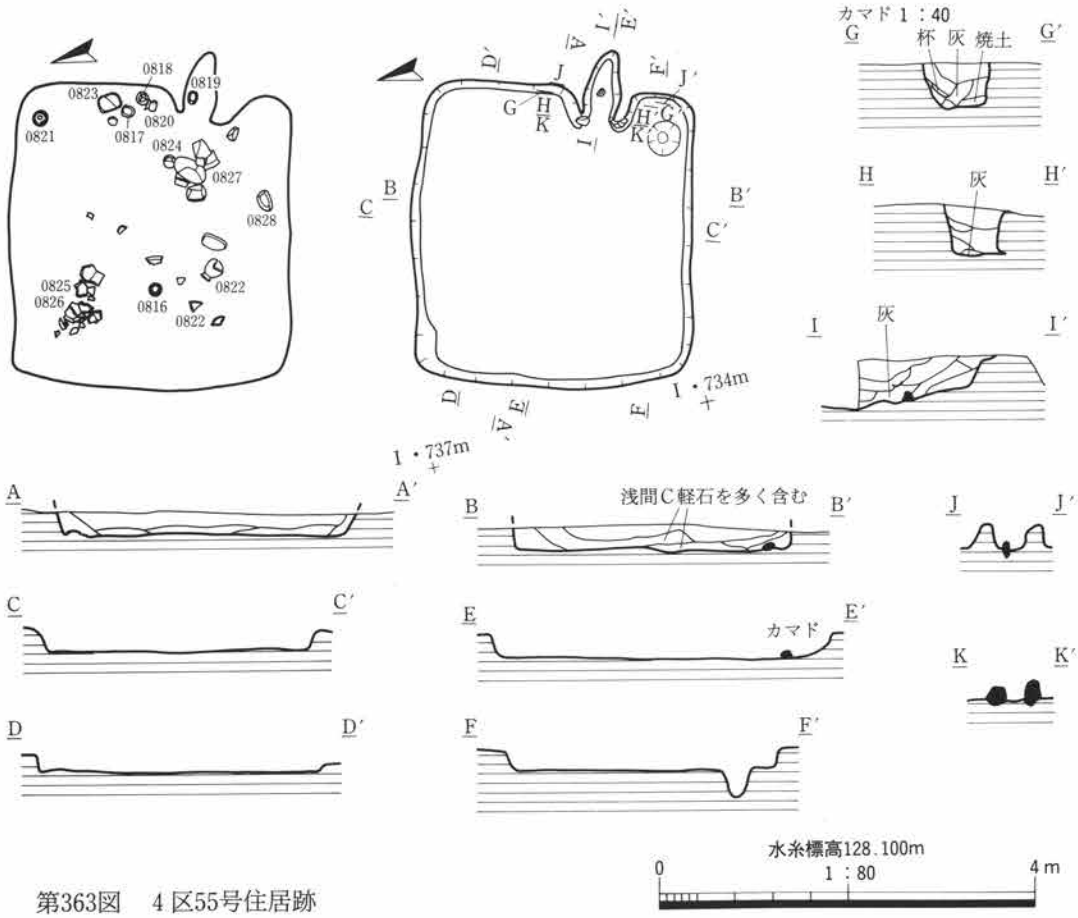
三ッ寺II　4区　55号住居跡（第360・696図，図版240・486）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　318×300，　面積　9.5m²，　壁高　10～25，　長軸方位　N108度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，　対称軸方位　N115度E，　構築材　粘土・石，　支脚　石	
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　円形，　上パ径35，下パ径10，　深さ　27	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Jライン・735m付近
重複関係：56住→134坑→55住→19住	覆　土：黄褐色土bk，を含む褐色系の土
壁　：直に近い	床　面：平坦，薄い貼床，黄褐色土面に達する
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：両袖先端部に石を据えて淡褐色粘土で固める，燃焼部は住居壁ラインにかかる，燃焼部中央やや左寄りに細長い石を据えて支脚とする，カマド北側から完形に近い土器出土，カマド前に散乱した石はカマド構築材か？	
貯　蔵　穴：上パ周縁は他の床面よりわずかに高い	
掘　形：中央床面で楕円形・125×93・深さ20の掘り込み検出，南東隅を中心に134号土坑検出	
そ　の　他：主柱穴見当たらず，遺物豊富	
遺　物：土器145片，全面に散布，遺存良好，やや床面から浮き気味，模倣杯・接合しない甕底部片出土，0816・0817・0818・0819・0820（須恵器酸化気味，台付壺）・0821・0822（提瓶）・0823・0824・0825・0826・0827・0828（金属痕のある石）	
時　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀前半	

第360図　4区55号住居跡遺物出土状態（北から）

第361図　4 区55号住居跡カマド遺物（西から）

第362図　4 区55号住居跡遺物出土状態（北西から）



第363図　4区55号住居跡

第364図　4区55号住居跡カマド（西から）

三ッ寺II　4区　56号住居跡（第365・698図，図版241・488）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北482×東西（500），面積　（24.1）m²，壁高　16～21，長軸方位　N116度E						
壁　溝　幅　10～18，深さ　1～5						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	35×29	55	52×42	28	1－2：250	2－3：244
下パ径	10	17	18	17	3－4：242	4－1：245
深　さ	85	83	88	61		
カマド　位置　南東辺中央やや南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土・石？・土器？，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南隅，平面形　楕円形，上パ53×45，下パ34×23，深さ　100						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：J～Kライン・733m付近

重複関係：56住→134坑→55住，56住→54住→1掘

覆　　土：黄褐色土bk，・浅間C軽石を含む黒色土

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：細かい凹凸あり，貼床

主　柱　穴：ピット4は54号住居内で検出　　，壁　　溝：検出内全周，他遺構との重複部分は破壊

カ　マ　ド：左袖の一部のみ遺存，燃焼部・右袖部は54号住居により破壊，
左袖先端部で土師器甕出土（口縁部を住居内側に向けた状態，袖部の芯か？），
左袖前の床面で長さ35cmの細長い石出土（カマド焚口天井石か？）

貯　蔵　穴：54号住居中央部で検出，本住居の方が床面が高いため上面は削平されている，
壁は直線的に掘り込む

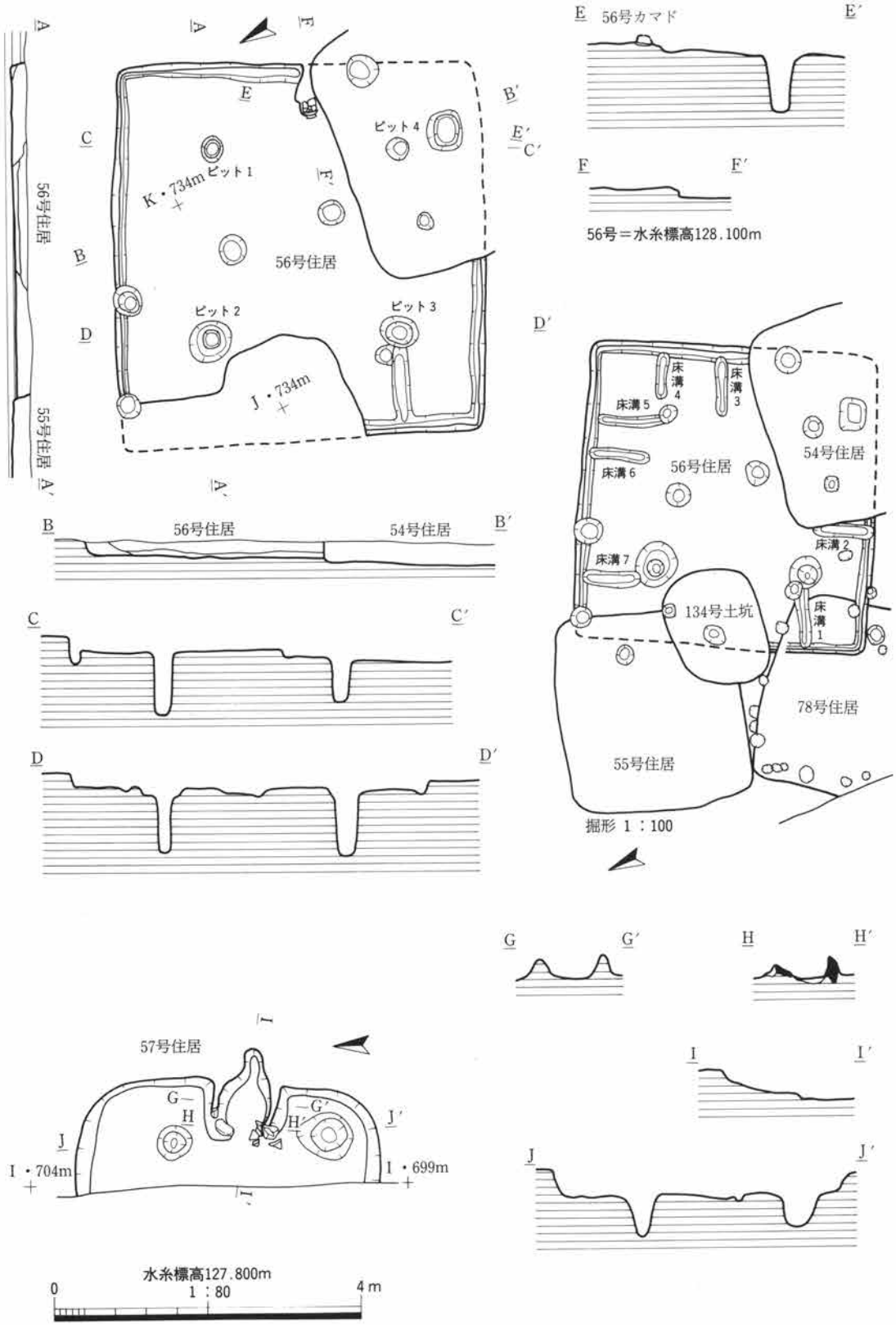
掘　　形：床溝6本追加検出

そ　の　他：床溝1～7，中央部のピットは掘立柱建物のものか？，床溝1：長さ105・幅22・深さ11，
床溝2：長さ98・幅23・深さ10，床溝3：長さ93・幅18・深さ6，床溝4：長さ75・幅16・深さ7，
床溝5：長さ110・幅18・深さ7，床溝6：長さ96・幅17・深さ5，床溝7：長さ95・幅24・深さ7，
小ピット2カ所検出，北隅・南東辺延長線上（54住検出）のピットは本住居のものか？

遺　　物：土器211片，カマド周辺からの出土が多い，覆土から内斜口縁杯・模倣杯・丸胴甕体部片出土，
0812（須恵器蓋）・0832・0833・0834・0835（土師器高杯）

時　　期：古墳中期，5世紀末

第365図　4区56号住居跡カマド遺物（南から）



第366図　4区56・57号住居跡

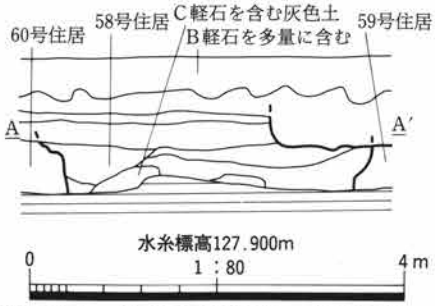
三ッ寺II　4区　57号住居跡（第366・698図，図版242）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

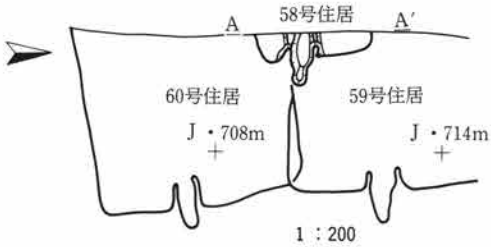
平面形　方形～長方形，規模　南北401，面積　－，壁高　17～37，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺中央，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土・石，支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上パ73×62，下パ径18，深さ　43	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Iライン・701m付近（3－4区境界線上）
重複関係：－	覆　　土：軽石を含む褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：薄い貼床，黄褐色土面に達する
主　柱　穴：ピット1か？	壁　　溝：－
カ　マ　ド：袖先端部に石を据えて粘土で固める，燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は斜めに立ち上がり 煙道につながる，右袖先端部で土師器甕破片出土	
貯　蔵　穴：二段に掘り込む，二段目は楕円形を呈する	
掘　　形：カマド両袖基部に小ピット検出，ピット1西側・貯蔵穴北西側でピット検出，柱穴の一部か？	
そ　の　他：3区55号住居と接する，北東隅・南西隅検出，北辺137・南辺100	
遺　　物：土器61片，覆土から杯破片出土，遺物少ない， 0710	
時　　期：古墳後期，7世紀	

第367図　4区57号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区　58号住居跡（第368・698図，図版242）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北（300），　面積　－，　壁高　－，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N100度E，　構築材　粘土，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Iライン・711m付近
重複関係：59・60住→58住→11住， 壁　：斜めに立ち上がる	覆　土：浅間C軽石を含む灰褐色系の土 床　面：一部検出
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：両袖部検出，燃焼部は住居壁ラインにかかる，煙道の一部検出	
貯　蔵　穴：－	掘　形：－
そ　の　他：カマドを検出したのみ，南東隅・北東隅不明確，床面の範囲でプランを推定， 大半は西側調査区外にあり詳細不明	
遺　物：土器53片，カマド内から土師器大型甕口縁部・杯小片出土，南側覆土（調査区壁中）から杯出土， 0708・0709	
時　期：奈良，8世紀後半	





第368図　4区58号住居跡　土層断面

第369図　4区58号住居跡カマド遺物（西から）

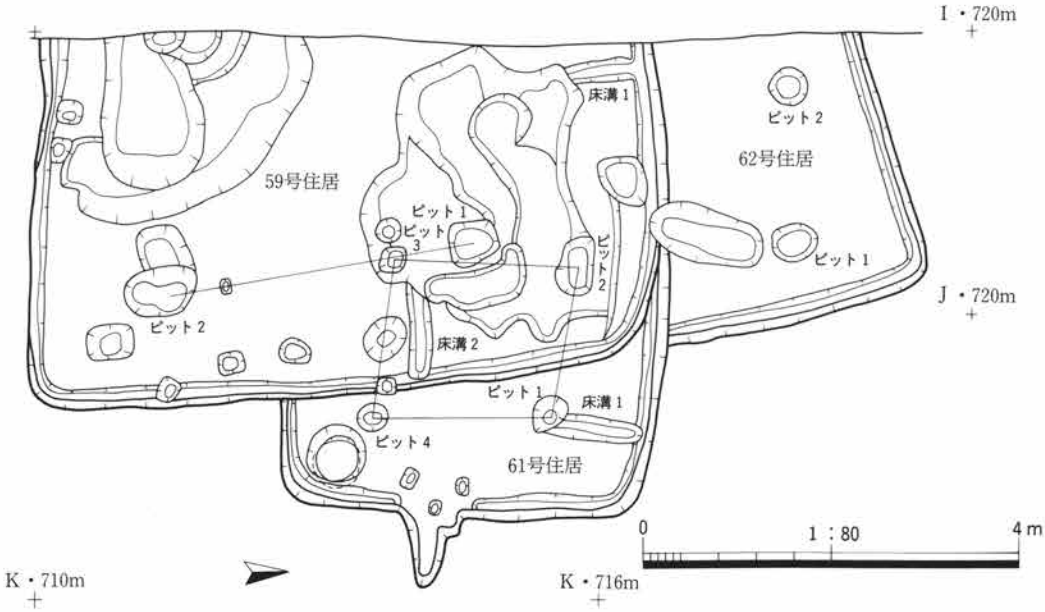
三ッ寺II　4区　59号住居跡（第370・699図，図版243・488）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北679×東西400以上，　面積　－，　壁高　33～50，　長軸方位　－			
壁　溝　幅　7～15，　深さ　2～10			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	80×60	100×64	1－2：341
下パ径	41×21	35	
深　さ	82	88	
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，　対称軸方位　N89度E，　構築材　粘土，　支脚　不明			
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　長方形，　上パ51×37，下パ27×21，　深さ　78			

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層	検出位置：I～Jライン・712m付近
重複関係：61・62住→59住→58住	覆　　土：浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：2本検出，ピット2西側は浅い	壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインの内側にある，奥壁は滑らかに煙道部に連なる	
貯　蔵　穴：南北に長い長方形，底面から土師器杯出土，壁は直線的に掘り込む	
掘　　形：黄褐色土面に達する，東辺で床溝2検出，北東部・南西部で不整形の掘り込み検出	
そ　の　他：南東隅・北東隅検出，北辺305・南辺385，西半は西側調査区外にある，床溝1；長さ74・幅27・深さ7，床溝2；長さ103・幅20・深さ8	
遺　　物：土器316片・石1個，南半からの出土が多い，貯蔵穴底面から土師器完形杯出土（遺物不明），加工痕のある20cm大の石・細長い15cm大の石出土，0699・0700・0701・0702・0703・0704・0705・0706・0707	
時　　期：古墳後期，6世紀後半	

第370図　4区59号住居跡カマド付近遺物（西から）



第371図　4区59・61・62号住居跡　掘形

第372図　4区58・59・61・62号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区　60号住居跡（第373・699図，図版243・489）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　南北546×東西470以上，面積　－，壁高　44～53，長軸方位　－					
壁　溝	幅　10～18，深さ　3～6					
主柱穴	1	2	3		主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	54×43	45×41	45×42		1－2：254	2－3：266
下パ径	38×35	20×15	28×25			
深　さ	56	53	79			
カマド	位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N80度E，構築材　粘土，支脚　土器（台付甕・杯）					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上パ60×46，下パ38×34，深さ　70					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：I～Kライン・707m付近

重複関係：60住→59住→58住→11住　　覆　　土：暗灰色系の土

壁　　：直に近い　　床　　面：平坦，貼床，亀裂あり

主　柱　穴：ピット1径は亀裂による移動分含む　　壁　　溝：北辺は59号住居床下から検出

カ　マ　ド：燃焼部奥は滑らかに煙道に連なる，燃焼部中央に台付甕＋杯（両者とも底部上）を据える

貯　蔵　穴：壁は直線的に掘り込む　　掘　　形：細かい凹凸あり，小穴多数検出，床溝検出

そ　の　他：北東隅・南東隅検出，北辺340・南辺475，床溝1～5検出，

床溝1；長さ108・幅14・深さ11，床溝2～5；－，ピット4；45×37・深さ10

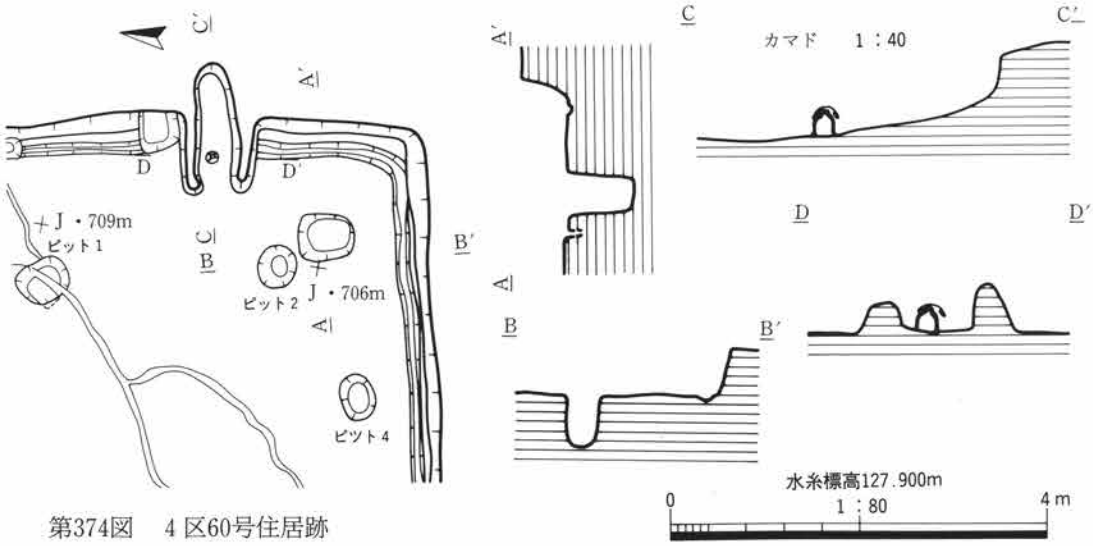
遺　　物：土器517片・石7個，覆土から黒色模倣杯・丸胴甕口縁部出土，中央西寄り床面から10～20cm大の

石7個集中して出土，

0694・0695（カマド，口縁部下）・0696（台付甕，カマド，口縁部下）・0697（鉢形甑）・0698

時　　期：古墳中期，5世紀末

第373図　4区60号住居跡遺物出土状態（北から）



第374図　4区60号住居跡

三ッ寺II　4区　61号住居跡（第371図，図版243）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北401，面積　－，壁高　13～40，長軸方位　－						
壁　溝　幅　8～20，深さ　1～4						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	35	54×35	30	30×25	1－2：161	2－3：195
下パ径	20	37×23	18×11	19×12	3－4：168	4－1：191
深　さ	67	62	44	41		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N93度E，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上パ61×59，下パ30×30，深さ　87						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：J～Kライン・714m付近
重複関係：61住→59住→58住→11住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む灰褐色系の土
壁　　：直に近い　　，床　　面：平坦，薄い貼床
主　柱　穴：ピット2・3は59号住居内検出　　，壁　　溝：検出内全周，59号住居内は破壊されている
カ　マ　ド：燃焼部から煙道部へ滑らかに連なる　　，貯　蔵　穴：壁の中位は丸く膨らむ
掘　　形：細かい凹凸あり，小穴多数検出
そ　の　他：北東隅・南東隅検出，北辺285・南辺93，ピット3西側；径25・深さ33，ピット4西側；径25・深さ34，床溝1；長さ96・幅18・深さ8
遺　　物：61～63号住居出土分と同時に取り上げ，本遺構分なし，遺物図掲載なし
時　　期：重複関係から古墳

三ッ寺II　4区　62号住居跡（第371・699図，図版243）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　4～19，長軸方位　－						
壁　溝　幅　10～15，深さ　1～5						
主柱穴　不明						
カマド　不明						
貯蔵穴　不明						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：I～Jライン・718m付近
重複関係：62住→59住→58住→11住　　，覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：直に近い　　，床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床
主　柱　穴：ピット1～3は浅い　　，壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：－　　，貯　蔵　穴：－
掘　　形：小穴多数検出
そ　の　他：ピット1；51×45・深さ13，ピット2；43×39・深さ11，ピット3；33×・深さ18
遺　　物：土器184片（61・62・63住出土），内面に放射状暗文を施す土師器杯出土，0796・0797・0798
時　　期：古墳後期，6世紀後半

三ッ寺II　4区　63号住居跡（第375・700図，図版246・489）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北287×東西225以上，面積　－，壁高　3～12，長軸方位　－	
壁　溝　幅　8～13，深さ　1～3	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：I～Jライン・721m付近
重複関係：65・66住→63住→B7溝	覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：凹凸あり
主　柱　穴：－	壁　　溝：北東隅は65号住居調査のため掘り下げた
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：小穴多数検出，南東隅方形ピット；44×47・深さ14，南辺寄長方形ピット；35×28・深さ17	
そ　の　他：南西部壁直下で焼土検出，プラン不整形	
遺　　物：土器15片，覆土から模倣杯・外稜のある鉢・甕底部片出土，0799・0800	
時　　期：古墳後期，7世紀前半	

三ッ寺II　4区　64号住居跡（第284図，図版247）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北282×東西291，面積　8.2m²，壁高　37～55，長軸方位　N97度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N96度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：O～Pライン・710m付近
重複関係：－	覆　　土：黄褐色土，暗褐色土
壁　　：直に近い，やや深い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインから突出する，両袖部粘土は一部遺存，奥壁未検出	
貯　蔵　穴：－	掘　　形：凹凸著しい，黄褐色土面に達する
そ　の　他：カマド燃焼部奥壁は調査区外にある	
遺　　物：土器26片，覆土から模倣杯口縁部・須恵器瓶口縁部・蓋（カエリ）出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	

第375図　4区63・65・66号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区　65号住居跡（第375・700図，図版248・489）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形（菱形），規模　南北523×東西519，面積　27.1m²，壁高　13～29，長軸方位　N3度E

壁　溝　幅　10～17，深さ　3～7

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	35×33	35×40	42×38	42×39	1－2：242	2－3：218
下パ径	18×22	15	20	17	3－4：232	4－1：229
深　さ	65	73	80	78		

カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N104度E，構築材　粘土，支脚　不明

貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上パ95×94，下パ21×26，深さ　76

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位　　検出位置：Jライン・722m付近

重複関係：65住→63住→B7溝　　覆　　土：C軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：直に近い　　床　　面：平坦，薄い貼床

主　柱　穴：4本検出，柱間は東西方向がやや長い　　壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：溝により大半を破壊，遺存不良

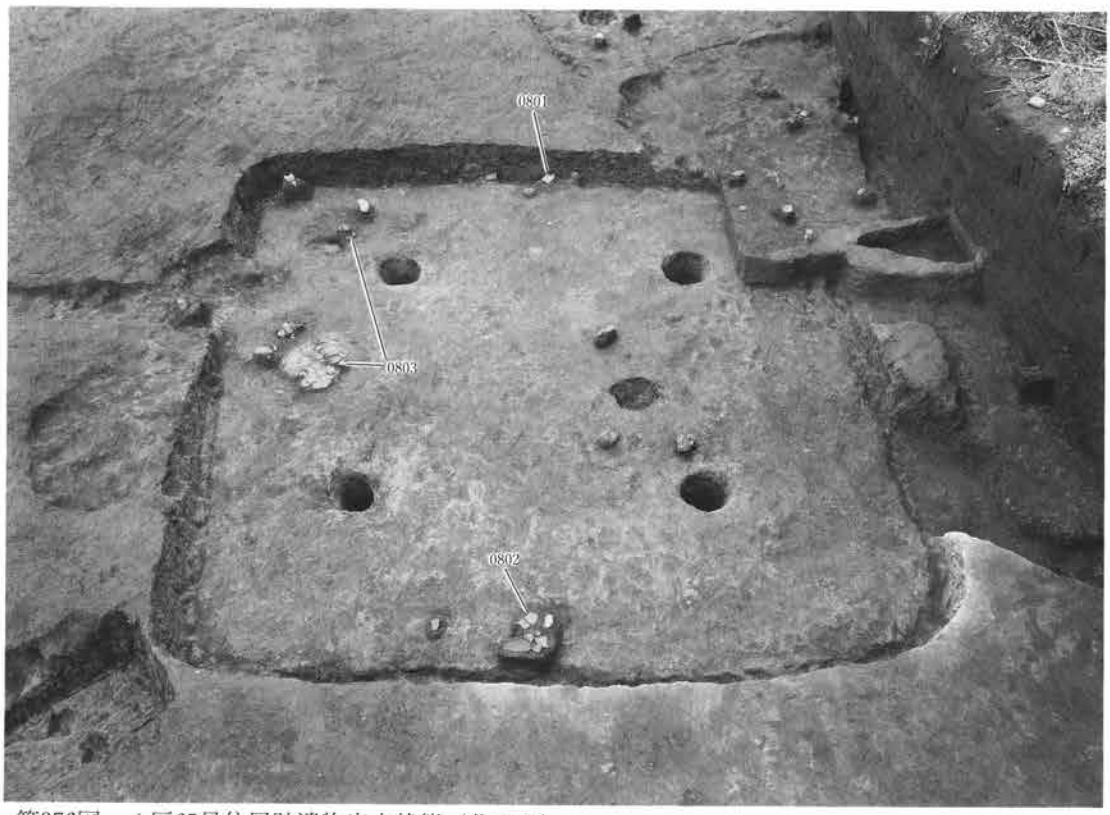
貯　蔵　穴：中に50×25cm大の細長い石を検出，隣接するピット6も貯蔵穴の一部か？

掘　　形：内接する壁溝（ほぼ全周）を検出，南辺西側ではその内側にも長さ120cm分検出，2回建て替えか？，北東主柱穴を除き柱穴3セット，同心円的拡張か？

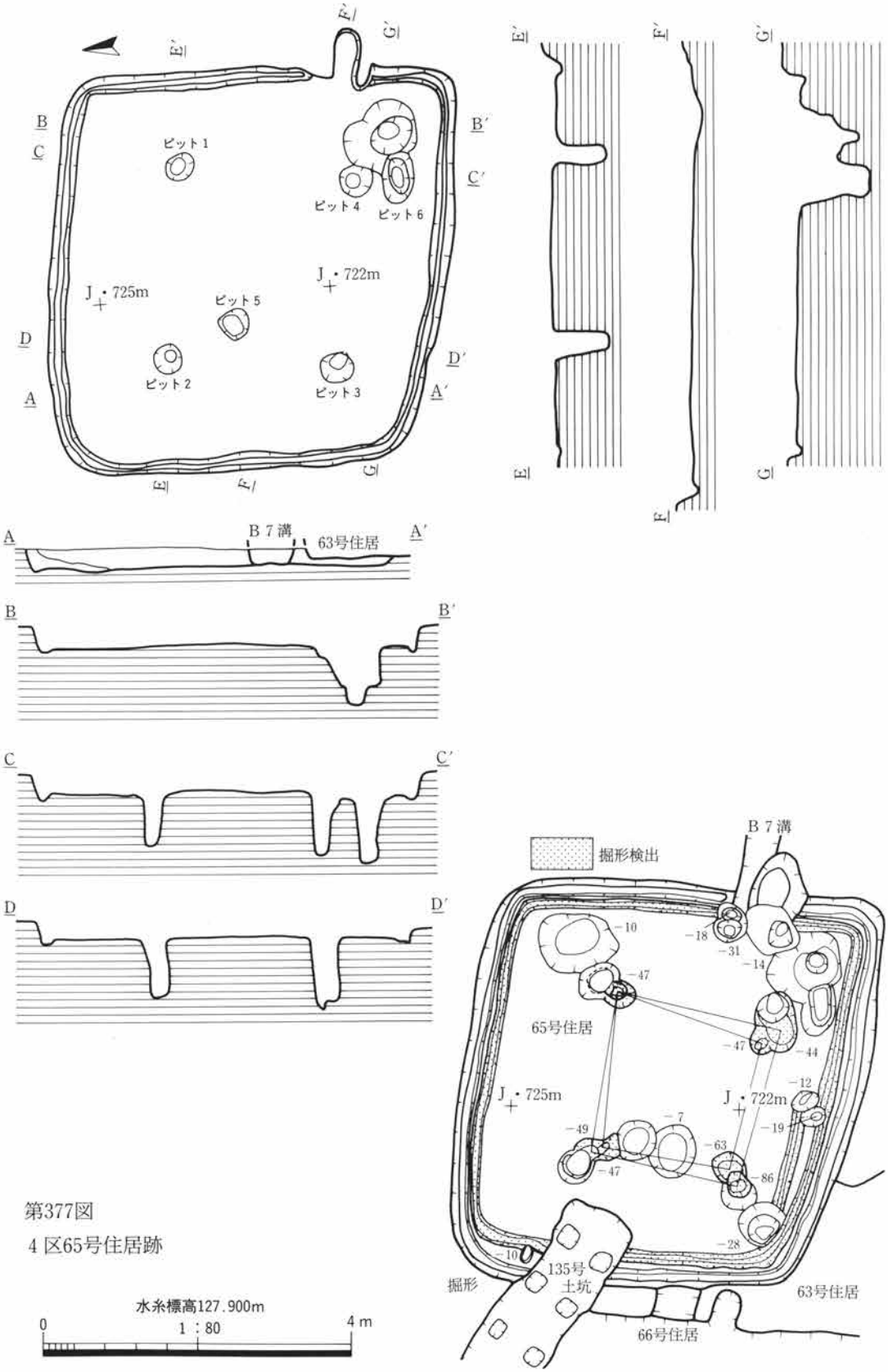
そ　の　他：ピット5；37×35・深さ16，ピット6；62×43・深さ90，床下検出分は掘形図で示す

遺　　物：土器398片・石1個，覆土から脚部の膨らむ高杯・須恵器瓶体部片・丸い軽石出土，0801・0802・0803

時　　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀



第376図　4区65号住居跡遺物出土状態（北から）



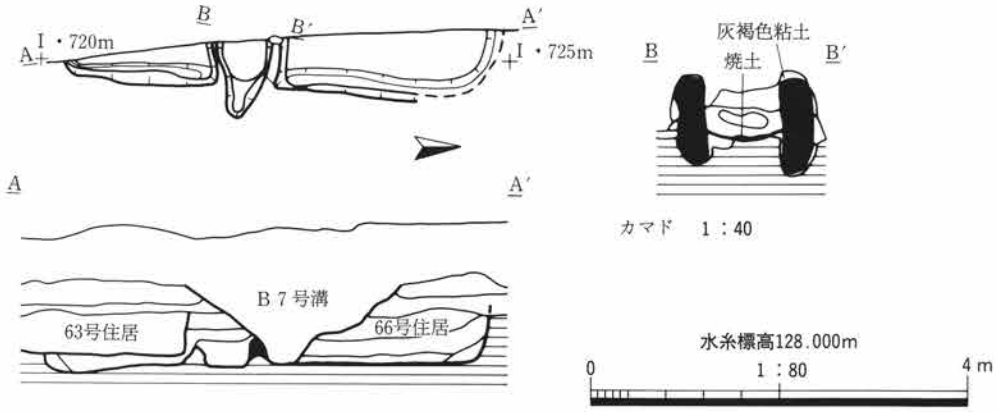
第377図
4 区65号住居跡

三ッ寺II　4区　66号住居跡（第375図，図版246）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　10～29，長軸方位　－	
壁　溝　幅　10～18，深さ　2～5	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺中央，対称軸方位　N98度E，構築材　粘土・石，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Iライン・723m付近
重複関係：153坑→66住→63住→B7溝	覆　土：灰褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる	床　面：貼床
主　柱　穴：－	壁　溝：東辺南寄りで検出
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，袖石の一部検出，袖部が調査区壁にかかる	
貯　蔵　穴：－	掘　形：－
そ　の　他：東辺380（450前後か？），南東隅付近を検出，北東隅未検出（推定），大半は西側調査区外にある	
遺　物：土器17片，カマドから模倣杯小片出土，覆土から甕口縁部出土，遺物図掲載なし	
時　期：重複関係から古墳	

三ッ寺II　4区　67号住居跡（第284図，図版250）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　543×418，面積　22.7m²，壁高　10～26，長軸方位　N89度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：O～Pライン・733m付近，一部は東側道検出
重複関係：－	覆　土：浅間C軽石を多く含む褐色系の土
壁　：直に近い	床　面：平坦，細かい凹凸あり
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　形：－	
そ　の　他：いずれのピットも浅い，ピットの組み合わせ不良，中央部に小穴検出，弥生の可能性あり	
遺　物：小片のみ，甕底部片・模倣杯・須恵器瓶体部片出土，遺物図掲載なし	
時　期：不明，古墳？	



第378図　4区66号住居跡

三ッ寺II　4区　68号住居跡（第379・700図，図版251・489）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　520×478，面積　24.9m²，壁高　8～39，長軸方位　N101度E						
壁　溝　幅　12～18，深さ　1～8						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	33	42	28	30×36	1－2：261	2－3：232
下パ径	22	26×20	16×20	18×21	3－4：252	4－1：226
深　さ	60	50	55	59		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ65×42，下パ42×30，深さ　60						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：Mライン・718m付近

重複関係：69・70・71住→68住→10住　　覆　土：軽石を含む黒褐色系の土

壁　：直に近い　　床　面：細かい凹凸あり，貼床

主　柱　穴：4本検出，深さが揃っている　　壁　溝：検出内全周

カ　マ　ド：袖部遺存不良，燃焼部は住居壁のラインにかかる

貯　蔵　穴：北東部に帯状の高まりがある

掘　形：床面壁溝に内接する壁溝検出，北東隅で方形・55×58・深さ60の貯蔵穴検出，

南西部ピット3から西辺に延びる床溝・北辺中央部で南へ延びる床溝検出，

南辺中央部で小ピット2カ所検出，建て替え

そ　の　他：中央部に掘り込まれた円形の土坑は住居掘形の下位（遺物出土なし）

遺　物：土器216片，覆土から模倣杯・甕口縁部小片出土，68～71住土器13片，

北辺中央壁際に15cm大の石12個がまとまって出土，その西側に30cm大のやや大きい石出土，

0711・0712・0713・0714

時　期：古墳後期，7世紀前半

第379図　4区68号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　69号住居跡（第380図，図版251）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　328×（340），　面積　11.2m²，　壁高　9～18，　長軸方位　N95度E

壁　溝　幅　10～13，　深さ　2～4

主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	40	50×44	46×40	1－2：155	2－3：142
下バ径	28	20	34×28		
深　さ	6	17	6		

カマド　位置　東辺中央南寄り，　対称軸方位　N100度E，　構築材　粘土，　支脚　石？

貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　長方形，　上バ42×33，下バ20×14，　深さ　62

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・722m付近

重複関係：69住→68住→10住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる，浅い　　，床　　面：細かい凹凸あり，貼床

主　柱　穴：いずれも浅い，南東ピット相当（カマド右側，径20・深さ11）は掘形調査で検出，組合せ・深さ不良

壁　　溝：カマド部分を除き検出内全周　　，カ　マ　ド：燃焼部は住居壁から突出する

貯　蔵　穴：大きさ・深さ・形状からピット4とした，掘形調査では二段に掘り込む

掘　　形：中央部ピット；径20・深さ7，中央北寄ピット；径40・深さ5，南西部長方形ピット；76×39・深さ7，凹凸著しい

そ　の　他：南東隅未検出，

遺　　物：土器90片・石1個，カマド左袖脇から3～5mm大の石を多量に含む甕底部出土，遺物少ない，カマドからケズリ甕破片出土，覆土から模倣杯出土，遺物図掲載なし

時　　期：古墳

第380図　4区69号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　70号住居跡（第381・700図，図版252・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　463×450，面積　20.8m²，壁高　15～73，長軸方位　N102度E						
壁　溝　不明						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	50×44	38×43	40×43	40×41	1－2：228	2－3：185
下バ径	29×19	22×27	30×26	20×12	3－4：213	4－1：192
深　さ	44	27	37	49		
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N103度E，構築材　粘土・石，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上バ65×58，下バ45×30，深さ　42						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：M～Nライン・713m付近

重複関係：71住→70住，73住→70住　　，覆　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土

壁　：直に近い　　，床　面：中央南北方向に高さ5～6の段あり，貼床

主　柱　穴：4本検出　　，壁　溝：北西隅？

カ　マ　ド：両袖先端部に長さ25cm大の石を据える，焚口天井部に長さ45cm大の石を架ける，天井石はズリ落ちた状態で検出，右袖石は北側へ傾いて検出，燃焼部は住居壁内側にある，奥壁は円く斜めに立ち上がる

貯　蔵　穴：底面は楕円形を呈する

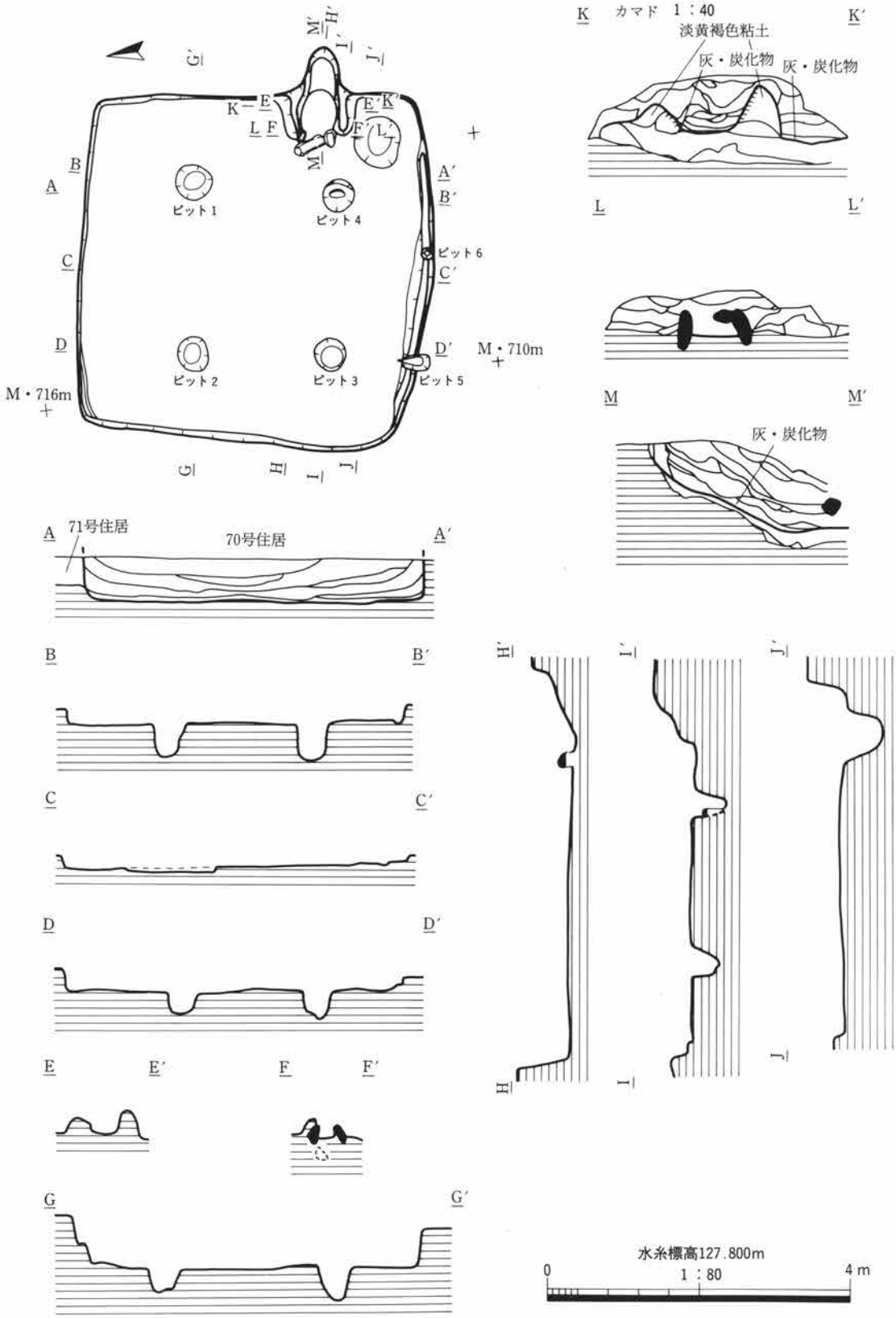
掘　　形：中央部がくぼむ，小穴多数検出，北辺寄りに浅い掘り込み検出，南辺に幅10～20・長さ300ほどのテラス検出，北辺～西辺の直下もテラス状を呈する，地山亀裂不明確

そ　の　他：南辺中央部にピット2カ所検出，ピット5；40×20・深さ3，ピット6；径15・深さ2

遺　　物：土器671片，床面から模倣杯2個体出土，カマド右脇から丸胴甕体部片出土，覆土から土師器高杯脚部（タテケズリ）・小型甕・須恵器高杯（短脚長方形1段透かし）・瓶小片出土，0715・0716・0717・0718（須恵器蓋）・0719（須恵器杯，蓋受け）・0720・0721

時　　期：古墳後期，6世紀後半

第381図　4区70号住居跡遺物出土状態（西から）



第382図　4区70号住居跡

三ッ寺II　4区　71号住居跡（第383・701図，図版253・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　東西533×南北534以上，面積　－，壁高　30前後，長軸方位　N7度E					
壁　溝	幅　8～15，深さ　1～10					
主柱穴	1	2	3（70住）	4（70住）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	46×34	43×42	24×27	54	1－2：295	2－3：291
下バ径	34×23	13	14	23	3－4：（278）	4－1：（293）
深　さ	36	49	59（32）	51（27）	71住床面からの深さ，（　）内は70住掘形の深さ	
カマド	位置　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅（70住掘形内），平面形　長方形，上バ63×53，下バ36×25，深さ　63（46）					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Nライン・717m付近

重複関係：71住→70住，71住→68住，71住→76住

覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，貼床，北東～南西方向に亀裂あり（地震？）

主　柱　穴：ピット3・4は70号住居掘形調査で検出（深さは本住居床面から計測）

壁　　溝：検出内全周　　，カ　マ　ド：南辺または西辺か？，東辺では未検出

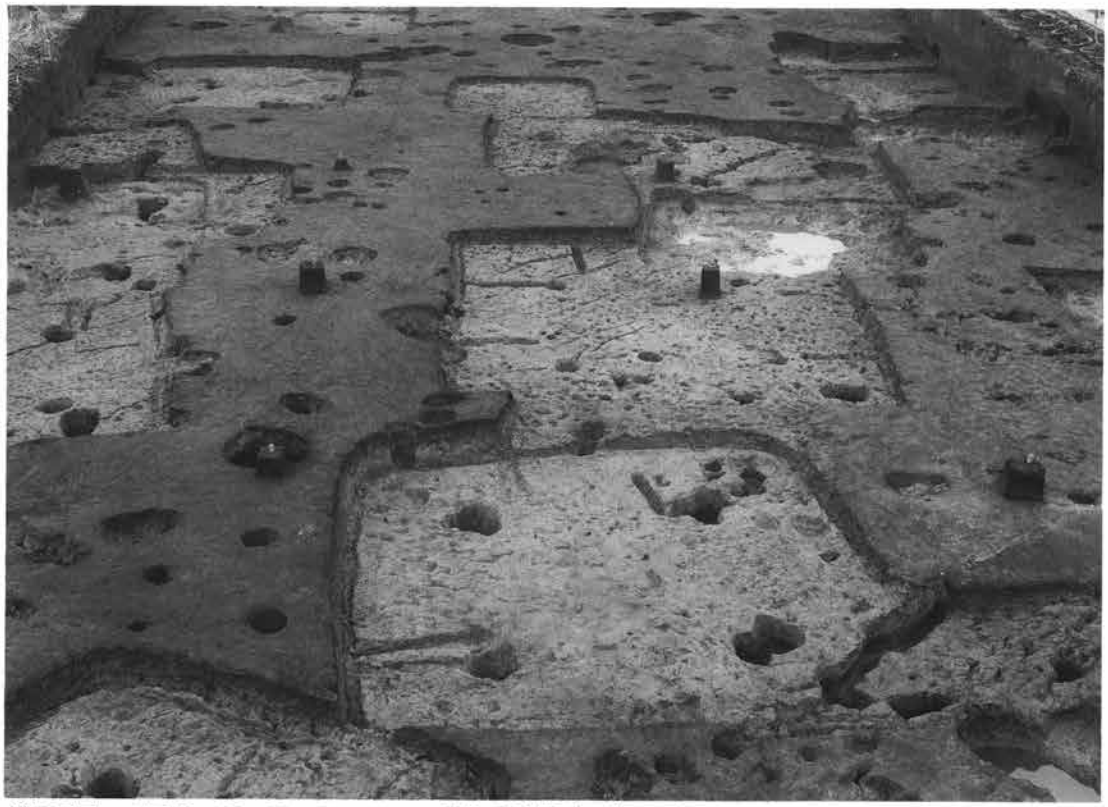
貯　蔵　穴：70号住居掘形調査で検出

掘　　形：凹凸著しい，小穴多数検出，東辺寄りで径120・深さ30の円形土坑検出（掘形下位），床溝3本追加検出

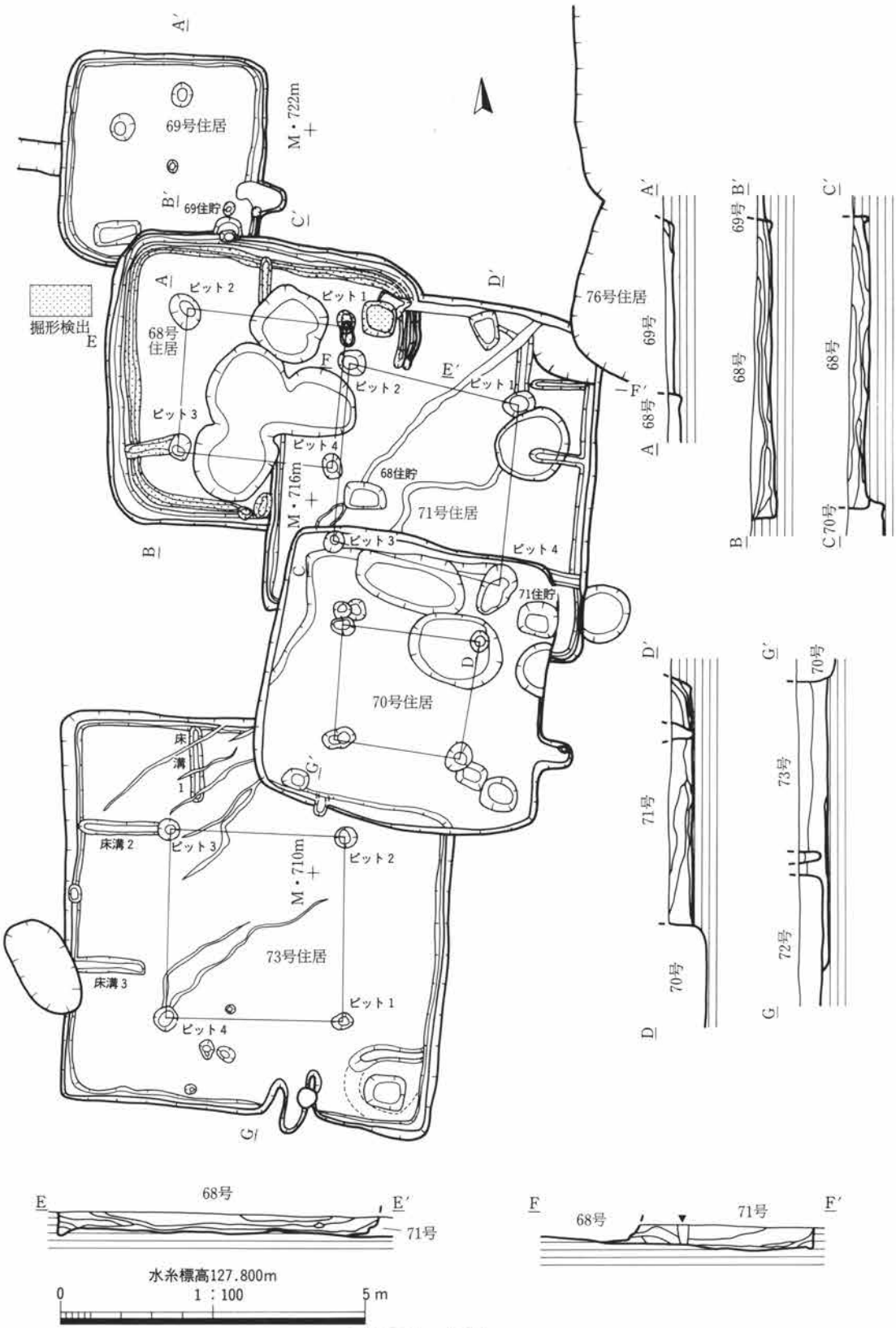
そ　の　他：周辺は重複住居により破壊

遺　　物：土器101片，覆土から土師器杯・高杯脚部・須恵器甕頸部小片出土，0722（管玉）・0952

時　　期：古墳後期，6世紀後半



第383図　4区68・69・70・71・73・74号住居跡掘形（南から）



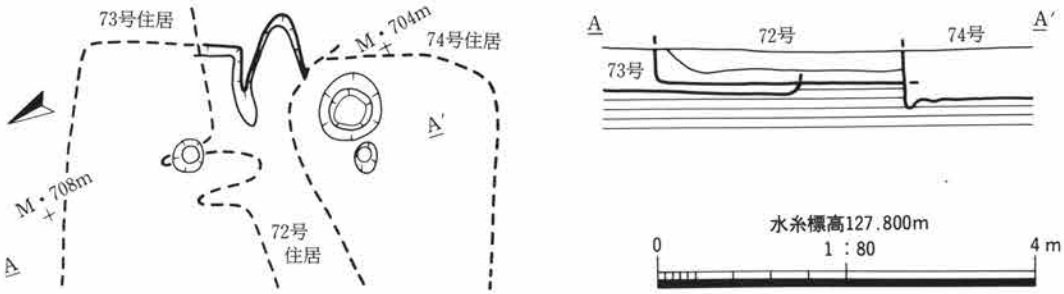
第384図　4区68・69・70・71・73号住居跡　掘形

三ッ寺II　4区　72号住居跡（第385・701図，図版254・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　（長方形），規模　推定南北450×東西400，面積　－，壁高　30前後，長軸方位　－						
壁　溝　不明						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	31×35	25	30×25	30×24	1－2：189	2－3：208
下パ径	16	17	13	14	3－4：160	4－1：186
深　さ	31	32	30	30		
カマド　位置　南東辺中央，対称軸方位　N124度E，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　カマド右脇，平面形　楕円形，上パ73×65，下パ30×30，深さ　40						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Mライン・705m付近
重複関係：73住→72住→74住	覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：範囲確認のみ，貼床
主　柱　穴：4本検出，南側2本は74号住居内検出	壁　　溝：－
カ　マ　ド：右袖部は74号住居により破壊	貯　蔵　穴：底面は方形，74号住居貼床下で検出
掘　　形：－	
そ　の　他：72～74号住居は同時調査のため本住居プランは不明確，床面範囲で推定した	
遺　　物：土器22片・石1個，覆土からケズリ甕・外稜杯出土，カマドから模倣杯・12cm大の石出土，0950・0951（滑石製紡錘車）	
時　　期：古墳後期，6世紀後半	



第385図　4区72号住居跡土層断面

第386図　4区72号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区　73号住居跡（第383・701図，図版255・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模 628×634，面積 39.8m²，壁高 35～56，長軸方位 N4度E					
壁溝	幅 9～15，深さ 1～10					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	32×26	35	35	40	1－2：297	2－3：283
下パ径	17×13	18×22	16	20×26	3－4：304	4－1：290
深さ	49	58	80	47		
カマド	位置 南辺中央やや東寄り，対称軸方位 N193度E，構築材 粘土？，支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 長方形，上パ66×54，下パ44×33，深さ 85					

その他（状況の記録）

確認面：黒色土，6層，検出位置：Mライン・709m付近

重複関係：73住→72住→74住，73住→70住→68住

覆土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土，壁：直に立ち上がる

床面：平坦，貼床，黄褐色土面に達する，地割れあり

主柱穴：4本検出，北西部ピットのみ特に深い，壁溝：検出内全周

カマド：72号住居床下で検出，遺存不良

貯蔵穴：北側周縁を高さ10cm前後の土手状の高まりが囲む

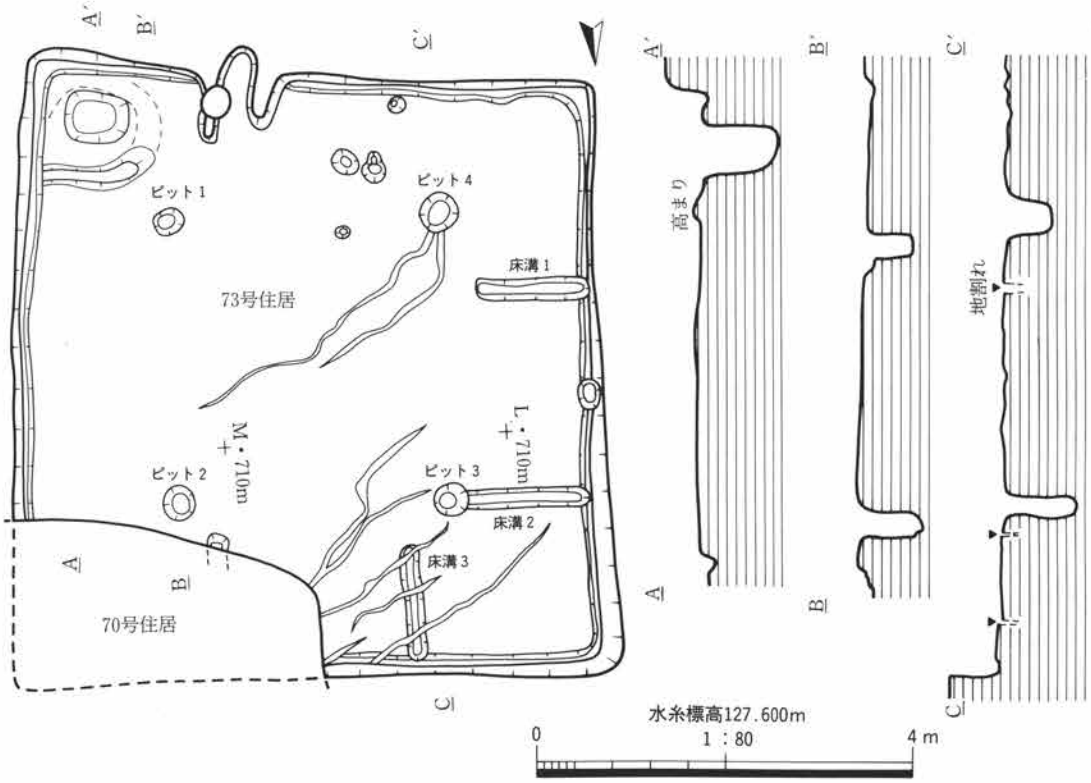
掘形：凹凸あり，小穴多数検出

その他：北東隅は70号住居により破壊され未検出，床溝3本検出，
床溝1：長さ122・幅20・深さ16，床溝2：長さ130・幅21・深さ10，床溝3：長さ123・幅24・深さ15，北東部のピット状掘り込みも床溝の可能性あり

遺物：土器289片，覆土から模倣杯2個体以上・甑？・須恵器大型甕頸部出土，
0723・0724・0725・0726・0727・0728・0729

時期：古墳後期，6世紀前半

第387図　4区73号住居跡遺物出土状態（西から）



第388図　4区73号住居跡

第389図　4区73号住居跡貯蔵穴付近遺物（西から）

三ッ寺II　4区　74号住居跡（第383・702図，図版256・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北594×東西581，面積　34.5m²，壁高　17～63，長軸方位　N0度					
壁　溝	幅　8～18，深さ　3～8					
主柱穴	1A	2A	3	4A	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	47×53	50	54×56	54	1A－2A：276	2A－3：274
下バ径	21×26	28	29×27	22	3－4A：274	4A－1A：276
深　さ	72	70	67	72		
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N93度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上バ52×48，下バ40×32，深さ　66					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・702m付近，3－4区の間

重複関係：3区54住→74住，72住→74住　　，覆　　土：浅間C軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：平坦，薄い貼床，南東隅に地割れ

主　柱　穴：北側は3本の重複，南東部は2～3本の重複，南西部は1本のみ検出，南北方向に拡張したか？，ピット1Bの底面には偏平な石を据える

壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の外に突出する，奥壁は丸みをもつ，袖部遺存不良

貯　蔵　穴：上バ周囲に浅い段あり

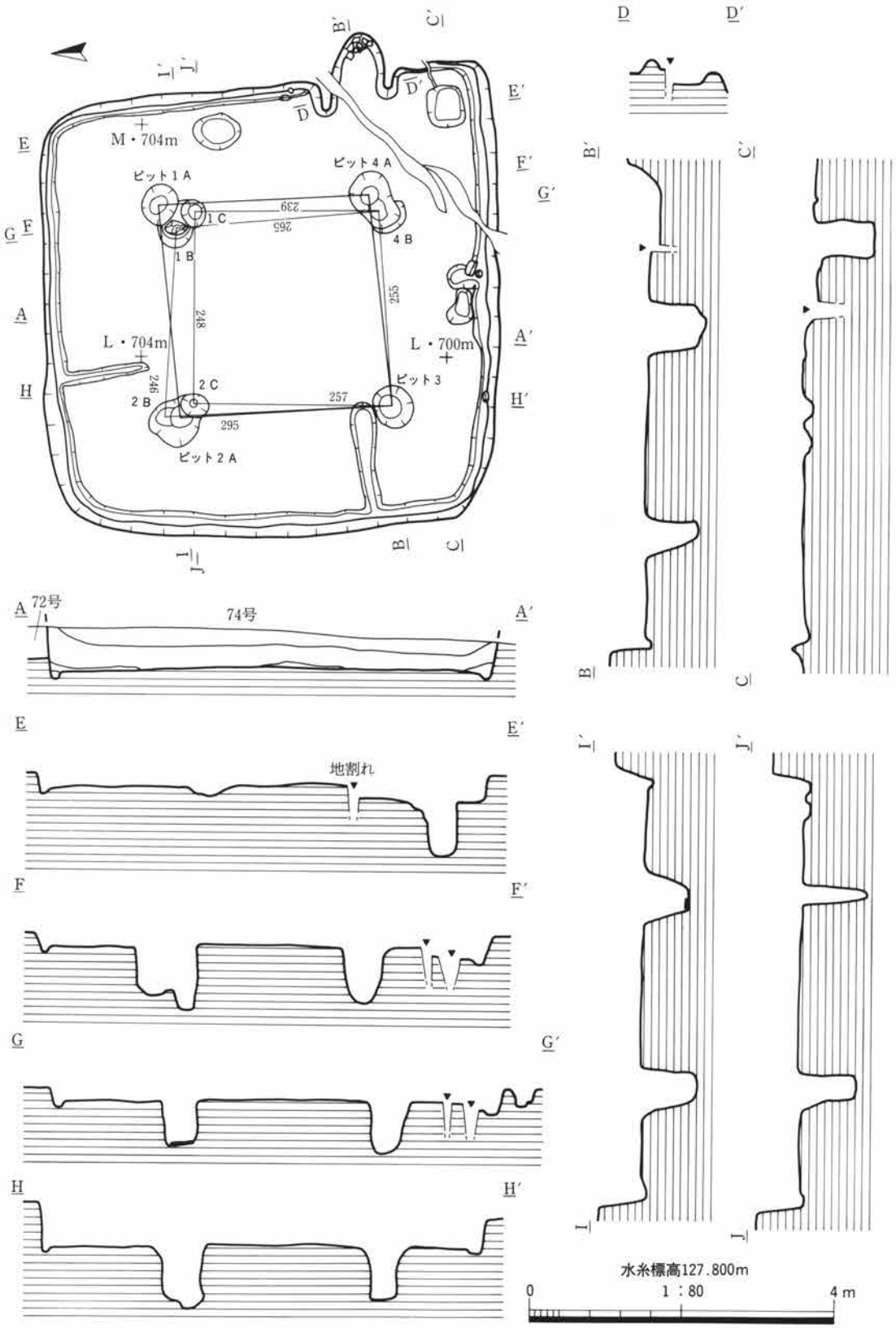
掘　　形：壁直下に内接する壁溝を検出，小ピット多数検出，重複する床溝検出

そ　の　他：床面で床溝2本・掘形で5本追加検出，南辺中央部の床面で小ピット2個検出，同位置で2本追加検出（出入口か？），南東部の地割れで南東側が低く落ちる（10～17cmの落差）

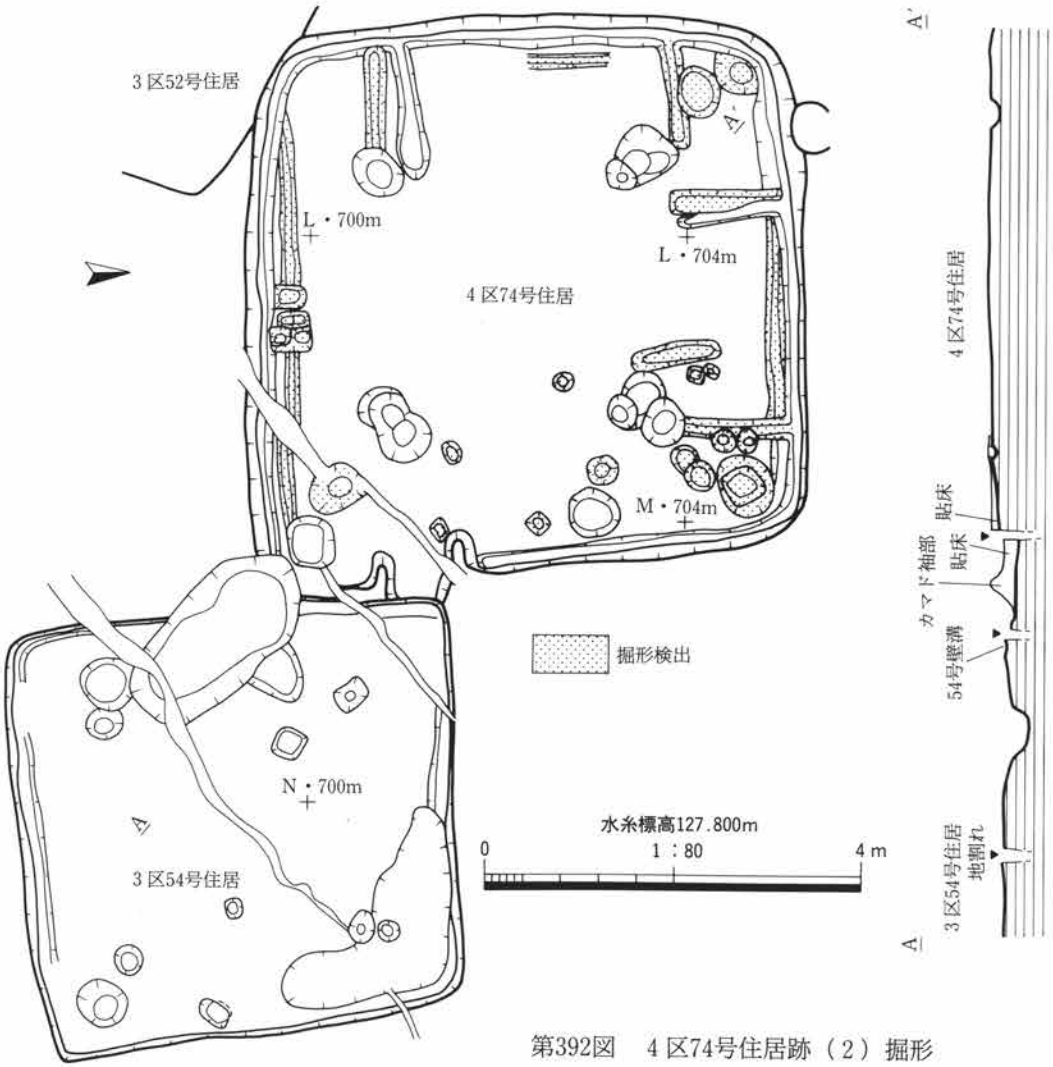
遺　　物：土器328片・炭化物サンプル1袋，カマドから甕口縁部出土，覆土から土師器外稜杯4個体・高杯・模倣杯・須恵器提瓶・瓶口縁部出土，0934・0935・0936・0937

時　　期：古墳後期，7世紀前半

第390図　4区74号住居跡遺物出土状態（西から）



第391図　4区74号住居跡（1）



第392図　4区74号住居跡（2）掘形

第393図　4区74号住居跡付近掘形（北から）

三ッ寺II　4区　75号住居跡（第394・701図，図版257）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北646，面積　－，壁高　38～68，長軸方位　－			
壁　溝　幅　7～20，深さ　3～11			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下ハ心心）
上ハ径	41×49	30×35	1－2：365
下ハ径	30×32	21	
深　さ	27	20	
カマド　位置　北辺，対称軸方位　－，構築材　粘土，支脚　不明			
貯蔵穴　不明			

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：O～Pライン・724m付近

重複関係：79住→75住，76住→75住　　，覆　　土：暗褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：西側2本検出　　，壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：左袖部・燃焼部検出，右袖部は調査区壁中，右袖寄りで甕底部出土

貯　蔵　穴：－　　，掘　　形：下層で79号住居検出

そ　の　他：76住との重複関係は不明，南辺365，東半は調査区外にある，東側道調査のとき道路下のため

未調査，79号住居の拡張か？

遺　　物：土器78片，中央部床面から須恵器甕体部片出土，カマド内から内斜口縁杯出土，

南辺中央部壁際から炭化物出土，

0730

時　　期：古墳後期，7世紀前半

第394図　4区75号住居跡カマド遺物（南から）

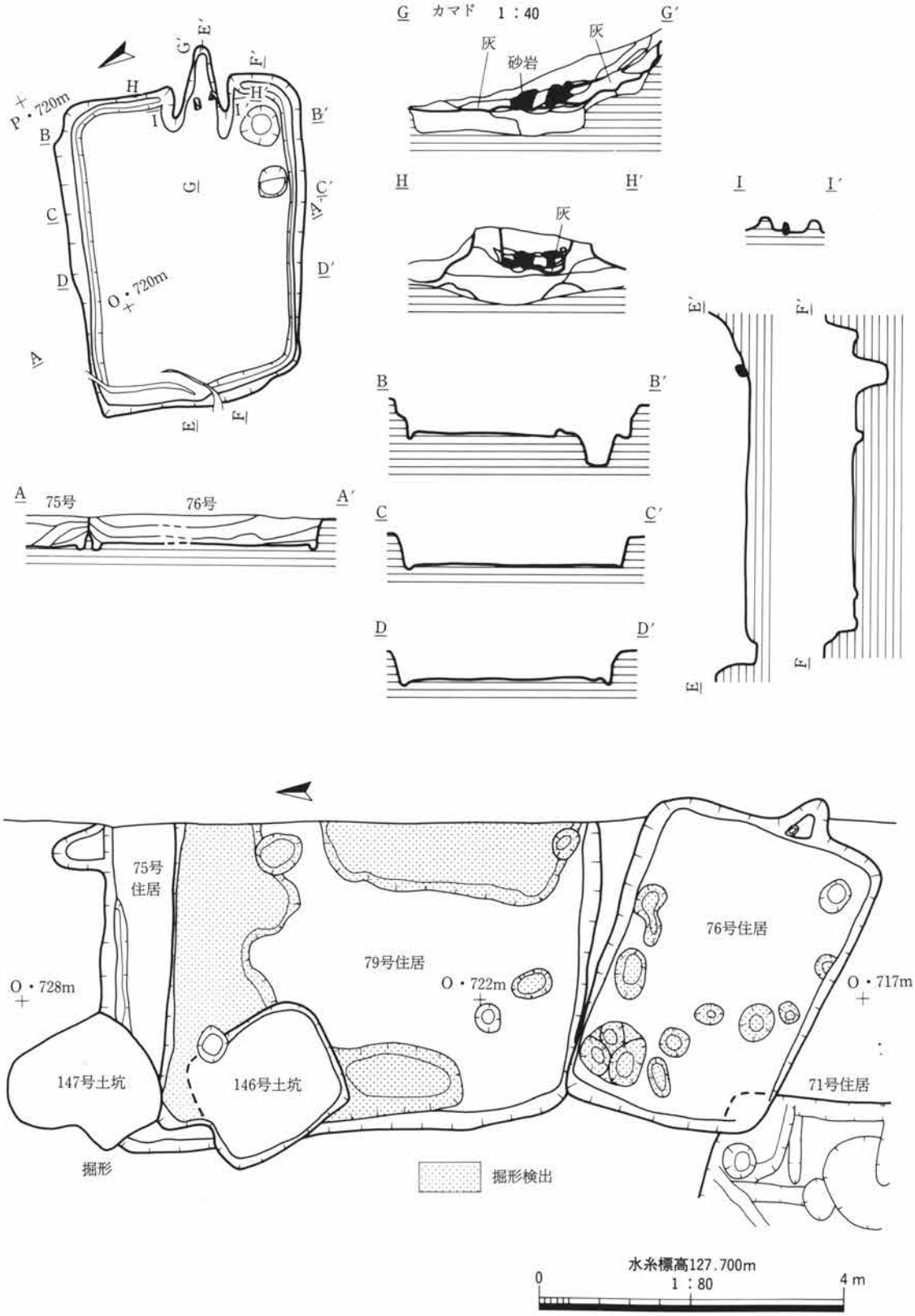
三ッ寺II　4区　76号住居跡（第395・702図，図版258）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	台形，規模　南北307×東西407，面積　12.5m²，壁高　28～45，長軸方位　N116度E
壁溝	幅　10～15，深さ　3～7
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　N120度E，構築材　粘土・石？，支脚　石？
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ49×46，下パ24，深さ　42

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	O～Pライン・718m付近
重複関係	71住→76住→75住	覆土	褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面	平坦，貼床
主柱穴	－	壁溝	西辺北側未検出
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部内から15cm大の石8個出土，燃焼部中央やや左から石出土，燃焼部奥壁は斜めに立ち上がる		
貯蔵穴	周縁がわずかに高い	掘形	凹凸著しい，中央部がやや高い
その他	カマド煙道部は調査区壁にかかる，西辺～北西隅に地割れがある，貯蔵穴西側の掘り込みは浅い		
遺物	土器27片，北東寄り床面から土師器甕体部片出土，覆土から須恵器短頸壺破片出土，0731・0732（須恵器瓦）		
時期	古墳後期，6世紀後半		

第395図　4区76号住居跡カマド（西から）



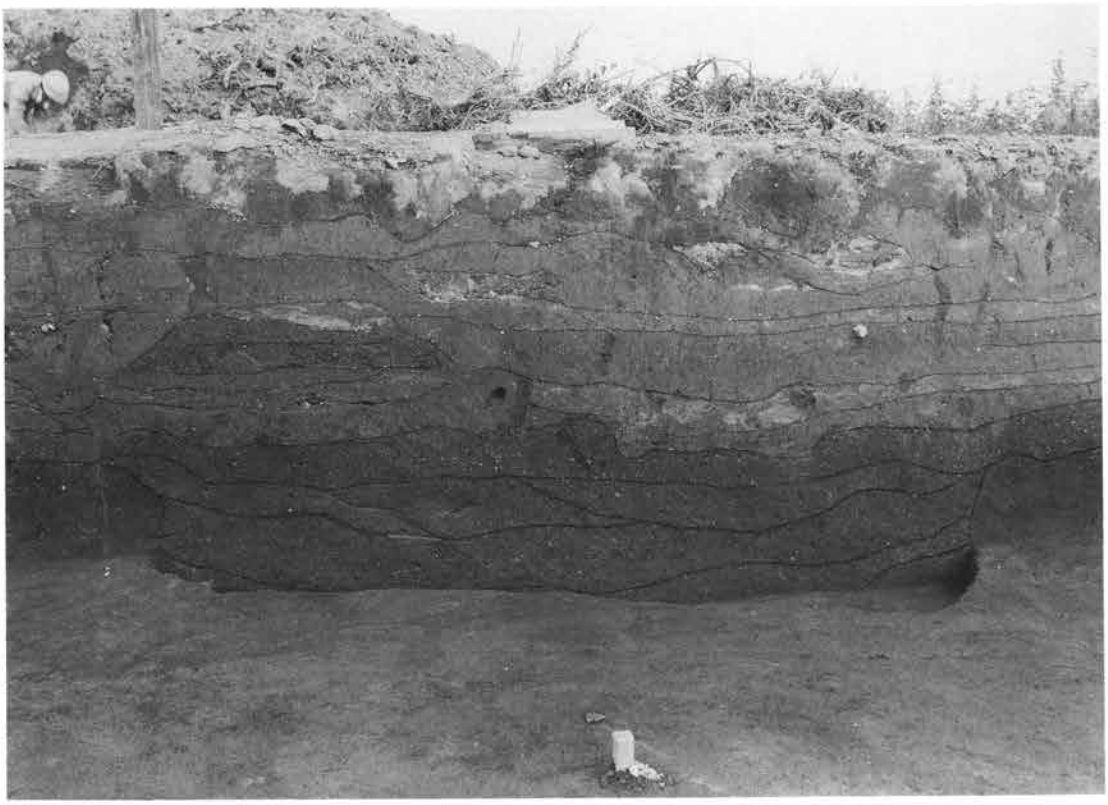
第396図　4 区76号住居跡

三ッ寺II　4区　77号住居跡（第397・702図，図版259・490）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不整形，規模　南北385×東西350，面積　－，壁高　17～53，長軸方位　N14度E			
壁　溝　不明			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	34×30	33×34	1－2：229
下パ径	20	21	
深　さ	22	22	
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N114度E，構築材　粘土，支脚　不明			
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　円形，上パ56×58，下パ12×17，深さ　53			

その他（状況の記録）

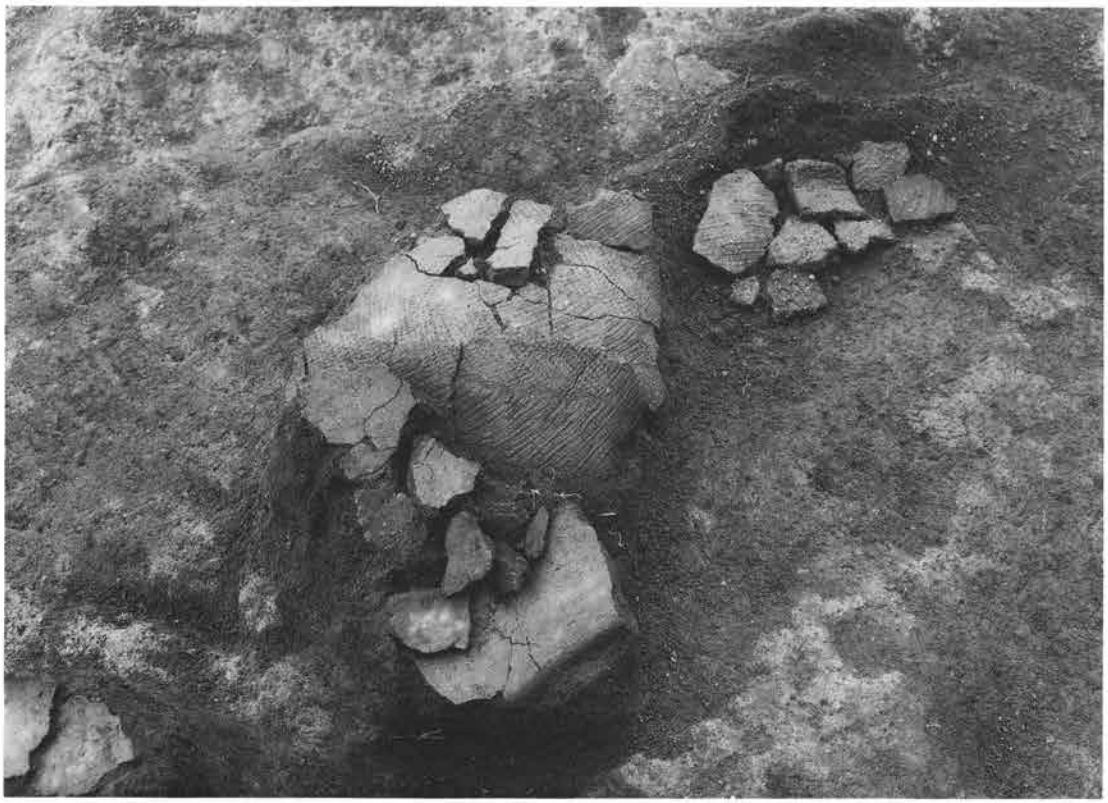
確　認　面：黒色土，6層	，検出位置：Pライン・703m付近，本線敷＋東側道
重複関係：－	，覆　　土：褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	，床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：東側道部で2本検出	，壁　　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある	，貯　蔵　穴：内部は二段に掘り込む
掘　　形：北辺寄りに浅く広い掘り込み	
そ　の　他：南東隅丸い，本線敷と東側道部との実測図は一致しない	
遺　　物：土器76片，覆土から土師器甕体部片・白釉のかかる陶器出土，0804	
時　　期：古墳後期，6世紀後半	



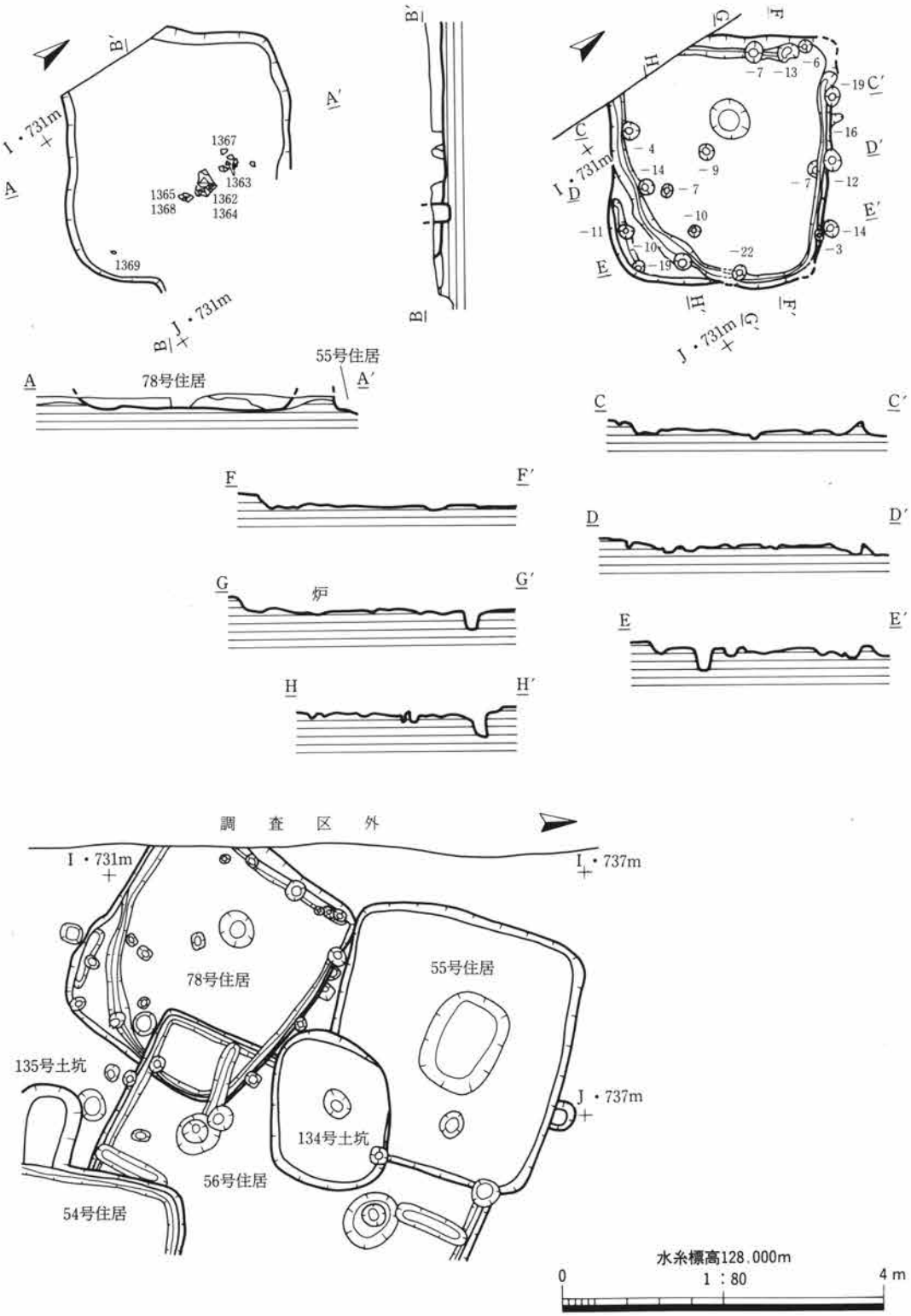
第397図　4区77号住居跡土層断面（西から）

三ッ寺II　4区　78号住居跡（第398・703図，図版260・491）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　306×227，　面積　－，　壁高　6～18，　長軸方位　N50度W	
壁　溝　幅　16～20，　深さ　3前後	
主柱穴　不明	
炉　位置　中央北西寄り，　対称軸方位　－，　構築材　－，　支脚　－	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層下位	,検出位置：I～Jライン・732m付近
重複関係：78住→56住	,覆　　土：黄褐色土粒子を含む黒色土
壁　　：斜めに立ち上がる	,床　　面：凹凸あり，黄褐色土面に達する
主　柱　穴：－	,壁　　溝：南隅は半円形に巡り壁直下にならない
炉　　：楕円形・45×55・深さ3の浅い掘り込みで焼土検出，地床炉	
貯　蔵　穴：－	,掘　　形：－
そ　の　他：炉の南側に小ピット検出，壁・壁溝に沿って小ピットが不規則に巡る，西隅未検出，北西辺160・北東辺290・南東辺226・南西辺217	
遺　　物：東側から集中して出土，床面からやや浮いた状態が多い，1369は本住居所属，土器は深鉢のみ，1370は本住居所属の可能性あり，1362・1363・1364・1365・1366・1367・1368・1369（石器）	
時　　期：黒浜式，縄文前期	



第398図　4区78号住居跡遺物出土状態（西から）



第399図　4区78号住居跡

三ッ寺II　4区　79号住居跡（第284図，図版261）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

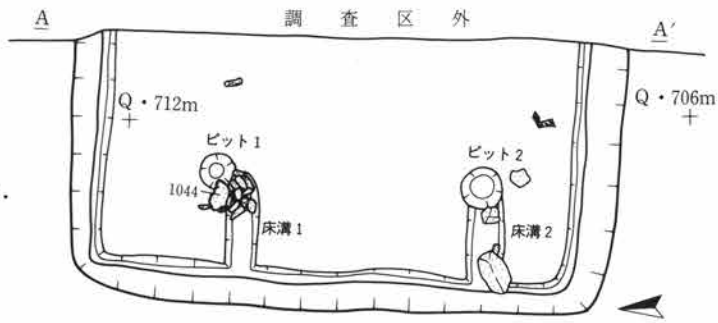
平面形　方形～長方形，規模　南北537，面積　－，壁高　－，長軸方位　－	
壁　溝　幅　10～20，深さ　3～10	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：75号住居床下	検出位置：O～Pライン・724m付近
重複関係：79住→75住	覆　　土：褐色土＋黒色土＋黄褐色土
壁　　：－	床　　面：中央部は堅く締まる，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：北辺～西辺北側で検出，その他不明
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：北辺沿いに不整形の掘り込み，調査区壁下に半楕円形の掘り込み，北西部に146号土坑検出	
そ　の　他：北西隅の円形二段の掘り込みは貯蔵穴か？，75号住居内部に西辺・南辺を共有して納まる，本住居を拡張して75号住居になったか？	
遺　　物：土器5片，掘形から土師器甕口縁部・高杯脚部出土，遺物図掲載なし	
時　　期：不明，重複関係から古墳？	

三ッ寺II　4区　80号住居跡（第400・704図，図版261）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

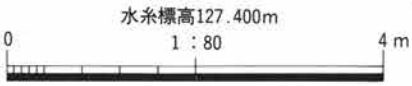
平面形　方形～長方形，規模　南北588×東西290以上，面積　－，壁高　62～75，長軸方位　－			
壁　溝　幅　10～16，深さ　5～10			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下バ心心）
上バ径	36	43	1－2：285
下バ径	15	24	
深　さ	28	30	
カマド　不明			
貯蔵穴　不明			

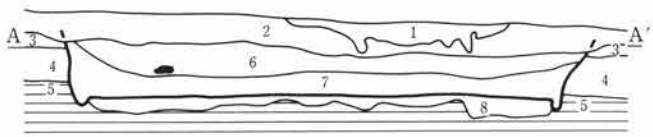
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：P～Qライン・709m付近，東側道
重複関係：－	覆　　土：軽石を多く含む黒褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，黄褐色土の薄い貼床
主　柱　穴：2本検出	壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：細かい凹凸あり	
そ　の　他：床溝2本検出，床溝1：長さ104・幅34・深さ9，床溝2：長さ85・幅41・深さ12，北辺240・西辺544・南辺273，東半は調査区外にある	
遺　　物：土器120片，覆土から内斜口縁杯・丸胴甕体部片出土，北西部床面から15cm大の石13個が集中して出土，南側では軽石出土，土器の実測図掲載なし，1044（片面が平滑で偏平な石）	
時　　期：古墳	

1　FPを含む明褐色砂質土
2　FPを含む黒色土
3　CPを含む黒色土
4　黒色土
5　黄褐色土（ローム）
6　黒褐色土＋多量の軽石＋ローム小bk.
7　黒褐色土＋多量の軽石＋ロームbk.
8　ロームbk.と黒色土bk.の混合
　　堅く締まる（床面を形成する）



第400図
4区80号住居跡





三ッ寺II　4区　81号住居跡（第401・704図，図版262・493）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　東西360，面積　－，壁高　54～75，長軸方位　－
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ57×50，下パ45×40，深さ　20

その他（状況の記録）

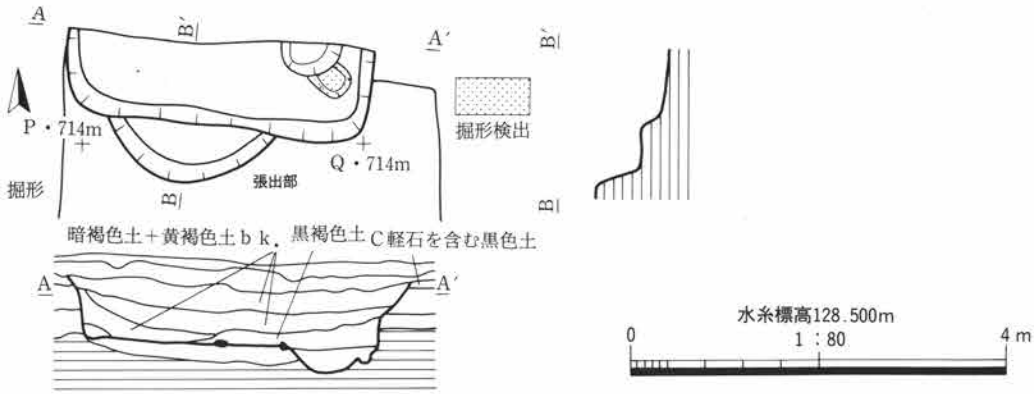
確　認　面	C軽石を含む黒色土，6層	検出位置	P～Qライン・714m付近，東側道
重複関係	－	覆　　土	暗褐色系の土
壁	直に近い	床　　面	平坦，貼床
主柱穴	－	壁　　溝	－
カマド	－	貯蔵穴	周辺から遺物出土

掘　　形：南東隅に長方形・深さ18のピット検出

そ　の　他：南辺西寄りに半円形の張出部をもつ，床面まで比高13・検出面まで比高43の段を呈する，
大半は北側の未調査部（道路のため調査不可）にあり詳細不明

遺　　物：土器16片，石は火熱を受けている，
0805・0806・0807（軽石，キズ4本）・0808（軽石，金属キズ多数）

時　　期：古墳後期，6世紀後半



第401図　4区81号住居跡

第402図　4区81号住居跡遺物出土状態（南から）

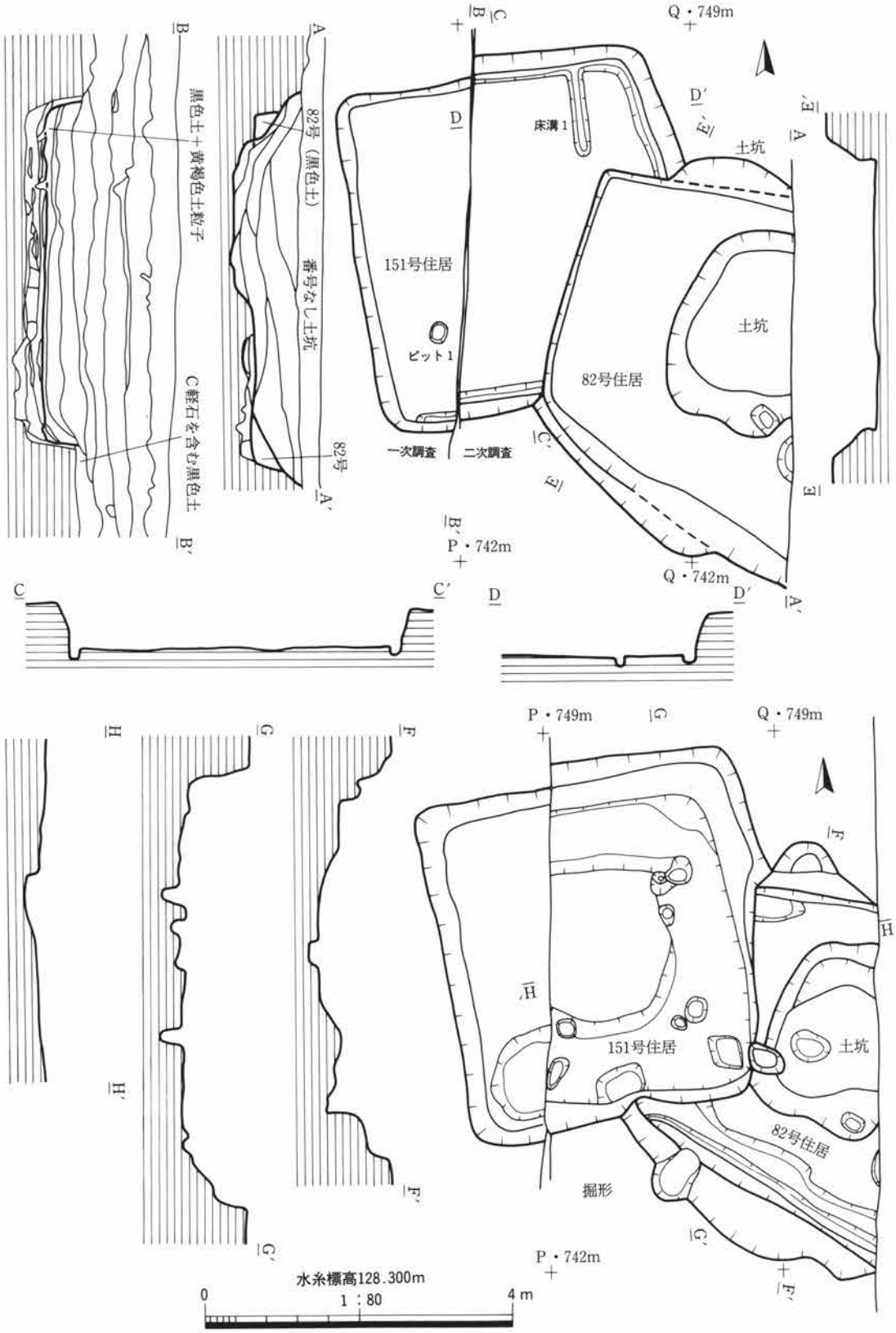
三ッ寺II　4区　8 2号住居跡（第403図，図版263）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　台形，規模　南北（下バ）375×東西（下バ）310以上，面積　－，壁高　60前後，長軸方位　－	
壁　溝　（掘形）幅　10～20，深さ　10前後	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：C軽石を含む黒色土，6層	検出位置：P～Qライン・745m付近，東側道
重複関係：1 5 1住→8 2住→番号なし土坑	覆　　土：黄褐色土小ｂｋ，を含む黒色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，薄い貼床
主　柱　穴：－	
壁　　溝：掘形の南辺で検出，壁溝底面に連続した工具痕を検出，これに沿って小穴が多数並ぶ	
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：凹凸あり，中央部は土坑底面の凹凸	
そ　の　他：番号なしの土坑が住居中央部に掘り込まれて住居を破壊，南北壁の湾曲は土坑の上バか？，東半は調査区外にあり詳細不明，南側の壁湾曲部付近を8 3号住居としたが欠番とする	
遺　　物：土器411片・石1個，覆土から模倣杯・外稜杯・高杯脚部出土，掘形からケズリ甕底部出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳～奈良	

三ッ寺II　4区　8 3号住居跡

8 2号住居南辺の一部を8 3号として認定，番号なし土坑の上バか？，欠番とする

第403図　4区82号住居跡掘形（西から）



第404図　4区82・151号住居跡

三ッ寺II　4区　8 4号住居跡（第405・704図，図版264）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北431×東西170以上，面積　－，壁高　26～31，長軸方位　－			
壁　溝　不明			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下バ心心）
上バ径	40	50×47	1－2：253
下バ径	25	25×28	
深　さ	12	22	
カマド　不明			
貯蔵穴　不明			

その他（状況の記録）

確　認　面：C軽石を含む黒色土，6層　　検出位置：Q～Rライン・771m付近，東側道

重複関係：150住→84住　　覆　土：軽石を含む暗褐色系の土

壁　：斜めに立ち上がる　　床　面：平坦，貼床

主　柱　穴：2本検出，浅い　　壁　溝：－

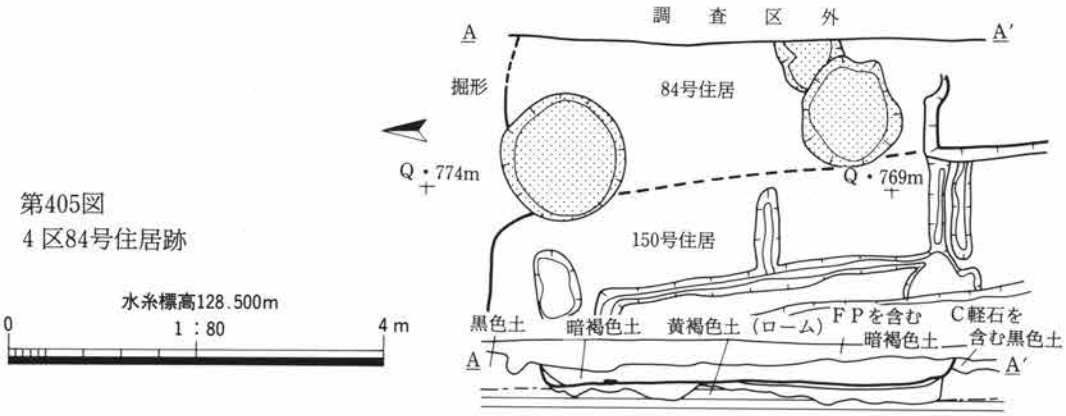
カ　マ　ド：－　　貯　蔵　穴：－

掘　形：凹凸著しい，小穴多数検出，径140・径100の円形土坑検出

そ　の　他：東半は調査区外にある，北辺175・西辺402・南辺140，土層断面出土の模倣杯は本住居所属か？，詳細不明

遺　物：土器91片，覆土から土師器模倣杯（完形）・高杯（脚部欠）・半球杯出土，1523・1524

時　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀



第405図
4区84号住居跡

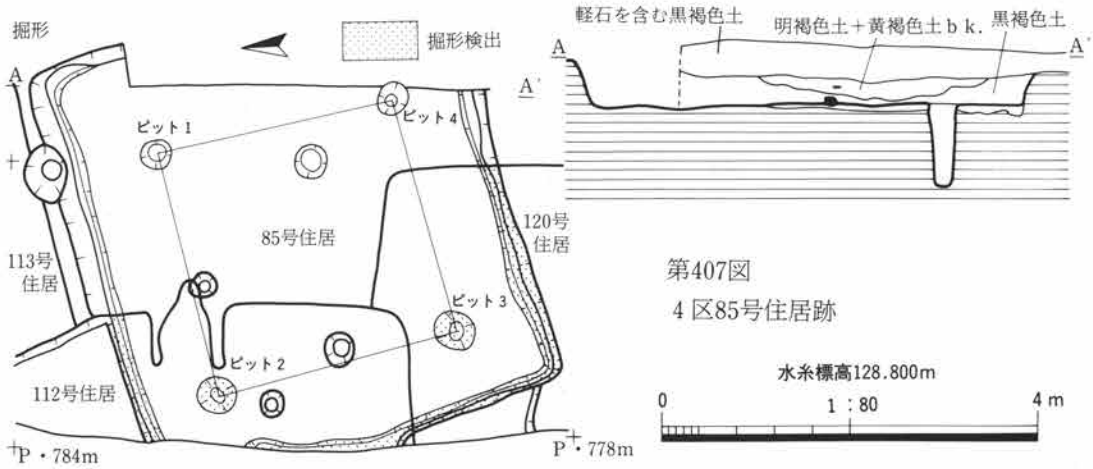
第406図　4区84号住居跡土層断面（西から）

三ッ寺II　4区　85号住居跡（第407・704図，図版265・493）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

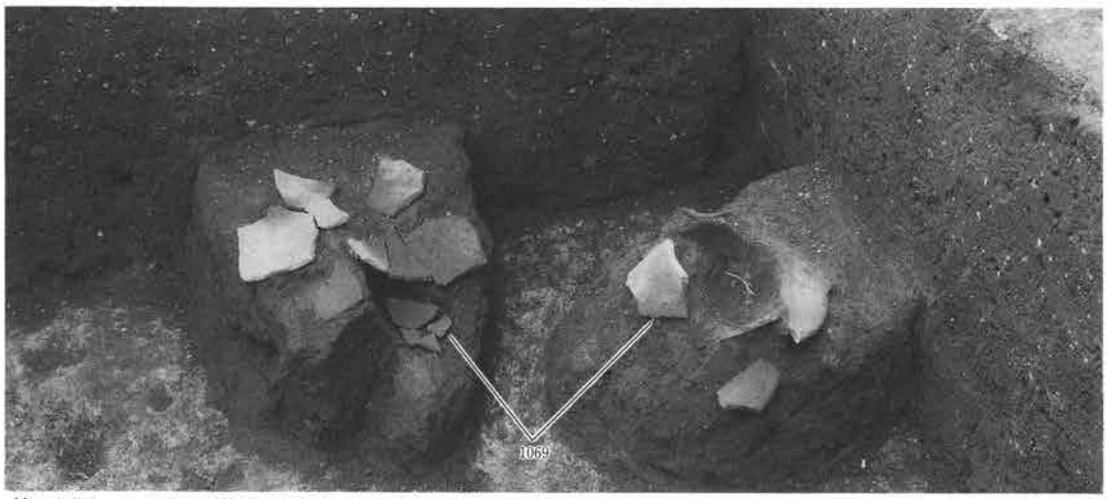
平面形　長方形，規模　南北461×東西（490前後），面積　－，壁高　40～49，長軸方位　（N74度E）						
壁　溝　幅　13～16，深さ　2～8						
主柱穴	1（掘形）	2（掘形）	3（掘形）	4（掘形）	主柱穴間の距離（掘形計測，下パ心心）	
上パ径	31	40	44×39	31×33	1－2：263	2－3：263
下パ径	18	17×12	20×15	12	3－4：252	4－1：256
深　さ	42	62	71	80		
カマド　不明，東辺？						
貯蔵穴　不明，南東隅？						

その他（状況の記録）

確　認　面：C軽石を含む黒色土，6層	検出位置：Qライン・781m付近，東側道
重複関係：85住→112・120住	覆　　土：黄褐色土bk，を含む黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床
主柱穴：ピット2・3は掘形検出	壁　　溝：西半は掘形検出
カマド：－	貯蔵穴：－
掘　　形：南西隅付近の壁溝検出，北辺延長分検出，東西規模は掘形検出プランで推定，西半は112・120号住居床下で検出	
その他：北西隅・南東隅未検出，西側調査区壁直下の溝は不明確	
遺　　物：土器58片，中央部付近で遺物出土，やや浮いた状態，覆土から内斜口縁杯出土，床面から粘土接合痕を残す甕底部出土，1068・1069・1070	
時　　期：古墳後期，6世紀前半	



第407図
4区85号住居跡



第408図　4区85号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区　8 6 号住居跡（第409・705図，図版266・494）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　隅丸方形，　規模　東西496×南北445，　面積　（22.1）m²，　壁高　36～55，　長軸方位　N103度W

壁　溝　幅　11～25，　深さ　2～6

主柱穴	1	2	3	4	5	6	主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	33	25×22	27×22	24×22	22×20	27×24	1－2:136，2－3:165，3－4:240
下パ径	14×10	15	20×15	14×12	13×5	9	4－5:155，5－6:131，6－1:218
深　さ	30	23	28	27	18	32	1－3:298，4－6:286，2－5:256

炉　位置　中央西寄り，　楕円形，　64×50・深さ9，　焼けている

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土（オレンジ色の軽石含む），7層　　検出位置：Q～Rライン・776m付近，東側道

重複関係：8 6 住→1 2 0 住　　覆　土：黒色土

壁　：斜めに立ち上がる　　床　面：黄褐色土面に達する，堅く締まる

主柱穴：6本　　壁　溝：検出内全周，断面三角形

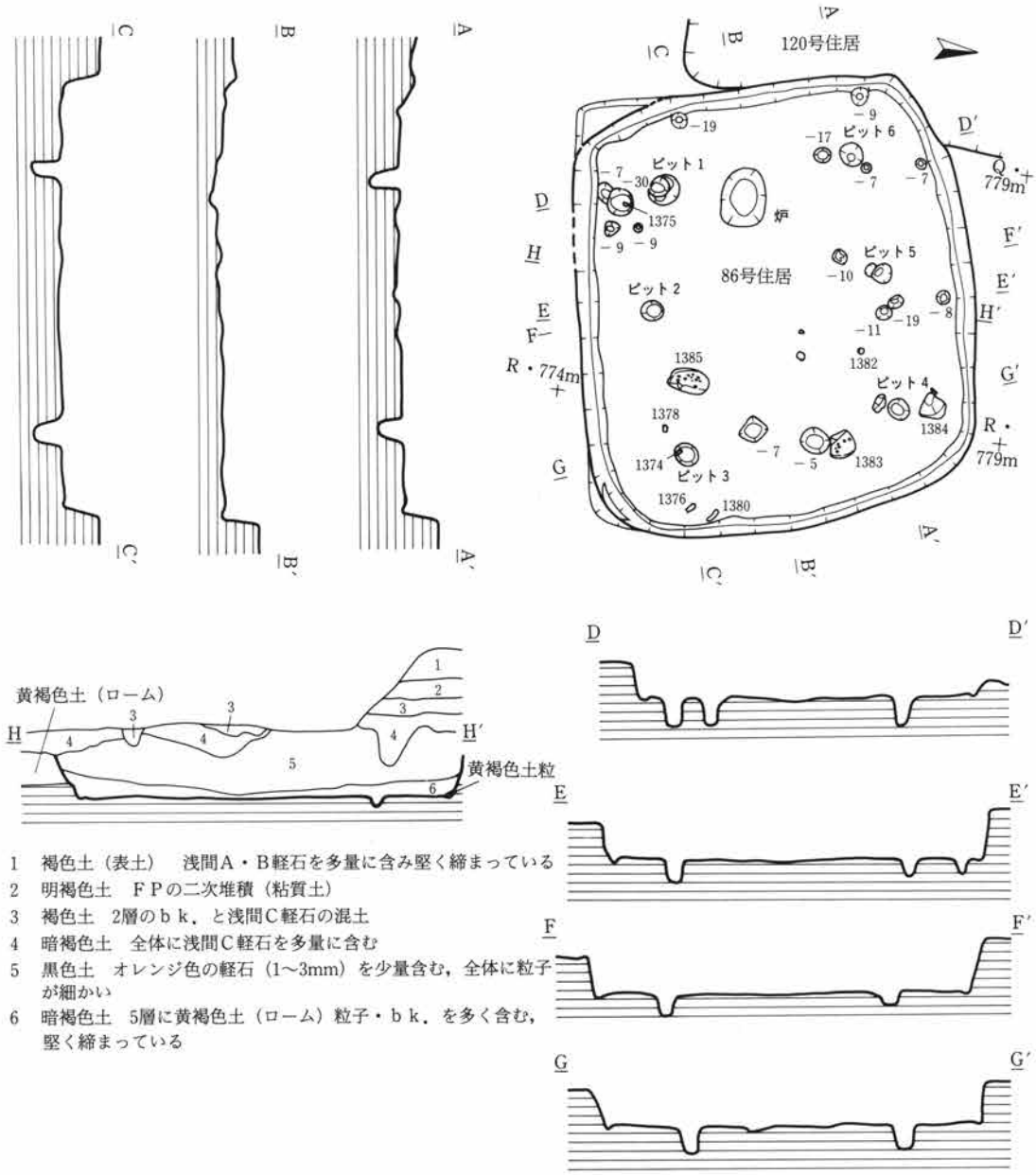
炉　：底面は良く焼けている　　掘　形：－

そ　の　他：北辺から南西隅にかけて壁際に小穴検出，南東隅・南西隅は角張る，東側へ拡張して調査，
北西隅は1 2 0 号住居により上位を破壊

遺　　物：土器32片・黒曜石3片，覆土から出土の遺物も掲載，東半に遺物多い，
1371・1372・1373・1374（打製石斧）・1375（打製石斧）・1376（打製石斧）・1377（石匙）・
1378（剝片石器）・1379（剝片石器）・1380（すり石）・1381（すり石）・1382（すり石）・
1383（多孔石）・1384（多孔石）・1385（多孔石）

時　　期：諸磯a・b式，縄文前期

第409図　4区86号住居跡遺物出土状態（東から）



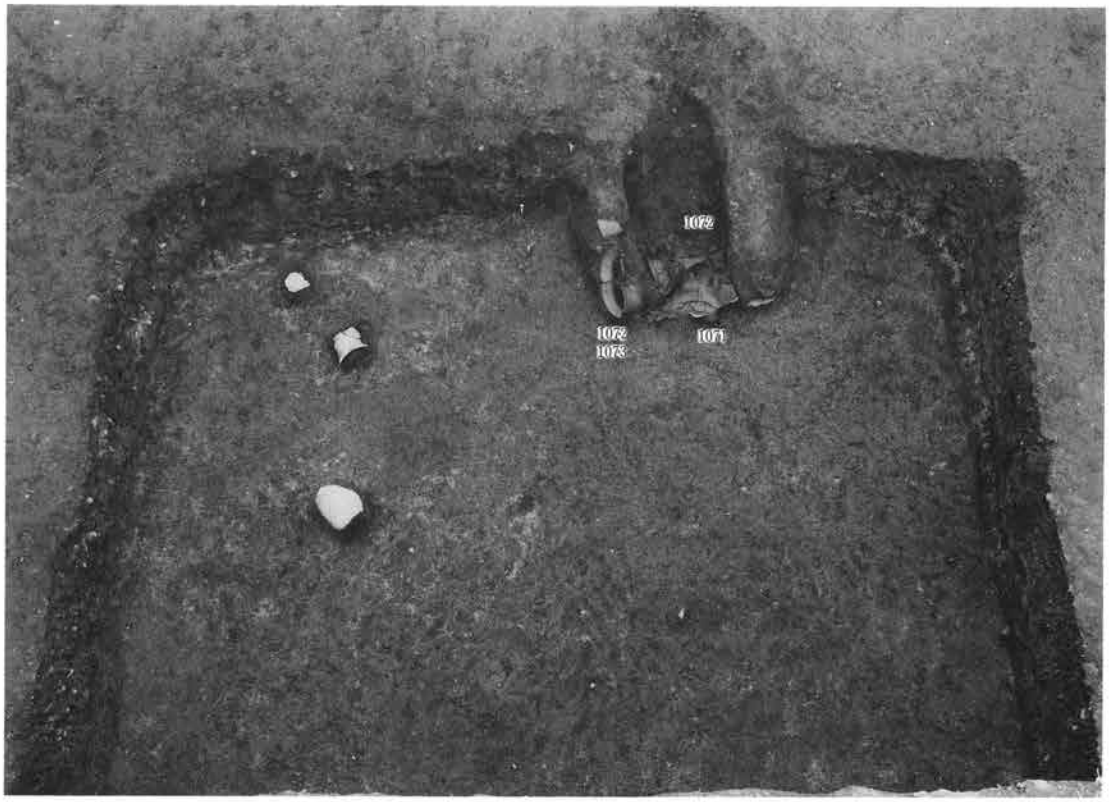
第410図　4区86号住居跡

三ッ寺II　4区　87〜100号住居跡

欠番

三ッ寺II　4区１０１号住居跡（第411・707図，図版267・496）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，　規模　南北406×東西290以上，　面積　－，　壁高　24～38，　長軸方位　－
壁　溝	幅　7～19，　深さ　1～6
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央やや南寄り，　対称軸方位　N91度E，　構築材　粘土・石・土器？，　支脚　不明
貯蔵穴	位置　南東隅，　平面形　楕円形，　上パ68×57，下パ27×17，　深さ　53
その他（状況の記録）	
確　認　面	：黒色土，６層　　，検出位置：Ｉ～Ｊライン・797m付近，４区北西端
重複関係	：－　　，覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土
壁	：直に近い　　，床　　面：平坦，薄い貼床
主　柱　穴	：－　　，壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド	：両袖先端部に石を据え粘土で固める，両袖にかかる状態で甕3個体分出土，甕は焚口天井部か？，燃焼部は住居壁の内側にある，掘形で燃焼部中央に小穴検出，掘形奥壁は住居外に突出する
貯　蔵　穴	：南北にやや長い，底面は二段に掘り込む
掘　　形	：黄褐色土面に達する，細かい凹凸あり，貯蔵穴脇に浅い掘り込み検出
そ　の　他	：西半は調査区外にある，ピット１は柱穴か？，北辺260・東辺380・南辺280，ピット１：55×53・深さ48
遺　　物	：土器182片，覆土から須恵器甕？出土，カマドから土師器甕出土，杯類不明，1071・1072・1073
時　　期	：古墳後期，７世紀前半



第411図　４区101号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区１０２号住居跡（第412・707図，図版269・496）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模 495×452，面積 22.4m²，壁高 10～27，長軸方位 N89度E					
壁　溝	不明					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	40×33	87×82	45	50	1－2：233	2－3：231
下パ径	14	7	22	21×25	3－4：234（掘形）	4－1：213（掘形）
深　さ	60	41	46	43		
カマド	位置 東辺中央，対称軸方位 N97度E，構築材 粘土，支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 円形，上パ66×63，下パ33×25，深さ 49					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：J～Kライン・792m付近

重複関係：１２４住→１０２住，１１６住→１１４住→１０５住→１０２住

覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，貼床，一部黄褐色土面に達する　　，主　柱　穴：ピット４は掘形検出

壁　　溝：北辺沿いに不明瞭な細い溝検出　　，カ　マ　ド：粘土で形成する，奥壁は住居壁にかかる

貯　蔵　穴：底面は楕円形，南東隅壁直下はやや高い

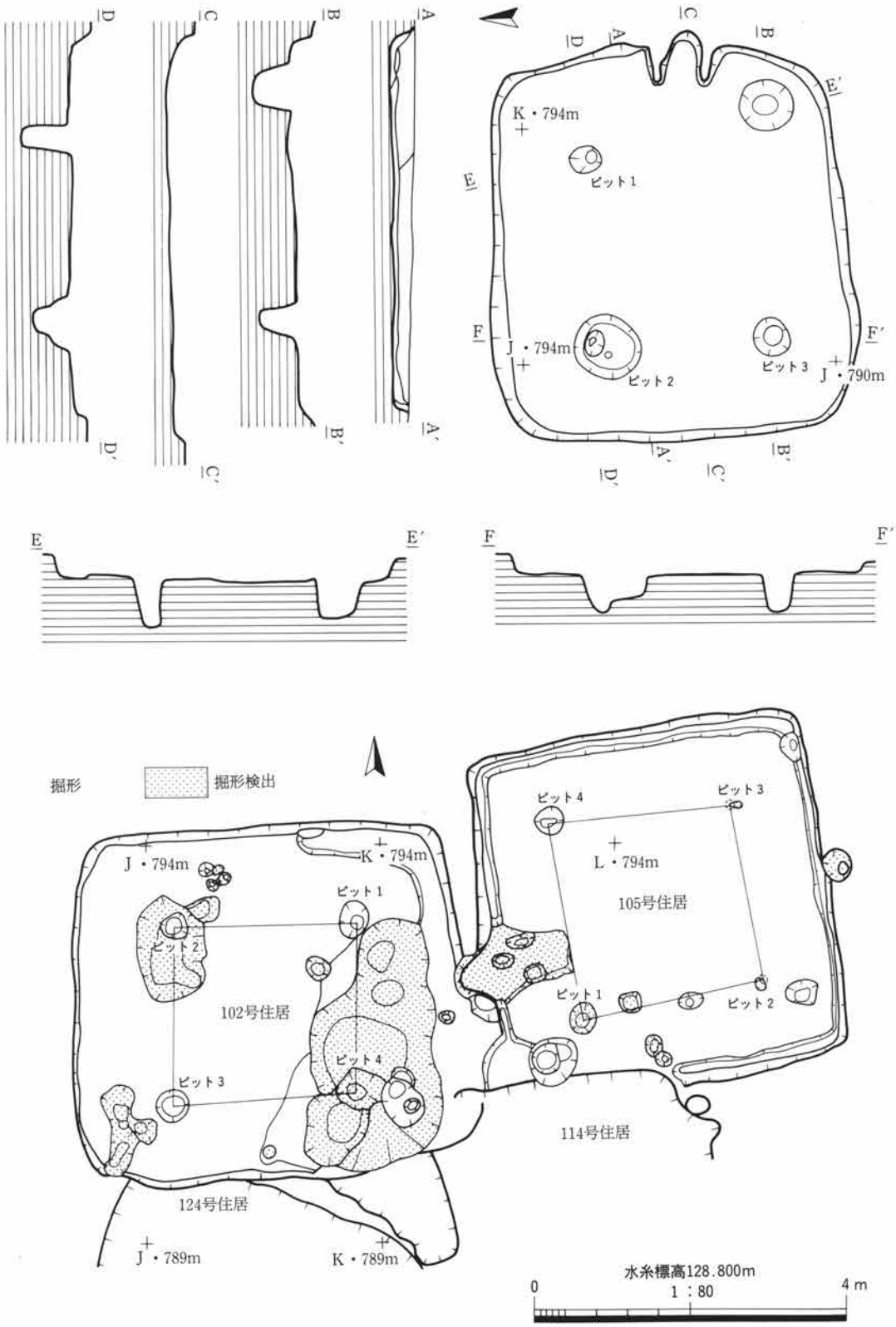
掘　　形：南東隅を中心に略三角形の深い掘り込み検出，北西部はピット２を中心に掘り込み検出，小穴多数検出，東辺沿いに北辺壁溝につながる細い溝検出，南東隅の掘り込みは東辺溝の内側に納まる

そ　の　他：周辺の重複住居より新しい，１０５号住居カマドの上から本住居カマドを形成

遺　　物：土器209片，カマド脇床面からケズリ甕口縁部出土，カマド内から外稜杯出土，カマド掘形から鬼破片出土（１０５号住居所属か？）0995

時　　期：古墳後期

第412図　４区102号住居跡遺物出土状態（西から）



第413図　4区102号住居跡

三ッ寺II　4区１０３号住居跡（第414・707図，図版270・496）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　458×435，面積　19.9m²，壁高　36～57，長軸方位　N91度E					
壁　溝	幅　10～20，深さ　3～6					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	44×48	58×42	40×65	22×30	1－2：207	2－3：204
下バ径	18	17	25	19×25	3－4：199（掘形）	4－1：212（掘形）
深　さ	50	44	53	46(床面から69)		
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N89度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上バ81×70，下バ50×40，深さ　37					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層下位　　検出位置：N～Oライン・793m付近

重複関係：１０４住→１０３住→２住，１０７・１０９住→１０３住

覆　　土：軽石・黄褐色土ｂｋ，を含む黒褐色系の土

壁　　：直に近い，一部に先端部半円形の工具痕を残す

床　　面：平坦，厚い貼床　　主　柱　穴：ピット４は掘形検出

壁　　溝：幅12～13の先端部が半円形の工具で掘り込む，水平でなく住居内側が低く傾く，
東半壁溝のみ工具痕が残る

カ　マ　ド：上位を２号住居により破壊，袖部遺存不良，燃焼部は住居壁外に突出する，
カマド前床面で小型甕出土

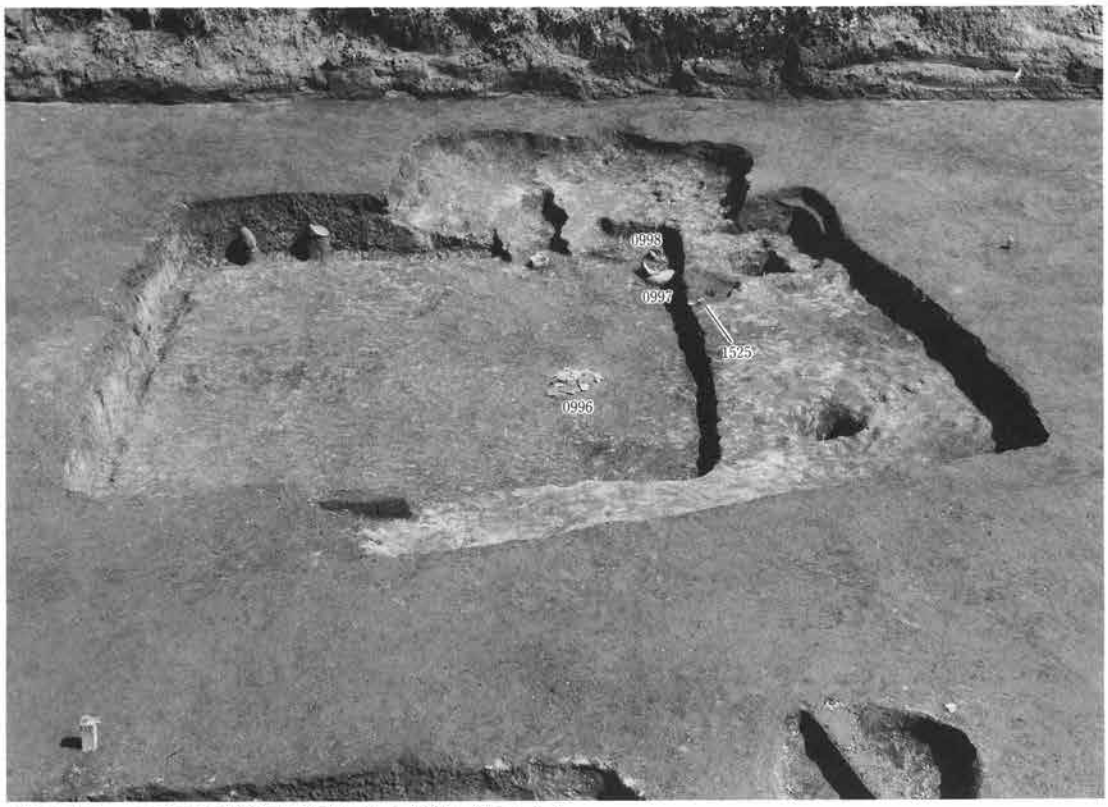
貯　蔵　穴：底面は円形を呈する

掘　　形：東辺～北辺の内側に沿って幅15～25cmのテラス状遺構検出，テラス内側直下は深く凹凸著しい，
テラスと掘形底面との比高は30cm前後（掘り残しか？），カマド右奥壁は階段状の平面をなす，
南辺中央部に不整形の突出部検出（住居壁は斜めに立ちあがる，カマド痕跡？）

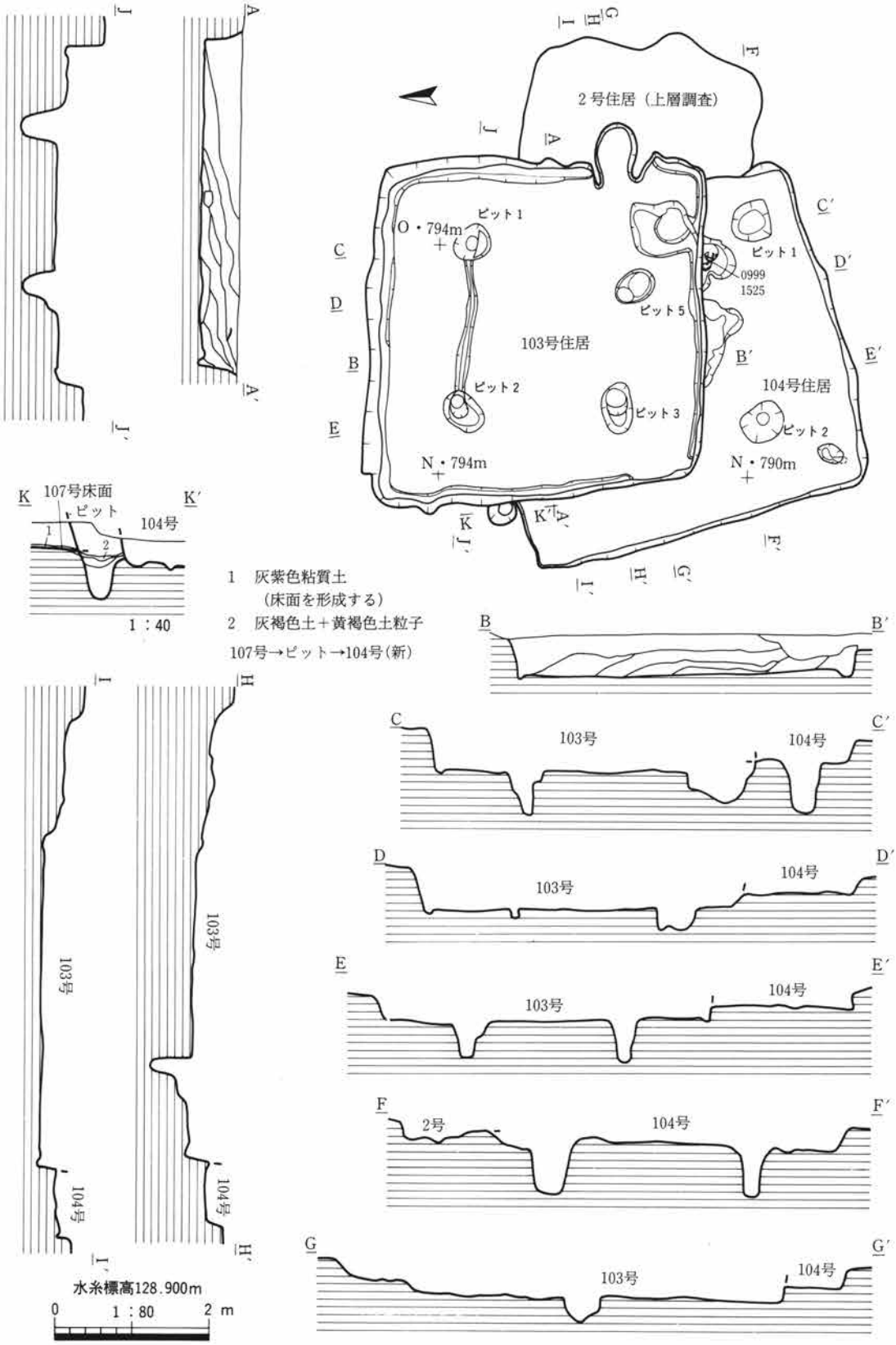
そ　の　他：ピット１～２間の床面で両者を直線的につなぐ溝検出，幅10～18・深さ10前後

遺　　物：土器236片，１０４号住居遺物と混入，カマド前床面から小型甕体部～底部出土，
0996・0997・0988

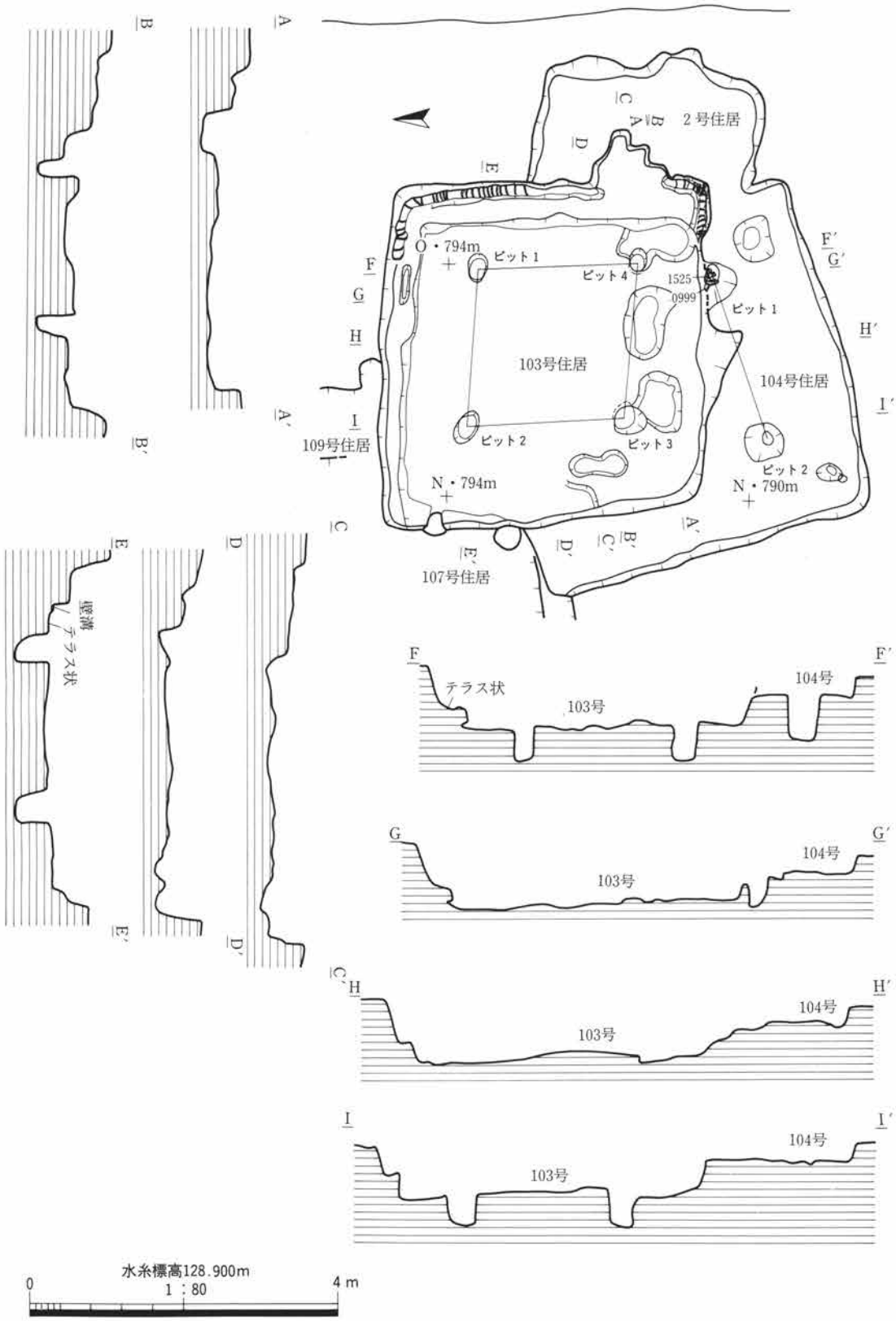
時　　期：古墳後期，６世紀



第414図　４区103号住居跡遺物出土状態（西から）



第415図　4区103・104号住居跡（1）



第416図　4区103・104号住居跡（2）

三ッ寺II　4区１０４号住居跡（第415・708図，図版270）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　(466×434)，面積　(20.2) ㎡，壁高　19～32，長軸方位　N163度E		
壁　溝	不明		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	55	55×45	1－2：225
下パ径	22	16	
深　さ	47	60	
カマド	不明		
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　不整形，上パ50×48，下パ34×26，深さ　113		

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　検出位置：N～Oライン・790m付近

重複関係：１０７住→１０４住→１０３住→２住　　覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土

壁　　：直に近い，北辺浅い　　床　　面：細かい凹凸あり，黄褐色土面に達する

主　柱　穴：2本検出，１０３号住居内不明　　壁　　溝：－

カ　マ　ド：－

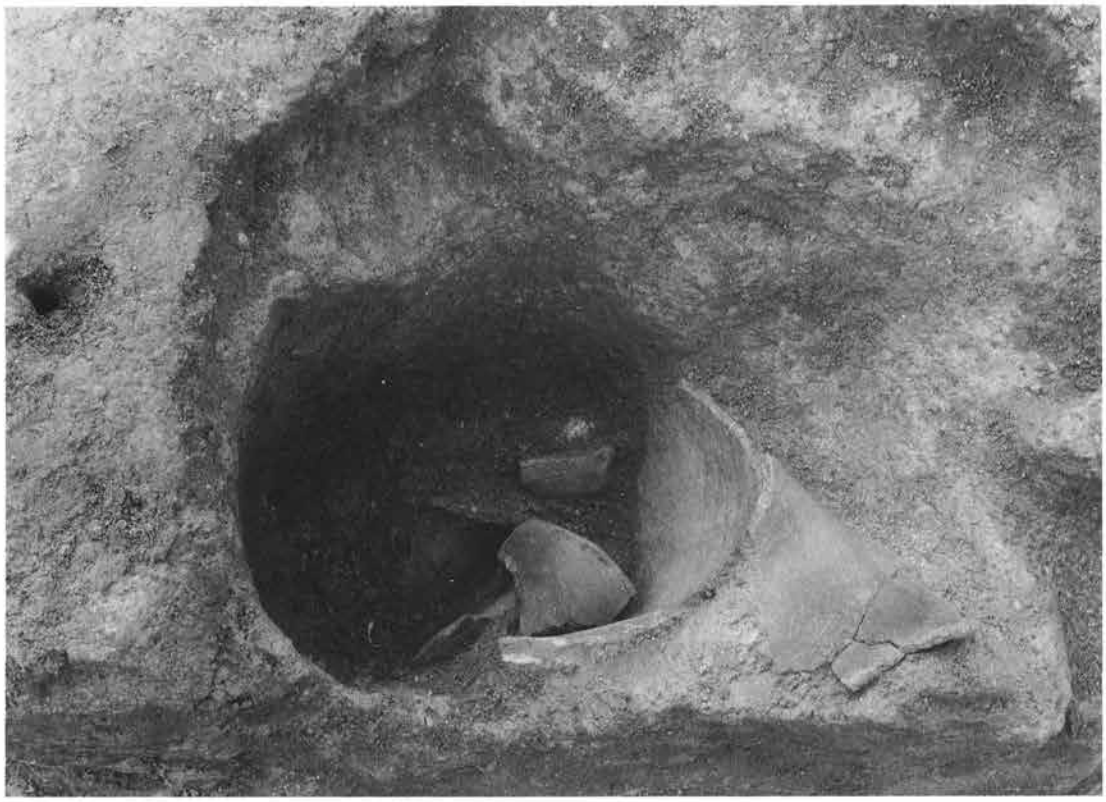
貯　蔵　穴：東壁は直線的に掘り下げる，西側に土手状の高まり

掘　　形：貯蔵穴付近凹凸著しい

そ　の　他：北東部は１０３号住居の掘形が深く本住居を破壊，北辺付近ピットは本住居より古い，
１０７住→ピット→１０４住，南西隅ピットは凹凸の大きなもの

遺　　物：土器2片，南東柱穴内から土器出土（重なった状態），
0999（上，鉢形甑）・1525（下，砲弾形）

時　　期：古墳後期，６世紀前半



第417図　４区104号住居跡柱穴内遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　4区105号住居跡（第418・708図，図版271）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　457×442，面積　20.2m²，壁高　30前後，長軸方位　N8度W						
壁　溝　幅　10～15，深さ　3～6						
主柱穴	1（掘形）	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	40×35	17	14×20	36×39	1－2：236（掘形）	2－3：228
下パ径	16	5	6	18	3－4：236	4－1：245（掘形）
深　さ	47	53	41	41		
カマド　位置　西辺中央やや南寄り，対称軸方位　N98度W，構築材　粘土・石，支脚　石						
貯蔵穴　位置　南西隅，平面形　円形，上パ58×65，下パ35×27，深さ　33						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・794m付近

重複関係：107・114住→105住→102住

覆　　土：軽石を含む黒褐色系の土　　，壁　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，薄い貼床

主　柱　穴：ピット1は掘形検出，ピット2・3は細く深い

壁　　溝：西辺南半を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにかかる，焚口天井部の石（直方体に加工）が割れた状態で出土，
燃焼部中央に石を据えて支脚とする，小石数点出土，袖部は粘土で形成するが石を据えたか？

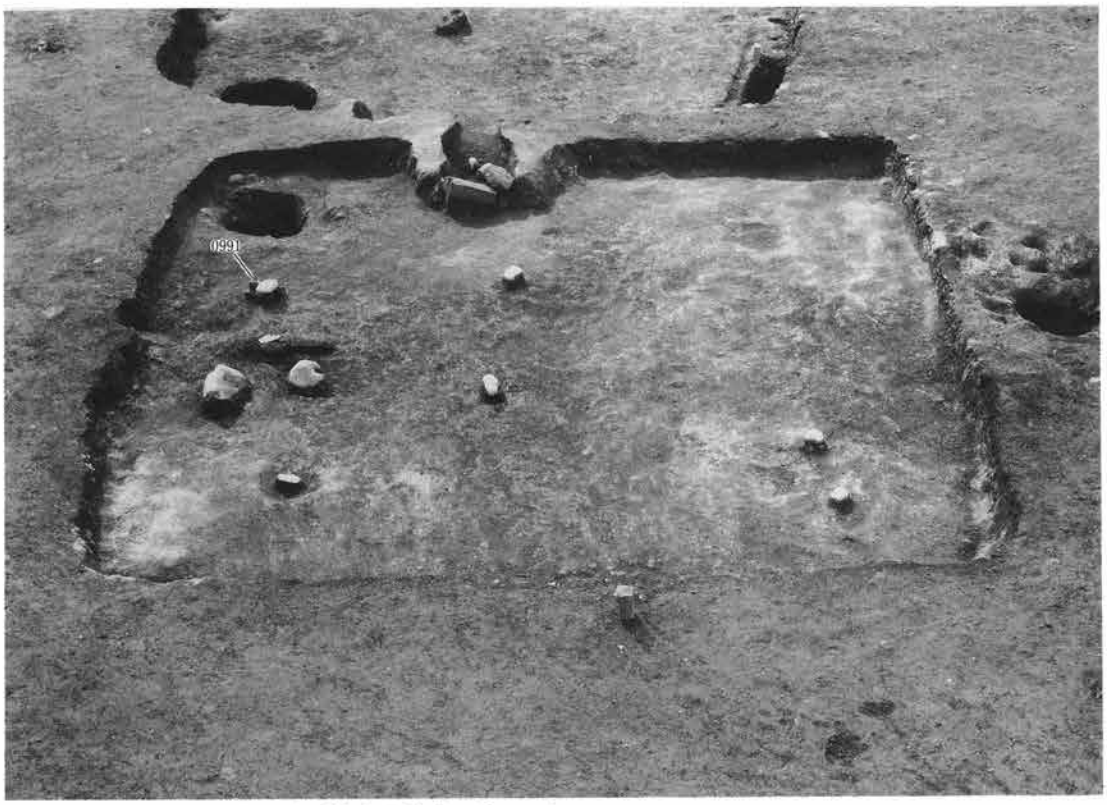
貯　蔵　穴：内部は二段に掘り込む，底面は楕円形

掘　　形：ピット4検出，カマド床下で小ピット3カ所検出（うち2カ所は石抜き跡か？），
南辺中央壁際で小ピット2カ所検出（出入口痕跡か？），西辺南半部の壁溝検出

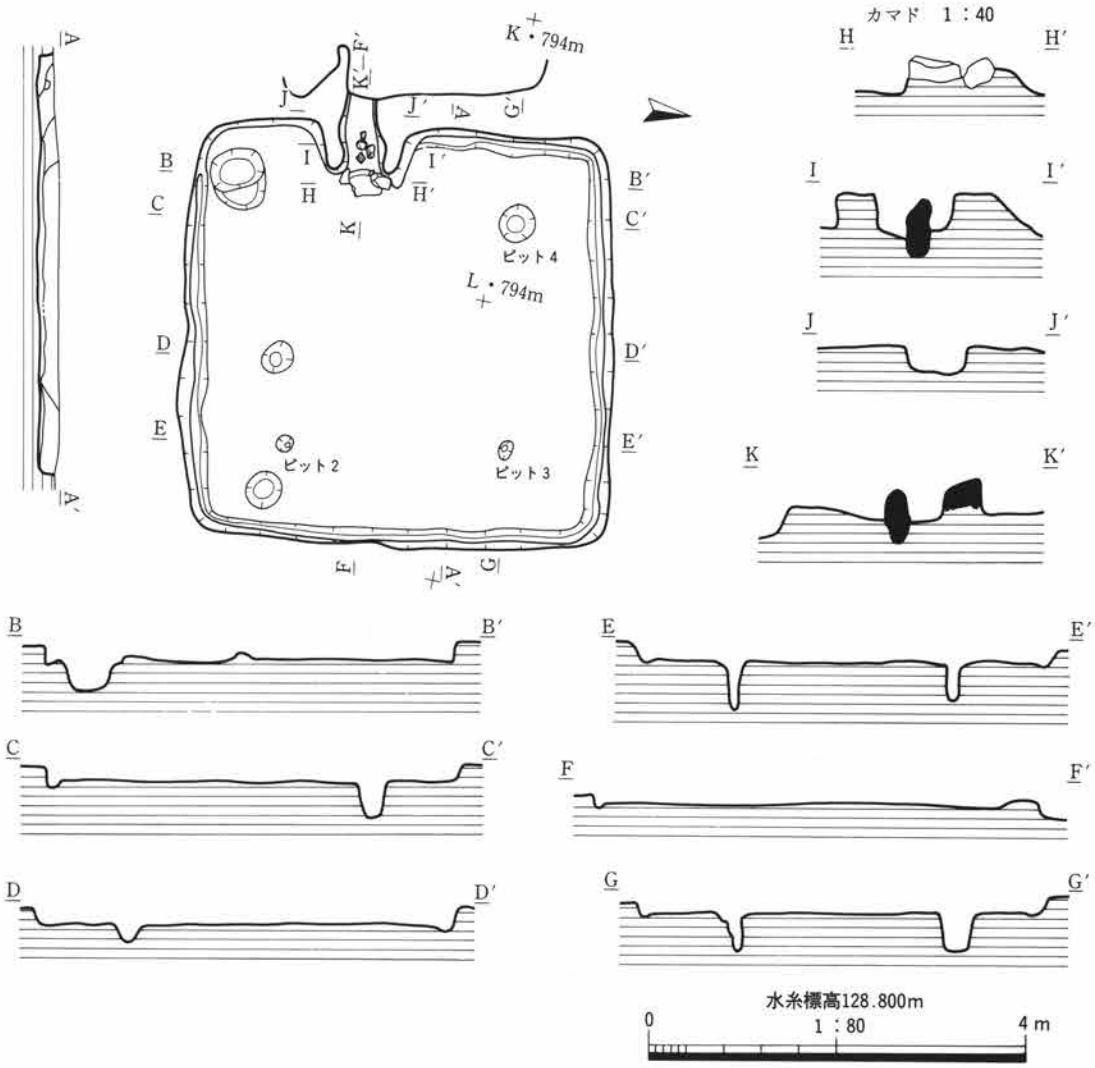
そ　の　他：掘形調査ではピット3・4は傾く

遺　　物：土器67片，覆土から内斜口縁杯・高杯杯部（外稜）・滑石製臼玉（完形，位置不明）出土，
南辺寄り床面から石・土器片・炭化物出土，
0991

時　　期：古墳後期，6世紀後半～7世紀



第418図　4区105号住居跡遺物出土状態（東から）



第419図　4区105号住居跡

第420図　4区105号住居跡カマド

三ッ寺II　4区１０６号住居跡（第421・708図，図版272・497）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北395×東西390，面積　15.4m²，壁高　14～59，長軸方位　N170度E					
壁　溝	幅　15～23，深さ　2～11					
主柱穴	1	2A	2B（掘形）	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	32×30	50×34	31×37	17	1－2A：258	1－2B：228
下パ径	20×24	15	14×17	13	4－1：190	
深　さ	26	28	14（掘形）	27		
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅（掘形），平面形　方形，上パ38×40，下パ23×27，深さ　20					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：N～Oライン・784m付近

重複関係：１１６住→１１４住→１１７住→１０６住→４住，１０６住→１１２住，１０６住→３住

覆　　土：黄褐色土ｂｋ，を含む黒褐色系の土　　，　壁　　：斜めに立ち上がる，東辺南半は壁溝による

床　　面：細かい凹凸あり，貼床

主　柱　穴：ピット３相当（南西柱穴）は下層住居（１１８号）の貯蔵穴と重なるため掘り広げたか？
ピット２Ｂは掘形検出，建て替え（２Ｂ→２Ａ）の可能性あり

壁　　溝：東辺南半を除き全周，北辺～西辺に先端部丸みのある工具痕多数検出，硬い黄褐色土を工具で
連続的に掘り込む

カ　マ　ド：東辺南半部で焼土検出，袖部等１１２号住居により破壊，詳細不明

貯　蔵　穴：南東隅掘形調査で検出，南西隅貯蔵穴は１１８号住居所属

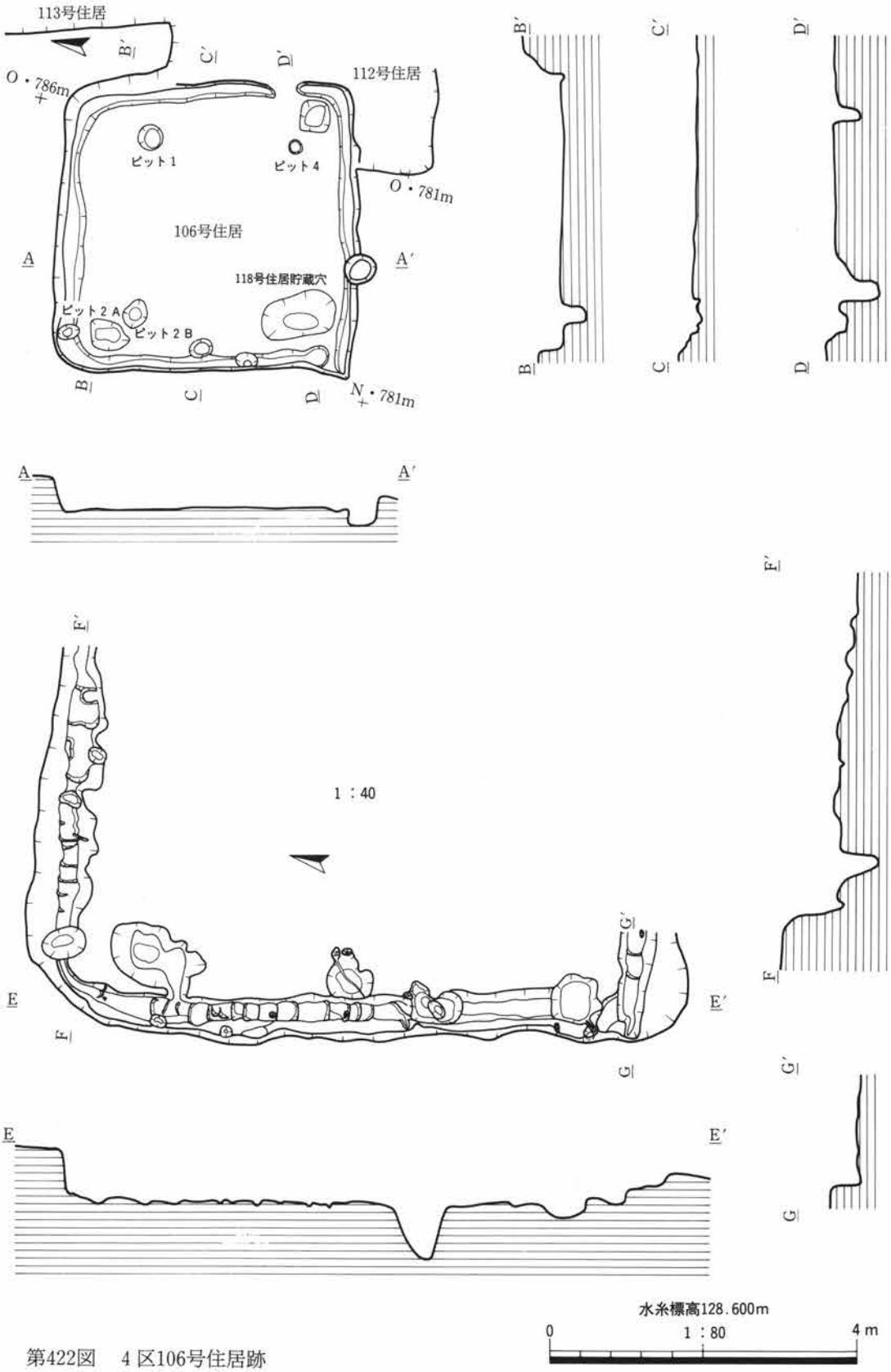
掘　　形：北東隅付近に不整形掘り込み検出，東辺カマド下で壁溝検出，１１８号住居南東隅壁溝・南東
柱穴（１０６号住居壁溝中）検出

そ　の　他：南辺壁際小穴（掘形検出）は出入口痕跡か？，カマド袖部未検出・焼土少量検出から１０６住→
１１２住居とした

遺　　物：土器430片，覆土から土師器甕口縁部・外稜杯出土，甕類の出土が多い，東半部から出土，
1035・1036・1037・1038・1039

時　　期：古墳後期，７世紀前半

第421図　４区106号住居跡遺物出土状態（南から）



第422図　4 区106号住居跡

三ッ寺II　4区１０７号住居跡（第423・709図，図版276）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模　南北466×東西461，面積　－，壁高　20前後，長軸方位　N170度E					
壁　溝	幅　10～18，深さ　4前後					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下ハ心心）	
上ハ径	30	26×20	34×32	30	1－2：257	2－3：244
下ハ径	12×15	10	17	9	3－4：279（掘形）	4－1：271（掘形）
深　さ	55	43	76	66		
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明					
貯蔵穴	不明					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　検出位置：M～Nライン・796m付近

重複関係：１１０住→１０９住（１１５住？）→１０７住，［１０７住→１０９住（拡張）の可能性あり］

覆　　土：黒褐色系の土　　壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：薄い貼床，黄褐色土面に達する　　主　柱　穴：ピット２は１１０号住居貯蔵穴内か？

壁　　溝：検出内ほぼ全周

カ　マ　ド：東辺南寄りで焼土検出，遺存不良，１０９号住居により破壊か？（１０７住→１０９住の可能性）

貯　蔵　穴：１０３号住居の掘形が深いため破壊されたか？

掘　　形：－

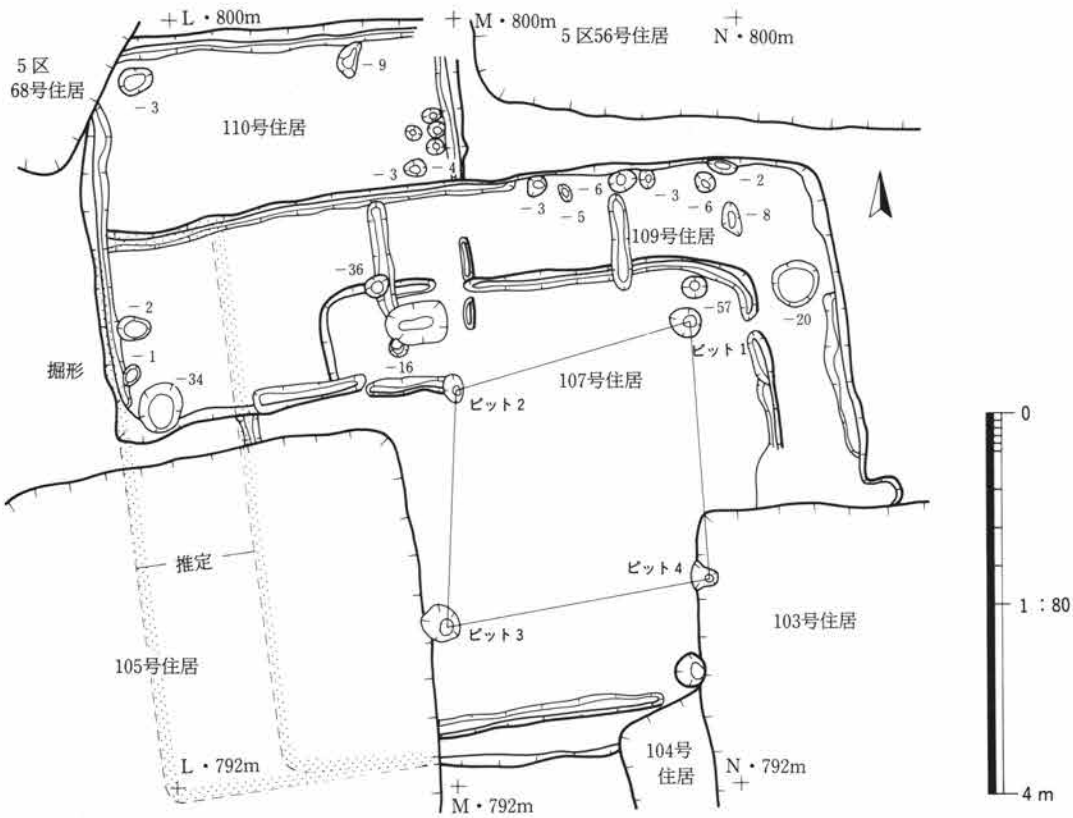
そ　の　他：西辺は１０５号住居により破壊，南東部は１０３号住居により破壊，ピット２は内側に寄るため主柱穴のバランス不良

遺　　物：土器24片，甕体部片出土，カマド周辺から甕または高杯脚部出土，1008（杯または高杯）

時　　期：古墳後期，６世紀

三ッ寺II　4区１０８号住居跡（第323図，図版275）

２４号住居と同じ（378頁参照）



第423図　4区107・109・110号住居跡　掘形

三ッ寺II　4区１０９号住居跡（第423・709図，図版276）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北609×東西648（787），　面積　－，　壁高　20前後，　長軸方位　N85度E	
壁　溝　幅　10～20，　深さ　5前後	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，　対称軸方位　－，　構築材　粘土，　支脚　石？	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，６層	検出位置：M～Nライン・796m付近
重複関係：１１０住→１０９住（１１５住？）→１０７住，［１０７住→１０９住の可能性あり］	
覆　　土：黒褐色系の土	壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床	主　柱　穴：１０７号住居と同じか？
壁　　溝：東辺・北辺の一部で検出，北辺西端は掘り過ぎか？	
カ　マ　ド：南半を１０３号住居により破壊，奥壁まで粘土で覆う	
貯　蔵　穴：１０３号住居により破壊か？	掘　　形：１１０号住居南東部を検出
そ　の　他：１１５号住居は床溝１～２間に付けた番号，北辺沿いに小ピット検出	
遺　　物：土器45片，覆土から土師器高杯杯部片・内斜口縁内黒杯・壺口縁部・甕（内外面ハケ目）出土，1074（小型甕，カマド左脇）	
時　　期：古墳	

三ッ寺II　4区１１０号住居跡（第423・709図，図版276・497）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，　規模　南北392×東西407，　面積　（16.0）㎡，　壁高　11～24，　長軸方位　N86度E	
壁　溝　幅　8～18，　深さ　6前後	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　長方形，　上パ42×61，下パ12×36，　深さ　78	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，６層	検出位置：L～Mライン・798m付近，４区中央北端
重複関係：１１０住→（１０９住→１０７住），１１０住→５区６８住，１１０住→１住	
覆　　土：黒褐色系の土	壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床	主　柱　穴：浅いピットが多い
壁　　溝：断続してほぼ全周	カ　マ　ド：南東部か？，１０９号住居により破壊
貯　蔵　穴：底面は細長い	掘　　形：黄褐色土面に達する
そ　の　他：南西部凹凸著しい，北西隅未検出	
遺　　物：土器5片，覆土から内斜口縁杯・内外面赤彩の杯（弥生？）出土，1006（壺）・1007（滑石製曲玉，中央溝内，１０９号住居所属か？）	
時　　期：古墳後期，６世紀前半	

第424図　４区109号住居跡カマド（西から）

三ッ寺II　4区１１１号住居跡（第425・709図，図版276・497）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　台形，　規模　南北450×東西499，　面積　22.5m²，　壁高　15～40，　長軸方位　N97度E						
壁　溝　幅　10～18，　深さ　1～4						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	39×34	37	35	35×40	1－2：233	2－3：220
下バ径	25×22	28	20	23×18	3－4：236	4－1：231
深　さ	49	59	61	71		
カマド　位置　北辺中央，　対称軸方位　N11度E，　構築材　粘土，　支脚　不明						
貯蔵穴　位置　北東隅，　平面形　長方形，　上バ32×40，下バ23×30，　深さ　75						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：Ｊ～Ｋライン・784m付近

重複関係：１４・４９住→４７住，１１１住→２３住，１２５住→１１１住，１２２住→１１１住

覆　　土：黒褐色系の土　　，　壁　　：直に近い

床　　面：平坦，貼床，堅く締まる　　，主　柱　穴：ピット４は掘形検出

壁　　溝：全周，東辺～南辺の底面に半円形の工具痕を残す，西辺は壁の内側にある

カ　マ　ド：袖部遺存不良，燃焼部は住居壁にかかる，奥壁は丸い

貯　蔵　穴：上バの周辺が高くスリ鉢状にくぼんで長方形の上バに至る

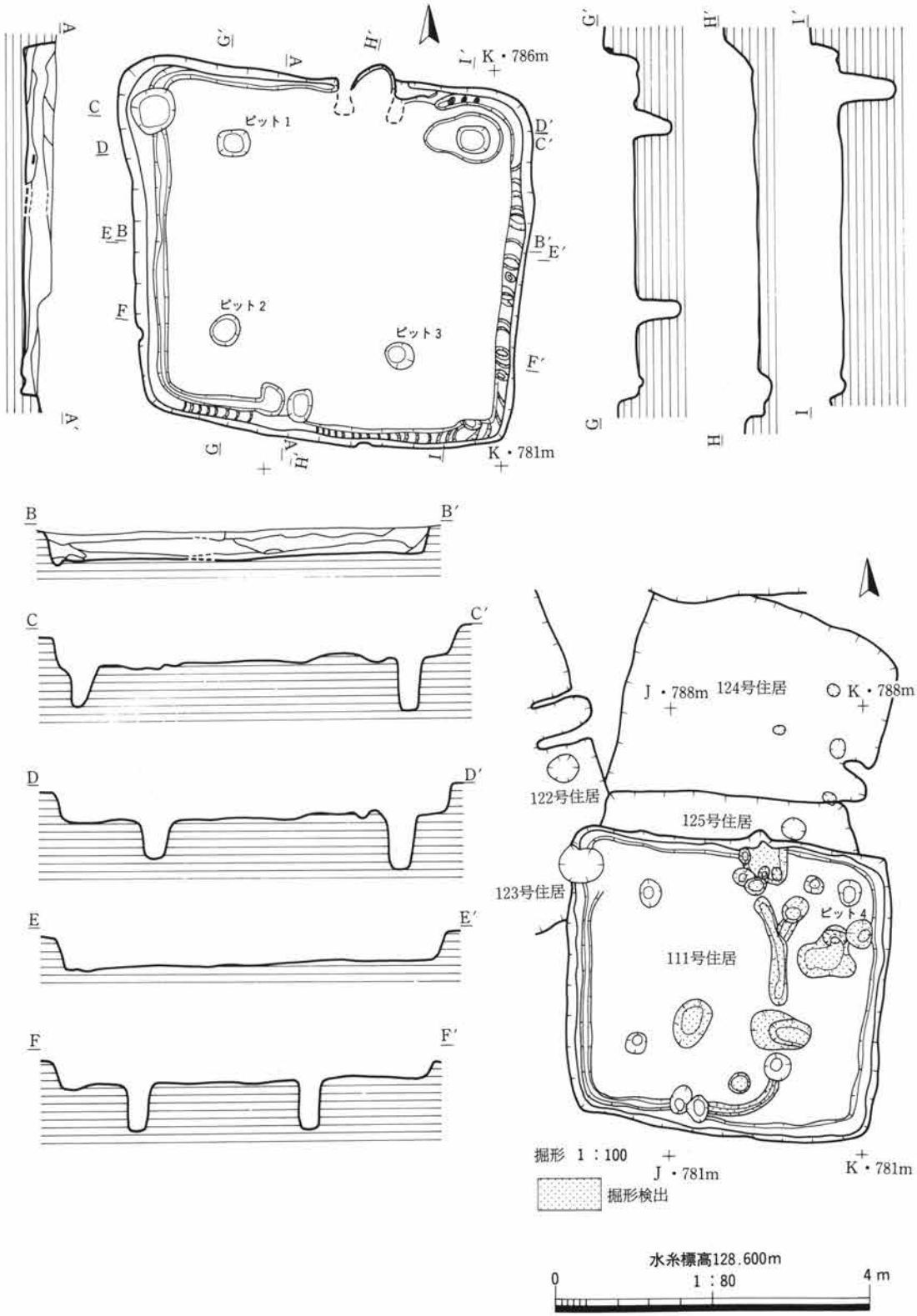
掘　　形：ピット３を通る溝を検出，別住居の壁溝か？，東側で不整形の掘り込み検出，
カマド付近で小ピット検出

そ　の　他：東半部は５２号の住居番号を付けたが本住居１軒で報告，北西隅がやや突出するのは重複する
１２２号住居の貯蔵穴を掘り下げたことによる，西辺壁溝が壁直下にないのも同じ理由，
南辺中央やや西寄りの壁際ピットは出入口痕跡か？

遺　　物：土器1059片・石7個，覆土から外稜杯・小形甕・甕出土，
0686（鉄鏃茎，覆土）・1009・1010・1011・1012・1013・1014・1015

時　　期：古墳後期，７世紀後半

第425図　４区111号住居跡遺物出土状態（南から）



第426図　4区111号住居跡

三ッ寺II　4区112号住居跡（第427・709図，図版265・497）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　東西（450），面積　－，壁高　10～49，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　N93度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　位置　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	,検出位置：O～Pライン・782m付近，本線＋東側道
重複関係：106・113・119住→112住	,覆　土：黒褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる	,床　面：細かい凹凸あり，薄い貼床
主柱穴：カマド右脇ピットは柱穴か？	,壁　溝：－
カマド：東側道調査で検出，燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は丸みをもつ，煙道部と奥壁との境に段	
貯蔵穴：東側道南東隅のピットか？	,掘　形：黄褐色土面に達する
その他：本線調査と東側道調査とのプランが一致しない，南辺の立ち上がりは130cmほどの差がある，本線の南北（350）・側道の南北（483），北西隅・南西隅未検出，南東隅も不明確，床面標高一致	
遺　物：土器317片，カマドからケズリ甕底部出土，覆土から丸胴甕底部・外稜杯・鉢？出土，1024・1025	
時　期：奈良，8世紀前半	

第427図　4区112号住居跡遺物出土状態（西から）

第428図　4区112号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区１１３号住居跡（第429・709図，図版277・497）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　東西554×南北540，面積　(29.9) m²，壁高　20前後，長軸方位　N77度E					
壁　溝	幅　15～20，深さ　2～4					
主柱穴	1（掘形）	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	30×28	25×25	40×45	46×44	1－2：347（掘形）	2－3：322
下バ径	18×15	18×16	26	10×13	3－4：297	4－1：337（掘形）
深　さ	47	70	47	78		
カマド	位置　北辺東寄り，対称軸方位　N14度W，構築材　粘土，支脚　土器					
貯蔵穴	不明					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：O～Qライン・787m付近，本線＋東側道

重 複 関 係：１１３住→１１２住，１１３住→３住　　，覆　　土：黒褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床

主　柱　穴：ピット１は掘形検出，ピット２は１１２号住居内，ピット４の内部は二段に掘り込む

壁　　溝：東辺・北辺（本線掘形）で検出

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央から土師器高杯・杯出土（支脚に利用）

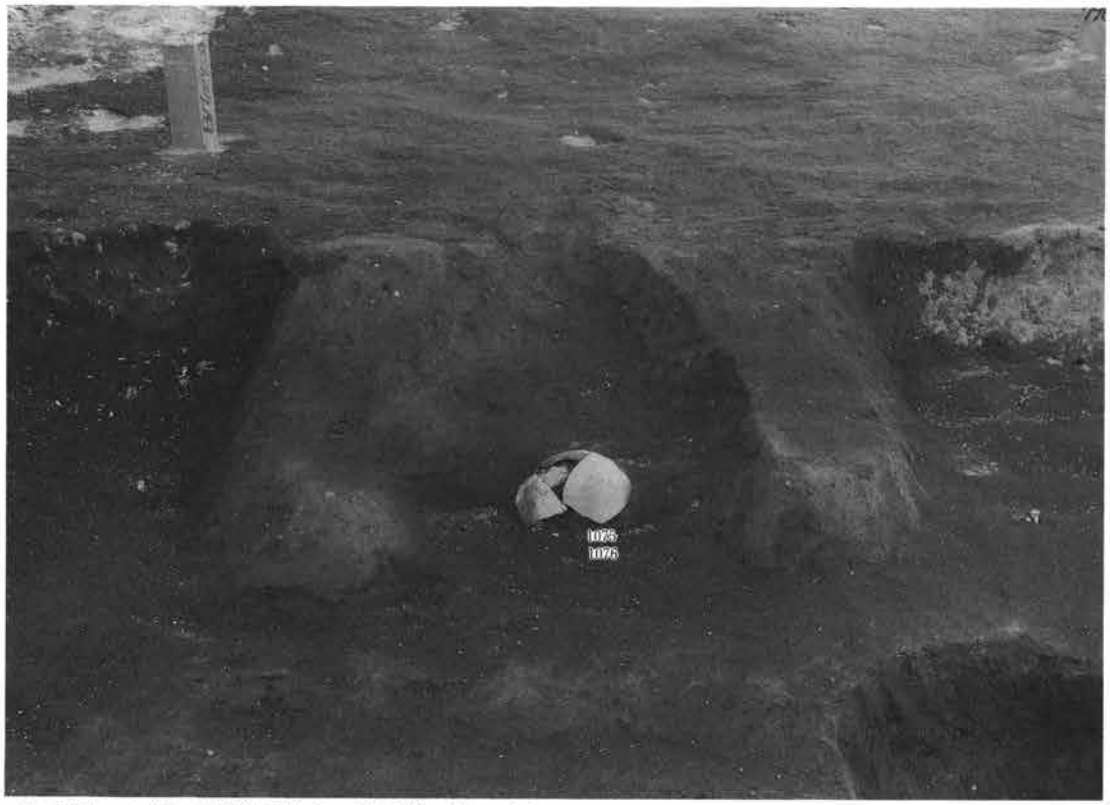
貯　蔵　穴：－　　，掘　　形：凹凸著しい，小ピット多数検出

そ　の　他：南西隅未検出，２回調査のため住居プランに多少のズレがある，床面の標高は一致

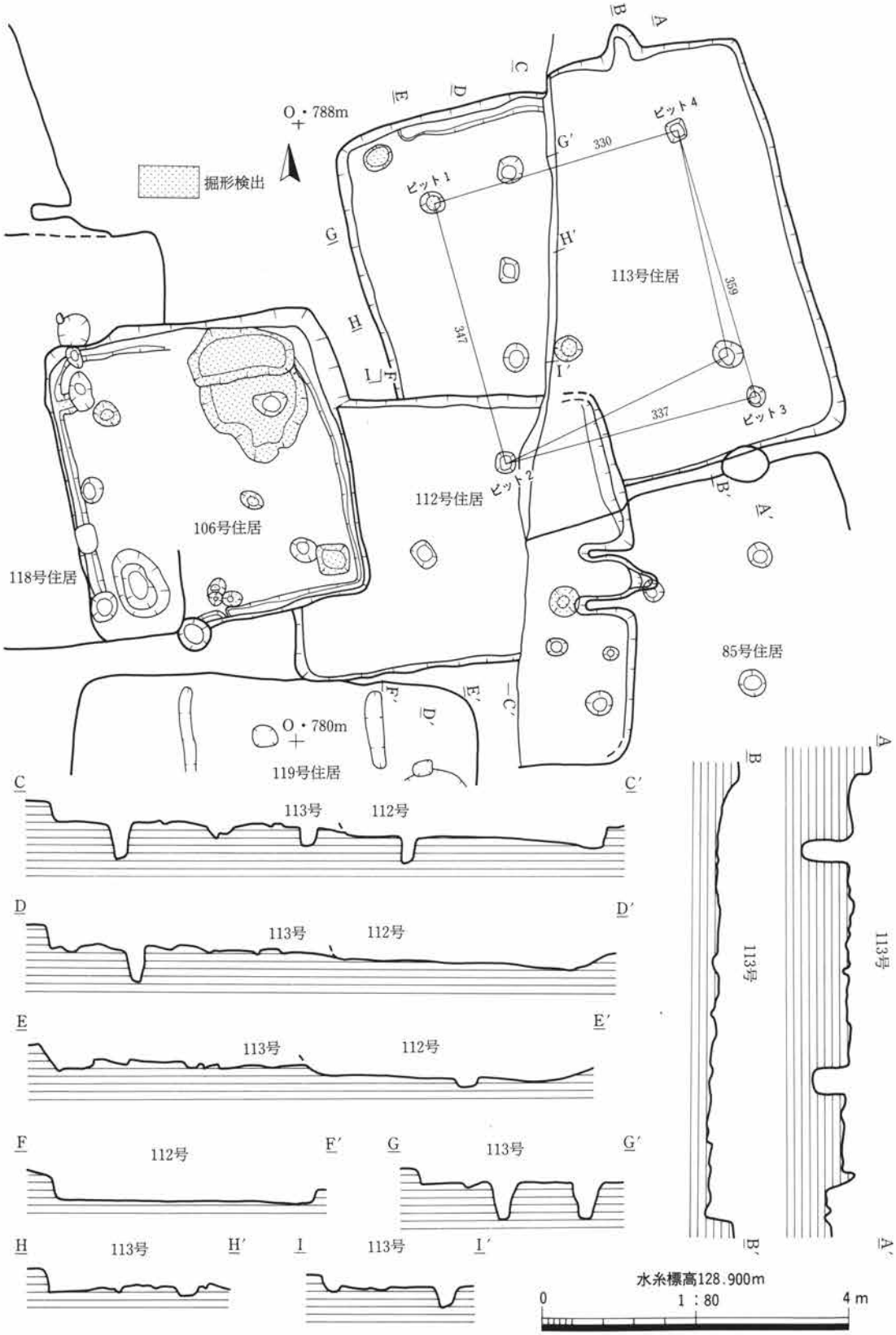
遺　　物：土器203片，覆土から内斜口縁杯・内外面黒色の模倣杯出土，

1075・1076・1077

時　　期：古墳後期，６世紀前半



第429図　４区113号住居跡カマド遺物（南から）



第430図　4区106・112・113号住居跡　掘形

三ッ寺II　4区１１４号住居跡（第431・710図，図版279）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西399，　面積　－，　壁高　25前後，　長軸方位　－						
壁　溝　不明						
主柱穴	1（掘形）	2（掘形）	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	－	－	35	31×34	1－2：205（掘形）	2－3：219（掘形）
下パ径	(20)	13	17×20	14	3－4：185（掘形）	4－1：223（掘形）
深　さ	(1)	68（床面）	26	67		
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N71度E，　構築材　粘土，　支脚　石						
貯蔵穴　位置　南東部（カマド右脇），　平面形　長方形，　上パ64×54，下パ28×22，　深さ　76						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：K～Lライン・790m付近

重 複 関 係：１１６住→１１４住→１１７住→１０６住→４住，１１４住→１０２・１０５住

覆　　土：黒褐色系の土　　，　壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：薄い貼床，黄褐色土面に達する

主　柱　穴：ピット１・２は掘形検出，ピット１は西接するピットか（１０５号住居貯蔵穴掘形）？，

周辺住居の床下に土坑があり不明確

壁　　溝：－

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央左寄りに角柱形の石を起てて支脚とする

貯　蔵　穴：底面も長方形，壁は直線的に掘り込む　　，掘　　形：小ピット多数検出

そ　の　他：重複住居により破壊されプラン不明，カマドに続く東辺・西辺の一部のみ検出

遺　　物：土器106片，カマド覆土から内面黒色模倣杯出土，カマド右脇から半球杯出土，

0992・0993・0994

時　　期：古墳中期，５世紀末

三ッ寺II　4区１１５号住居跡

１０９号住居北西部に付けた住居番号，１０９号とは別住居の可能性あり，
ここでは１１５＝１０９号としておく（463頁参照）

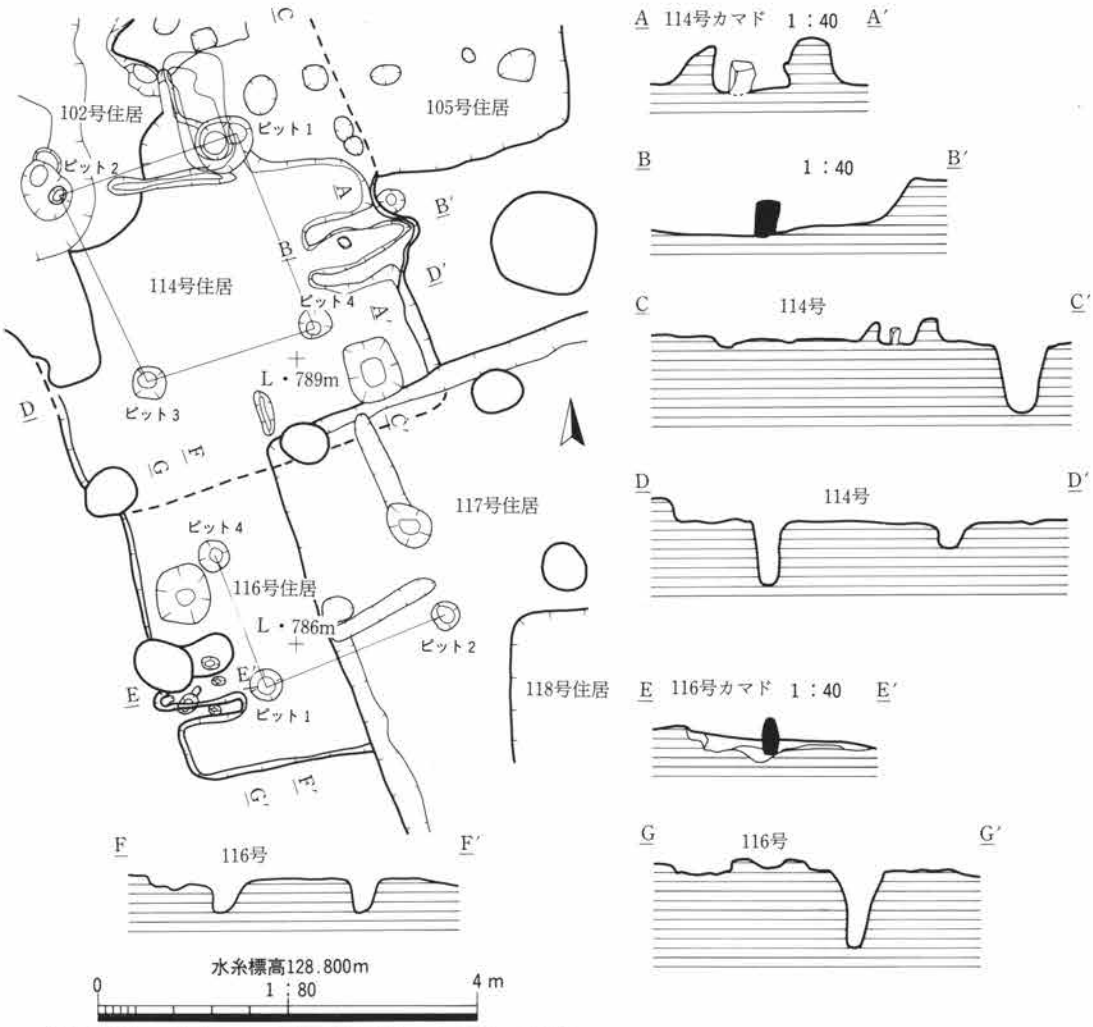
第431図　4区114号住居跡遺物出土状態（南から）

三ッ寺II　4区116号住居跡（第432図，図版280）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模 －，面積 －，壁高 10前後，長軸方位 －					
壁　溝	不明					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	35	30	－	34	1－2：203	4－1：147
下パ径	20×17	21×16	－	15×13		
深　さ	25	26（床面）	－	35		
カマド	位置　西辺南寄り，対称軸方位　N108度W，構築材　粘土，支脚　石					
貯蔵穴	位置　カマド右脇，平面形　円形，上パ60×57，下パ17×20，深さ　81					

その他（状況の記録）

確　認	面：黒色土，6層，検出位置：Lライン・786m付近
重複関係	116住→114住→117住→106住，116住→208坑
覆　土	黒褐色系の土，壁　：斜めに立ち上がる
床　面	凹凸あり，薄い貼床，主　柱　穴：ピット3相当未検出
壁　溝	－
カ　マ　ド	右袖基部に208号土坑が重複，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央に石を起てる
貯　蔵　穴	深く掘り込む，掘　　形：黄褐色土面に達する
そ　の　他	南西隅検出，南辺190・西辺287，北東部は重複する住居により破壊
遺　物	土器25片，覆土から土師器甕底部出土，遺物図掲載なし
時　期	不明，古墳？



第432図　4区114・116号住居跡　カマド・掘形

三ッ寺II　4区１１７号住居跡（第433・710図，図版280）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　555×607，面積　33.7m²，壁高　16～36，長軸方位　N160度E						
壁　溝　幅　10～18，深さ　3～8						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	56	40×50	38×33	26	1－2：312	2－3：322
下パ径	31×22	16×23	7	14	3－4：325	4－1：303
深　さ	70	53	67	80		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N78度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上パ43×44，下パ18×13，深さ　82						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：Mライン・787m付近

重 複 関 係：１１６住→１１４住→１１７住→１０６住→４住，１１８住→１１７住

覆　　土：黒褐色系の土　　壁　　：直に近い

床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：ピット４は掘形検出，ピット３は浅い土坑と重複

壁　　溝：南辺・西辺北半は未検出

カ　マ　ド：燃焼部に１２６号土坑が重複して破壊，両脇床面に石が散乱，掘形調査で袖先端部内側に小ピット検出（石抜き跡か？），中央奥は細長くなり煙道に連なる

貯　蔵　穴：１０６号住居にかかる，不整円形を呈するのは一部遺存か？，周囲に石・土器片が散布

掘　　形：南半で１１８号住居北西部を検出，黄褐色土面に達する

そ　の　他：略等間隔で並ぶピットが重複（ピット→住居），床溝4本検出，東隅未検出

遺　　物：土器65片，覆土から土師器杯破片（1078と同一個体），カマド右脇から丸胴甕底部出土，1078

時　　期：古墳後期，７世紀前半

三ッ寺II　4区１１８号住居跡（第434図，図版281）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　538×496，面積　26.7m²，壁高　3～33，長軸方位　N177度E						
壁　溝　幅　8～15，深さ　1～8						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	31×16	33×28	30×22	37	1－2：250	2－3：251
下パ径	13×7	12×10	10	12×8	3－4：239	4－1：241
深　さ	45	16	45	52		
カマド　不明，東辺か？						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　楕円形，上パ90×60，下パ38×22，深さ　77						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層下位，１１７号住居下層　　，検 出 位 置：M～Nライン・784m付近

重 複 関 係：１１８住→１１７住，１１８住→２４住　　，覆　　土：黒褐色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：細かい凹凸あり，不明ピット多数検出

主　柱　穴：ピット１・４は１０６号住居壁溝内　　，壁　　溝：東辺中央は１０６号住居により破壊

カ　マ　ド：北辺・西辺・南辺で痕跡確認できず

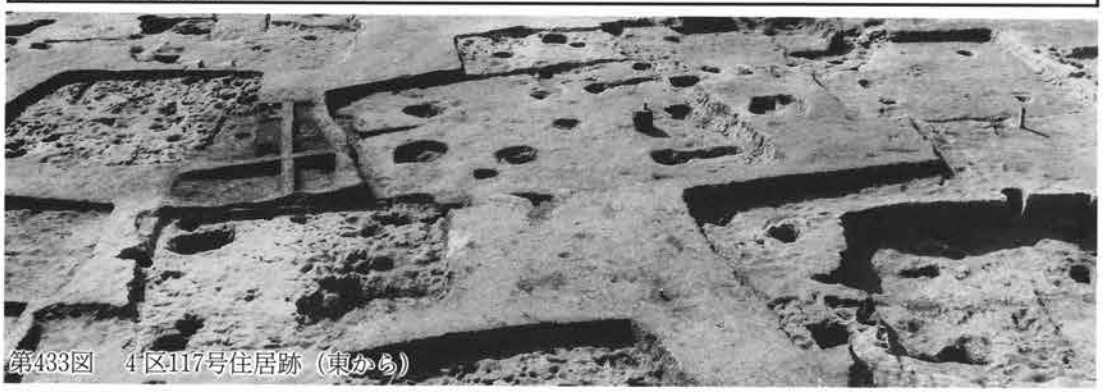
貯　蔵　穴：１０６号住居南西部で検出，内部は二段に掘り込む

掘　　形：凹凸著しい，小ピット多数検出，床溝検出，不明ピット検出

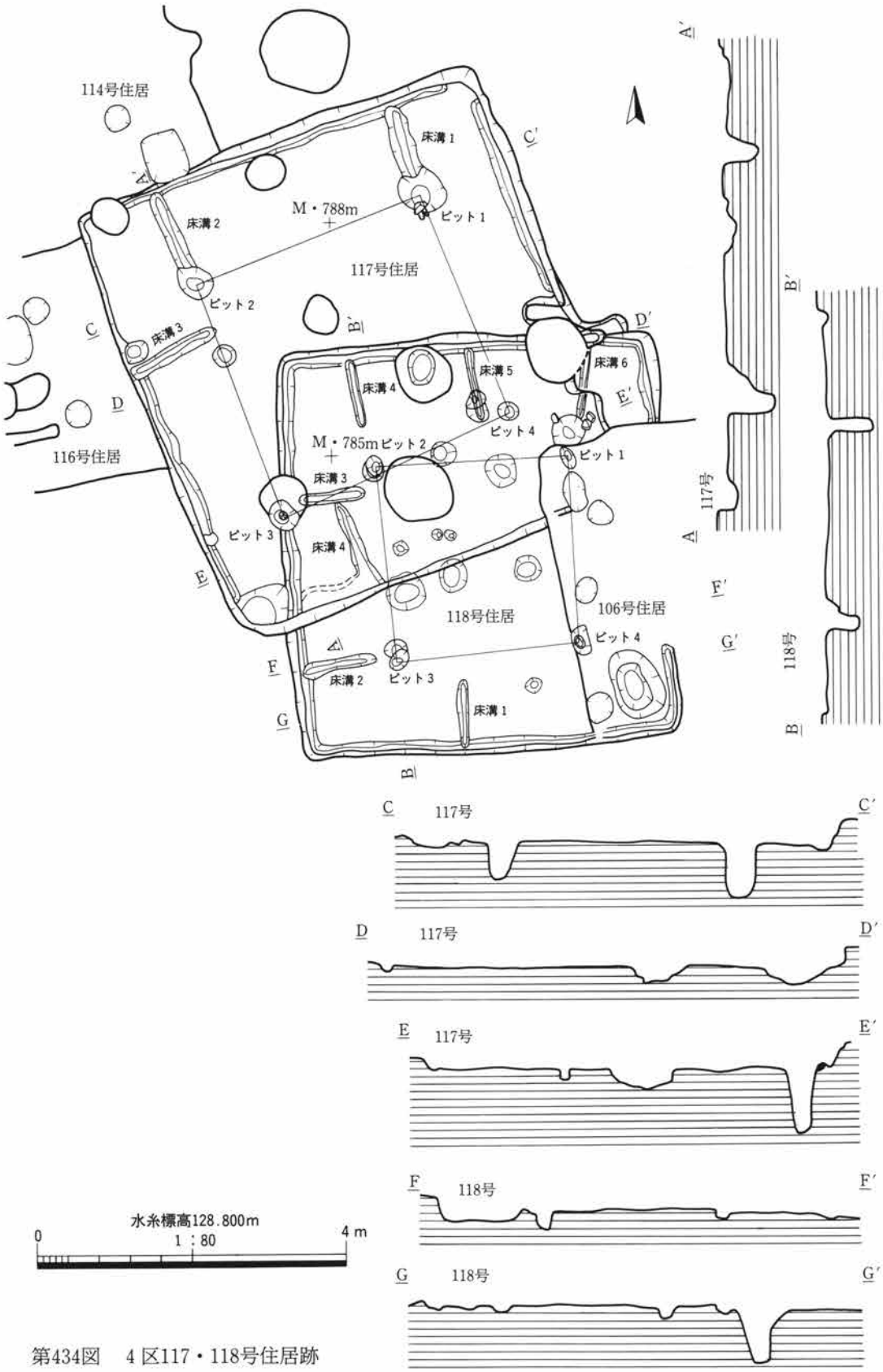
そ　の　他：１０６・１１７号住居により上位を破壊，東辺寄り中央部は１０６号住居掘形により破壊

遺　　物：土器141片，覆土から土師器杯（外底に藁状圧痕）・甕・模倣杯出土，遺物図掲載なし

時　　期：古墳後期



第433図　4区117号住居跡（東から）



第434図　4区117・118号住居跡

三ッ寺II　4区119号住居跡（第435・710図，図版282・498）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北481×東西514，　面積　(24.7) m²，　壁高　12～20，　長軸方位　N93度E						
壁　溝　幅　10～25，　深さ　2～11						
主柱穴	1（掘形）	2	3（掘形）	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	24	27×24	32	27×29	1－2：235（掘形）	2－3：202（掘形）
下パ径	14	13×12	11×14	11×14	3－4：249（掘形）	4－1：211（掘形）
深　さ	22	36	41	55		
カマド　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　長方形，　上パ57×52，下パ29×23，　深さ　38						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Oライン・778m付近

重複関係：119住→112住，119住→131住

覆　　土：黒褐色系の土　　，　壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：細かい凹凸あり，貼床　　，主　柱　穴：ピット1・3は掘形検出

壁　　溝：検出内全周　　，カ　マ　ド：南辺か？

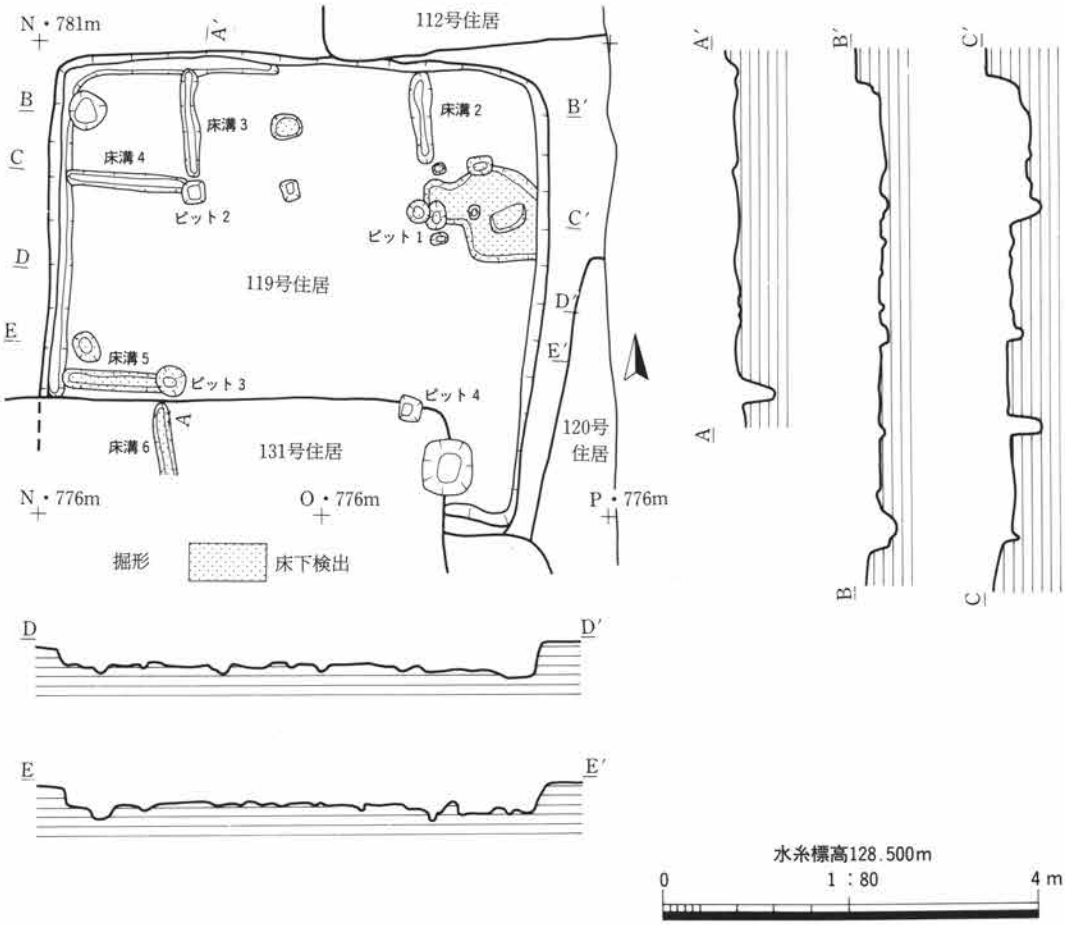
貯　蔵　穴：底面も長方形，壁は直線的に掘り込む

掘　　形：凹凸著しい，小穴多数検出，床溝5・6検出，北東部に不整形掘り込み検出

そ　の　他：南西隅未検出，西辺355・南辺70

遺　　物：土器146片，貯蔵穴内から模倣杯または高杯出土，ピット内（位置未確定）から小型甕出土，
掲載遺物の近くから甕底部・模倣杯出土，
1079・1080・1081

時　　期：古墳後期，6世紀前半



第435図　4区119号住居跡　掘形

三ッ寺II　4区１２０号住居跡（第436・710図，図版282）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北512×東西324，面積　(16.6) m²，壁高　8～41，長軸方位　N7度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N101度E，構築材　粘土・石・土器？，支脚　石と土器？
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　不整形，上パ46×25，下パ10×10，深さ　22

その他（状況の記録）

確　認　面	黒色土，6層　　検出位置：P～Qライン・778m付近，本線＋東側道
重複関係	周辺の重複住居より新しい，８５・８６・１１２・１４８住→１２０住
覆　　土	－　　，壁　：直に近い
床　　面	平坦，貼床　　主柱穴：－
壁　　溝	－
カ　マ　ド	左袖先端部は細長い石を据え粘土で固める，右袖先端部から土師器甕破片が出土（構築材か？），燃焼部～カマド前にかけて底面に敷き並べたような状態で石が出土（カマド上部の構築材か？），須恵器杯は石の直上で出土（支脚に転用か？），掘形奥壁は丸い
貯　蔵　穴	深・浅のピット2個を合わせたような状態，西側が深い
掘　　形	凹凸著しい，北寄りに溝状の掘り込み検出
そ　の　他	西辺の一部と南西隅は本線敷き（一次）調査で検出，立ち上がりは浅い，南西隅は１４８Ａ号住居の北東隅と接する
遺　　物	土器286片，カマド掘形からケズリ甕口縁部出土，覆土から須恵器杯出土，1032・1033・1034
時　　期	奈良～平安，８世紀後半～９世紀

第436図　４区120号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　4区１２１号住居跡（第437・711図，図版199）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　東西（450）×南北（350），面積　－，壁高　－，長軸方位　N89度E						
壁　溝　幅　13～18，深さ　2～4						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	35×29	45×33	32	29×23	1－2：209	2－3：214
下パ径	19×18	20	19	16×14	3－4：196	4－1：201
深　さ	20	26	20	23		
カマド　位置　東辺？，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ56×38，下パ35×17，深さ　53						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：O～Pライン・775m付近

重複関係：１２１・１４０住→１３１住→１３２住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：浅い

床　　面：不明確　　，主　柱　穴：外側１３１号住居の柱穴か？

壁　　溝：北辺～西辺～南辺で検出

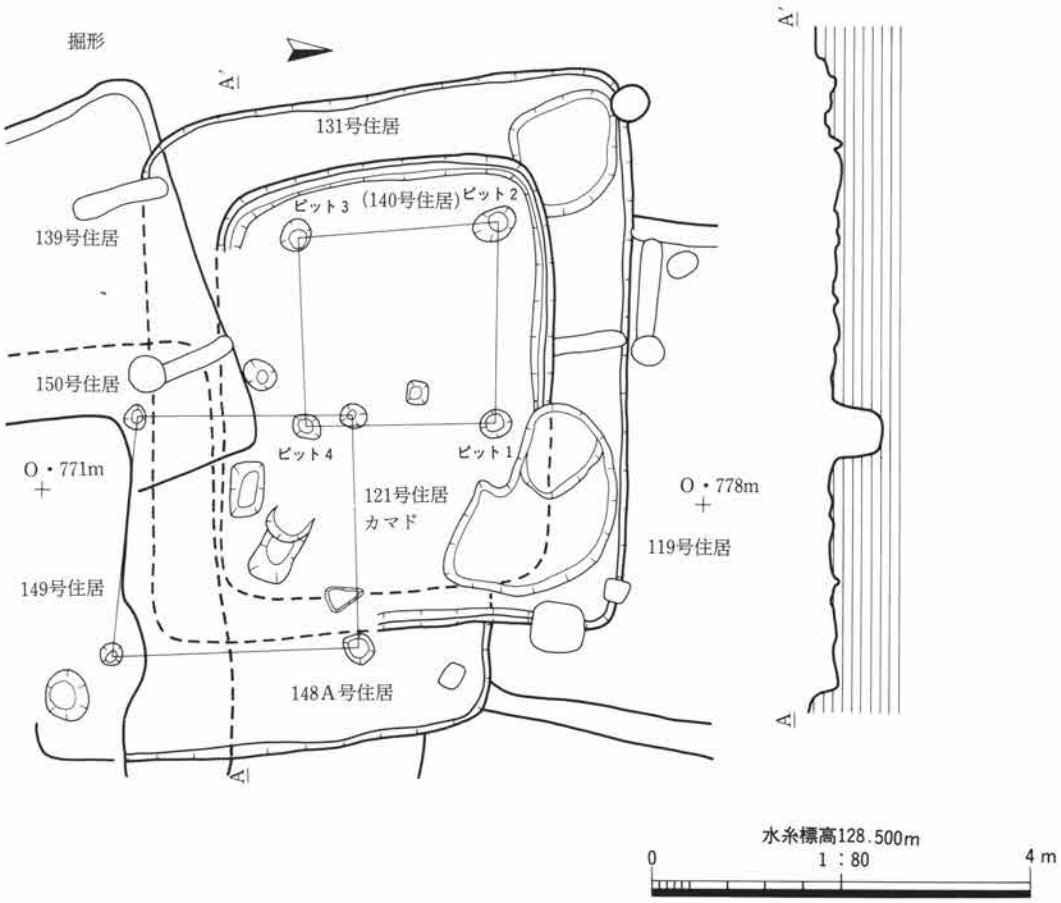
カ　マ　ド：推定位置で焼土検出，外側１３１号住居所属か？

貯　蔵　穴：底面は菱形　　，掘　　形：中央部で深いピット2個検出，所属不明

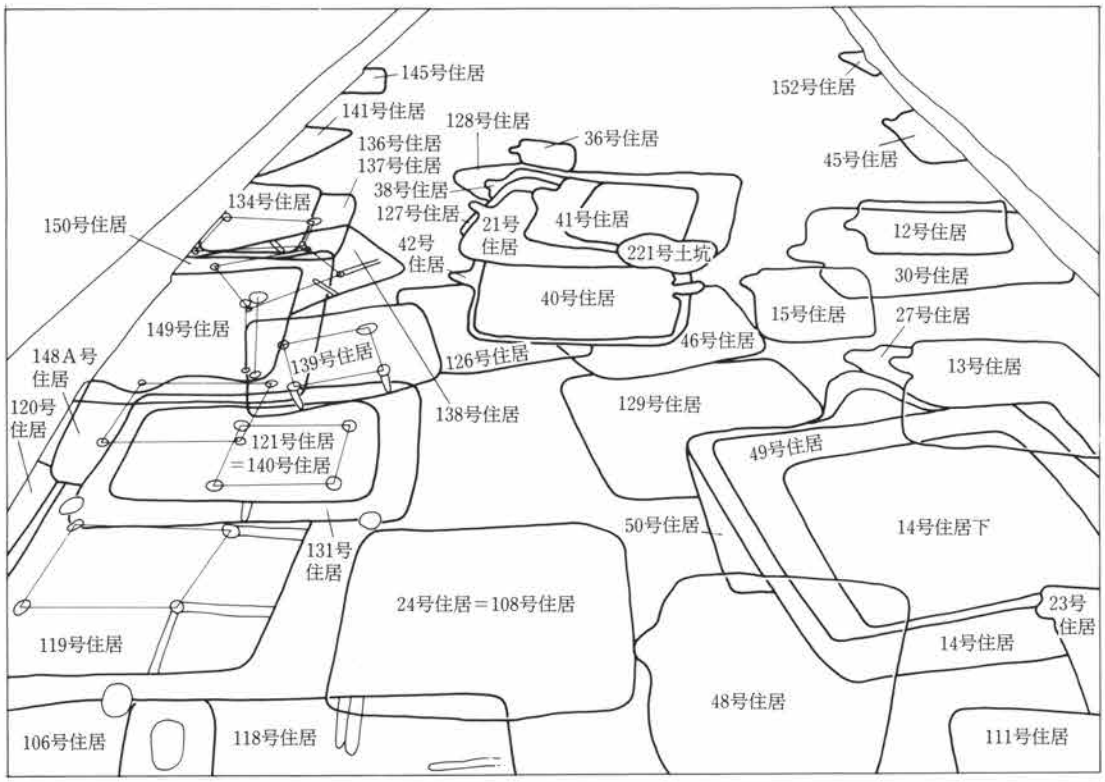
そ　の　他：１４０号住居と同一認定，焼土位置をカマド痕跡とすれば主柱穴位置とのバランスを欠く，
貯蔵穴北東部に接して床面で不整形掘り込み検出（カマド痕跡か？），１４０号と時期矛盾なし，
北西隅・南西隅検出（１４０号相当），床面でのプラン認定できず

遺　　物：土器436片，覆土から土師器短脚高杯・小型甕口縁部・大型甕口縁部出土，
1043（土師器杯，カマド，高杯？）

時　　期：古墳後期，６世紀前半



第437図　4区121（＝140）・131・148A号住居跡　掘形



第438図　4区121号住居跡付近

第439図　4区121号住居跡付近（北から）

三ッ寺II　4区１２２号住居跡（第440・711図，図版284・498）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北642×東西350以上，　面積　－，　壁高　21～28，　長軸方位　－

壁　溝　幅　8～18，　深さ　1～4

主柱穴	1	2	主柱穴間の距離（下バ心心）
上バ径	20	28×24	1－2：316
下バ径	14	12×15	
深　さ	26	20	

カマド　位置　東辺中央，　対称軸方位　N69度E，　構築材　粘土・石，　支脚　不明

貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　楕円形，　上バ53×66，下バ30，　深さ　75

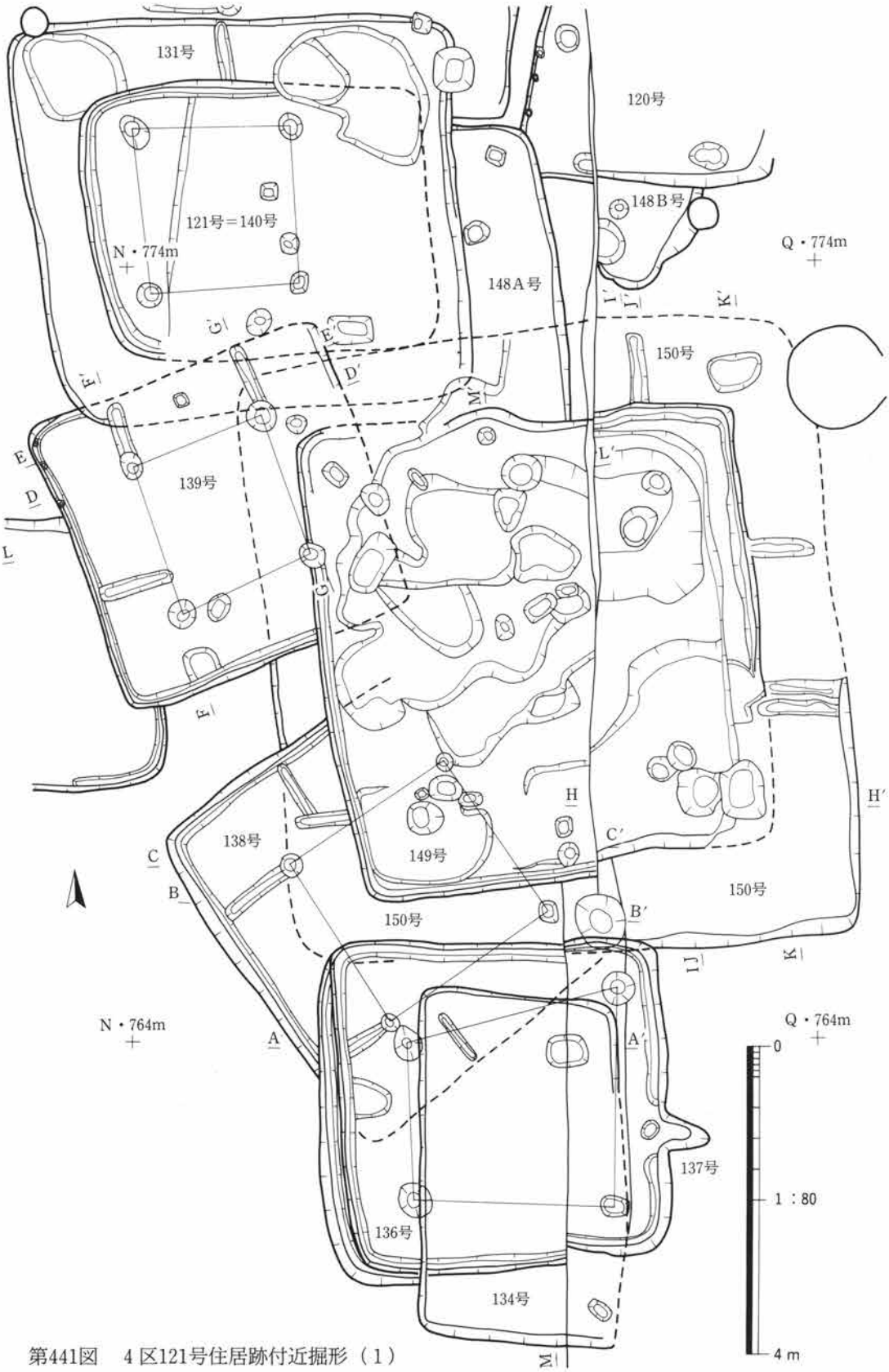
その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層
検出位置：Ｉ～Ｊライン・788m付近
重複関係：１２２住→１１１住，122住→125住
覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面：中央部やや軟弱，周辺堅く締まる，貼床
主　柱　穴：2本検出，浅い
壁　　溝：カマド南側未検出
カ　マ　ド：左袖先端部に石を据え粘土で固める
貯　蔵　穴：底面は円形を呈する，１１１号住居内検出
掘　　形：黄褐色土面に達する，凹凸著しい
そ　の　他：西半部は調査区外にある，南東隅は１１１号住居により破壊，北辺110・東辺（455）・南辺230，南辺西寄りで床溝検出，カマド右脇・南辺寄りで浅いピット検出，南辺沿いの帯状に浅い部分を当初１２３号住居としたが１２２号住居の内部施設と認定，ベッド状遺構か？
遺　　物：土器143片，カマド前からの出土が多い，カマド内から甑破片出土，カマド前甕上位から土師器高杯出土，
1082（須恵器蓋）・1083・1084・1085・1086・1087・1088
時　　期：古墳中期，５世紀末

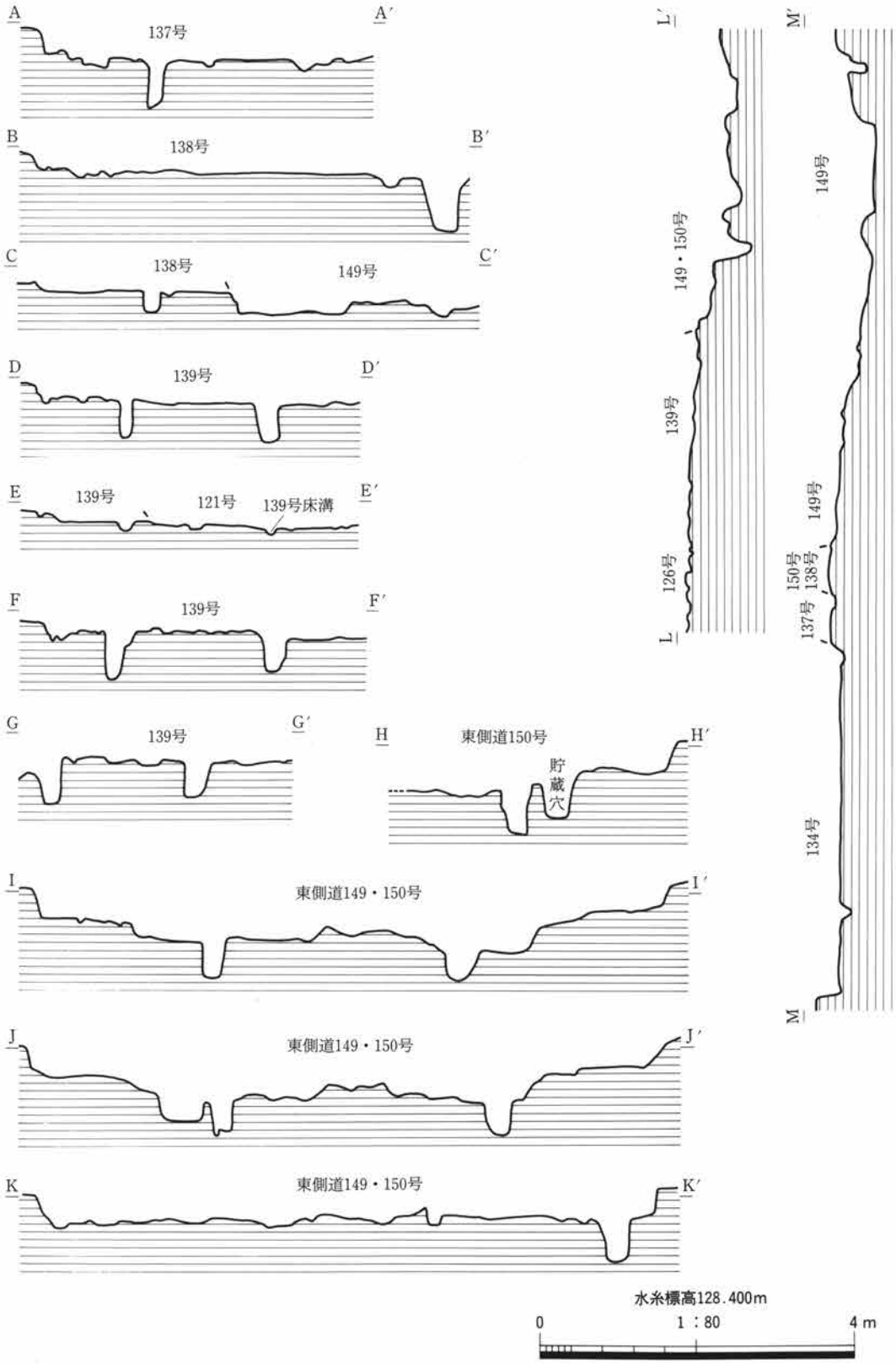
三ッ寺II　4区１２３号住居跡（第284図，図版284）

１２２号住居の南辺沿いの一部と認定

第440図　4区122・123号住居跡遺物出土状態（南から）



第441図　4区121号住居跡付近掘形（1）



第442図　4区121号住居跡付近掘形（2）

三ッ寺II　4区１２４号住居跡（第284図，図版285）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西410×南北320以上，　面積　－，　壁高　6～16，　長軸方位　－
壁　溝　幅　13～17，　深さ　1～4
主柱穴　不明
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N113度E，　構築材　粘土，　支脚　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：暗褐色土，５層下位～６層　　,検出位置：J～Kライン・788m付近
重複関係：１２４住→１０２住，１２４住→１２５住→１１１住
覆　　土：黒褐色系の土　　,　壁　　：浅い，斜めに立ち上がる
床　　面：細かい凹凸あり，西半やや軟弱　　,主　柱　穴：－
壁　　溝：検出内全周，南西部は１２２号住居へ向かう（同時着手のため延長部不明）
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁はやや突出する，左袖部は１２５号住居により破壊
貯　蔵　穴：－　　,掘　　形：カマド両袖前で浅いピット検出
そ　の　他：西辺壁溝は西側へ曲がる（張出部か？），南半部は１２５・１１１号住居により破壊，
北西隅未検出（１０２号住居により破壊）
遺　　物：土器58片，カマド周辺から土器小片出土，覆土から外稜杯・ケズリ甕破片出土，遺物図掲載なし
時　　期：不明，古墳～奈良？

三ッ寺II　4区１２５号住居跡（第284図，図版285）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西402以上，　面積　－，　壁高　20～30，　長軸方位　－
壁　溝　幅　12～17，　深さ　1～4
主柱穴　不明
カマド　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：暗褐色土，５層下位～６層　　,検出位置：J～Kライン・786m付近
重複関係：１２２住→１２５住，１２４住→１２５住→１１１住
覆　　土：黒褐色系の土　　,　壁　　：直に近い
床　　面：一部検出，貼床　　,主　柱　穴：－
壁　　溝：検出内全周　　,カ　マ　ド：－
貯　蔵　穴：－　　,掘　　形：－
そ　の　他：大半を南側１１１号住居により破壊され詳細不明
遺　　物：出土遺物なし　　,時　　期：不明，古墳～奈良？

三ッ寺II　4区１２６号住居跡（第284図，図版187）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北341×東西（480,掘形），　面積　（16.4）m²，　壁高　2～17，　長軸方位　N0度
壁　溝　幅　10前後，　深さ　4

主柱穴	1	2（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	40×33	45	1－2：214（掘形）
下パ径	29×23	10	
深　さ	27	21	

カマド　不明
貯蔵穴　位置　（南辺中央やや西寄り），　平面形　長方形，　上パ46×58,下パ25×32，　深さ　41（本住居から）

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，６層　　,検出位置：M～Nライン・769m付近
重複関係：１３９住→１２６住→４２住→４０住，１２９住→４６住→１２６住
覆　　土：黒褐色系の土　　,　壁　　：浅い，斜めに立ち上がる
床　　面：凹凸あり　　,主　柱　穴：２本柱か？
壁　　溝：南東隅のみ検出（掘形）　　,カ　マ　ド：南辺またはカマドのないタイプか？
貯　蔵　穴：４０・４２号住居内（ピット８に相当）で検出
掘　　形：北西隅検出，床面で検出したのは認定間違い，ピット１の南西部に接して浅いピット検出
そ　の　他：北東隅・東辺中央部で浅いピット検出，南西隅未検出，重複のため柱穴不明
遺　　物：土器27片，覆土から土師器壺体部片・内外面黒色模倣杯・短脚高杯脚部・外稜杯出土，
遺物図掲載なし
時　　期：重複関係から古墳後期

三ッ寺II　4区１２７号住居跡（第443・711図，図版285・499）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北545，面積　－，壁高　5～26，長軸方位　－					
壁　溝　幅　10～15，深さ　1～4					
主柱穴	2（掘形）	3（掘形）	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	21	22×27	22	2－3：212（掘形）	3－4：229（掘形）
下パ径	12×10	11×18	12		
深　さ	33	33	46		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N100度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ62×38，下パ46×21，深さ　48					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：M～Nライン・761m付近

重 複 関 係：１２８住→３８住→１２７住→２１住→４１住→１８住

覆　　土：黒褐色系の土　　，　壁　　：直に近い

床　　面：東辺直下でわずかに検出のみ　　，主　柱　穴：４１号住居内で3本検出，組み合わせ不安定

壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：袖先端部は重複住居により破壊，燃焼部は住居壁の内側にある，煙道部へ連なる部分はやや狭くなって角張る，土器小片出土

貯　蔵　穴：壁を直線的に掘り込む，中から完形に近い土器出土，底面は丸みをもつ

掘　　形：北東隅不明確

そ　の　他：大半は重複住居により破壊，北辺40・南辺120検出

遺　　物：土器16片，貯蔵穴内から模倣杯・内黒土器出土，0955・0956・0957・0958

時　　期：古墳後期，７世紀前半

第443図　４区127号住居跡貯蔵穴遺物（西から）

三ッ寺II　4区128号住居跡（第444・712図，図版286・499）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北280以上×東西350以上，面積　－，壁高　10～22，長軸方位　－
壁　溝	幅　11～16，深さ　2～4
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺，対称軸方位　N77度E，構築材　粘土・石，支脚　土師器高杯（倒立）
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形～楕円形，上パ43×57，下パ23×20，深さ　83

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：M～Nライン・759m付近

重複関係：128住→38住→127住→21住→41住→18住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる，浅い

床　　面：カマド前のみ検出，貼床　　，主　柱　穴：－

壁　　溝：掘形検出，カマド～貯蔵穴を除く

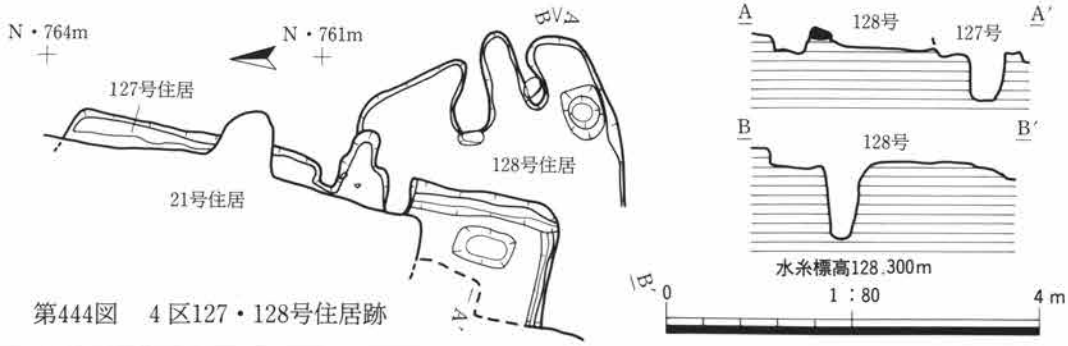
カ　マ　ド：左袖先端部から30cm大の石が横になって出土，左右袖中央部から石出土，周辺からも構築材とみられる石が出土，燃焼部奥の右寄りに大型甕が正立状態で出土，その左脇からは小型甕出土，燃焼部中央の焼土上から倒立状態の高杯（0945）出土（支脚転用），カマド～貯蔵穴間から甑出土，燃焼部は住居壁の内側にある

貯　蔵　穴：二段に掘り込む，底面は略円形　　，掘　　形：小穴多数検出，凹凸著しい

そ　の　他：西半は重複住居により破壊，南辺195・北辺60（いずれも掘形の計測値），プラン不明確，主柱穴不明

遺　　物：土器36片，遺物の出土多い，須恵器なし，カマド周辺に20～30cm大の石散乱，0938・0939・0940・0941・0942・0943・0944・0945・0946・0947・0948・0949

時　　期：古墳中期，5世紀末

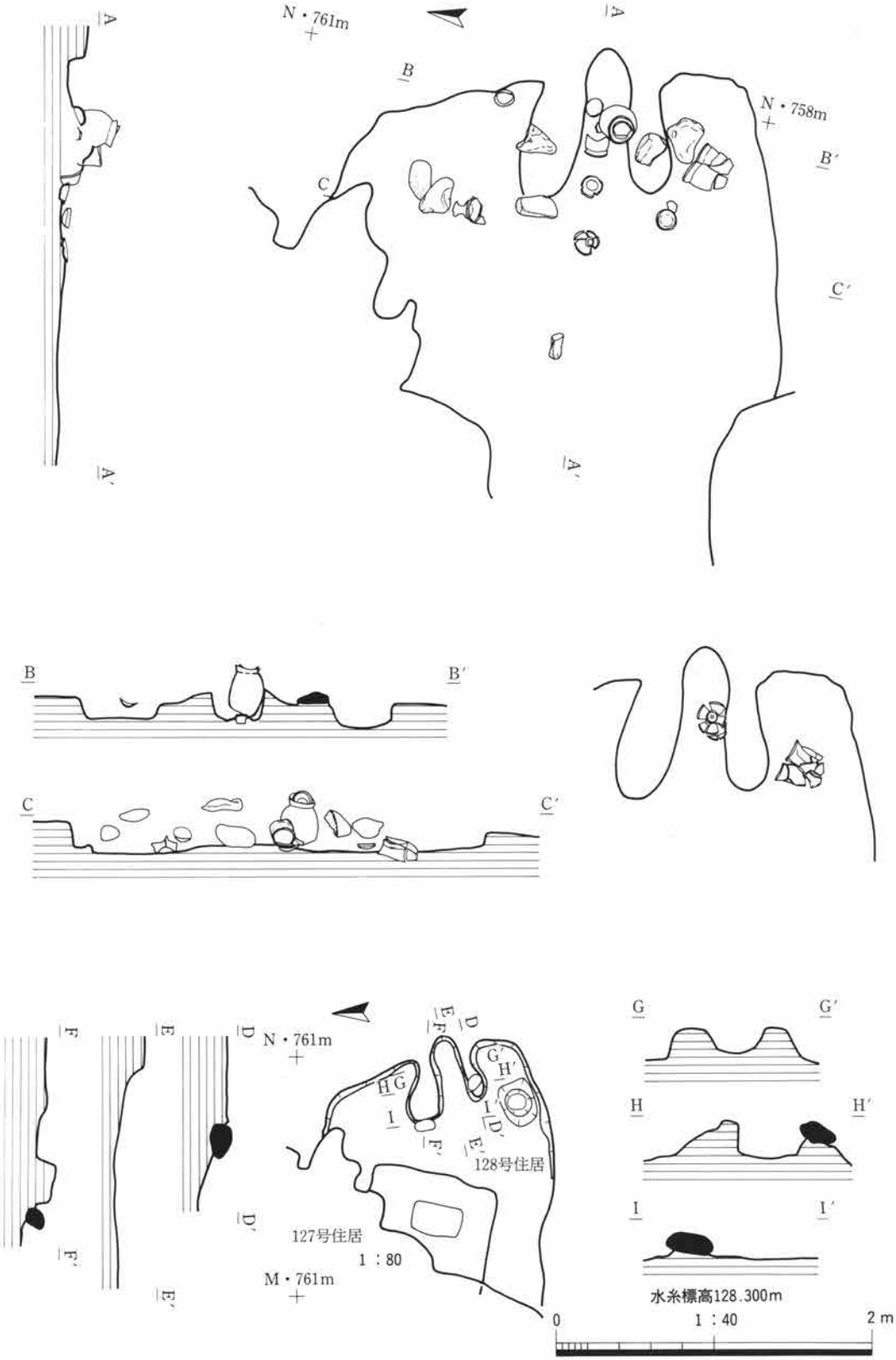


第444図　4区127・128号住居跡

第445図　4区128号住居跡遺物出土状態（西から）

第446図　4 区128号住居跡カマド遺物（西から）

第447図　4 区128号住居跡カマド遺物（北から）



第448図　4区128号住居跡カマド　遺物

三ッ寺II　4区１２９号住居跡（第449・712図，図版287・501）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北406×東西437，面積　(17.7) m²，壁高　11～27，長軸方位　N72度E						
壁　溝　幅　10～20，深さ　2～10						
主柱穴	1（掘形）	2（掘形）	3（掘形）	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	29	45×40	21×25	26×30	1－2：189	2－3：206
下バ径	16	12×9	7×12	15	3－4：186	4－1：214
深　さ	30	42	47	39	（ピット３の深さは１２９住から）	
カマド　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　略方形，上バ南北55×東西49，下バ30×32，深さ　41						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：Kライン・774m付近

重 複 関 係：１２９住→４６住→１２６住→４２住　　，覆　　土：黒褐色系の土

壁　　：浅い，斜めに立ち上がる　　，床　　面：凹凸あり，貼床，北東部やや低い？

主　柱　穴：１４号住居内を含めて4本検出　　，壁　　溝：検出内全周

カ　マ　ド：南辺または東辺か？

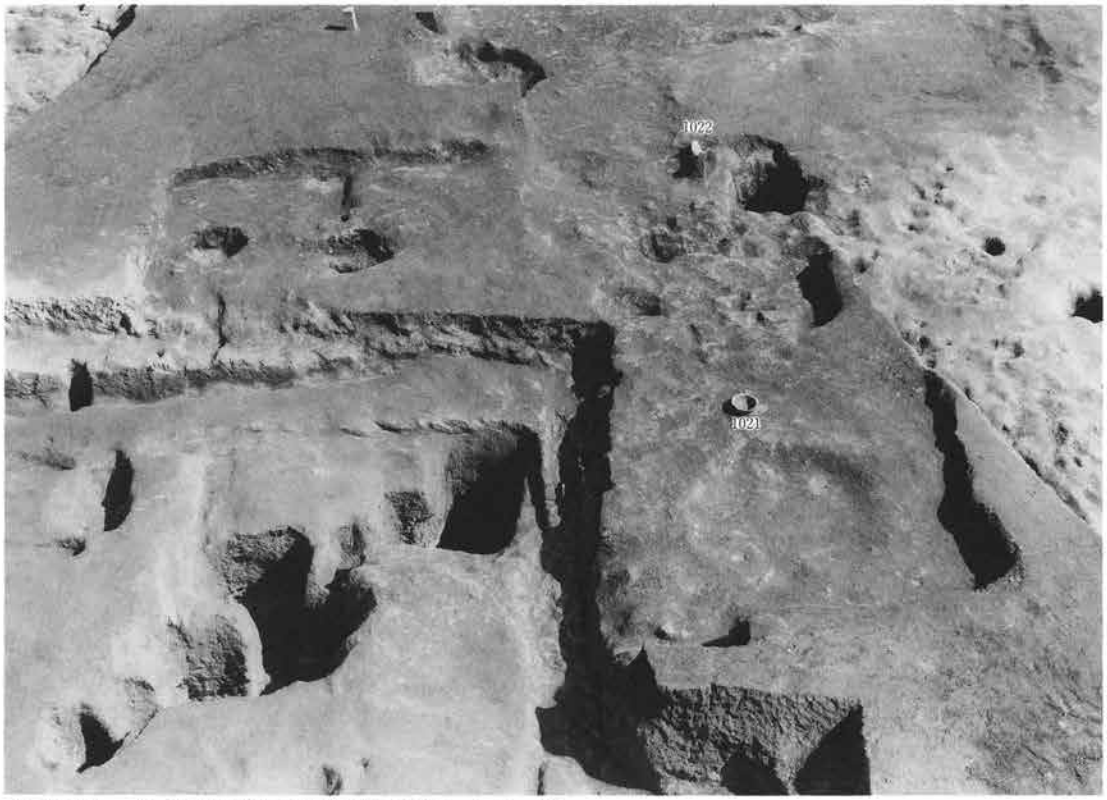
貯　蔵　穴：中から完形の小型甕出土，壁は直線的に掘り込む，底面角張る

掘　　形：凹凸著しい，小穴多数検出

そ　の　他：南辺中央部は４６号住居により破壊，北東部は１４号その他の住居により破壊，南西隅に２４号土坑が上層から掘り込む，

遺　　物：土器74片，覆土から土師器半球杯・模倣杯・須恵器長頸壺・杯・高杯出土，1021・1022・1023

時　　期：古墳中期，５世紀末



第449図　４区129号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区１３０号住居跡（第450・713図，図版288・501）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北389×東西390，面積　(15.2) m²，壁高　5～27，長軸方位　N92度E						
壁　溝　幅　12～18，深さ　2～8						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	16	24×16	24×19	21×16	1－2：160	2－3：147
下パ径	11	11	12	12×9	3－4：172（掘形）	4－1：145（掘形）
深　さ	31	22	33	20		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N104度E，構築材　粘土・土器，支脚　高杯（＋甕？）						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ46×27，下パ18×14　，深さ　54						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：L～Mライン・745m付近

重複関係：１３０住→１５５住，１３０住→３３住→３４住→３２住→３１住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：浅い

床　　面：カマド～中央部のみ検出，貼床　　，主　柱　穴：ピット４は掘形検出

壁　　溝：南辺のみ検出

カ　マ　ド：左袖部は先端に土師器甕（0876，底部打ち欠き）を倒立状態に据え粘土で固める，燃焼部中央に土師器高杯（0871）を倒立状態に据え支脚とする，この高杯にかかる小型甕（0875）も支脚としたか？，燃焼部は住居壁の内側にある，右袖基部の右脇から土師器甕底部（0874，割れ口摩滅著しい）出土

貯　蔵　穴：周囲は長方形に床面から10cmほど低い　　，掘　　形：凹凸著しい，小穴多数検出

そ　の　他：北西部は重複住居により床面破壊，南東隅未検出

遺　　物：土器282片，南東部から完形品に近い土器が多量に出土，炭化物（棒状）出土，覆土から模倣杯・須恵器高杯脚部出土，0880の接合しない底部あり，0864・0865・0866・0867・0868・0869・0870・0871・0872・0873・0874・0875・0876・0877・0878・0879・0880・0881

時　　期：古墳中期，５世紀末

第450図　４区130号住居跡遺物出土状態（西から）

第451図　4 区130号住居跡カマド遺物（西から）

第452図　4 区130号住居跡カマド支脚

三ッ寺II　4区１３１号住居跡（第284図，図版199）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　東西565×南北（520），面積　－，壁高　7～21，長軸方位　N89度E
壁　溝　不明
主柱穴　不明
カマド　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，６層　，検出位置：N～Pライン・775m付近
重複関係：１２１・１４０住→１３１住→１３２住，１１９住→１３１住
覆　　土：黒褐色系の土　，壁　　：遺存不良，北西隅深さ20
床　　面：不明確　，主　柱　穴：１２１号住居と同一か？
壁　　溝：東辺北半が溝状
カ　マ　ド：１２１号住居と認定したものか？，焼土を検出したが痕跡のみ
貯　蔵　穴：北半の掘形検出不整形土坑は浅い
掘　　形：北東隅・北西隅で不整形の掘り込み検出，カマド痕跡の可能性もあるが焼土・灰等未検出
そ　の　他：南東隅未検出，１２１・１４０号住居の拡張か？
遺　　物：覆土から模倣杯出土，遺物図掲載なし　，時　　期：古墳後期

三ッ寺II　4区１３２号住居跡（第284図，図版199）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北420前後×東西300～350，面積　－，壁高　2～17，長軸方位　N12度E前後
壁　溝　不明
主柱穴　不明
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N129度E，構築材　粘土，支脚　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，６層　，検出位置：Oライン・774m付近
重複関係：１２１・１４０住→１３１住→１３２住，１４９住→１３２住，１４８A住→１３２住
覆　　土：－　，壁　　：浅い
床　　面：不明掘り込みあり，広がり不明確　，主　柱　穴：－
壁　　溝：南辺の一部で検出　，カ　マ　ド：煙道部は南東へ延びる
貯　蔵　穴：－　，掘　　形：１２１・１４０号住居検出
そ　の　他：北辺未検出，南東隅の形状不明確，東辺は１２１号住居東辺と同じ位置
遺　　物：土器36片，覆土から土師器ケズリ甕体部片・短脚高杯・模倣杯口縁部（カマド）出土，
遺物図掲載なし
時　　期：不明，古墳～奈良？

三ッ寺II　4区１３３号住居跡

実体なし，欠番とする

三ッ寺II　4区１３４号住居跡（第284図，図版290）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北438×東西248（掘形），面積　－，壁高　7～39，長軸方位　N2度E
壁　溝　不明
主柱穴　不明
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土，支脚　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，６層　，検出位置：O～Pライン・762m付近
重複関係：１３８住→１３６住→１３７住→１３４住
覆　　土：黒褐色系の土　，壁　　：直に近い
床　　面：平坦，薄い貼床　，主　柱　穴：－
壁　　溝：－
カ　マ　ド：袖先端部のみ検出，本線敷（第１次）調査の東壁直下で検出，焼土少量確認
貯　蔵　穴：－　，掘　　形：黄褐色土面に達する，細かい凹凸あり
そ　の　他：南東隅・北東隅でピット検出，南東隅未検出，北東隅は掘形調査で確認
遺　　物：土器282片，１３７号住居遺物と混入，底部に木葉痕のある甕出土，遺物図掲載なし
時　　期：不明，古墳～奈良？

三ッ寺II　4区１３５号住居跡（第284・714図，図版264・503）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

本線敷（第１次）調査で検出した１３６・１３７号住居と本線１５０号住居との中間の床面に対して付けた番号，
東側道（第２次）調査により本線１５０号＝東側道１４９号と認定，東側道１５０号は本住居と床面高さ・床面の広がり・遺物時期がほぼ同じことから東側道１５０号＝本線１３５号と認定，
遺物は注記を生かすため本住居番号で掲載，遺構の概要は１５０号住居参照

その他（状況の記録）
遺　　物：土器77片・石2個，45cm大の偏平な石・15cm大の直方体の石出土，模倣杯・外稜杯・高杯出土，1092・1093
時　　期：古墳後期，６世紀

三ッ寺II　4区１３６号住居跡（第284図，図版290）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

１３７号住居に内接する住居，掘形調査で検出，概要は１３７号住居参照，遺物のみ本住居所属として掲載

その他（状況の記録）
確　認　面：１３７号住居床下　，検出位置：Oライン・763m付近
重複関係：１３８住→１３６住→１３７住→１３４住
壁　　溝：西辺のみ検出
遺　　物：土器41片，覆土から内斜口縁杯・模倣杯・甕底部出土，遺物図掲載なし
時　　期：古墳後期

三ッ寺II　4区１３７号住居跡（第453・714図，図版290・503）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北434×東西469，面積　(20.4) m²，壁高　21～47，長軸方位　N92度E

壁　溝　幅　8～15，深さ　2～9

主柱穴	1（掘形）	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	42	55×46	60×46	26×35	2－3：205	4－1：281
下パ径	17	10	18×13	17×25		
深　さ	13	90	78	69		

カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N99度E，構築材　粘土・石，支脚　不明

貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，６層　，検出位置：O～Qライン・763m付近，本線＋東側道
重複関係：１３８住→１３６住→１３７住→１３４住
覆　　土：黒褐色系の土　，壁　　：直に近い
床　　面：平坦，厚い貼床　，主　柱　穴：ピット１・２は東側道検出，配置不良
壁　　溝：カマド前を除き全周　，カ　マ　ド：両袖部に細長い石を据え粘土で固める
貯　蔵　穴：－
掘　　形：凹凸著しい，黄褐色土面に達する，西辺内側で１３６号住居の壁溝検出，建て替えか？
そ　の　他：2回調査のため住居プランがズレている，東西方向の柱穴間距離は計測しない
遺　　物：土器107片，覆土から模倣杯・須恵器高杯脚部出土，１３４号住居遺物と混入，1089・1090・1091
時　　期：古墳後期，７世紀前半

第453図　４区137号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区138号住居跡（第454・714図，図版299）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　7～28，長軸方位　－						
壁　溝　幅　10前後，深さ　1～4						
主柱穴	1（掘形）	2	3（掘形）	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	21	28×30	24	29×25	1－2：238（掘形）	2－3：241（掘形）
下パ径	12	12×9	12×8	16×14	3－4：246（掘形）	4－1：236（掘形）
深　さ	13	25	14	21		
カマド　不明						
貯蔵穴　位置　南東部，平面形　楕円形，上パ71×65，下パ34×27，深さ　72						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　，検出位置：N～Oライン・767m付近

重複関係：138住→136住→137住→134住，138住→150住

覆　　土：黒褐色系の土　，壁　　：浅い

床　　面：平坦，一部のみ遺存，薄い貼床　，主　柱　穴：ピット2を除き掘形検出

壁　　溝：北西辺・南西辺の検出内全周　，カ　マ　ド：北東辺か？

貯　蔵　穴：本線調査区壁直下の掘形調査で検出

掘　　形：135（＝150）・137・149号住居掘形調査で住居プランを推定，凹凸著しい

そ　の　他：134号住居内で南東辺の床溝検出，南西辺の床溝も掘形検出，東半は重複住居により破壊，北西辺220・南西辺365，南北推定500前後か？

遺　　物：土器10片，135号住居遺物と混入，1094・1095

時　　期：古墳後期，6世紀前半

三ッ寺II　4区139号住居跡（第454図，図版299）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　（南北398×東西402，掘形），面積　－，壁高　5～16，長軸方位　N71度E						
壁　溝　幅　10前後，深さ　6前後						
主柱穴	1（掘形）	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	38	35×25	35×41	32	1－2：185（掘形）	2－3：201（掘形）
下パ径	23×19	13×17	17×20	12×19	3－4：185（掘形）	4－1：189（掘形）
深　さ	50	49	52	102		
カマド　不明						
貯蔵穴　不明						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　，検出位置：M～Nライン・772m付近

重複関係：139住→126住，139住→150住

覆　　土：黒褐色系の土　，壁　　：浅い

床　　面：平坦，薄い貼床，一部検出　，主　柱　穴：ピット1・4は掘形検出

壁　　溝：西隅～南西辺～南東辺で検出　，カ　マ　ド：東側か？，重複住居により破壊？

貯　蔵　穴：149号住居掘形の略長方形の土坑か？

掘　　形：凹凸あり，北東辺の一部検出，南西辺・北西辺東側の床溝検出

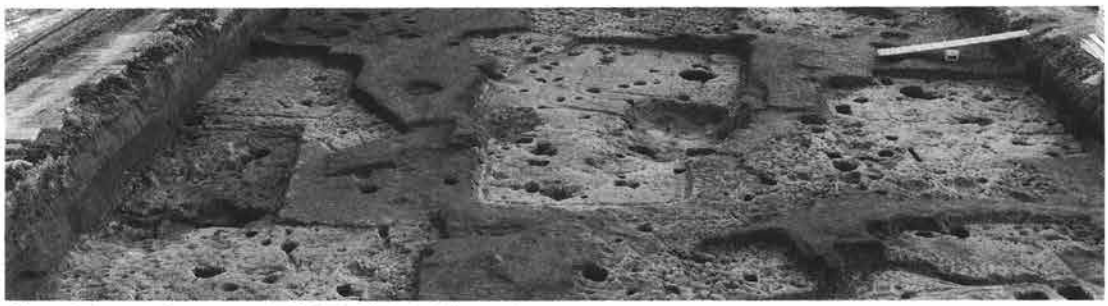
そ　の　他：東隅・北隅未検出，重複住居による破壊著しい

遺　　物：土器5片，小片のみ，ピット内出土，遺物図掲載なし

時　　期：古墳後期

三ッ寺II　4区140号住居跡（第284図，図版199）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

4区121号住居と同一の可能性高い（475頁参照），出土遺物なし



第454図　4区138・139号住居跡掘形（北から）

三ッ寺II　4区１４１号住居跡（第455・714図，図版291）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模　南北379×東西386，面積　(14.6) m²，壁高　6～35，長軸方位　N100度E					
壁　溝	幅　10～15，深さ　2～9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	20×28	35×32	28	23	1－2：190	2－3：150
下パ径	9×14	8	24	12×15	3－4：171	4－1：160
深　さ	40	43	52	48		
カマド	位置　北辺中央やや東寄り，対称軸方位　N5度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　北東隅，平面形　不整形，上パ41×32，下パ23×20，深さ　52					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検出位置：N～Oライン・750m付近

重複関係：１４４・１４３住→１４２住→１４１住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：平坦，カマド前堅く締まる，貼床　　，主　柱　穴：4本検出

壁　　溝：カマド下を除き全周　　，カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにかかる

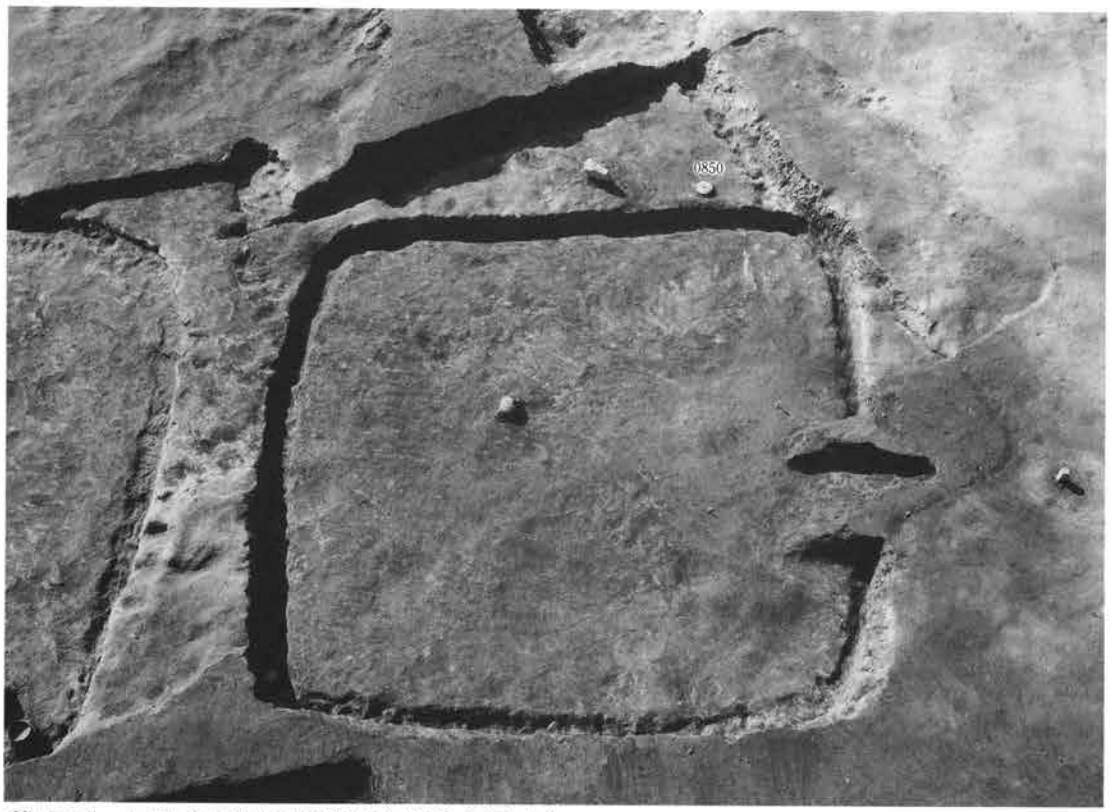
貯　蔵　穴：底面は楕円形を呈する

掘　　形：内接する壁溝・床溝を検出，カマド下で径20～30cmのピット3個検出，南辺中央壁直下で小ピット3個検出（出入口痕跡か？），西辺・南辺の内側床溝は壁に近い，東辺側の内側床溝は壁から50cmほど離れる，その他ピットは重複住居のものか？，

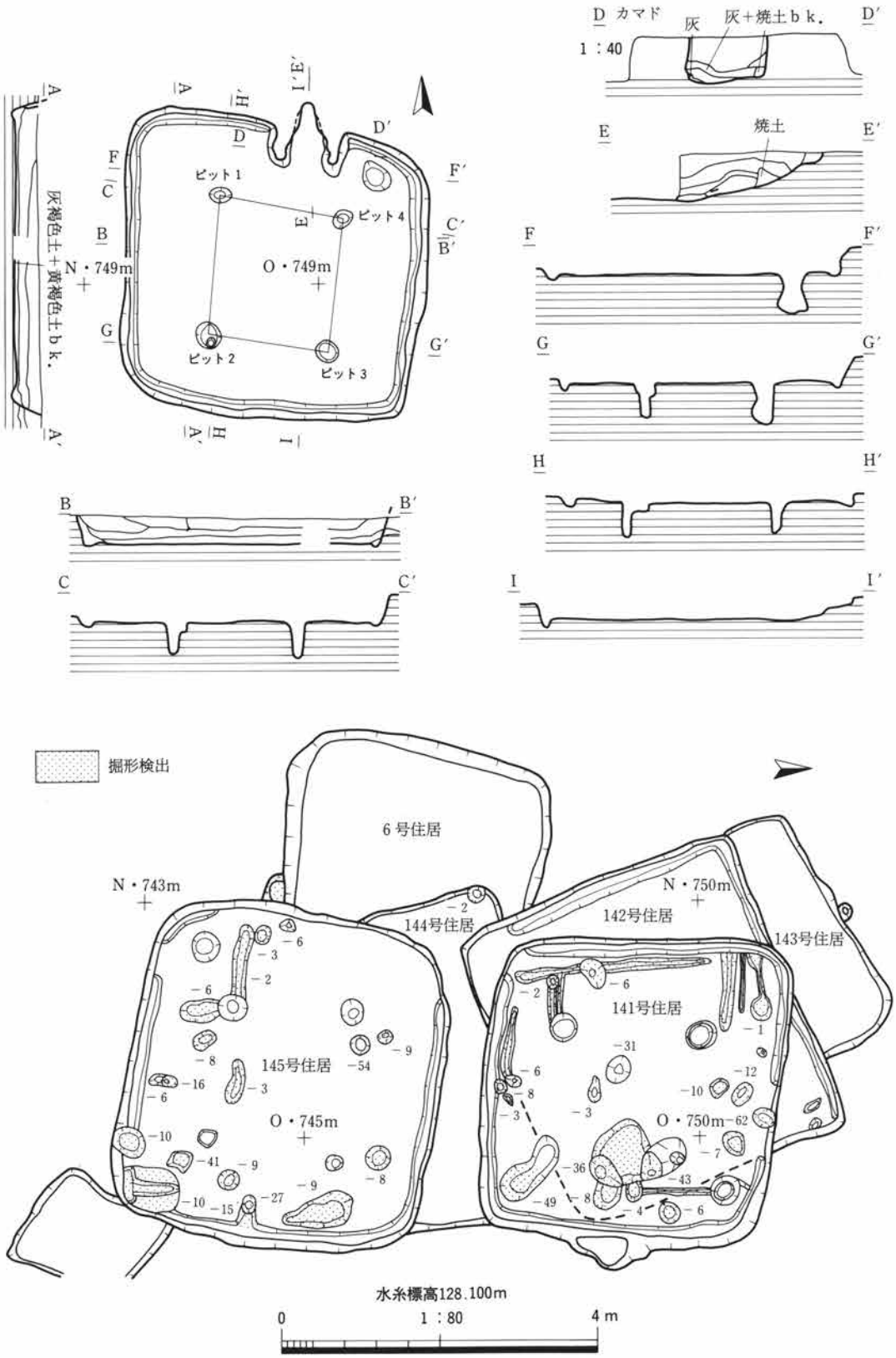
そ　の　他：全体にやや歪みをもつ，建て替えか？，東辺中央部で検出した掘り込みは建て替え前のカマド痕跡か？，南東隅の掘り込みは１４４号住居のものか？

遺　　物：土器105片，南東隅から須恵器壺体部片出土，覆土から土師器甕出土，0849

時　　期：古墳後期



第455図　４区141号住居跡遺物出土状態（東から）



第456図　4区141号住居跡

三ッ寺II　4区１４２号住居跡（第284・714図，図版292）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　412×370，面積　(15.2) m²，壁高　17～29，長軸方位　N68度E
壁　溝　幅　10～15，深さ　2～8
主柱穴　不明
カマド　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：N～Oライン・750m付近
重複関係：１４３・１４４住→１４２住→１４１住
覆　　土：黒褐色系の土　　壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面：細かい凹凸あり，貼床　　主　柱　穴：－
壁　　溝：検出内全周　　カ　マ　ド：北東辺または南東辺か？
貯　蔵　穴：－　　掘　　形：凹凸あり，北東辺わずかに立ち上がる
そ　の　他：東隅未検出，西隅・南隅は端正，各辺は直線的，大半は１４１号住居により破壊，内部施設不明
遺　　物：土器11片，覆土から内斜口縁杯・模倣杯出土，西辺寄り床面で25cm大の細長い石（1面平滑）出土，0850・0851（覆土）
時　　期：古墳後期，6世紀前半

三ッ寺II　4区１４３号住居跡（第284図，図版292）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　東西307，面積　－，壁高　5～8，長軸方位　－
壁　溝　不明
主柱穴　不明
カマド　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：N～Oライン・751m付近
重複関係：１４３住→１４２住→１４１住　　覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：浅い　　床　　面：平坦
主　柱　穴：－　　壁　　溝：－
カ　マ　ド：－　　貯　蔵　穴：－
掘　　形：凹凸著しい，小ピット多数検出
そ　の　他：床面が浅いため重複住居により破壊され詳細不明，弥生住居の可能性もあり
遺　　物：土器13片，小片のみ，遺物図掲載なし
時　　期：重複関係・出土土器から古墳

三ッ寺II　4区１４４号住居跡（第284図，図版294）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　東西412（掘形），面積　－，壁高　6～12，長軸方位　－
壁　溝　幅　15前後，深さ　3～4
主柱穴　不明
カマド　不明
貯蔵穴　不明

その他（状況の記録）
確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：N～Oライン・747m付近
重複関係：１４４住→１４２住，１４４住→１４５住
覆　　土：黒色土　　壁　　：浅い，斜めに立ち上がる
床　　面：細かい凹凸あり，検出面狭い範囲　　主　柱　穴：－
壁　　溝：西辺で検出したのみ　　カ　マ　ド：－
貯　蔵　穴：１４１号住居南東隅のピットか？　　掘　　形：凹凸著しい
そ　の　他：北西隅検出，東辺の一部検出（不明確），北辺35・西辺180，大半を重複住居により破壊され詳細不明，弥生住居か？
遺　　物：土器1片（土師器甕体部片）のみ，遺物図掲載なし
時　　期：重複関係から古墳

三ッ寺II　4区145号住居跡（第457・715図，図版294・503）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	隅丸長方形，規模　南北394×東西420，面積　16.5m²，壁高　5～38，長軸方位　N78度W					
壁　溝	幅　8～17，深さ　2～8					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	29×25	26×28	28×30	35	1－2：171	2－3：159
下パ径	21	12	23×25	26×20	3－4：186	4－1：153
深　さ	50	53	54	62		
カマド	位置　西辺中央，対称軸方位　N86度W，構築材　粘土・石，支脚　石・土器（甕底部）					
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　不整円形，上パ37×42，下パ21×28，深さ　57					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：N～Oライン・745m付近

重複関係：144住→145住→26住→6住，145住→7住

覆　　土：黒褐色系の土　　，壁　　：直に近い

床　　面：平坦，貼床　　，主　柱　穴：4本検出，ピット4東側も柱穴か？

壁　　溝：壁直下の壁溝に内接する壁溝（東辺）検出

カ　マ　ド：両袖先端部に石を据え粘土で固める，左袖先端部には直方体に加工した石を据える，右袖先端部には細長い石を据える，燃焼部は住居壁ラインにかかる，燃焼部中央右寄りに細長い石を起てて支脚とする，支脚石の上に土師器甕底部を乗せて高さ調整を行う，左袖脇から大型甕出土

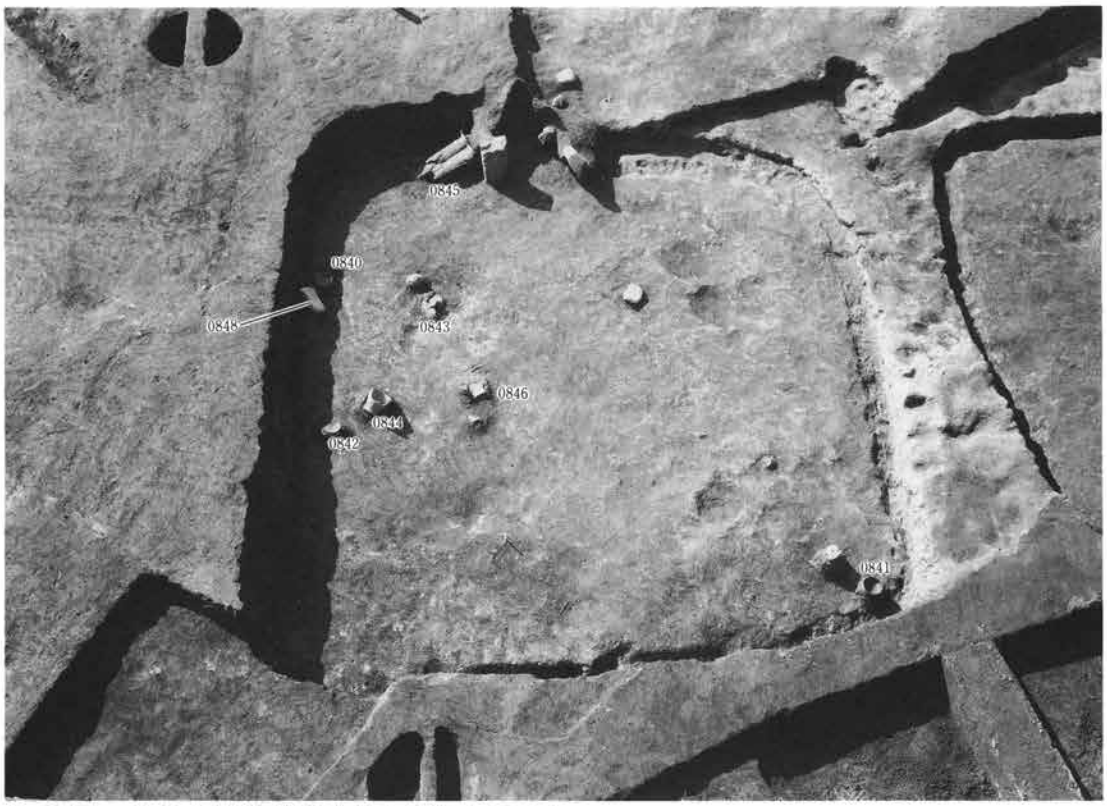
貯　蔵　穴：底面は楕円形

掘　　形：凹凸あり，南東隅に不整形掘り込み検出，南西部に床溝検出，東辺中央部に床溝検出（短い），ピット2の南東部に検出したピットは深い，浅い小ピット11個検出，地割れ検出

そ　の　他：東辺の壁溝が二重になっている，拡張建て替えか？，南東隅は住居・土坑が重複する，隅丸長方形のプランは本遺跡では例が少ない

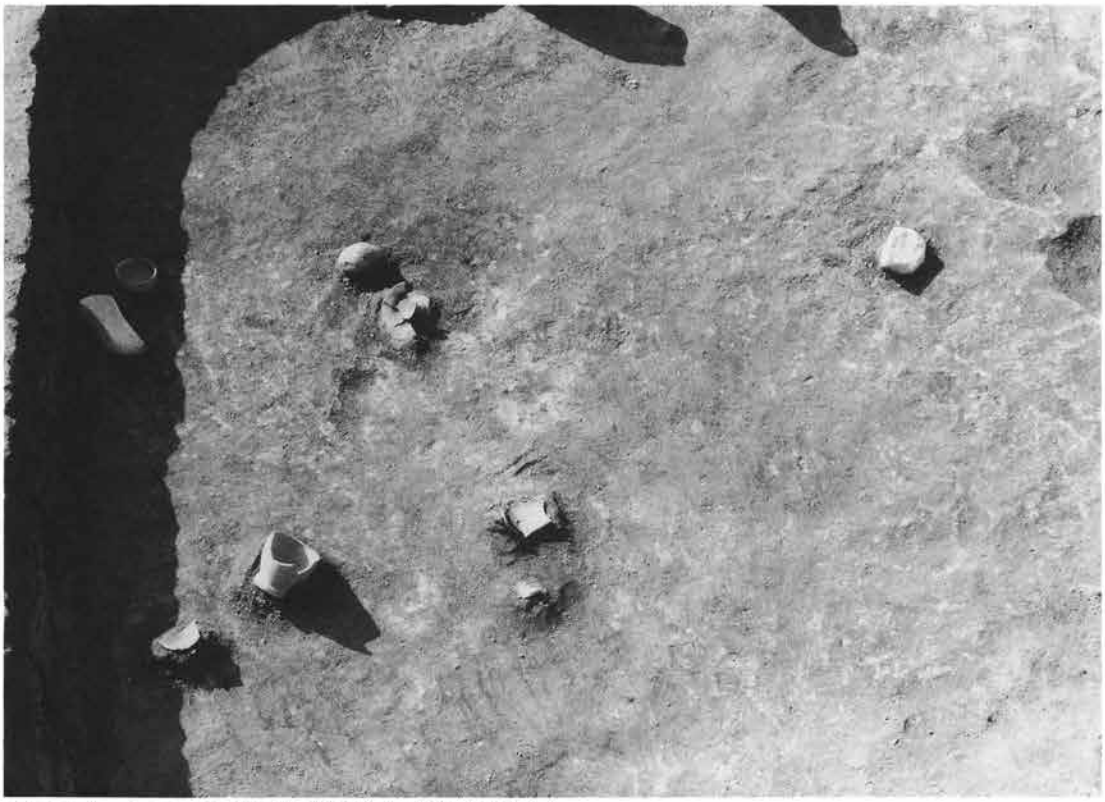
遺　　物：土器239片・石1個，遺物の出土多い，覆土から模倣杯・短脚高杯・須恵器蓋・高杯？出土，0840・0841・0842・0843・0844（須恵器すり鉢，床面）・0845・0846・0847・0848（砥石）

時　　期：古墳後期，6世紀後半

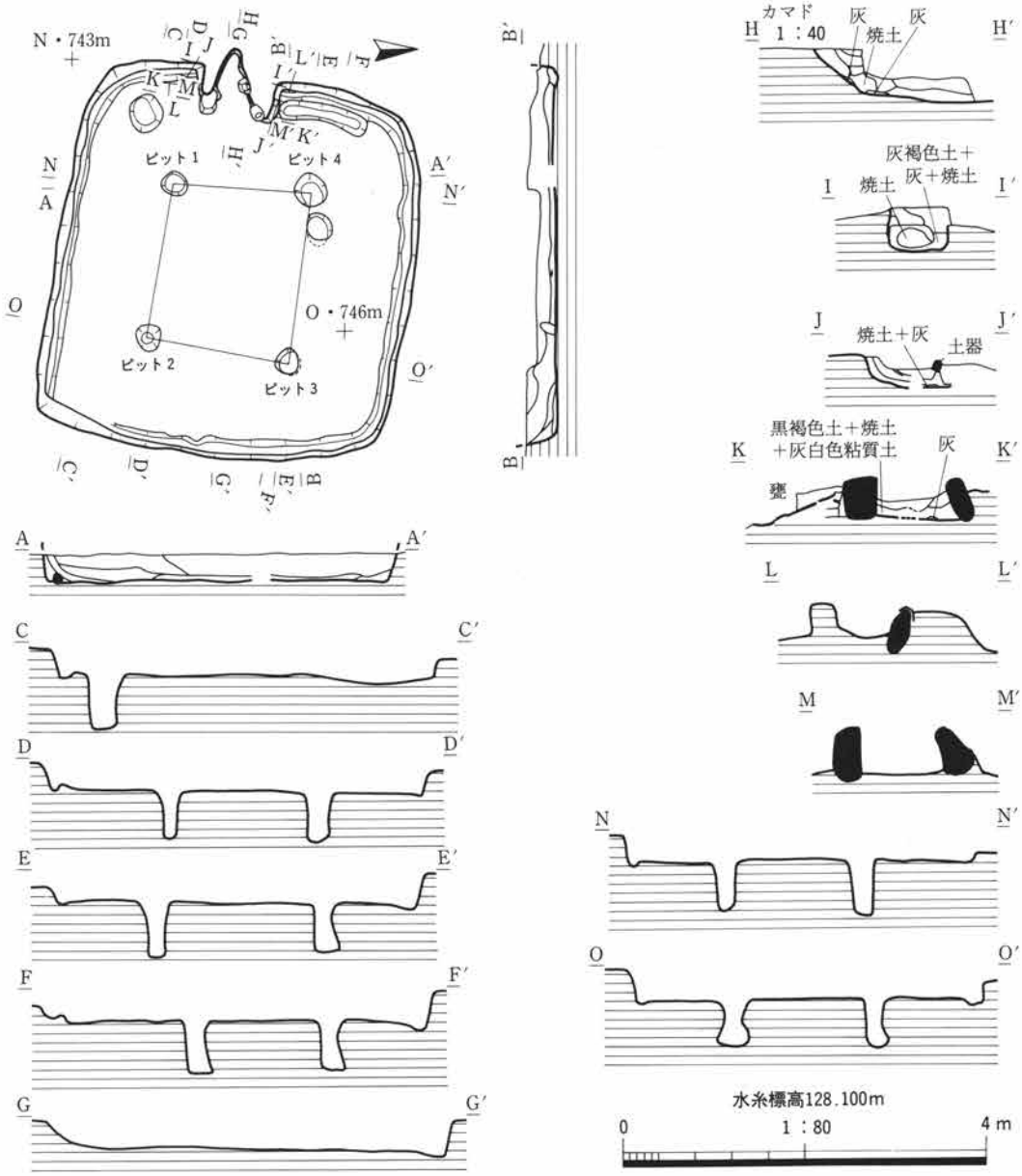


第457図　4区145号住居跡遺物出土状態（東から）

第458図　4 区145号住居跡カマド遺物（東から）



第459図　4 区145号住居跡遺物出土状態（東から）



第460図　4区145号住居跡

第461図　4区145号住居跡（西から）

三ッ寺II　4区146号住居跡（第462・715図，図版295・504）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　571×609，面積　(34.8) m²，壁高　27～69，長軸方位　N116度E						
壁　溝　幅　12～20，深さ　2～4						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	29×27	41	49×	32×27	1－2：310	2－3：279
下パ径	14	14×11	15	18×16	3－4：304	4－1：270
深　さ	39	50	39	59		
カマド　位置　南東辺南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土・石，支脚　石？						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　長方形，上パ78×62，下パ32×35，深さ　84						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：O～Qライン・756m付近，本線＋東側道

重複関係：146住→FA畠　　覆　土：黒褐色系の土

壁　：直に近い　　床　面：細かい凹凸あり，薄い貼床

主　柱　穴：4本検出，　　壁　溝：北西辺北半を除き検出内全周

カ　マ　ド：両袖先端部に細長い石を据え粘土で固める，焚口天井部の石が割れて落ち込んだ状態で検出，燃焼部に土師器甕2個体が略正立状態で出土，カマド燃焼部の奥壁付近は調査区壁にかかる，左袖部の全体は未検出，燃焼部は住居壁の内側にある

貯　蔵　穴：壁は直線的に掘り込む　　掘　形：凹凸著しい，小穴多数検出

そ　の　他：北東辺・北西辺・南西辺で床溝検出，北西辺のピット2につながる床溝は2本，北東辺中央・南西辺中央付近で浅い小ピット検出，南側小ピットは出入口痕跡か？

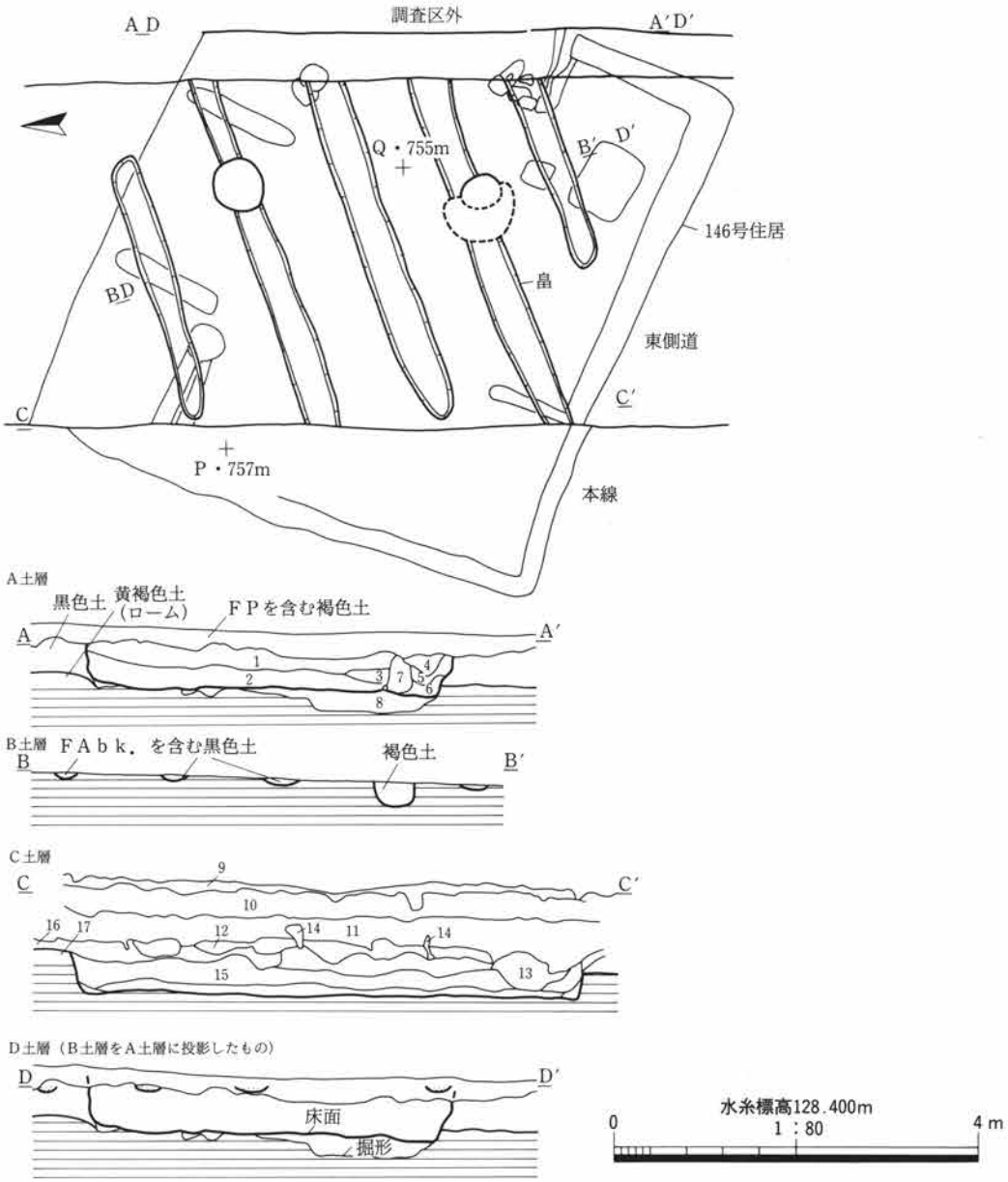
遺　物：土器370・石1個・ベンガラサンプル1袋，覆土から須恵器甕口縁部・土師器高杯脚部・高杯脚接合部出土，0982・0983・0984・0985・0986・0987・0988・0989（フク土）

時　期：古墳中期，5世紀末

第462図　4区146号住居跡遺物出土状態（西から）

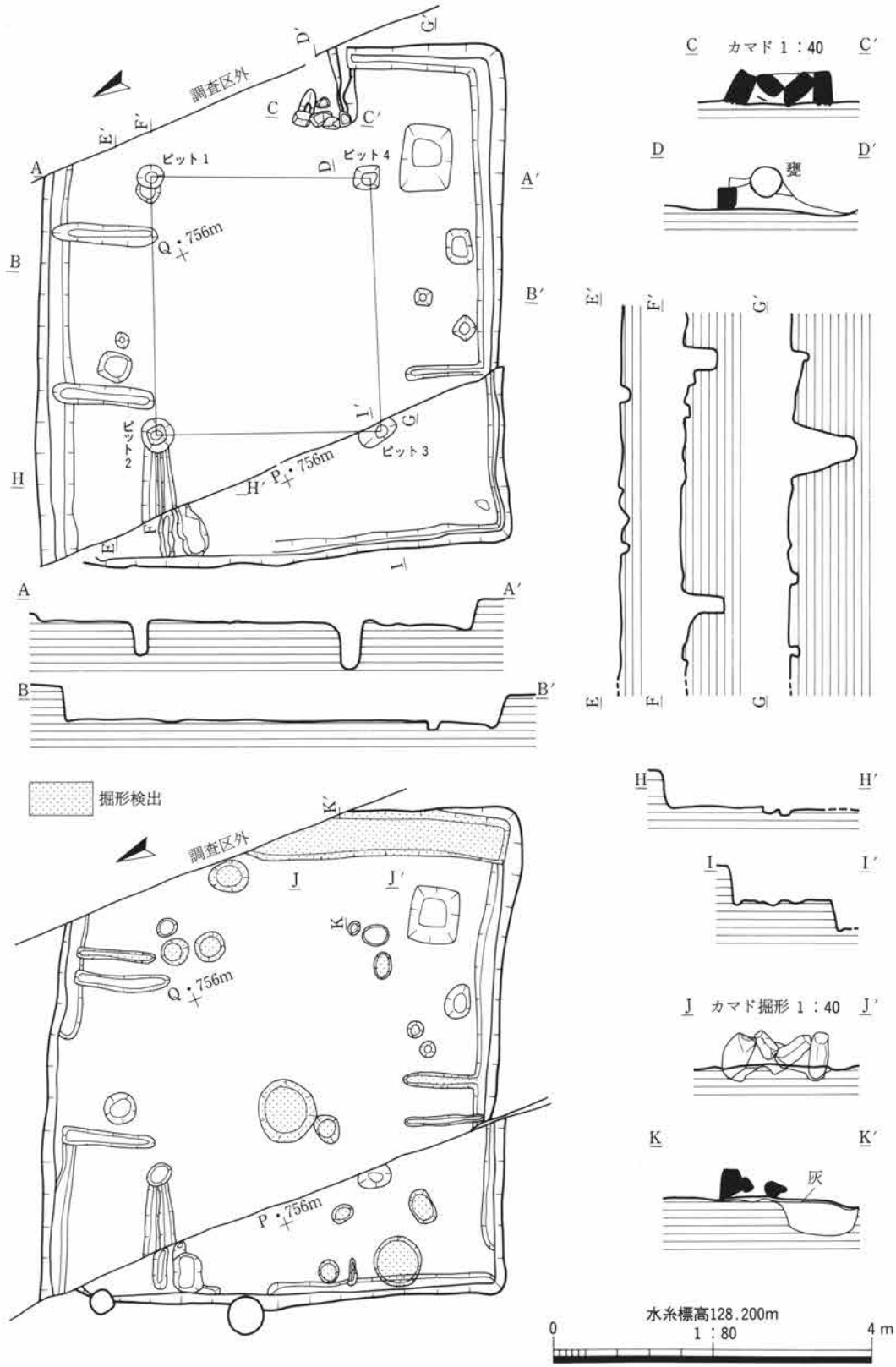
第463図　4区146号住居跡遺物出土状態（北から）

第464図　4区146号住居跡カマド遺物（西から）



1　黒褐色土　FP・CPを多量に含み、ローム小bk．をやや多く含む。
2　黒褐色土　FP・CPを多量に含み、ローム小bk．を多く含み、焼土を少量含む
3　灰褐色土　カマドの袖材が流れ出している
4　灰褐色土　焼土と黒色土の大小bk．がまじりあっている
5　赤褐色土　焼土の大小bk．がまじりあっている
6　暗黒色灰　灰層中に焼土小bk．が少量混入
7　灰褐色土　カマドの北袖、内側が焼けている
8　褐色土　ロームbk．を多量に含み、よくしまっている〔掘形〕
9　灰褐色土＋軽石
10　灰黄褐色土
11　灰黒褐色土＋軽石＋灰黄褐色土bk．＋だいだい色粒子
12　灰褐色土＋灰白色粘質土＋軽石＋炭化物
13　黒褐色土＋軽石＋黄褐色土（ローム）粒子
14　黒色土
15　黒褐色系の土、軽石と黄褐色土（ローム）bk．・粒子を含む、壁際では黒色土＋ローム粒子が流入する〔住居の埋め土〕
16　黒褐色土＋黄褐色土（ローム）粒子〔地山〕
17　黄褐色土〔地山〕

第465図　4区146号住居跡（1）



第466図　4区146号住居跡（2）

三ッ寺II　4区１４７号住居跡（第467・716図，図版297）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，規模　－，面積　－，壁高　－，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　北辺，対称軸方位　N5度E，構築材　粘土・石・土器，支脚　石	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒褐色土，５層下位～６層	,検出位置：Ｉ～Ｊライン・742m付近
重複関係：１５２住→１４７住	,覆　　土：－
壁　　：－	,床　　面：－
主　柱　穴：－	,壁　　溝：－
カ　マ　ド：両袖先端部に石を据える，燃焼部中央に細長い石を据えて支脚とする，左袖石に接して土器	
(0925) 出土，遺物はすべてカマド内および付近から出土，石は15cm大のもの	
貯　蔵　穴：－	,掘　　形：－
そ　の　他：カマドのみ検出，住居プラン未検出，遺構確認のため掘り下げたため詳細不明	
遺　　物：土器11片，カマド内から甑底部片（外方へ開く）・須恵器甕体部片出土，	
0925・0926・0927・0928	
時　　期：平安，１１世紀前半	

三ッ寺II　4区１４８Ａ号住居跡（第284図，図版298）　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　15～24，長軸方位　－						
壁　溝　不明						
主柱穴	1（掘形）	2（掘形）	3（掘形）	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	30×33	27×24	25	24	1－2：245	2－3：230
下パ径	20×17	7×12	11×14	9×12	3－4：253	4－1：262
深　さ	18	41	25	39	（いずれも掘形カマド前平坦面からの深さ）	
カマド　位置　東辺北寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　（南辺東寄り），平面形　（円形），上パ（46×52），下パ（27×30），深さ　54						
その他（状況の記録）						
確　認　面：黒色土，６層					,検出位置：Ｏ～Ｐライン・773m付近	
重複関係：１４８Ａ・１４９住→１５０住，１４８Ａ住→１３２住，１４８Ａ住→１４８Ｂ住						
覆　　土：－					,　壁　　：浅い	
床　　面：カマド前のみ検出					,主　柱　穴：掘形調査で4本推定	
壁　　溝：－					,カ　マ　ド：両袖先端部のみ検出，燃焼部未検出	
貯　蔵　穴：１４９号住居掘形内北辺中央のピット					,掘　　形：－	
そ　の　他：北東隅検出，南辺は１４９号住居掘形内の東西にのびる壁を推定						
遺　　物：土器14片，１４８Ａ号と１４８Ｂ号とが混入，ほぼ同じ時期か？，						
覆土から土師器小型甕・甕・模倣杯・炭化物が多量に付着した甕底部出土，遺物図掲載なし						
時　　期：古墳						

第467図　4区147号住居跡カマド遺物（南から）

三ッ寺II　4区１４８B号住居跡（第284図，図版298）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	不明，規模　－，面積　－，壁高　10前後，長軸方位　－					
壁　溝	不明					
主柱穴	1	2（掘形）	3（掘形）	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	－	35	22×26	25	2－3：179	3－4：176
下パ径	－	22	12×16	12		
深　さ	－	34	25	29	（掘形カマド前平坦面からの深さ）	
カマド	位置　南東辺南寄り，対称軸方位　N127度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　（楕円形），上パ55以上×40以上，下パ－×33，深さ　13					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層	,検 出 位 置：P～Qライン・775m付近，東側道
重 複 関 係：１４８B住→１２０住，１４８A住→１４８B住	
覆　　土：黒褐色系の土	,　壁　　：浅い
床　　面：カマド前のみ検出	,主　柱　穴：掘形調査で3本検出
壁　　溝：－	,カ　マ　ド：燃焼部奥壁は住居壁のラインにのる
貯　蔵　穴：調査区壁にかかるため全掘未了	
掘　　形：カマド左袖基部でピット検出，貯蔵穴・主柱穴検出，ピット２・３は本線調査区で検出	
そ　の　他：本線調査の１４８A号住居とは別の住居，南隅のみ検出，南東辺150・南西辺70	
遺　　物：カマド燃焼部から小石出土，土器は１４８A号住居と混入，分離不可，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	

三ッ寺II　4区１４９号住居跡（第468・717図，図版299）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模　南北585×東西580，面積　(33.9) m²，壁高　5～13，長軸方位　N175度E
壁　溝	幅　11～18，深さ　3～21
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	位置　南東隅（柱穴の可能性もあり）

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層	,検 出 位 置：O～Qライン・769m付近，本線＋東側道
重 複 関 係：１４９住→１３２・１５０住	,覆　　土：－
壁　　：－	,床　　面：本線敷き調査で3枚確認
主　柱　穴：掘形検出，個別図参照	,壁　　溝：南東部を除き掘形調査で検出
カ　マ　ド：－	,貯　蔵　穴：1または2個（南東部に並ぶ）
掘　　形：中央部は不整形の掘り込みにより凹凸著しい，東辺～北辺の壁直下に幅20～30の帯状の平坦面がある，柱穴相当を検出したが組み合わせは不確定	
そ　の　他：東側道調査結果と合わせて内側１４９号・外側１５０号の2軒とする，3～4回の建て替えか？，本線１５０号＝東側道１４９号，東側道１５０号＝本線１３５号を含むと認定	
遺　　物：土器148片，床下土坑から土師器高杯脚部出土，本線１５０号・東側道１５０号と混入，1096・1097・1098・1099	
時　　期：古墳中期，５世紀末	

第468図　4区149号住居跡掘形（西から）

三ッ寺II　4区１５０号住居跡（第469・717図，図版264・505）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北807×東西748，面積　(60.4) m²，壁高　4～33，長軸方位　N176度E
壁　溝	不明
主柱穴	確定できず
カマド	不明
貯蔵穴	位置　北東隅（最新），平面形　長方形，上パ42×66，下パ28×55，深さ　50

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	O～Qライン・769m付近，本線＋東側道
重複関係	１３８・１３９・１４９住→１５０住	覆土	－
壁	直に近い	床面	平坦，貼床，本線敷き調査で3枚確認
主柱穴	１４９号住居内掘形で検出したピットの計測値は図の通り，南東部の柱穴としたものは貯蔵穴の可能性あり		
壁溝	－	カマド	－
貯蔵穴	底面は楕円形，南東部の１４９号住居掘形内で2個？検出（計3個）		
掘形	１４９号住居検出，東辺床溝検出，中央部凹凸著しい		
その他	当初１４９号住居と認定したが東側道調査結果と合わせて2軒とする，3～4回の建て替えか？，本線１５０号＝東側道１４９号，東側道１５０号＝本線１３５号を含むと認定，１４９・１５０号とも建て替えか（計4軒相当）？，南東部に貯蔵穴2個とすれば計3軒相当か？		
遺物	土器267片，覆土から須恵器蓋・土師器短脚高杯脚部・内斜口縁杯出土，１４９号住居遺物と混入，1064・1065・1066・1067		
時期	古墳後期，6世紀		

第469図　4区150号住居跡遺物出土状態

三ッ寺II　4区151号住居跡（第404図，図版263）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北453×東西435，面積　(19.7) m²，壁高　42～58，長軸方位　N7度W	
壁　溝　幅　12～15，深さ　7～10	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：C軽石を含む黒色土，6層	検出位置：Pライン・745m付近，本線敷＋東側道
重複関係：151住→7・82住	覆　　土：黄褐色土bk，を含む黒褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：北西隅～西辺未検出
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：壁に沿って帯状に低く中央部が島状に高い，南東隅付近検出（やや内側に相当）	
そ　の　他：82号住居と土坑により南東部を破壊，床溝1：長さ113・幅20・深さ9～12，ピット1：27×21・深さ22，南辺の壁ラインは一致しない	
遺　　物：土器84片，覆土から甕口縁部・外稜杯・内斜口縁杯・模倣杯・須恵器蓋口縁部出土，北西隅付近の床面で石6個出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳～奈良	

三ッ寺II　4区152号住居跡（第471・717図，図版184・505）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　22～34，長軸方位　－	
壁　溝　幅　12～16，深さ　4～10	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：I～Jライン・743m付近
重複関係：152住→147住	覆　　土：軽石＋暗褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：－	
そ　の　他：南東隅を検出したのみ，東辺350・南辺115，大半は西側の調査区外にある，詳細不明	
遺　　物：土器14片，東辺壁際から甕体部片出土，図示できるのは1点のみ，0856（砥石）	
時　　期：不明，古墳～平安？	

第470図　4区151号住居跡（西から）

第471図　4区152号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区153号住居跡（第472・718図，図版302・506）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　319×317，面積　(10.1) m²，壁高　30～43，長軸方位　N109度W						
壁　溝　－						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	12×16	33×23	26×16	12	1－2：169	2－3：175
下パ径	7	12×8	18×12	7	3－4：188	4－1：140
深　さ	20	33	15	20		
炉　位置　中央南西辺寄り，平面形　楕円形，上パ55×46，下パ20×17，深さ　12						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：J～Kライン・743m付近

重複関係：153住→31住　　，覆　　土：黒色土＋黄褐色土粒子＋だいだい色粒子

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：黄褐色土面に達する，中央部堅く締まる

主　柱　穴：東側の掘り込みはやや大きい　　，壁　　溝：－

炉　　：浅いすり鉢状を呈する

そ　の　他：北西辺西寄りの壁直下に径25cmほどの浅い掘り込み検出

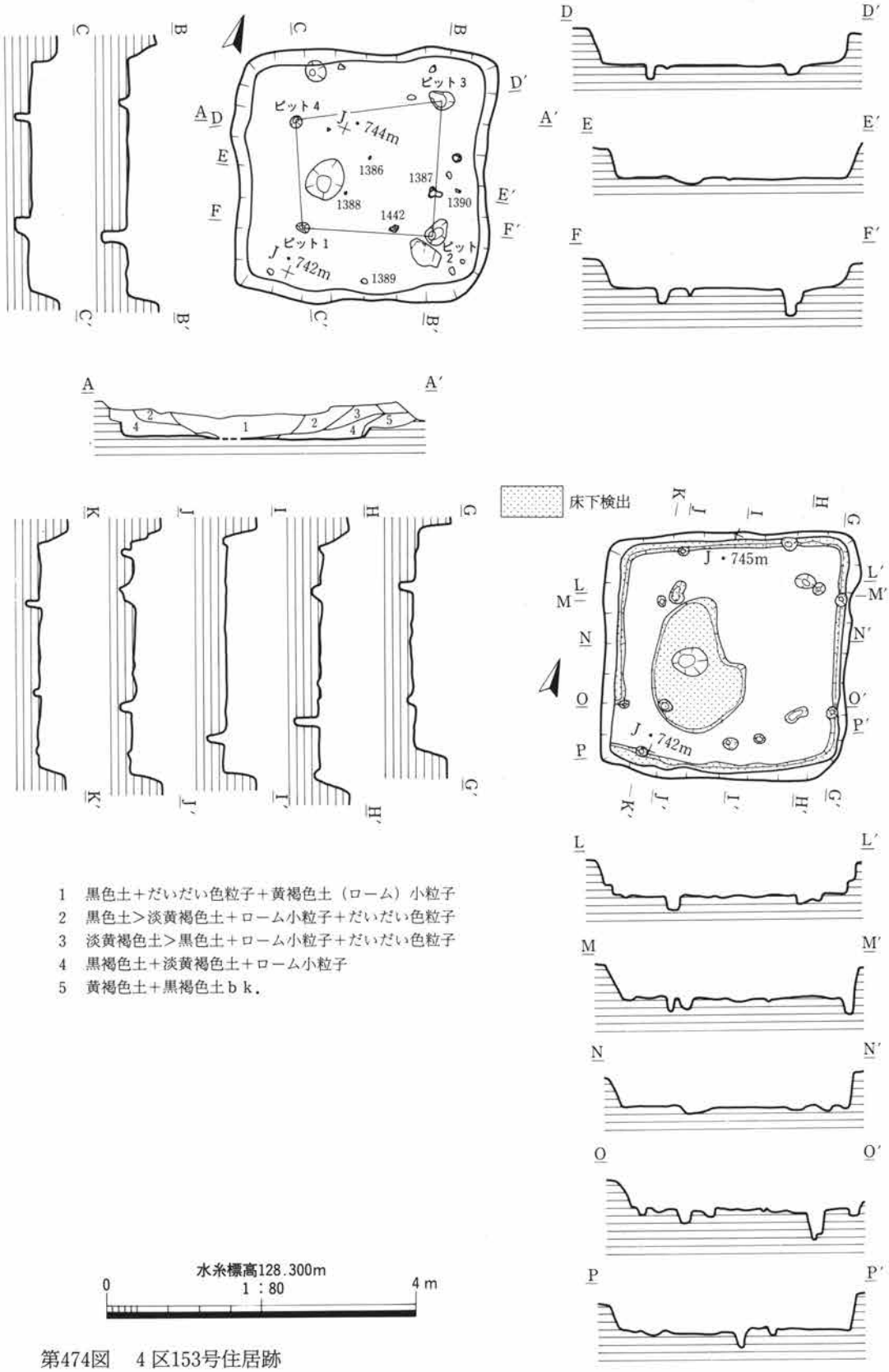
遺　　物：土器32片・石3個，覆土から灰釉陶器出土，10cm大の石3個出土，遺物はやや浮いている，

1386・1387・1388・1389・1390・1391・1442

時　　期：諸磯a・黒浜式，縄文前期

第472図　4区153号住居跡掘形（東から）

第473図　4区153号住居跡遺物出土状態（北西から）



第474図　4区153号住居跡

三ッ寺II　4区１５４号住居跡（第475・719図，図版302）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模　南北487×東西490，面積　23.9m²，壁高　21～32，長軸方位　N89度E					
壁　溝	外側：幅　5～11，深さ　1～4，内側：幅　8～15，深さ　1～7					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	35	38×27	27	31	1－2：190	2－3：191
下バ径	13（8）	20×12	11	13	3－4：192	4－1：165
深　さ	38（29）	42	48	22	ピット１（ ）内は南側	
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　N90度E，構築材　粘土・土器，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　不整形，上バ90×92，下バ37×36，深さ　71					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：L～Mライン・736m付近

重 複 関 係：１５４住→１５５住→８住，１５４住→２５住→Ｂ３溝

覆　　土：浅間Ｃ軽石・黄褐色土ｂｋ，を含む黒褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：細かい凹凸あり，薄い貼床

主　柱　穴：ピット１は底面2カ所，ピット４は掘形検出

壁　　溝：壁の内側30～40cm付近に内接する壁溝検出，外側の壁溝につながる床溝に切られている，

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，左袖先端部に土師器甑（口縁部下）を据える，

貯　蔵　穴：内部に段をもつ

掘　　形：床面検出の内側壁溝につながる壁溝を検出，南東部を除き住居壁に平行する，同心円的拡張か？，

床面検出の床溝と20～30cmずれた位置で床溝検出，北東部の床溝は内側壁溝につながる，

ピット３北側で26×21・深さ46のピット検出，ピット１は明瞭に南北二つの底面を検出，

カマド付近から南辺中央部にかけて南東側へ底面が傾く（地震によるものか？）

そ　の　他：床面で3カ所・掘形で4カ所の床溝検出，掘形検出の床溝4本はいずれも内側の壁溝につながる

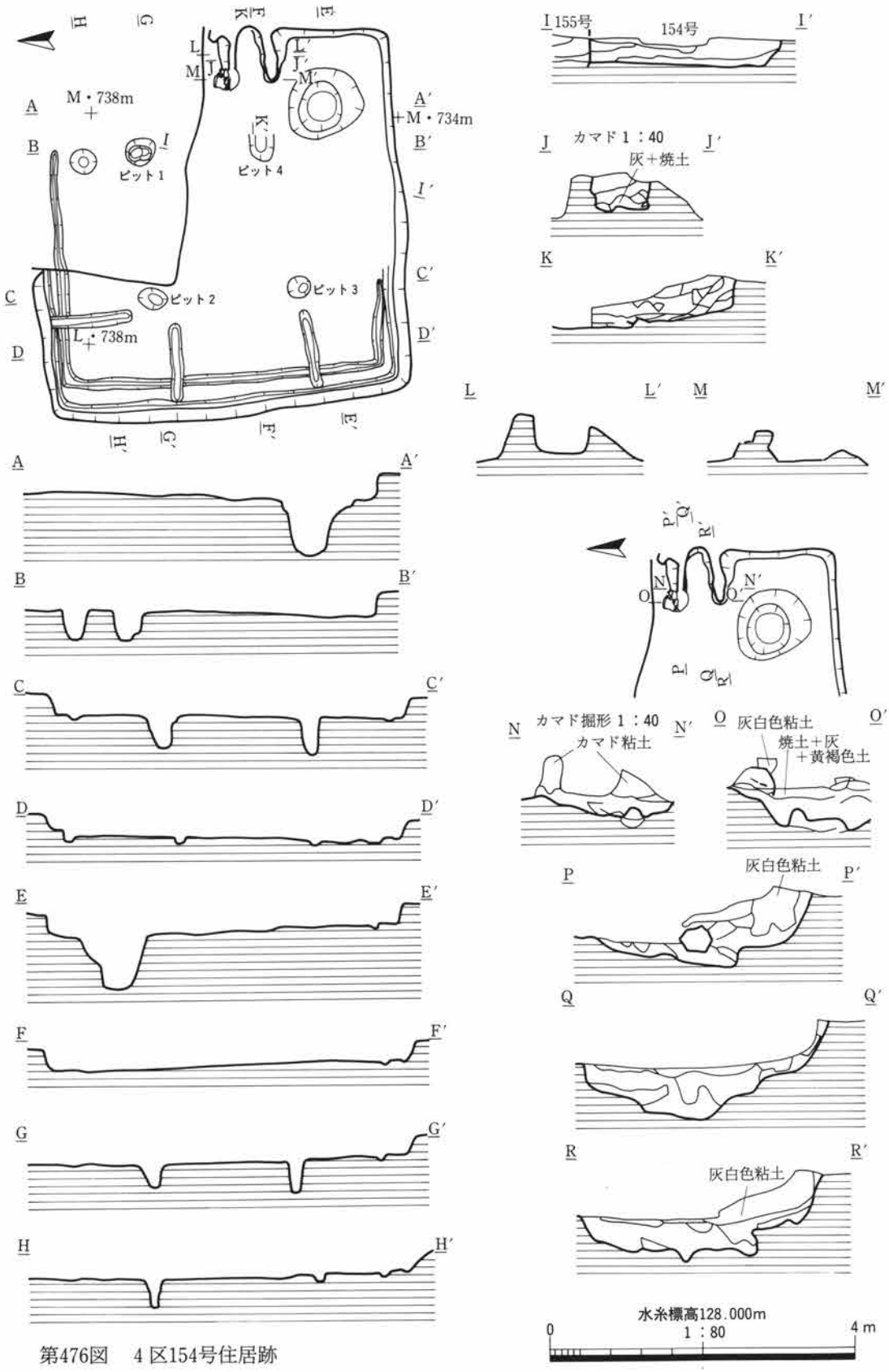
遺　　物：土器117片・カマド粘土サンプル1袋，覆土から加工された甕体部片・ケズリ甕・石5個出土，

カマドから甕口縁部・小型甕・黒色内斜口縁杯出土，

0977・0978（覆土）・0980・0981（甑，単孔）

時　　期：古墳中期，５世紀末

第475図　４区154号住居跡遺物出土状態（西から）



第476図　4区154号住居跡

三ッ寺II　4区１５５号住居跡（第477・719図，図版303・507）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北686×東西652，面積　44.7m²，壁高　21～45，長軸方位　N10度E						
壁　溝　幅　5～15，深さ　1～7						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	49	32×37	41	28×26	1－2：335	2－3：377
下バ径	25	17×19	10	19×16	3－4：329	4－1：383
深　さ	50	26	42	（36）床面から		
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N112度E，構築材　粘土・石，支脚　石						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　不整形，上バ118×95，下バ40×26，深さ　79						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，６層　　，検 出 位 置：M～Nライン・739m付近

重 複 関 係：１５４住→１５５住→８住，１３０住→１５５住

覆　　土：浅間C軽石・FAを含む黒褐色系の土　　，　壁　　：直に近い

床　　面：平坦，薄い貼床，細かい凹凸あり，南東隅は中央側に比べて10～15cm下がる

主　柱　穴：ピット４は掘形検出　　，壁　　溝：東辺南側・北西隅未検出

カ　マ　ド：両袖先端部に細長い石（30～40cm大）を据えて粘土で固める，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央左寄りに20cm大の石を据えて支脚とする，地割れにより両袖とも中央付近で切断，地割れは南東側が10～15cm低い，地割れは貯蔵穴を経て南側の１５４号住居に至る，奥壁は斜めに立ち上がり煙道に連なる，煙道部平面は略方形を呈する

貯　蔵　穴：地割れにより歪む，掘形では長方形を呈する

掘　　形：カマド奥壁～煙道が30cmほど突出する，東辺に沿って幅150～200の帯状に深さ10～20cmくぼむ，東辺中央部に床溝2本追加検出，北辺沿いに小ピット7個追加検出，西辺側床溝の内側先端部付近に小ピット検出，１５４号住居の内側壁溝を検出

そ　の　他：北辺沿いに幅90～120・長さ320ほどの浅い長方形の掘り込み検出，南辺沿いにも長さ120cmほどの細い溝検出，床構造にかかわるものか？

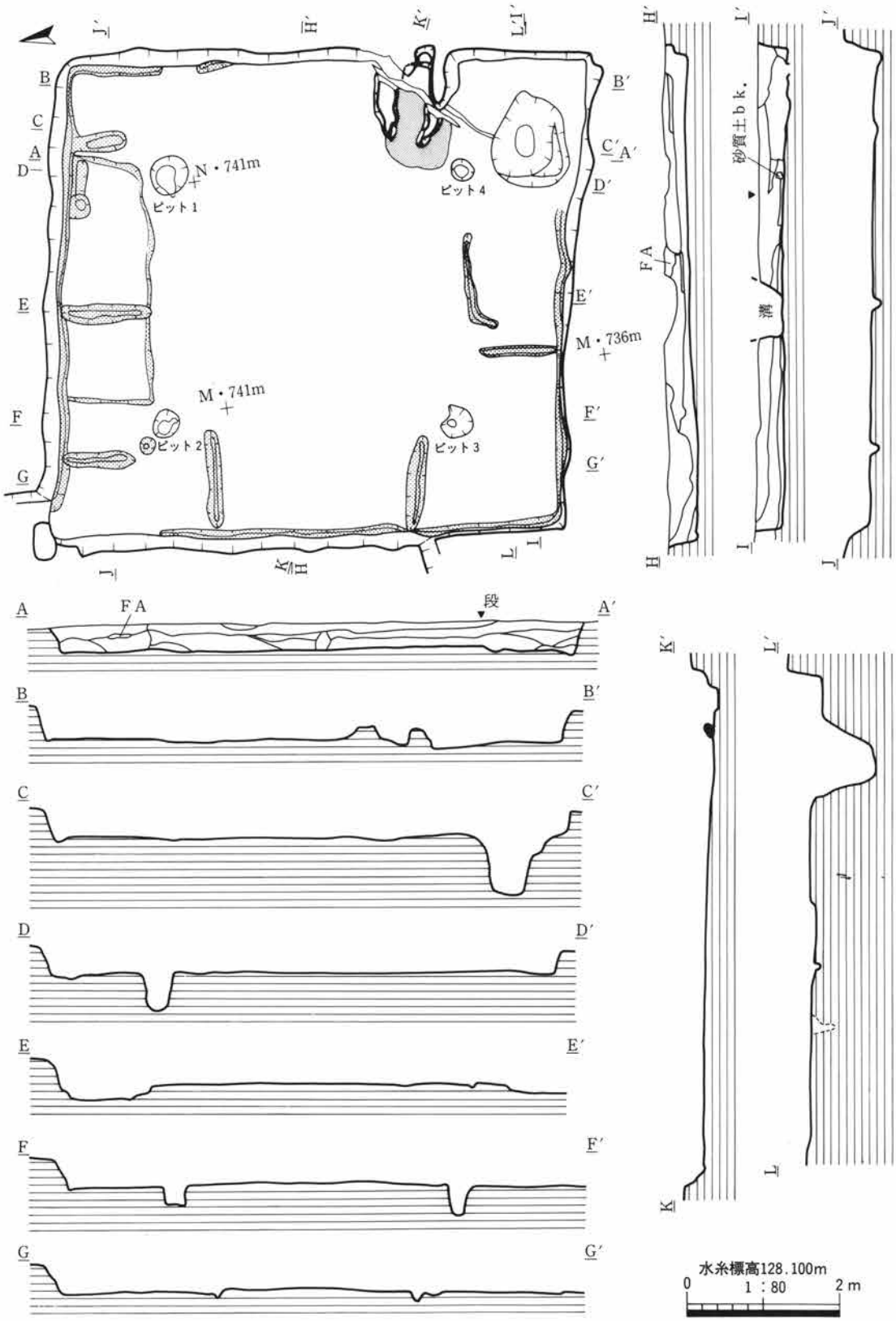
遺　　物：土器252片，カマド内から土師器短脚高杯出土，半球杯出土（遺物図掲載なし），カマド周辺から甕類の出土多い，カマド左脇・北東隅・北西部の床面から大小の石12個出土，0961・0962・0963・0964・0965・0966・0967・0968・0969・0970・0971・0972・0973・0974・0975・0976

時　　期：古墳後期，６世紀前半

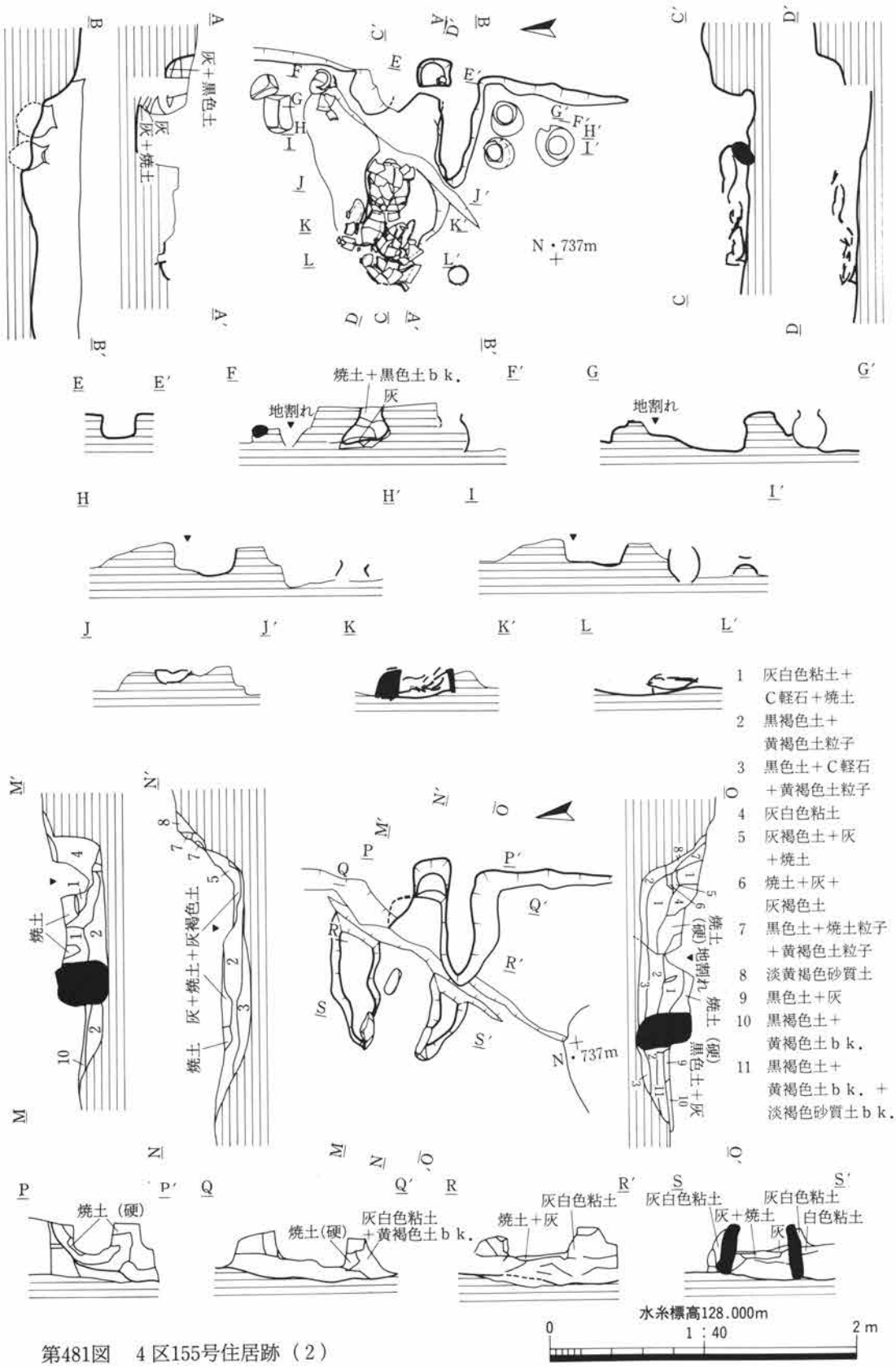
第477図　４区155号住居跡遺物出土状態（西から）

第478図　4区155号住居跡カマド遺物（西から）

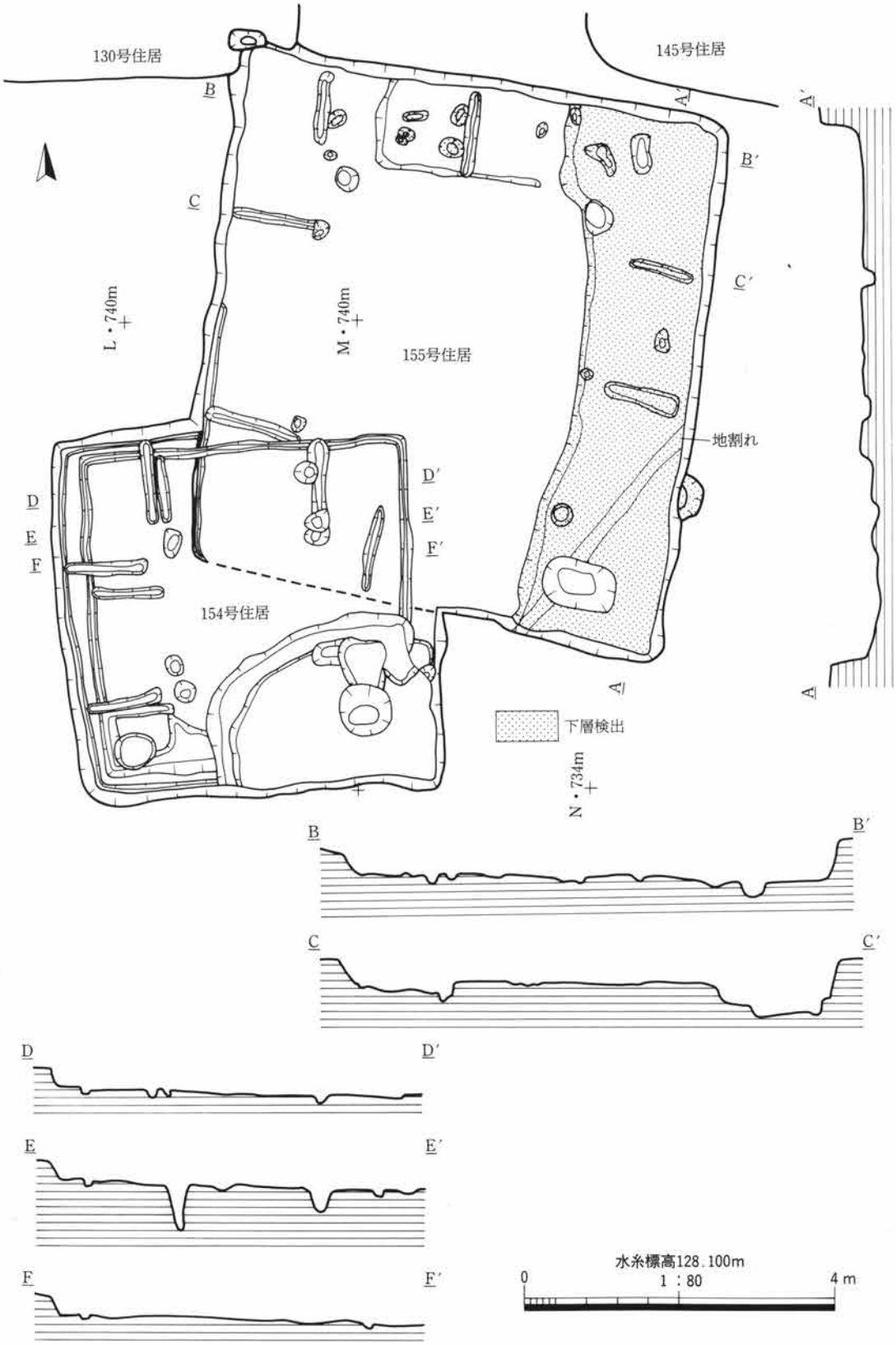
第479図　4区155号住居跡カマド遺物（西から）



第480図　4区155号住居跡（1）



第481図　4区155号住居跡（2）



第482図　4 区154・155号住居跡　掘形

三ッ寺Ⅱ　4区　畠跡1（第483図，図版191）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

4区北西部のＩライン・784～787m付近で畠跡とみられる溝群を検出した。調査当時にはＡ１０・１１・１２・１３号溝として調査し、遺物・記録等もそれらの番号で記入されている。整理の過程で、これらの溝群に「畠跡」の可能性があると考えられたため、ここに掲載する。

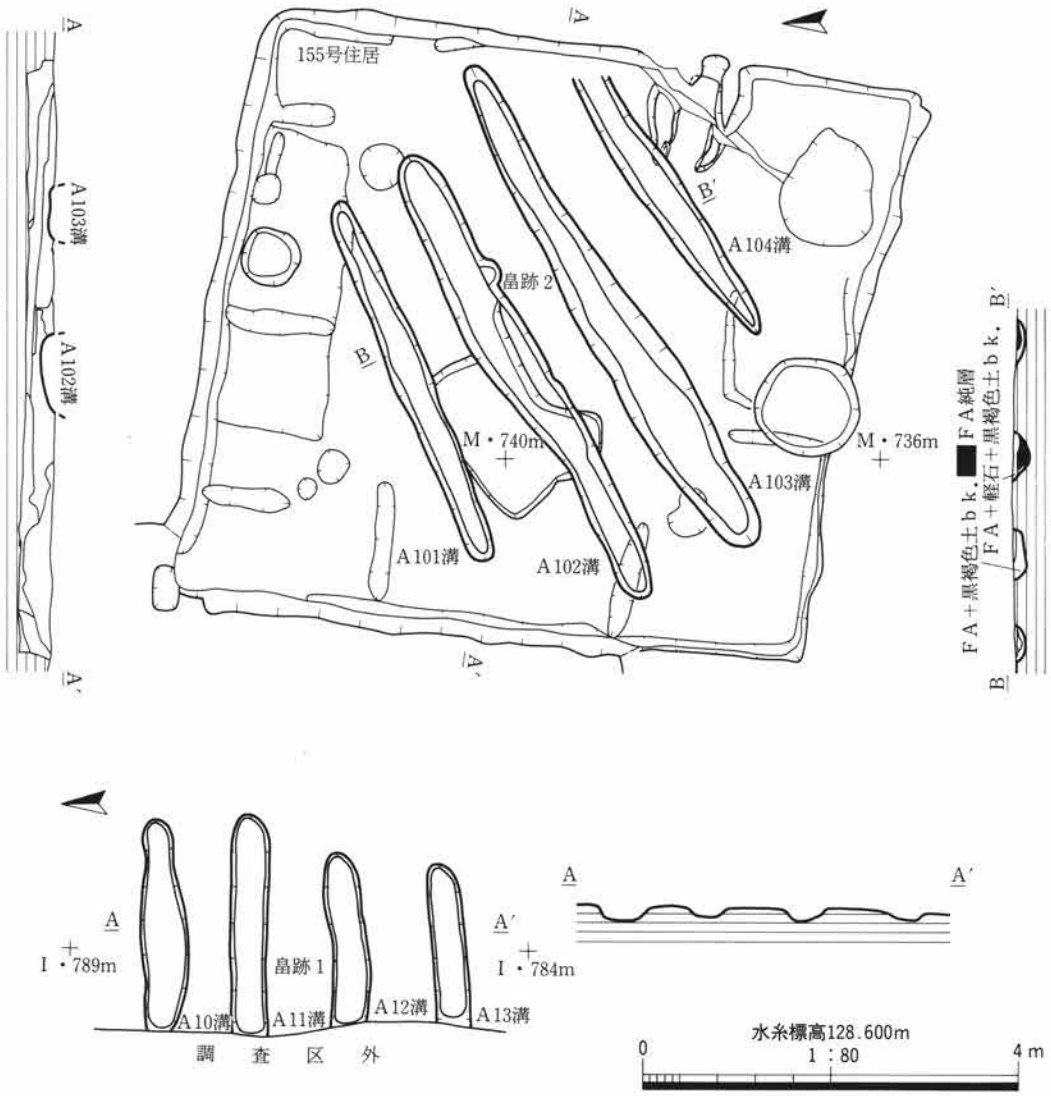
これらの溝群は平安時代住居と同一の面で検出し、覆土は黒褐色土に黄褐色土（ローム）ｂｋ．が混じる。下層の１２２・１２３号住居検出面よりも約20cm上位にあり、明らかに古墳時代住居よりも新しい。方位は略東西方向を示す。畠跡である確証はないが、ここではその可能性があるため、番号を付しておく。

三ッ寺Ⅱ　4区　畠跡2（第483図）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

4区中央部のＭ～Ｎライン・737～742m付近で畠跡とみられる溝群を検出した。確認面は古墳時代住居と同一で、１５５号住居のプラン内に納まり、住居覆土直上に4本並んだ１０１～１０４号溝として確認した。方位はＮ60度Ｅを示す。いずれも底面近くの土層はＦＡ＋黒褐色土ｂｋ．、その上位にＦＡ＋軽石＋黒褐色土ｂｋ．の土があり（１０１・１０２号）、１０３号ではそれらの中間にＦＡ純層がはいる。１０４号では上位の軽石混じりの層がなく、ＦＡ純層まで遺存していた。これらのＦＡ層が一次堆積であるかどうかは不明だが、遺構との重複関係は次のようになる。

［１５５号住居→（埋没→）畠→埋没（黒褐色土堆積→ＦＡ堆積→軽石混じりのＦＡ堆積）］

１５５号住居内で検出した地割れは住居埋没後に発生しているが、ここではＦＡとの関係は検証できない。



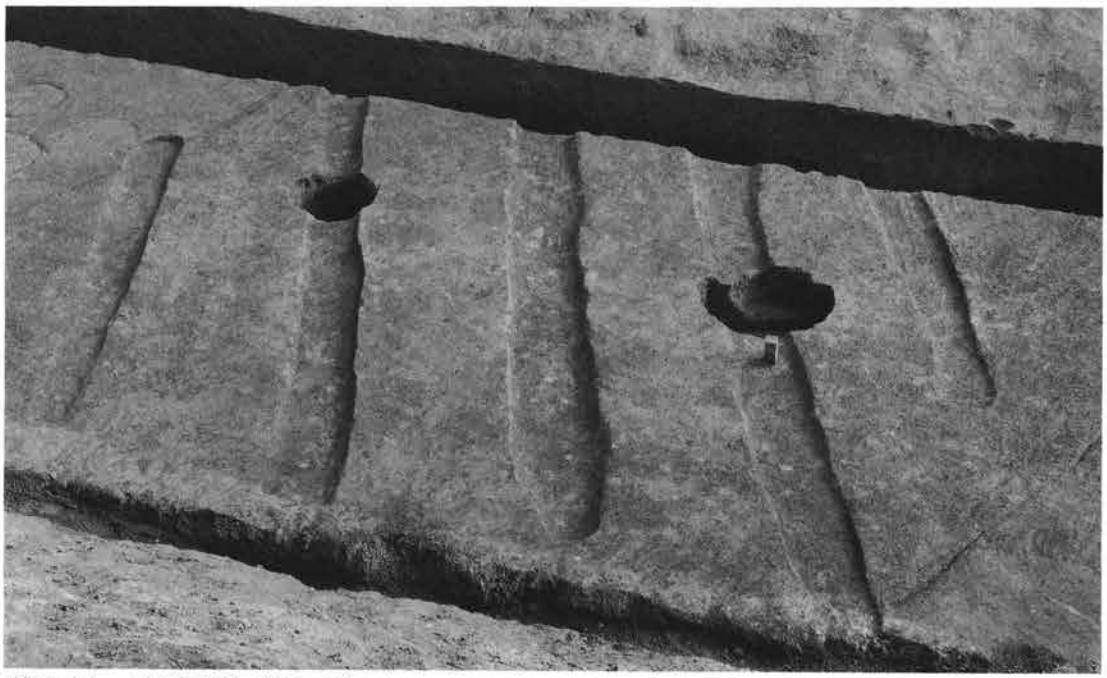
第483図　4区畠跡1・畠跡2

三ッ寺II　4区　畠跡3（第484図，図版309）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

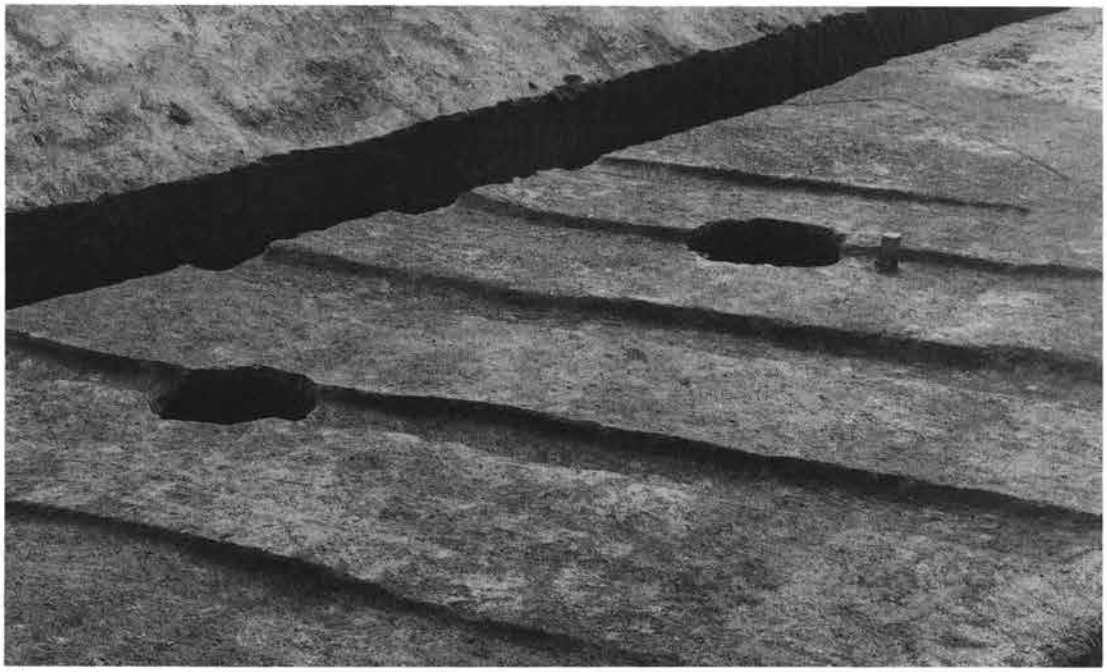
4区東側道中央部で畠跡とみられる遺構を検出した。確認面はC軽石を含む黒色土（6層）である。検出位置はP～Qライン・753～758m付近である。検出した溝状遺構は北東－南西方向（N71度E）に並び、それらの間隔は65～85cm、長さ220～405cm、深さ3～8cmである。

覆土は黒色土にFAブロックが混じる。これらの溝の上からピットが2個掘り込まれ、溝の下からは146号住居を検出している。三者の前後関係は146号住居→溝群→ピットの順に新しい。出土遺物はなく、積極的な根拠はないが、本溝群の時期は古墳時代に属するとみられる。146号住居からの出土遺物は比較的豊富である。

周辺の東側道ではこれらの溝群を除き、畠跡とみられる遺構は検出していない。



第484図　4区畠跡3（西から）



第485図　4区畠跡3（北西から）

三ッ寺II　4区1号掘立柱建物跡（第486図，図版307）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　4間×2間，　長軸方位　N3度E

桁行 cm	梁行 cm	：桁行柱間	梁行柱間
1-5 :583	1-11:440	1-2 :170	1-12 :211
12-6:609	2-10:453	2-3 :153	12-11:230
11-7:582	3-9 :415	3-4 :162	2-13 :224
平均:591	4-8 :413	4-5 :101	13-10:230
	5-7 :408	12-13:157	3-14 :214
	平均:426	13-14:142	14-9 :203
		14-15:155	4-15 :215
		15-6 :157	15-8 :200
		11-10:155	5-6 :203
		10-9 :137	6-7 :205
		9-8 :145	平均 :213.5
		8-7 :146	
		平均 :148.3	

規模

番号	上バcm 長径×短径	下バcm 長径×短径	深さcm	備考
1	23	17×14	3	
2	38×36	29×26	13	
3	33×31	20	17	
4	28	18×16	15	
5	38×33	22	19	
6	37	25	12	
7	42×40	28	4	
8	35	22	4	
9	32×30	23×20	10	
10	37×35	23×20	20	
11	51×41	28×26	21	略三角形
12	37×35	25×22	7	
13	35×30	15	20	
14	28	19×17	9	
15	35×32	27×23	7	
16	33	25×23	16	2-3の中間位置
17	31	20×15	24	

※計測値は1/20原図から起こした数値で、柱穴間の距離は下バ心心で計測した。方位は1-11・5-7のそれぞれの中間を結ぶ線と磁北とのなす角。

その他（状況の記録）

確認面：茶褐色土，5層　　検出位置：I～Kライン・732m付近

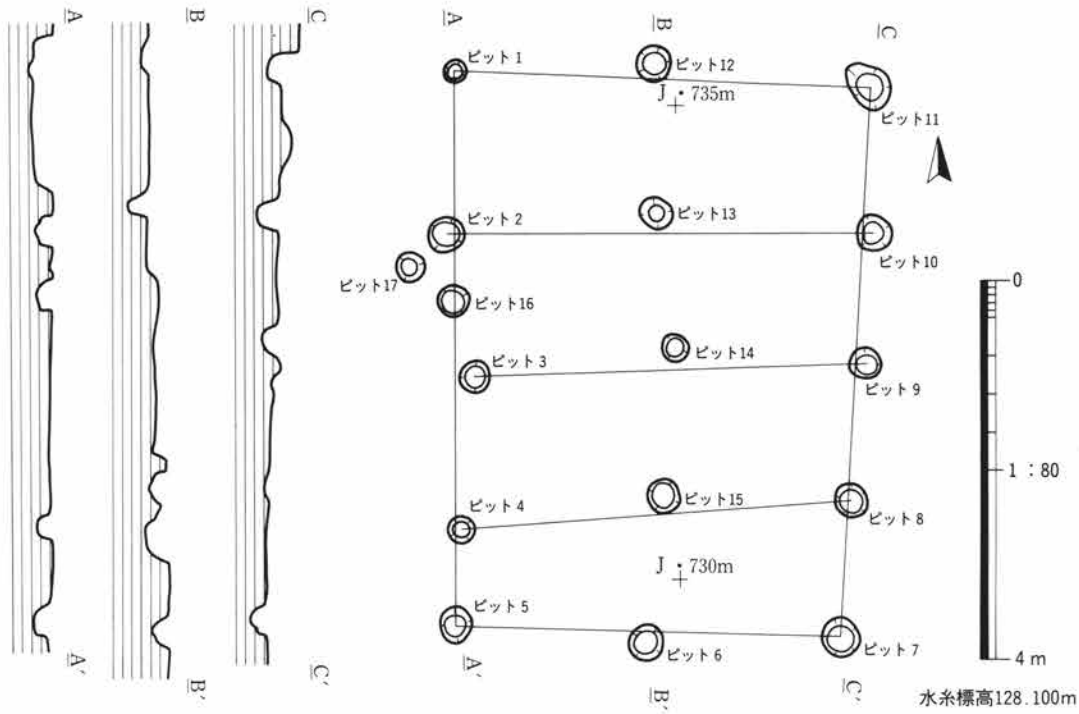
重複関係：54・55・56住→1掘　　覆土：暗褐色土

柱穴：15本検出

その他：総柱の建物跡，西側北寄りに規模のほぼ同じピットを2本検出

遺物：出土遺物なし

時期：古墳時代住居→1掘→平安時代住居，奈良～平安？



第486図　4区1号掘立柱建物跡

三ッ寺II　4区2号掘立柱建物跡（第487図，図版308）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　2間×2間，長軸方位　N30度E

桁行 cm	梁行 cm	：桁行柱間	梁行柱間
1-3 :392	3-5:341	1-2:187	1-8 :189
8-4A:417		2-3:205	3-4A:170
			4A-5:172

規模 番号	上バcm 長径×短径	下バcm 長径×短径	深さcm	備考
1	39×35	24×18	24	
2	38×33	22×19	41	
3	45×38	25×21	25	
4A	45×35	24×20	59	
4B	45×35	31	17	浅い
5	51	21	73	ピット→74住
6	52×40	38×27	17	浅い，土坑状
7	57×51	41×38	10	浅い，土坑状
8	51×40	22×19	69	ピット→73住，二段

※計測値は1/20原図から起こした数値で、柱穴間の距離は下バ心心で計測した。長軸方位は4A－8を下バ心心で結ぶ線と磁北とのなす角。

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層下位　　，検出位置：J～Lライン・709m付近

重複関係：73・74住→2掘　　，覆　　土：黒色土＋軽石

柱　　穴：側柱のみ確認，中央未検出，東側は73号住居内

そ　の　他：東隅柱穴未検出

遺　　物：出土遺物なし，143号土坑から土師器ケズリ甕・縄文土器（12片）出土

時　　期：柱穴は73・74号住居に切られている，古墳

三ッ寺II　4区101号掘立柱建物跡（第487図，図版308）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　2間×1間以上，長軸方位－

柱間						
1-2:152	2-3:140	1-3:290		1-6:159	2-5:164	3-4:150
6-5:150	5-4:135	6-4:284				

規模 cm 番号	1	2	3	4	5	6	7
上バ(長径×短径)	62×59	40	68×64	61×60	55	66×63	77×70
下バ(長径×短径)	47×42	22×17	50×45	39×31	38	43×41	57×55
深さ	29	19	31	48	26	33	19
備考		やや浅い					やや浅い

※計測値は1/20原図から起こした数値で、柱穴間の距離は下バ心心で計測した。

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Qライン・792m付近

重複関係：－　　，覆　　土：黒色土＋軽石

柱　　穴：2間×1間分のみ確認，南北方向・西側には延びない

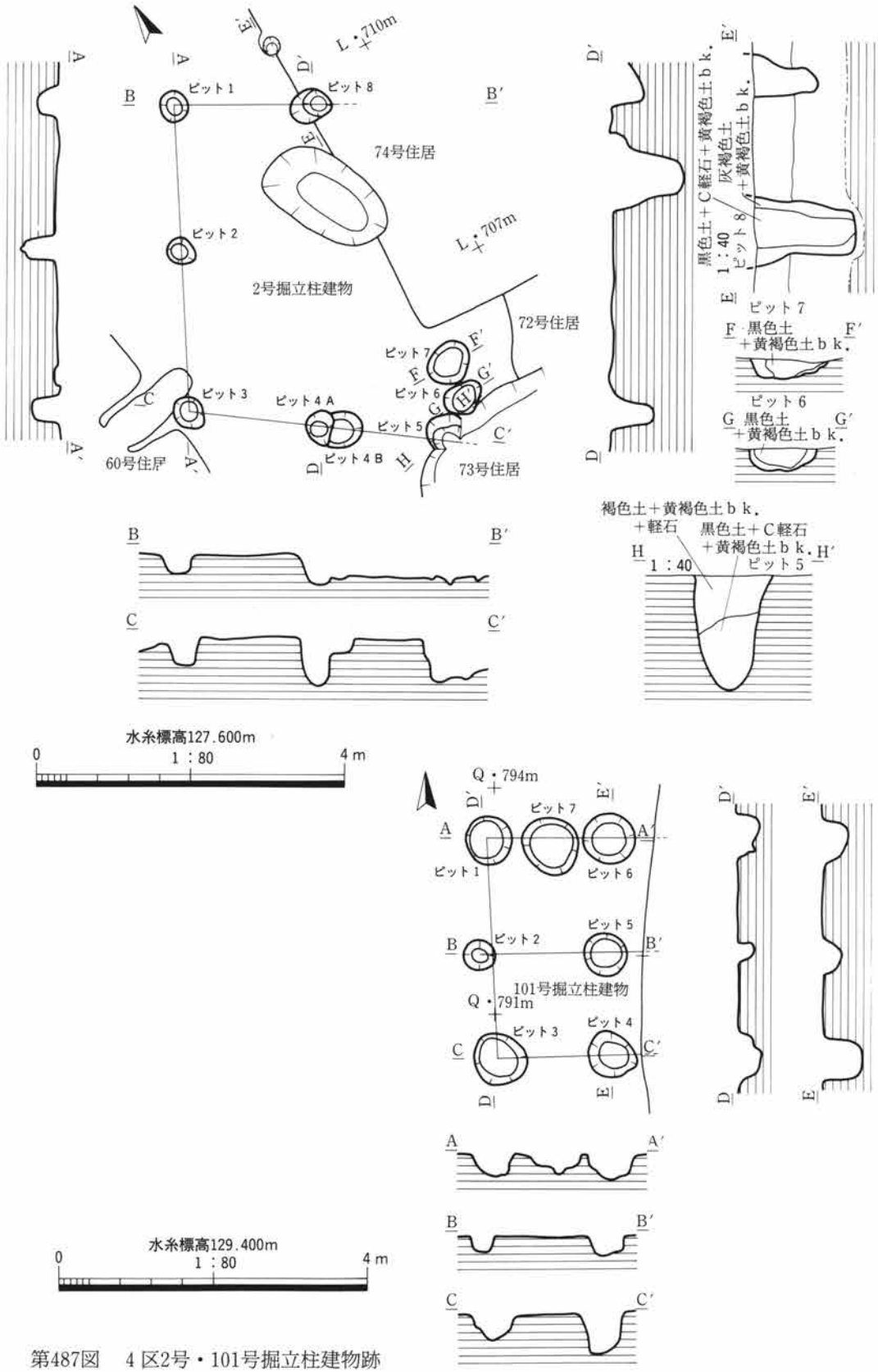
そ　の　他：東側調査区外へ延びるか？，本掘立柱建物付近を南限として北側へ25mほどピット群あり

遺　　物：出土遺物なし

時　　期：不明，古墳？

三ッ寺II　4区北西部ピット群（第283図，図版191）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

114・116～118号住居付近で、やや大型の掘り込みが並んでいる。いずれも重複する住居より新しい。116～117号住居内部では2間×1間のように見えるが、周辺のピットと連続するものもある。118号住居内には、用途不明の土坑を検出している。これらが掘立柱建物の一部であるかどうか不明であり、ここではその可能性があることを挙げるに止どめる。遺物の出土はなく、所属時期は住居との重複関係から、古墳時代から平安時代の間である。



第487図　4区2号・101号掘立柱建物跡

三ッ寺II　4区　溝（第488・721図，図版310・510）

4区では計36本の溝を検出した。そのうちA5およびA55・56・59・65・67溝は所在が確認できない。また、A10～13号溝とA101～104号溝は畠跡の可能性が高く、それぞれ畠跡1・2として別掲した。A2・3・4号溝も畠跡の可能性がある。

A類とB類とは、掘り下げ以前に覆土・方向とから分離した類別だが、必ずしも原則にそった結果となっていない。各溝の覆土中に「軽石」を含むものは、検出層位から、この軽石が浅間B軽石であった可能性が高く、中世以降に時期が下ることが考えられる。

4区南側（740m以南）で北東－南西の方向に走る溝は、形状が不整形で内部に凹凸をもつものが多い。B5号溝とA14・15・16号溝、B9・10号溝はほぼ平行して走る不整形な溝である。下層の地割れの影響が考えられるが、地割れの生じた時期（6世紀代）からみると隔たりが大きく、積極的な根拠はないが、人為的なものであった可能性が高い。

4区で比較的しっかりした溝はB1・B7号溝で、両者はほぼ平行して走る。その中間の南寄りにB3・4号溝がやや角度を変えて平行して走る。B1号とB7号との中間に土坑類が多く、北半部は100～200cmの円形・長方形の土坑が群をなし、南半部ではやや大きめの土坑とピット列がみられる。110号土坑・B4号溝・B3号溝はほぼ平行しており、これらの西側には柱穴が充分揃ってはいないが掘立柱建物が推定できる。また、B7号溝西端付近にはピット列がみられる。これらのことから、4区南側の720～740m付近になんらかの建物があった可能性が高い。しかし、それらがどんな性格のものかは不明である。

三ッ寺II　4区溝一覧表（1）　　－：計測不可・不明

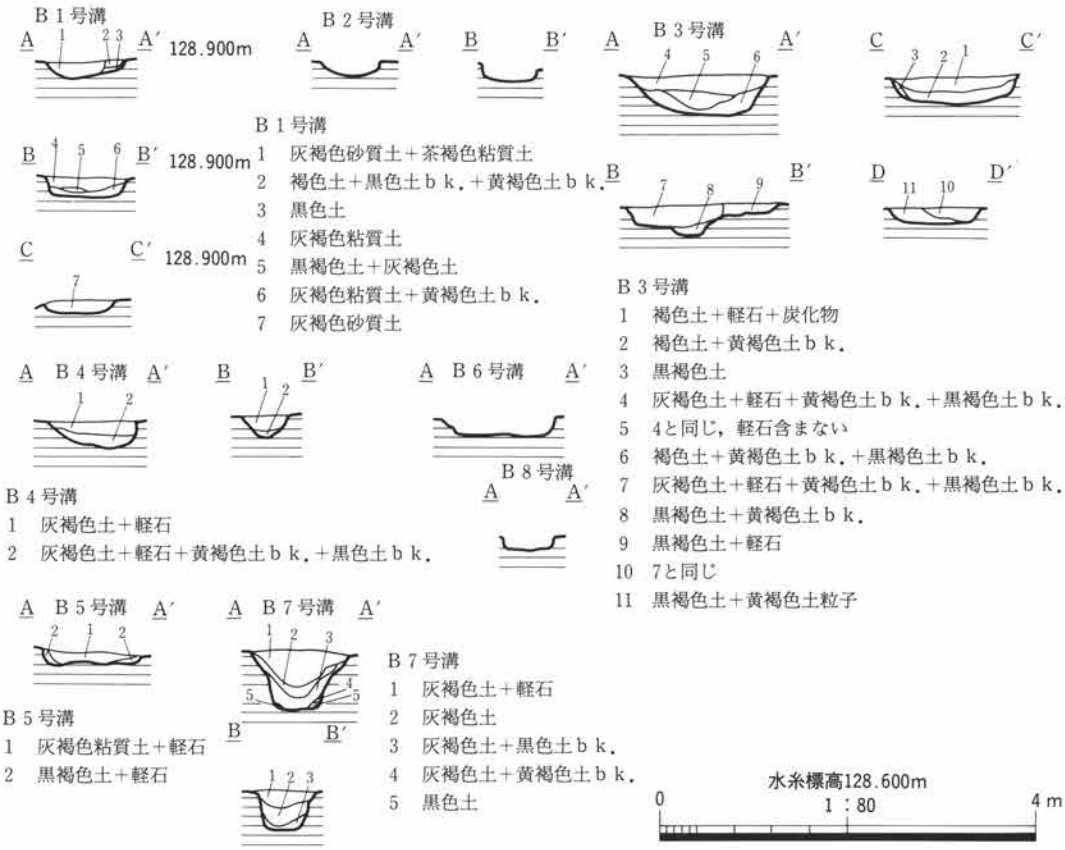
番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
A1	黄褐色土5層	N～P・794～800m	－	8.4・50・4～10	－		なし	平安以降	N46度E
A2	黄褐色土5層	O・779m	－	3.0・20・8～15	－		土器4片	平安以降	N99度E畠？
A3	黄褐色土5層	O～P・755m	－	3.9・20～50・6	－		土器12片	平安以降	N98度E畠？
A4	黄褐色土5層	O・770m	A4溝→62坑	1.8・30・8	灰褐色土＋黄褐色土粒		土器14片，模倣杯	平安以降	N92度E畠？
A5	所在不明						土器2片，模倣杯		
A6	黄褐色土5層	N～O・773m		3.1・26・16	－		なし	平安以降	N94度E畠？
A7	黄褐色土5層	K・752m		2.7・30・2	－		なし	平安以降	N96度E畠？
A8	黄褐色土5層	K・751m		2.9・35・3	灰褐色砂，軽石多		なし	平安以降 中世？	N95度E畠？
A9	黄褐色土5層	J～K・734m		3.7＋1.0・30・5	淡暗褐色土	曲がる	土器14片，須恵器無台杯・蓋口縁部	平安以降	長辺N107度E
A10 A11 A12 A13		I～J・785～788m	123住より新				なし A11～13溝分土器65片	平安以降 平安以降 平安以降 平安以降	畠1参照 畠1参照 畠1参照 畠1参照

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m ・cm・ cm	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
A 1 4	黄褐色土 5層	N～P・ 735～740m		6.8・10～80・5	淡褐色粘質土	地割れ？	なし	平安以降	N42度E
A 1 5	黄褐色土 5層	N・ 734m		1.8・35・15	―	地割れ？	なし	平安以降	N38度E
A 1 6	黄褐色土 5層	K～M・ 728～734m		6.8・35・8	灰褐色粘質土	地割れ？	土器19片	平安以降	N52度E
A 1 7	黄褐色土 5層	N～O・ 729m		1.7・30・16	褐色粘質土	地割れ？	土器4片	平安以降	曲がる
A 5 5	所在不明								
A 5 6	所在不明								
A 5 9	所在不明								
A 6 5	所在不明								
A 6 7	所在不明								
A101		L～N・ 737～741m	155住より新					古墳	畠2参照
A102								古墳	畠2参照
A103								古墳	畠2参照
A104								古墳	畠2参照

三ッ寺II　4区溝一覧表（2）　　―：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m ・cm・ cm	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
B 1	黄褐色土 5層	I～P・ 767m		22・100・15～25	灰褐色粘質土＋黒褐色土	東→西	土器162片，須恵器蓋，灰釉陶器椀	平安？	N95度E
B 2	黄褐色土 5層	I～J・ 755m		3.1・66・21	灰褐色砂質土		なし	平安以降	N93度E
B 3 a	黄褐色土 5層	J～N・ 734～737m	B5→B3溝	11・90～170・12～39	灰褐色土＋軽石	底面凹凸，a・b・c部	3aなし 3b＝土器120片模倣杯・甕・須恵器高台付椀 他，3c＝須恵器杯・内黒椀	平安以降 中世？	N103度E
B 4	黄褐色土 5層				灰褐色土＋軽石	a・b部	土器3片，須恵器大型品	平安以降 中世？	N105度E
B 4 a		L～N・ 731m	B5・A16→B4	6.5・90・16～26			土器82片，須恵器甕		
B 4 b		J～K・ 733m					灰釉陶器椀		
B 5	黄褐色土 5層	L～O・ 729～740m	B5→B3・B4	14.4・40～130・5～18	灰褐色粘質土	a・b・c部		平安以降	N43度E
B 5 a		B5北東部					土器30片，土師器外稜杯		
B 5 b		B5中央部					土器60片，灰釉陶器椀		
B 5 c		B5南西部					土器15片，土師器外稜杯		

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
B 6	黄褐色土 5層	J～P・724m		18.3・110・20	褐色土＋軽石	西端南へ曲がる，a・b・c・d部	6 a＝土器11片，獣歯，須恵器蓋，6b＝土器27片，須恵器甕，6c＝土器13片，須恵器蓋，6d＝土器35片，模倣杯・甑	平安以降中世？	N90度E
B 7	黄褐色土 5層	I～P・720～723m		19.8・110・60	灰褐色土＋軽石＋黄褐色土bk.	西端停まる a・b・c・d・e・f部	7a～7f＝土器185片，奈良～平安の土器多	平安以降中世？	N99度E
B 8	黄褐色土 5層	L～M・717～721m		3.5・55・15	灰褐色土＋軽石	B7溝につながる	土器27片，模倣杯・須恵器蓋	平安以降中世？	N5度W
B 9	黄褐色土 5層	N～O・717～723m	B9→B7溝	8.1・45～100・7～19	灰褐色土＋軽石＋黒褐色土bk.	南側・北側にズレ	土器27片，須恵器折曲口縁蓋・甕	平安以降中世？	南側N48度E
B 10	黄褐色土 5層	L～N・710～715m		7.0・45～145・6	灰褐色土＋軽石＋黒褐色土bk.	不整形	土器33片，須恵器蓋・椀・壺	平安以降中世	N53度E



第488図　4区溝断面

三ッ寺Ⅱ　4区　土坑（第489・721，図版310・510）

4区では計194基の土坑を検出した。調査が二次にわたり、一次調査では4班で調査しているため、番号の途中に欠番を生じている。また、建設工事が急がれており、作業が錯綜したことから、番号のみのもの、断面図のみまたは平面図のみのもの、地点不明のものなど、記録不充分な点がみられる。157～199号の間は欠番である。

以下、すべての土坑の個別図を掲載する余裕がないため、特徴的な土坑のみをとりあげ、その他の土坑については一覧表および全体図（本文編）で示す（個別遺構は第489～500図，図版310～313）。

１２５号土坑は楕円形を呈する土坑で、底面に凹凸がある。覆土に浅間Ｂ軽石を含み、焼土・灰・炭化物が多く出土した。墓の可能性があるが、骨等は検出していない。

１４０号土坑は長方形を呈する土坑で、底面に小ピットがあり、周辺にもピットがいくつか検出されている。９号住居跡の下層で検出し、６５号住居跡に接する状態で確認されている。用途不明。

１４１号土坑は６２号住居跡の床下で検出した楕円形を呈する土坑である。平面的な大きさの割に深く(98cm)、縄文土器破片を出土している。縄文時代に属する遺構とみられる。

１４３号土坑は７３号住居跡の床下から検出した。１４１号土坑に似た様相を呈する。中から縄文土器破片を出土している。

１４４号土坑は黄褐色土（８層，ローム）面で確認した略円形を呈する土坑で、縄文土器を出土している。1418・1520は本遺構から出土した深鉢である。覆土にロームブロック・ローム粒子・焼土粒子を含む。

１４５号土坑は７１号住居跡に一部を破壊された、略円形の土坑である。覆土全体に浅間Ｃ軽石を含み、ロームブロックが混合する。出土遺物はないが、Ｃ軽石を含むことから、古墳時代前半以前の遺構とみられる。弥生にさかのぼるか。

１４６号土坑は７９号住居跡の床下で検出した、略長方形を呈する土坑である。確認面では多量の浅間Ｃ軽石を含む層を記録している。１４５号土坑と同じく、古墳時代前半以前の遺構とみられる。深さは70cmほどである。

１５３号土坑は６６号住居跡によって一部破壊されているため、それより古い遺構である。長方形プランで、底面の長辺に沿って両側に３本ずつ、計６本のピットを検出した特異な土坑である。各ピットの深さは土坑底面から50cm以上を測る。本遺跡では類例がない。

１５５号土坑は黄褐色土（８層，ローム）面で検出した略円形を呈する土坑で、断面がフラスコ状である。縄文土器小片・石を出土し、覆土の堆積は自然である。黒褐色土にローム粒子・焼土粒子・炭化物粒子等を含む。縄文時代に属する遺構とみられる。

２２１号土坑は４０・４１号住居跡の床下で検出した不整形の土坑である。黄褐色土（８層，ローム）を掘り込んでいる。出土遺物はないが、縄文時代に属する可能性がある。

２２４号土坑は１５５号土坑と同じく、断面フラスコ状を呈する土坑である。覆土はロームブロックを含む黒褐色土。1417の縄文土器深鉢を出土した。

縄文時代土坑群（第490・721図）

キロ程700m付近を中心に、縄文時代の遺構をいくつか検出している。３区では５７号住居跡、２１～３２号土坑があり、４区では１４１・１４３・１４４・１５５号土坑がある。これらは新幹線中軸としたMラインよりも西側に位置し、一連の遺構群とみられる。おおむね縄文時代前期の黒浜・諸磯ａの時期とみられる。これらは、西端のＩラインのさらに西側の高まり（調査区外）へ向かって展開するようである。

また、４区のキロ程720m以南・Mライン東側の土坑は、古墳時代以前にさかのぼる可能性があるが、積極的な根拠はない。

三ッ寺Ⅱ　4区ピット

４区では多数のピットを検出しているが、掘立柱建物としてまとまりをもつものは限られ、前述のとおりである。個別の記録を掲載する余裕がないため、ここでは割愛することにした。

125号土坑

1　暗褐色土　浅間B軽石・焼土・炭化物を含む
2　灰褐色土　灰を多量に含む，焼土・B軽石を含む
3　暗褐色土　1より明るい，炭化物は1より大きい
4　炭化物　灰を多量に含む

140号土坑

1　灰褐色土　焼土・軽石を含む
2　黒褐色土　軽石・黄褐色土ｂｋ．を含む

143号土坑

1　暗褐色土　浅間C軽石・黄褐色土粒子を多く含む
全体に粒子が細かくしまっている
2　黒褐色土　黄褐色土粒子・焼土・炭化物粒子を多く含む
土器片出土
3　褐色土　黄褐色土ｂｋ．を含む
堅くしまっている
4　茶褐色土　黄褐色土ｂｋ．を多量に含む
粒子細かく粘性あり
5　黄褐色土ｂｋ．

144号土坑

1　暗褐色土　黄褐色土ｂｋ．を多く含む
土器片出土
2　黒褐色土　黄褐色土ｂｋ．・焼土・炭化物粒子を含む
粒子が細かく堅い，土器片多く出土
3　褐色土　黄褐色土ｂｋ．を多く含み堅い

146号土坑

1　褐色土　浅間C軽石を多量に含む
2　褐色土　黄褐色土ｂｋ．・C軽石を含む
3　褐色土　C軽石・黒色土ｂｋ．を含む
4　褐色土　黄褐色土粒子・黒色土粒子を含む
5　暗褐色土　C軽石・黄褐色土粒子を少量含む
6　褐色土　黄褐色土ｂｋ．を多く含む
7　褐色土　黄褐色土粒子を含む
8　褐色土　黄褐色土大ｂｋ．を多量に含む

145号土坑

1　褐色土　浅間C軽石・黄褐色土ｂｋ．・灰褐色土ｂｋ．を含む
2　褐色土　浅間C軽石・灰褐色土ｂｋ．・黒色土ｂｋ．を含む
3　褐色土　黄褐色土ｂｋ．・灰褐色土ｂｋ．を含む
4　褐色土　やや黄色味，黄褐色土粒子・浅間C軽石を少量含む
5　褐色土　4に似る
6　褐色土　4に似る
7　褐色土　4に似る

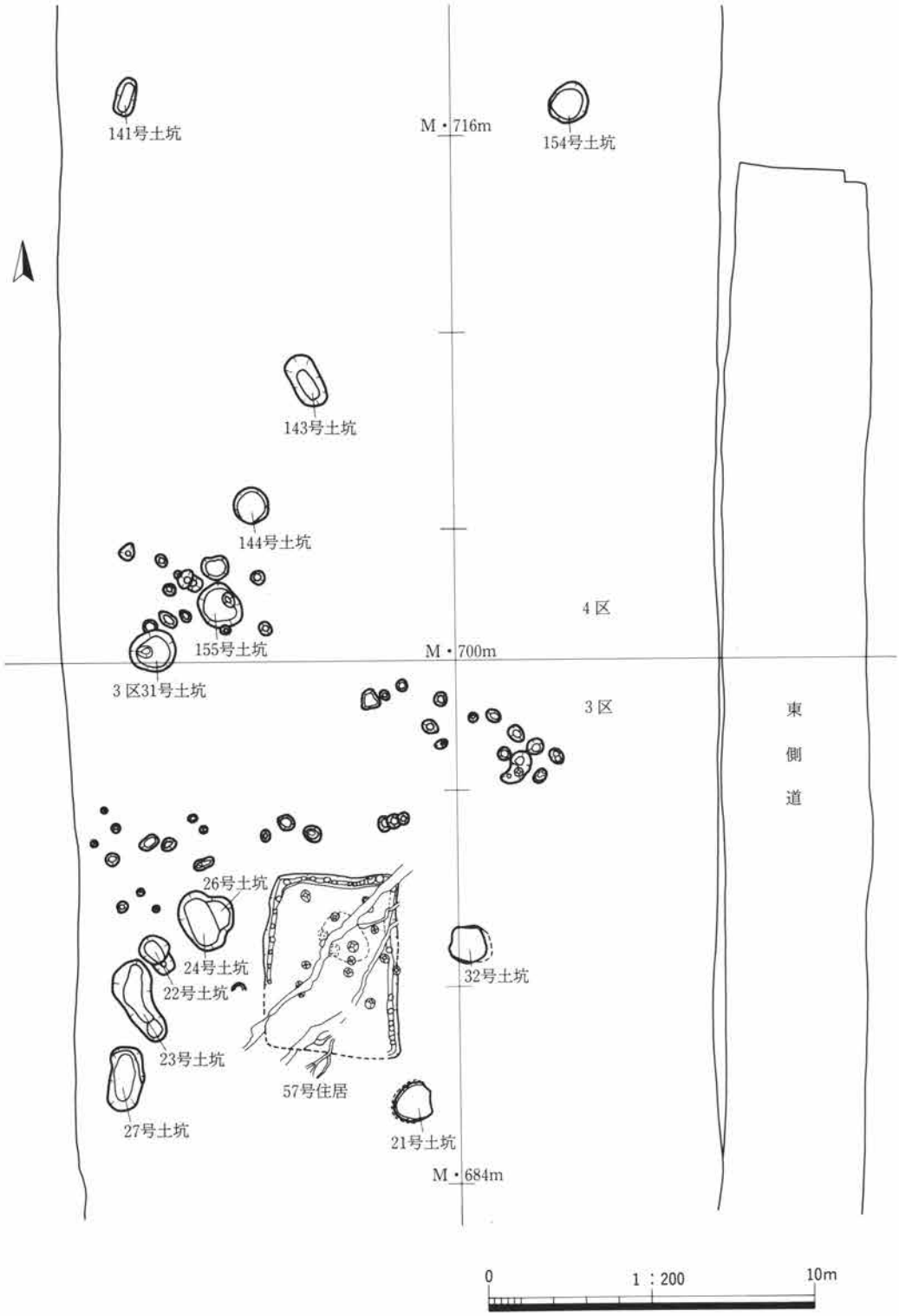
155号土坑

1　黒褐色土　黄褐色土粒子・焼土・炭化物を含む
土器片・石器出土
2　暗褐色土　黄褐色土ｂｋ．を含む
3　黄褐色土
4　褐色土　黄褐色土粒子・焼土・炭化物を含む
粒子が細かく粘性強い

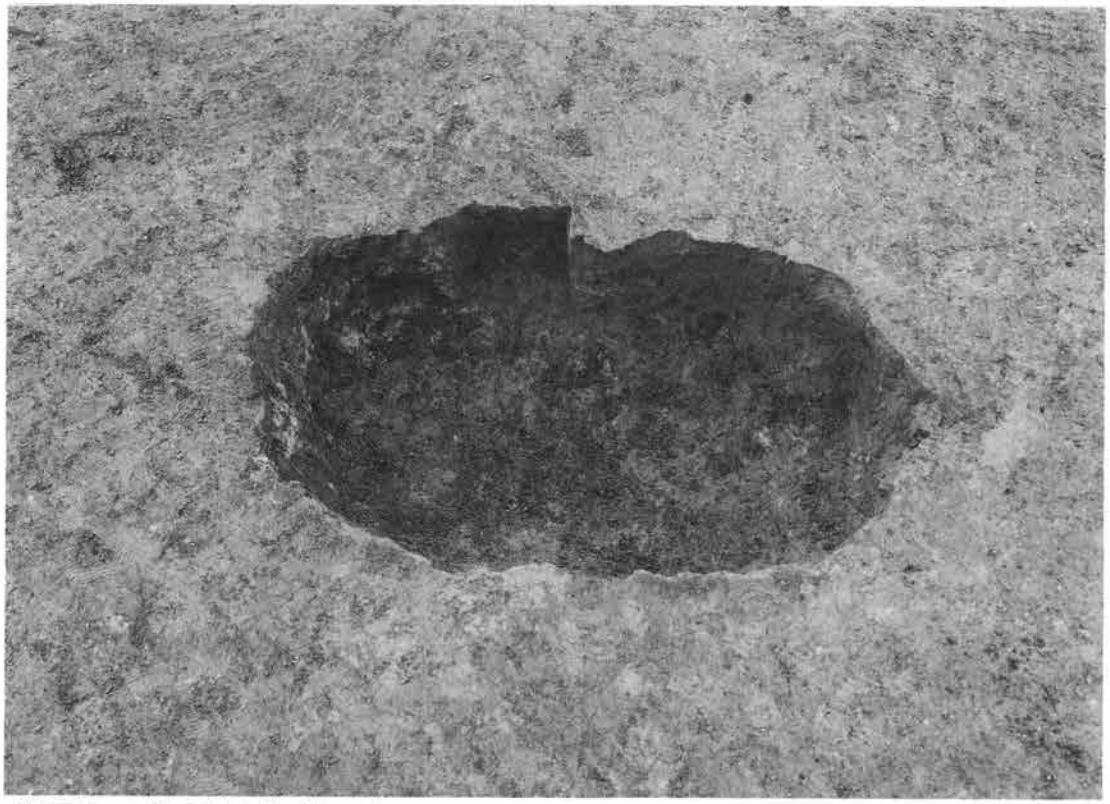
224号土坑

1　黒褐色土　黄褐色土ｂｋ．を含む
2　黒褐色土　1に似る
3　黒褐色土　黄褐色土粒子を含む
5　黒色土

第489図　4区土坑



第490図　3～4区縄文時代土坑分布図



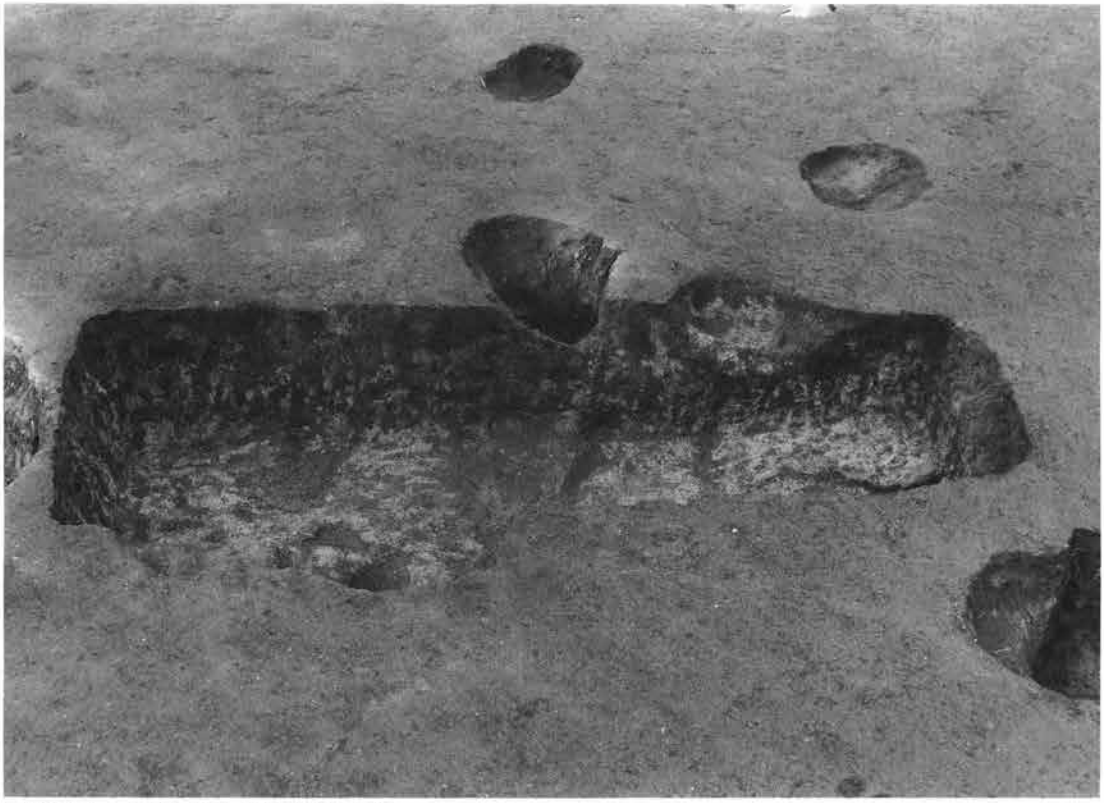
第491図　4 区125号土坑（北から）

第492図　4 区134号土坑（北から）

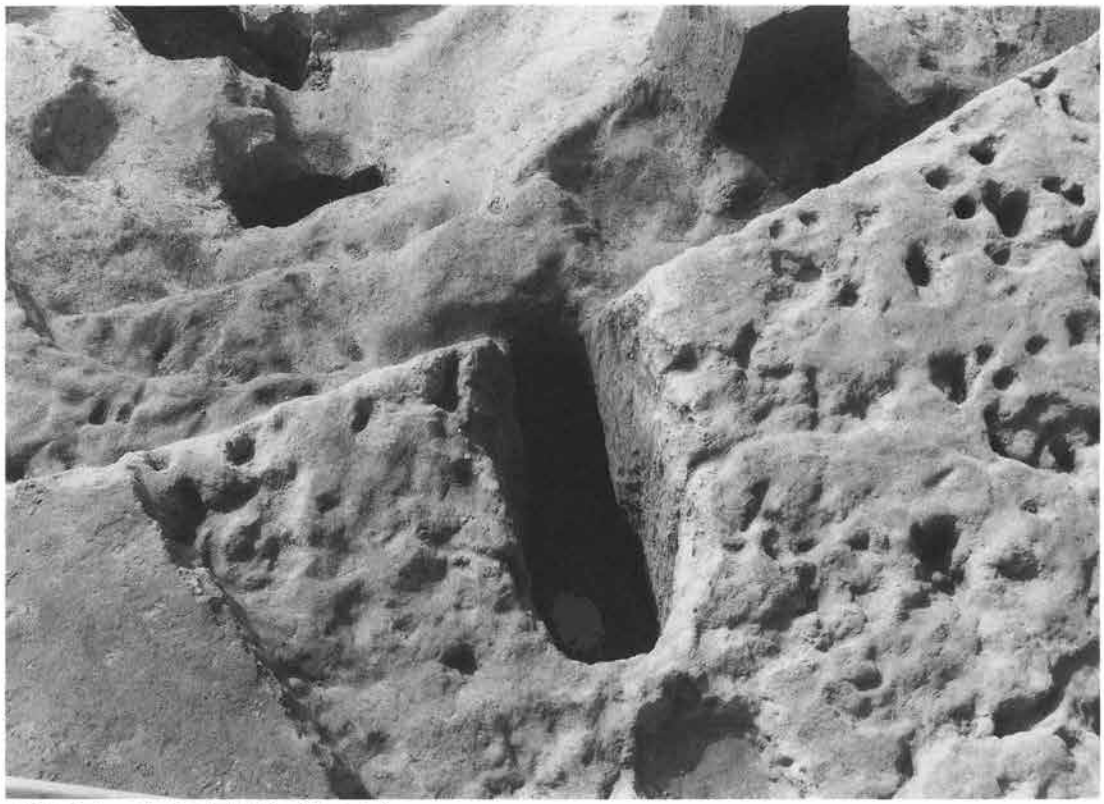
第493図　4区135号土坑（西から）

第494図　4区138号土坑（東から）

第495図　4 区139号土坑（北から）

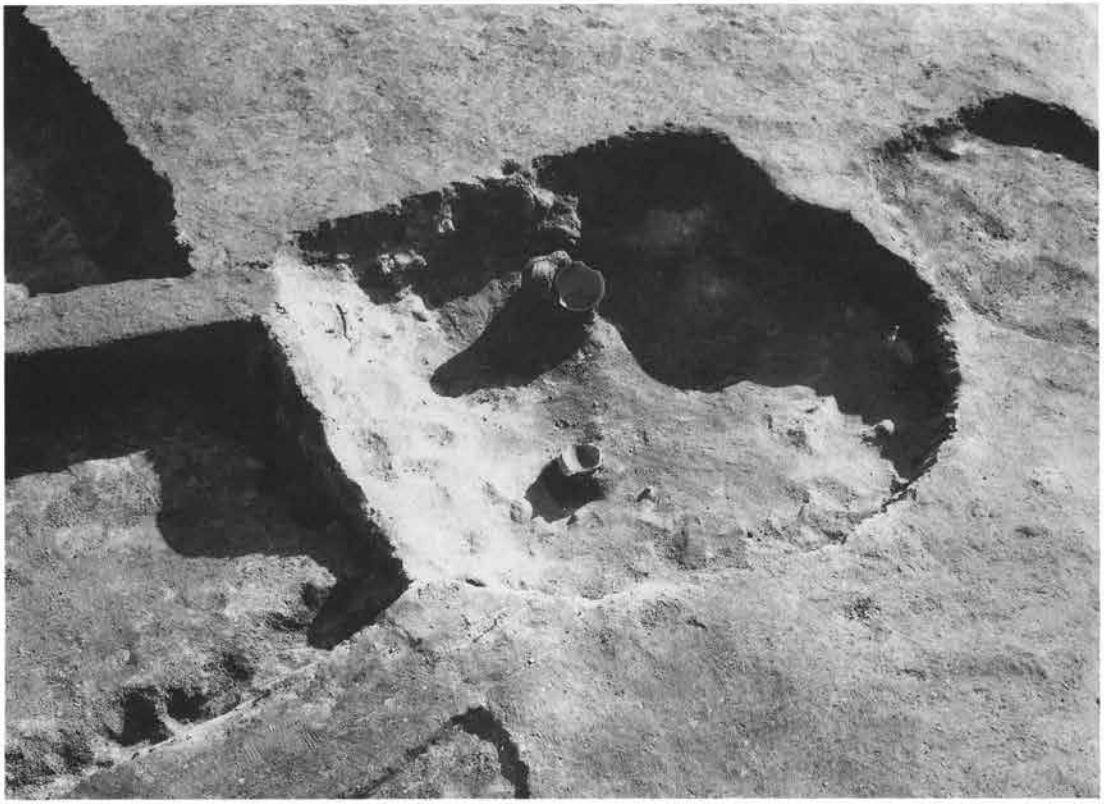


第496図　4 区140号土坑（東から）



第497図　4区141号土坑（北から）

第498図　4区144号土坑遺物出土状態（西から）



第499図　4 区217号土坑遺物出土状態（北から）

第500図　4 区224号土坑遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　4区土坑一覧表（1）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
1	黄褐色土 5層	L・ 793m		径80・30	－	円形	なし	平安以降	
2	黄褐色土 5層	M・ 792m		106×80・42	－	楕円形	土器7片， 模倣杯	平安以降	
3	黄褐色土 5層	M・ 790m		108×120・47	－	円形	土器12片， 羽釜底部	平安以降	
4	黄褐色土 5層	J～K・ 792m		90×80・30	－	楕円形	土器9片， ケズリ甕体部 片	平安？	
5	黄褐色土 5層	L・ 790m		122×51・22	－	長方形	土器3片， 縄文土器1， 土師質椀	平安以降	
6	黄褐色土 5層	J～K・ 788m		径90・26	－	円形	土器7片， ケズリ甕・ 外稜杯	平安以降	
7	黄褐色土 5層	L～M・ 788m		53×161・13	－	楕円形	土器16片， 内斜口縁杯	平安以降	
8 a 8 b	黄褐色土 5層 黄褐色土 5層	N～O・ 791m M・ 778m		88×65・14 65×242・21	－ －	楕円形 長方形	土器38片， 外稜杯 －	平安以降 －	
9	黄褐色土 5層	N・ 787m		158×40・21	灰褐色土＋ 黒色土bk.	不整形	なし	中世？	
10	黄褐色土 5層	O～P・ 783m		110×88・19	灰褐色土＋ 黄褐色土	長方形	土器11片， 模倣杯	平安以降	
11	黄褐色土 5層	O～P・ 777m		径107・57	褐色土＋軽 石	円形	土器11片， 模倣杯	中世？	
12	黄褐色土 5層	N～O・ 775m		183×142・53	褐色土＋軽 石	楕円形	土器50片， 外稜杯・高杯 脚部	中世？	
13	黄褐色土 5層	O・ 777m		66×62・5	－	楕円形	なし	平安以降	
14	黄褐色土 5層	O・ 774m		径80・18	灰褐色土＋ 黒色土bk.	略円形	土器2片， 須恵器瓶	平安以降	
15	黄褐色土 5層	N・ 771m		径90・9	暗褐色土＋ 黒色土bk.	略円形	土器4片， 小片のみ	平安以降	
16	黄褐色土 5層	M・ 777m		64×55・25	－	不整形	土器4片， ケズリ甕	平安以降	
17	黄褐色土 5層	L・ 776m		110×76・21	灰褐色土＋ 黄褐色土	楕円形	土器22片， 内黒模倣杯	平安以降	

三ッ寺II　4区土坑一覧表（2）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
18	黄褐色土5層	K～L・775m		106×96・16	灰褐色土＋黄褐色土	略円形	土器10片，土師器甕	平安以降	
19		－					なし		
20	黄褐色土5層	J～K・783m		81×98・8	灰褐色土	楕円形	なし	平安以降	
21	黄褐色土5層	K・782m		174×68・13	灰褐色土＋黄褐色土bk.	楕円形	土器3片，模倣杯・須恵器甕	平安以降	
22	黄褐色土5層	J・780m		径90・31	灰褐色土＋黒色土bk.	円形	土器7片，ケズリ甕	平安以降	
23	黄褐色土5層	K・773m		径100・9	淡黄褐色土	略円形	土器40片，内斜口縁杯小型甕	平安以降	
24	黄褐色土5層	K～L・773m		100×104・26	暗褐色土	隅丸方形	土器9片，灰釉陶器・羽釜	平安以降	
25	黄褐色土5層	J・773m		100×92・7	暗褐色土	略円形	土器7片，須恵器平底杯	平安以降	
26	黄褐色土5層	I～J・773m		100×110・4	灰褐色土	楕円形	土器10片，須恵器壺	平安以降	
27	黄褐色土5層	J・772m		80×92・7	褐色土	楕円形	土器10片，外稜杯	平安以降	
28	黄褐色土5層	N～O・766m		径88・16	－	円形	なし	平安以降	
29	黄褐色土5層	N～O・765m		径100・20	灰褐色土＋黒褐色土	略円形	土器2片，	平安以降	
30	黄褐色土5層	N・764m		径72・4	－	円形	なし	平安以降	
31	黄褐色土5層	N・763m		径100・49	灰褐色土＋黄褐色土	円形	土器9片，土師質土器椀	平安以降	
32	黄褐色土5層	N・763m		80×65・15	灰褐色土＋黄褐色土	楕円形	なし	平安以降	
33	黄褐色土5層	N～O・762m		径96・25	灰褐色土＋黒色土bk.	円形	土器6片，	平安以降	
34	黄褐色土5層	J～K・779m		55×253・8	灰褐色土	長楕円形	土器11片，1100硯	平安以降	
35	黄褐色土5層	N～O・779m		60×53・20	暗褐色土	楕円形	なし	平安以降	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
36	黄褐色土5層	J～K・770m		径98・9	暗褐色土＋軽石	円形	土器5片，	中世？	
37	黄褐色土5層	L・786m		64×86・42	黄褐色土bk.＋黒色土bk.	長方形	土器5片，土師器杯・須恵器甕	平安以降	
38	黄褐色土5層	O～P・766m		81×－・4	灰褐色土＋黄褐色土		土器11片，甕または甑	平安以降	
39	黄褐色土5層	O～P・765m		190×90・27	灰褐色土＋黒色土bk.	不整形	土器5片，	平安以降	
40	黄褐色土5層	O～P・762m		183×83・28	灰褐色土＋黄褐色土	長方形	土器13片，	平安以降	
41	黄褐色土5層	O～P・761m		100×85・13	灰褐色土＋黒色土bk.	二段	なし	平安以降	
42	黄褐色土5層	N・761m		107×88・6	灰褐色土	楕円形	なし	平安以降	
43	黄褐色土5層	N・758m		径70・5	灰褐色土	円形	土器2片，	平安以降	
44	黄褐色土5層	M・760m		57×75・16	灰褐色土＋炭化物	略楕円形	土器6片，小片のみ	平安以降	
45	黄褐色土5層	M～N・760m		110×100・18	灰褐色土＋炭化物	楕円形	土器23片，模倣杯・甕	平安以降	
46	黄褐色土5層	M～N・756m		径65・7	黒褐色土	円形 二段	なし	平安以降	
47	黄褐色土5層	N～O・756m		径96・25	灰褐色土＋黒色土bk.	円形 二段	土器2片，甕体部片	平安以降	
48	黄褐色土5層	O～P・756m		98×110・31	灰褐色土＋黄褐色土	楕円形	土器12片，模倣杯	平安以降	
49	黄褐色土5層	N・754m		径100・10	灰褐色土＋軽石	略円形	土器19片，半球杯	中世？	
50	黄褐色土5層	N・752m		135×70・13	－	長方形	なし	平安以降	
51	黄褐色土5層	N・749m		径92・17	淡褐色土＋黄褐色土bk.	円形	土器7片，外稜杯・土師質甕	平安以降	
52	黄褐色土5層	M～N・761m		110×158・20	暗褐色土＋黄褐色土	不整形	土器20片，須恵器瓶	平安以降	
53	黄褐色土5層	M～N・763m		132×158・32	灰褐色土＋炭化物	楕円形	土器37片，ケズリ甕・羽釜	平安以降	

三ッ寺II　4区土坑一覧表（4）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
54	黄褐色土5層	L～M・759m	54坑→84坑	154×176・13	灰褐色土＋黄褐色土	不整形	土器57片，円筒埴輪	平安以降	
55	黄褐色土5層	M～N・754m		120×133・27	灰褐色土＋黄褐色土	楕円形	土器5片，模倣杯	平安以降	
56	黄褐色土5層	M～N・753m		120×98・15	灰褐色土＋黄褐色土	楕円形	土器19片，灰釉陶器	平安？	
57	黄褐色土5層	M～N・750m		250×100・15	灰褐色土＋黒色土bk.	長方形	土器8片，外稜杯	平安以降	
58	黄褐色土5層	N～O・769m		130×150・23	暗褐色土＋軽石	楕円形	なし	平安以降中世？	
59	黄褐色土5層	N～O・770m		径113・37	灰褐色土	円形	なし	平安以降	211坑と同位置
60	黄褐色土5層	O～P・768m	60坑→61坑	140×93・37	灰褐色土＋黒色土bk.	略長方形	土器22片，須恵器椀	平安以降	
61	黄褐色土5層	O～P・769m	60坑→61坑 62坑→61坑	155×70・32	灰褐色土＋黄褐色土	略長方形	土器13片，陶器1	平安以降	
62	黄褐色土5層	O～P・770m	A4溝→62坑 62坑→61坑	140×81・31	灰褐色土＋黒色土bk.	略長方形	なし	平安以降	
63	黄褐色土5層	N・767m	B1溝→63坑	183×110・33	灰褐色土＋黄褐色土	不整形	土器33片，羽釜，縄文1	平安以降	
64	黄褐色土5層	M～N・766m		140×103・13	灰褐色土＋黄褐色土	楕円形	土器18片，くの字甕	平安以降	
65	黄褐色土5層	M～N・764m		78×107・29	－	不整形	土器9片，埴輪1，ケズリ甕	平安以降	
66	黄褐色土5層	M・758m		120×106・33	黒褐色土＋軽石	楕円形	土器18片，模倣杯	平安以降中世？	
67	黄褐色土5層	M・756m		168×99・18	黒褐色土	楕円形	なし	平安以降	
68	黄褐色土5層	L～M・750m		188×51・11	灰褐色土	長楕円形	土器4片，2孔のある土器・縄文1	平安以降	
69	黄褐色土5層	L～M・750m		径97・19	灰褐色土＋黒褐色土	円形	土器9片，	平安以降	
70	黄褐色土5層	L・746m		121×62・24	灰褐色土＋軽石	不整形	土器4片，	平安以降中世？	
71	黄褐色土5層	K～L・743m		径76・17	灰褐色土	円形	土器10片，外稜杯	平安以降	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
72	黄褐色土5層	K～L・743m		径81・38	黒褐色土	円形	なし	平安以降	
73	黄褐色土5層	K～L・743m		径95・21	灰褐色土	円形	なし	平安以降	
74	黄褐色土5層	K～L・742m		径76・7	灰褐色土＋軽石	略円形	土器4片，須恵器甕	平安以降中世？	
75	黄褐色土5層	M～N・742m		58×54・8	黒褐色土＋軽石	不整形	土器3片，	平安以降中世？	
76	黄褐色土5層	M～N・739m		103×108・23	灰褐色土＋軽石	台形	土器6片，	平安以降中世？	
77	黄褐色土5層	O・741m		径96・29	灰褐色土＋黒色土bk.	略円形	土器8片，	平安以降	
78	黄褐色土5層	O～P・747m		径90・4	－	円形	なし	平安以降	
79	黄褐色土5層	L～M・763m		108×130・47	－	楕円形二段	なし	平安以降	
80	黄褐色土5層	M・764m		110×104・17	黒褐色土＋軽石	不整形	土器18片，灰釉陶器椀・土師質杯	平安以降中世？	
81	黄褐色土5層	J～K・777m		60×230・－	－	不整形	土器5片，模倣杯・甕	平安以降	
82	黄褐色土5層	I・772m		径101・－	黒褐色土	半掘	なし	平安以降	
83	黄褐色土5層	L・756m		66×64・17	灰褐色砂質土	隅丸方形	土器4片，	平安以降	
84	黄褐色土5層	L～M・760m	54坑→84坑	123×99・31	黒褐色土＋炭化物	不整形	土器4片，くの字甕	平安以降	
85	黄褐色土5層	L～M・756m		135×95・20	黒褐色土＋炭化物	不整形	土器14片，イブシ焼成杯	平安以降	
86	黄褐色土5層	L・756m		111×137・35	黒褐色土＋軽石	楕円形	土器25片，羽釜	平安以降中世？	
87	黄褐色土5層	J～K・758m		90×77・14	灰褐色土＋軽石	不整形	土器2片，模倣杯	平安以降中世？	
88	黄褐色土5層	J～K・754m		70×103・24	灰褐色土＋黄褐色土	略楕円形	土器11片，0990須恵器蓋	平安以降平安？	
89A	黄褐色土5層	J～K・744m		115×158・32	黒褐色土＋軽石	不整形	土器13片，羽釜	平安以降中世？	89号2基

三ッ寺II　4区土坑一覧表（6）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
90	黄褐色土5層	J～K・743m		61×53・12	灰褐色土＋黒褐色土	楕円形	なし	平安以降	
91	黄褐色土5層	J・735m		60×67・7	黒褐色土＋軽石	楕円形	土器1片，	平安以降中世？	
92	黄褐色土5層	J・735m		81×72・28	黒褐色土＋軽石	楕円形	土器1片，羽釜	平安中世？	
93	黄褐色土5層	J～K・732m		100×67・7	黒褐色土＋炭化物	楕円形	土器22片，須恵器蓋	平安以降	
94	黄褐色土5層	M・737m		110×116・33	－	楕円形	土器3片，	平安以降	
95	黄褐色土5層	N・768m		径93・15	灰褐色土	略円形	土器31片，ケズリ甕	平安以降	
96	黄褐色土5層	N～O・769m		径130以上・5	灰褐色土	－	土器3片，	平安以降	
97	黄褐色土5層	J・790m		127×88・38	黄褐色土＋小石	楕円形	なし	平安以降中世？	
98	黄褐色土5層	M～N・744m		122×97・13	灰褐色土＋黒色土bk.	楕円形	なし	平安以降	
99	黄褐色土5層	M～N・744m		62×81・33	明褐色土＋炭化物	不整形	土器4片，須恵器蓋カエリ	平安以降	
100	黄褐色土5層	M～N・747m		径113・42	暗褐色土＋軽石	円形	土器21片，模倣杯・瓶	平安以降中世？	
101	黄褐色土5層	N～O・746m		90×176・25	褐色土＋軽石	不整形	土器18片，	平安以降中世？	
102	黄褐色土5層	O・747m		186×84・18	灰褐色土	長方形	なし	平安以降	
103	欠番	102坑と同					土器8片，模倣杯・ケズリ甕		
104	黄褐色土5層	I～J・759m		径70・17	黒褐色土＋軽石	略円形	なし	平安以降中世？	
105	黄褐色土5層	I・760m		径170・19	－	円形？半掘	なし	平安以降	
106	黄褐色土5層	I～J・759m		径102・7	黒褐色土＋軽石	略円形	土器2片，甕・甑	平安以降中世？	
107	黄褐色土5層	I～J・758m		183×128・13	黒褐色土＋軽石	楕円形	土器17片，甕	平安以降中世？	136坑と同

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
108	黄褐色土5層	N～O・732m		106×56・4	黒褐色土＋黄褐色土bk.	楕円形	なし	平安以降	
109	黄褐色土5層	J～K・729m		320×80・28	灰褐色土＋軽石	長楕円形	土器28片，内斜口縁杯・土師質椀	平安以降	110坑と同
110	欠番	109坑と同					土器29片，模倣杯・外稜杯		
111	黄褐色土5層	L・727m	138坑→111坑	141×230・5	灰褐色土＋軽石	不整形	土器21片，外稜杯	中世？	
112	黄褐色土5層	K～L・726m		73×80・4	黒褐色土＋軽石	略円形	土器5片，土師器高杯	中世？	
113	黄褐色土5層	I・735m		71×－・4	－	半掘	なし	平安以降	
114	黄褐色土5層	I・728m		76×60・21	褐色土	不整形	なし	平安以降	
115	黄褐色土5層	I～J・727m		58×56・13	褐色土	不整形	なし	平安以降	
116	黄褐色土5層	N・725m		46×61・7	黒褐色土＋黄褐色土粒	楕円形	なし	平安以降	
117	黄褐色土5層	N・766m		90×105・27	灰褐色土＋軽石	不整形	土器18片，縄文1，須恵器壺	平安以降	
118	黄褐色土5層	K・762m		187×114・15	灰黒褐色土＋軽石	不整形	土器25片，土師質小皿	平安以降	
119	黄褐色土5層	L～M・765m		径163・38	灰褐色土＋軽石	略円形	土器29片，羽釜・ケズリ甕・杯	平安以降 中世？	
120		－					なし		
121		－					なし		
122	黄褐色土5層	K・760m		径91・14	黄褐色土＋軽石	略円形	なし	平安以降	
123	黄褐色土5層	L・761m		168×131・28	灰褐色土＋軽石＋焼土	長方形	なし	平安以降 中世？	
124	黄褐色土5層	M・765m		143×－・28	暗茶褐色土＋B軽石	不整形	なし	平安以降 中世？	
125	黄褐色土5層	K～L・781m		110×192・27	暗褐色土＋B軽石＋焼土	楕円形	土器17片，外稜杯	平安以降 中世？	墓？ 炭化物多

三ッ寺II　4区土坑一覧表（8）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
126	黄褐色土5層	N・786m		98×85・38	灰褐色土＋焼土	楕円形	なし	平安以降	
127	黄褐色土5層	M～N・785m		86×83・53	灰褐色土＋焼土	略円形	土器42片，盤状杯・甕	平安以降	
128	黄褐色土5層	J～K・760m	128坑→129坑	200×－・19	黒褐色土＋B軽石	不整形	なし	平安以降中世？	
129	黄褐色土5層	J～K・760m	128坑→129坑	103×－・18	黒褐色土＋B軽石	不整形	なし	平安以降	
130	黄褐色土5層	L・755m	28住→130坑	96×113・8	灰黄色土＋黄褐色土	楕円形	なし	平安以降	
131	黄褐色土5層	M・748m		113×98・7	－	不整形	土器1片，	平安以降	
132		－			灰褐色粘質土		土器11片，ケズリ甕		
133		－					なし		
134	黒色土6層	J・734m	55住→134坑	200×160・22	灰褐色土	略長方形	なし	古墳	
135	黒色土6層	J・730m	135坑→54住	96×－・33	黒色土＋C軽石	楕円形	なし	古墳以前	
136							なし		107坑と同
137	黒色土6層	I～J・729m		102×112・31	暗褐色土＋焼土	楕円形	石1	縄文	
138	黒色土6層	L～M・727m	138坑→111坑	径155・53	灰褐色土＋C軽石	略円形	土器11片，模倣杯1	古墳以前縄文？	
139	黒色土6層	M～N・730m	139坑→B4溝	133×151・32	灰褐色土＋C軽石	長方形	土器13片，石1外稜杯	古墳以前	
140	黒色土6層	K～L・726m	140坑→9住	80×248・34	灰褐色土＋C軽石	長方形	なし	古墳以降古墳？	
141	62住床下	I～J・717m	141坑→62住	122×54・98	－	楕円形	土器14片，ケズリ甕・縄文1	古墳以前縄文？	
142		－					なし		
143	黒色土7層下位	K～L・708m	143坑→73住	170×133・92	褐色土＋黄褐色土bk.	楕円形	土器12片，縄文5，ケズリ甕	古墳以前縄文？	
144	黄褐色土8層（ローム）	K・705m		径105・43	暗褐色土＋黄褐色土bk.	略円形	土器93片，1418深鉢1520深鉢	縄文	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
145	黒色土 7層下位	N～O・ 714m	145坑→ 71住	径125・45	C軽石＋黄褐色土bk.	略円形	なし	古墳以前 弥生？	
146	黒色土 7層下位	N～O・ 725m	146坑→ 79住	178×160・71	C軽石＋褐色土＋黄褐色土bk.	長方形	石1個	古墳以前 弥生？	
147	黒色土 7層下位	N～O・ 727m	75住→ 147坑	192×168・53	C軽石＋褐色土	不整形	土器5片， 須恵器甕	古墳以降	
148	黒色土 7層下位	N・ 708m		径85・54	C軽石＋黄褐色土bk.	略円形	なし	古墳以前 弥生？	
149	黒色土 7層	N～O・ 708m		径106・47	褐色土＋C軽石多	略円形	なし	古墳以前 弥生？	
150	黒色土 7層	N・ 710m		70×78・57	黒色土＋C軽石	楕円形	なし	古墳以前 弥生？	
151	黒色土 7層	N～O・ 710m		94×78・30	灰褐色土＋軽石	楕円形	なし	古墳以前	
152	黒色土 7層	N～O・ 709m		68×110・60	灰褐色土＋ロームbk.	楕円形	土器25片， 縄文3，内斜口縁杯	古墳以前	柱穴？
153	黒色土 6層下位	I・ 725m	153坑→ 66住	286×98・8	黒色土＋C軽石多	長方形	なし	古墳	壁際に穴6本
154	71住床下	N～O・ 717m	154坑→ 71住	径120・43	黒褐色土＋ロームbk.	略円形	なし	古墳？	掘形土坑？
155	黄褐色土 8層 （ローム）	J～K・ 702m		径104・76， 下バ径128	黒褐色土＋炭化物粒＋黄褐色土粒	略円形 フラスコ状	土器小片， 石	古墳以前 縄文？	
156	黒色土 6層下位	L～M・ 724m		145×100・24	褐色土＋焼土粒	不整形	なし	古墳以前	
157～199は欠番									
200		－					なし		
201		－					なし		
202	黒色土 6層下位	M・ 788m	117住→ 202坑	54×40・33	黒褐色土＋C軽石	楕円形	土器12片， 縄文1，内黒1	古墳以降	
203	黒色土 6層下位	M・ 787m	117住→ 203坑	82×39・44	黒褐色土＋C軽石	不整形	土器7片， 縄文1	古墳以降	
204		－					なし		
205	黒色土 6層下位	M～N・ 786m	117住→ 205坑	40×25・10	黒褐色土＋C軽石	楕円形	なし	古墳以降	

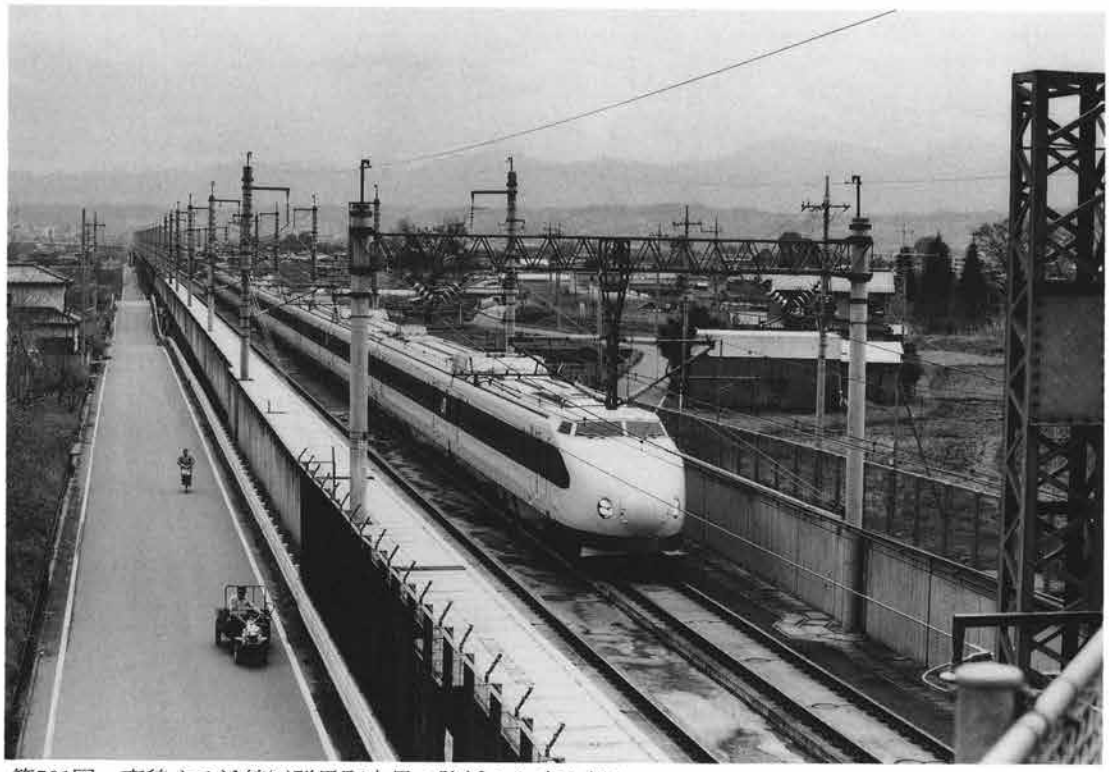
三ッ寺II　4区土坑一覧表（10）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
206	黒色土6層下位	M～N・786m	117住→206坑	66×78・38	黒褐色土＋C軽石	不整形	なし	古墳以降	
207	黒色土6層	N・786m	117住→207坑	80×68・24	黒褐色土＋C軽石	楕円形	土器9片，ケズリ甕，外稜杯	古墳以降	126坑と同
208	黒色土6層下位	K～L・786m	116住→208坑	70×56・16	黒褐色土＋C軽石	不整形	なし	古墳以降	
209	黄褐色土8層	K・789m	209坑→114住	140×82・16	褐色土＋軽石	不整形半掘	なし	古墳以前	
210		－					なし	古墳以降	
211	黄褐色土5層	N～O・770m					土器26片，模倣杯，短脚高杯	古墳以降	59坑と同
212		－					土器2片，須恵器杯		
213	黒色土6層下位	O・777m		158×192・10	－	不整形	なし	古墳以降	11坑と同
214	欠番								
215	黒色土6層	M・754m		113×82・24	灰褐色土＋軽石	不整形	土器3片，模倣杯，甕	古墳以降	55坑と同
216	黒色土6層	M・749m		101×88・8	黒色土＋C軽石	不整形	なし	古墳以降	
217	黒色土6層	M～N・749m		150×170・33	黒褐色土＋軽石		土器5片，略完形の内斜口縁杯，小型甕	古墳以降古墳	
218	黒色土6層下位	O～P・742m		165×120・14	黒色土＋軽石	不整形	なし	古墳以降	
219	黒色土6層下位	M・737m	155住→219坑	径110・43	FAbk.＋黒色土bk.＋軽石	略円形	土器18片	古墳以降	
220	21住下	M～N・765m	220坑→21住	150×158・41	黒色土＋黄褐色土粒	不整形	土器41，模倣杯，外稜杯	奈良以前縄文？	
221	40・41住下	L・765m	221坑→40・41住	392×290・81	－	不整形	なし	奈良以前縄文？	
222	黒色土6層下位	O・741m		114×66・12	黒褐色土＋軽石	不整形	土器3片，土釜	古墳以降	

三ッ寺II　4区土坑一覧表（11）　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
223	34住下 130住下	K～L・ 744m	223坑→ 130住	110×126・65	黒褐色土＋ ローム粒	楕円形	石20個， 1416敲石	古墳以前 縄文	
224	41住下	K～L・ 762m	224坑→ 41住	径65・21	黒褐色土＋ ロームbk.	略円形	土器1片， 1417深鉢	奈良以前 縄文	
225		－					なし		
226	黒色土 6層下位	N～O・ 730m		径32・25	黒色土＋C 軽石	略円形	なし	古墳以降	
227	黒色土 6層下位	N～O・ 730m		径40・30	灰褐色土	略円形	なし	古墳以降	
228	黒色土 6層下位	M～N・ 778m		80×72・5	－	楕円形	なし	古墳以降	
229	117住下	L～M・ 786m	229坑→ 117住	150×82・45	黒褐色土＋ 黄褐色土粒	不整形	なし	古墳以前 縄文？	覆土砂質
230	黒色土 6層下位	M・ 772m		182×138・24	黒褐色土	不整形	なし	古墳以前 縄文？	
231	黒色土 6層下位	N・ 754m		60×54・21	黒褐色土＋ ロームbk.	不整形	なし	古墳以前 縄文？	
232	黒色土 6層下位	N・ 753m		164×90・15	黒褐色土	不整形	なし	古墳以前 縄文？	
233	黒色土 6層下位	K～L・ 741m		64×60・	黒褐色土＋ ローム粒	不整形	なし	古墳以前 縄文？	
234	黒色土 6層下位	K～L・ 741m		70×84・5	－	不整形	なし	古墳以前 縄文？	
235	黒色土 6層下位	I・ 738m		74以上×26以上	黒褐色土＋ 軽石	半掘	なし	古墳以前 縄文？	
A	黄褐色土 8層	Q・ 773m		径128・35	－	略円形	なし	古墳以前 縄文？	東側道
B	黄褐色土 8層	Q～R・ 769m		102×116・25	－	不整形	なし	古墳以前 縄文？	東側道

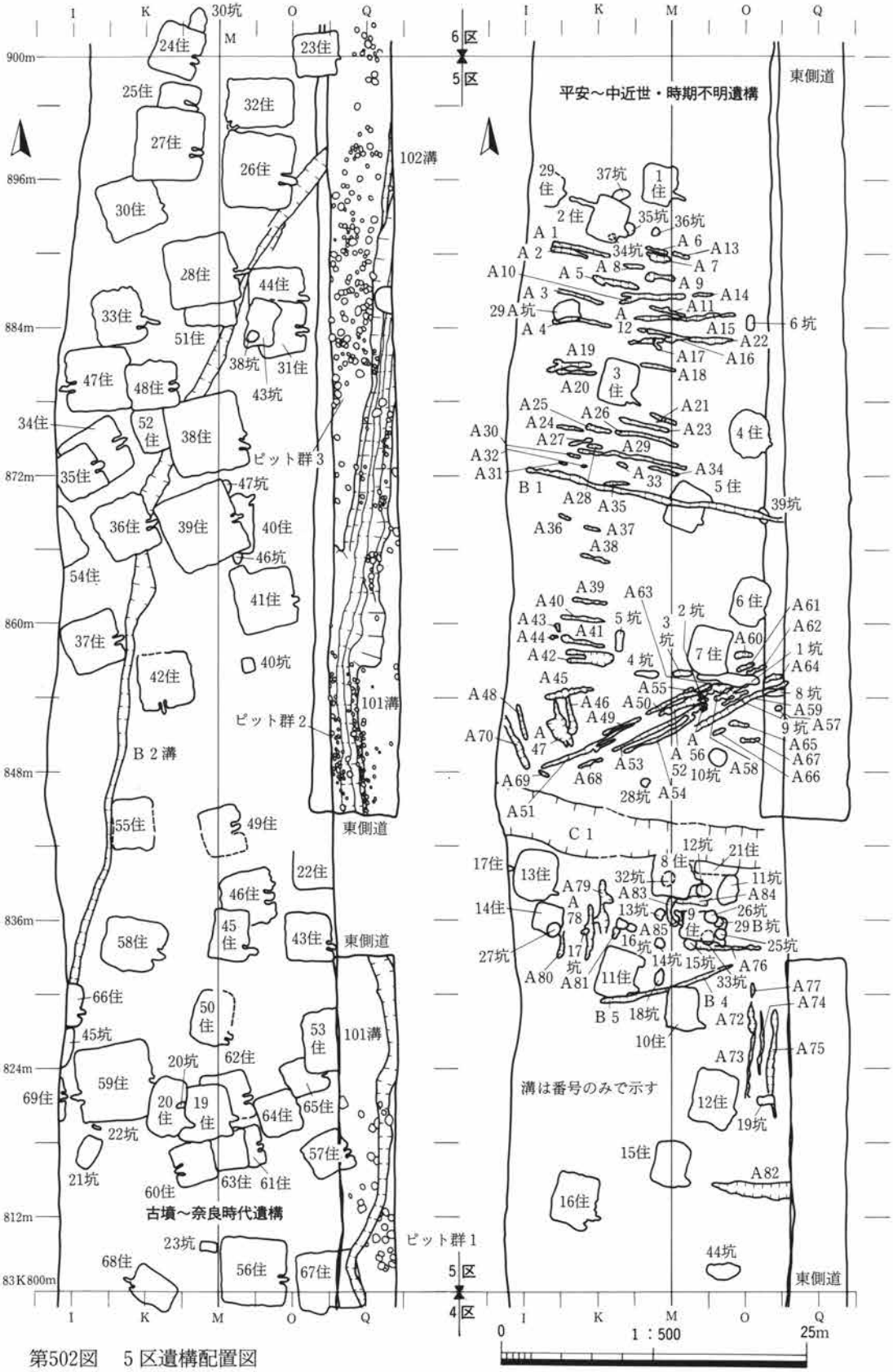
5 区 の 遺 構



第501図　変貌する沿線(5)群馬町中里の陸橋から南を望む

東側道の自転車付近は保渡田遺跡、その後方の高まりは三ツ寺Ⅲ遺跡、さらに後方は三ツ寺Ⅱ遺跡、三ツ寺Ⅰ遺跡と続く。斜路の取り付いているところが三ツ寺Ⅰ遺跡。中央後方は関東山地（高）・若田丘陵（低）。

1990年４月撮影



第502図　5区遺構配置図

5 区 の 概 要

大宮を起点とする5区のキロ呈は、83km800mから83km900mの範囲である。キロ程827mから838mの東側道部は、側道調査着手時点で生活道路が完成・利用されていたため、調査不可能であった。本区南端のキロ程800m付近、および北端の900m付近では、遺構の分布が連続的であり、それぞれの線上の遺構は調整して便宜的に4区・5区に帰属させた。

5区では下表の遺構を検出した。本区の遺構の重複は4区に比べてやや粗く、数軒の重複がみられるのはキロ程815m付近、830m付近、870m付近の3カ所である。キロ程890m付近から北側は6区以北につながる傾斜面で、本遺跡北側の微高地上に立地する三ッ寺III遺跡との中間に位置する低地に連なる。この低地は南西部に広がって、キロ程885mの調査区西端付近に現れる。

上層で検出したA類溝は平行するものが数条のグループをなし、地点によってその走行方位が異なる等のことから、畠跡の可能性が高い。B2号溝は住居との重複関係を見直した結果、調査区内検出の住居よりも古いことが分かった。本遺跡ののる微高地の歴史にとって重要な役割を果たしたと考えられる。101号溝は東側道調査（第二次調査）で検出したもので、覆土に榛名山噴出のFPを多量に含んでいた。出土遺物には8世紀以降のものも含まれる。27号住居は遺物の遺存状態が良好で、セット関係の良い資料を提供している。

本区も、遺構検出状態からみて、さらに新幹線用地外に遺構が広がることが確実である。

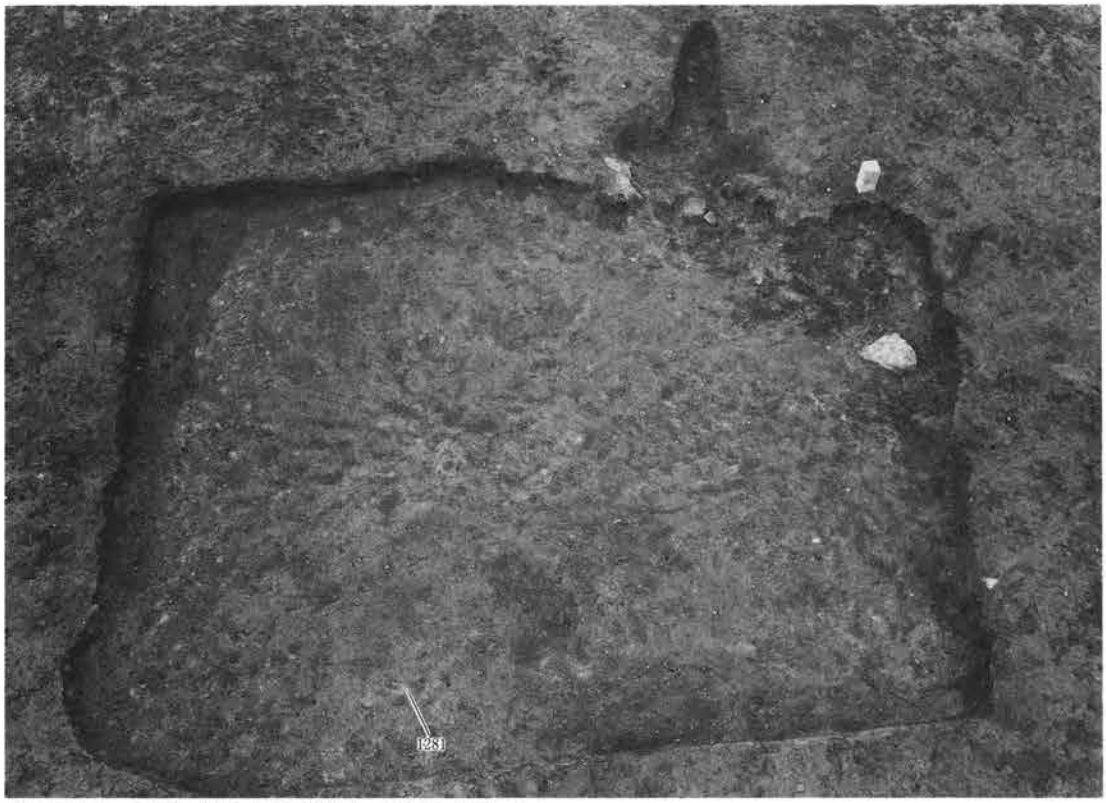
表5　5区検出遺構

遺構	時代									欠番	小計
	縄文	弥生	古墳				奈良	平安	不明		
			前期	中期	後期	(古)*1					
住居	0	0	0	20	21	4	4*2	19	—	1*3	69
掘立柱建物											0
ピット群									3	3	
井戸											0
溝						3			88		91
土坑									42	5	47
水田											0
畠											0

＊1　時期分離できない
＊2　古墳～奈良と推定したもの2軒を含む
＊3　18住＝欠番

三ッ寺II　5区　1号住居跡（第503・722図，図版330）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

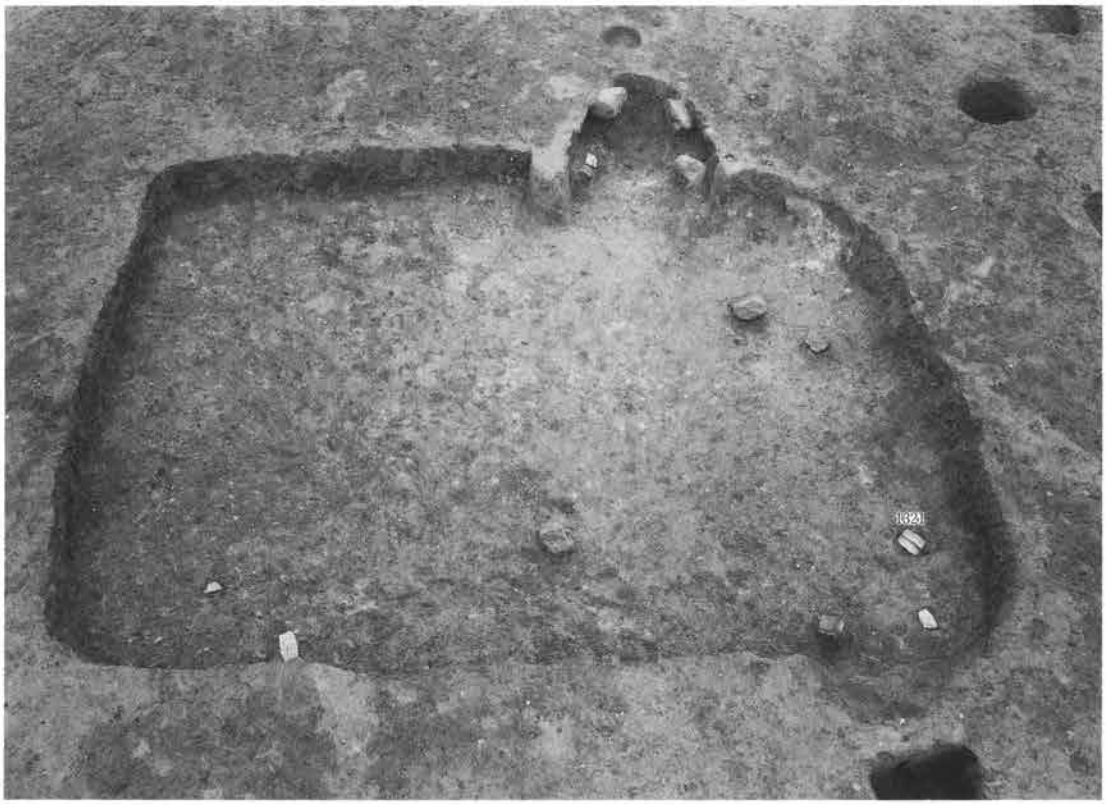
平面形　長方形，規模　308×277，面積　8.5m²，壁高　2～8，長軸方位　N10度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N104度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	，検出位置：M・889m付近
重複関係：26・27住→1住	，覆　土：灰褐色系の土＋黄褐色土bk，
壁　：浅い	，床　面：プラン検出範囲よりも内側で検出，やや軟弱
主　柱　穴：－	，壁　溝：－
カ　マ　ド：袖部遺存不良，煙道部約100cm検出，燃焼部は壁の内側にある，燃焼部から土器小片出土	
貯　蔵　穴：床面で検出なし，南東隅土坑または南西隅土坑か？	
掘　形：第1～4土坑検出，第2・4土坑は上層に黄白色土が入り灰が混じる，北東部は凹凸著しい	
そ　の　他：北辺・南辺は掘りすぎか？	
遺　物：土器21片，カマド内から土師質羽釜底部片出土，南辺東寄り掘形から18cm大の直方体の石出土，1281（灰釉陶器椀）	
時　期：平安，10世紀後半～11世紀	



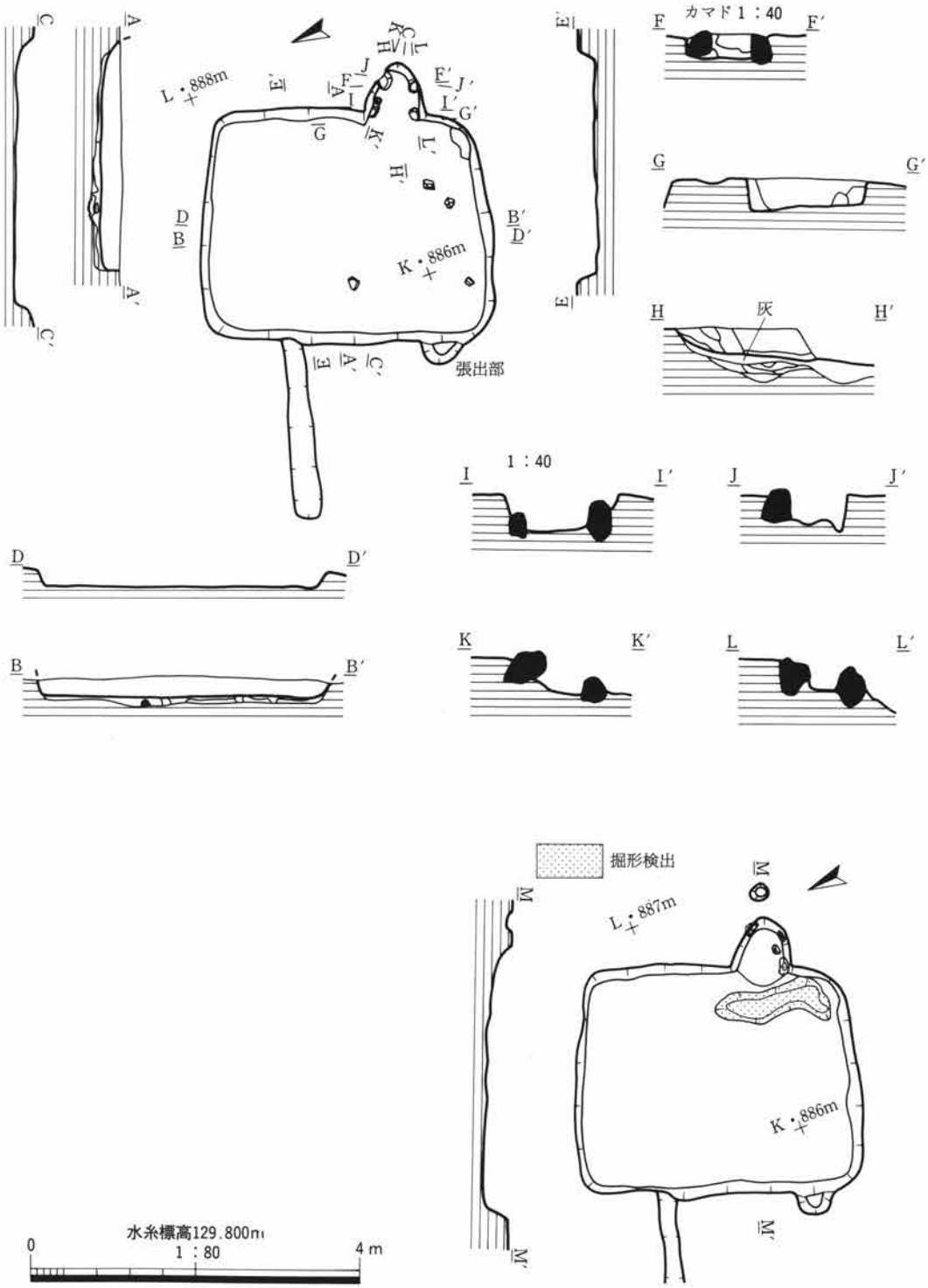
第503図　5区1号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　2号住居跡（第504・722図，図版331）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　台形，規模　356×282，面積　10.0m²，壁高　15～28，長軸方位　N22度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N123度E，構築材　粘土・石・土器？，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：Kライン・886m付近
重複関係：30住→2住	覆　土：灰褐色系の土＋黄褐色土bk．
壁　：斜めに立ち上がる	床　面：貼床，平坦
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：右袖部遺存不良，燃焼部両壁に石を据える，奥壁にも石2個を据える，南半に散乱する石はカマド構築材か？	
貯　蔵　穴：－	
掘　形：カマド前に140×40・深さ7ほどの不整形掘り込み検出	
そ　の　他：西辺南寄りに径55・深さ8の張出部検出	
遺　物：土器20片，カマド内から羽釜口縁部出土，1321	
時　期：平安，10世紀	



第504図　5区2号住居跡遺物出土状態（西から）

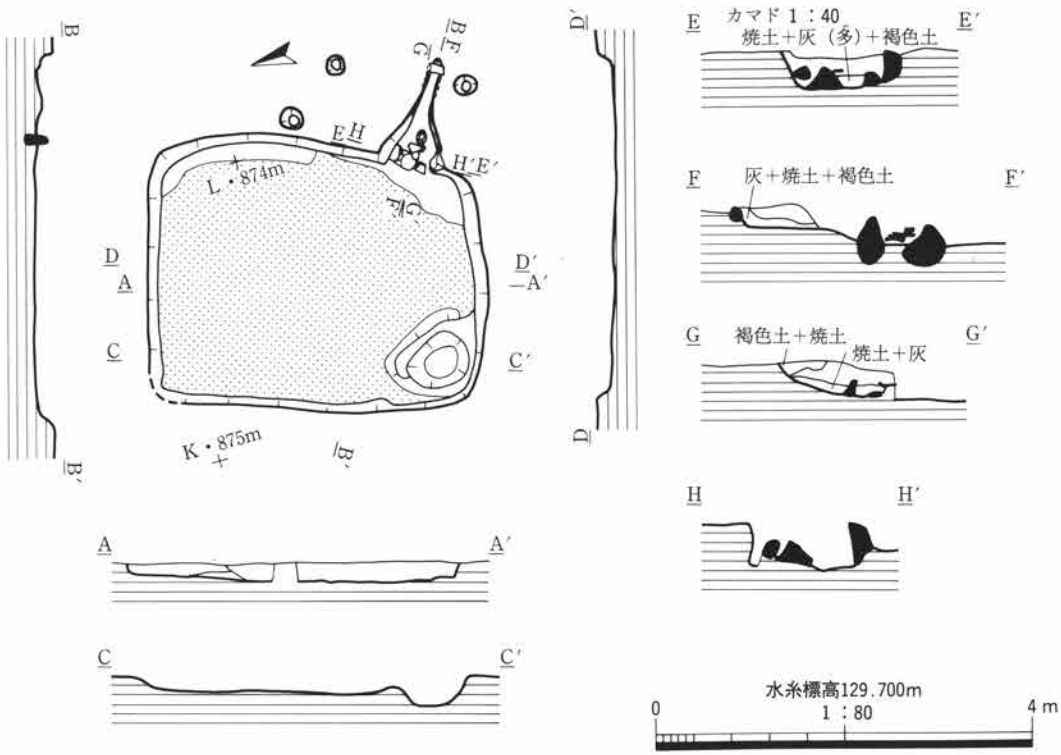


第505図　5区2号住居跡

三ッ寺II　5区　3号住居跡（第506・722図，図版332）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　360×281，面積　10.1m²，壁高　10～18，長軸方位　N17度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N121度E，構築材　粘土・石・土器？，支脚　石	
貯蔵穴　位置　南西隅，平面形　不整形，上パ67×54，下パ37×30，深さ　15	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：K～Lライン・873m付近
重複関係：48住→3住	覆　土：灰褐色系の土＋黄褐色土bk．
壁　：斜めに立ち上がる，浅い	床　面：壁際の底面は一部黒色土が露出し軟弱，貼床
主柱穴：－	壁　溝：－
カマド：燃焼部は住居壁ラインから突出する，壁ラインに20～30cm大の石出土，右袖部の石は据えた状態で出土，燃焼部中央に15cm大の細長い石を据えて支脚とする，煙道部約70cm検出，煙道先端部に羽釜底部片をのせる，燃焼部から羽釜口縁部出土	
貯蔵穴：中央部側は土手状にやや高い，土器片出土	
掘　形：やや軟弱，掘形から鬼高期の土器出土	その他：北西隅は掘りすぎ
遺　物：土器110片，カマド内から土師質羽釜口縁部出土，覆土から須恵器壺？・羽釜底部出土，1231（土師質杯）	
時　期：平安，10世紀	

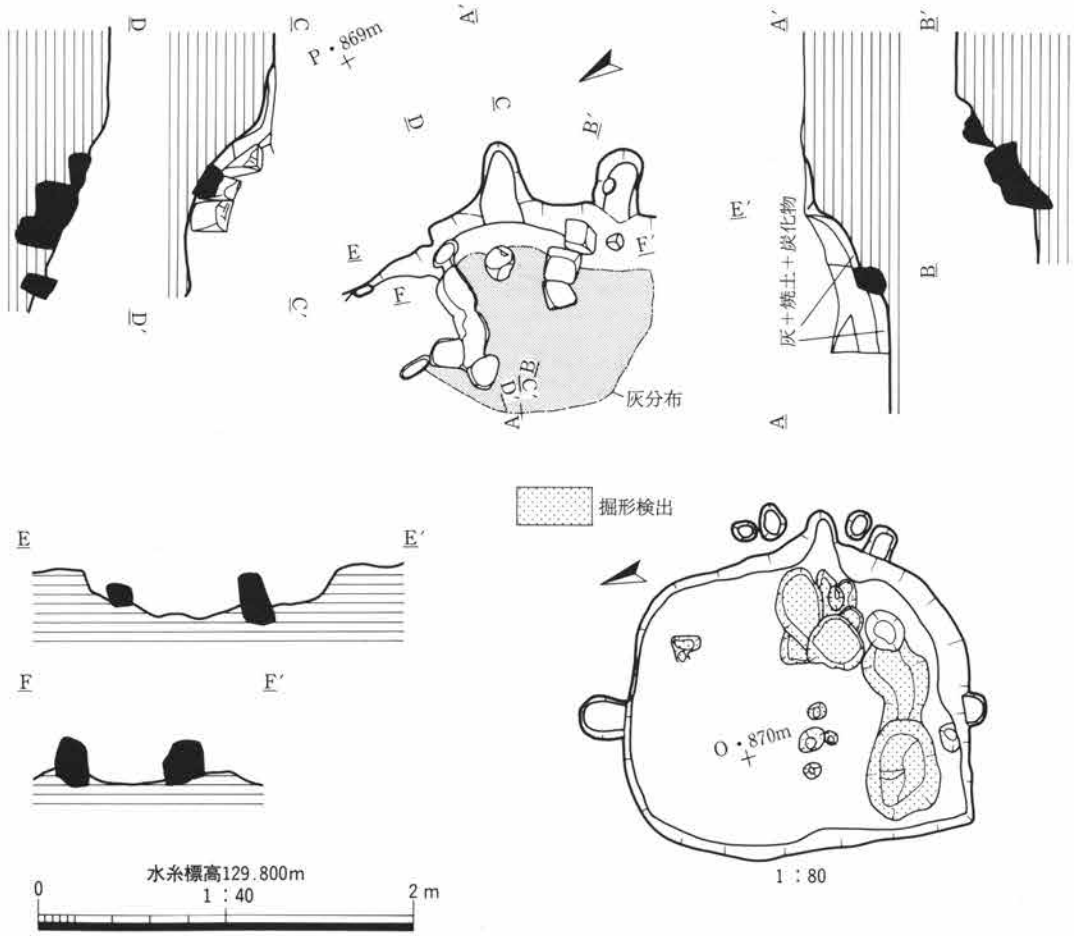
第506図　5区3号住居跡遺物出土状態（西から）



第507図　5区3号住居跡

三ッ寺II　5区　4号住居跡（第508・722図，図版333・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略楕円形，　規模　371×315，　面積　9.2㎡，　壁高　33～45，　長軸方位　N12度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺中央，　対称軸方位　N117度E，　構築材　粘土・石，　支脚　石	
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　不整形，　上パ51×35，下パ19×12，　深さ　16	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	，検出位置：Oライン・869m付近
重複関係：－	，覆　土：灰褐色系の土，レンズ状堆積
壁　：斜めに立ち上がる	，床　面：貼床，細かい凹凸あり，壁際軟弱
主　柱　穴：－	，壁　溝：－
カ　マ　ド：20～30cm大の石数個で袖部を形成する，右袖基部は直方体に加工した石を使用，燃焼部は住居壁	
の内側にある，燃焼部中央から丸味のある石出土（支脚？），左袖脇出土の細長い石が支脚か？	
貯　蔵　穴：掘り込み不明確	，掘　形：小ピット状の凹凸あり
そ　の　他：南西隅は掘りすぎ，楕円形に近いプランは例が少ない，隅丸長方形か？	
遺　物：土器216片・石1個，覆土から土師器コの字口縁の甕・須恵器折曲口縁蓋・大型甕頸部出土，	
カマド左袖脇から20cm大の細長い石出土，	
1251（須恵器杯，床面）・1252（土師器杯，床面）	
時　期：平安，9世紀	



第508図　5 区 4 号住居跡

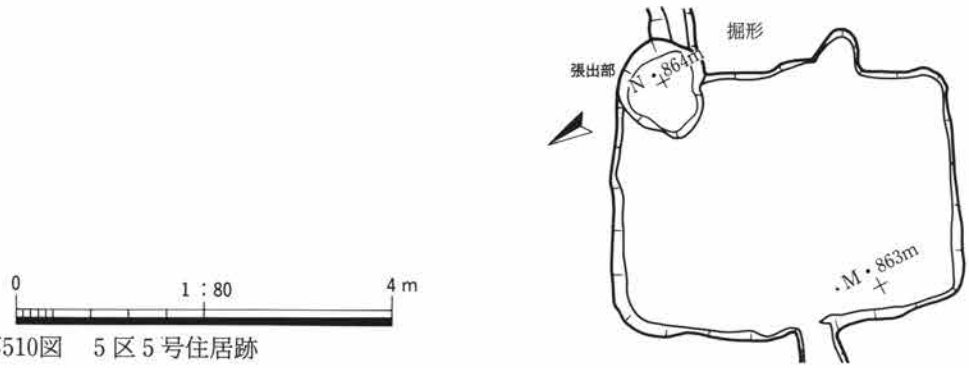
第509図　5 区 4 号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　5号住居跡（第510図，図版334）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

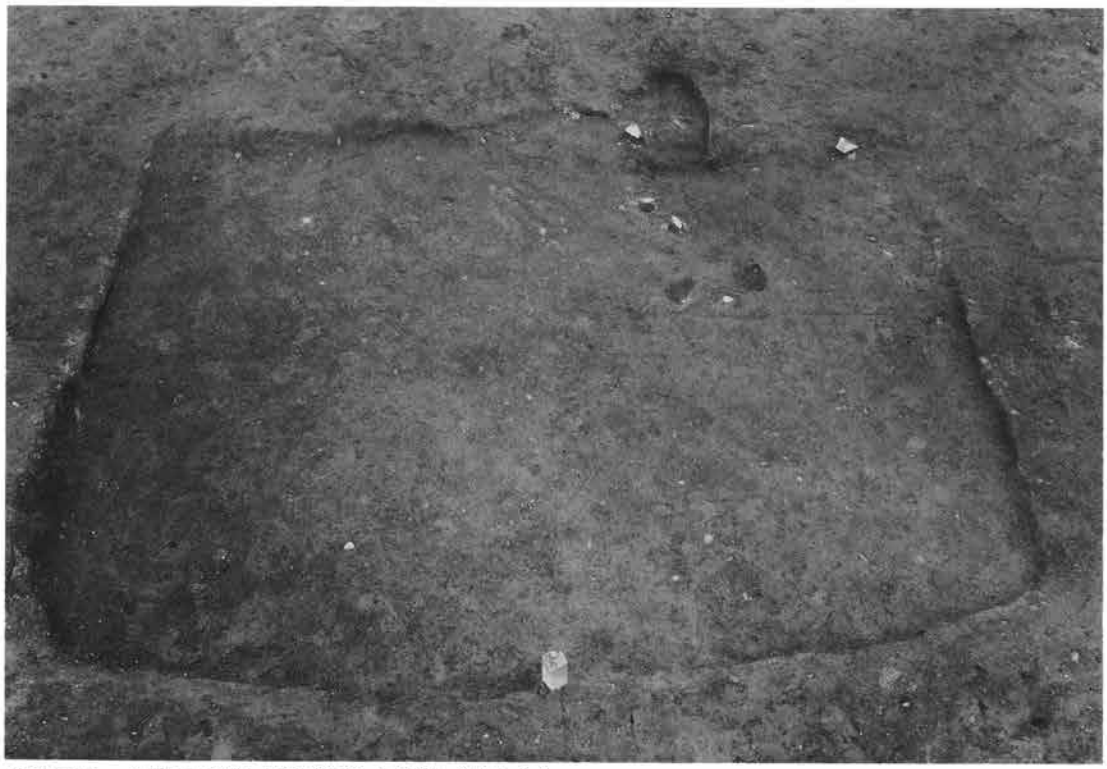
平面形	長方形，規模　361×287，面積　10.4m²，壁高　2～12，長軸方位　N25度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N123度E，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	位置　不明

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：M～Nライン・863m付近
重複関係：39・40住→5住→B1溝	覆　　土：灰褐色系の土
壁　　：浅い	床　　面：貼床，平坦
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：袖部遺存不良，焼土分布のみ	貯　蔵　穴：－
掘　　形：南西部から土器片出土	
そ　の　他：北東隅で100×90・深さ5ほどの不整形張出部検出	
遺　　物：土器115片，床面近くから土師質杯底部・羽釜口縁部・二次火熱を受けた高台付椀出土，遺物図掲載なし	
時　　期：平安	



第510図　5区5号住居跡



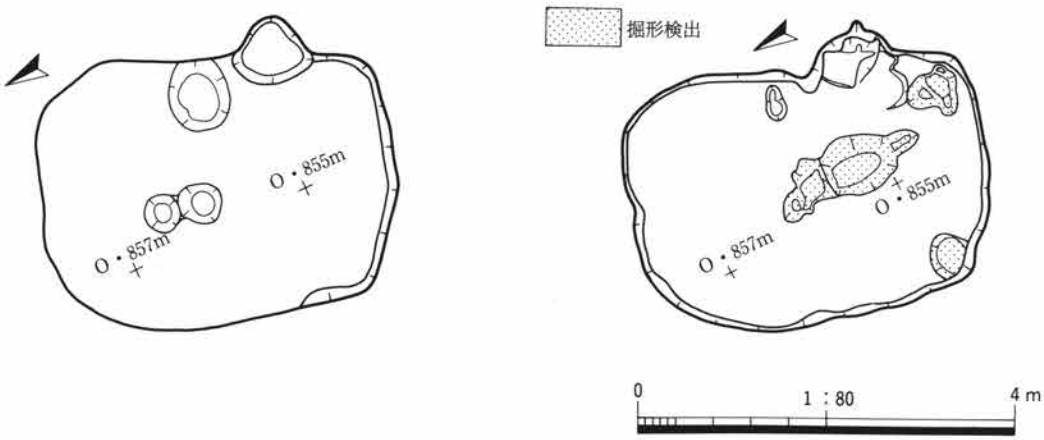
第511図　5区5号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　6号住居跡（第512・722図，図版335）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	隅丸長方形，規模　(380)×(280)，面積　(10.6) m²，壁高　12以下，長軸方位　N91度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　－，構築材　粘土？，支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確　認　面	暗褐色土，5層下位	検出位置	Oライン・856m付近
重複関係	41住→6住	覆　土	灰褐色系の土
壁	浅い，北半は床面範囲のみ検出	床　面	貼床不明確，掘形面に近いか？
主　柱　穴	－	壁　溝	－
カ　マ　ド	遺存不良，燃焼部から土器片出土	貯　蔵　穴	カマド左脇の掘り込みか？
掘　形	カマド前中央部・南東隅で不整形土坑検出，南西隅で径45・深さ14の土坑径		
そ　の　他	全体に遺存不良のため詳細不明		
遺　物	土器86片，南東隅付近から土師質小皿出土，カマド付近から羽釜底部（外底「×」ヘラ記号？）出土，覆土から須恵器甕体部片・鉄滓1個出土，1213（高台付椀，内底炭化物，南東隅）		
時　期	平安，11世紀		

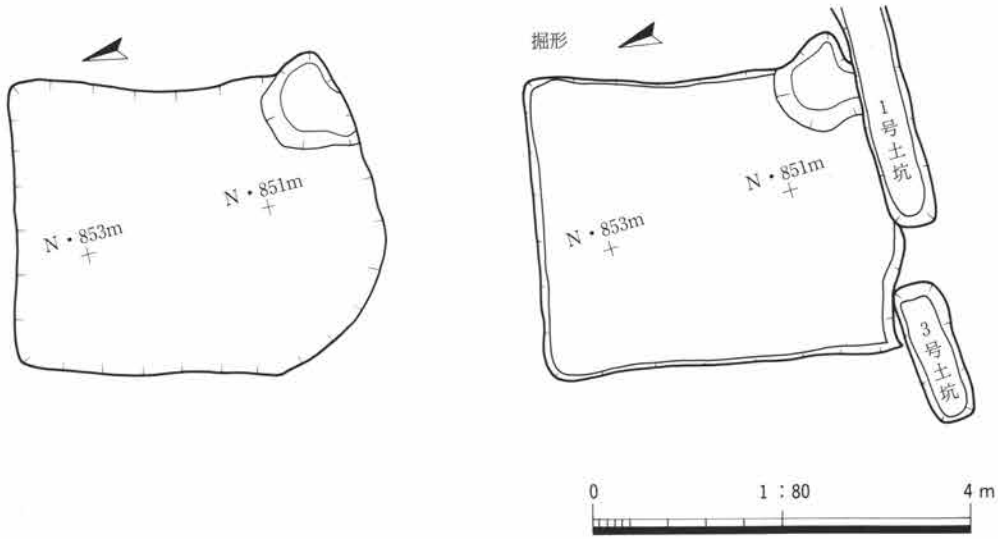


第512図　5区6号住居跡

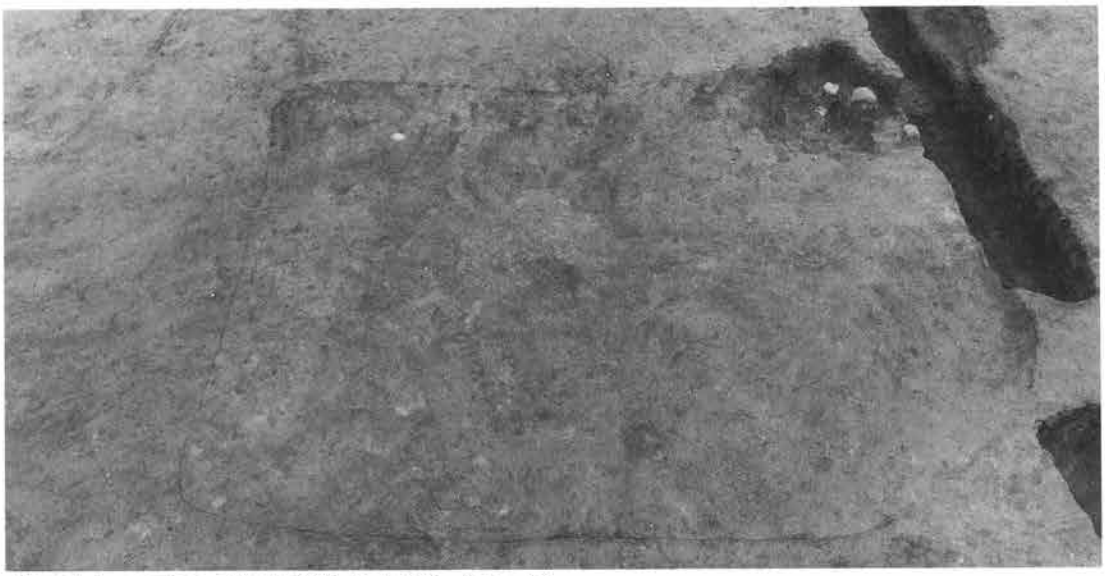
第513図　5区6号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　7号住居跡（第514図，図版336）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不整形，　規模　(390)×(300)，　面積　－，　壁高　－，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　南東隅？，　対称軸方位　－，　構築材　粘土？，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：Nライン・850m付近
重複関係：4 1住→7住→1坑・A類溝	覆　土：黒褐色系の土＋黄褐色土ｂｋ．
壁　：－	床　面：ほぼ掘形面まで削平
主柱穴：－	壁　溝：－
カマド：南東隅土坑はカマド前掘り込みか？	貯蔵穴：－
掘　形：－	その他：遺存不良，削平著しく詳細不明
遺　物：土器156片，土坑内から須恵器鍔付甑・羽釜出土，遺物図掲載なし	
時　期：平安	



第514図　5区7号住居跡



第515図　5区7号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　8号住居跡（第516・722図，図版336・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，　規模　東西340×南北320以上，　面積　－，　壁高　16～28，　長軸方位　－
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺，　対称軸方位　N96度E，　構築材　粘土，　支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，　平面形　略円形，　上パ90×78，下パ63×60，　深さ　35

その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位　　，検 出 位 置：Mライン・834m付近

重 複 関 係：40・49住→8住→C1溝　　，覆　　土：褐色系の土

壁　　：斜めに立ち上がる，北東部不明確　　，床　　面：貼床，平坦，北側は溝により破壊

主 柱 穴：－　　，壁　　溝：－

カ マ ド：袖部遺存不良，燃焼部奥壁に段がある，煙り出し小ピット検出

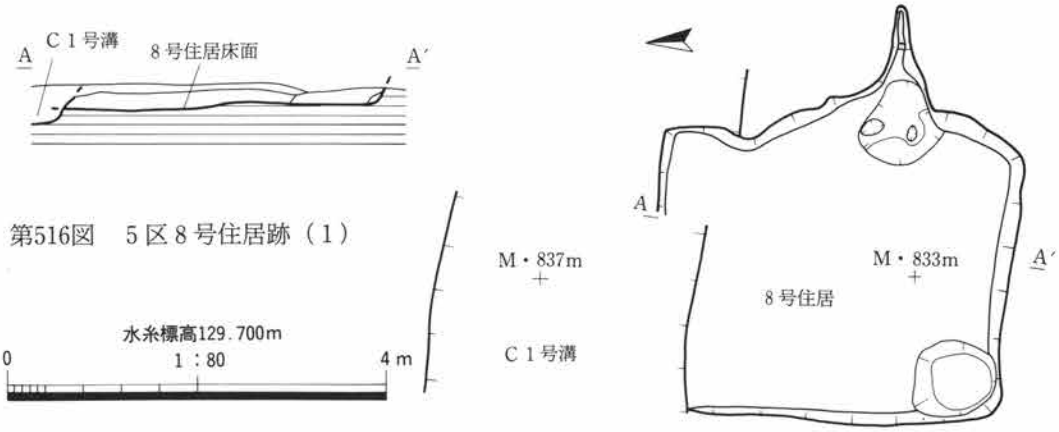
貯 蔵 穴：東側上パ近くで土器出土　　，掘　　形：カマド前掘り込み検出，北辺の一部？検出

そ の 他：－

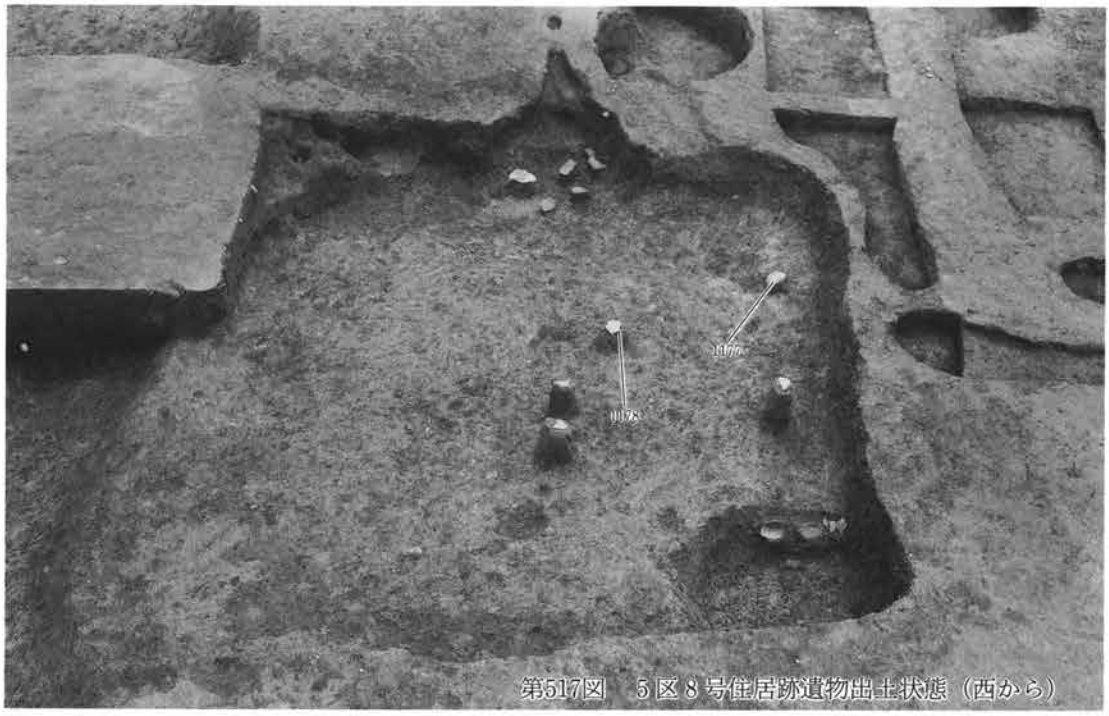
遺　　物：土器48片・石2個，貯蔵穴から土師質高台付椀出土，カマド付近から土釜破片・羽釜破片・須恵器甕破片出土，

1177（土師質杯，外底静止糸切り）・1178（灰釉陶器高台付皿，中央床面）

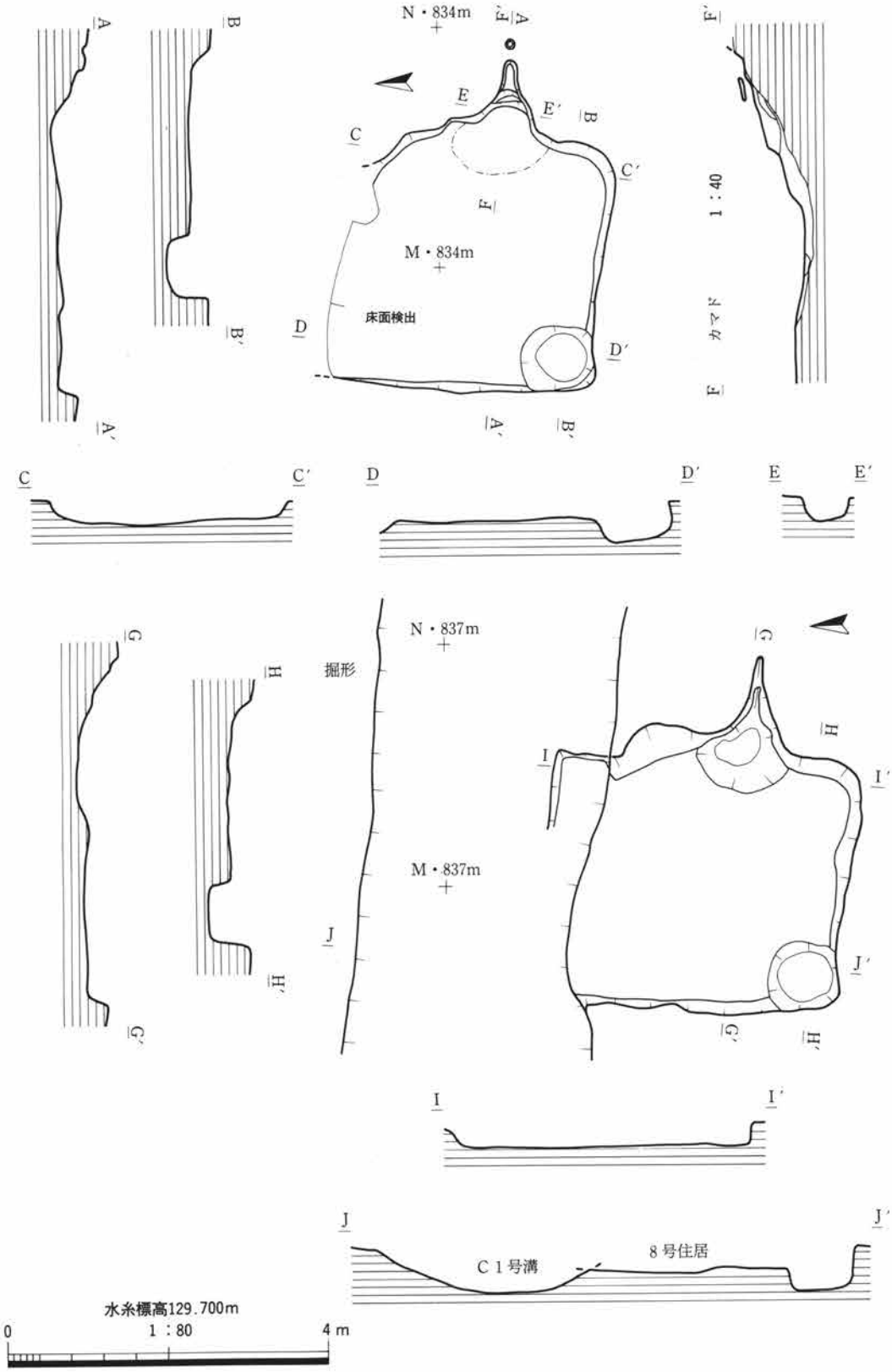
時　　期：平安，11世紀前半



第516図　5区8号住居跡（1）



第517図　5区8号住居跡遺物出土状態（西から）



第518図　5区8号住居跡（2）

三ッ寺II　5区　9号住居跡（第519・722図，図版337・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，　規模　370×241，　面積　8.9m²，　壁高　19～37，　長軸方位　N99度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　南東隅，　対称軸方位　N134度E，　構築材　粘土・石？・土器？，　支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確　認　面	暗褐色土，５層下位　　,検 出 位 置：Nライン・829m付近
重 複 関 係	４５住・４６住・２９B坑→９住→２５坑・２６坑・A７６溝・A８５溝
覆　　土	黒褐色系の土　　,　壁　　：斜めに立ち上がる
床　　面	貼床，平坦　　,主　柱　穴：－
壁　　溝	－
カ　マ　ド	燃焼部・煙道は斜めに突出する，燃焼部右壁際から須恵器大型甕破片出土，カマド前は土坑により破壊，奥壁は斜めに立ち上がる
貯　蔵　穴	－
掘　　形	中央部石の南側で不整形土坑検出，北東隅で２９号土坑検出
そ　の　他	小型長方形のプラン，類例は少ないが４区３３号住居は同様のプランか？
遺　　物	土器115片・石2個，カマド内から須恵器大型甕体部片出土，中央部床面から土師質高台付椀底部出土，中央部の石には煤付着，1175（土師質杯,カマド）・1176（土釜,カマド他）
時　　期	平安，１１世紀前半

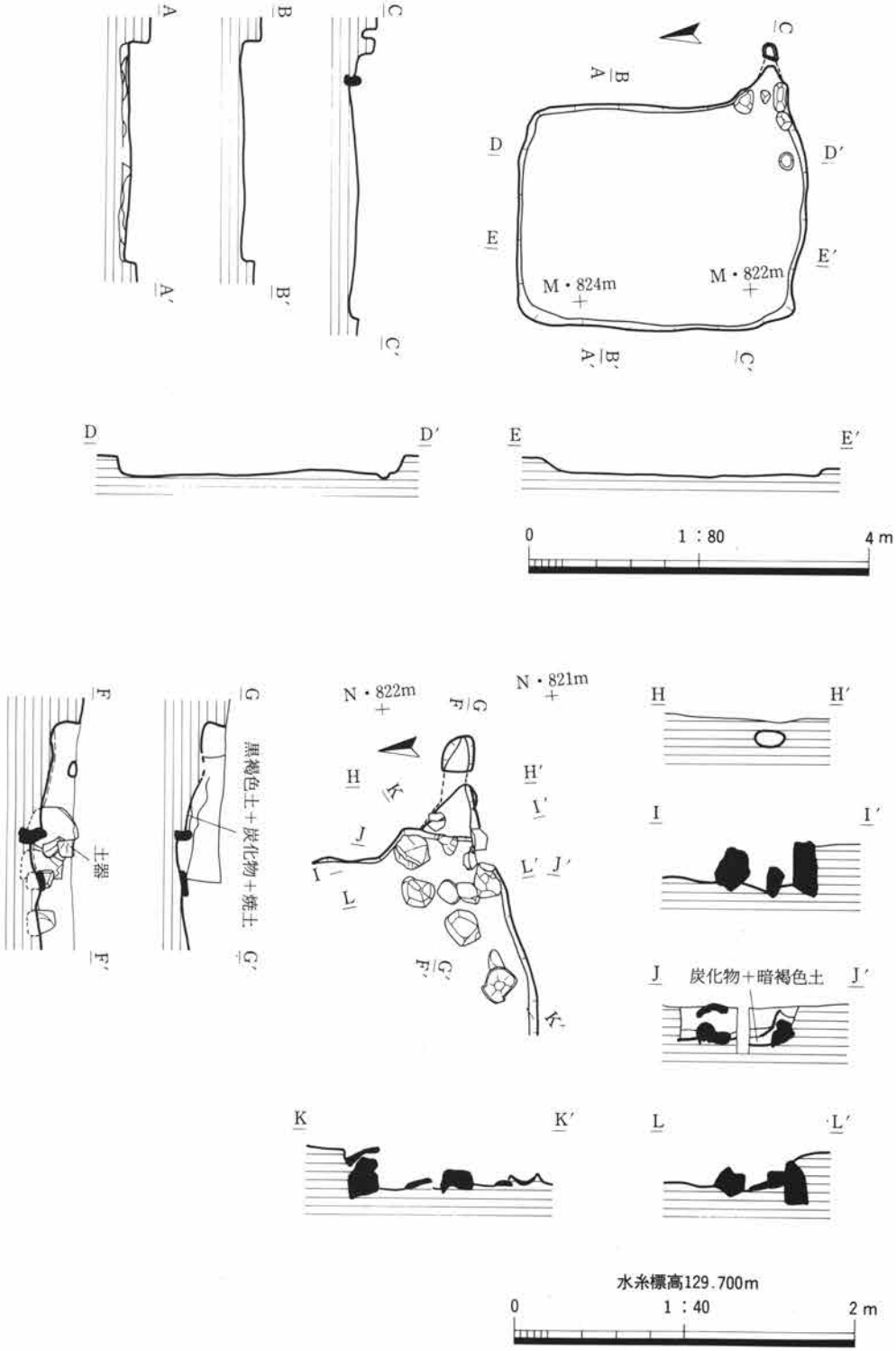
第519図　５区９号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　10号住居跡（第520・722図，図版338・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　338×262，　面積　8.9m²，　壁高　12～24，　長軸方位　N6度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　南東隅，　対称軸方位　N101度E，　構築材　粘土・石・土器？，　支脚　石	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層	検出位置：M～Nライン・823m付近
重複関係：50住→B5溝→？10住	覆　土：褐色系の土＋黄褐色土粒子
壁　：直に近い	床　面：貼床，平坦
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：20～40cm大の石を積み上げて構築する，右袖部には大型土器の破片も使う，燃焼部中央に石を据えて支脚とする，燃焼部は住居東壁ラインから直角方向に突出する，煙り出し部検出	
貯　蔵　穴：－	掘　形：下層住居の一部プラン検出
そ　の　他：南辺東寄りで径20・深さ5の浅いピット検出	
遺　物：土器357片，覆土から小皿2枚出土，床面近くから須恵器高台付椀・羽釜口縁部出土，南辺東寄りから須恵器甕底部出土（砂底，正立状態），1157・1158・1159	
時　期：平安，11世紀後半	

第520図　5区10号住居跡カマド遺物（西から）

第521図　5区10号住居跡遺物出土状態（西から）



第522図　5区10号住居跡

三ッ寺II　5区　11号住居跡（第523・723図，図版339・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　390×295，面積　(11.5) ㎡，壁高　3～11，長軸方位　N21度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N120度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　不整円形，上パ78×66，下パ67×46，深さ　20

その他（状況の記録）

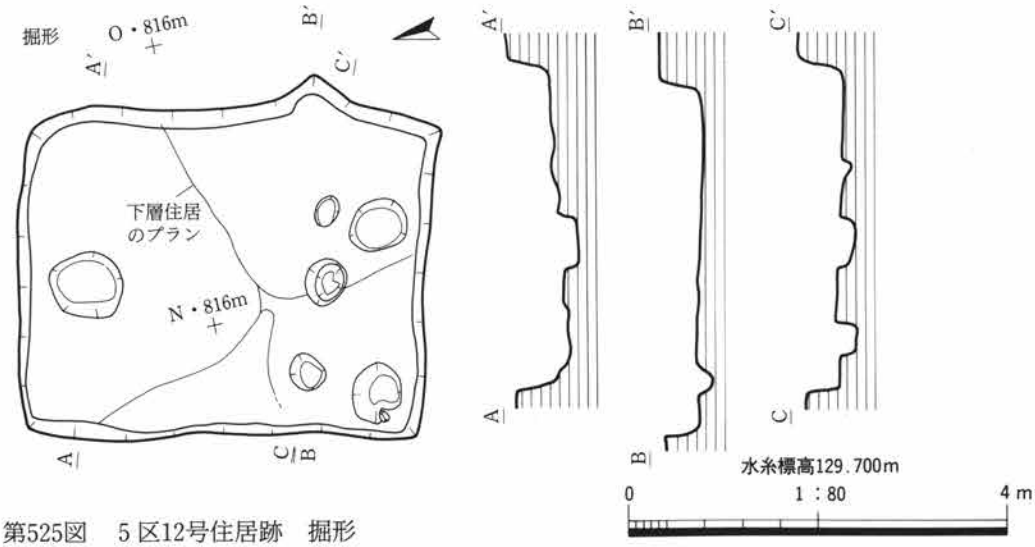
確認面	暗褐色土，5層	検出位置	K～Lライン・826m付近
重複関係	58住→11住→B5溝・A79溝	覆土	黒褐色系の土
壁	浅い	床面	貼床，平坦
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	遺存不良，10～15cm大の石数個出土，左脇では礫層露出		
貯蔵穴	南西隅第1土坑	掘形	中央部くぼむ
その他	北東隅で径80・深さ10前後の張出部検出，北西隅はA79溝により破壊		
遺物	土器43片・石2個，南東隅床面から須恵器甕体部片出土，覆土から土師質小皿・高台付杯（内黒）出土，1232に重なる小皿は同定できず，1232・1233		
時期	平安，11世紀前半		

第523図　5区11号住居跡遺物出土状態（西から）

第524図
5区11号住居跡
カマド掘形（西から）

三ッ寺II　5区　12号住居跡（第525・723図，図版340・512）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　424×350，　面積　14.8m²，　壁高　28～44，　長軸方位　N15度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，　対称軸方位　－，　構築材　粘土？，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：Nライン・815m付近
重複関係：62住・64住・65住→12住	覆　土：褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる	床　面：貼床，平坦
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：袖部未検出，遺存不良，半径130cmほどの範囲に焼土・灰が分布，奥壁はわずかに住居壁外に出る	
貯　蔵　穴：－	掘　形：土坑数基検出，下層住居プランの一部検出
そ　の　他：中央南寄りの土坑は上層からの掘り込み	
遺　物：土器353片，覆土から土釜底部・土師質羽釜・高台付椀出土，接合しない刀子破片あり，0687（刀子茎，覆土）・1122・1123・1124（灰釉陶器高台付皿，覆土）	
時　期：平安，11世紀前半	



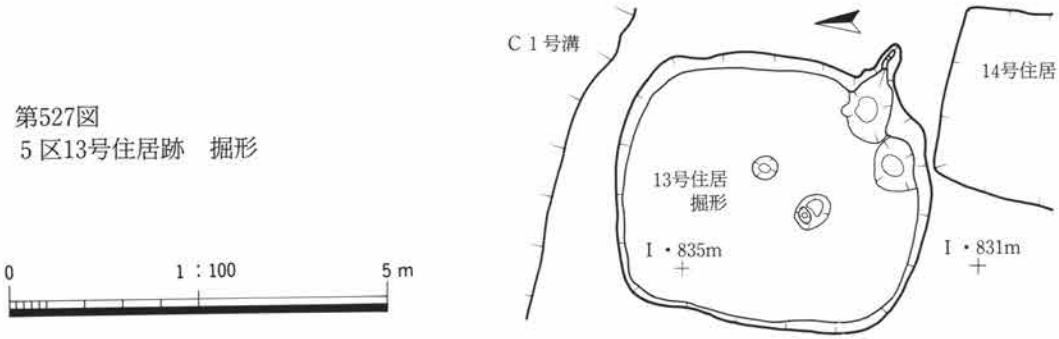
第525図　5区12号住居跡　掘形

第526図　5区12号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　13号住居跡（第527図，図版341）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　隅丸長方形，　規模　419×355，　面積　(14.9) ㎡，　壁高　9～32，　長軸方位　N12度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，　対称軸方位　N111度E，　構築材　粘土・石，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：I～Jライン・834m付近
重複関係：B2溝→13住	覆　土：灰褐色系の土
壁　：斜めに立ち上がる	床　面：貼床，平坦
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：袖部遺存不良，燃焼部はわずかに住居壁より突出する，カマド前床面に灰が分布，燃焼部から石・土器片出土，煙道部長さ約40cm検出	
貯　蔵　穴：－	掘　形：細かい凹凸検出
そ　の　他：全体に丸味のあるプラン	
遺　物：土器73片・石1個，カマド前左の床面から土師質小皿破片出土，カマド内から土釜破片出土，火を受けた石出土，遺物図掲載なし	
時　期：平安	

第527図
5区13号住居跡　掘形

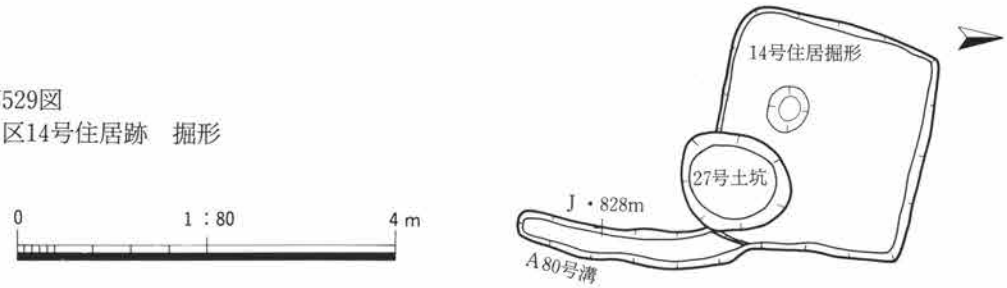


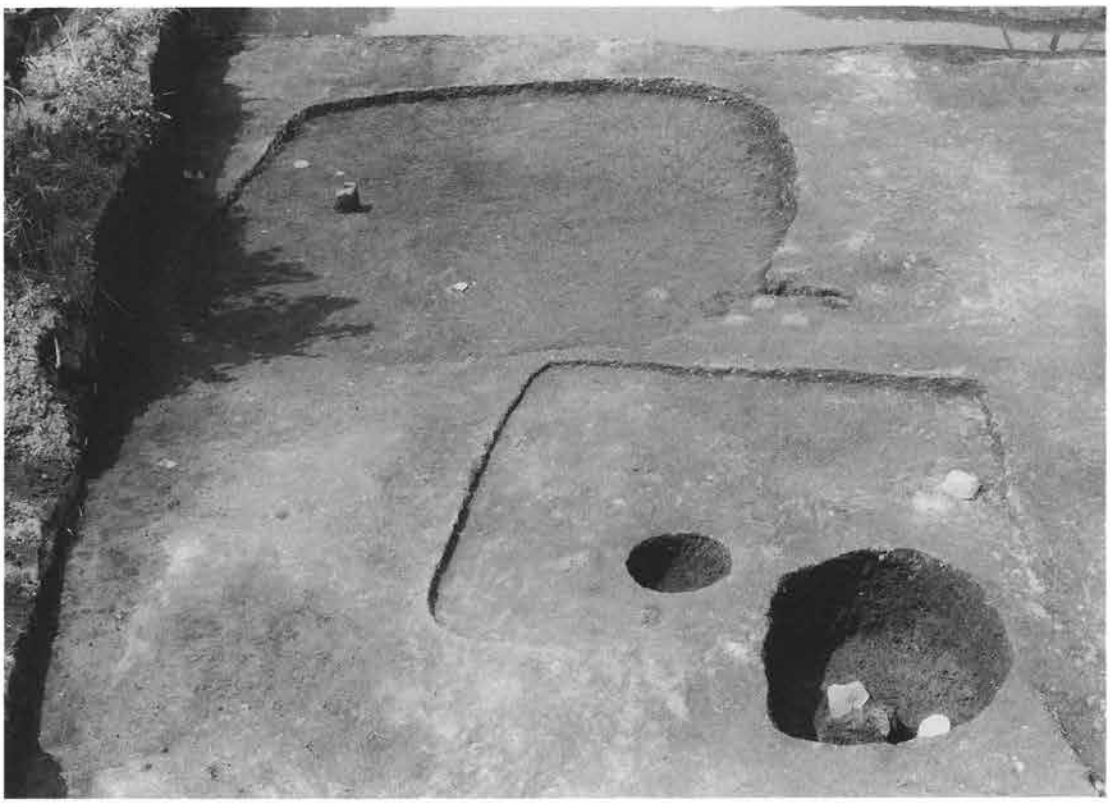
第528図　5区13号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　14号住居跡（第529図，図版342）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　242×225，　面積　（5.4）m²，　壁高　3～8，　長軸方位　N106度E	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　南東隅？，　対称軸方位　－，　構築材　不明，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，５層下位	検出位置：Ｉ～Ｊライン・830m付近
重複関係：Ｂ２溝→１４住→２７坑	覆　　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　　：浅い	床　　面：平坦
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：２７号土坑により破壊，詳細不明	貯　蔵　穴：－
掘　　形：－	
そ　の　他：規模がとくに小さい，２７号土坑出土の遺物は本住居のものか？	
遺　　物：土器21片，覆土から模倣杯小片・外稜杯小片・灰釉陶器椀口縁部出土，遺物図掲載なし	
時　　期：平安	

第529図
５区14号住居跡　掘形





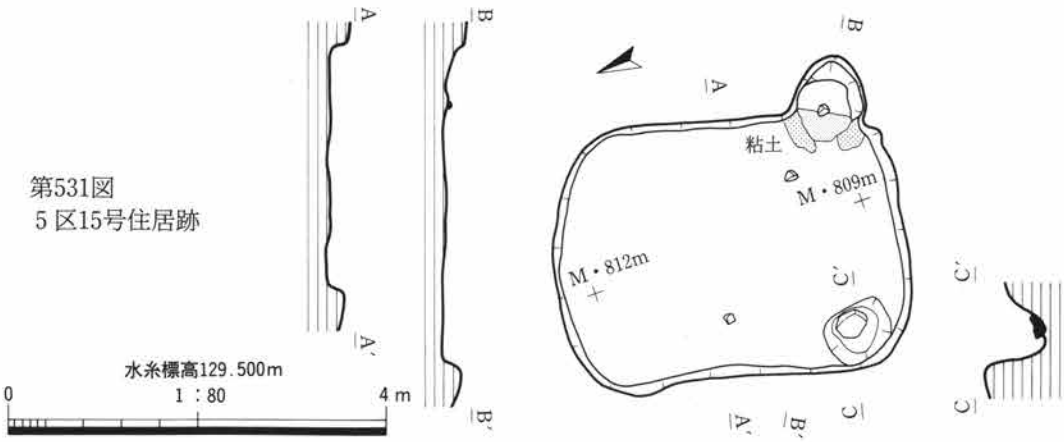
第530図　５区14号住居跡遺物出土状態（南から）

三ッ寺II　5区　15号住居跡（第531図，図版343）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

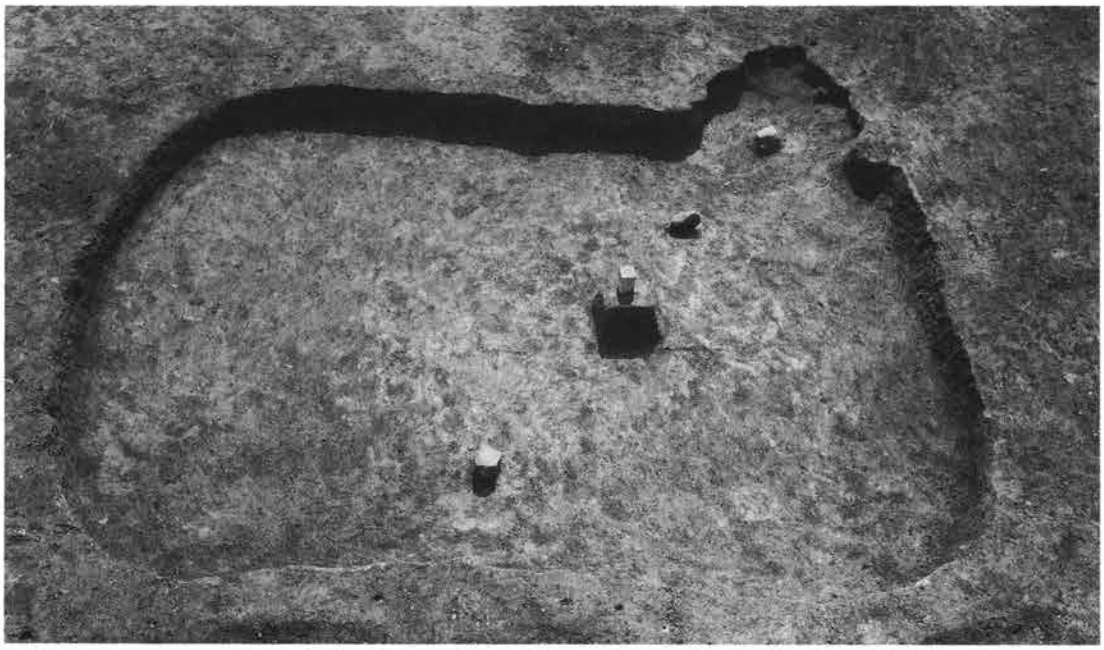
平面形	隅丸長方形，　規模　373×264，　面積　（9.8）m²，　壁高　15～20，　長軸方位　N15度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　南東隅，　対称軸方位　N123度E，　構築材　粘土，　支脚　石？
貯蔵穴	位置　南西隅，　平面形　略楕円形，　上パ69×58，下パ46×46，　深さ　39

その他（状況の記録）

確認面	暗褐色土，5層下位	検出位置	Mライン・810m付近
重複関係	19住・60住・61住→15住	覆土	黒褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる	床面	貼床，平坦，細かい凹凸あり
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	燃焼部は住居壁外へ突出する，袖部の痕跡らしき粘土が薄く逆ハの字状に分布，粘土分布の内側で中央の石の西側に炭化物分布		
貯蔵穴	下層床面で検出，30cm大の石出土	掘形	－
その他	全体に丸味のあるプラン		
遺物	土器312片，覆土から須恵器甕底部・土師質土器高台付椀出土，遺物図掲載なし		
時期	平安		



第531図
5区15号住居跡



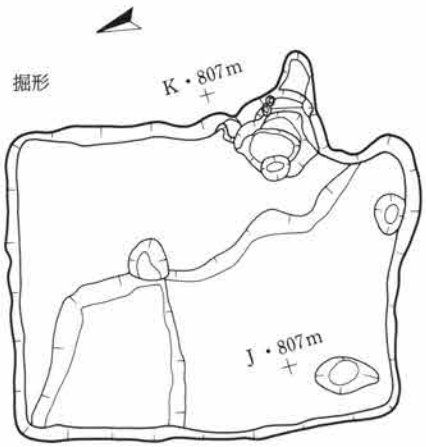
第532図　5区15号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　16号住居跡（第533図，図版344）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

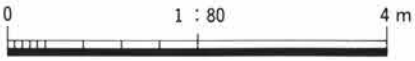
平面形	長方形，規模 400×340，面積 13.6m²，壁高 16～33，長軸方位 N17度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り，対称軸方位 N122度E，構築材 粘土・石？，支脚 石？
貯蔵穴	位置 南辺東寄り，平面形 楕円形，上パ54×33，下パ21×13，深さ 22

その他（状況の記録）

確認面	暗褐色土，5層下位	検出位置	J～Kライン・806m付近
重複関係	－	覆土	褐色系の土＋軽石
壁	斜めに立ち上がる	床面	貼床，平坦，壁直下は軟弱
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	燃焼部は住居壁外へ突出する，袖部未検出，燃焼部中央で小石出土，カマド前で20cm大の石出土		
貯蔵穴	底面も楕円形を呈する，小型		
掘形	西半は不整形に落ち込む，カマド燃焼部はくぼむ		
その他	南東隅はやや突出		
遺物	土器69片・鉄滓1個，覆土から土釜口縁部・土師質高台付椀底部出土，遺物図掲載なし		
時期	平安		



第533図
5区16号住居跡　掘形



第534図　5区16号住居跡遺物出土状態（西から）

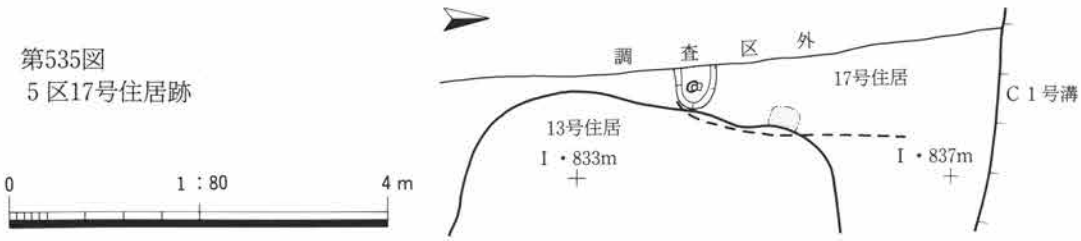
三ッ寺II　5区　17号住居跡（第535・723図，図版405）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　不明，　規模　－，　面積　－，　壁高　－，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　－，　構築材　不明，　支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南辺？，　平面形　円形～楕円形，　上パ45×43以上，下パ32×38以上，　深さ　4	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，５層下位	,検出位置：H～Ｉライン・834m付近
重複関係：１７住→？１３住	,覆　　土：灰褐色系の土
壁　　：－	,床　　面：－
主　柱　穴：－	,壁　　溝：－
カ　マ　ド：焼土分布範囲のみ検出	,貯　蔵　穴：調査区壁にかかって検出，半掘
掘　　形：－	,そ　の　他：確認時点で殆ど削平，プラン未検出
遺　　物：土器3片，羽釜口縁部出土， 1282（土師質高台付椀，貯蔵穴）	
時　　期：平安，１０世紀後半	

三ッ寺II　5区　18号住居跡

欠番

第535図
5区17号住居跡

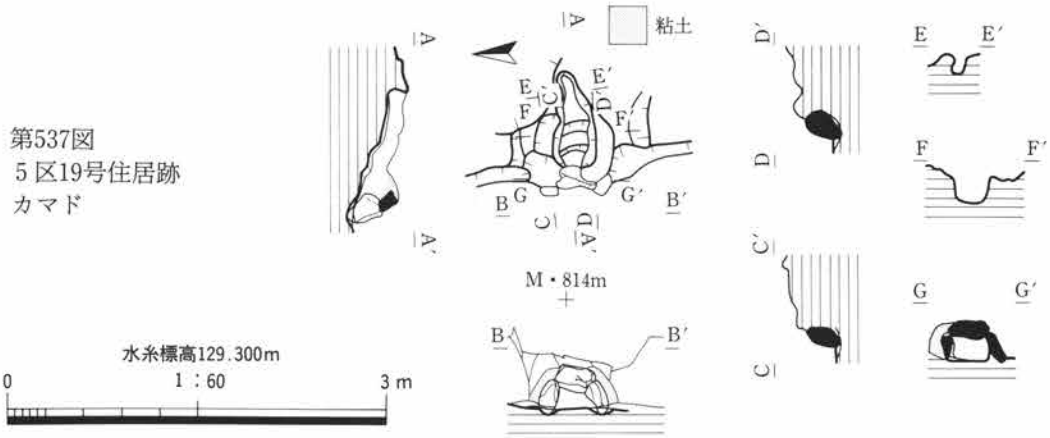


第536図　5区17号住居跡遺物出土状態（東から）

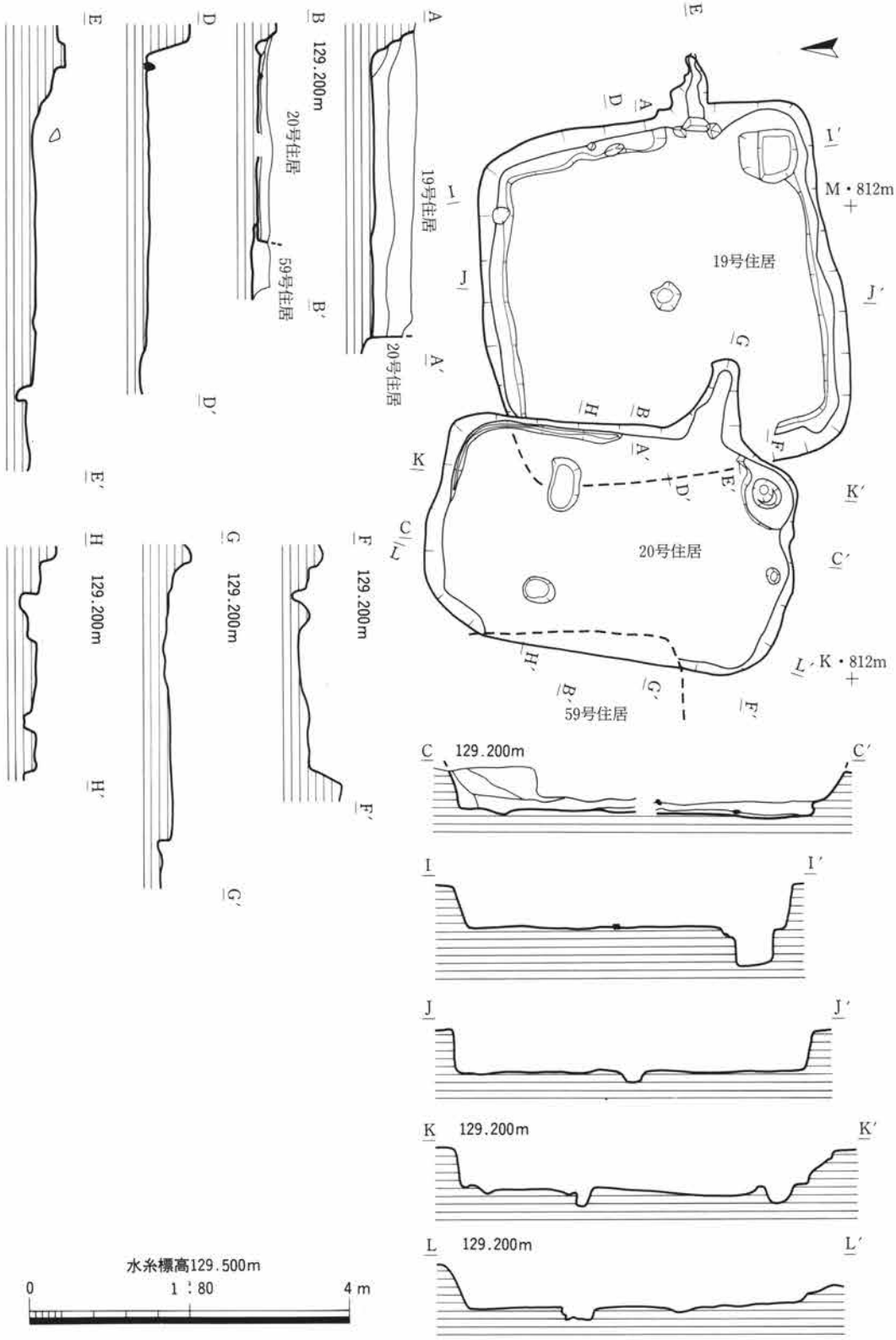
三ッ寺II　5区　19号住居跡（第537・723図，図版345）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	（方形），規模　南北452×東西450前後，面積　－，壁高　38～56，長軸方位　－
壁　溝	幅　20，深さ　2
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N89度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上パ49×68，下パ34×47，深さ　46
その他（状況の記録）	
確　認　面	：暗褐色土，5層下位～6層，検出位置：Mライン・814m付近
重複関係	：62住→19住→20住，覆　土：暗褐色系の土＋軽石
壁	：斜めに立ち上がる，やや深い，床　面：黄褐色土面に達する，堅く締まる
主　柱　穴	：－，壁　溝：東辺南半を除き検出内全周
カ　マ　ド	：両袖先端部に石を据え粘土で固める，焚口天井部にも横長に石を乗せる，奥壁は階段状を呈す，燃焼部は住居壁ライン上にある
貯　蔵　穴	：壁は直線的に掘り込む，掘　形：西半の凹凸著しい
そ　の　他	：西辺は20号住居により破壊，北西隅未検出，略方形プランか？，中央部に不整形掘り込み検出
遺　物	：土器351片，カマド前床直上から土師器短脚高杯出土，覆土から模倣杯・小型甕出土，1154・1155
時　期	：古墳中期，5世紀末

第537図
5区19号住居跡
カマド



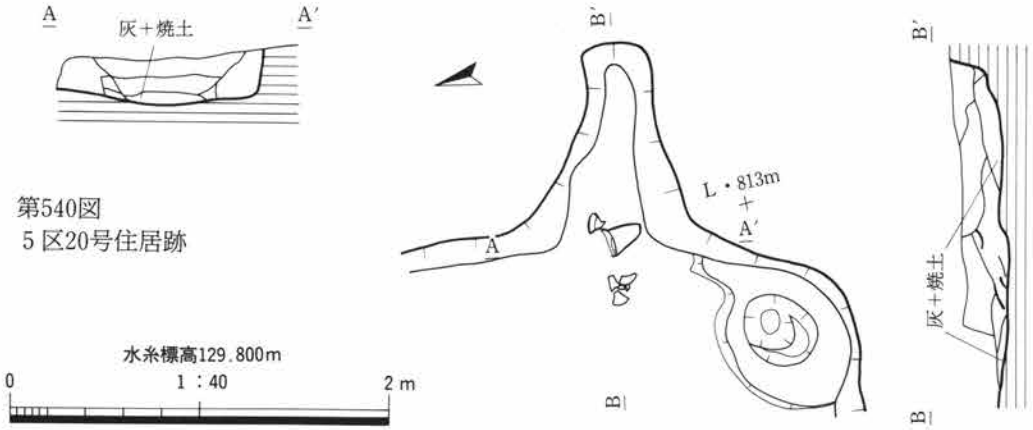
第538図　5区19号住居跡遺物出土状態（西から）



第539図　5区19・20号住居跡

三ッ寺II　5区　20号住居跡（第539・723図，図版346）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　隅丸長方形，規模　475×277，面積　13.2m²，壁高　11～53，長軸方位　N10度E	
壁　溝　幅　10，深さ　3	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N111度E，構築材　粘土，支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　楕円形，上パ41×33，下パ11×12，深さ　20	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位～6層	検出位置：K～Lライン・814m付近
重複関係：19住→20住，59住→20住	覆　土：褐色系の土＋黄褐色土bk．
壁　：立ち上がり不明確な部分あり	床　面：細かい凹凸あり，貼床
主　柱　穴：－	壁　溝：北東部のみ検出
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにのる煙道・燃焼部から土師器甕破片出土	
貯　蔵　穴：土手状に床面より高い部分がある	掘　形：黄褐色土面に達する
そ　の　他：上層の略方形の掘り込みは住居プランの誤認による	
遺　物：土器297片，南西部床面近くから須恵器甕肩部出土，覆土から外稜杯出土，1120・1121	
時　期：古墳後期，7世紀前半	



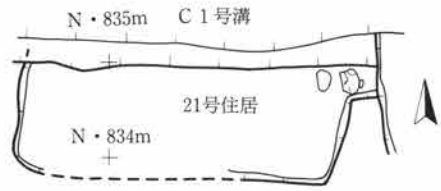
第540図
5区20号住居跡

第541図　5区20号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　21号住居跡（第542・723図，図版347）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　東西346，面積　－，壁高　14～24，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，対称軸方位　－，構築材　粘土・石，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：N～Oライン・835m付近
重複関係：21住→C1溝	覆　土：灰褐色系の土
壁　：浅い	床　面：痕跡程度
主　柱　穴：－	壁　溝：－
カ　マ　ド：北東部で火を受けた20～30cm大の石出土，この石を中心に焼土粒子が散布，遺存不良	
貯　蔵　穴：－	掘　形：－
そ　の　他：大半はC1号溝により破壊，削平著しい，詳細不明	
遺　物：土器99片，小型甕破片出土，1174（土釜または羽釜）	
時　期：平安	

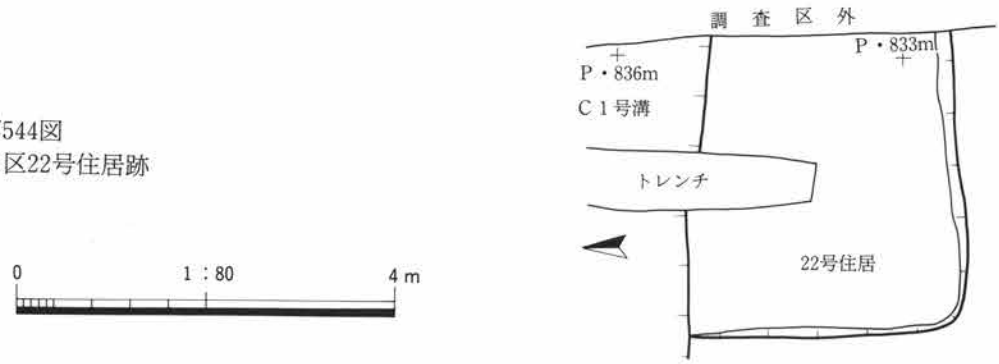
第542図
5区21号住居跡



第543図　5区21号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　22号住居跡（第544・724図，図版347）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　－，面積　－，壁高　12～24，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	,検出位置：O～Pライン・833m付近
重複関係：22住→C1溝	,覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：浅い	,床　　面：貼床，やや軟弱
主　柱　穴：－	,壁　　溝：－
カ　マ　ド：－	,貯　蔵　穴：－
掘　　形：－	
そ　の　他：南西隅を検出したのみ，南辺298・西辺285，北側はC1号溝により破壊，東側は調査区外，遺存不良で詳細不明	
遺　　物：土器65片・石1個，覆土から双孔滑石製品・半球杯・高杯杯部出土，1253（土師器半球杯）	
時　　期：古墳中期，5世紀末	



第544図
5区22号住居跡

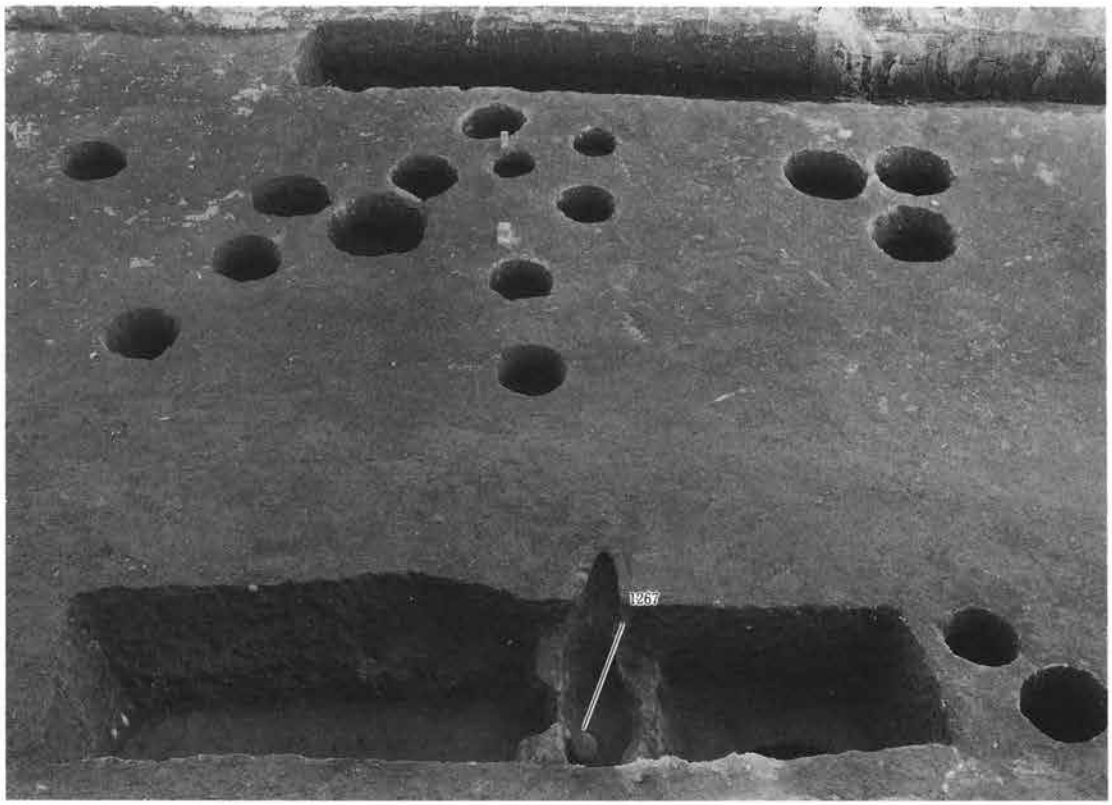
第545図　5区22号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　23号住居跡（第546・724図，図版348・513）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北341×東西364，面積　12.4m²，壁高　37～53，長軸方位　N88度E						
壁　溝　幅　8，深さ　2						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	20	18×25	13×12	14×16	1－2：138	2－3：136
下パ径	11	5×3	10×6	7	3－4：148	4－1：140
深　さ	23	20	18	29		
カマド　位置　東辺中央やや南寄り，対称軸方位　N96度E，構築材　粘土，支脚　土器？						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　隅丸方形，上パ51×52，下パ27×24，深さ　56						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層	，検出位置：O～Pライン・900m付近
重複関係：－	，覆　土：灰褐色系の土＋軽石
壁　：直に近い	，床　面：黄褐色土面に達する，堅く締まる
主　柱　穴：ピット1底面には石あり	，壁　溝：南辺のみ検出，西辺・北辺は小ピットの連続
カ　マ　ド：二次調査（東側道調査）で検出，燃焼部は住居壁ラインの内側にある，燃焼部から土器出土	
貯　蔵　穴：底面は長方形，深い	，掘　形：凹凸著しい，小ピット多数検出
そ　の　他：南西隅・南辺東寄りで浅い掘り込み検出，東寄りピット内から土師器甕底部出土	
遺　物：土器8片，カマド付近から内斜杯・模倣杯出土，1109・1266・1267・1268	
時　期：古墳中期，5世紀末	



第546図　5区23号住居跡遺物出土状態（西から）

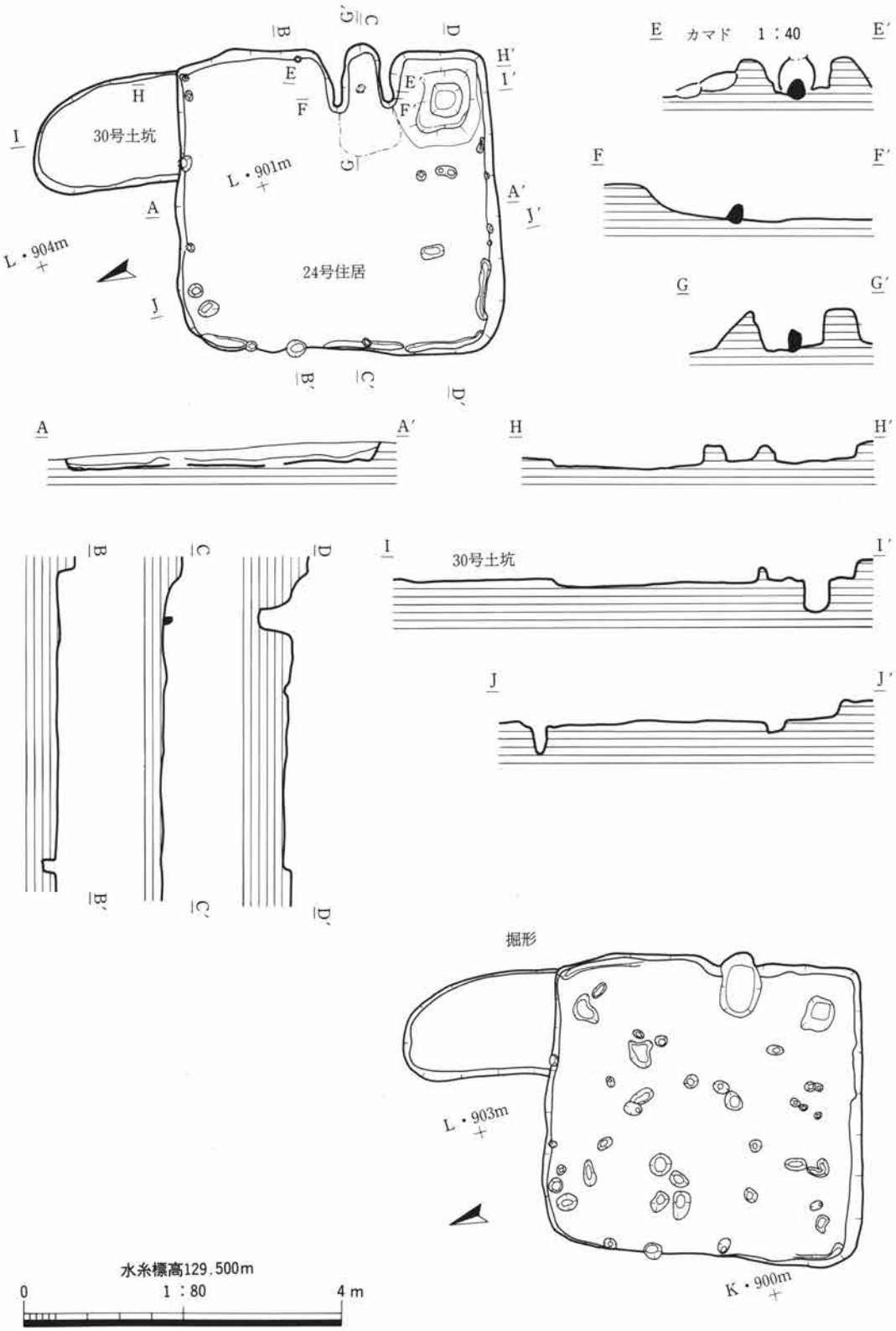
三ッ寺II　5区　24号住居跡（第547・724図，図版350・513）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北405×東西373，面積　15.1m²，壁高　8～25，長軸方位　N21度E
壁溝	幅　10，深さ　1～3
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N110度E，構築材　粘土・石，支脚　石
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　方形，上パ41×43，下パ23×23，深さ　42

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	Lライン・900m付近
重複関係	24住→30坑	覆土	黒褐色系の土＋軽石
壁	浅い	床面	中央部ややくぼむ
主柱穴	－	壁溝	西半は壁溝が断続する
カマド	燃焼部は住居壁ラインの内側にある，燃焼部中央に甕が懸かりその上から杯出土，左袖脇から小型甕口縁部＋甑が立て掛けたような状態で出土，右袖基部脇から口縁部を下にした甕が出土，燃焼部中央に石を据え支脚とする		
貯蔵穴	南北60・東西75の略長方形の範囲に2～3cmの深さのくぼみあり，この回りは土手状に高まりがある，周辺に向かって低くなる		
掘形	凹凸著しい，小ピット多数検出	その他	北西部遺存不良
遺物	土器48片，覆土から内斜口縁杯・小型甕口縁部出土，略完形の高杯を除き土器片は南半で多く出土している，1284・1285・1286・1287・1288・1289・1290		
時期	古墳中期，5世紀末		

第547図　5区24号住居跡遺物出土状態（西から）



第548図　5区24号住居跡

三ッ寺II　5区　25号住居跡（第549・725図，図版351・514）　　計測値単位cm，－：計測不明・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西319×南北205以上，　面積　－，　壁高　9～15，　長軸方位　－				
壁　溝　幅　9，　深さ　10				
主柱穴	1	2		主柱穴間の距離（下パ心心）
上パ径	15×17	22×23		1－2：133
下パ径	8	6		
深　さ	11	12		
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N105度E，　構築材　粘土，　支脚　石				
貯蔵穴　不明				

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Lライン・896m付近

重複関係：25住→27住→1住　　，覆　　土：灰褐色系の土＋軽石

壁　　：浅い

床　　面：細かい凹凸あり，黄褐色土面に達する，堅く締まる

主　柱　穴：南半は不明　　，壁　　溝：北辺東寄り・西辺の掘形調査で検出

カ　マ　ド：南半は27号住居により破壊，燃焼部は住居壁ラインの内側にある，奥壁近くから杯・甕の破片出土，土器の下から細長い石出土（支脚），右袖部わずかに遺存

貯　蔵　穴：－　　，掘　　形：小ピット検出，凹凸あり

そ　の　他：西辺のピットの深さ20cm，西辺205・北辺305・東辺180，中央部床面に石が数個散布

遺　　物：土器76片，中央部床面から甕・鉢破片出土，カマド内から甕口縁部出土，覆土から内斜杯出土，北西隅床面から10～20cm大の細長い石が9個集中して出土，1277・1278（甑，カマド左）

時　　期：古墳中期，5世紀末

第549図　5区25号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　5区　26号住居跡（第550・725図，図版352・514）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北590×東西572，　面積　33.7m²，　壁高　13～31，　長軸方位　N3度E

壁　溝　幅　9～15，　深さ　2～6

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	60×54	85×75	63×65	58×52	1－2：303	2－3：272
下パ径	39×27	33×25	25×20	23×24	3－4：290	4－1：283
深　さ	54	47	51	65		

カマド　位置　Aカマド；北東隅，　焼土・炭化物を検出したのみ，
Bカマド；東辺中央やや南，　対称軸方位　N104度E，　構築材　粘土，　支脚　不明，

貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　方形・楕円形，　上パ88×88，下パ40×23，　深さ　53

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：M～Oライン・890m付近

重複関係：26住→1住　　，覆　土：黒褐色系の土

壁　：直に近い　　，床　面：貼床，細かい凹凸あり，堅く締まる

主　柱　穴：4本検出，ピット4は二段に掘り込む　　，壁　溝：北辺～西辺で検出

カ　マ　ド：Aカマド；破壊され詳細不明

Bカマド；燃焼部は住居壁の内側にある，中軸線の方向は西辺と直角をなさない，当初掘り下げ不足のためカマド調査不十分，右袖脇から土器，煙道は壁外へ延びる

貯　蔵　穴：二段，上面方形・内部楕円形，中段の深さは約10～20cmある

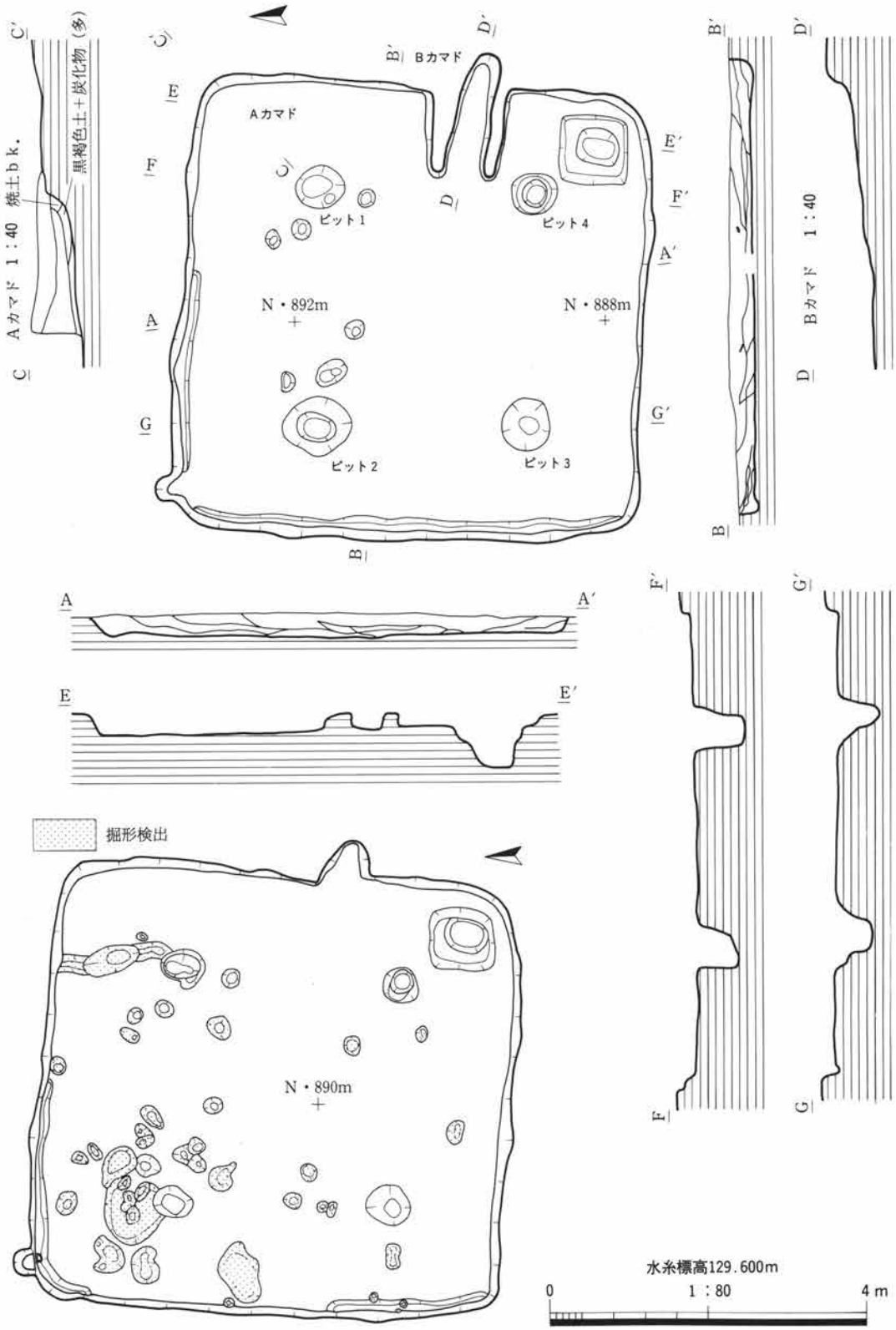
掘　形：凹凸著しい，小ピット多数検出，不整形ピット検出

そ　の　他：当初の掘り下げ不足のため遺物番号混乱か？

遺　物：土器911片，大型甑口縁部・短脚高杯・小型甕底部・模倣杯・内黒杯出土，覆土から丸胴甕出土，
床面近くから多量に出土しているが出土地点と遺物とが照合不能，取り上げ番号に混乱あり，
1299・1300・1301・1302（須恵器蓋）・1303・1304・1305（滑石製紡錘車）

時　期：古墳後期，6世紀前半

第550図　5区26号住居跡遺物出土状態（西から）



第551図　5区26号住居跡

三ッ寺II　5区　27号住居跡（第552・725図，図版352・514）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北579×東西541，面積　31.3m²，壁高　14～28，長軸方位　N5度E					
壁　溝	幅　9～17，深さ　3～8					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	48×39	50×43	42×26	40×25	1－2：306	2－3：310
下バ径	10×12	22×20	16×22	12×5	3－4：302	4－1：311
深　さ	50	52	55	23		
カマド	位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N93度E，構築材　粘土，支脚　石					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上バ61×82，下バ28×44，深さ　46					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：K～Lライン・893m付近

重複関係：25住・30住→27住→1住　　，覆　　土：褐色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：貼床，堅く締まる

主　柱　穴：4本検出，ピット1・4は二段に掘り込む

壁　　溝：カマド周辺を除き全周

カ　マ　ド：周辺に遺物が遺存，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央に石を据えて支脚とする

貯　蔵　穴：底面も長方形，壁は直線的に掘り込む　　，掘　　形：小ピット検出，細かい凹凸あり

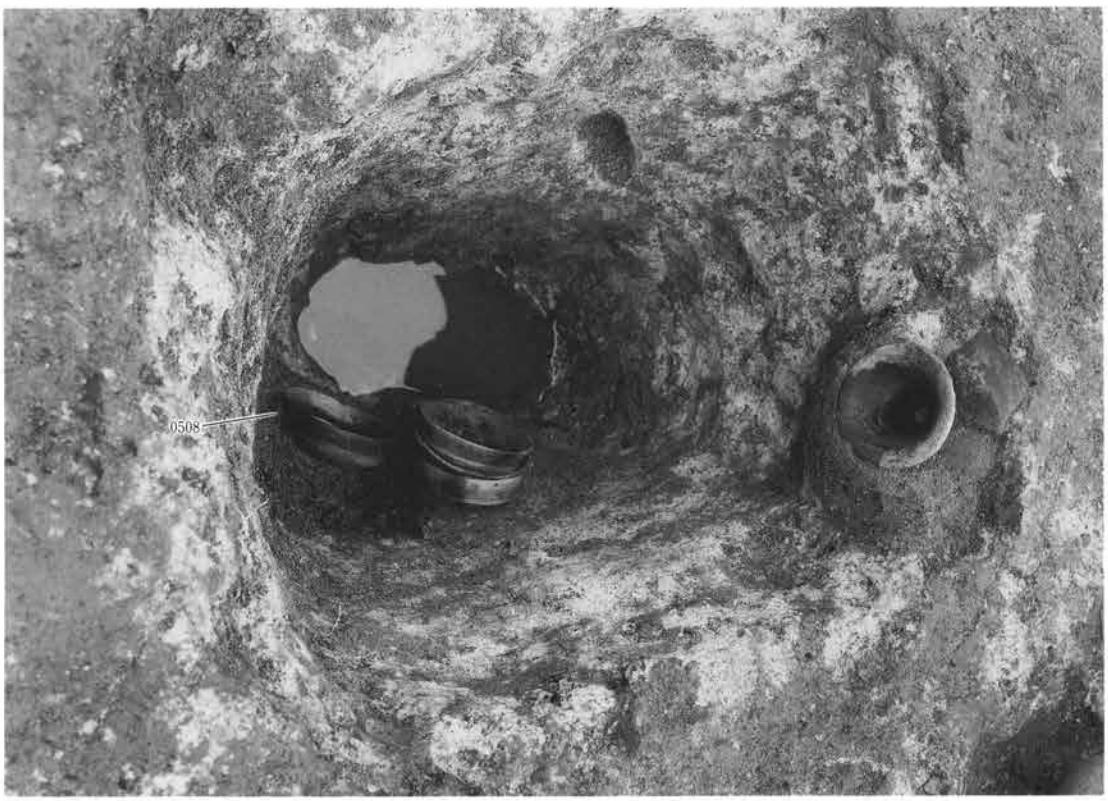
そ　の　他：遺物の遺存良好，南西隅がやや張り出す，北西隅壁溝内に小ピット検出，西辺北寄りで床溝検出

遺　　物：土器534片・石1個，多量の遺物が出土した，覆土から内斜口縁杯・鉢出土，18cm大の石5個出土，南西隅・カマド右袖基部・南東隅付近から板状・棒状の炭化物出土，0505・0506・0507・0508・0509・0510・0511・0512・0513・0514・0515・0516・0517・0519・0520・0521・0522・0523・0524・0525・0526・0527・0528・0529・0530・0531・0532・0533・0534

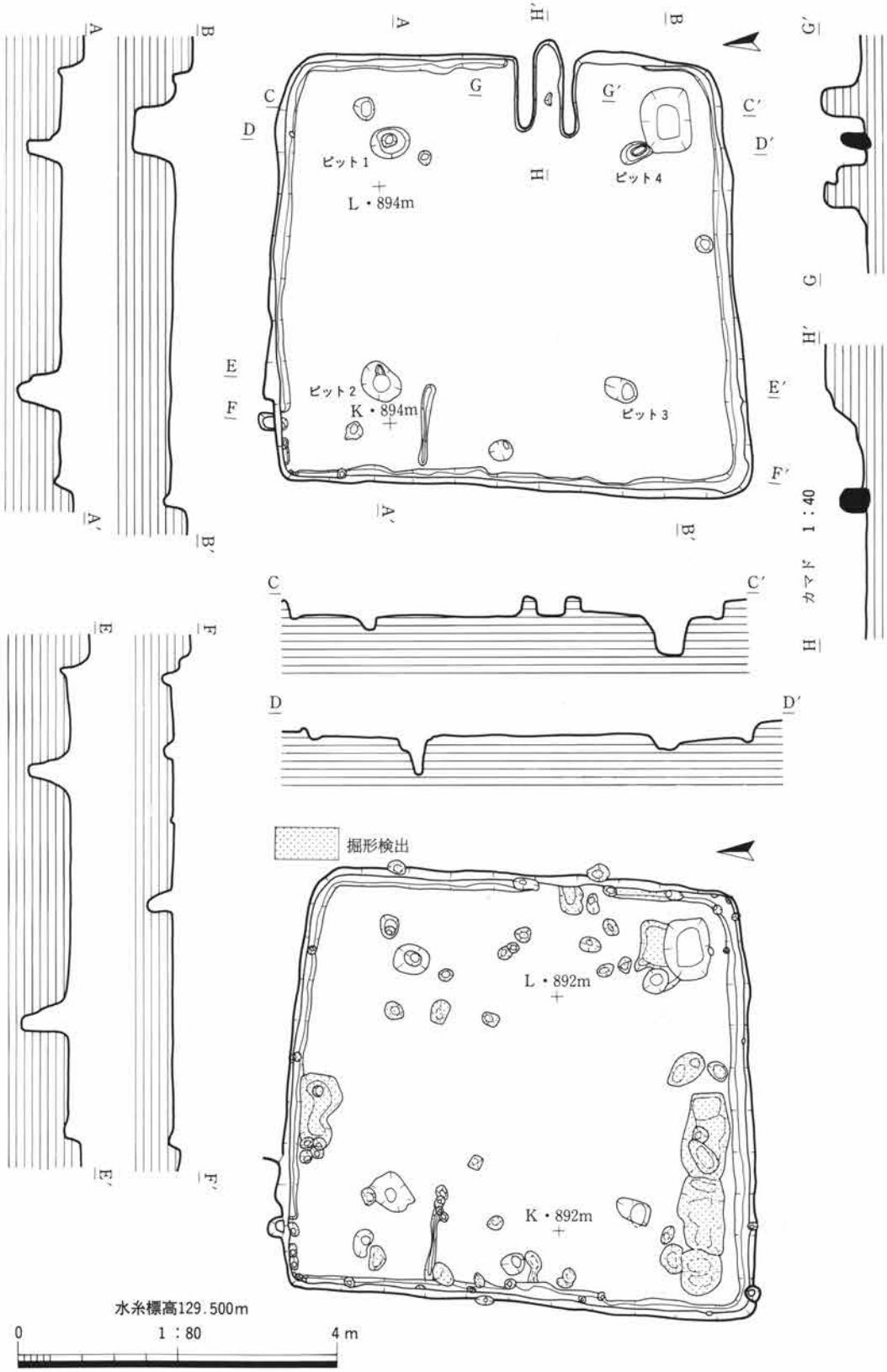
時　　期：古墳後期，6世紀前半

第552図　5区27号住居跡遺物出土状態（西から）

第553図　5区27号住居跡カマドー貯蔵穴遺物（西から）



第554図　5区27号住居跡貯蔵穴遺物（南から）



第555図　5区27号住居跡

三ッ寺II　5区　28号住居跡（第556・728図，図版355・518）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北540×東西565，面積　30.5m²，壁高　28～43，長軸方位　N79度E					
壁　溝	幅　5～15，深さ　1～6					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	48×45	－	53×53	48×40	2－3：330	3－4：340
下パ径	18×12	－	40×42	38×26		
深　さ	20	－	15	28		
カマド	位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N79度E，構築材　粘土，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　略長方形，上パ86×60，下パ52×30，深さ　46					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・881m付近

重複関係：B2溝→51住→28住→A類溝　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：斜めに立ち上がる，やや深い　　，床　　面：貼床，堅く締まる，平坦

主　柱　穴：北西部不明，南西部は隣接するピットの方が深い

壁　　溝：カマド両脇・南西隅を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部は煙道に向かって緩やかに立ち上がる，煙道部は壁外へ約120cm延びる

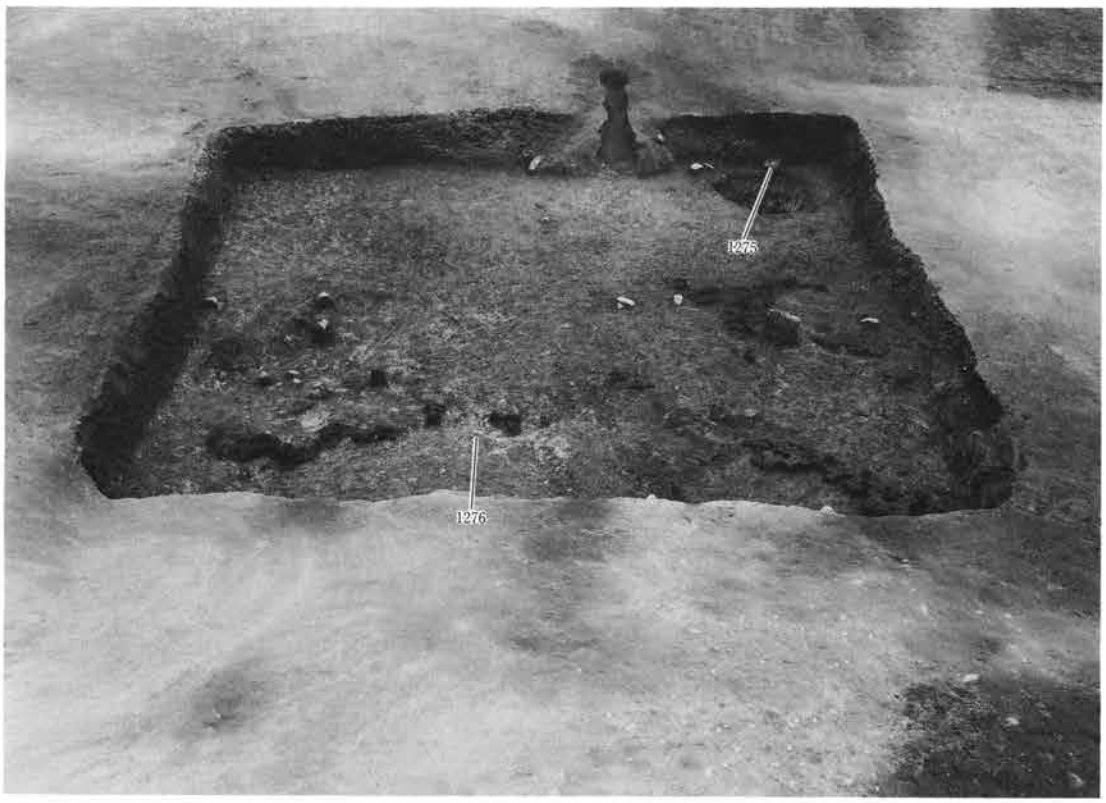
貯　蔵　穴：二段に掘り込む，底面は不整形

掘　　形：床溝2本検出，中央部から西寄りで小ピット検出，凹凸あり

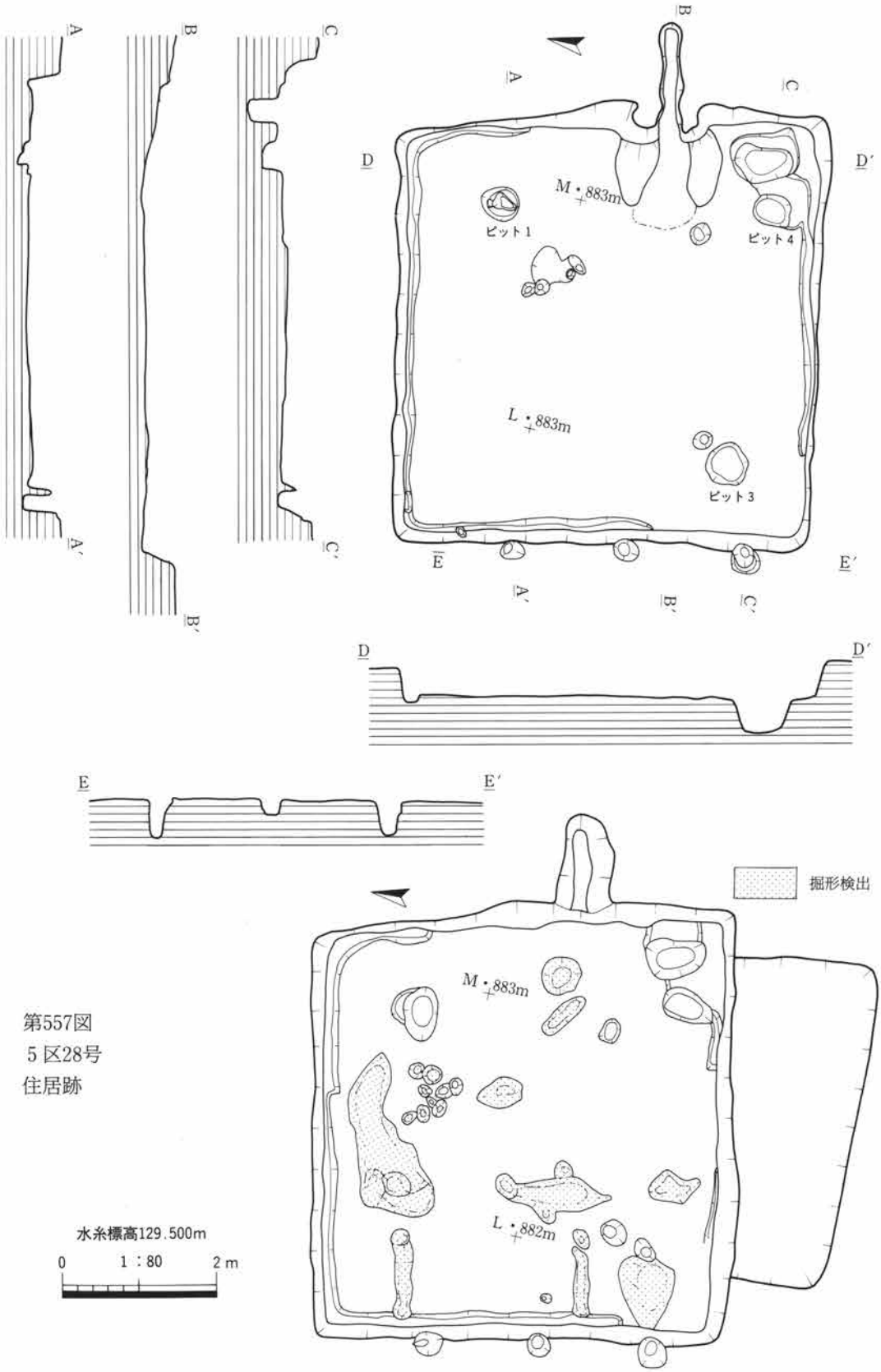
そ　の　他：西辺壁外にピットが3本並ぶ，本住居のものか？

遺　　物：土器195片，覆土から甕口縁部・壺・須恵器甕体部片・高杯出土，1275・1276（玉，床面）

時　　期：古墳後期，6世紀



第556図　5区28号住居跡遺物出土状態（西から）

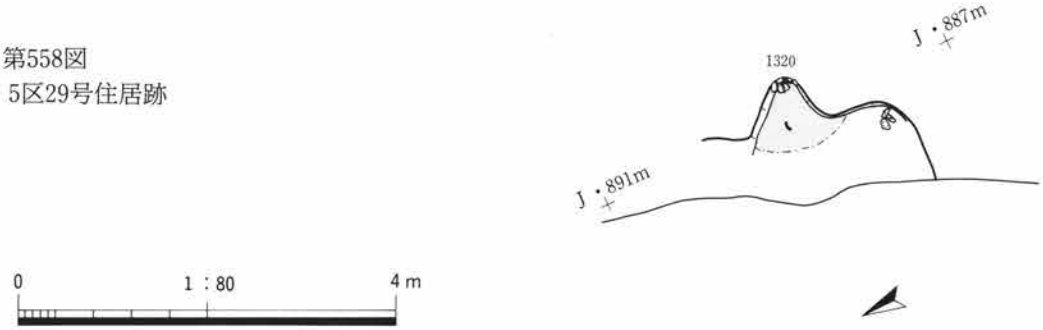


第557図
5区28号
住居跡

三ッ寺II　5区　29号住居跡（第558・728図，図版415）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　－，　面積　－，　壁高　9，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　N109度E，　構築材　粘土・土器？，　支脚　土器？	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：暗褐色土，5層下位	検出位置：Jライン・889m付近
重複関係：30住→29住	覆　　土：灰褐色系の土
壁　　：浅い，殆ど削平	床　　面：カマド前のみ検出
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：痕跡のみ，燃焼部中央で土器片検出，奥壁に据えた？羽釜検出	
貯　蔵　穴：－	掘　　形：－
そ　の　他：遺存不良，西側は地形が低くなりプラン不明，カマド検出で番号を付けた	
遺　　物：土器9片，接合しない羽釜底部片出土，1320（羽釜，カマド）	
時　　期：平安，10世紀	

第558図
5区29号住居跡



第559図　5区29号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　5区　30号住居跡（第560・728図，図版356・518）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北445×東西456，面積　(20.3) m²，壁高　3～18，長軸方位　N69度E						
壁　溝　幅　10～25，深さ　1～7						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	24	20	19×21	21×18	1－2：237	2－3：222
下パ径	15×10	9×12	9	14×10	3－4：218	4－1：235
深　さ	17	21	41	26		
カマド　位置　北東辺南寄り，対称軸方位　N71度E，構築材　粘土・石，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　東隅，平面形　方形，上パ52×58，下パ34×32，深さ　59						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：J～Kライン・887m付近

重複関係：30住→29住，30住→27住　　，覆　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　：浅い　　，床　面：貼床，細かい凹凸あり

主　柱　穴：4本検出，細い　　，壁　溝：検出内全周，床面側へ凹凸あり

カ　マ　ド：袖部遺存不良，燃焼部は住居壁の内側にある，袖部に20cm大の石3個がかかる

貯　蔵　穴：壁は直線的に掘り込む，周縁は土手状に盛り上がる

掘　形：凹凸著しい，小ピット多数検出

そ　の　他：北隅は27号住居により破壊，南東辺中央部の90×130の範囲が周辺床面よりも高い

遺　物：土器104片，カマド周辺から杯類の出土が目立つ，カマド左袖脇から内面ハケ目を施す甕出土，南辺東寄り床面から土師器甕または甑出土，掘形から模倣杯出土，1314・1315・1316・1317・1318・1319

時　期：古墳中期，5世紀末

第560図　5区30号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　31号住居跡（第561・728図，図版357・518）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北425×東西402，　面積　17.1m²，　壁高　37～43，　長軸方位　N176度E						
壁　溝　幅　5～13，　深さ　1～6						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	22×18	31×30	30	18	1－2：196	2－3：202
下パ径	13×12	16	8	10	3－4：184	4－1：202
深　さ	50	35	16	27		
カマド　位置　東辺中央，　対称軸方位　N91度E，　構築材　粘土・石・土器，　支脚　石						
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　略方形，　上パ37×41，下パ22×27，　深さ　56						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：N～Oライン・877m付近

重複関係：44住→31住　　，覆　　土：褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　，床　　面：貼床，平坦，堅く締まる

主　柱　穴：4本検出，ピット4底面から石　　，壁　　溝：カマド部分を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は壁外に突出する，燃焼部中央やや北寄りに細長い石を据えて支脚とする，右袖部の粘土下から石・甕破片出土

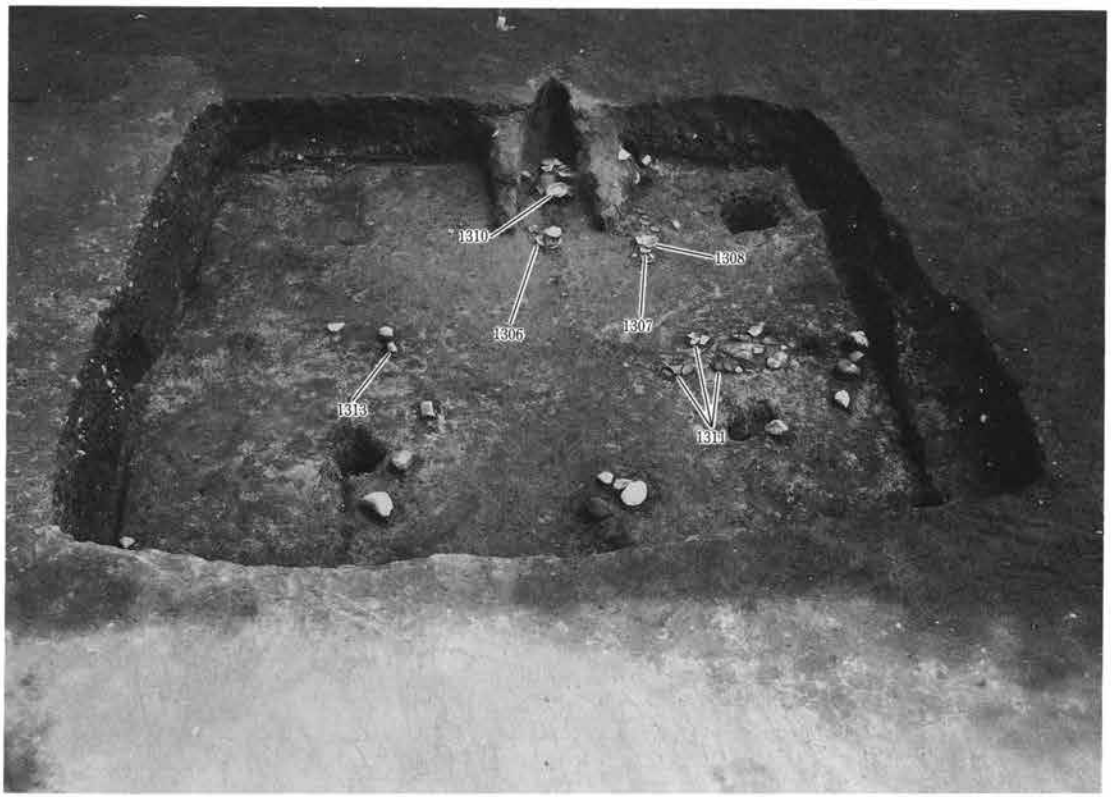
貯　蔵　穴：底面から石出土

掘　　形：細かい凹凸あり，西辺南側で床溝検出，壁溝内部に小ピットあり

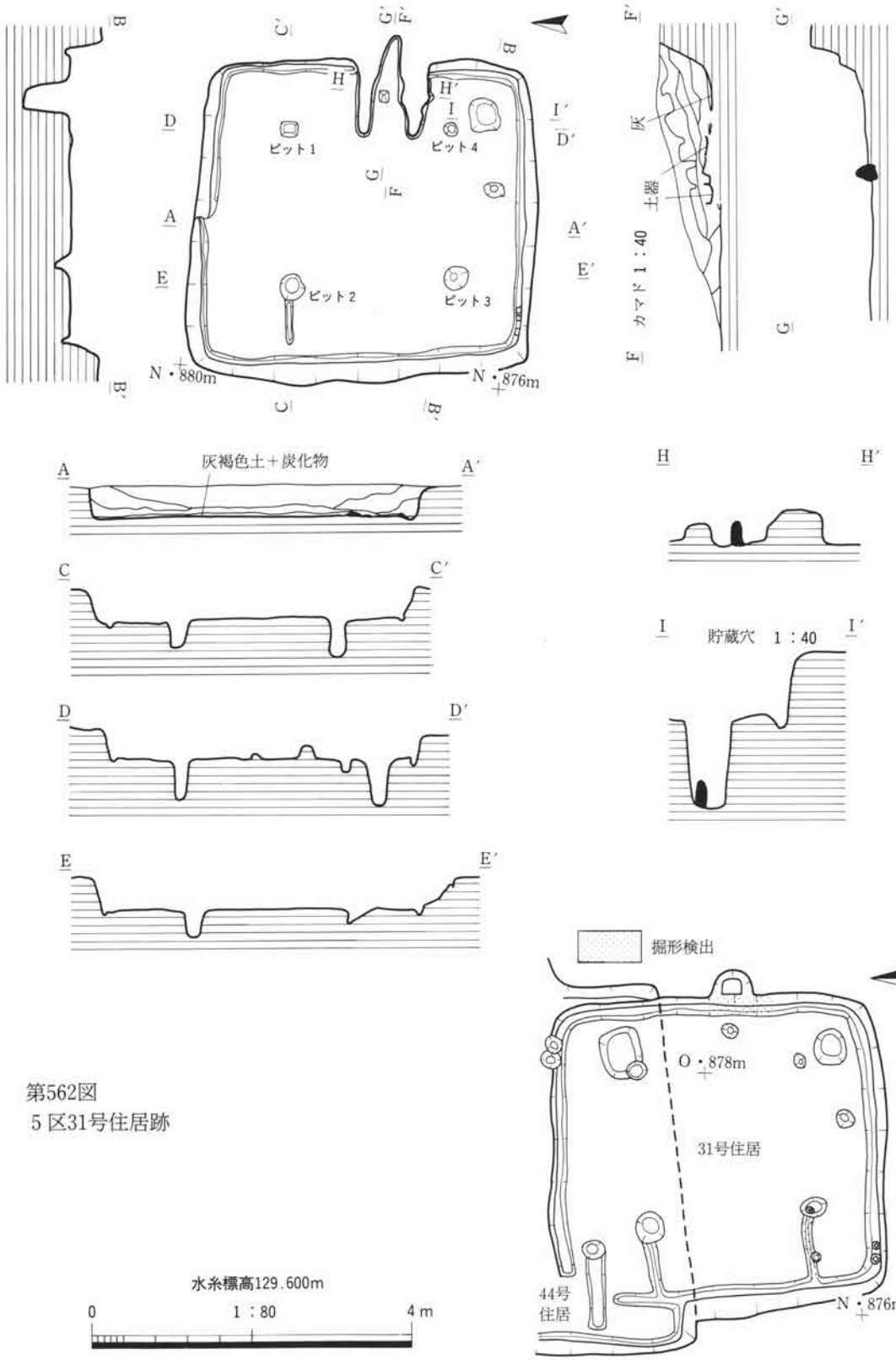
そ　の　他：西辺北寄りで床溝検出

遺　　物：土器382片，カマドから南辺にかけて遺物出土，中央南寄り床面から土師器甑出土（出土位置未確定），覆土から内斜杯・模倣杯・丸胴甕・短脚高杯脚部・須恵器壺出土（重複する44号住居のものか？），1306・1307・1308・1309・1310・1311・1312・1313

時　　期：古墳後期，6世紀前半



第561図　5区31号住居跡遺物出土状態（西から）



第562図
5区31号住居跡

三ッ寺II　5区　32号住居跡（第563・729図，図版359）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北369×東西538，　面積　19.9m²，　壁高　2～17，　長軸方位　N89度W						
壁　溝　不明						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	34×32	23×20	20×16	12×7	1－2：213	2－3：186
下パ径	10	8	11	3	3－4：243	4－1：231
深　さ	24	27	3	8		
カマド　位置　南西隅，　対称軸方位　N135度W，　構築材　粘土，　支脚　不明						
貯蔵穴　不明						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：M～Oライン・896m付近

重複関係：－　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：浅い　　，床　　面：凹凸あり，不明確

主　柱　穴：規模・形態とも疑問あり　　，壁　　溝：－

カ　マ　ド：遺存不良，焼土・灰・黄白色粘土を検出したが不明確

貯　蔵　穴：－　　，掘　　形：凹凸著しい

そ　の　他：確認面は床下か？

遺　　物：土器41片，模倣杯出土，
1291（土師器甕，カマド前床面）

時　　期：古墳後期，5世紀末～6世紀

第563図　5区32号住居跡遺物出土状態（東から）

三ッ寺II　5区　33号住居跡（第564・729図，図版360・519）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北412×東西391，面積　16.1m²，壁高　3～18，長軸方位　N170度E						
壁　溝　幅　8～18，深さ　1～3						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	18×24	18×22	17×24	46×27	1－2：149	2－3：176
下パ径	10	12×9	8×12	10	3－4：154	4－1：162
深　さ	24	21	26	25		
カマド　位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N92度E，構築材　粘土，支脚　石						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　略円形，上パ57×66，下パ38×30，深さ　63						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：J～Kライン・878m付近

重複関係：－　　覆　土：黒褐色系の土

壁　：浅い　　床　面：細かい凹凸あり，堅く締まる

主　柱　穴：4本検出，ピット1から石出土　　壁　溝：カマド部を除き全周，溝内は凹凸著しい

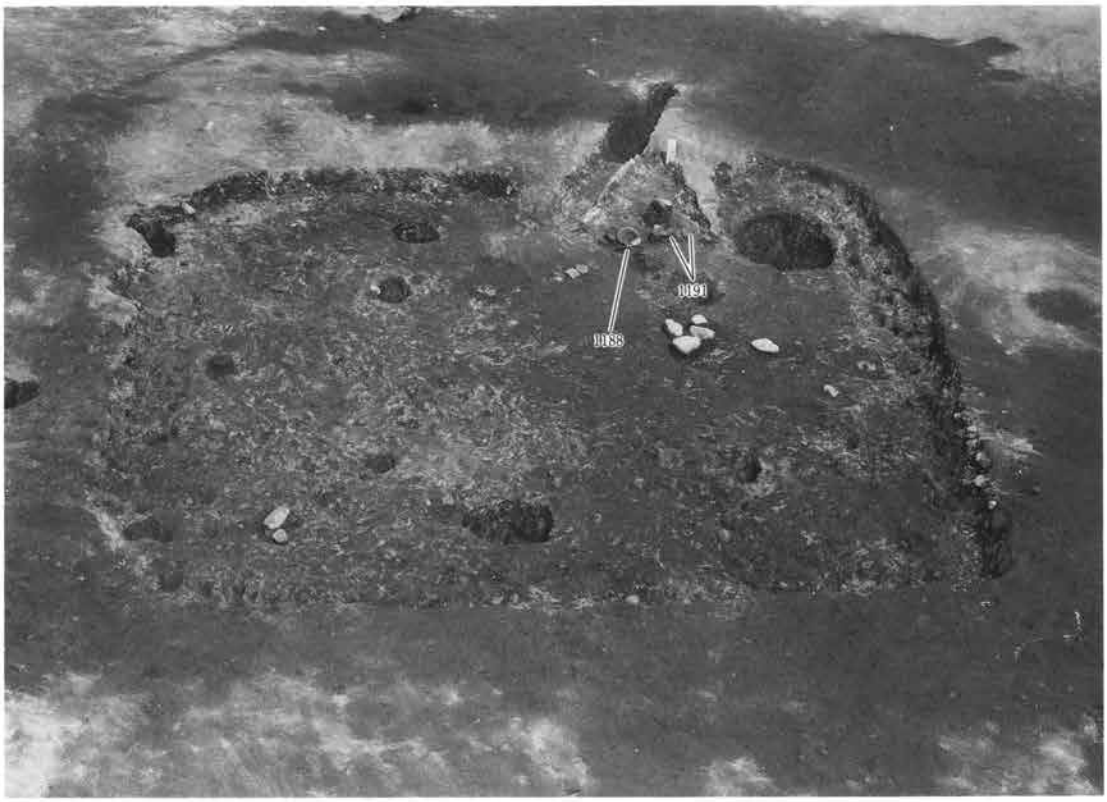
カ　マ　ド：左袖部は上層の溝により破壊，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央右寄りから石出土，右袖部遺存不良，カマド前から杯出土

貯　蔵　穴：底面近くから杯出土，壁は直線的　　掘　形：凹凸多数検出

そ　の　他：ピット2の南側から焼土検出

遺　　物：土器181片，覆土から模倣杯・甑口縁部出土，1188・1189・1190・1191

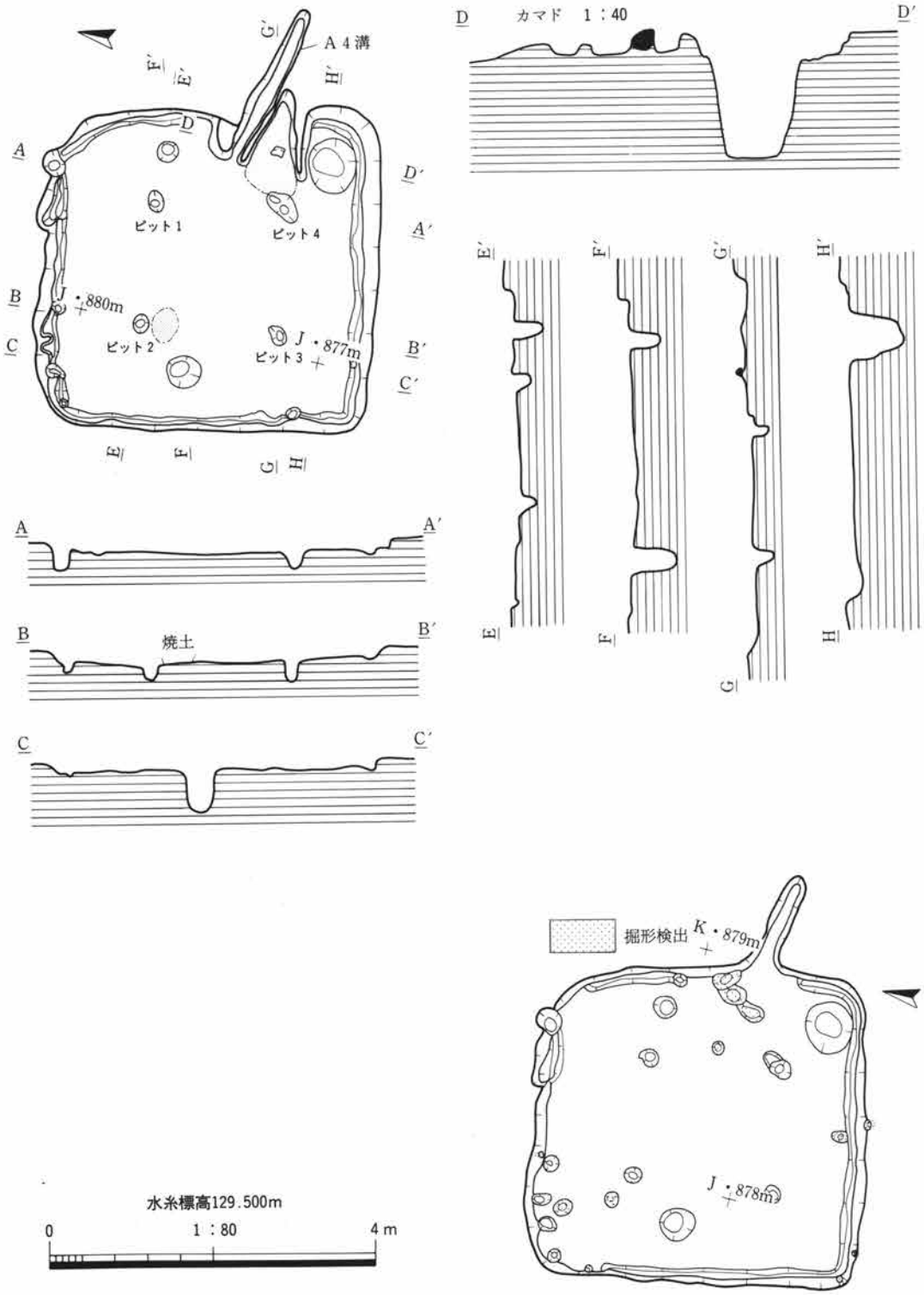
時　　期：古墳中期，5世紀末



第564図　5区33号住居跡遺物出土状態（西から）

第565図　5区33号住居跡カマド遺物（西から）

第566図　5区33号住居跡貯蔵穴遺物（南から）



第567図　5区33号住居跡

三ッ寺II　5区　34号住居跡（第568・729図，図版361・519）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　506×480，面積　24.3m²，壁高　20～52，長軸方位　N58度E						
壁　溝　幅　6～16，深さ　1～7						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	15×26	30×26	25	37×38	1－2：257	2－3：208
下バ径	5	17×15	10×19	27×31	3－4：242	4－1：200
深　さ	14	34	24	6		
カマド　位置　北東辺中央，対称軸方位　N66度E，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　東隅，平面形　楕円形，上バ61×52，下バ44×39，深さ　66						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Jライン・868m付近

重複関係：34住→35住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　，床　　面：貼床，細かい凹凸あり

主　柱　穴：4本検出，カマド両脇柱穴は浅い　　，壁　　溝：カマド部を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は急角度で立ち上がる

貯　蔵　穴：北西部に高さ4cmの方形の段あり　　，掘　　形：南西辺北寄りで床溝検出，小ピット多数検出

そ　の　他：北西辺・南西辺で床溝検出，南西辺中央で90×70・深さ16の楕円形掘り込み検出

遺　　物：土器168片，カマド内から内斜杯出土，覆土から半球杯・模倣杯・鉢形甑・内黒土器出土，1192・1193・1194・1195・1196

時　　期：古墳中期，5世紀末

第568図　5区34号住居跡遺物出土状態（南から）

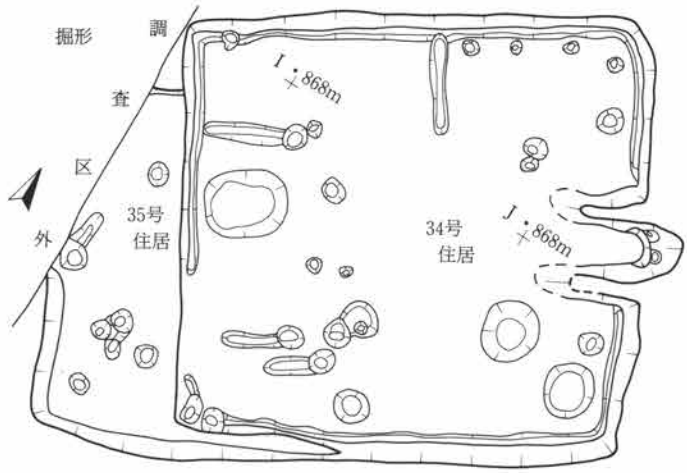
三ッ寺II　5区　35号住居跡（第569・729図，図版361・519）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，　規模　389×（370），　面積　（14.4）㎡，　壁高　25～39，　長軸方位　N153度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央，　対称軸方位　N65度E，　構築材　粘土，　支脚　土器？
貯蔵穴	位置　東隅，　平面形　長方形，　上パ56×70，下パ43×53，　深さ　17

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	Iライン・864m付近
重複関係	34住→35住	覆土	灰褐色系の土
壁	斜めに立ち上がる		
床面	貼床，北西辺沿いに幅90・長さ230ほどの軟弱部あり		
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	粘土で形成する，燃焼部中央やや左寄りに小型甕（底部上）を据えて支脚とする		
貯蔵穴	浅い，底面平坦	掘形	－
その他	西隅は調査区外にある，南辺中央に不整形の掘り込み検出（深さ20，石出土），東辺の立ち上がりは34号住居と同時掘り下げのため不明		
遺物	土器189片，カマド内から甕底部片・内黒半球杯出土，覆土から内黒模倣杯・高杯出土，1205・1206・1207・1208・1209		
時期	古墳後期，6世紀前半		

第569図
5区34・35号住居跡
掘形



第570図　5区35号住居跡遺物出土状態（東から）

三ッ寺II　5区　36号住居跡（第571・730図，図版362・520）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　471×445，　面積　21.0㎡，　壁高　55～65，　長軸方位　N62度E						
壁　溝　幅　7～18，　深さ　1～4						
主柱穴	1（掘形）	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	22×25	19×22	22	25×28	1－2：221（掘形）	2－3：202
下パ径	11	8	10×16	12×14	3－4：212（掘形）	4－1：209（掘形）
深　さ	35	31	28	35		
カマド　位置　北東辺中央やや南，　対称軸方位　N64度E，　構築材　粘土・土器，　支脚　土器						
貯蔵穴　位置　東隅，　平面形　長方形，　上パ55×47，下パ37×34，　深さ　127						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：J～Kライン・861m付近

重複関係：B2溝→36住　　覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い，やや深い　　床　　面：平坦，貼床，出水のため軟弱

主　柱　穴：ピット1・4は掘形検出　　壁　　溝：カマド部を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は急角度で立ち上がる，両袖先端部に土師器甕を倒立に据える，焚口に大型甕・小型甕を並べて天井部とする，燃焼部中央に小型甕を倒立に据え支脚とする，支脚甕の上に杯破片をのせて高さ調整を施す，燃焼部右袖寄りから正立状態で甕出土

貯　蔵　穴：東隅の両辺に上パが平行しない，深い

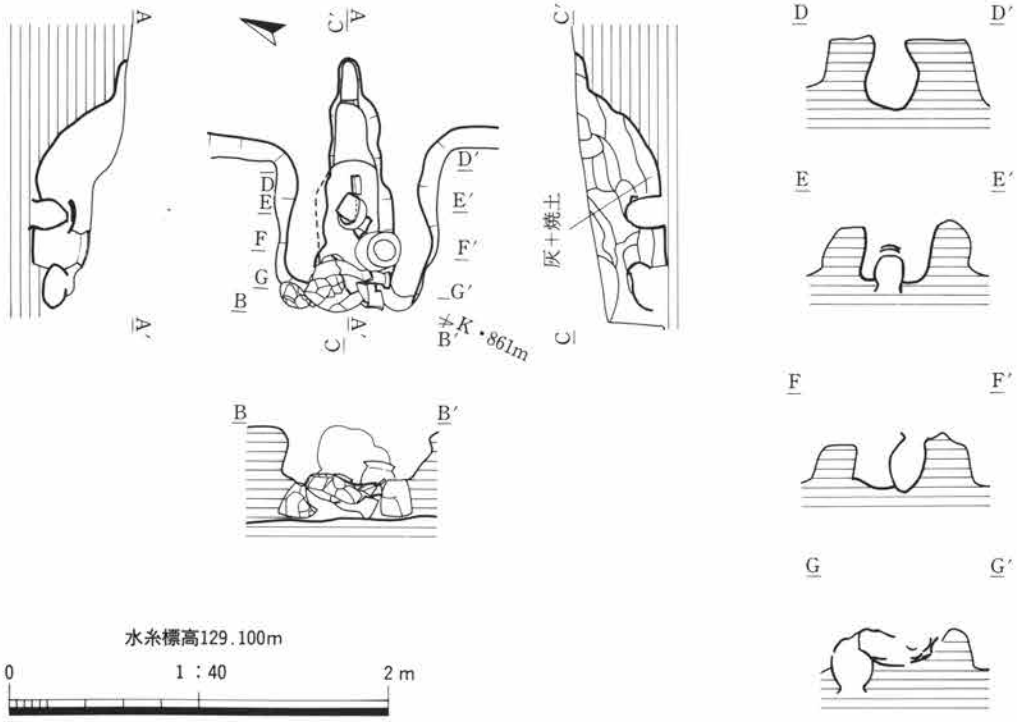
掘　　形：カマド左脇で200×120・深さ13ほどの不整形掘り込み検出，カマド前で小ピット検出

そ　の　他：北西辺・南東辺のそれぞれ中央部で床溝検出，北隅寄りで不整形掘り込み検出

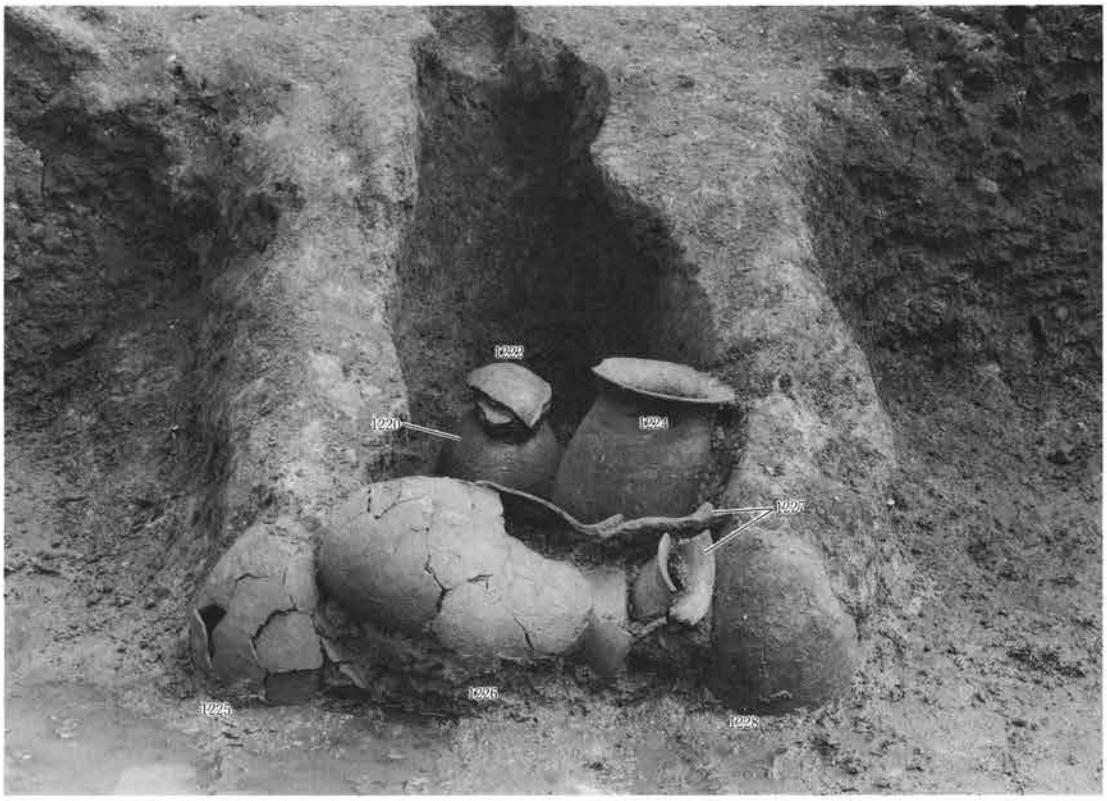
遺　　物：土器282片・石3個，覆土から模倣杯・短脚高杯・接合しない甕体部片出土，カマド燃焼部から甕口縁部出土，13cm大の石2個・18cm大の石1個，甕類の出土が多い，道具に転用した土器多い，1220・1221・1222・1223・1224・1225・1226・1227・1228・1229・1230

時　　期：古墳中期，5世紀末

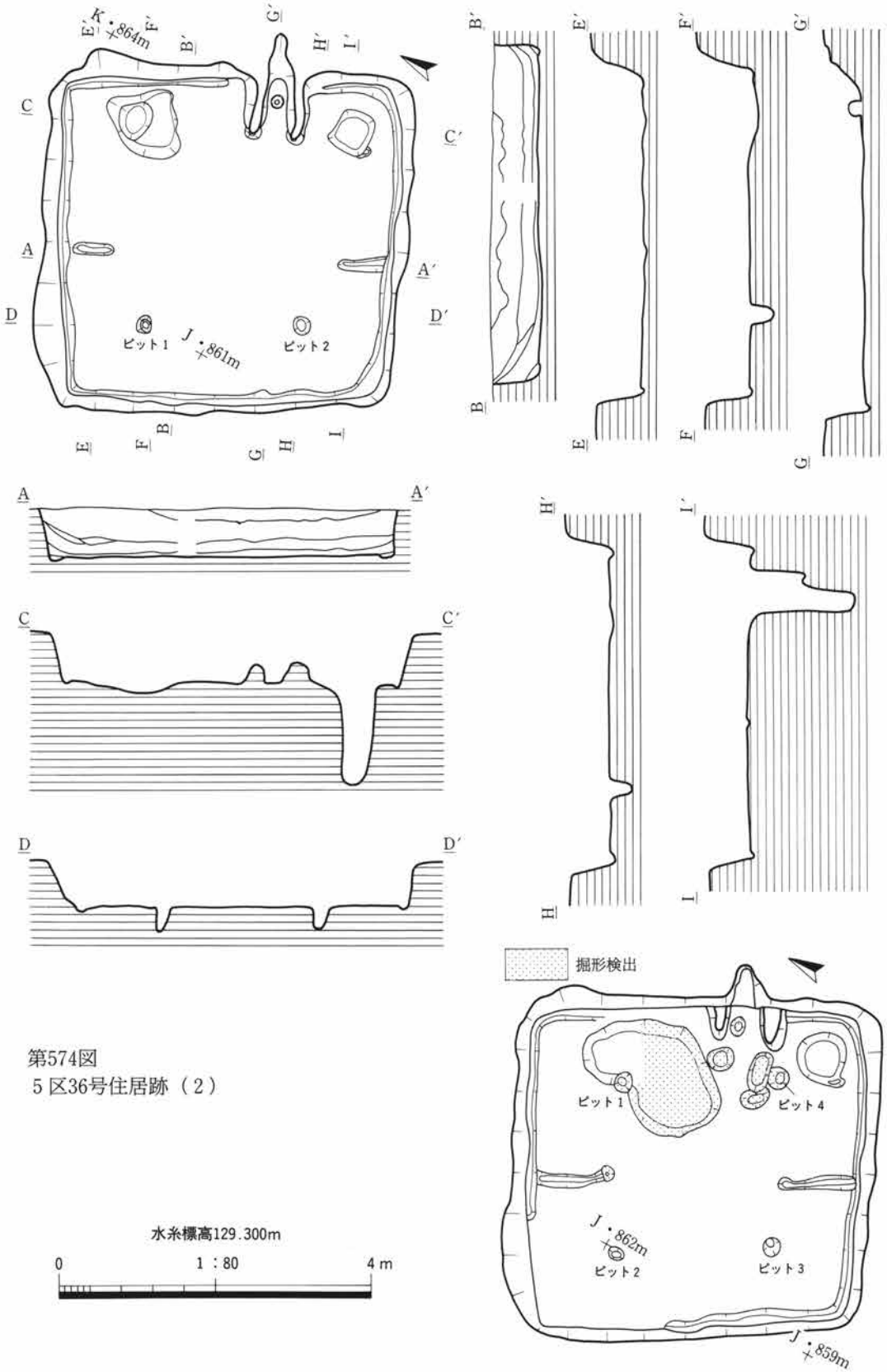
第571図　5区36号住居跡遺物出土状態（南から）



第572図　5区36号住居跡（1）　カマド



第573図　5区36号住居跡カマド遺物（西から）



第574図
5区36号住居跡（2）

三ッ寺II　5区　37号住居跡（第575・731図，図版364）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　南北420×東西450，面積　18.9m²，壁高　19～42，長軸方位　N69度E						
壁　溝　不明						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	27×24	28×25	25	－	1－2：215	2－3：192
下バ径	15	12	11	－		
深　さ	34	17	17	－		
カマド　位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N69度E，構築材　粘土，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　略円形，上バ45×44，下バ20×27，深さ　40						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：I～Jライン・852m付近

重複関係：－　　，覆　　土：暗褐色系の土＋軽石

壁　　：斜めに立ち上がる　　，床　　面：平坦，貼床，壁近くはやや軟弱

主　柱　穴：3本検出，南東部不明　　，壁　　溝：－

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，淡褐色粘土も使って形成する

貯　蔵　穴：南東隅付近を略長方形・深さ10cmほどに掘りくぼめさらに貯蔵穴を掘り込む

掘　　形：－

そ　の　他：南辺中央やや東寄りに楕円形の浅い掘り込みを検出，底面は細かい凹凸あり

遺　　物：土器7片・黒曜石1個，北東隅床面から内斜杯出土，カマド内から黒曜石剝片出土，1279・1280

時　　期：古墳中期，5世紀末

第575図　5区37号住居跡遺物出土状態（南から）

三ッ寺II　5区　38号住居跡（第576・731図，図版365・522）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　617×617，面積　38.1㎡，壁高　41～56，長軸方位　N80度E						
壁　溝　幅　10～17，深さ　2～6						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	39	56×69	47×40	50×64	1－2：295	2－3：252
下バ径	23×25	22	43×21	26×36	3－4：300	4－1：295
深　さ	27	28	34	39		
カマド　Aカマド：位置　東辺南寄り，対称軸方位　N100度E，構築材　粘土，支脚　土器 Bカマド：位置　東辺南寄り（Aカマド北側），対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　楕円形，上バ74×60，下バ38×27，深さ　51						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・869m付近

重複関係：B2溝→38住，52住→38住→48住→3住

覆　　土：褐色系の土＋軽石　　，壁　　：斜めに立ち上がる，やや深い

床　　面：貼床，細かい凹凸あり，やや軟弱　　，主　柱　穴：4本検出

壁　　溝：南辺東半・カマド部を除き全周

カ　マ　ド：Aカマド；中軸線は東辺と直角にならない，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央に小型甕を倒立させて支脚とする，

Bカマド：住居壁より突出する煙道の一部を検出，焼土・炭化物混じりの覆土を確認，Aカマドよりも古い

貯　蔵　穴：底面も楕円形を呈す　　，掘　　形：小ピット多数検出，細かい凹凸著しい

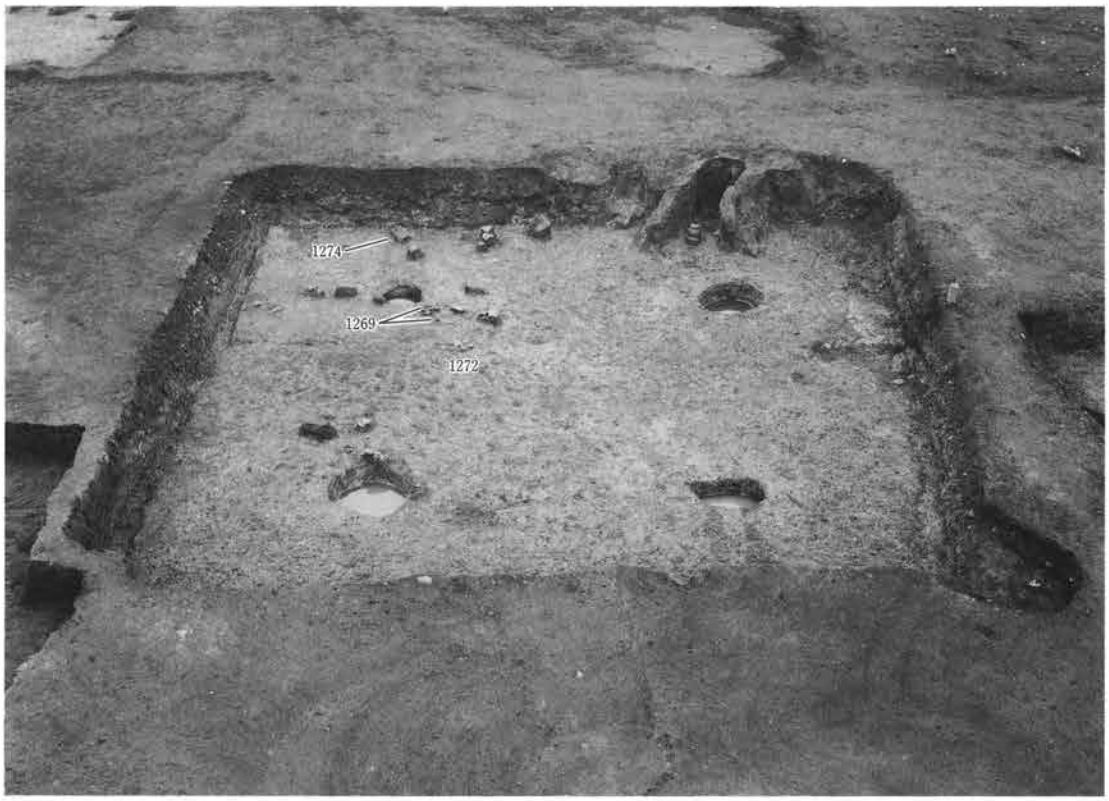
そ　の　他：南辺中央部壁直下で不整形掘り込み検出，床溝4本検出（北辺2本・西辺2本）

遺　　物：土器1035片・石8個，西辺中央壁際床面から黒曜石剝片出土，カマド内から黒曜石剝片出土，北東部から壺頸部出土，カマド覆土から高杯片出土，覆土から模倣杯・半球杯・小型甕・土師器

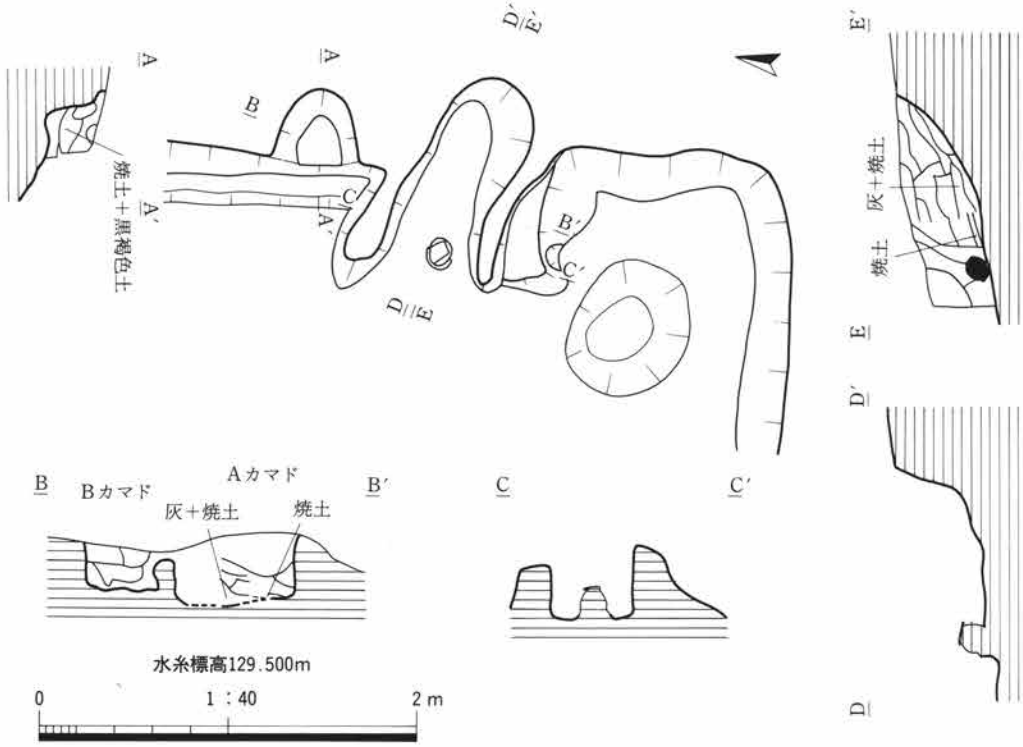
長方形透かし高杯脚部出土，

1269・1270・1271・1272・1273・1274（砥石）

時　　期：古墳後期，6世紀前半

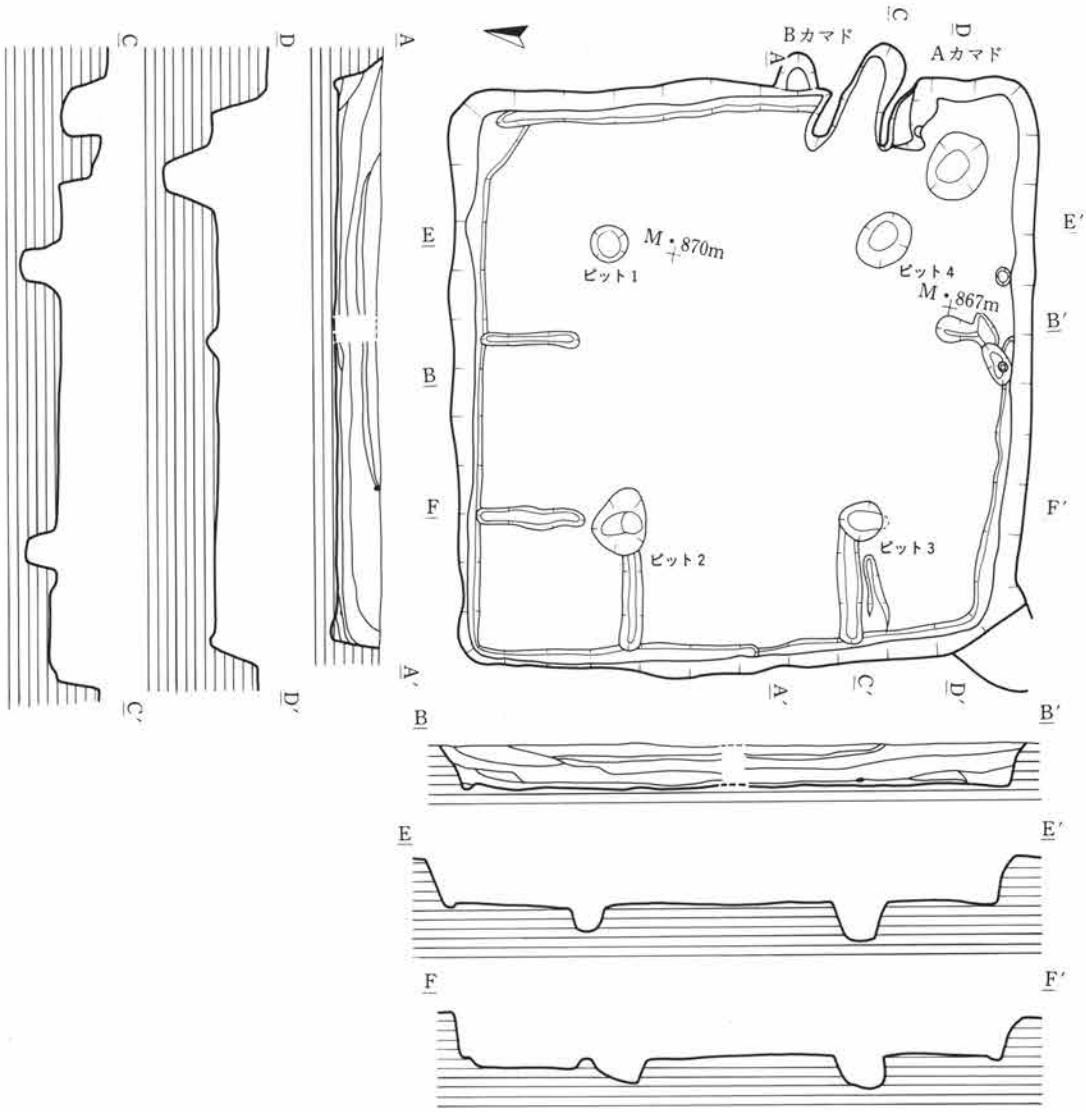


第576図　5区38号住居跡遺物出土状態（西から）

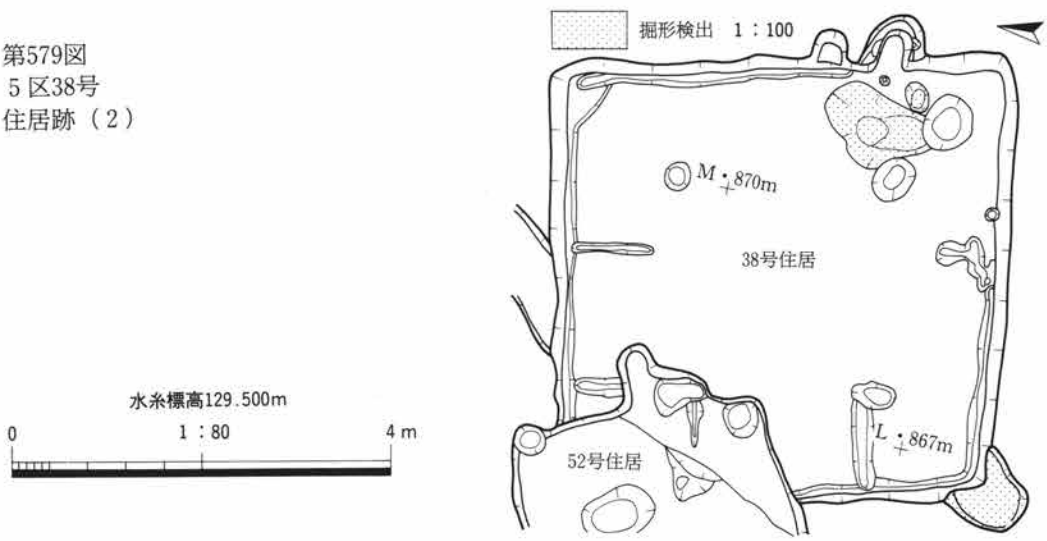


第577図　5区38号住居跡（1）　カマド

第578図　5区38号住居跡遺物出土状態（西から）



第579図
5区38号
住居跡（2）



三ッ寺II　5区　39号住居跡（第580・732図，図版366）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	略方形，規模　南北610×東西597，面積　36.4m²，壁高　23～37，長軸方位　N157度E					
壁　溝	幅　7～25，深さ　1～12					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	36×35	40	40	31×34	1－2：313	2－3：322
下パ径	23	21	20×17	14×13	3－4：310	4－1：298
深　さ	27	25	28	46		
カマド	位置　北東辺中央やや南，対称軸方位　N71度E，構築材　粘土・石，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　東隅，平面形　楕円形，上パ90×68，下パ43×32，深さ　52					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・860m付近

重複関係：40住→39住→5住　　，覆　　土：褐色系の土

壁　　：直に近い　　，床　　面：貼床，平坦，一部小石露出

主　柱　穴：ピット4は掘形検出（二段に掘り込む）　　，壁　　溝：全周，掘形調査でカマド下も検出

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，両袖先端部に石を据え粘土で固める，焚口天井部にも45cm大の細長い石を架ける，カマド左脇床面から25cm大の細長い石出土（支脚か？），奥壁は急角度で浅く立ち上がる

貯　蔵　穴：底面も楕円形を呈す，周縁は土手状に盛り上がる

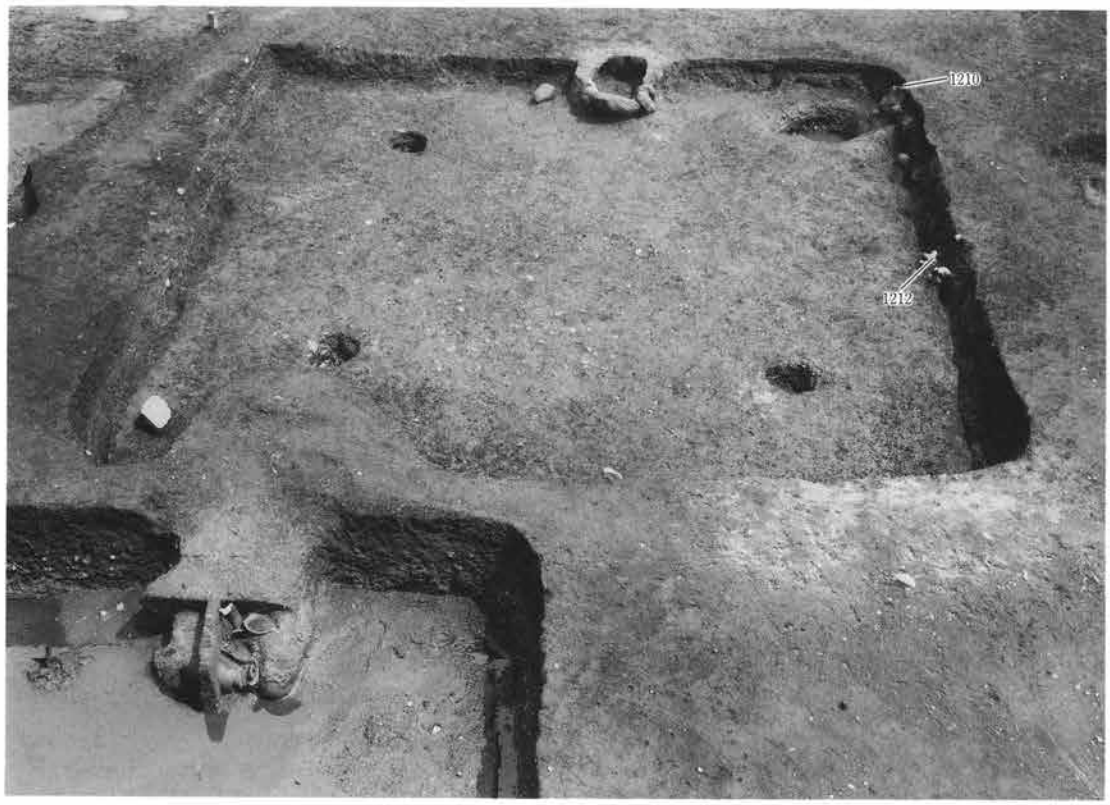
掘　　形：北西辺東寄りで120×60・深さ5ほどの長方形掘り込み検出，小ピット多数検出，北西辺中央部で床溝検出

そ　の　他：北西辺東寄りの壁溝内で小ピット4本検出

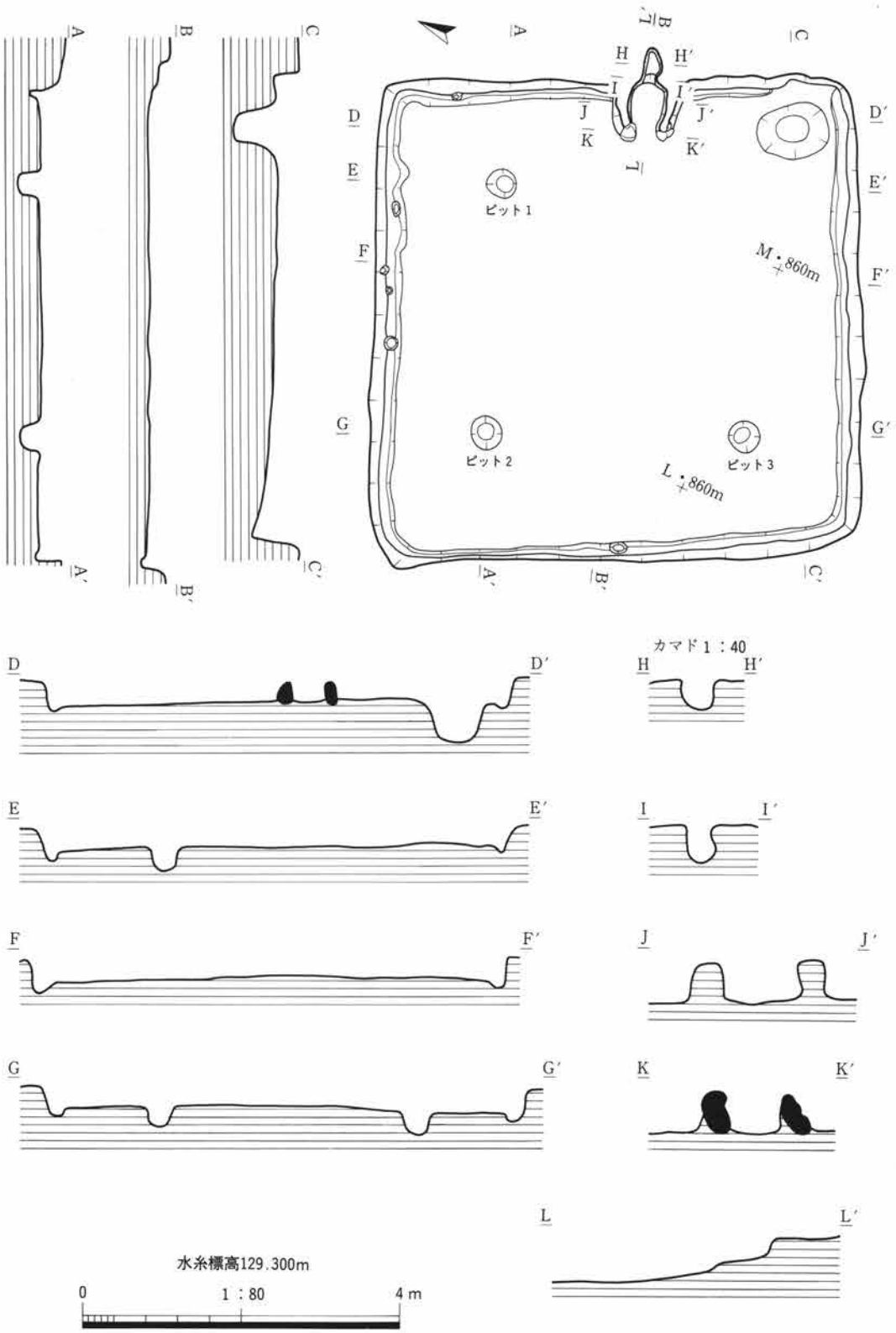
遺　　物：土器236片・石1個，覆土から模倣杯・内斜杯・須恵器蓋（口唇部凹線）・甕出土，14cm大の石出土，

1210・1211・1212（砥石，榛名二ツ岳軽石）

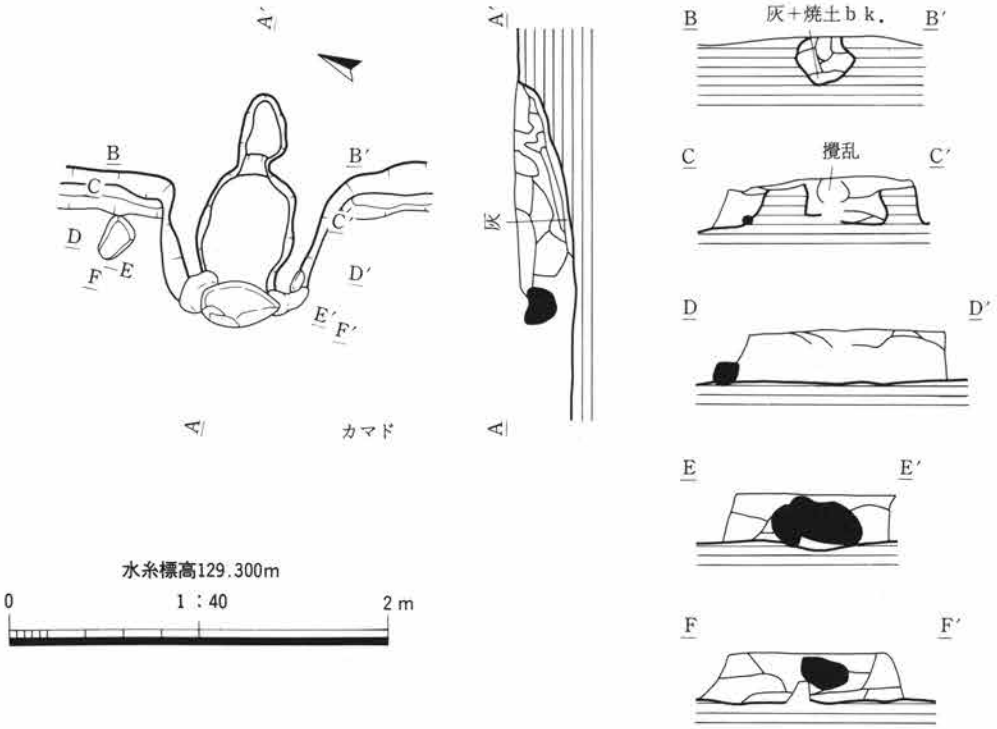
時　　期：古墳後期，6世紀前半

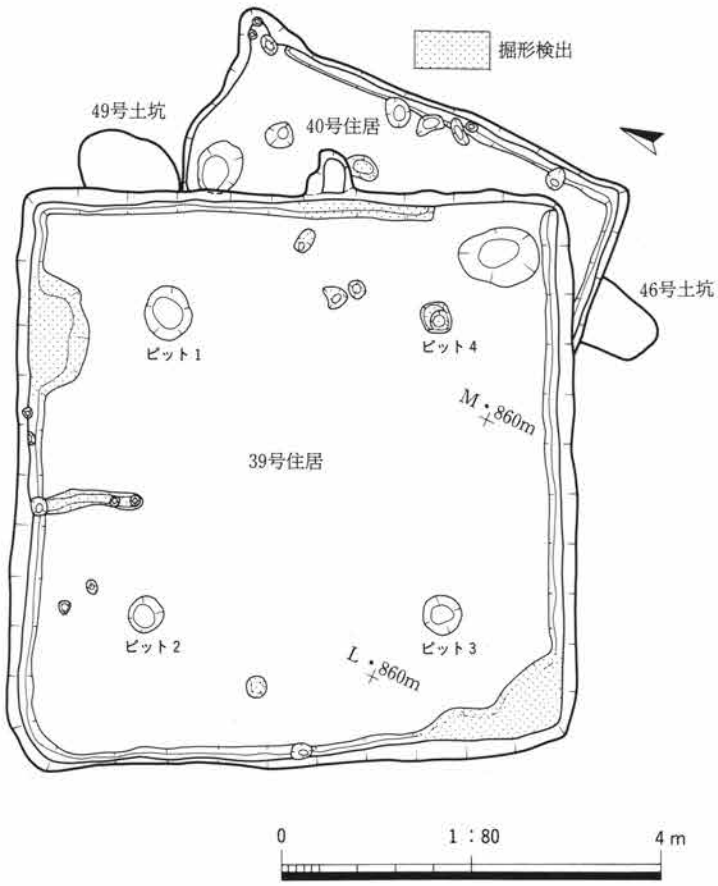


第580図　5区39号住居跡遺物出土状態（西から）



第581図　5区39号住居跡（1）

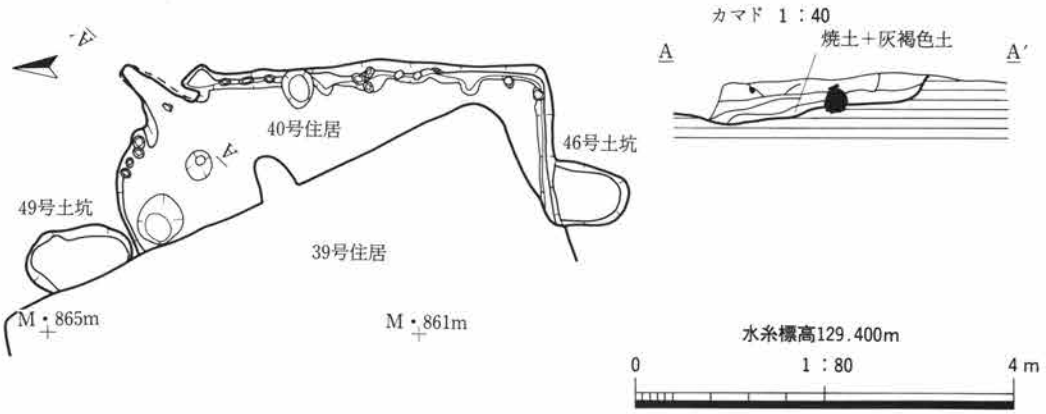




第582図
5区39号住居跡（2）
カマド・掘形

三ッ寺II　5区　40号住居跡（第583図，図版367）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北470×東西170以上，　面積　－，　壁高　6～11，　長軸方位　－	
壁　溝　幅　7～10，　深さ　3～5	
主柱穴　不明	
カマド　位置　北東隅，　対称軸方位　N43度E，　構築材　粘土，　支脚　石	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：M～Nライン・863m付近
重複関係：40住→39住→5住	覆　　土：暗褐色系の土＋軽石
壁　　：浅い	床　　面：貼床，凹凸あり
主　柱　穴：－	壁　　溝：東辺のみ検出
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにのる，中軸線は住居対角線方向，燃焼部中央に石を据え支脚とする，袖部～奥壁の両側は粘土で固める	
貯　蔵　穴：北辺のピットか？	掘　　形：凹凸あり
そ　の　他：壁溝内に小ピットが並ぶ（径10・深さ5前後，間隔20～30）	
遺　　物：土器44片，カマド覆土から模倣杯・甕頸部出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	



第583図　5区40号住居跡

第584図　5区40号住居跡カマド遺物（南西から）

三ッ寺II　5区　41号住居跡（第585・732図，図版368・522）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北479×東西481，面積　24.3（含張出部），壁高　21～52，長軸方位　N77度E						
壁　溝　幅　5～10，深さ　2～7						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	25	30×26	35×30	29×23	1－2：230	2－3：223
下パ径	12×15	20×16	15×12	20×10	3－4：224	4－1：194
深　さ	20	19	36	19		
カマド　位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N87度E，構築材　粘土・石，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　円形，上パ47×46，下パ28×29，深さ　41						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：N～Oライン・856m付近

重複関係：41住→6住・7住　　覆　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　：直に近い　　床　面：貼床，平坦

主　柱　穴：4本検出　　壁　溝：カマド下を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，両袖先端部に石を据え粘土で固める，奥壁に小ピット検出，煙道部は住居壁から突出する

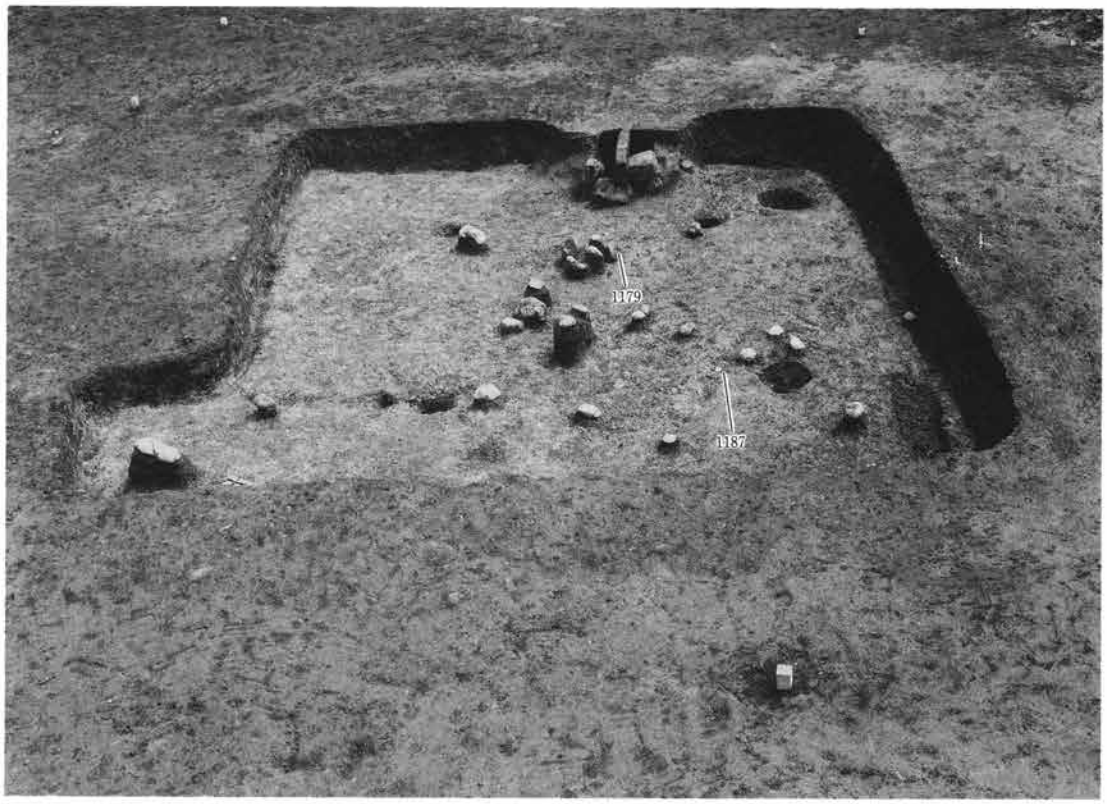
貯　蔵　穴：底面も円形を呈す

掘　　形：南西隅で不整形掘り込み検出，南辺・北辺の中央部でピット検出

そ　の　他：北西隅で東西145×南北95の張出部検出，床溝2本と合わせて210×100ほどの広がりをもつ，床溝は張出部を長方形に区切る，ピット3から西辺に延びる床溝は掘形調査で検出

遺　　物：土器169片，覆土から鉄滓3個・半欠臼玉3個・甕底部・大型丸胴甕・甕口縁部・模倣杯（口唇部凹線）・接合しない甕体部片出土，1179・1180・1181（滑石紡錘車，完形）・1182・1183・1184・1185・1186・1187（臼玉）

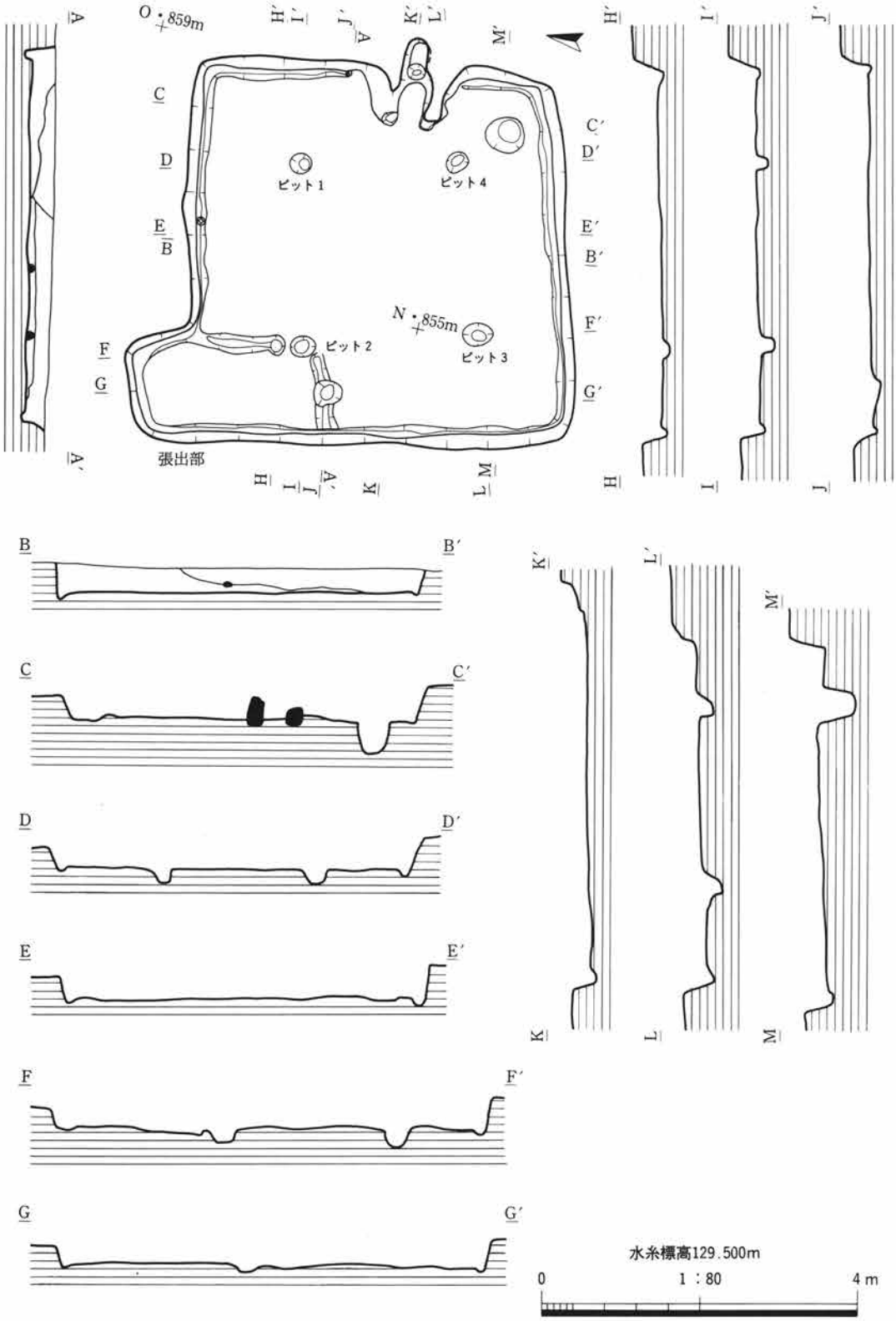
時　　期：古墳後期，6世紀前半



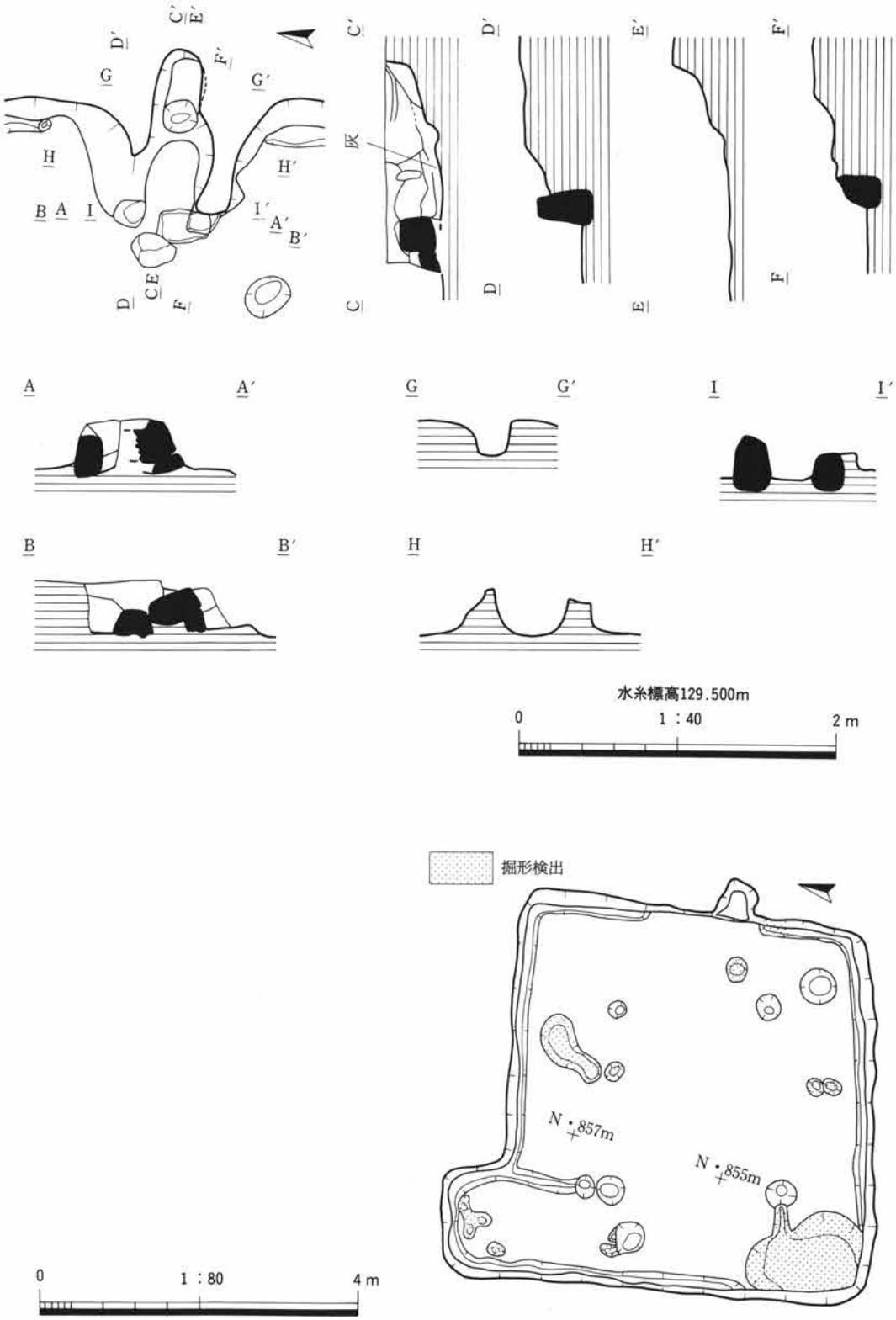
第585図　5区41号住居跡遺物出土状態（西から）

第586図　5区41号住居跡カマド遺物（西から）

第587図　5区41号住居跡張出部遺物（南から）



第588図　5区41号住居跡（1）



第589図　5区41号住居跡（2）　カマド・掘形

三ッ寺II　5区　42号住居跡（第590・732図，図版369）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模 435×434，面積 18.9m²，壁高 44～51，長軸方位 N188度W					
壁溝	幅 7～15，深さ 1～12					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	26×23	23×27	31×34	28×23	1－2：204	2－3：217
下パ径	14×13	7×14	10×16	13×16	3－4：221	4－1：217
深さ	12	10	11	11		
カマド	位置 南辺中央やや西寄り，対称軸方位 N190度W，構築材 粘土・石，支脚 不明					
貯蔵穴	位置 南西隅，平面形 不整形，上パ55×45，下パ25×32，深さ 33					

その他（状況の記録）

確認面：黒色土，6層　　検出位置：K～Lライン・850m付近

重複関係：42住→4坑・井戸状遺構　　覆土：暗褐色系の土

壁：直に近い　　床面：細かい凹凸あり，やや軟弱

主柱穴：4本検出，浅い　　壁溝：北辺～南辺東側で検出

カマド：燃焼部は住居壁の内側にある，煙道部約50cmを検出，粘土で固める

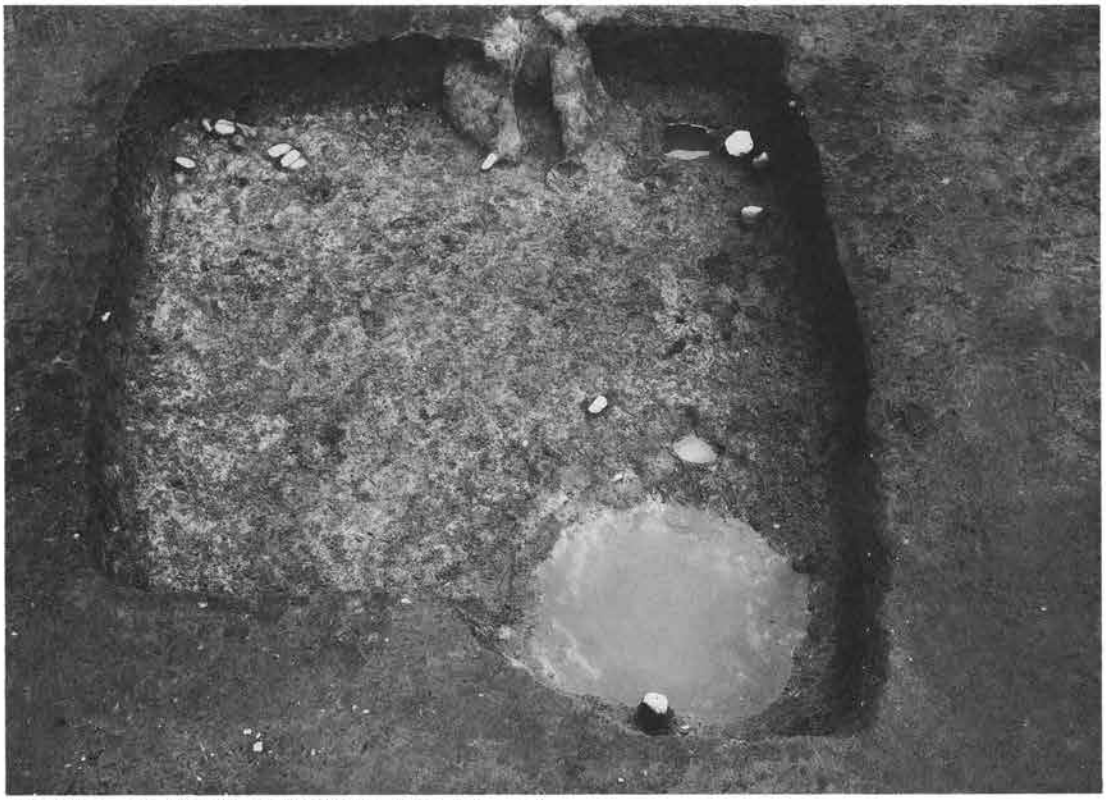
貯蔵穴：上面は略長方形，底面は楕円形を呈す

掘形：東辺北寄りで床溝検出（中央側は南へ曲がる），凹凸著しい，小ピット検出

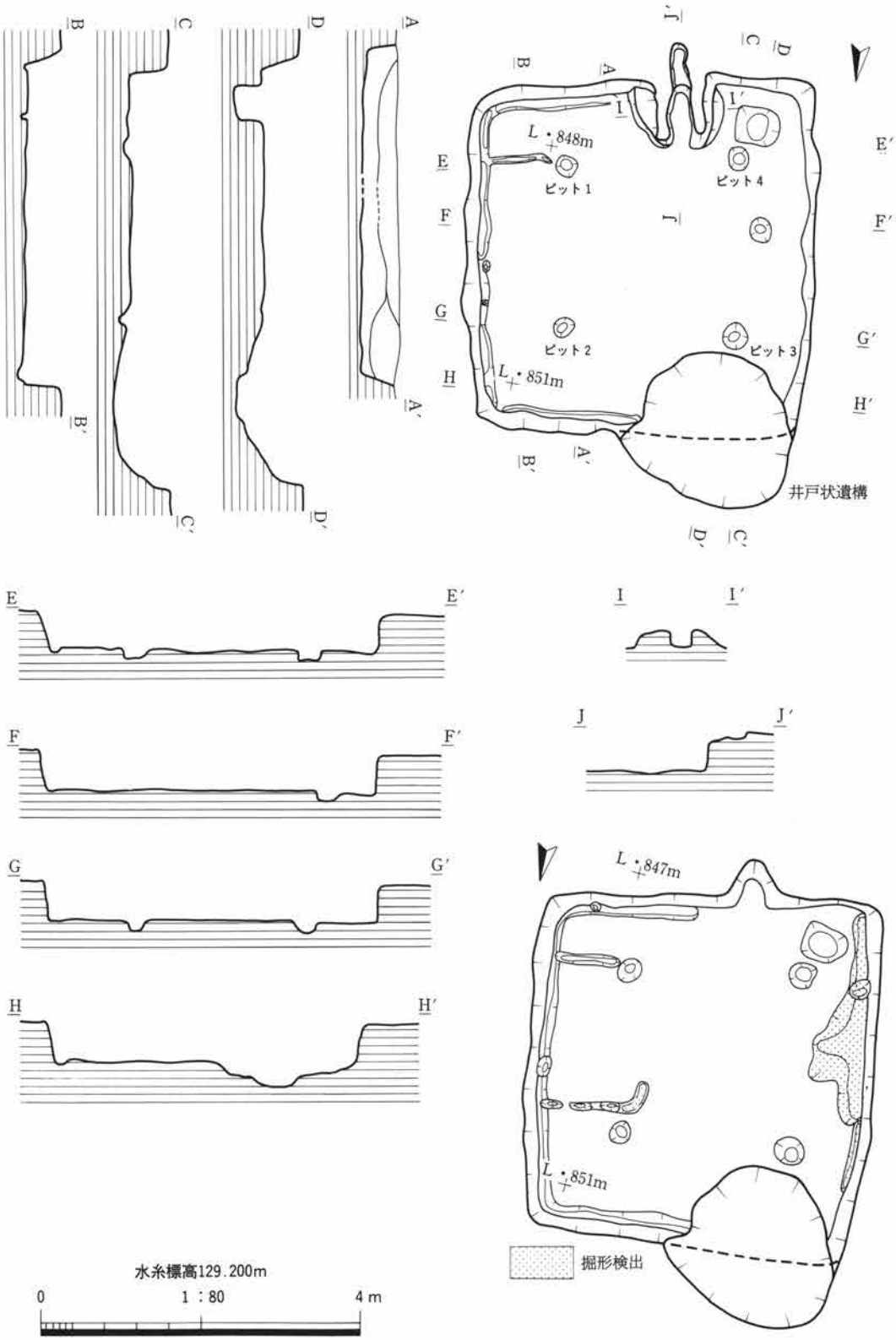
その他：北辺西側は井戸状遺構により破壊，南辺にカマドを設置するのは例が少ない

遺物：土器175片，カマド前から接合しない甕破片出土，カマド袖覆土から軽石5個出土，カマド内から須恵器小片出土，カマド掘形から模倣杯出土，覆土から丸胴甕口縁部出土，南東隅から15cm大の石9個がまとまって床面から出土，1218・1219

時期：古墳後期，6世紀前半



第590図　5区42号住居跡遺物出土状態（北から）

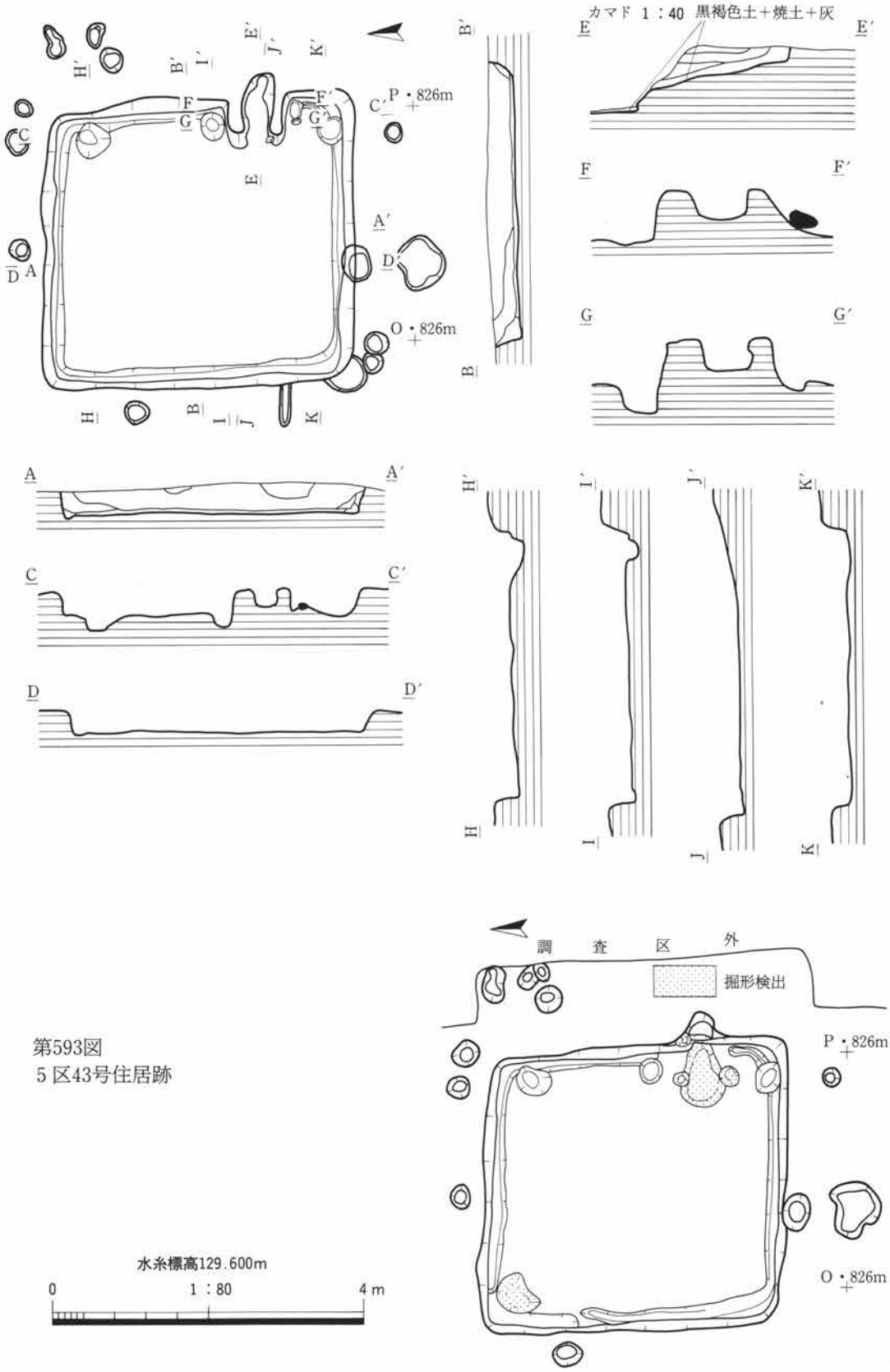


第591図　5区42号住居跡

三ッ寺II　5区　43号住居跡（第592・732図，図版370）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　395×371，面積　14.7m²，壁高　26～41，長軸方位　N178度E	
壁　溝　幅　5～16，深さ　1～7	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，対称軸方位　N95度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	,検出位置：O～Pライン・829m付近
重複関係：43住→A76溝	,覆　　土：黒褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	,床　　面：平坦，堅く締まる
主　柱　穴：－	,壁　　溝：カマド部を除き全周
カ　マ　ド：右袖前・右袖脇から石出土，燃焼部は住居壁ラインにかかる，両脇に径30ほどのピット検出，両袖下から小ピット検出，燃焼部掘形は浅く掘り込む	
貯　蔵　穴：北東隅の掘り込みか？（径45・深さ17），カマド両脇のピットか？	
掘　　形：細かい凹凸あり，小ピット多数検出，北西隅で不整形掘り込み検出（60×40・深さ7）	
そ　の　他：住居プラン外側にピット検出（覆土は本住居に似る），南西隅壁溝は不鮮明	
遺　　物：土器158片，覆土から外稜杯・須恵器甕体部片出土，掲載遺物図は覆土出土，床面出土遺物なし，1197・1198	
時　　期：古墳～奈良，7世紀後半～8世紀	

第592図　5区43号住居跡カマド付近遺物（西から）



第593図
5区43号住居跡

三ッ寺II　5区　44号住居跡（第594・733図，図版358・522）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模 446×（447），面積 （19.9）m²，壁高 17～41，長軸方位 N1度E					
壁溝	幅 10～15，深さ 1～3					
主柱穴	1	2	3（掘形）	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	26×23	19	26×21	－	1－2：212	2－3：181（掘形）
下バ径	16	13×11	13	－		
深さ	15	14	39	－		
カマド	位置 東辺，対称軸方位 N93度E，構築材 粘土・土器，支脚 石					
貯蔵穴	位置 南東部（掘形），平面形 長方形，上バ50×63，下バ34×45，深さ8					

その他（状況の記録）

確認面：黒色土，6層　　，検出位置：N～Oライン・880m付近

重複関係：44住→31住　　，覆土：褐色系の土，中位やや上にFAbk，

壁：直に近い　　，床面：平坦，貼床

主柱穴：ピット3は掘形検出，ピット4不明　　，壁溝：東辺・北辺で一部検出

カマド：燃焼部は住居壁の内側にある，左袖先端部に土師器甕を天地逆に据え粘土で固める，両袖先端部とも掘り過ぎ，燃焼部中央に石を据え支脚とする，土器片を高さ調整に用いたか？，右袖部は重複する31号住居により一部破壊，煙道部は燃焼部より一段高い

貯蔵穴：31号住居掘形調査で検出

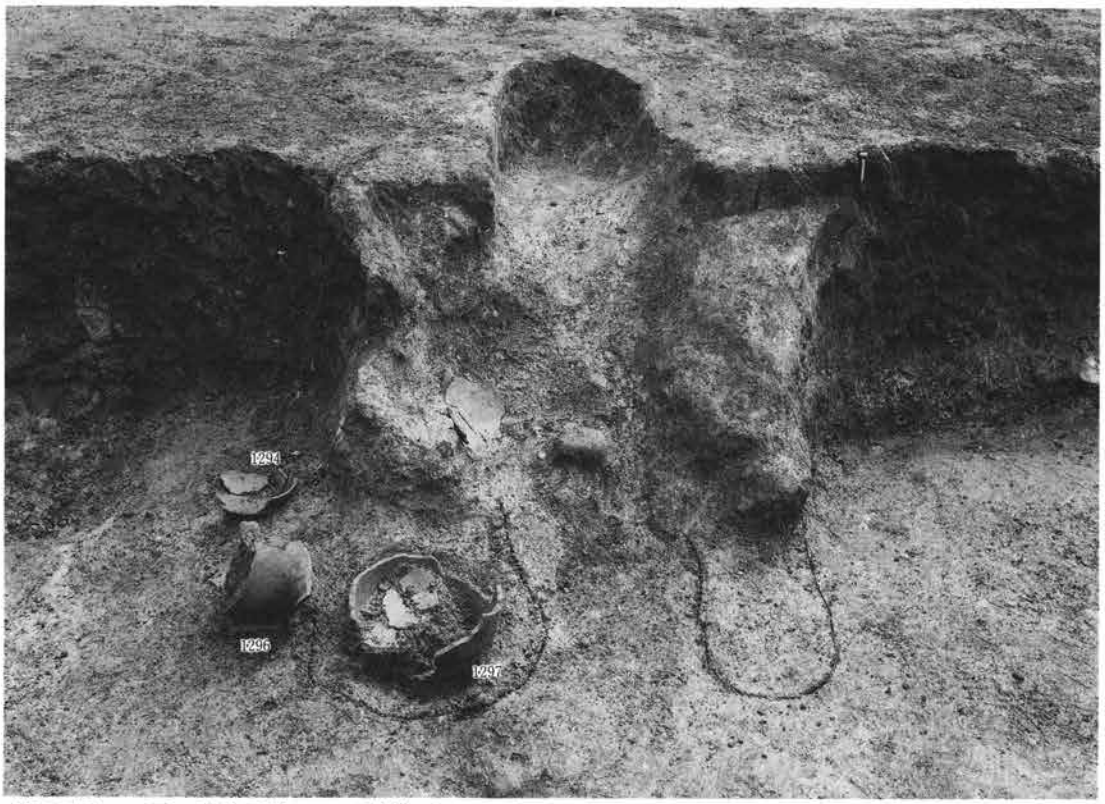
掘形：北辺・西辺で床溝検出，北西隅は床溝2本ずつ平行して検出，カマド前小ピット検出，西辺南半で壁溝検出

その他：南東隅未検出

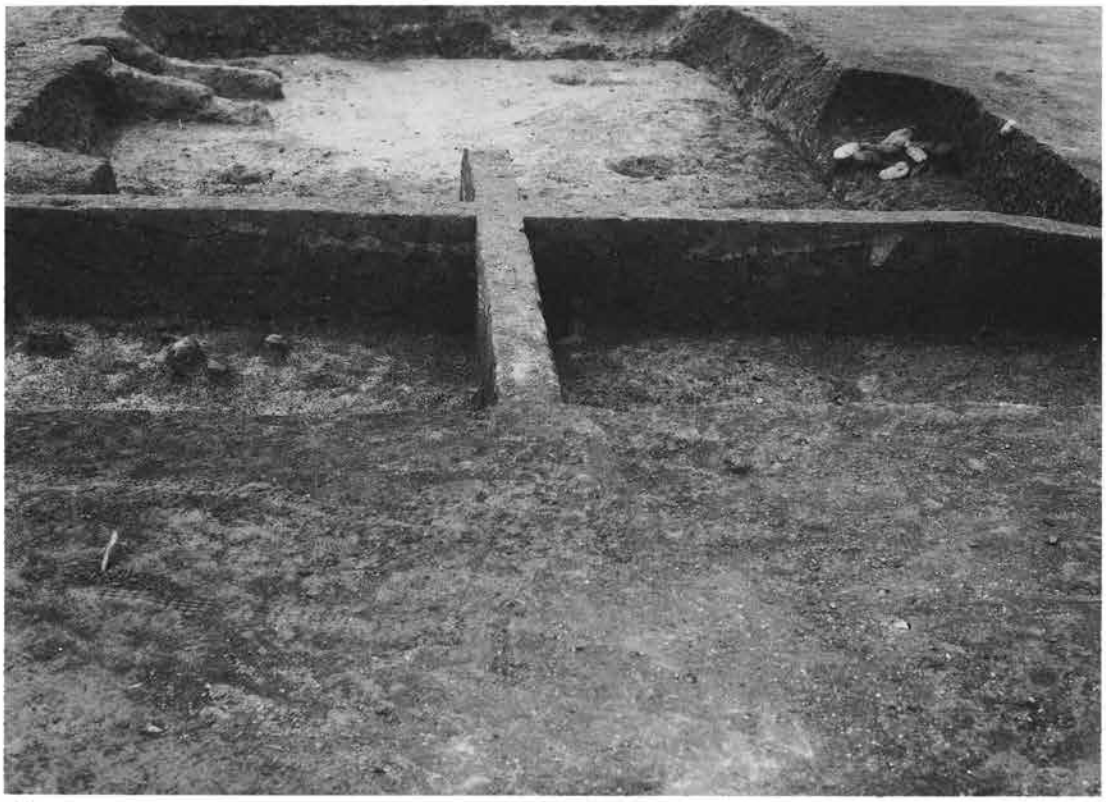
遺物：土器179片，南西隅床面から15cm大の石11個が集中して出土，覆土から内斜杯・内斜内黒杯・高杯出土，44・45住注記の土器113片（注記違いか？），1292・1293・1294・1295・1296・1297（甕，底部なし，カマド左袖中）・1298

時期：古墳後期，6世紀前半

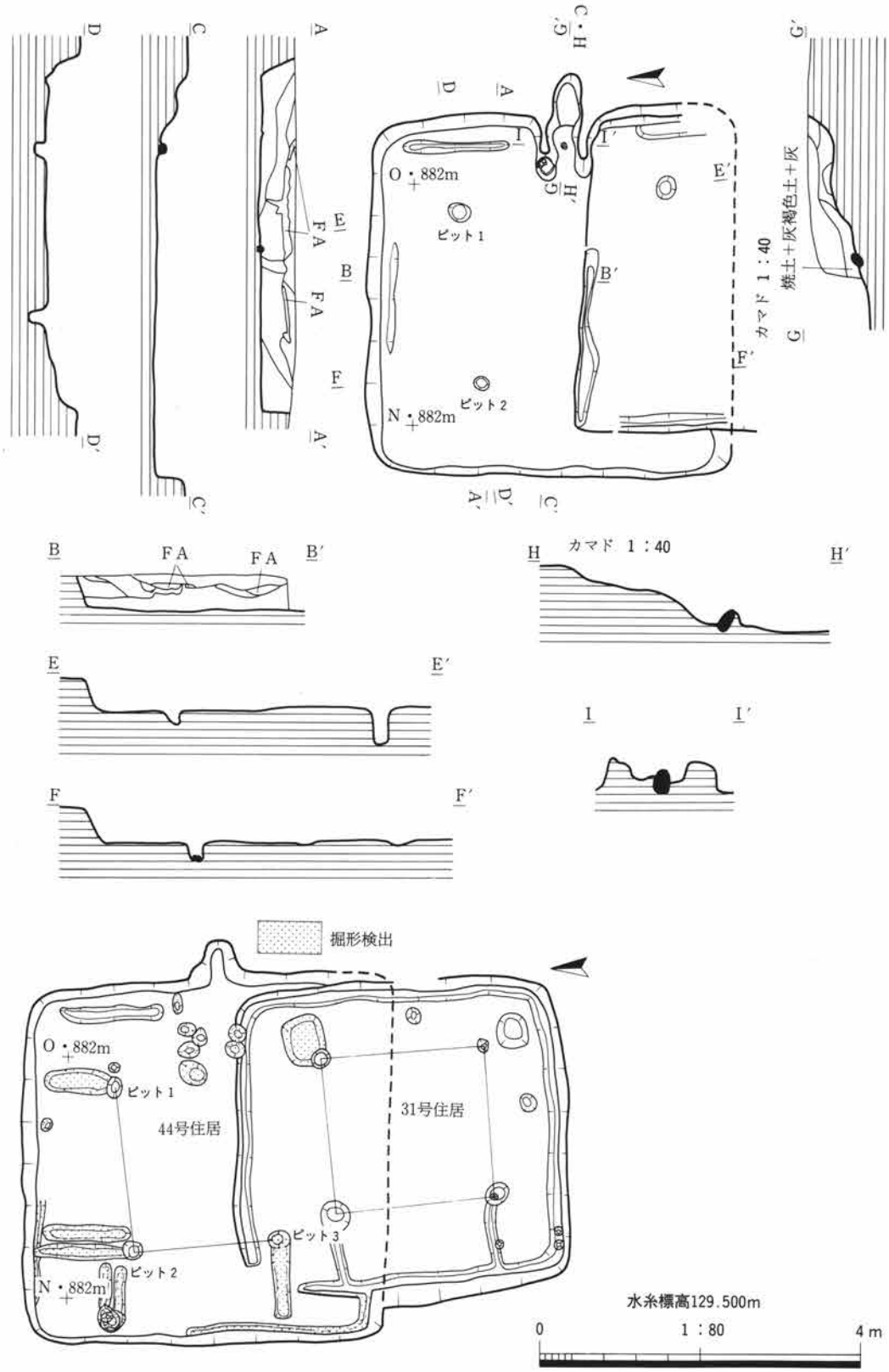
第594図　5区44号住居跡遺物出土状態（西から）



第595図　5区44号住居跡カマド遺物（西から）



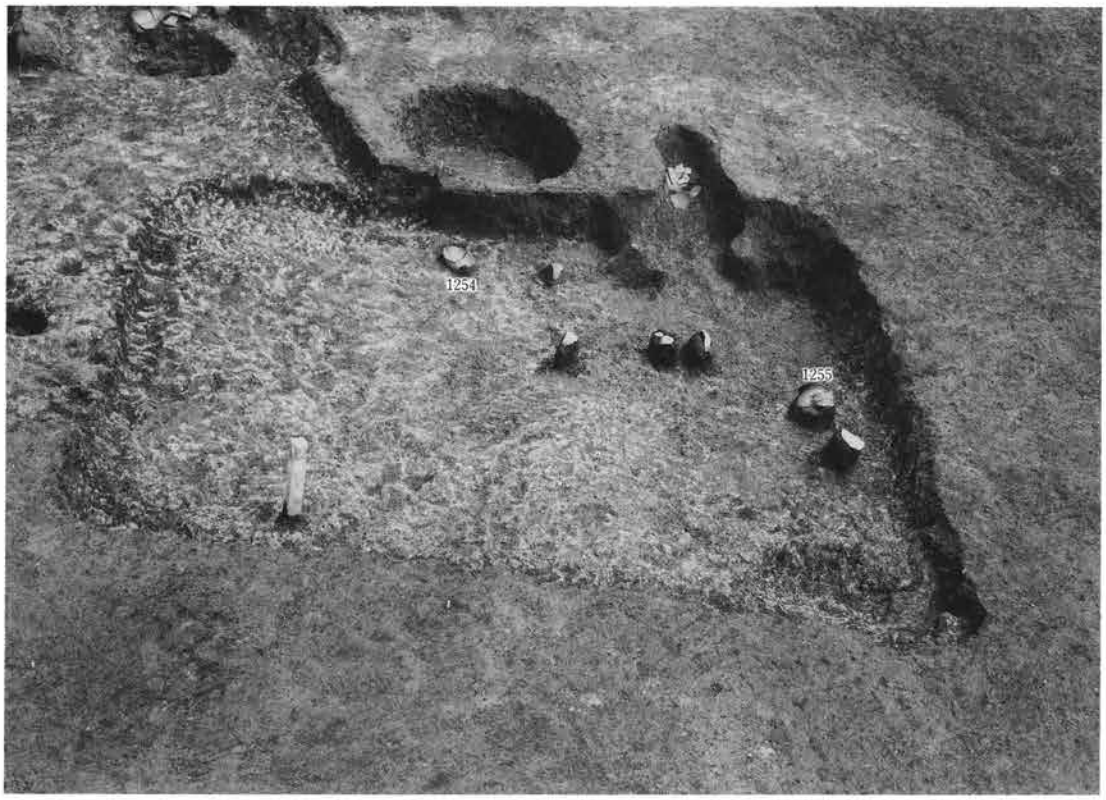
第596図　5区44号住居跡土層断面（北から）



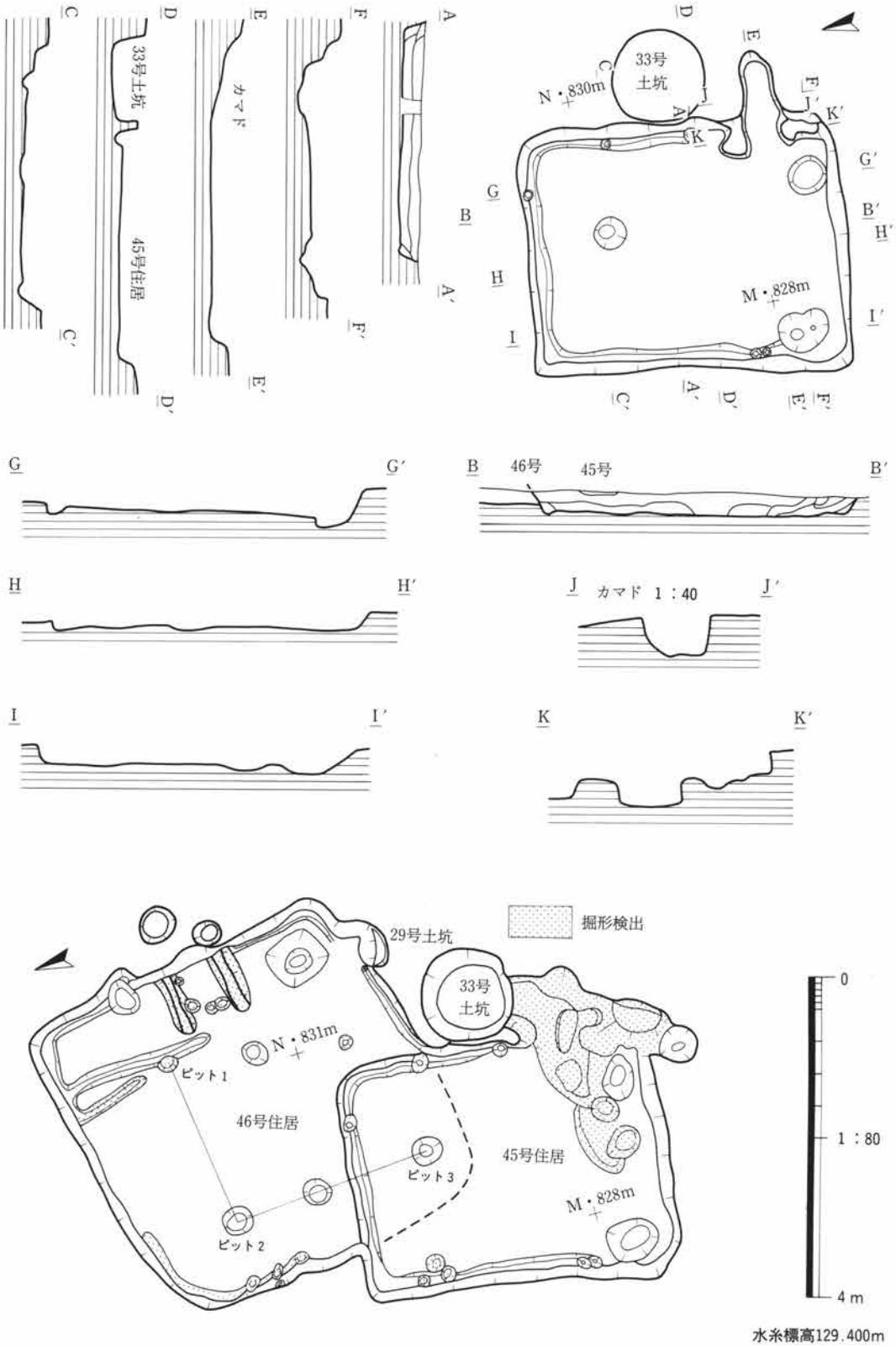
第597図　5区44号住居跡

三ッ寺II　5区　45号住居跡（第598・733図，図版372）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　403×314，　面積　12.7m²，　壁高　13～46，　長軸方位　N11度E	
壁　溝　幅　8～19，　深さ　1～5	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺南寄り，　対称軸方位　N95度E，　構築材　粘土・土器？，　支脚　不明	
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　略円形，　上パ48×43，下パ40×32，　深さ　14	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	，検出位置：M～Nライン・828m付近
重複関係：46住→45住→9住	，覆　　土：黒褐色系の土＋黄褐色土bk，
壁　　：斜めに立ち上がる	，床　　面：細かい凹凸あり，堅く締まる
主　柱　穴：－	，壁　　溝：南辺不明
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにかかる，燃焼部奥壁は斜めに立ち上がる，奥壁付近から土師器甕破片出土，両袖部遺存不良，煙道部は壁外へ約80cm延びる	
貯　蔵　穴：南西隅の掘り込みか？（不整形，深さ12）	
掘　　形：南東隅付近（カマド部含む）は不整形に掘り込む，床面に凹凸あり，小ピット多数検出，黄褐色土面に達する（堅い）	
そ　の　他：南東隅掘形は不整形に広がる	
遺　　物：土器90片，カマド煙道部から土師器甕出土，南半からの出土がやや多い，カマド前出土の土器は浮いている，覆土から須恵器平底杯・蓋（カエリ）・土師器ケズリ甕・外稜杯・くの字甕（口唇部凹線）出土，1254・1255・1256	
時　　期：奈良，8世紀前半	



第598図　5区45号住居跡遺物出土状態（西から）



第599図　5区45号住居跡

三ッ寺II　5区　46号住居跡（第600・733図，図版373・523）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	略方形，規模　南北437×東西428，面積　(18.7) m²，壁高　11～34，長軸方位　N171度E					
壁　溝	幅　7～14，深さ　1～4					
主柱穴	1（掘形）	2	3（45住）	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	25×19	36×30	40×35	－	1－2：221（掘形）	2－3：252
下パ径	16×12	27×22	16	－		
深　さ	11	13	9	－		
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　N84度E，構築材　粘土，支脚　土器（土師器小型甕，倒立）					
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　長方形，上パ70×64，下パ43×42，深さ　31					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Nライン・832m付近

重複関係：46住→45住→9住，46住→8住，46住→21住

覆　　土：暗褐色系の土　　，壁　　：斜めに立ち上がる

床　　面：細かい凹凸著しい

主　柱　穴：ピット4相当不明，ピット1は掘形検出，ピット4は45号住居内検出

壁　　溝：北東隅～南辺で検出，掘形では北東隅も検出

カ　マ　ド：袖部は掘り残しまたは突き固めた黄褐色土を芯にして粘土で固める，燃焼部は住居壁ラインの内側にある，燃焼部中央に土師器小型甕を倒立状態で据え支脚とする，右脇から土師器杯出土（高さ調整用か？）

貯　蔵　穴：掘形上面長方形・底面楕円形・二段に掘り込む，東辺壁際から土師器甕破片出土

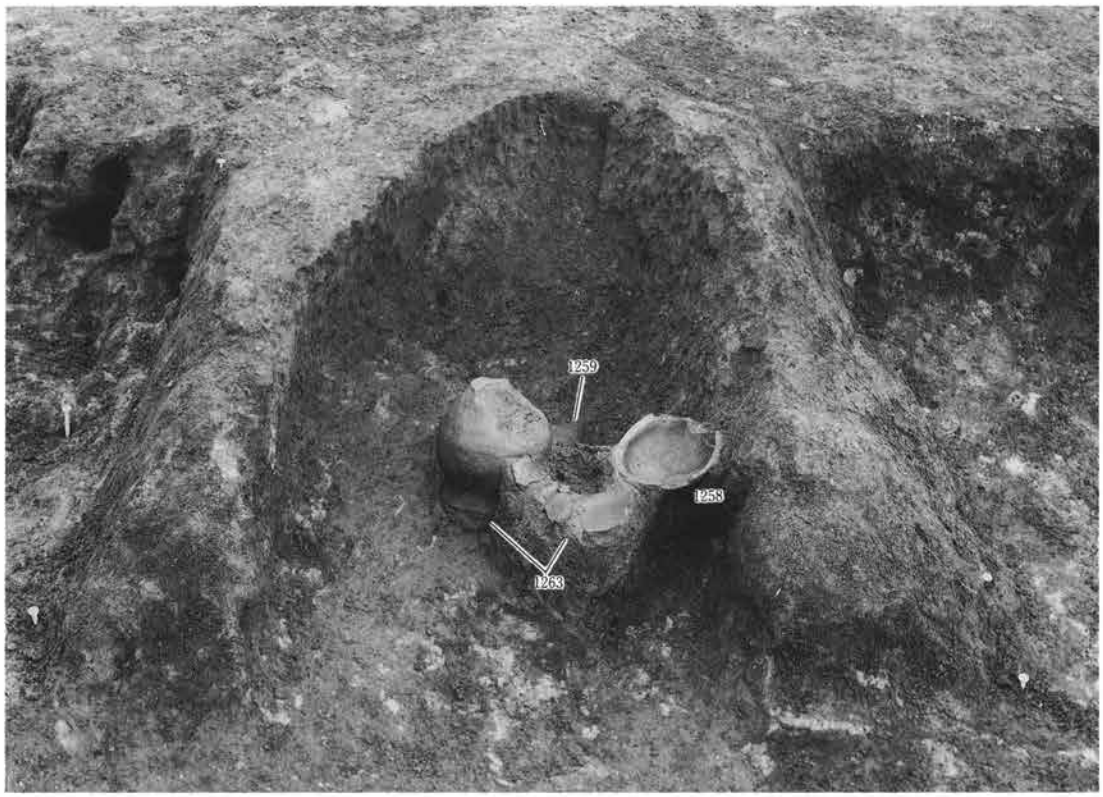
掘　　形：黄褐色土面に達する，小ピット多数検出，北辺寄りは凹凸著しい，北辺東寄りで床溝検出，カマド燃焼部下で小ピット4個検出，北西隅で壁溝検出，西辺際では小ピット検出

そ　の　他：中央床面の東西に径25～30・深さ10～15のピットを各1本検出，西側ピットはピット2－3を結ぶ線上にある，東辺北寄り壁際で径30・深さ10のピット検出，北辺東寄りで壁からカマド左袖前に延びる浅い溝（床溝状）検出（北東隅と合わせて略70×170の長方形を形成する），南西隅は重複する45号住居により破壊

遺　　物：土器203片，遺物出土量やや多い，覆土から半球杯・ミガキの甕底部・短脚高杯・小型甕・須恵器瓶出土，1257・1258・1259・1260・1261・1262・1263（小型甕，カマド中央倒立）・1264・1265

時　　期：古墳中期，5世紀末

第600図　5区46号住居跡遺物出土状態（西から）



第601図　５区46号住居跡カマド遺物（西から）

第602図　５区46号住居跡貯蔵穴付近（西から）

三ッ寺II　5区　47号住居跡（第603・734図，図版375）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　南北508×東西518，面積　26.3m²，壁高　23～47，長軸方位　N96度W						
壁　溝　幅　5～12，深さ　3～7						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	27	50×59	38×41	48×43	1－2：280	2－3：266
下バ径	18×16	12	19×16	20	3－4：290	4－1：259
深　さ	46	45	32	42		
カマド　位置　西辺中央やや南寄り，対称軸方位　N95度W，構築材　粘土，支脚　土器？						
貯蔵穴　位置　南西隅，平面形　円形，上バ53×58，下バ30×28，深さ　60						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：I～Jライン・873m付近

重複関係：47住→48住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　，床　　面：貼床，平坦

主　柱　穴：4本検出，床面中央に浅いピットあり　　，壁　　溝：カマド部を除き全周

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部奥壁は5～6cmの段をもち煙道部へつながる，両袖部は粘土で固める，煙道部掘形は長方形を呈する，全面に散乱する石はカマド構築材の一部か？

貯　蔵　穴：底面も略円形を呈する

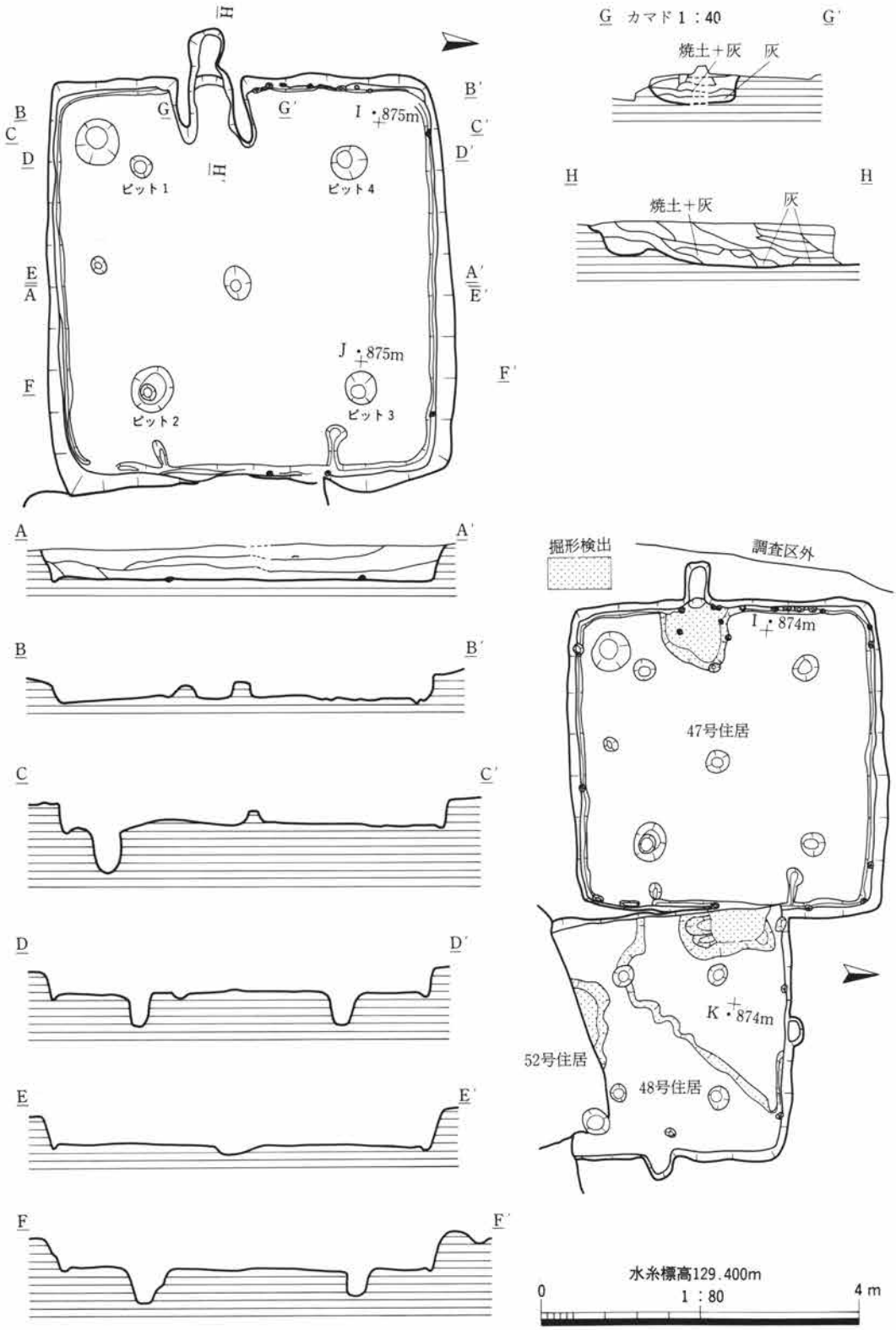
掘　　形：カマド袖部下は浅く掘り込む（小ピット検出），壁溝内小穴を追加検出

そ　の　他：床面中央に径は主柱穴と同じ浅いピット検出，南辺中央壁近くで深さ6の小ピット検出，西辺北寄りで壁溝内小穴を検出（間隔15～25cm），東辺で床溝2本検出（主柱穴につながらない）

遺　　物：土器585片，土器片・石の出土が多いが床面から浮いたものが大半，覆土から内黒模倣杯・壺・甕口縁部・高杯（土師器，長方形一段透かし）出土，1199・1200・1201・1202・1203（須恵器瓶口縁部，中央床面）・1204

時　　期：古墳後期，6世紀前半

第603図　5区47号住居跡遺物出土状態（東から）



第604図　5区47号住居跡

三ッ寺II　5区　48号住居跡（第605・734図，図版376・524）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　373×400，面積　14.9m²，壁高　24～40，長軸方位　N84度E						
壁　溝　幅　6～12，深さ　1～8						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	45×51	45×47	45×51	40×44	1－2：194	2－3：156
下パ径	20×24	12×20	18	13	3－4：186	4－1：165
深　さ	44	43	38	37		
カマド　位置　東辺中央，対称軸方位　N85度E，構築材　粘土・石，支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，平面形　略楕円形，上パ57×62，下パ48×37，深さ　27						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：K～Lライン・873m付近

重複関係：52住→38住→48住→3住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　，床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：4本検出　　，壁　　溝：東辺を除き検出

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインの内側にある，両袖先端部に細長い石を据え粘土で固める，焚口天井部にも45cm大の細長い石を架ける

貯　蔵　穴：底面は不整形，中から石出土，西側床面から細長い石出土

掘　　形：中央部で小ピット多数検出，凹凸著しい，中央部で北東－南西の段検出，北西隅で略長方形の掘り込み検出（145×75・深さ13前後）

そ　の　他：床面中央で径38×44・深さ10のピット検出，北辺西寄りピット2から床溝が延びる，北辺中央の壁外で半円形の掘り込み検出（階段状），南東隅は52号住居により破壊，北西隅は48号住居と同時掘り下げにより破壊

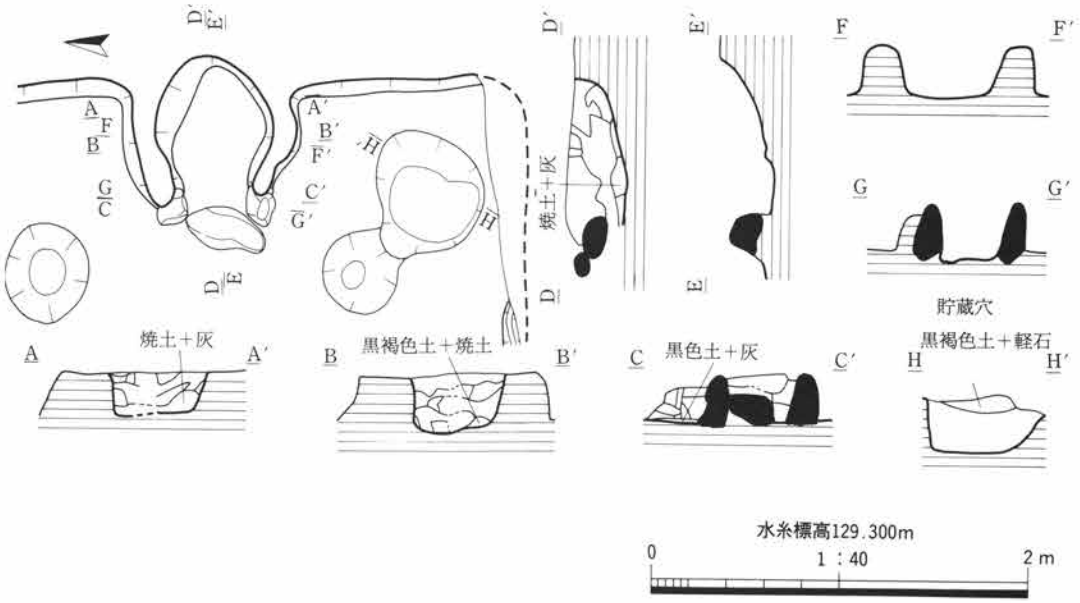
遺　　物：土器215片，中央部からの出土が多い，覆土から内斜口縁杯・短脚高杯・丸胴甕底部・甕底部出土，カマド前の床面から浮いた状態で30cm大の石出土（表面に金属線痕跡あり），南辺東寄り床面から20cm大の細長い石出土，0518（高杯）は二次火熱を受けている（支脚転用か？），0518・1241・1242・1243・1244・1245（匙形土器）・1246・1247・1248・1249（甑）・1250（くの字口縁，単孔）

時　　期：古墳後期，6世紀前半

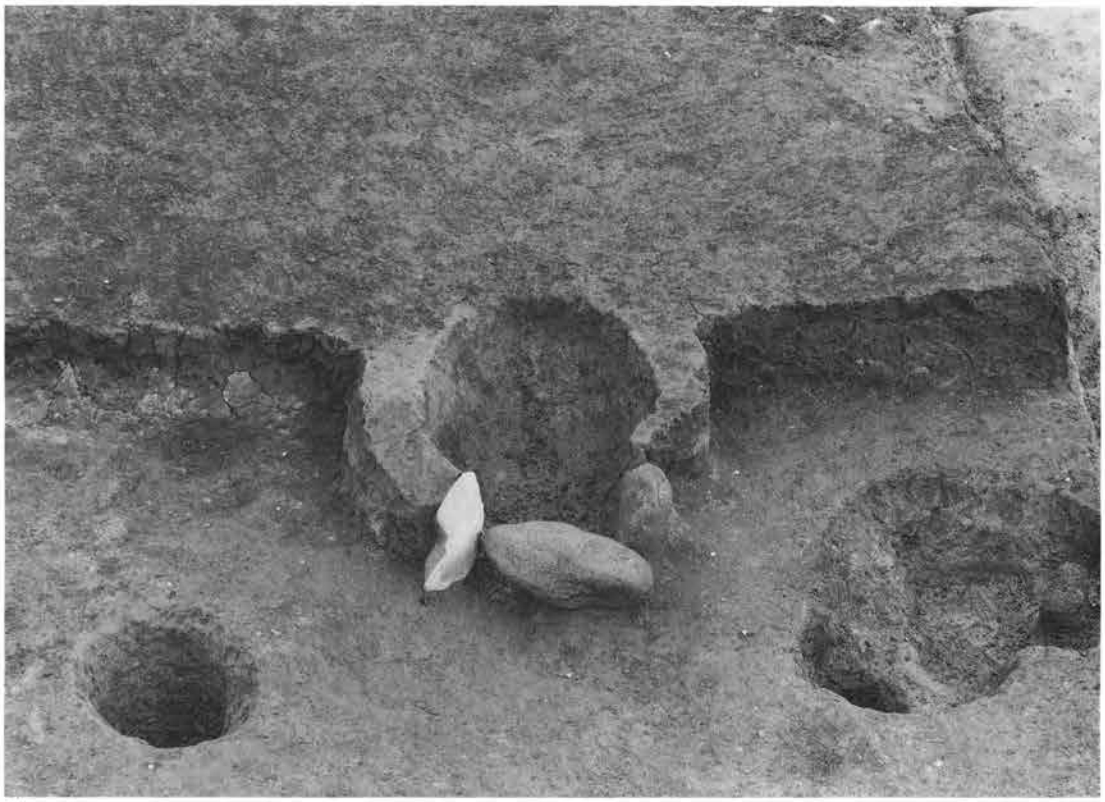
第605図　5区48号住居跡遺物出土状態（北から）

第606図　5区48号住居跡遺物出土状態（西から）

第607図　5区48号住居跡遺物出土状態（西から）



第608図　5区48号住居跡　カマド



第609図　5区48号住居跡カマド遺物（西から）

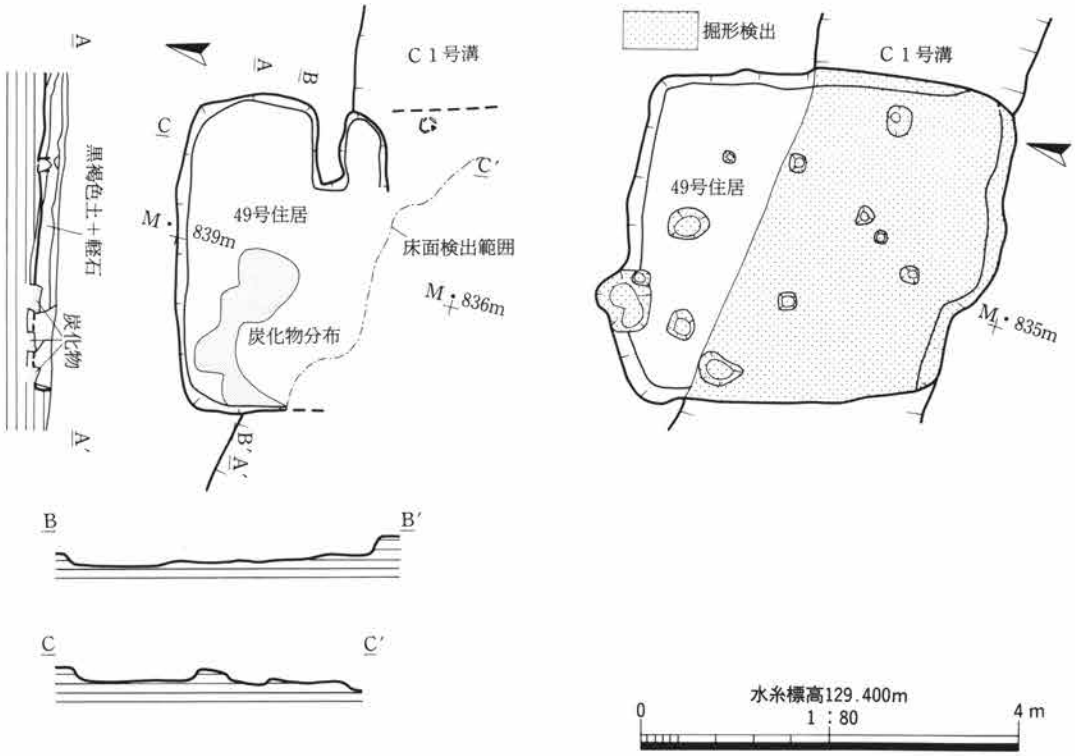
三ッ寺II　5区　49号住居跡（第610・735図，図版377・525）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	（長方形），規模　東西332×南北402（掘形），面積　（13.3）m²，壁高　9～19，長軸方位　N164度E
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺，対称軸方位　N73度E，構築材　粘土・土器？，支脚　不明
貯蔵穴	不明

その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	Mライン・837m付近
重複関係	49住→8住→C1溝	覆土	黒褐色系の土＋軽石
壁	浅い，斜めに立ち上がる		
床面	北辺寄り西半は掘り過ぎ，貼床，北西隅付近は炭化物分布，南東部の一部は床面検出		
主柱穴	－	壁溝	－
カマド	遺存不良，燃焼部は住居壁の内側にある，右袖部不明		
貯蔵穴	－		
掘形	凹凸著しい，小ピット多数検出，南辺検出，プランおおよそ確認		
その他	C1溝により南半を破壊，長軸方位は掘形検出プランによる，詳細不明		
遺物	土器172片，床面から炭化物出土，カマド左袖脇から土師器高杯脚部片出土，掘形（C1溝中）から小型甕出土，覆土から半球杯・模倣杯・ケズリ甕体部片出土，1169・1170・1171・1172・1173		
時期	古墳中期，5世紀末		

第610図　5区49号住居跡遺物出土状態（北から）



第611図　5区49号住居跡

第612図　5区49号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　50号住居跡（第613・736図，図版378）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	隅丸長方形，規模　454×341，面積　15.5m²，壁高　38～46，長軸方位　N12度E
壁　溝	幅　7～23，深さ　2～4
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺南寄り，対称軸方位　N112度E，構築材　粘土・石，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南西隅，平面形　円形，上パ34×34，下パ12×15，深さ　22

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Mライン・821m付近

重複関係：50住→10住　　，覆　　土：暗褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い

床　　面：黄褐色土面に達する，堅く締まる，小ピット多数検出

主　柱　穴：－　　，壁　　溝：カマド部を除く，北西部は掘り過ぎ

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は急角度で立ち上がる，両袖先端部は直方体に加工した軽石を据え粘土で固める，10～20cm大の丸石を数個積み上げ粘土で固めて燃焼部両袖を形成する，

カマド前に浅い掘り込み検出（底面堅く締まる）

貯　蔵　穴：スリ鉢状を呈する　　，掘　　形：凹凸著しい，小石露出

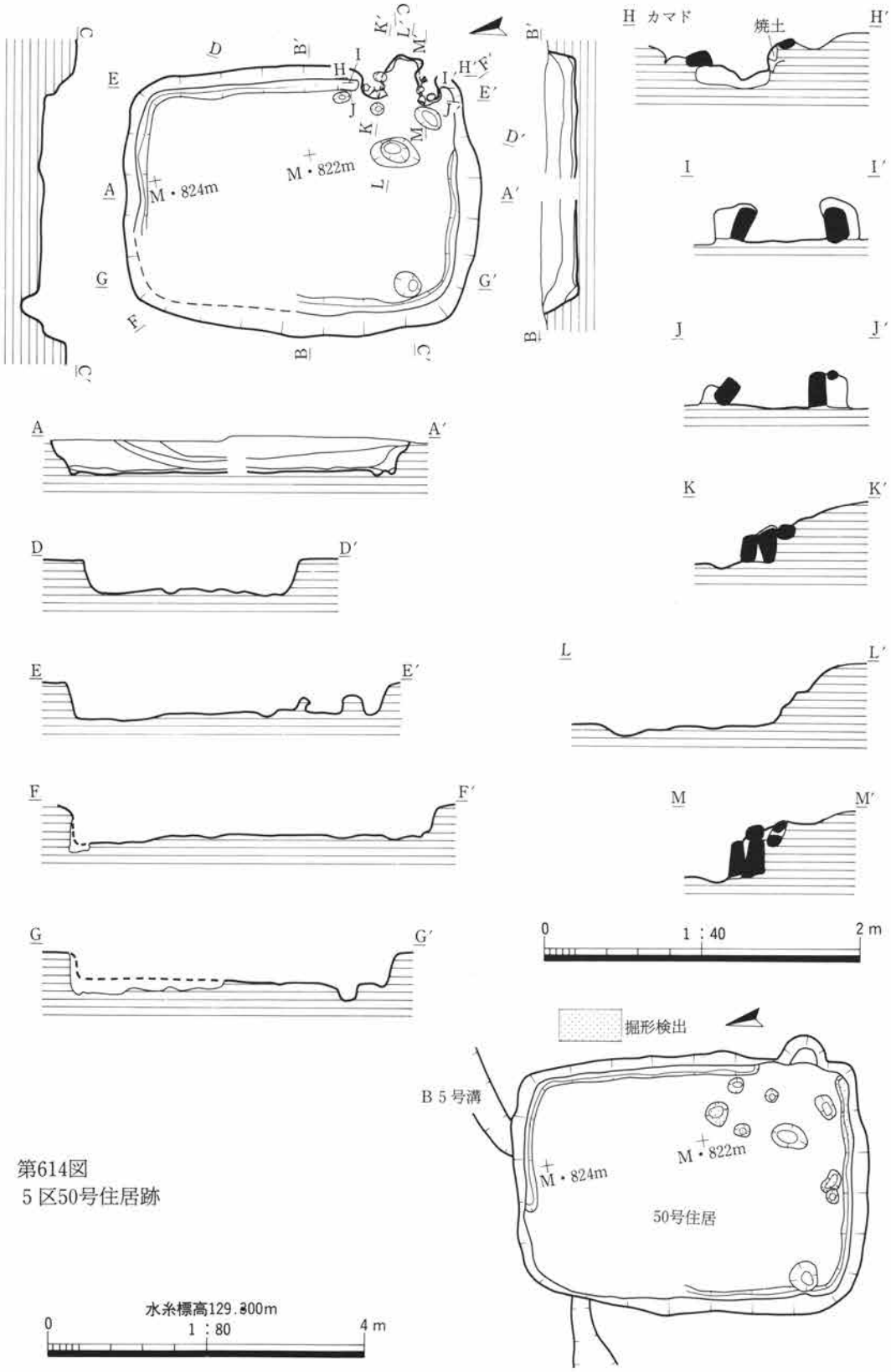
そ　の　他：カマド両袖前に小ピット検出，北西隅床面は掘り下げ過ぎて破壊

遺　　物：土器206片，覆土から外稜杯・くの字口縁甕・須恵器杯出土，床面検出遺物なし，

1156（須恵器杯，外底ヘラ切り，南辺東寄り壁際）

時　　期：古墳～奈良

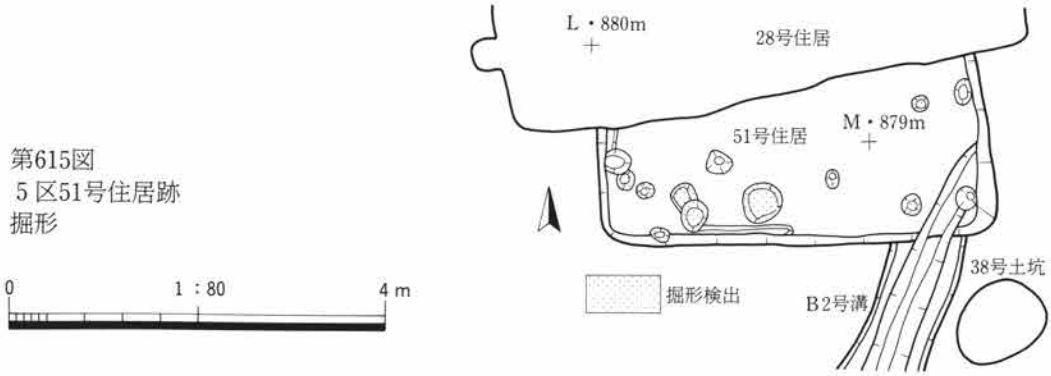
第613図　5区50号住居跡カマド遺物（西から）



第614図
5 区50号住居跡

三ッ寺II　5区　51号住居跡（第615図，図版379）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　東西418×南北195以上，　面積　－，　壁高　13～25，　長軸方位　－	
壁　溝　幅　7～19，　深さ　2～9	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：L～Mライン・878m付近
重複関係：B2溝→51住→28住→A類溝	覆　　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：検出内全周
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：南辺際の凹凸著しい，小ピット多数検出，南東隅床下でB2号溝底面検出	
そ　の　他：東辺180・南辺415・西辺130，ピット1：径28×36・深さ19，壁溝内小ピット検出，北半を28号住居により破壊され詳細不明	
遺　　物：土器7片，覆土から土師器壺・甕口縁部出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	



第615図
5区51号住居跡
掘形

第616図　5区51号住居跡（西から）

三ッ寺II　5区　52号住居跡（第617・736図，図版380）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　390×410，面積　16.0m²，壁高　5～60，長軸方位　N65度E					
壁　溝	幅　5～15，深さ　1～7					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	19×16	16	24×23	20×28	1－2：200	2－3：184
下パ径	11	10	10×12	10×20	3－4：195（掘形）	4－1：180（掘形）
深　さ	13	19	21	10		
カマド	位置　北東辺中央，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明					
貯蔵穴	位置　東隅，平面形　不整形，上パ60×72，下パ39×27，深さ　42					

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Kライン・869m付近

重複関係：52住→38住→48住→3住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い，南西部深い　　，床　　面：平坦，貼床，やや軟弱

主　柱　穴：ピット4は掘形検出　　，壁　　溝：北東辺不明確

カ　マ　ド：焼土bk，・灰を含む掘り込みを38号住居床下で検出，袖部等は破壊されて遺存なし

貯　蔵　穴：南東辺側に不整形に広がる，底面は楕円形を呈す，掘形では略円形

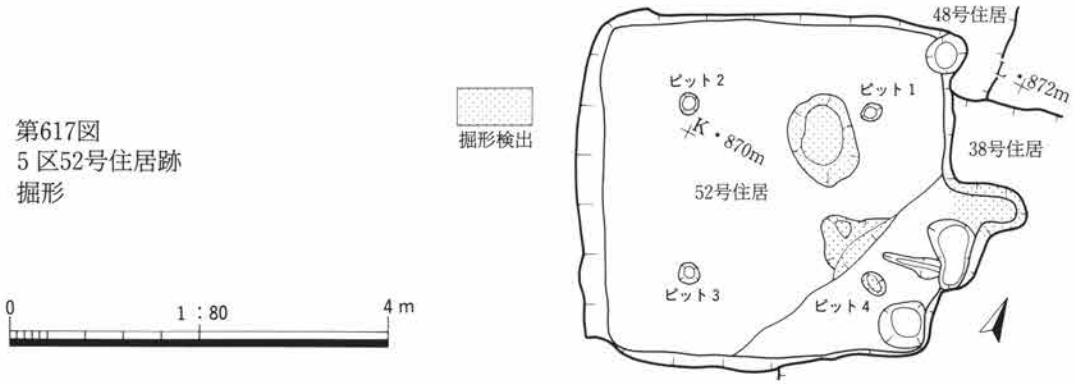
掘　　形：中央北寄りで砂質土に埋まった略楕円形の掘り込み検出（95×70・深さ50），東隅付近でピット4検出，東隅付近がやや高く中央部はくぼむ

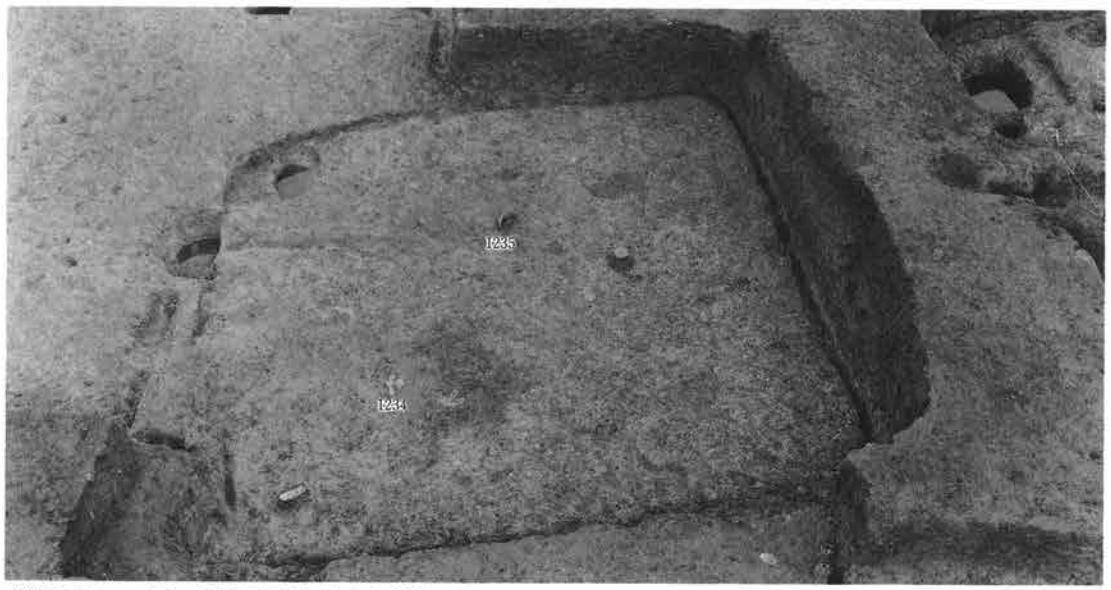
そ　の　他：北隅は48号住居床下で検出，東隅は38号住居床下で検出，東半遺存不良

遺　　物：土器242片・石3個，北隅床面から18cm大の細長い石出土，中央覆土から甕底部出土，中央東寄り覆土・貯蔵穴覆土から短脚高杯出土，覆土から内黒内斜口縁杯・丸胴甕底部出土，1234・1235

時　　期：古墳後期，6世紀前半

第617図
5区52号住居跡
掘形

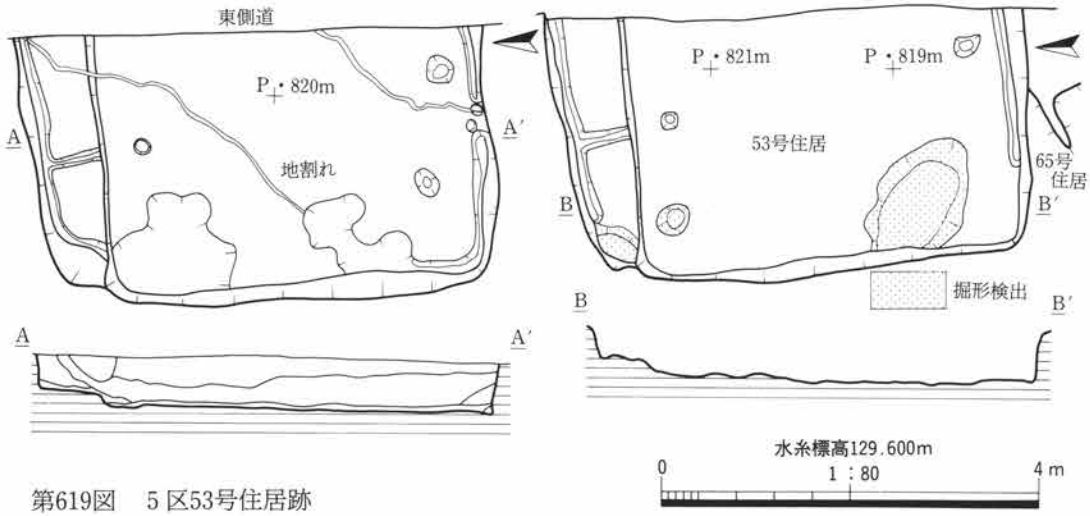




第618図　5区52号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　5区　53号住居跡（第619・736図，図版381・525）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北498×東西284以上，　面積　－，　壁高　33～60，　長軸方位　－	
壁　溝　幅　5～15，　深さ　1～5	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Pライン・820m付近
重複関係：65住→53住・64住	覆　　土：褐色系の土＋軽石
壁　　：直に近い，やや深い	床　　面：黄褐色土面に達する，堅く締まる
主　柱　穴：北寄りピット；径17・深さ9で浅い	壁　　溝：北辺・南辺で検出
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：北西隅付近で掘り込み検出，西辺南寄りで径150×100・深さ8・略楕円形の掘り込み検出	
そ　の　他：東半は調査区外にある，東側道調査では確認できず，北辺267・西辺452・南辺260，西辺寄りの床面に不整形の浅いくぼみ検出，北辺沿いに幅50～60・長さ215・比高12の平坦な高まりを検出（ベッド状遺構？，地山掘り残し），床溝はこれを掘り込んでいる，北東－南西方向の地割れが住居中央部を2本走る	
遺　　物：土器41片，遺物少ない，覆土から黒色土器模倣杯・半球杯・模倣杯（口唇部凹線）・内斜口縁杯出土，I125（黒色土器，模倣杯）・1126・1127	
時　　期：古墳後期，6世紀後半	



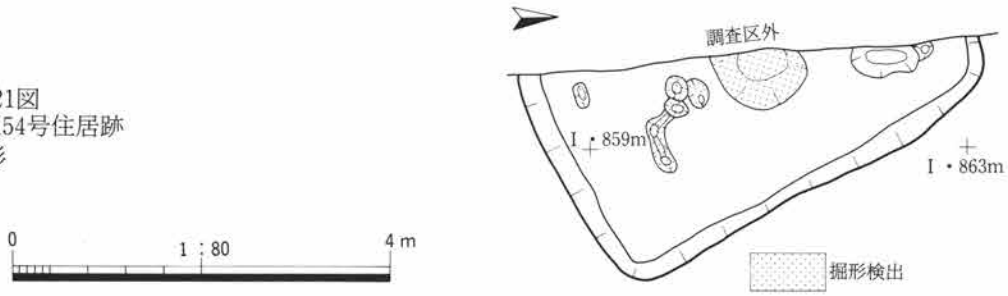
第619図　5区53号住居跡

第620図　5区53号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　54号住居跡（第621・736図，図版381・525）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，規模　南北470前後×東西270以上，面積　－，壁高　37～50，長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Iライン・860m付近
重複関係：－	覆　　土：褐色系の土
壁　　：直に近い	床　　面：平坦，貼床，やや軟弱
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：凹凸著しい，中央部に径90・深さ11の掘り込み検出，小ピット多数検出	
そ　の　他：東隅・北隅検出，南東辺255・北東辺440，北隅付近の掘り込みは上層から掘り込んだ土坑底面，西側は調査区外にあり詳細不明	
遺　　物：土器182片・石1個，南東部に遺物多い，床面からやや浮いた状態で高杯・模倣杯・甕・壺・小型甕出土，須恵器の出土なし，南東隅床面から20cm大の細長い石出土，1214・1215・1216・1217	
時　　期：古墳後期，6世紀前半	

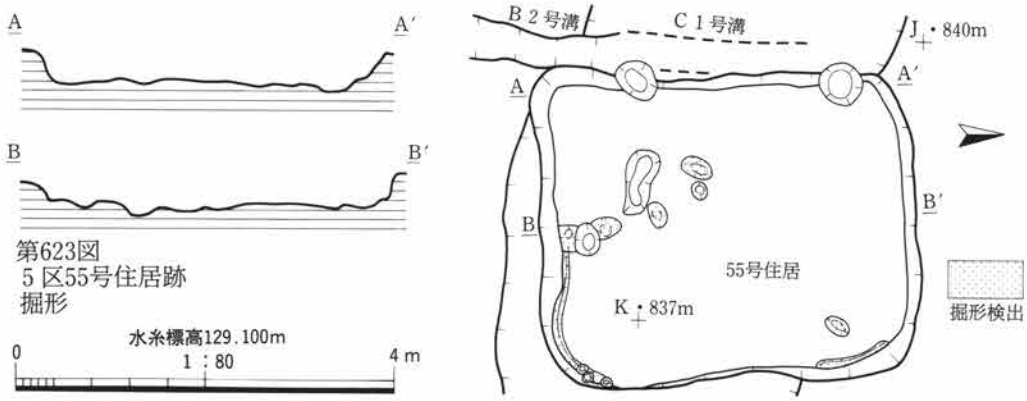
第621図
5区54号住居跡
掘形



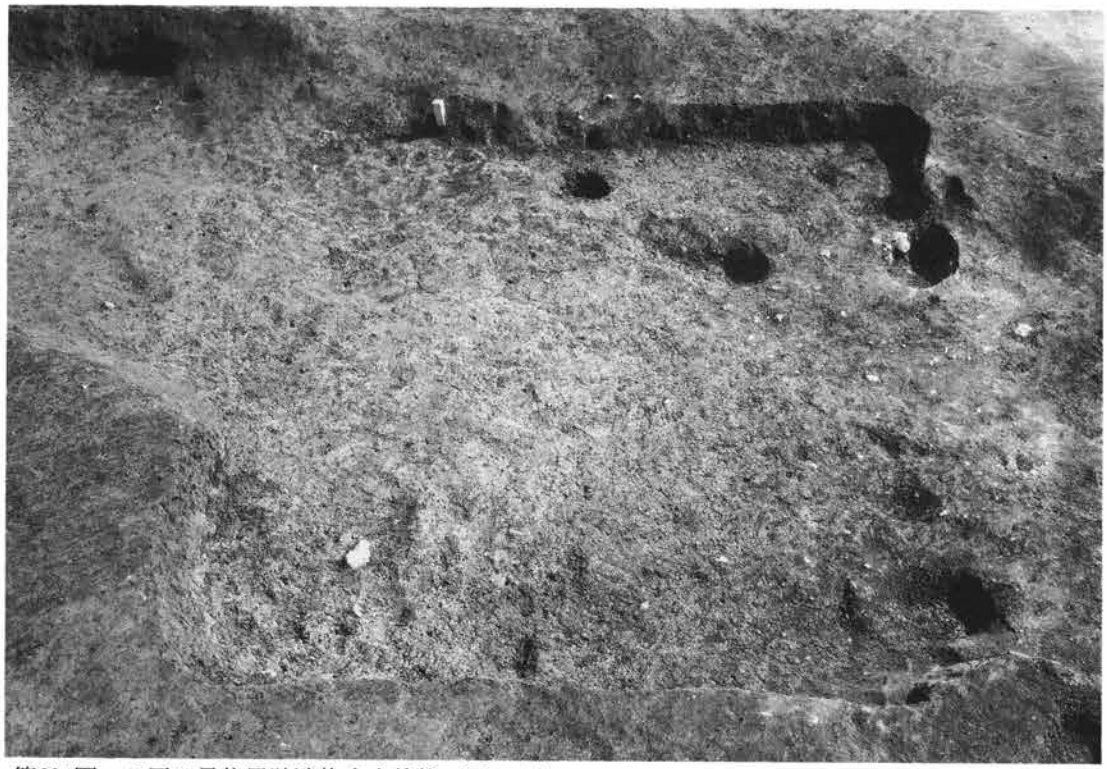
第622図　5区54号住居跡遺物出土状態（南から）

三ッ寺II　5区　55号住居跡（第623図，図版382）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，規模　400×340（南辺寄り），面積　(13.6) m²，壁高　13～37，長軸方位　N178度E	
壁　溝　幅　3～10，深さ　1～4（掘形）	
主柱穴　不明	
カマド　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：J～Kライン・838m付近
重複関係：B2溝→55住→C1溝	覆　　土：褐色系の土
壁　　：斜めに立ち上がる	床　　面：遺存不良，凹凸あり
主　柱　穴：－	壁　　溝：掘形調査で北東隅・南東隅に検出
カ　マ　ド：－	貯　蔵　穴：－
掘　　形：凹凸著しい，小ピット多数検出	
の　他：C1号溝により中央部破壊，西側の壁際ピットは主柱穴か？，各隅検出，詳細不明	
遺　　物：土器19片，覆土から外稜杯出土，小片のみ，遺物図掲載なし	
時　　期：不明，古墳～奈良？	



第623図
5区55号住居跡
掘形



第624図　5区55号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　56号住居跡（第625・736図，図版383・526）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形，規模 521×522，面積 27.2m²，壁高 17～33，長軸方位 N93度E					
壁溝	幅 9～20，深さ 1～12					
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	32×36	39×42	37	35×32	1－2：246	2－3：235
下バ径	11×6	15×22	12	17×14	3－4：266（掘形）	4－1：235
深さ	55	25	47	43		
カマド	位置 東辺中央南寄り，対称軸方位 N85度E，構築材 粘土，支脚 石＋土器					
貯蔵穴	位置 南東隅，平面形 長方形，上バ55×70，下バ21×32，深さ 75					

その他（状況の記録）

確認面：黒色土，6層　　検出位置：M～Oライン・802m付近

重複関係：56住→44坑　　覆土：黒褐色系の土＋軽石

壁：直に近い，浅い　　床面：細かい凹凸あり，貼床，堅く締まる

主柱穴：ピット3は二段に掘り込む，ピット4は掘形調査で検出

壁溝：カマド下を除き全周

カマド：燃焼部は住居壁の内側にある，左袖先端部から土師器小型甕出土（構築材の一部か？），燃焼部中央やや左寄りに細長い石を据え支脚とする，石支脚の上に高杯脚部・土器片2枚を乗せて高さ調整を施す，カマド前から土師器甕類出土，掘形調査では両袖部下に各2個・両脇に各1個の小ピット検出

貯蔵穴：底面は略楕円形を呈する，掘形調査では端正な長方形の上バとなる

掘形：ピット4検出，ピット2の北西に接してほぼ同じ大きさのピット検出，中央部に小ピット検出，南辺中央やや東寄りで小ピット検出，南辺寄りピットとピット4を結ぶ線上に細い溝検出，北辺・西辺で計9本の床溝検出，東辺・南辺の壁溝は不明となる，貯蔵穴西側から壁溝が約50cm西側へ延びる

その他：掘形検出の床溝分布状況と貯蔵穴西側の溝とをあわせると建て替え1～2回か？

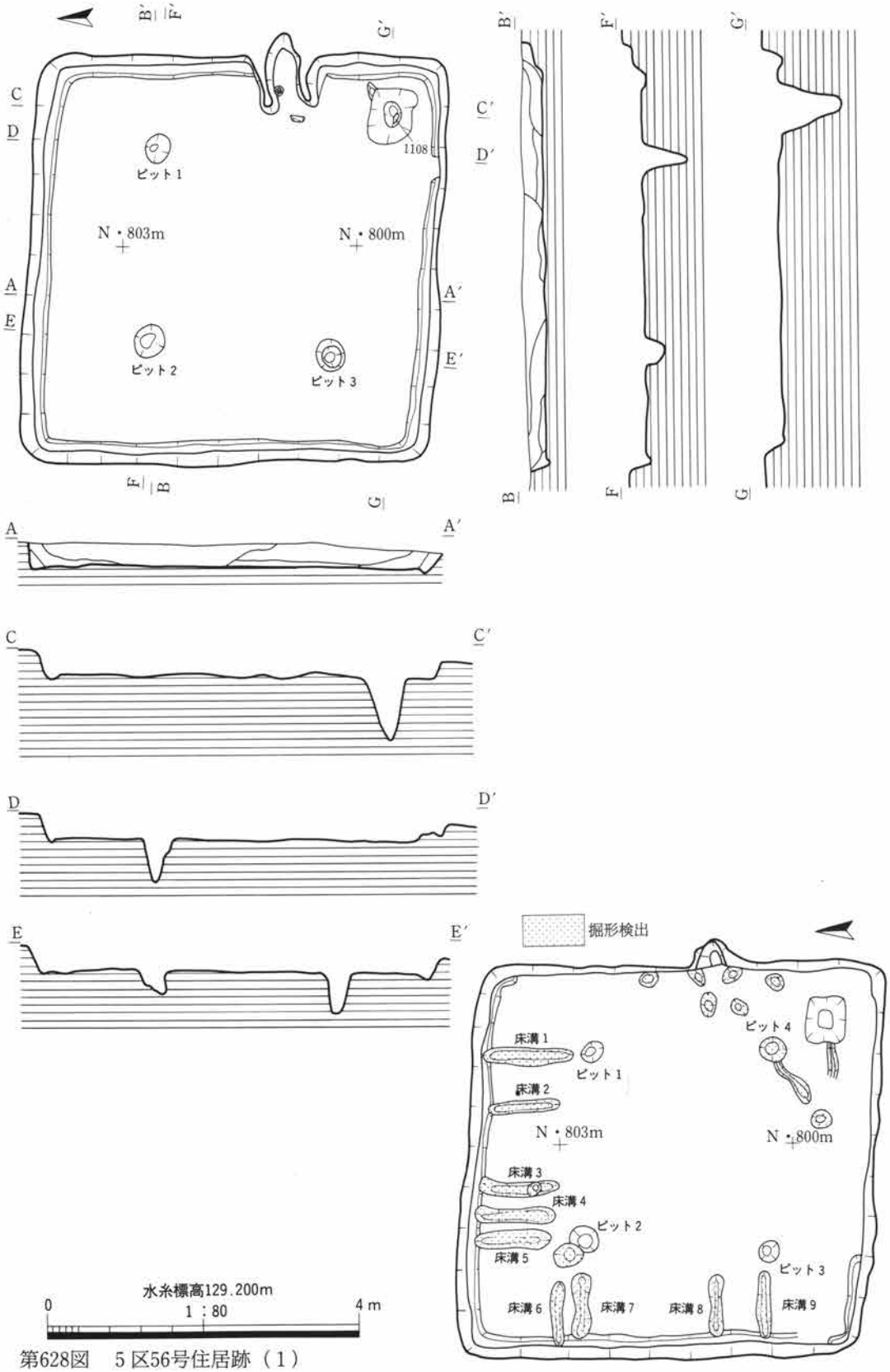
遺物：土器331片・石1個，カマド前から完形に近い土器が出土，カマド中央の高杯＋南辺中央の破片が接合，南辺中央壁際から丸胴甕底部出土，カマド左袖部から小型甕出土，1102・1103・1104・1105・1106（高杯，カマド中央）・1107・1108（砥石）

時期：古墳後期，6世紀前半

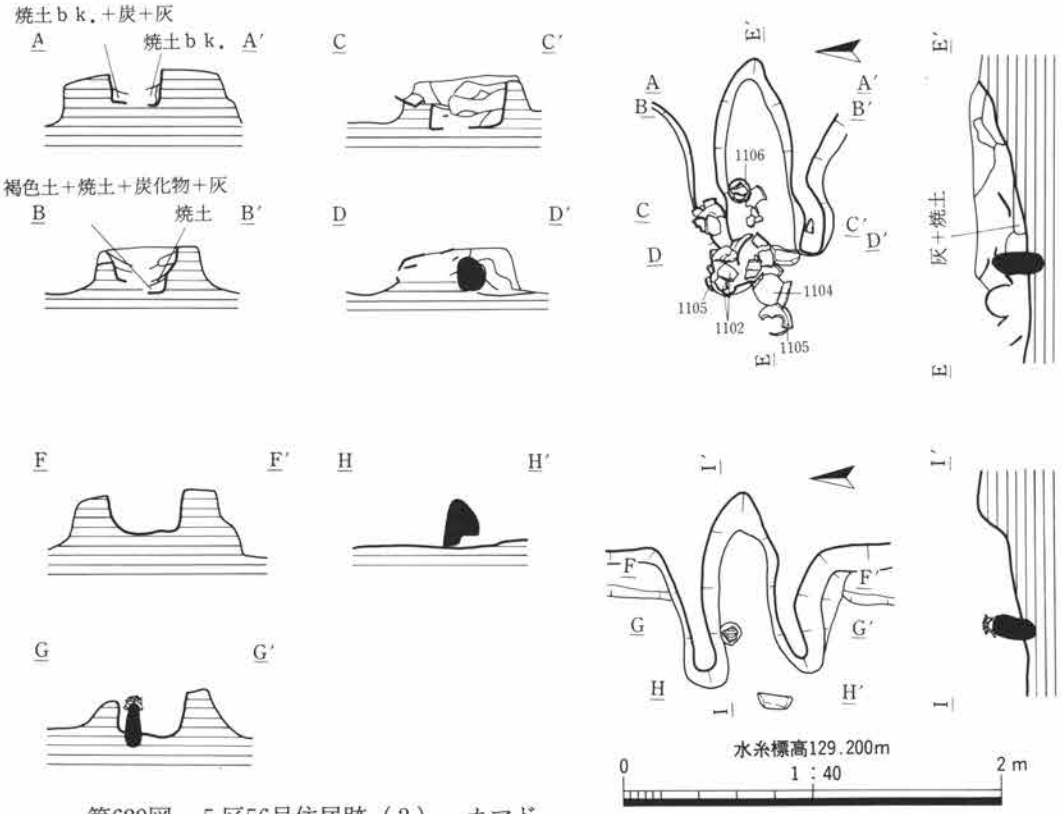
第625図　5区56号住居跡遺物出土状態（西から）

第626図　5区56号住居跡カマド遺物（西から）

第627図　5区56号住居跡遺物出土状態（北から）



第628図　5区56号住居跡（1）



第629図　５区56号住居跡（２）　カマド

第630図　５区56号住居跡カマド遺物（西から）

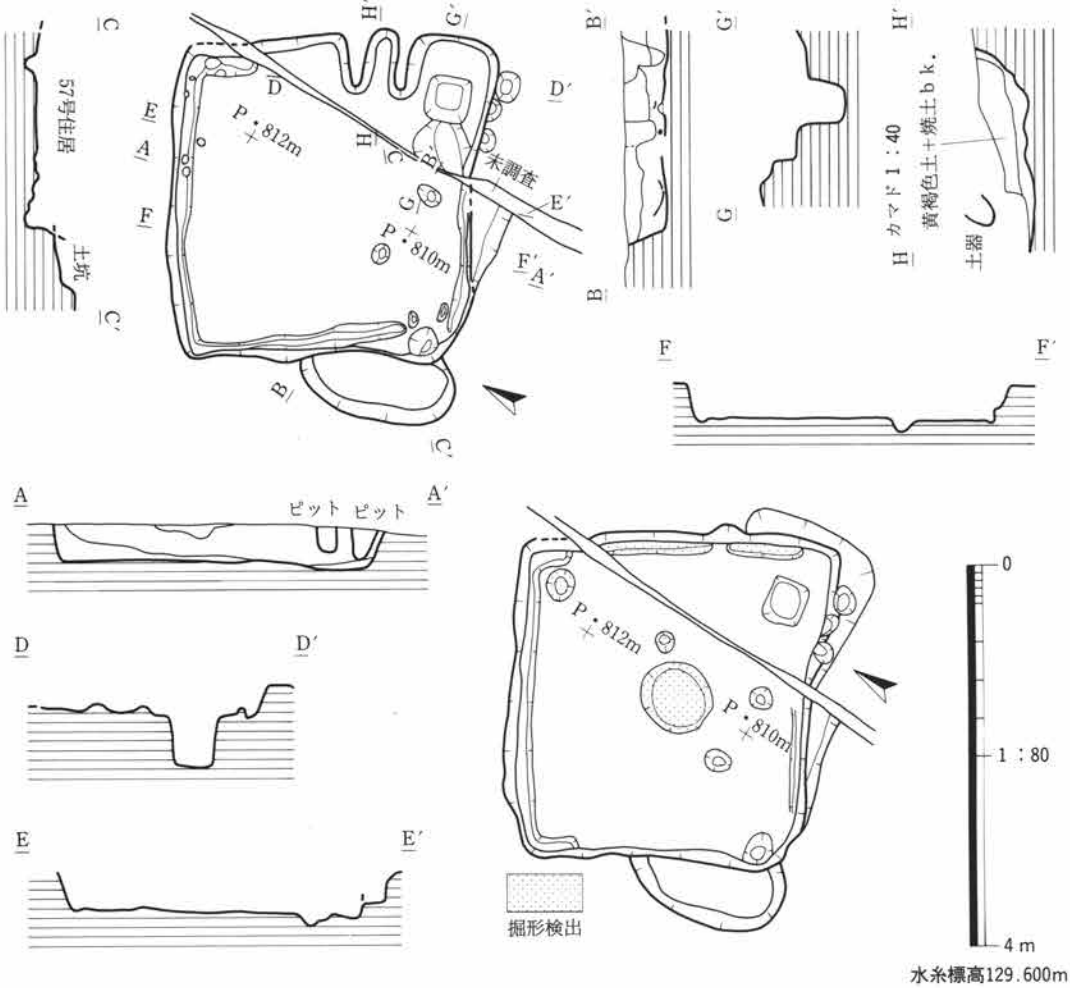
三ッ寺II　5区　57号住居跡（第631・737図，図版385・526）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　344×327　面積　(11.2) m²，壁高　20～41，長軸方位　N62度E
壁　溝	幅　8～25，深さ　1～11
主柱穴	不明
カマド	位置　北東辺中央やや南，対称軸方位　N68度E，構築材　粘土・石？，支脚　不明
貯蔵穴	位置　東隅，平面形　方形，上パ48×49，下パ28×28，深さ　50

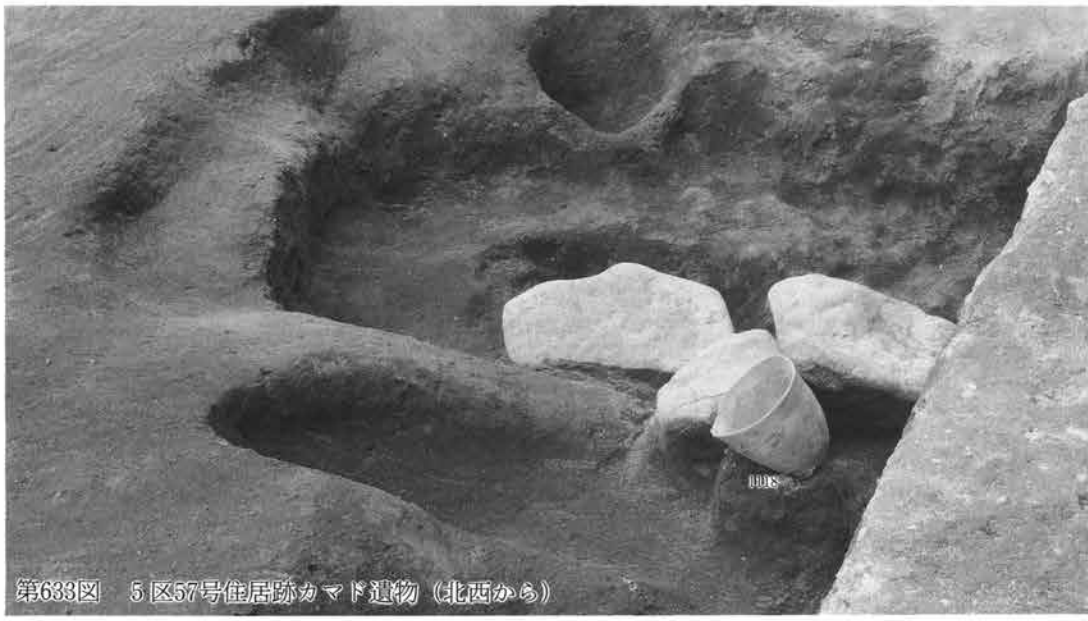
その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層
検出位置：O～Qライン・810m付近，本線＋東側道
重複関係：（本線）57住→土坑
覆　　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　　：直に近い
床　　面：細かい凹凸あり，貼床
主　柱　穴：－
壁　　溝：西半のみ検出
カ　マ　ド：東側道調査で検出，燃焼部は住居壁の内側にある，カマド前の右袖部寄りで30～40cm大の石3個を検出（カマド構築材の一部か？），カマド前の床面からやや浮いた状態で鉢形甑が出土
貯　蔵　穴：底面も方形を呈する，壁は直線的に掘り込む
掘　　形：北東辺にそって壁溝検出，中央部で径80×72・深さ7の掘り込み検出，北隅で30×35・深さ8の掘り込み検出，凹凸著しい
そ　の　他：北隅ピットと南隅ピットはほぼ同じ大きさ，南西辺に沿って段があったか？
遺　　物：土器149片，覆土から大型甑・模倣杯・半球杯・壺口縁部・須恵器蓋受け付き高杯出土，1116・1117・1118（鉢形甑，単孔）・1119
時　　期：古墳中期，5世紀末

第631図　5区57号住居跡遺物出土状態（北から）



第632図　5区57号住居跡



第633図　5区57号住居跡カマド遺物（北西から）

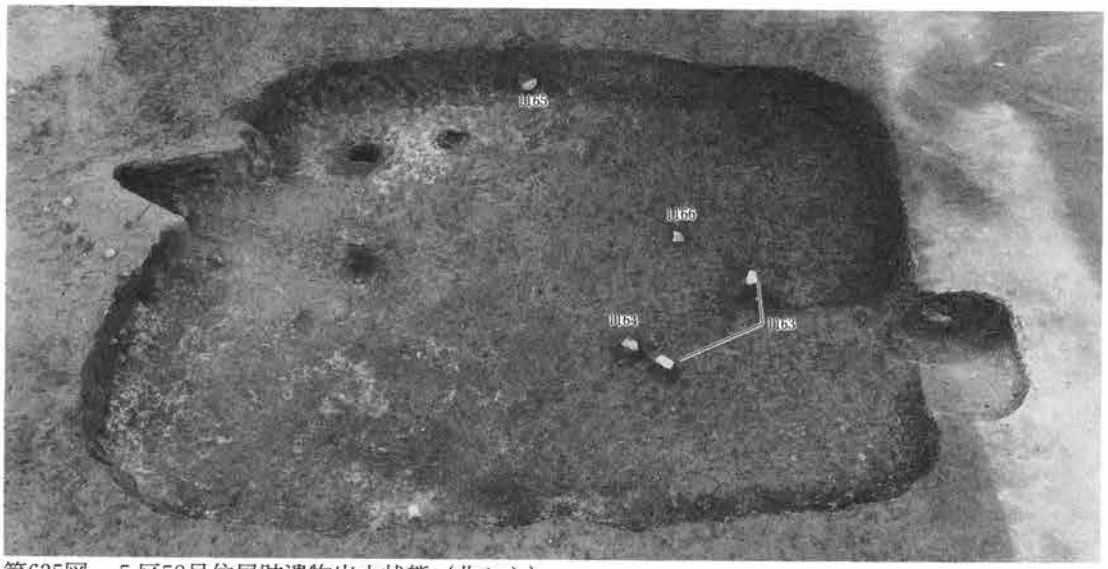
三ッ寺II　5区　58号住居跡（第634・737図，図版387・527）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　南北416×東西513，面積　21.3m²，壁高　20～40，長軸方位　N101度E
壁　溝	幅　7～18，深さ　1～8
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N110度E，構築材　粘土，支脚　不明
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　円形，上パ46×50，下パ8×12，深さ　55

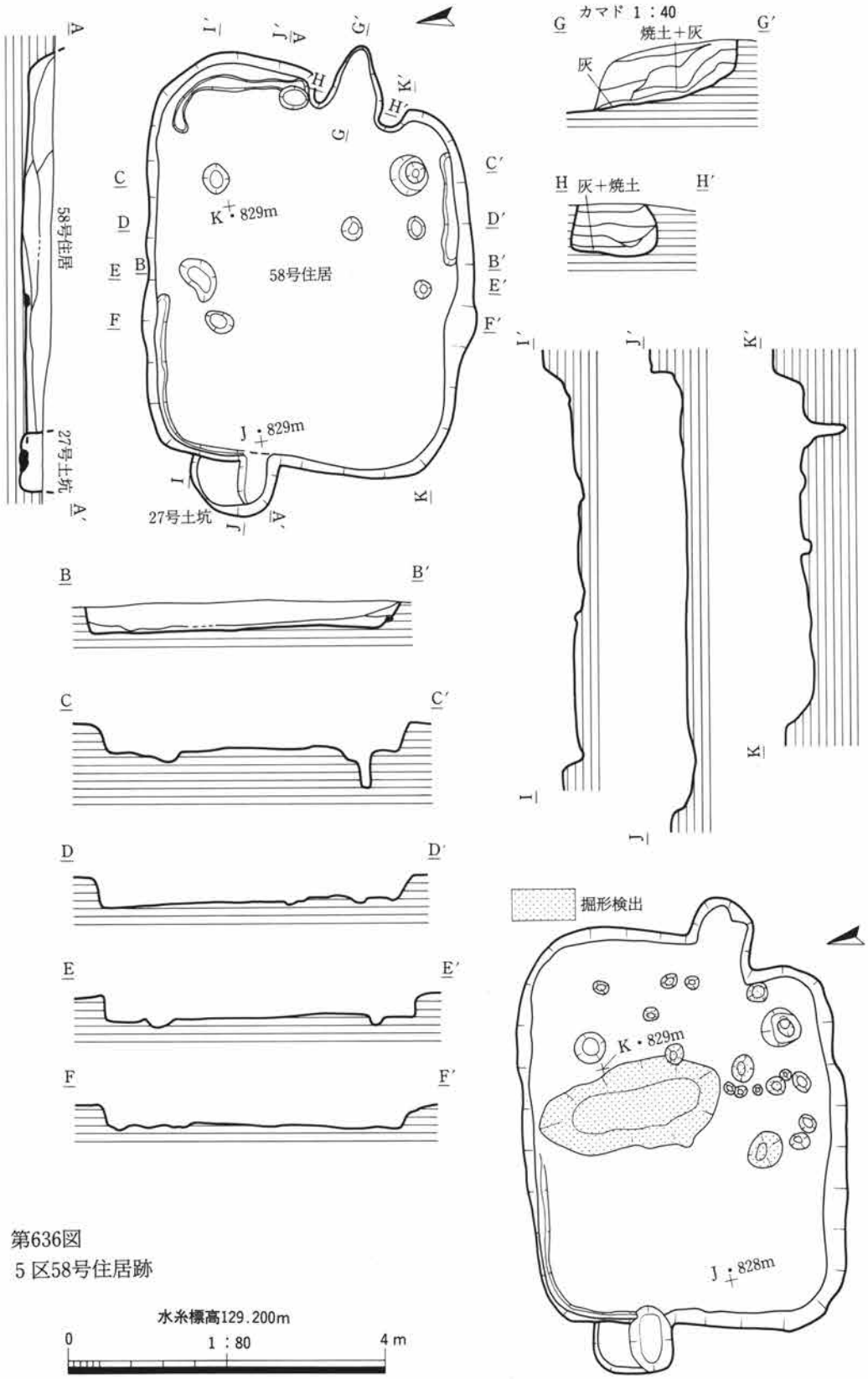
その他（状況の記録）

確認面	黒色土，6層	検出位置	J～Kライン・828m付近
重複関係	58住→11住・14住・27坑	覆土	黒褐色系の土＋軽石
壁	斜めに立ち上がる	床面	平坦，貼床，南西隅付近は掘り過ぎ
主柱穴	－	壁溝	北東隅・北西隅・南辺東寄りで検出
カマド	燃焼部は住居壁ラインにかかる（掘形では壁外へ突出する），両袖部の遺存不良，燃焼部中央で甕破片出土，奥壁は急角度で立ち上がる		
貯蔵穴	二段に掘り込む，底面は小さい		
掘形	凹凸著しい，中央部北寄りで径235×110・深さ30前後の掘り込み検出，小ピット多数検出		
その他	プランはやや歪む，西辺北寄りは27号土坑により破壊，床面東半のピットは深さ10cm前後		
遺物	土器594片，覆土から外稜杯・須恵器無台杯（ヘラ切り）・ケズリ出し高台杯出土，1163・1164・1165・1166・1167（覆土）・1168		
時期	奈良，8世紀前半		

第634図　5区58号住居跡カマド遺物（西から）



第635図　5区58号住居跡遺物出土状態（北から）



第636図
5区58号住居跡

三ッ寺II　5区　59号住居跡（第637・738図，図版388・527）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略方形，規模　614×618，面積　37.9m²，壁高　36～64，長軸方位　N5度W						
壁　溝　幅　8～22，深さ　1～6						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下ハ心心）	
上ハ径	55×72	53×56	43×45	65×55	1－2：341	2－3：356
下ハ径	20×30	30	17×27	24×40	3－4：335	4－1：340
深　さ	41	39	50	54		
西カマド：位置　西辺中央南寄り，対称軸方位　N92度W，構築材　粘土，支脚　不明						
東カマド：位置　東辺中央南寄り，対称軸方位　－，構築材　不明，支脚　不明						
西貯蔵穴：位置　南西隅，平面形　略円形，上ハ110×94，下ハ33×37，深さ　44						
東貯蔵穴：位置　南東隅，平面形　方形，上ハ56×51，下ハ31×35，深さ43						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Ｉ～Ｋライン・818m付近

重複関係：５９住→２０住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い，やや深い　　，床　　面：平坦，貼床

主　柱　穴：4本検出，底面楕円形のもの3本　　，壁　　溝：カマド部を除き全周

カ　マ　ド：西カマド：燃焼部は住居壁ラインからやや突出する，袖部遺存不良，カマド前に炭化物分布，掘形では燃焼部下に小ピット3個検出，

東カマド：袖部遺存なし，覆土に焼土ｂｋ．を含んでいるのみ，燃焼部は住居壁ラインから突出する，カマド前に小ピット5個検出，東辺壁溝は小ピットに接する，

東カマド→西カマドの順に作り替えたか？

貯　蔵　穴：西貯蔵穴：内部は二段に掘り込む，底面も略円形を呈する，掘り込みは南西隅壁に接する，

東貯蔵穴：底面は不整形，北東側・南東側に小ピット検出，西側に約3cmの段が平行する，

西貯蔵穴－西カマド・東貯蔵穴－東カマドにそれぞれ伴うか？

掘　　形：西カマド小ピットを含む浅い掘り込みは西側壁溝に接する

そ　の　他：北辺中央ピット５；径35・深さ28，ピット３－５；132，ピット５－４；203，床溝４がつながる，

南辺中央壁際ピット６；径39×53・深さ18，二段に掘り込む，入り口施設の痕跡か？

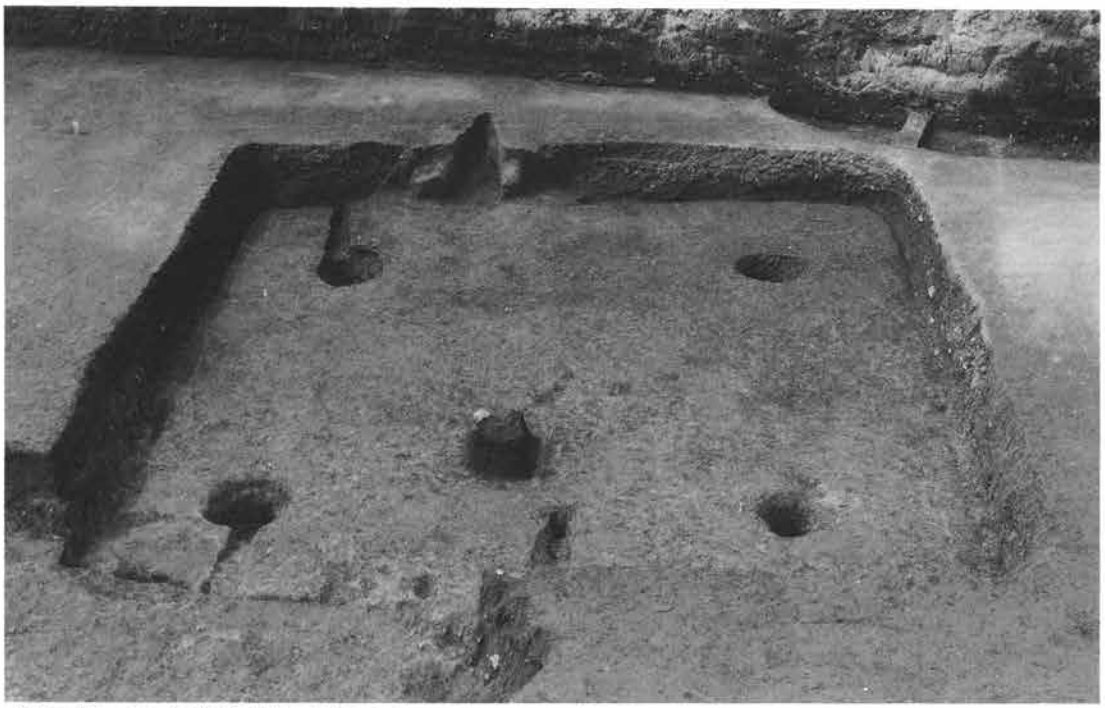
床溝：東辺3本，北辺2本，主柱穴底面が楕円形を呈することから建て替えをしたか？

遺　　物：土器273片，床面からの出土遺物なし，中央東寄り覆土から石・炭化物がまとまって出土，

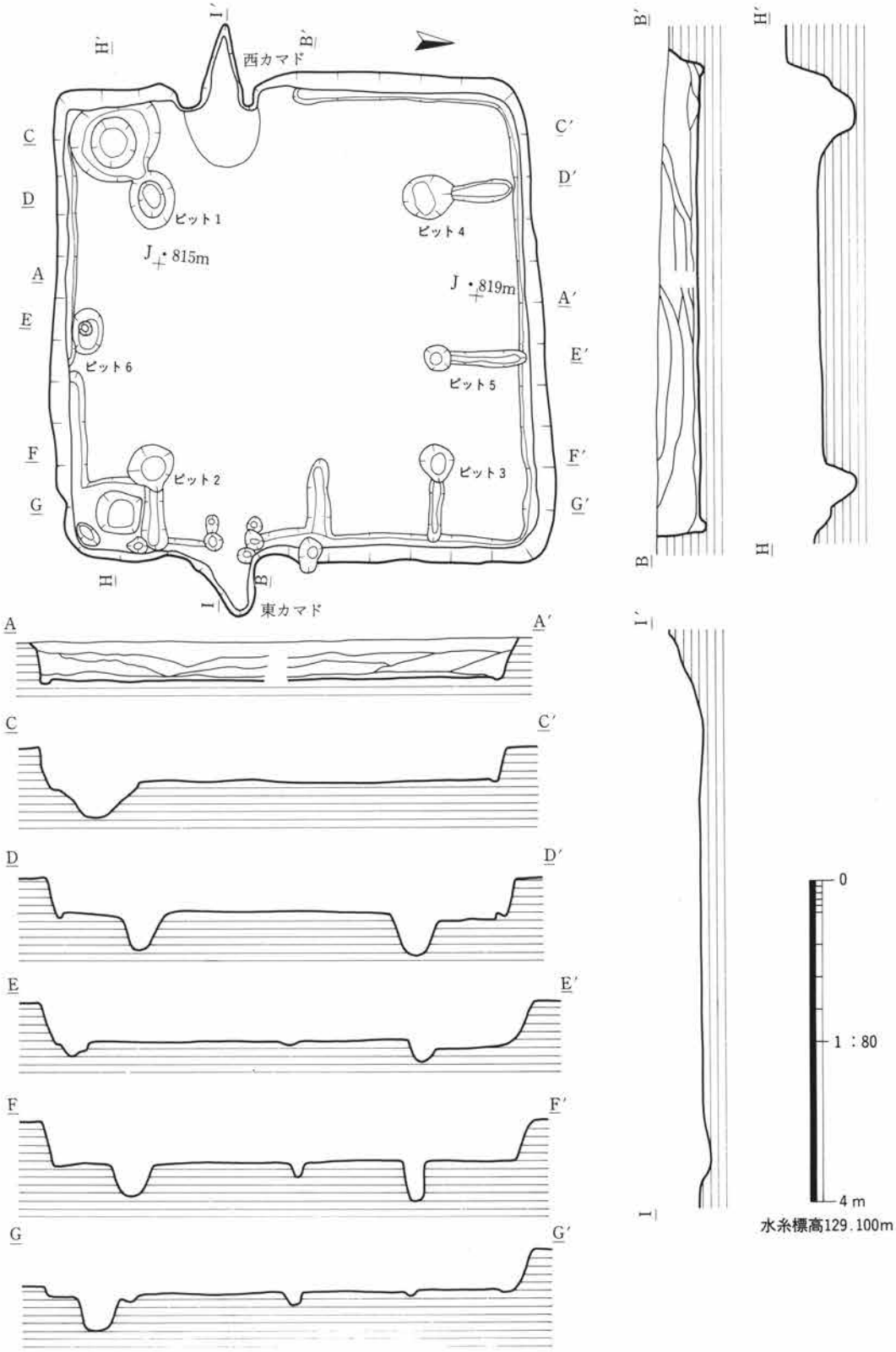
覆土から模倣杯・半球杯（外面ウルシ？）・高杯脚部・須恵器蓋（口唇部凹線）出土，

0688（刀子切先，覆土）

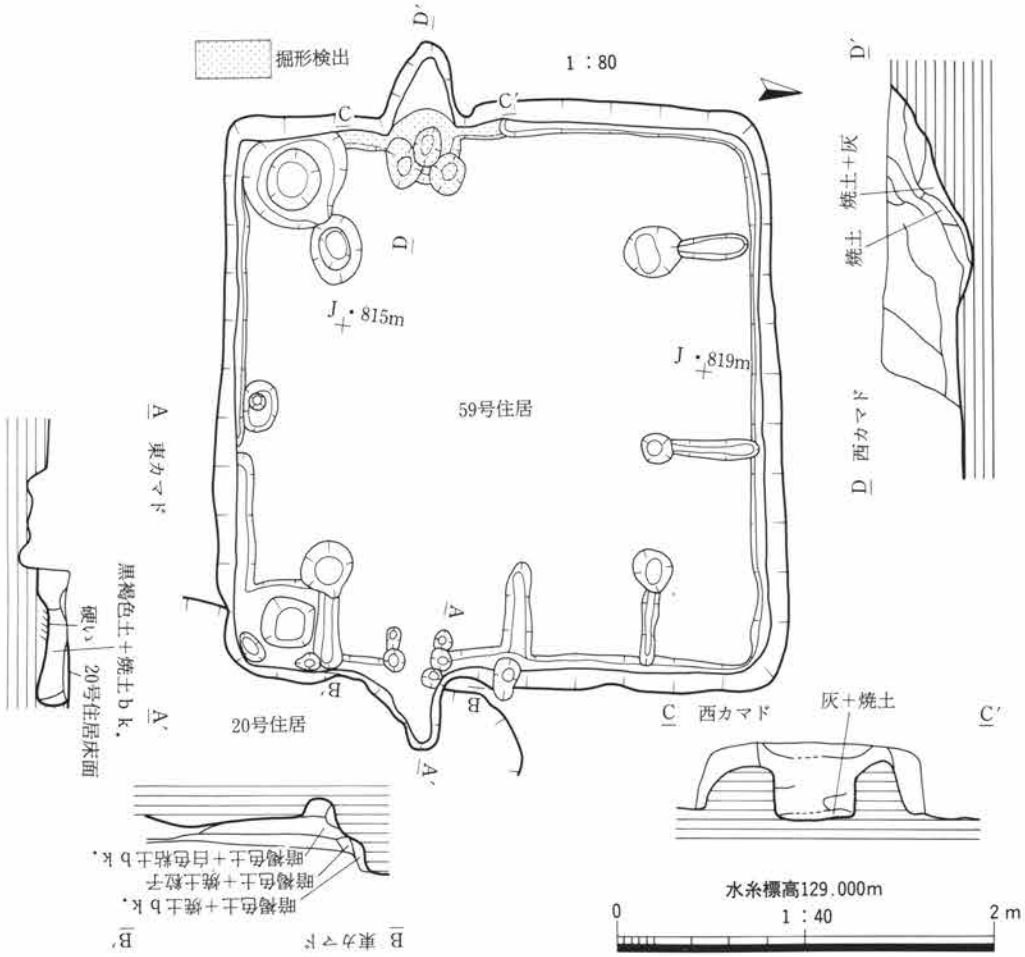
時　　期：古墳



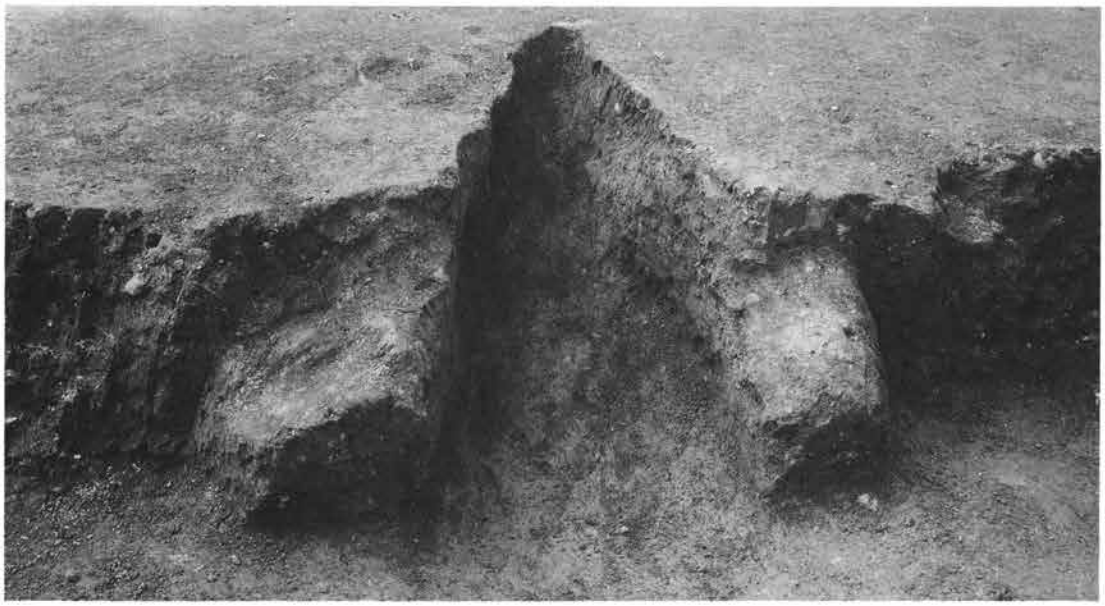
第637図　5区59号住居跡（東から）



第638図　5区59号住居跡（1）



第639図　5区59号住居跡（2）



第640図　5区59号住居跡カマド（東から）

三ッ寺II　5区　60号住居跡（第641・738図，図版389・527）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略方形，　規模　342×336，　面積　11.9m²，　壁高　15～27，　長軸方位　N107度W						
壁　溝　幅　7～18，　深さ　1～10						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	－	60×50	27×33	－	2－3：155	
下バ径	－	34	17×16	－		
深　さ	－	18	6	－		
カマド　位置　西辺中央，　対称軸方位　N104度W，　構築材　粘土，　支脚　石＋土器（杯）						
貯蔵穴　位置　南西隅，　平面形　長方形，　上バ55×47，下バ35×34，　深さ　54						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：L～Mライン・810m付近

重複関係：61住→63住→60住→19住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　，床　　面：平坦，貼床，固く締まる

主　柱　穴：ピット1・4不明　　，壁　　溝：北西隅・東辺で検出

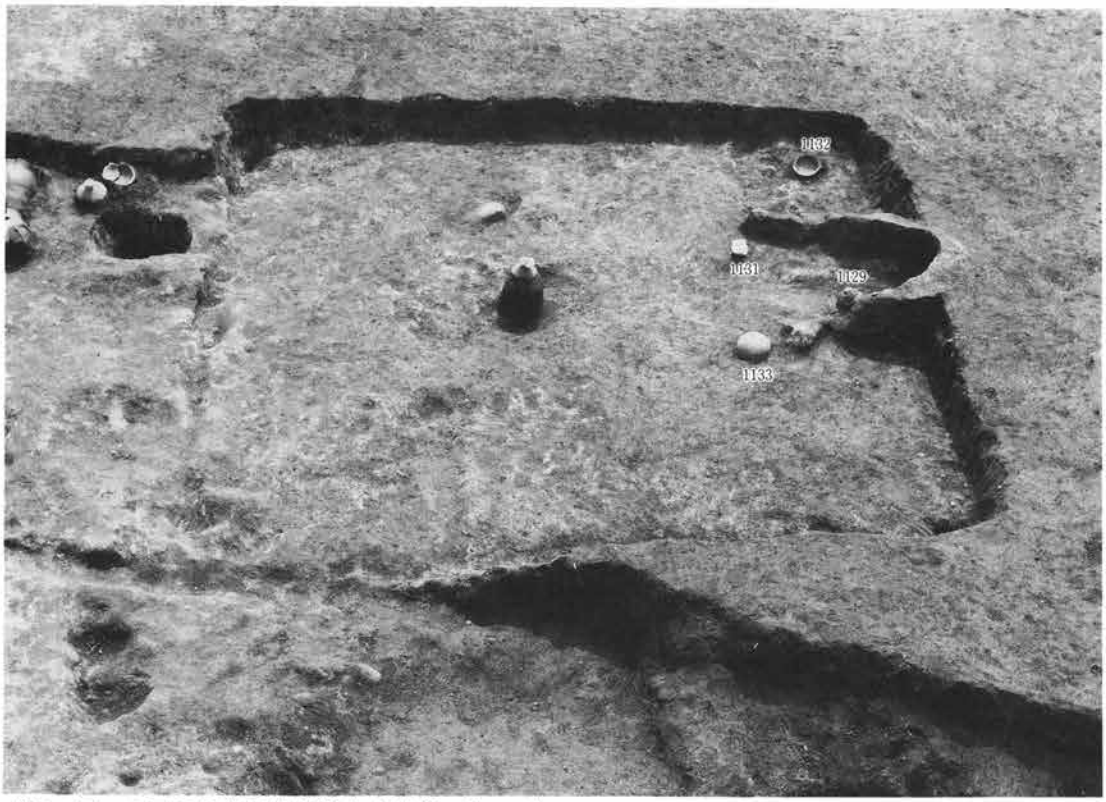
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，袖部遺存不良，燃焼部中央右寄りに細長い石を据え支脚とする，
石の上に土師器杯（1129）を口縁部を下にかぶせる，奥壁は急角度で立ち上がる

貯　蔵　穴：底面は円形を呈する　　，掘　　形：凹凸著しい，黄褐色土面に達する

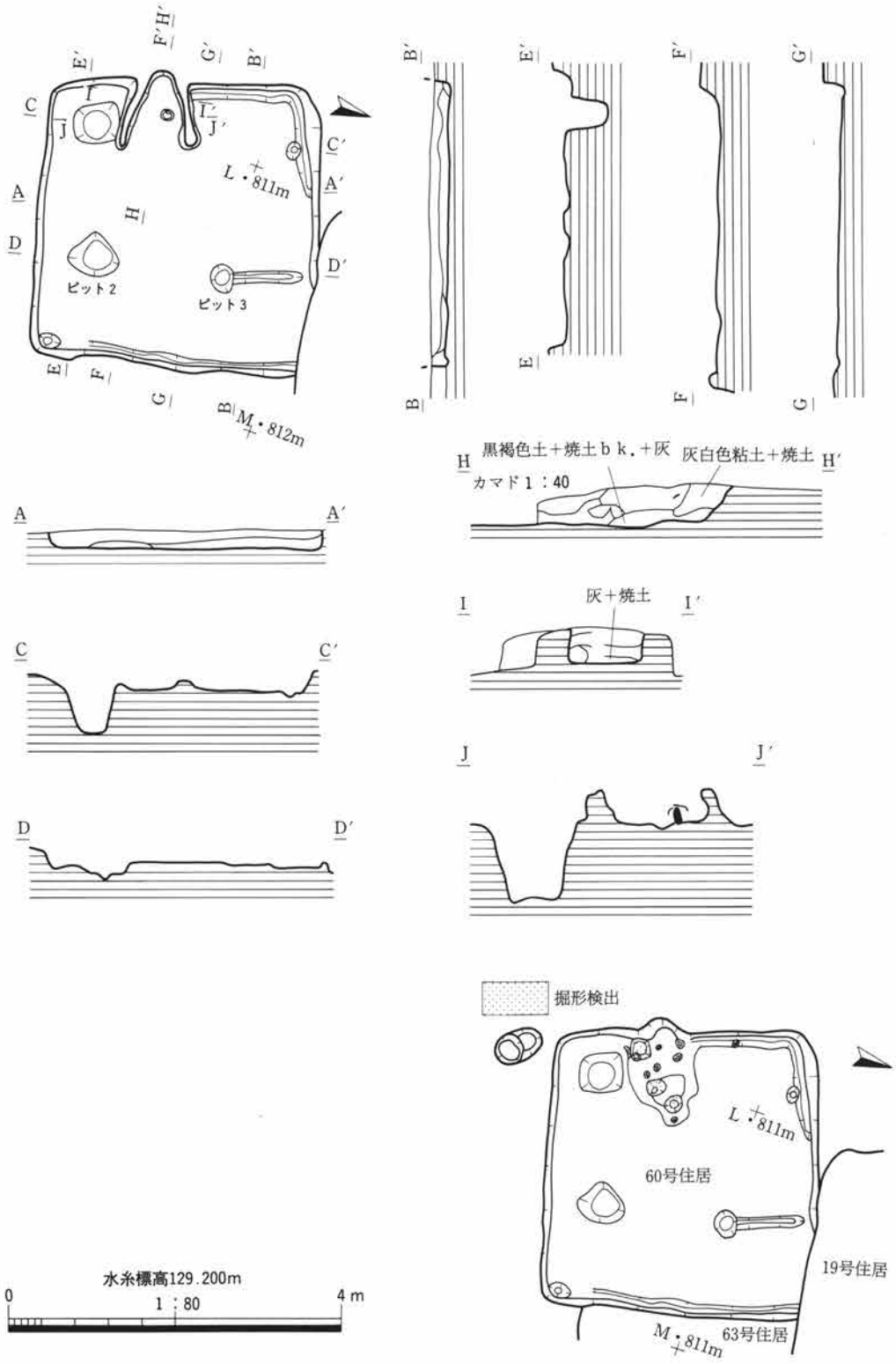
そ　の　他：ピット3につながる床溝検出，床溝は下層住居（番号なし）または63号住居の西辺となるか？，
南東隅・北辺西寄りの壁際で小ピット検出，
本住居～63号住居の下に別住居があった可能性あり（第643図）

遺　　物：土器73片，カマド周辺から完形に近い杯類の出土が多い，甕類の出土少ない，覆土から短脚高杯
出土，カマド覆土から甕口縁部出土，
1128・1129（半球杯，略完形，カマド，天地逆）・1130・1131・1132・1133・1134

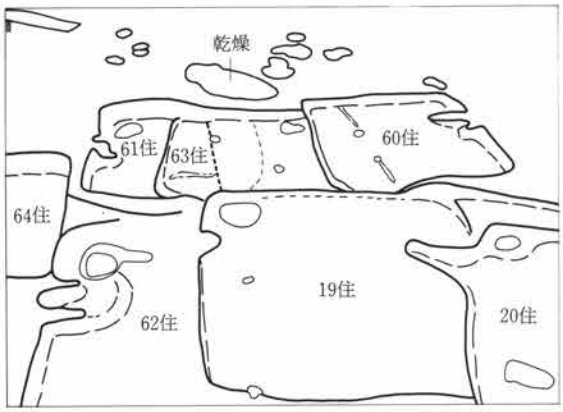
時　　期：古墳中期，5世紀末



第641図　5区60号住居跡遺物出土状態（北から）

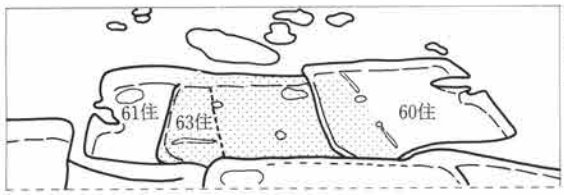


第642図　5区60号住居跡

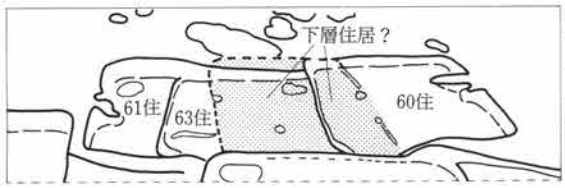


推定１（調査時）
遺構の前後関係は次の通り。63号住居の中央部に61号住居の西辺を推定。

61→63→60→19→20
↑
62　［旧→新］



推定２
60号住居の「床溝」が63号住居の西辺痕跡と推定。63号住居南辺は掘り下げ不十分とみる。



推定３
63号住居西側と60号住居東側との下層は周辺に比較して濃度が異なり、両者の「床溝」に囲まれた略方形の位置に下層の住居を推定。南辺は掘り下げ不十分で、斑点状の乾燥部北端まで下層住居が広がるとみる。

第643図　５区60・61・63号住居の推定

第644図　５区60号住居跡下層の推定（北から）

三ッ寺II　5区　61号住居跡（第645・738図，図版390・527）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	方形～長方形，規模　南北328×東西140以上，面積　－，壁高　28～35，長軸方位　－
壁　溝	幅　13，深さ　2
主柱穴	不明
カマド	位置　東辺中央，対称軸方位　N80度E，構築材　粘土・石？，支脚　土器または石？
貯蔵穴	位置　南東隅，平面形　隅丸方形，上パ49×47，下パ21×21，深さ　48

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：M～Nライン・811m付近

重複関係：61住→63住→60住→19住　　覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　床　　面：凹凸あり，貼床

主　柱　穴：－　　壁　　溝：北辺で検出したのみ

カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインの内側にある，燃焼部中央から土師器高杯（脚部欠）が倒立状態で出土，カマド前から石出土（支脚？），両袖部から土師器甕出土，右袖部側甕は下半欠・一部袖に中，左袖部側は先端部で割れた状態の出土，北東部で出土した不整形の石はカマド構築材の一部か？

貯　蔵　穴：壁は直線的に掘り込む，底面略方形　　掘　　形：カマド付近で小ピット検出，凹凸著しい

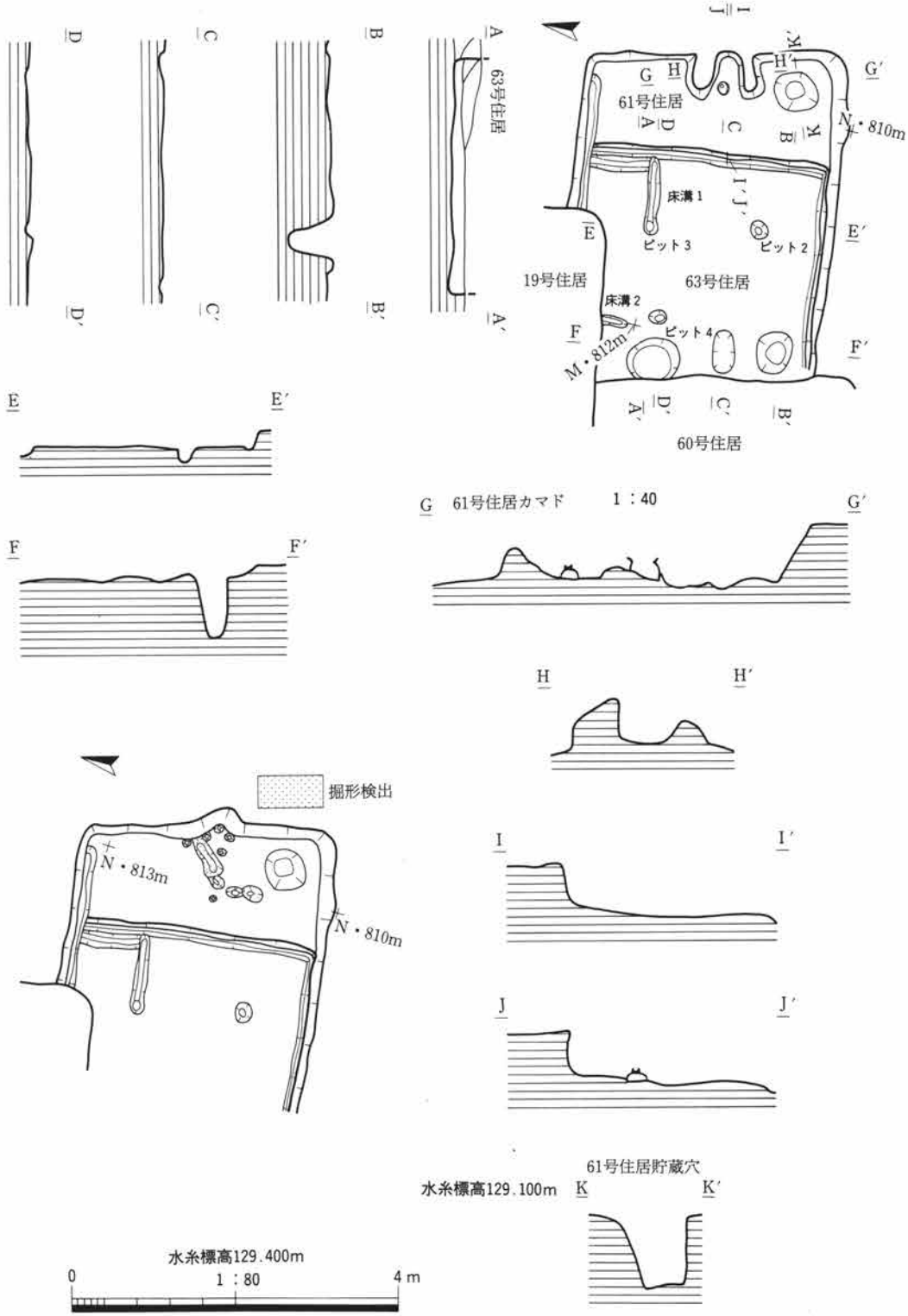
そ　の　他：床面は63号住居よりも5～6cm高い，63号住居出土遺物の一部は本住居のものか？西半は63号住居により破壊，北辺113・東辺300・南辺157

遺　　物：土器208片，カマド周辺から貯蔵穴にかけて土器出土，カマド内から土師器模倣杯出土，須恵器の出土なし，1145・1146・1147・1148・1149

時　　期：古墳中期，5世紀末

第645図　5区61・63号住居跡遺物出土状態（北から）

第646図　5区61号住居跡カマド掘形（西から）



第647図　5区61・63号住居跡

三ッ寺II　5区　6 2号住居跡（第648・738図，図版391・528）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略方形，　規模　南北392×東西（北寄り）385，　面積　（15.1），　壁高　27～43，　長軸方位　N165度E						
壁　溝　幅　7～15，　深さ　1～6						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	25	24×21	18×22	－	1－2：174	2－3：189
下バ径	12	11	11×16	－		
深　さ	9	33（床面）	28（床面）	－		
カマド　位置　東辺中央やや南，　対称軸方位　N78度E，　構築材　粘土，　支脚　不明						
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　略方形，　上バ50×49，下バ32×30，　深さ　49						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層
重複関係：6 2住→1 9住・1 2住
　　壁　：直に近い
主　柱　穴：ピット2・3の深さは遺存床面から
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，袖部遺存不良，右袖部脇の壁際から完形に近い土師器甕出土，
　　奥壁は急角度で立ち上がる
貯　蔵　穴：最深部は北寄りで楕円形を呈する，周囲に床面と3～5cmの浅い段がある，西側は不整形に広がる
掘　　形：黄褐色土面に達する，固い
そ　の　他：北辺西寄りで床溝検出，南東部の壁溝は未検出か？，西半は1 9号住居により破壊，
　　カマド南側には6 4号住居が接する，前後関係不明
遺　　物：土器120片，覆土から半球杯・小型甕口縁部・須恵器本体不明の把手出土，
　　1150・1151・1152・1153
時　　期：古墳中期，5世紀末
検出位置：M～Nライン・815m付近
覆　　土：黒褐色系の土
床　　面：平坦，薄い貼床
壁　　溝：南東隅を除き検出内全周

第648図　5区62号住居跡遺物出土状態（西から）

三ッ寺II　5区　63号住居跡（第645・739図，図版391・528）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北326×東西275以上，　面積　－，　壁高　20～32，　長軸方位　－

壁　溝　幅　5～12，　深さ　1～7

主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	－	21×24	16	21×17	2－3：133	3－4：114
下パ径	－	8×11	10×14	11×7		
深　さ	－	23	24	24		

カマド　位置　西辺南寄り，　対称軸方位　－，　構築材　粘土，　支脚　不明

貯蔵穴　位置　南西隅，　平面形　楕円形，　上パ41×52，下パ22×26，　深さ　75

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　，検出位置：Mライン・811m付近

重複関係：61住→63住→60住→19住　　，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：浅い　　，床　　面：凹凸あり，薄い貼床

主　柱　穴：ピット1不明，小さい　　，壁　　溝：北東隅～南辺で確認，東辺北寄りは2本検出

カ　マ　ド：西側南寄りで焼土・灰を検出したのみ，袖部等不明，60号住居により破壊されたか？

貯　蔵　穴：深い，南東側の床面で完形に近い土器出土

掘　　形：黄褐色土面に達する，凹凸著しい，下層に別住居があったか？

そ　の　他：東辺北寄り・北辺で床溝検出，西側北寄りで浅い円形掘り込み検出，東辺北寄りで検出した西側の壁溝（床溝1につながる）は61号住居の床溝か？，西辺は60号住居により破壊

遺　　物：土器33片，中央部から南西部にかけて土器出土，中央から内面ハケ目の甕体部片出土，1236・1237・1238・1239・1240

時　　期：古墳中期，5世紀末

第649図　5区63号住居跡貯蔵穴付近遺物（東から）

三ッ寺II　5区　64号住居跡（第650・740図，図版392・529）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　略方形，規模　317×324，面積　10.3m²，壁高　8～35，長軸方位　N73度E						
壁　溝　幅　5～8，深さ　2～7						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	15×17	15	23×20	－	1－2：125	2－3：142
下パ径	8×11	11×13	7	－		
深　さ	33	25	23	－		
カマド　位置　北東辺中央，対称軸方位　N78度E，構築材　粘土，支脚　土器？						
貯蔵穴　位置　東隅，平面形　五角形，上パ37×36，下パ16×17，深さ　65						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：N～Oライン・814m付近

重複関係：65住→64住→12住　　覆　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　：直に近い　　床　面：貼床，細かい凹凸あり

主　柱　穴：ピット4不明　　壁　溝：検出内全周

カ　マ　ド：袖部遺存不良，燃焼部は住居壁の内側にある，奥壁は急角度で立ち上がる，燃焼部底面からやや浮いた状態で土師器高杯が倒立状態で出土（支脚転用？），周辺から杯類出土

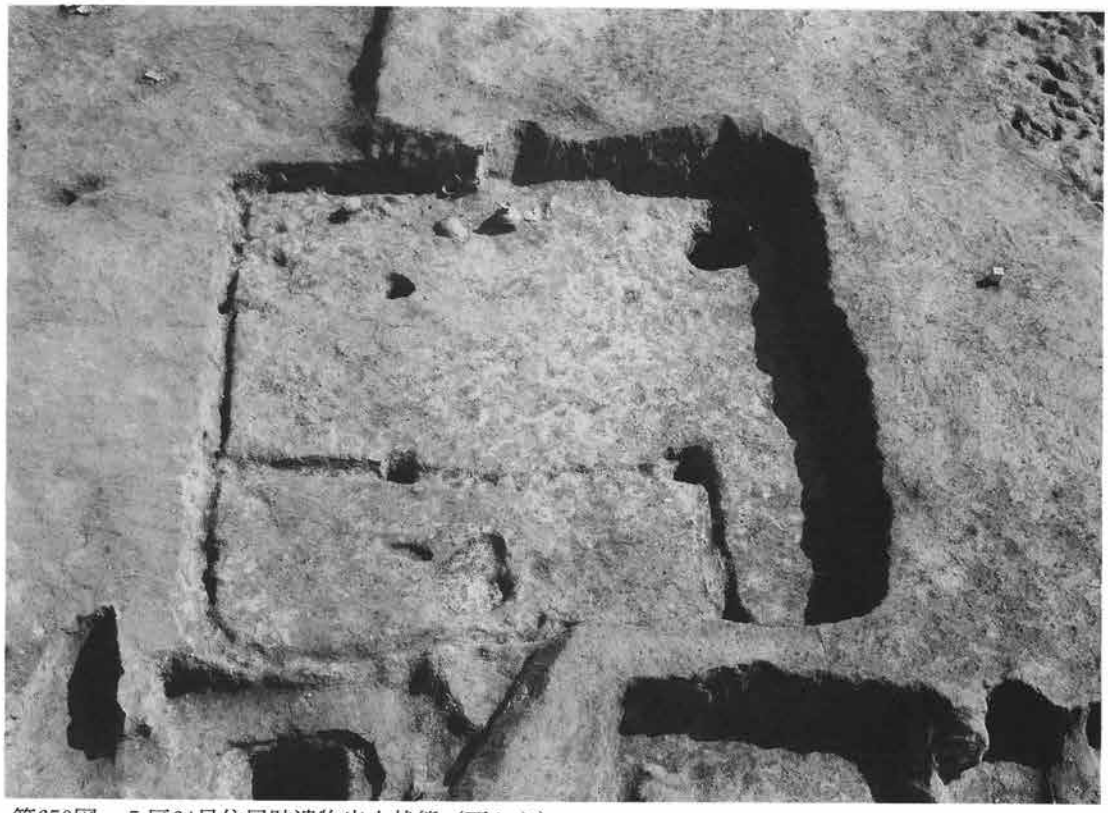
貯　蔵　穴：周囲の径80cm前後の範囲が低くその回りは土手状の高まりをもつ，底面は略円形を呈する

掘　　形：カマド付近で小ピット検出

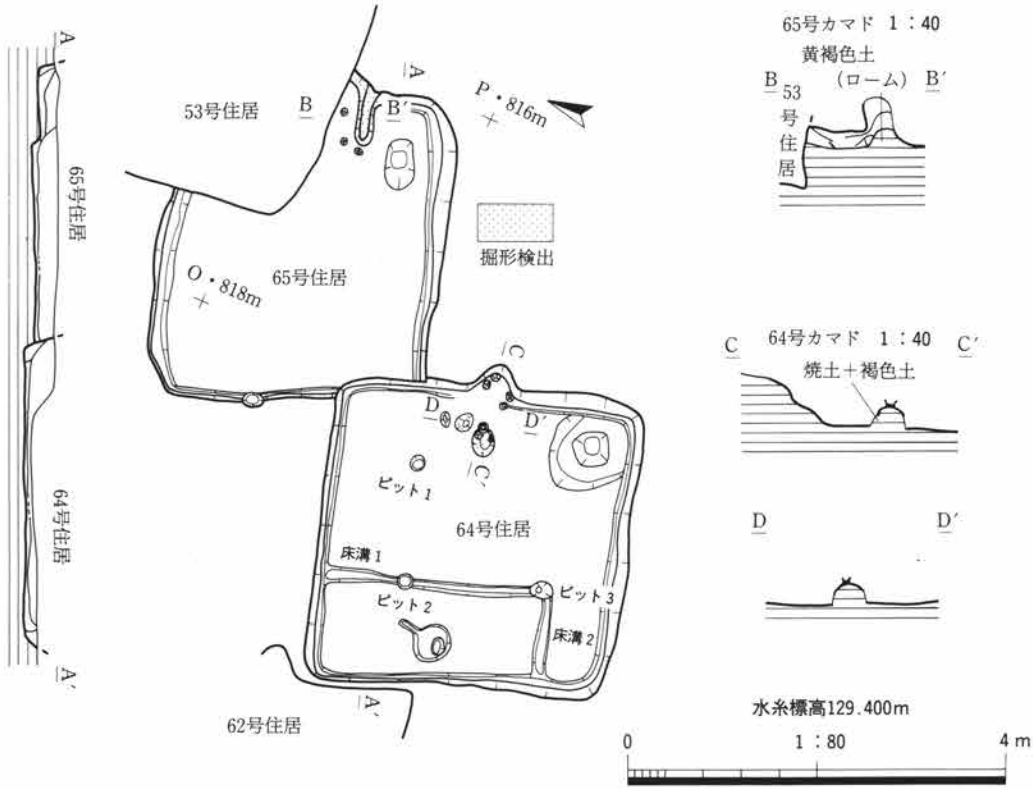
そ　の　他：北西辺西寄り・南西辺南寄りで床溝検出，床溝1はピット2につながり直線的に延長してピット3に接する，床溝1－ピット3－床溝2で南北230×東西90の長方形を形成する，南西辺中央付近で不整形ピット検出（45×37・深さ6，二段）

遺　　物：土器30片・石1個，金属痕跡のある軽石出土，カマドから黒色土器内斜口縁杯出土，覆土から模倣杯（口唇部凹線）出土，1139・1140・1141・1142・1144（土師器壺，頸部に段，覆土）

時　　期：古墳中期，5世紀末



第650図　5区64号住居跡遺物出土状態（西から）



第651図　5区64・65号住居跡

第652図　5区64号住居跡カマド遺物（西から）

三ッ寺II　5区　65号住居跡（第651・740図，図版394・529）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形	長方形，規模　307×324，面積　(10.0) m²，壁高　2～30，長軸方位　N74度E
壁　溝	幅　5～16，深さ　1～5
主柱穴	不明
カマド	位置　北東辺中央，対称軸方位　－，構築材　粘土，支脚　不明
貯蔵穴	位置　東隅，平面形　不整形，上パ29×54，下パ16×19，深さ　60

その他（状況の記録）

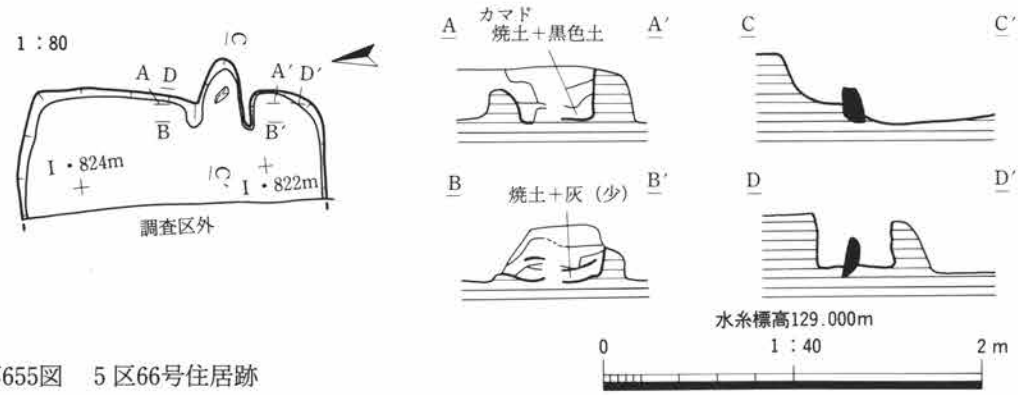
確　認　面	黒色土，6層
検出位置	O～Pライン・817m付近
重複関係	65住→64住→12住，65住→53住
覆　　土	黒褐色系の土＋軽石
壁	直に近い
床　　面	貼床，平坦
主　柱　穴	－
壁　　溝	検出内全周
カ　マ　ド	右袖部のみ遺存，北半は53号住居により破壊，燃焼部は住居壁の内側にある，カマド内から脚部に炭化物の付着した高杯出土（支脚転用？），右袖部は地山を直線的に掘り残し粘土で固める
貯　蔵　穴	上パの南西部やや突出，底面は長方形を呈する
掘　　形	カマド付近で小ピット検出，カマド燃焼部で細長い石出土
そ　の　他	南隅は64号住居により破壊，柱穴不明
遺　　物	土器56片・石1個，北西隅付近床面から13cm大の石出土，カマド覆土から甕口縁部出土，覆土から甑底部出土，1135・1136・1137・1138
時　　期	古墳中期，5世紀末

第653図　5区65号住居跡遺物出土状態

第654図　5区65号住居跡カマド掘形（西から）

三ッ寺II　5区　66号住居跡（第655・740図，図版395・529）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北338×東西130以上，　面積　－，　壁高　25～35，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺中央やや南，　対称軸方位　N105度E，　構築材　粘土，　支脚　石	
貯蔵穴　位置　南東隅，　平面形　楕円形，　上パ25×36，下パ14×21，　深さ　40　（掘形）	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	，検出位置：Iライン・823m付近
重複関係：B2溝→66住	，覆　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　：直に近い	，床　面：平坦，貼床
主　柱　穴：南寄りでピット4相当検出	，壁　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁ラインにかかる，袖部遺存不良，燃焼部中央に細長い石を据え支脚とする，石は奥壁側へ傾く，奥壁は急角度で立ち上がる，支脚前から土師器甕出土	
貯　蔵　穴：掘形検出，長軸は南辺と平行にならない	
掘　形：細かい凹凸あり	，そ　の　他：西半は調査区外にある，詳細不明
遺　物：土器43片，カマド前床面から下膨れの甕出土，覆土から模倣杯・須恵器杯出土，1160・1161・1162	
時　期：古墳後期，7世紀前半	



第655図　5区66号住居跡

第656図　5区66号住居跡遺物出土状態（北から）

三ッ寺II　5区　67号住居跡（第657・740図，図版397・530）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　長方形，　規模　南北448×東西（487），　面積　（21.8）m²，　壁高　32～41，　長軸方位　N85度E						
壁　溝　幅　10～17，　深さ　2～4						
主柱穴	1	2（掘形）	3	4	主柱穴間の距離（下パ心心）	
上パ径	32×29	26×23	33×28	30×28	1－2：－	2－3：221（掘形）
下パ径	11	12	14×7	13×8	3－4：－	4－1：202
深　さ	64	38	100	64		
カマド　位置　東辺中央，　対称軸方位　N86度E，　構築材　粘土，　支脚　土器？						
貯蔵穴　位置　南辺東寄り，　平面形　長方形，　上パ46×61，下パ18×26，　深さ　72						

その他（状況の記録）

確　認　面：黒色土，6層　　検出位置：O～Qライン・801m付近，本線＋東側道

重複関係：67住→101溝，67住→A1溝　　覆　　土：黒褐色系の土＋軽石

壁　　：直に近い　　床　　面：貼床，細かい凹凸あり

主　柱　穴：ピット3は掘形検出，ピット1－2・ピット3－4間の距離は実測図ズレのため計測不可

壁　　溝：南辺東半（本線調査）・西辺は未検出，掘形ではカマド下にも検出

カ　マ　ド：東側道調査で検出，燃焼部は住居壁の内側にある，燃焼部中央やや左寄りで土師器高杯が倒立状態で出土（支脚転用？），奥壁は急角度で立ち上がる，右袖部脇から土器出土

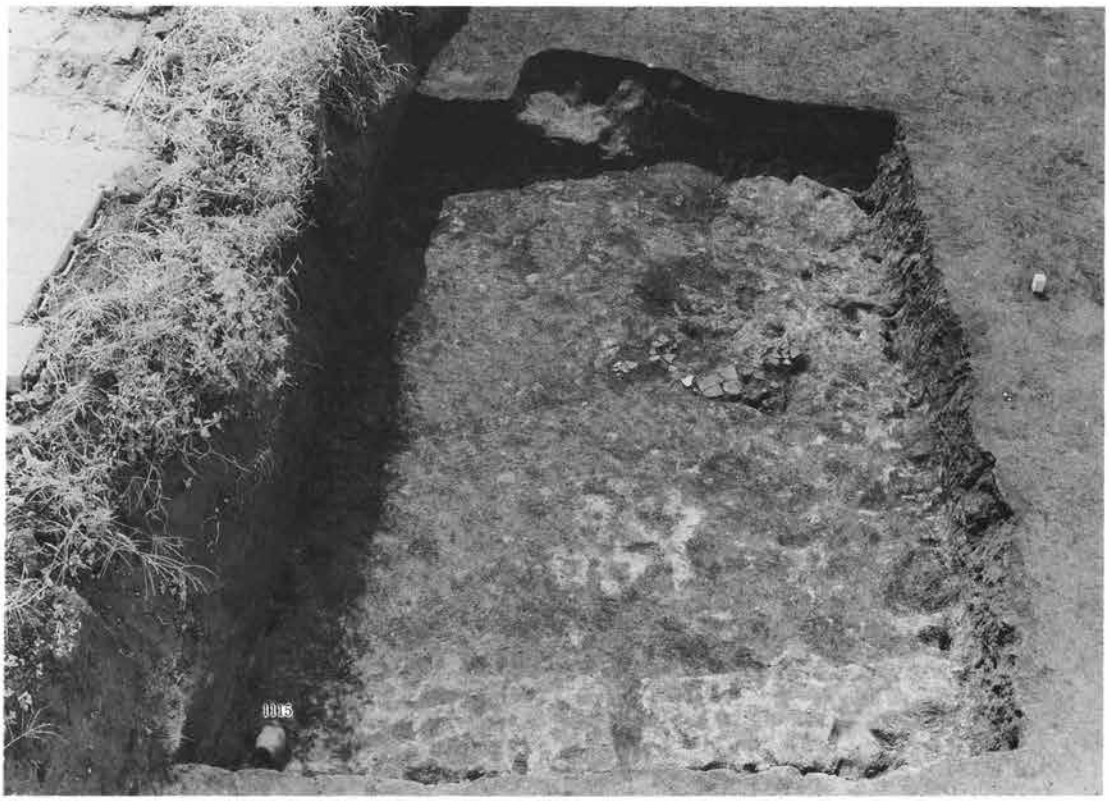
貯　蔵　穴：底面も長方形を呈する，東辺からやや離れる

掘　　形：凹凸著しい，小ピット多数検出，西辺・南辺で床溝検出

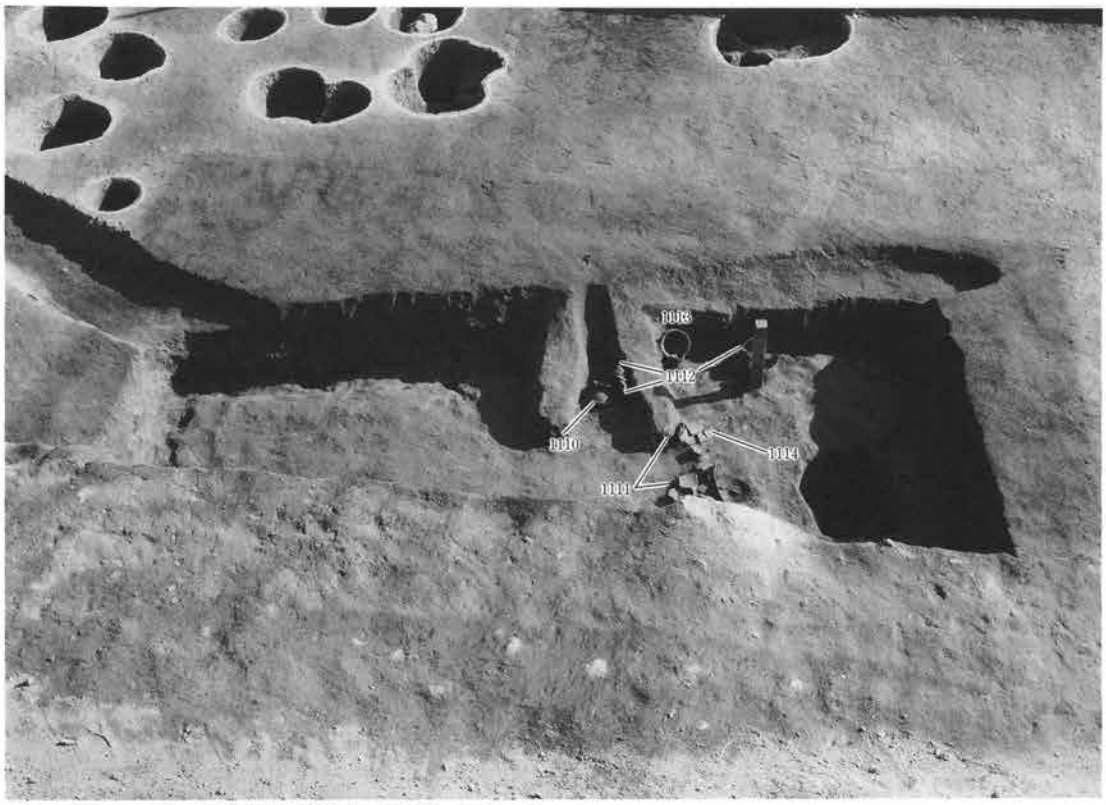
そ　の　他：北辺沿いに幅50～60cmの平坦な高まり検出，高まりの南端は壁溝状を呈する（拡張痕跡か？），高まりの西寄りを南北に床溝が掘り込まれる，西辺直下は小ピット状の凹凸著しい，南辺西寄りで不整形土坑状の段を検出（直下の床面で浅い円形掘り込み検出，入り口痕跡か？），北辺床溝のみ床面検出

遺　　物：土器151片・石1個，覆土から短脚内斜口縁高杯・小型甕・須恵器杯（蓋受け付）出土，掘形から11cm大の石出土，1110・1111・1112・1113・1114・1115

時　　期：古墳中期，5世紀末

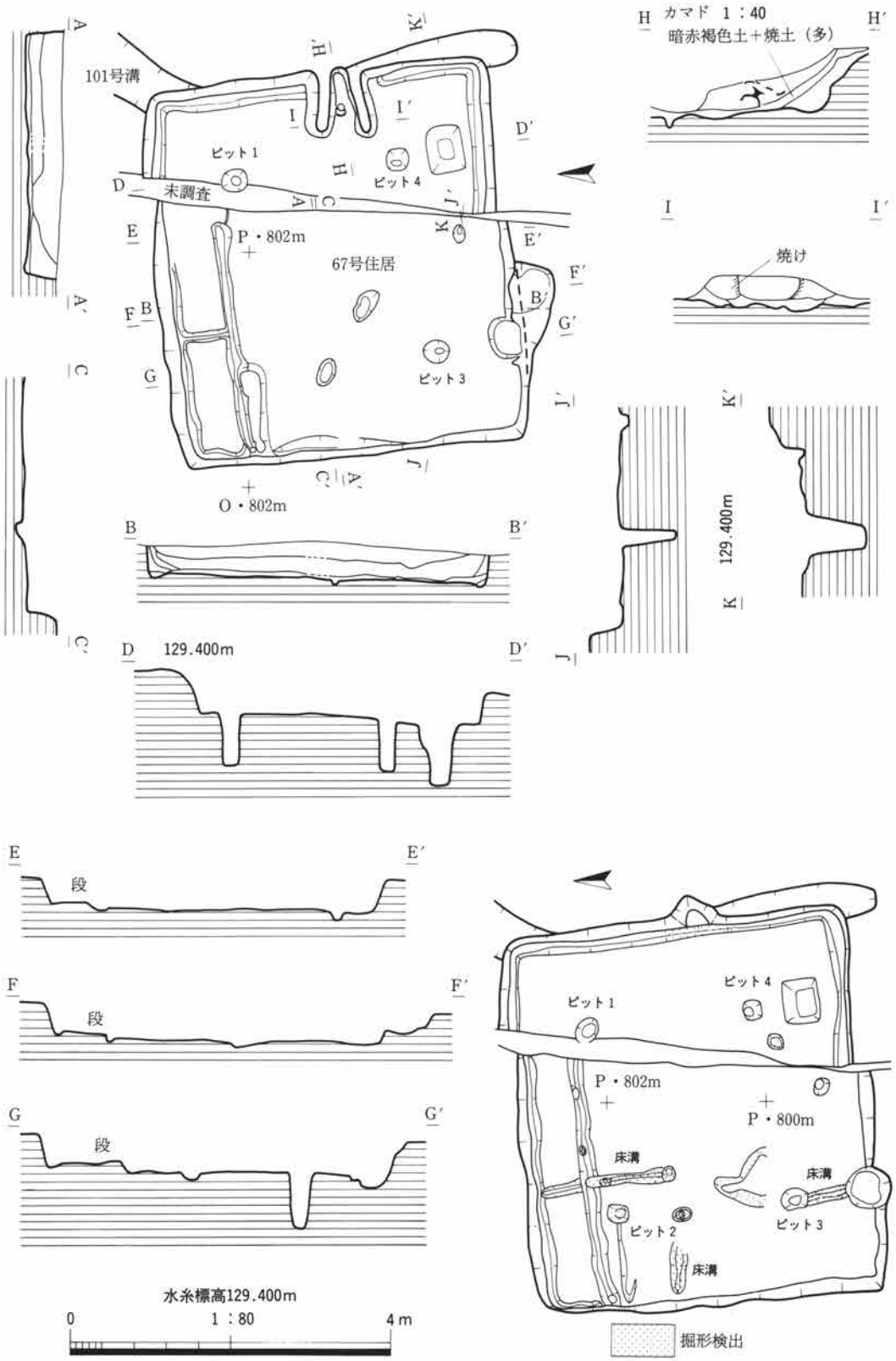


第657図　5区67号住居跡遺物出土状態（北から）



第658図　5区67号住居跡遺物出土状態（西から）

第659図　5区67号住居跡カマド遺物（西から）



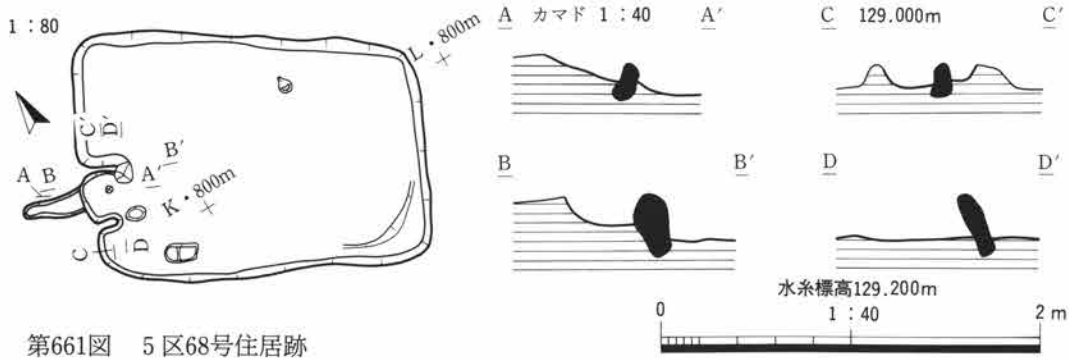
第660図　5区67号住居跡

三ッ寺II　5区　68号住居跡（第661・741図，図版399）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

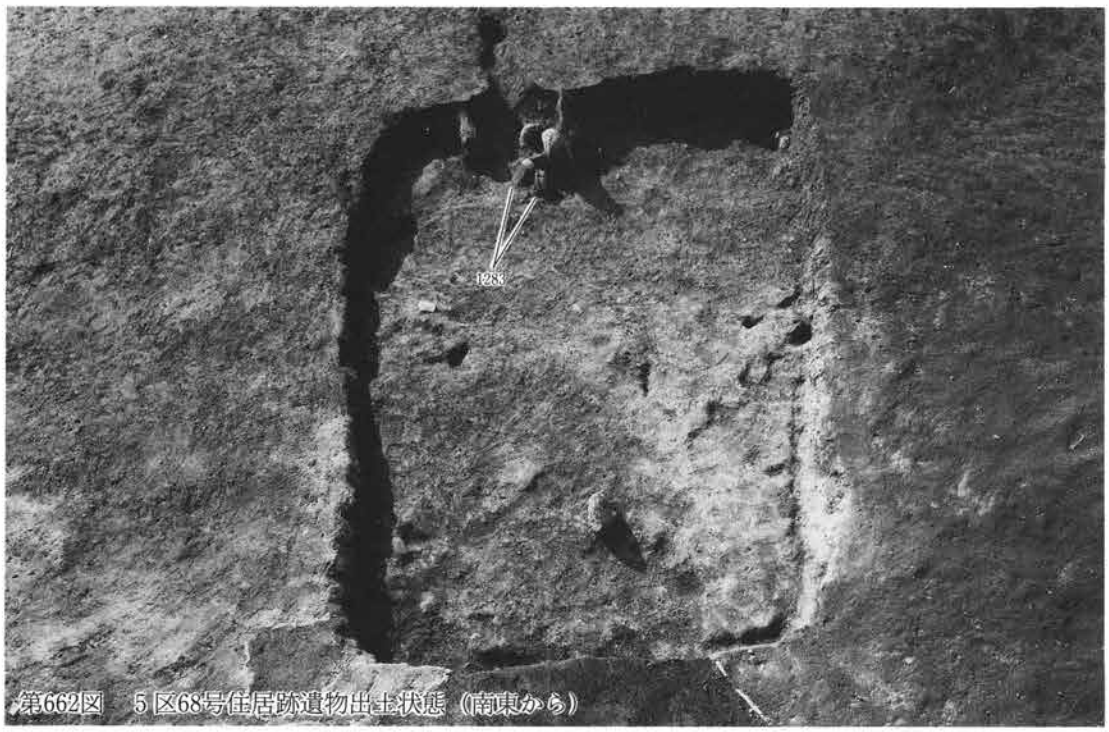
平面形	長方形，規模　377×257，面積　9.7m²，壁高　11～28，長軸方位　N57度W
壁　溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置　北西辺南寄り，対称軸方位　N68度W，構築材　粘土・石，支脚　石？
貯蔵穴	位置　南西辺西寄り，平面形　長方形，上パ18×35，下パ14×31，深さ　40

その他（状況の記録）

確　認　面	黒色土，6層	検出位置	Kライン・801m付近，4区－5区の境
重複関係	4区110住→5区68住→4区1住	覆　土	黒褐色系の土
壁	直に近い，浅い	床　面	中央部くぼむ，壁際凹凸あり
主柱穴	－	壁　溝	－
カマド	燃焼部は住居壁の内側にある，右袖先端部に20cm大の石を据え粘土で固める，左袖部遺存不良，南東部床面近く出土の石はカマド構築材の一部か？，左袖先端部のくぼみは石抜き跡か？，燃焼部中央右寄りで6cm大の丸い石出土（支脚？），煙道部長さ65cm検出		
貯蔵穴	上パ西側は丸みをもつ，壁は直線的に掘り込む		
掘　形	小ピット多数検出，凹凸著しい，西隅で不整形の掘り込み検出，カマド前は溝状にくぼむ		
その他	長方形・北西向きカマドをもち本遺跡では類例が少ない		
遺　物	土器90片，覆土から模倣杯・甕口縁部・鉢形甑底部出土，中央南東寄りで20cm大の石出土，1283		
時　期	古墳後期		



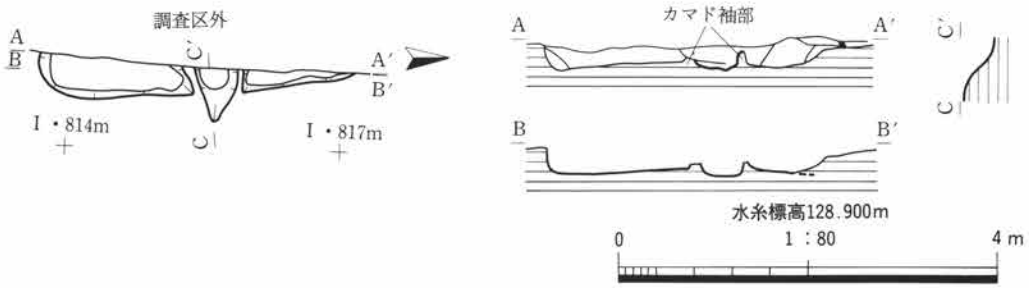
第661図　5区68号住居跡



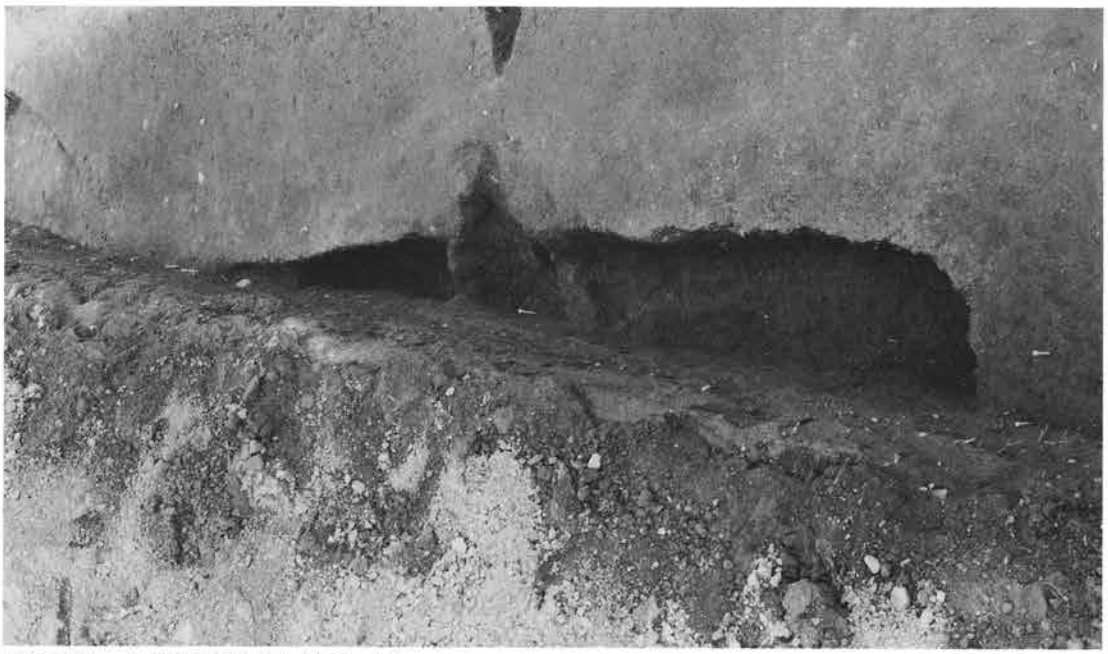
第662図　5区68号住居跡遺物出土状態（南東から）

三ッ寺II　5区　69号住居跡（第663図，図版401）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形～長方形，　規模　南北340以上，　面積　－，　壁高　14～23，　長軸方位　－	
壁　溝　不明	
主柱穴　不明	
カマド　位置　東辺，　対称軸方位　－，　構築材　粘土，　支脚　不明	
貯蔵穴　不明	
その他（状況の記録）	
確　認　面：黒色土，6層	検出位置：Iライン・816m付近
重複関係：－	覆　　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　　：直に近い	床　　面：検出内平坦，貼床
主　柱　穴：－	壁　　溝：－
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，両袖の一部を検出，奥壁は急角度で立ち上がる，59号住居のカマドと向き合う，調査区西壁に袖部断面観察	
貯　蔵　穴：－	掘　　形：比較的平坦
そ　の　他：大半は西側の調査区外にある，南東隅を検出したのみ，南辺40・東辺330，詳細不明	
遺　　物：土器9片，覆土から模倣杯小片・甕体部片出土，遺物図掲載なし	
時　　期：古墳	



第663図　5区69号住居跡



第664図　5区69号住居跡（南から）

三ッ寺Ⅱ　5区　ピット群（第665図，図版406）

5区東側道の調査（第2次調査）で多数のピットを検出した。確認面は暗褐色土（5層下位～6層）である。とくに集中して検出しているのは、4区から5区にかけての南端（ピット群1）、キロ程845m付近の101号溝両岸（ピット群2）、キロ程880m付近の101号溝西岸（ピット群3）の3カ所であった（以下、群番号で呼ぶ）。

出土遺物はいずれも小片であるが、これらと検出層位・住居との重複関係を勘案すると、ピット群は古墳時代までさかのぼる可能性がある。

ピット群1では4区北端の101号掘立柱建物を境として、その北側20m（キロ程815m）付近までピットが分布し、それらは蛇行する101号溝の両岸から検出している。溝内から検出したピットは少なく、溝外のピットはおおむね規模が揃っている。掘立柱建物として組み合わせの可能なものはない。これらのピット群1から北側の約10mの範囲はピットの空白部である。

なお、101号溝南端は5区67号住居と重複し、住居の方が古いことを確認している。

ピット群2は東側道のキロ程838～850m付近に分布し、101号溝の両岸・内部から検出している。両岸に近いところに分布していること、小ピットが多いこと、北側に接して101号溝の幅が広くなっていることなどから、101号溝に関連した施設があったことが考えられる。

なお、キロ程827～838mの間は、付け替えられた地元の生活道路として機能していたため、調査することができなかった。

ピット群3は東側道のキロ程872～893m付近に分布し、これらは101号溝の西岸にあたる。ピットの規模はおおむね揃っているが、掘立柱建物として組み合わせの可能なものはない。これらのピット群の北側にあたるキロ程900～906m付近（5区23号住居の東側）からもピット群が検出されているが、狭い範囲の調査であるため、掘立柱建物として組み合わせることはできない。これらを境として、以北の6区東側道は地山が低くなり、遺構を検出していない。キロ程906m付近が本遺跡のピット検出の北限であり、住居検出の北限である。これより以北は低地となり、本線敷調査（第1次調査）西側で検出した浅間B軽石下の水田跡が広がるとみられる。

第665図　5区ピット群2（南から）

第666図　5区ピット群1（南から）

三ッ寺Ⅱ　5区　溝（第667・741図，図版402・531）

5区では91本の溝を検出した。A類の溝は5区第1遺構検出面（5層上位）で確認した平行する直線的な溝群で、計85本を検出している。B類の溝は5層下位～6層で検出し、蛇行したり、やや深いもの、A類とは覆土が異なる溝等を指し、B1～5号（そのうちB3号はB2号と同じ）の番号を付けている。C類の溝はA類と同じ面で検出し、1本のみである。以上は、第一次調査検出の溝類である。

第二次調査（東側道調査）では、調査区内を蛇行するやや大型の溝を検出し、101号溝とした。その北端に接する細い溝は102号溝と呼んで区別した。

A類溝は平行する溝群のまとまりをもって分布する。5区北半では若干の違いはあるものの、おおむね東西方向の方位で走行し、隣あった溝群はほぼ平行するものが多い。覆土は暗褐色～黄褐色系のしまりのない土である。中央部のA53号溝を代表とする溝群は北東－南西方向に走行し、以北の溝群とはまったく異なった方位を示す。覆土は黒褐色系のものが多い。中央部西端のA48号溝を代表とする溝は、A53号溝と略直角の方位を示す。南半の溝群は北半のものと異なり、東西または南北の方位をもつ。覆土は黄褐色系で、北半の溝群に近い。

遺物は古墳～平安時代の土器小片が出土し、A46号溝からは陶器1片が出土している。

以上のA類溝群は一部に不整形のものを含み、長さに長短があり、地点による走行方位のまとまりをもっていること等から、畠跡の可能性が考えられる。図では代表的な溝の走行方位を示した。時期は平安時代以降で、中世～近世のものと考えられる。

B類溝はB2号溝を除き、A類溝に似る。B1号溝は北半にあり、A23号溝とほぼ同じ走行を示す。覆土は南半のA類溝に似て、黄褐色系の土である。5号住居→B1号溝の順に新しい。

B4・5号溝は1本の溝の東半・西半にそれぞれ番号を付けたもので、中央部のA53号溝の走行に近い。周辺住居との前後関係は50号住居→B4・5号溝であるが、10号住居との関係は明確ではない。溝の方が古い可能性がある。

B2号溝は5区の北東部から南西部へ斜めに横切る溝で、幾つかの住居・溝と重複する。それぞれの遺構との関係を注意して見直したところ、B2号溝の方が古いことを確認した。北東部からB2号溝→51号住居、B2号溝→38号住居、B2号溝→36号住居、B2号溝→13・14号住居、B2号溝→66号住居の順に新しい。52号住居との直接的関係は、38号住居により破壊され不明である。B1号溝・C1号溝はいずれもB2号溝を切っている。覆土は黒褐色系の土に浅間C軽石を含んだ土である。出土遺物は1326・1327の手づくね土器（B3号溝の注記、36号・37号・42号の3軒に囲まれた地点から出土）がある。出土土器の破片には重複する住居から落ち込んだと推定できるものも含まれるが、おおむね遺構の前後関係と矛盾はない。

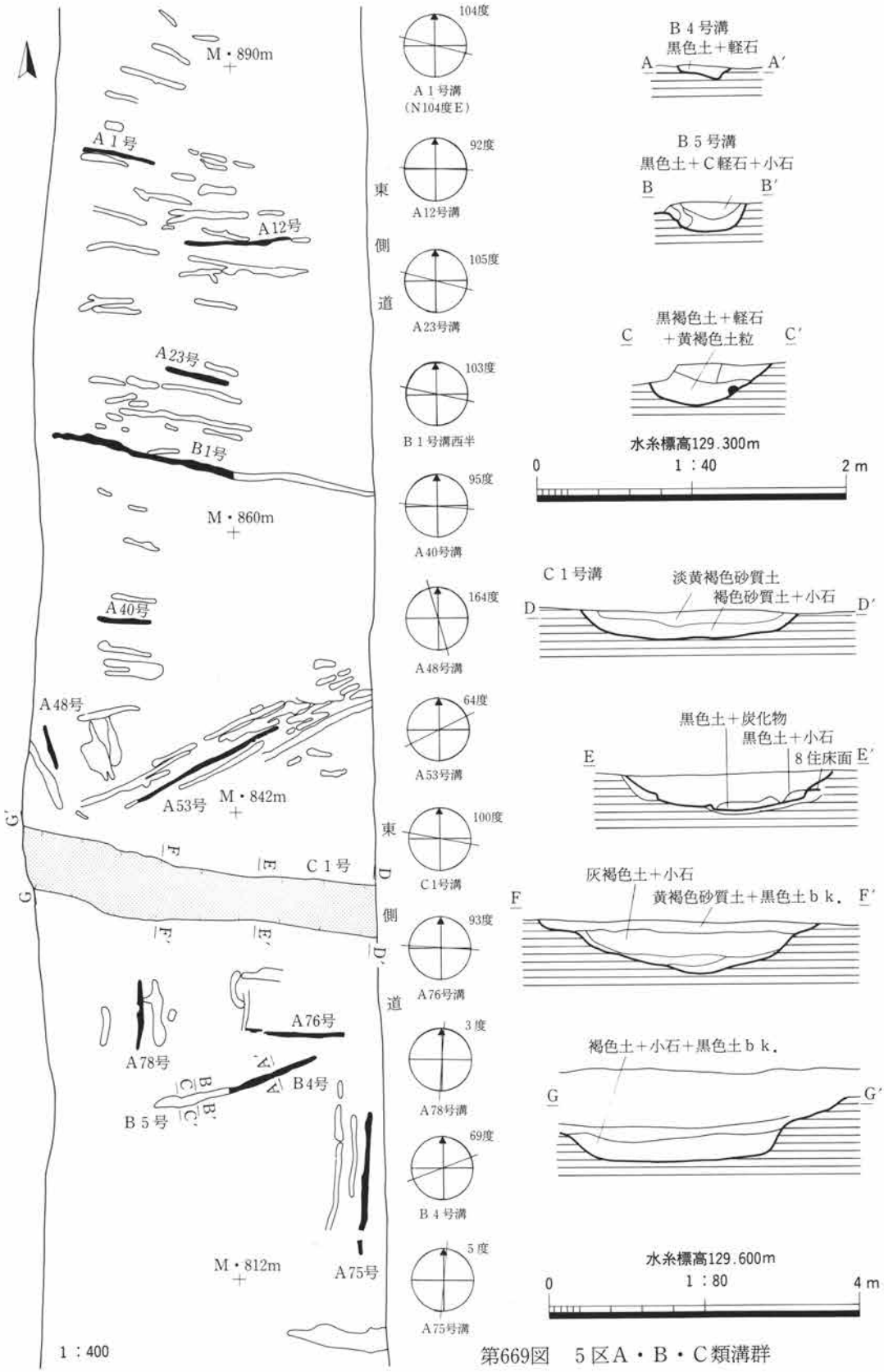
3～5区の遺構が分布する高まりは、おおむね北東－南西の方向で帯状に広がる微高地で、B2号溝はその北西縁にほぼ平行する溝である。調査区北西側は現在低くなっており、水田が営まれている。

第667図　5区A類溝、C1号溝（南から）

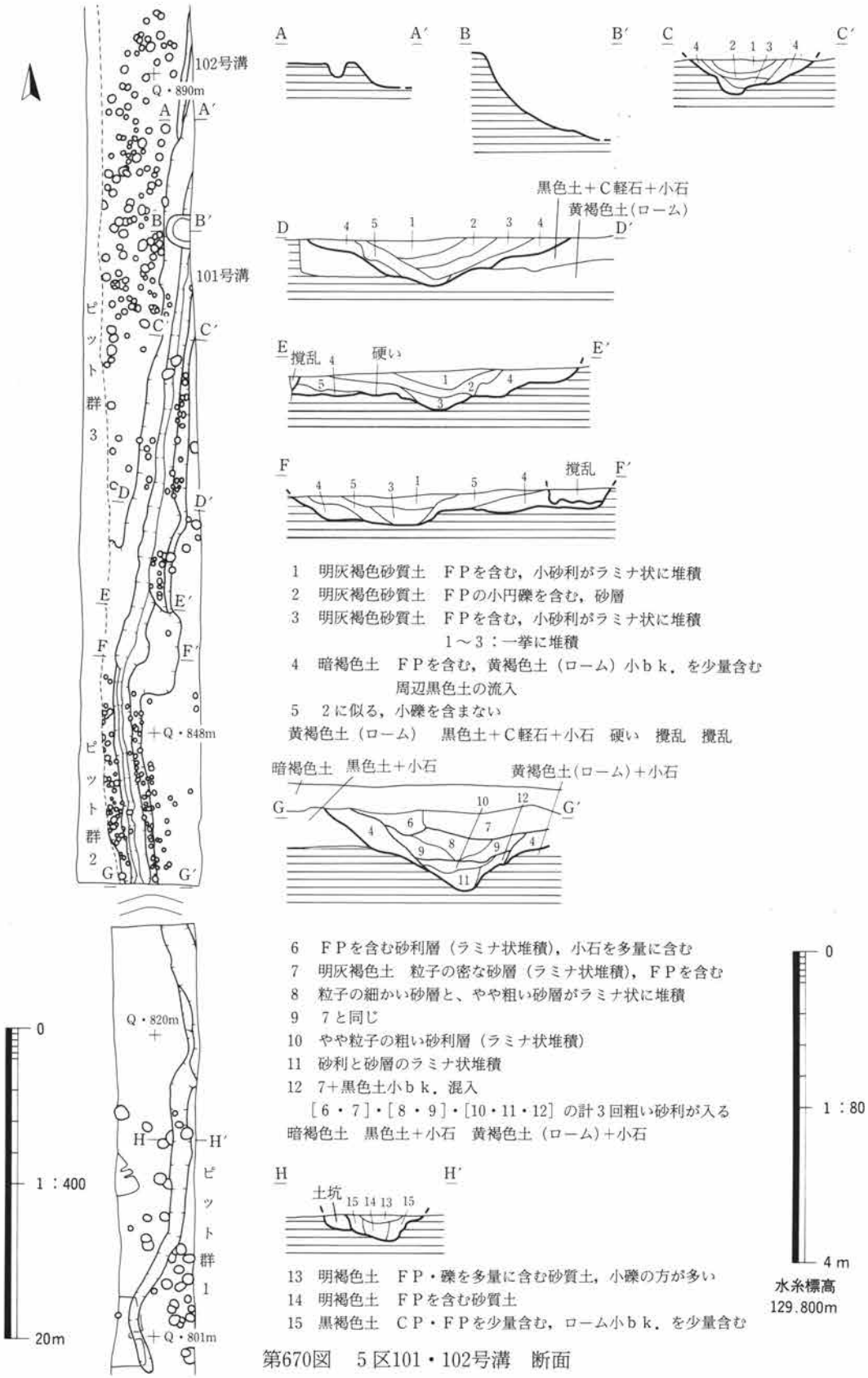
三ッ寺II　5区溝一覧表　　－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m ・cm・ cm	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備 考
101	黒色土 6層	P～R・ 798～889m	67住→ 101溝	96・60～380・13～46	FPを含む砂質土	底面二段	1322・1323 1324・1325 須恵器大型甕 長頸壺・蓋, 土器632片	古墳	東側道
102	黒色土 6層	Q～R・ 886～894m	102溝→ 101溝？	8.1・32・13	－	細い	－	古墳	東側道
B1	暗褐色土 5層	I～P・ 863～866m	5住→B1溝	22・25～54・9～18	淡黄褐色土	西半やや深い	土器59片,高杯・丸胴甕・模倣杯・外稜杯	平安以降, 中世？	略東西
B2	暗褐色土 5層下位	I～P・ 824～892m	重複多	71・41～158・30前後	黒褐色土＋C軽石	蛇行あり	土器31片,石1個,内斜杯・小型甕・丸胴甕	古墳	北東～南西
B3	B 2 溝と同						土器6片, 1326・1327, 模倣杯・高杯		
B4	暗褐色土 5層下位	K～O・ 823～826m	50住→？ B4溝→10住	11.3・30～55・3～21	黒褐色土＋C軽石	50住の東側	土器10片,半球杯・丸胴甕	古墳～平安 古墳？	略東西, B 4 溝→ 50住？
B5	B 4 溝と同					50住の西側	土器26片,小型甕・壺		
C1	褐色土 5層	I～P・ 835～841m	住居・B2溝→ C1溝	24・270～410・35～60	黄褐色砂質土	西流	土器506片,石3個,0689・1328・1329・1330,灰釉陶器・ケズリ甕 石臼小片	平安以降, 中世？	略東西

第668図　5区A類溝群北半（北から）



第669図　5区A・B・C類溝群



1　明灰褐色砂質土　ＦＰを含む，小砂利がラミナ状に堆積
2　明灰褐色砂質土　ＦＰの小円礫を含む，砂層
3　明灰褐色砂質土　ＦＰを含む，小砂利がラミナ状に堆積
　　1～3：一挙に堆積
4　暗褐色土　ＦＰを含む，黄褐色土（ローム）小ｂｋ．を少量含む
　　周辺黒色土の流入
5　2に似る，小礫を含まない
黄褐色土（ローム）　黒色土＋Ｃ軽石＋小石　硬い　撹乱　撹乱

6　ＦＰを含む砂利層（ラミナ状堆積），小石を多量に含む
7　明灰褐色土　粒子の密な砂層（ラミナ状堆積），ＦＰを含む
8　粒子の細かい砂層と、やや粗い砂層がラミナ状に堆積
9　7と同じ
10　やや粒子の粗い砂利層（ラミナ状堆積）
11　砂利と砂層のラミナ状堆積
12　7＋黒色土小ｂｋ．混入
　［6・7］・［8・9］・［10・11・12］の計3回粗い砂利が入る
暗褐色土　黒色土＋小石　黄褐色土（ローム）＋小石

13　明褐色土　ＦＰ・礫を多量に含む砂質土，小礫の方が多い
14　明褐色土　ＦＰを含む砂質土
15　黒褐色土　ＣＰ・ＦＰを少量含む，ローム小ｂｋ．を少量含む

第670図　5区101・102号溝　断面

Ｃ１号溝は５区中央部をほぼ東西に横切る、幅の広い溝である。覆土は淡黄褐色・褐色系の砂質土で、下位の褐色土には小石・黒色土ブロックを含んでおり、水流のあったことを示す。底面の傾斜では、西へ向かって流れたとみられる。平安時代の２１号住居を破壊して掘り込まれており、平安時代以降のものと考えられる。遺物には0689（鎌）・1328（土師質土器高台付椀）・1329（羽釜）・1330（丸瓦または埴輪）のほか、灰釉陶器・石臼小片等がある。

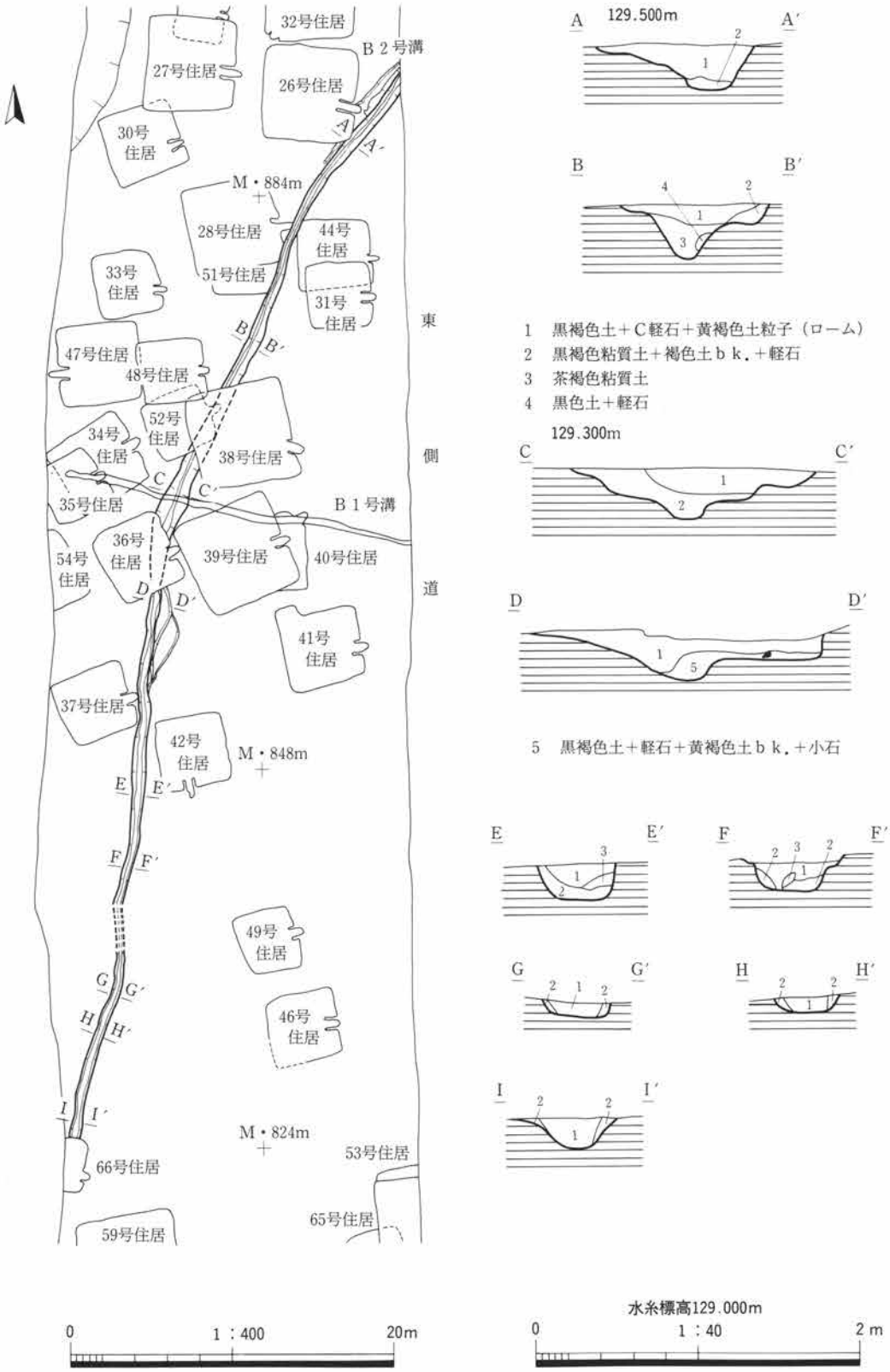
１０１号溝は第二次調査の東側道で検出した溝で、上位にＦＰを含む灰褐色系の砂質土（砂利を含む）が堆積する。調査区内をゆるやかに蛇行し、４区－５区の境となるキロ程800m付近で浅くなって消える。キロ程818m付近では調査区壁下に東岸が推定できるが、この付近で分流する可能性もある。キロ程853m付近は東西5m・南北4mほどの略長方形に広がり、東岸は浅くなっている。なんらかの施設があったことが推定される。この長方形部分の南側に、前記のピット群２がある。北側の西岸ではピットの分布が少ない部分があり、さらにその北側にピット群３が位置する。１０１号溝は微高地を南北に貫く方向で掘り込まれている。

１０２号溝は１０１号溝の北端に位置し、１０１号溝に合流している（重複関係不明）。幅30cm前後の細い溝で、深さ13cmと浅いが、底面の傾斜は北側が高く、南流する溝と考えられる。１０１号溝の一部か？

以上の５区の溝のうち、Ｂ２号溝と１０１号溝とは古墳時代に掘り込まれた溝とみられ、住居との重複関係および榛名山二ツ岳噴出のテフラとを勘案すると、Ｂ２号溝の方が古いと考えられる。１０１号溝は底面近くから検出面までＦＰを含む層が堆積し、３回の粗い砂利層の流入がみられることから、ＦＰ降下前後には掘り込まれていたと推定される。両者は５区－６区の境としたキロ程900m付近の調査区外東側で交差することが予想でき、Ｂ２号溝＋１０１号溝の合流(より高位地点からの分流)、またはＢ２号溝→１０１号溝のつけかえが考えられる。両者は南側約500mに位置する三ッ寺Ｉ遺跡を含め、周辺の開発と本遺跡の成立に密接な関連をもつ遺構であろう。

第671図　５区Ｂ２号溝（南から）

第672図　５区Ｂ２号溝遺物出土状態（西から）



第673図　5区B 2 号溝

第674図　５区Ｃ１号溝（北から）

第675図　５区Ｃ１号溝　イ区遺物出土状態（北から）

第676図　5区C１号溝　ロ区遺物出土状態（北から）

第677図　5区C１号溝　ハ区遺物出土状態（東から）

三ッ寺II　5区　土坑（第502・742図，図版531）

5区では47基の掘り込みに土坑番号がつけられたが、そのうち7・24・31・41・42号の5基は欠番である。29A号より小さい番号の土坑はおおむね上層の5層（褐色土）で確認し、29B号以降は下位の6層（黒～黒褐色土）で検出した。いくつかの土坑には浅間山噴出の軽石を含んでいたが、B軽石かA軽石か判断できないものもあり、この場合の覆土欄は単に「軽石」と記入した。

キロ程830m付近の9号住居と重複する土坑類は、住居上層で検出したものと住居の床下から検出したものが分布する。43号土坑は、掘り下げ前に遺物が見えていたため、土坑番号を付けて掘り下げたが、次第に不整形となり、略長方形を呈する掘り込みとなった。あるいは、下層の住居（31号）を掘り下げていたとも考えられる。

遺物は古墳～平安時代までの小片が大半で、掲載したのは23号土坑出土の1331、43号土坑出土の1332・1333の3個体である。その他の土器片は紙面の都合により割愛した。

時期を限定できるものはきわめて少ない。以下、一覧表で各土坑の規模等を示す。

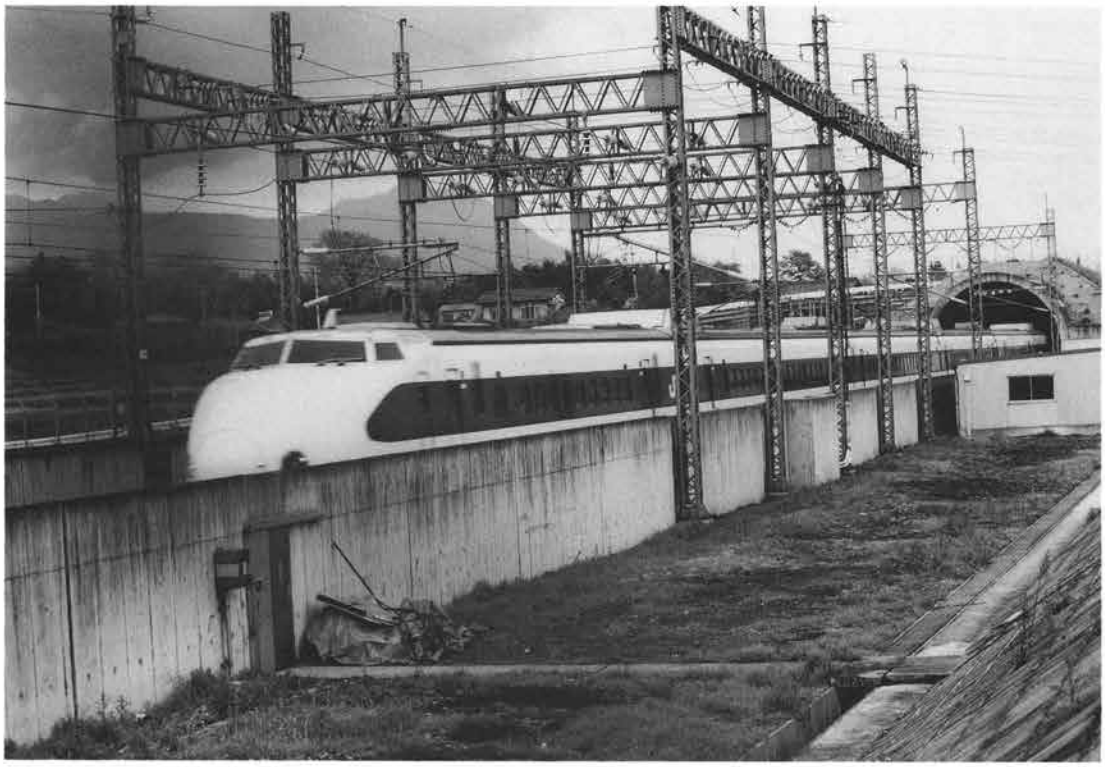
三ッ寺II　5区土坑一覧表　　bk.：block，計測値単位cm，－：計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	褐色土5層	N～O・850m	A63溝→1坑	462×55・49	灰褐色土	溝状	土器4片，内斜杯・羽釜	平安以降	
2	褐色土5層	N・848m	A53溝→2坑	133×48・8	灰褐色土	楕円形	土器6片，小片のみ	平安以降	
3	褐色土5層	M～N・850m	7住→3坑	53×150・21	暗褐色土＋黄褐色土bk.	長方形	－	平安以降	
4	褐色土5層	L～M・850m	42住→4坑	57×192・7	黄褐色土パサパサ	長方形	－	平安以降	
5	褐色土5層	K～L・853m		163×62・14	黄褐色土	長方形	土器2片，小片のみ	平安以降	
6	褐色土5層	O～P・879m	31住→6坑	123×61・12		長方形	土器32片，須恵器蓋	平安以降	
7	欠番								
8	褐色土5層	P・849m		52×155以上・19	褐色土	長方形	－	平安以降	
9	褐色土5層	P・847m		48×57・9	褐色土	円形	－	平安以降	
10	褐色土5層	N～O・843m		145×140・16	黄褐色土，軟	円形	土器8片，土釜	平安以降	
11	褐色土5層	N～O・833m	46住→11坑	245×155・5	黒褐色土＋B軽石	不整形	土器8片，須恵器高台付杯	平安以降	
12	褐色土5層	N・833m	8住→12坑	88×118・27	黄褐色土＋軽石	不整形	土器15片，須恵器高台付杯	平安以降近世？	
13	褐色土5層	L～M・831m		96×71・13	黄褐色土	楕円形	土器11片，外稜杯	平安以降	
14	褐色土5層	L～M・828m	45住→14坑	82×75・6	黄褐色土＋B軽石	円形	土器3片，小片のみ	平安以降	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
15	褐色土5層	M～N・827m	A76溝？	85×98・25	褐色土＋黒褐色土	円形	土器37片，外稜杯	平安以降	
16	褐色土5層	K～L・830m		63×162・20	黄褐色土	不整形	土器7片，須恵恵器高台付椀	平安以降	
17	褐色土5層	J～K・830m	58住→17坑	65×41・15	－	不整形	－	平安以降	
18	褐色土5層	L～M・826m		122×65・19	－	楕円形	－	平安以降	
19	褐色土5層	O～P・815m	A75溝→19坑	262×68・30	暗褐色土＋炭化物	長方形	土器11片，模倣杯	平安以降	
20	褐色土5層	K～L・814m	20住？	83×94・16	－	円形	土器7片，甕	古墳？	
21	褐色土5層	I～J・812m		254×154・13	－	不整形	－	古墳～平安	
22	褐色土5層	I～J・813m		26×60・19	淡黄褐色土	長方形	土器17片，須恵器無台杯	古墳～平安	
23	褐色土5層	L～M・804m		70×130・13	灰褐色土	長方形	土器30片，甕1331	古墳～平安	
24	欠番								
25	褐色土5層	N～O・829m	9住→25坑	75×98・13	暗褐色土＋B軽石	円形	土器6片，羽釜	平安以降	
26	褐色土5層	N・830m	9住→26坑	100×94・36	暗褐色土＋B軽石	円形	土器15片，土師質椀	平安以降	
27	褐色土5層	J～K・829m	14住→27坑	105×80・30	灰褐色土	楕円形	土器1片，須恵器甕底部	平安以降	灰釉陶器は14住か
28	褐色土5層	L・841m		70×67・30	－	円形	土器3片，土師質羽釜・石	平安以降	
29A	褐色土5層	J・879m	A3溝？	175×209・17	褐色土＋軽石	長方形	土器2片，内斜杯・石	平安以降	
29B	9住床下	N～O・830m	29B坑→9住→25坑	61×73・13	－	不整形	－	平安以前	
30	黒色土6層	L～M・903m	24住→30坑	180以上×135・8	－	楕円形？	－	古墳以降	
31	欠番								B1溝西端
32	暗褐色土5層下位	M・833m	32坑→8住	102×93・9	－	不整形	－	平安以前	

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆　土	そ の 他	遺　物	時　期	備　考
33	9住 床下	N・ 828m	33坑→9住	115×122・46	—	円形	土器6片，羽釜 須恵器甕	平安以前	
34	黒色土 6層	K～L・ 885m	34坑→ 2住	53×67・26	—	楕円形	—	平安以前	
35	黒色土 6層	K～L・ 886m	35坑→ 2住	113×89・12	—	楕円形	—	平安以前	
36	黒色土 6層	L～M・ 886m		57×52・23	—	円形	—	平安以前	
37	黒色土 6層	K～L・ 889m		80×140・19	—	楕円形	—	平安以前	
38	黒色土 6層	M～N・ 877m		76×98・20	—	楕円形	土器6片，土師 質椀	古墳以降	
39	黒色土 6層	O～P・ 863m	39坑→ B1溝	108×87・26	—	楕円形	—	平安以前	
40	黒色土 6層	N・ 851m	40坑→7住 →1坑	120×96・12	—	楕円形	—	古墳以降	
41	欠番								
42	欠番								
43	黒色土 6層	M・ 878m	31住→ 43坑	(230×380)・—	—	住居の一部 か？	土器15片， 1332・1333	古墳	不整形
44	褐色土 5層	N～O・ 802m	56住？	122×265・21	黄褐色土＋ 軽石	不整形	土器17片，内 斜杯	平安以前	
45	黒色土 6層	I・ 820m		315×—・10	黒褐色土＋ 軽石	不整形	土器2片，模倣 杯	古墳	溝の一部 か？
46	黒色土 6層	M～N・ 860m	39住→ 46坑	—×66・8	暗褐色土＋ 軽石	楕円形	土器2片，小片 のみ	古墳以降	
47	黒色土 6層	M～N・ 865m	47坑→ 39住	110×—・9	淡黄褐色土	楕円形	—	古墳以降	

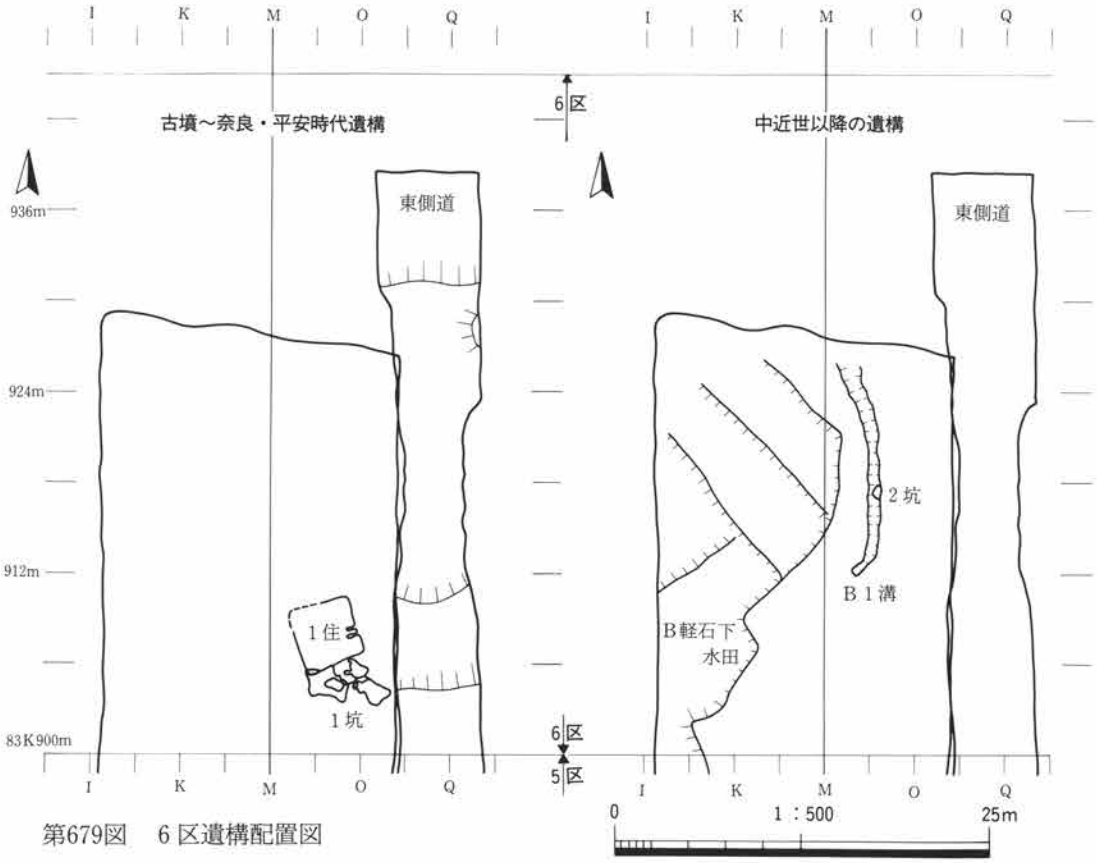
6 区 の 遺 構



第678図　変貌する沿線(6)群馬町中里の陸橋から北西を望む

榛名トンネルを出て南へ向かう上越新幹線。このあたりに中里天神塚古墳があった。後方は榛名山。

1990年4月撮影



第679図　6区遺構配置図

6 区 の 概 要

大宮を起点とする6区のキロ程は、83km900mから83km939mの範囲である。本区南端のキロ程900m付近では、遺構の分布が連続的であり、900mにかかる2軒の住居は5区の２３・２４号住居とした。

6区では下表の遺構を検出した。本区は南北約40mの区間で、1～5区に比べて狭い。これより以北の新幹線建設用地には調査着手時点で、すでに橋脚が完成していたため、低地の調査を延長することができなかった。

キロ程906m・Pライン付近を境として、これより以北の調査区は低地となり、三ッ寺III遺跡との中間にあたる低地に連なる。この低地との境は5－6区の調査区内で北東－南西方向の段をなし、Ｉライン・865m（5区内）付近まで延びる。段の北側では浅間Ｂ軽石下の水田跡と溝、段の南側では住居跡1軒を検出した。以下、住居を除く個別遺構の説明もここで記述する。

水田跡は調査区内で計5枚を検出した。アゼは北西－南東方向およびこれに直行する方向で検出し、北東側から階段状を呈する。アゼの高さは10cm前後で、全体は浅間Ｂ軽石の純層（砂質土）で覆われていた。従ってこれらの水田はＢ軽石の降下年代にきわめて近い頃に営まれたものとみられる。

水田跡とその東側を区切るように、同じ遺構検出面でＢ１号溝を検出している。M～Nライン・912～926mの範囲で弧状を呈し、東側に凸である。掘り込み面は北端の調査区壁が崩壊したため、確認することはできなかったが、水田跡との相互の位置関係から、水田と密接に関連する遺構とみられる。

表6　6区検出遺構

遺構	時代									欠番	小計
	縄文	弥生	古墳				奈良	平安	不明		
			前期	中期	後期	(古)*1					
住居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	－	1
掘立柱建物											0
ピット群											0
井戸											0
溝									1		1
土坑								1	1		2
水田									1*2		1
畠											0

＊1　時期分離できない
＊2　一面5枚

1号土坑はOライン・905m付近で検出した不整形の掘り込みである。いくつかの不整形掘り込みをまとめて1号土坑とした。西側最深部から土器片が出土しており、奈良～平安時代の土坑とみられる。微高地先端部に位置することから、水田跡と関連する可能性もあろう。

2号土坑は前述のB1号溝にかかる円形の土坑で、略長方形・70×50・深さ24cmである。

1号住居は前述の段に北半がかかる状態で検出し、本遺跡検出の住居としては北端に位置する。東側道調査（第2次調査）でも6区1号住居・5区23号住居の東側では住居を検出していないことからみて、6区1号住居が本遺跡ののる微高地調査区内の北端限界を占めていると考えられる。

5区で検出したB2号溝は、6区1号住居のかかる段の走行とほぼ平行し、段の南西側に展開する現在の水田を含めた周辺地形と考え合わせれば、水は南西方向へ向かって流れていたことが推定できる。調査区外北東側の水は微高地を縦断する5区B2号溝によって、調査区外南西部へ抜けることが可能となる。5区B2号溝は、いわばバイパスとして掘削されたものか。

5－6区の遺構分布状態からみると、5区北半から6区にかけては、調査区外の南東側へ遺構が広がり、遺跡ののる微高地の走行は、北東－南西の方位をとるものと考えられる。この方位は3－4区の境付近（キロ程700m前後）の、地割れを伴う段の走行方位と調和的である。

第680図　6区B軽石面全景（南から）

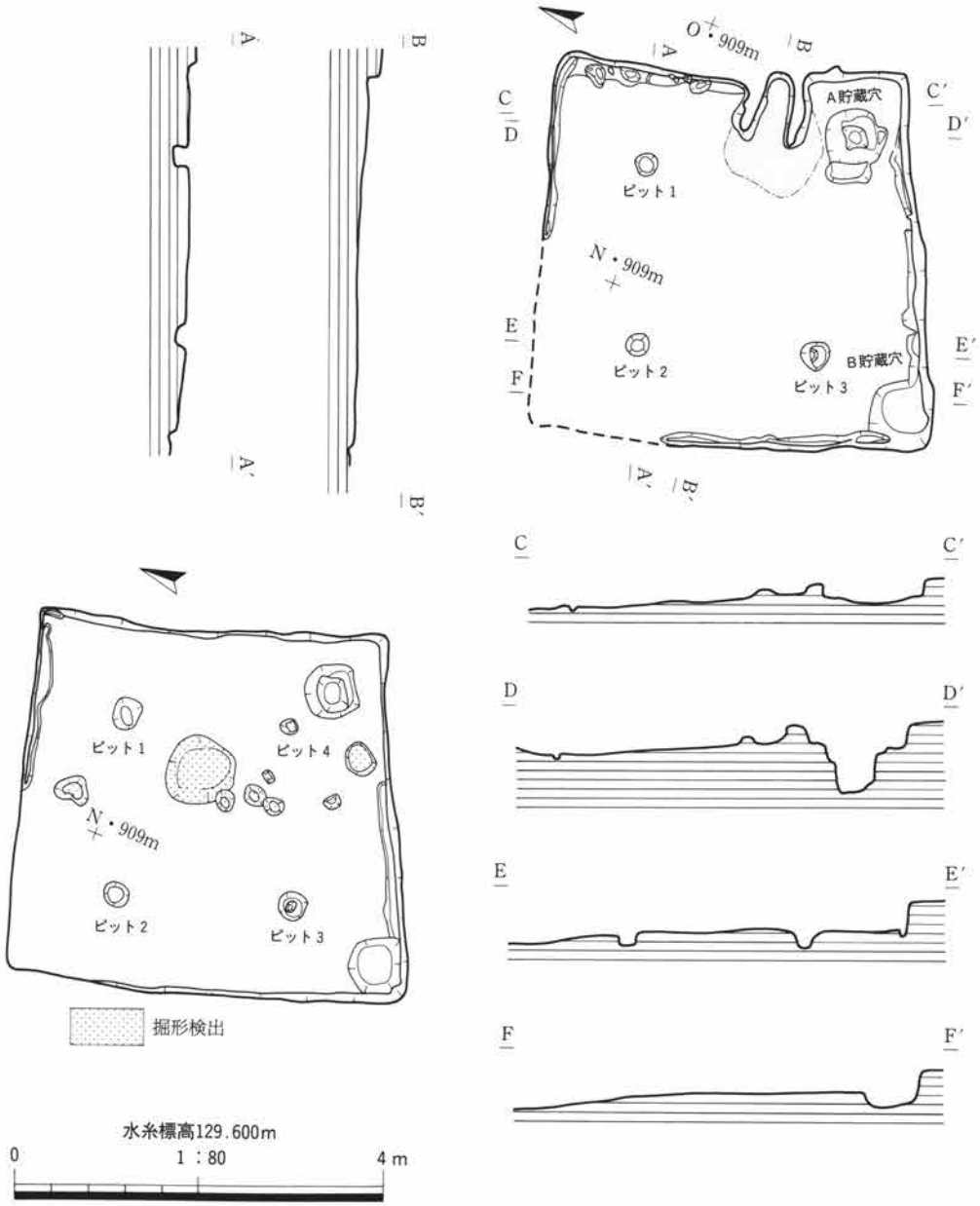
三ッ寺II　6区　1号住居跡（第681・744図，図版417）　　計測値単位cm，－：計測不可・不明

平面形　方形，規模　408×400，面積　(16.3) m²，壁高　2～33，長軸方位　N163度E						
壁　溝　幅　5～15，深さ　1～5						
主柱穴	1	2	3	4（掘形）	主柱穴間の距離（下バ心心）	
上バ径	23	26	31×32	18	1－2：197	2－3：192
下バ径	17×15	13	7	11×13	3－4：200（掘形）	4－1：179（掘形）
深　さ	15	11	20	9		
カマド　位置　東辺中央やや南，対称軸方位　N83度E，構築材　粘土，支脚　不明						
A貯蔵穴：位置　南東隅，平面形　不整形，上バ55×78，下バ14×15，深さ　54						
B貯蔵穴：位置　南西隅，平面形　略方形，上バ72×70，下バ45×48，深さ　16						

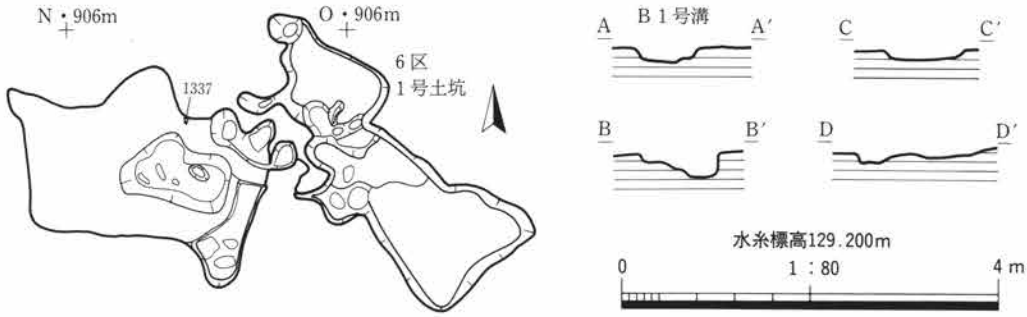
その他（状況の記録）

確　認　面：暗褐色土，5層下位，検出位置：N～Oライン・909m付近
重複関係：－，覆　　土：黒褐色系の土＋軽石
壁　　：直に近い，浅い（地山傾斜），床　　面：平坦，貼床，北西部は不明確
主　柱　穴：ピット4は掘形検出，壁　　溝：北西隅付近不明，東辺・南辺で小穴検出
カ　マ　ド：燃焼部は住居壁の内側にある，軸線は東辺と直角にならない，遺存不良
貯　蔵　穴：A；内部は二段に掘り込む，西側は浅い段をもつ，掘形の中段は長方形・底面は楕円形を呈する
B；浅い，掘形は楕円形を呈する
掘　　形：中央部の南北に大小の掘り込み検出，中央円形の掘り込み；75×76・深さ31
そ　の　他：北西隅は推定，斜面に立地しているため北半は浅い
遺　　物：土器36片，覆土から模倣杯・内斜口縁杯・須恵器甕体部片出土，1336
時　　期：古墳

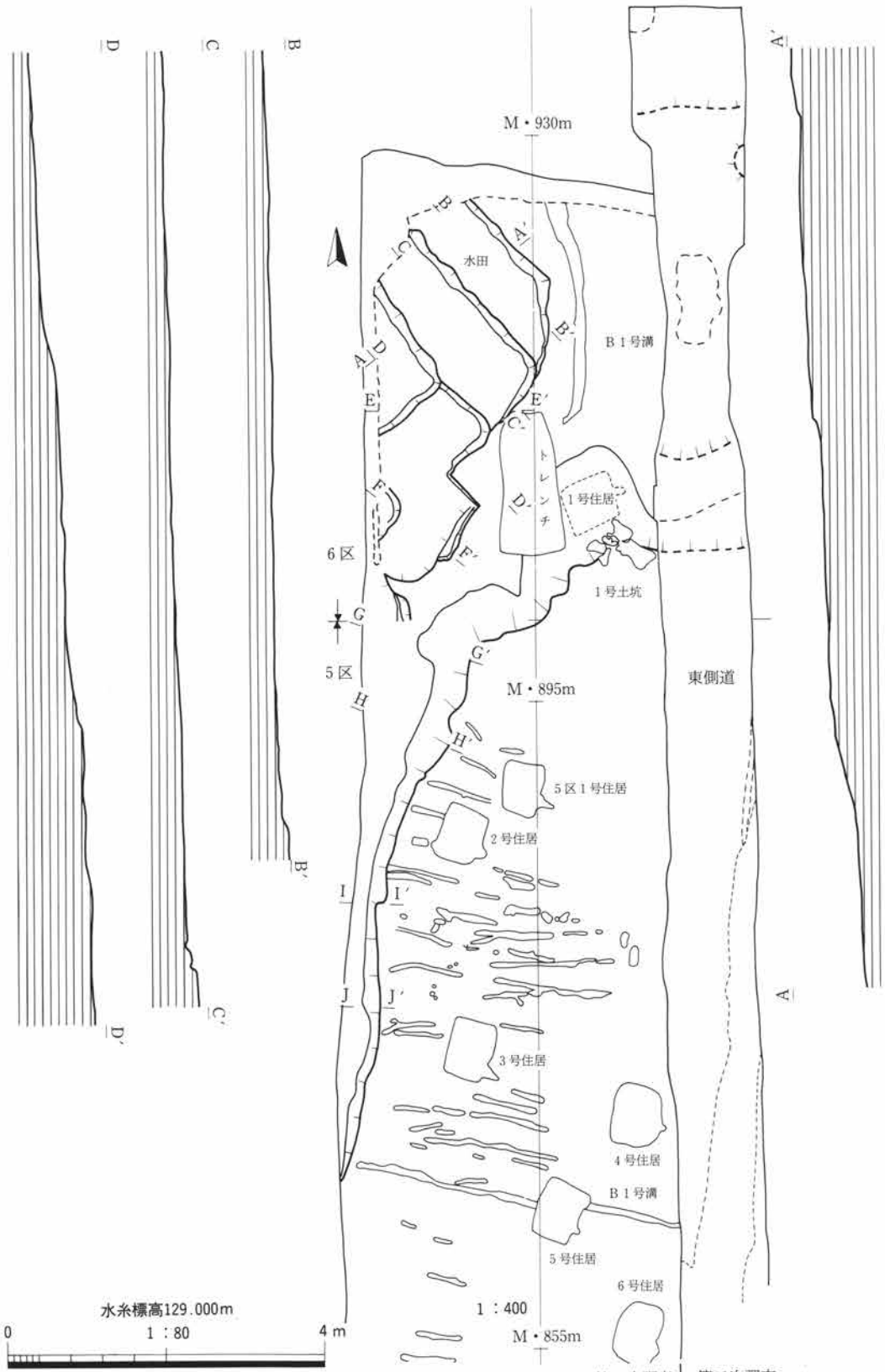
第681図　6区1号住居跡カマド（西から）



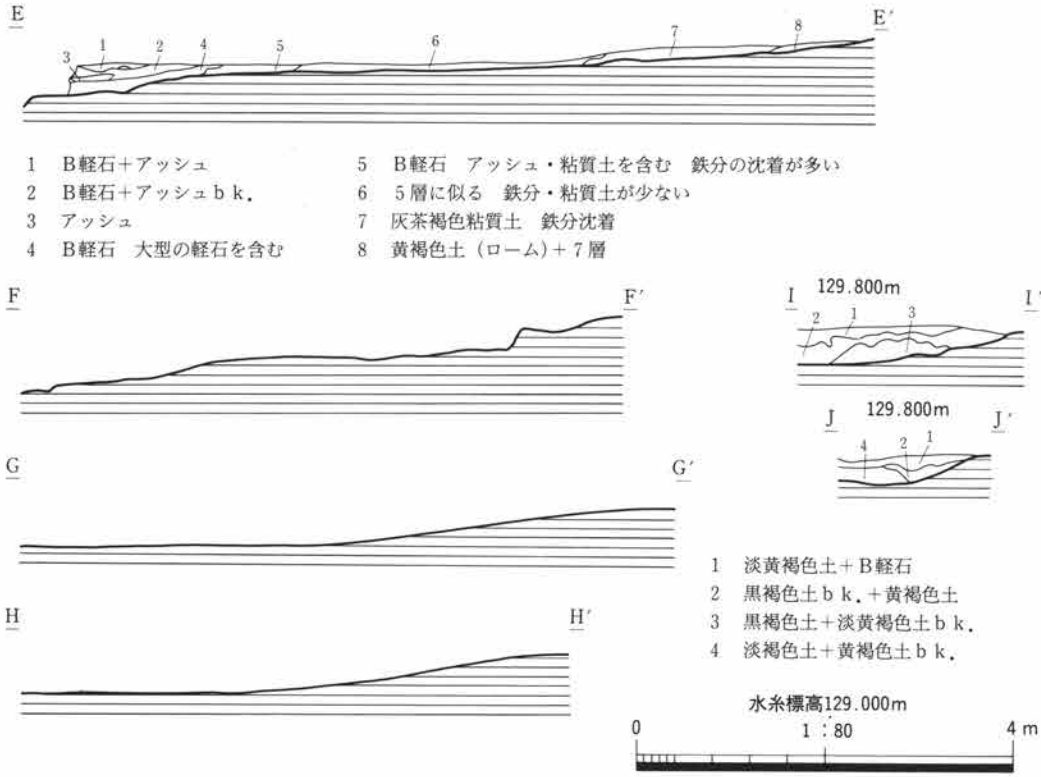
第682図　6区1号住居跡



第683図　6区1号土坑・B1号溝



第684図　6 区水田跡（1）



第685図　6区水田跡（2）

第686図　5－6区東側道（北から）

出　土　遺　物　図

＊1　遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真中の遺物番号・実測図中の遺物番号・遺物計測値表中の遺物番号・写真図版編の遺物番号はすべて同じ遺物を指す。

＊2　整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。

＊3　遺物実測図は出土遺構優先で掲載しており、4→5→6区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前詰めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順で掲載した。

＊4　遺物実測図中の番号末尾につけた英文字は、H＝土師器、S＝須恵器、H'＝土師質土器、K＝灰釉陶器を示す。

＊5　弥生～平安時代の土器類の縮小率は¼、縄文土器⅓、金属製品・石製品は½、玉類は⅓を原則としたが、一部に原則から外れるものもある。それぞれスケールを付した。

＊6　実測図の表現は次の原則による。

①器形を表現する線のうち、凸稜線は実線、凹稜線は1カ所破線で現す。

②文様は実線で表現する。

③器面・器表の調整痕のうち、

◇ケズリ系の調整は破線　◇ミガキ系の調整は実線　◇ナデ系の調整は一点鎖線

◇ハケ系は実線　◇工具・道具を使わない指頭系は点線

で表現する。

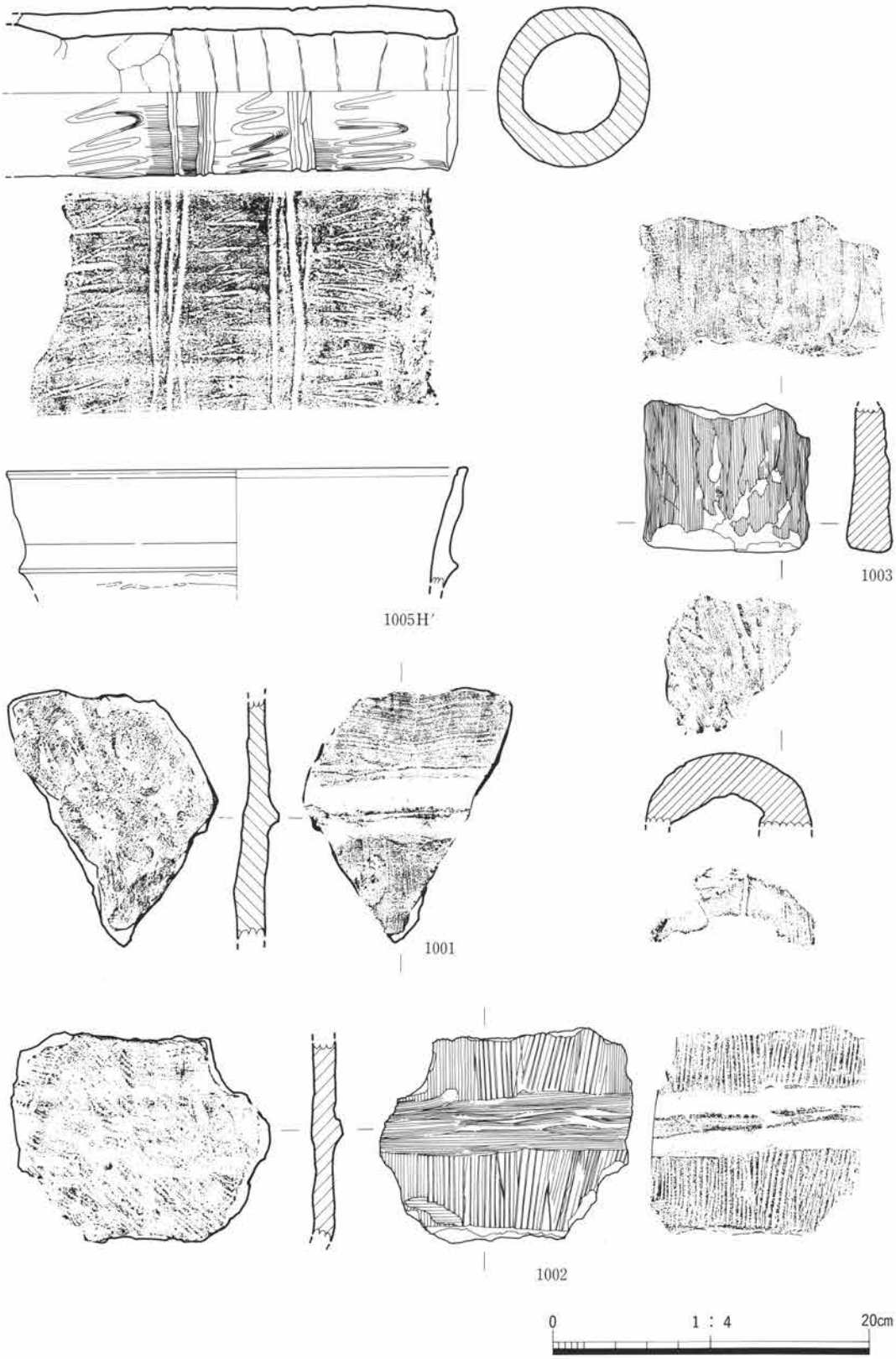
遺物図　遺構別　目次

区	遺構番号	掲載頁
4	1住	681
	2住	682
	3住	683
	4住	683
	6住	683
	7住	683
	8住	683
	9住	683
	11住	684
	12住	684
	13住	684
	14住	684
	15住	685
	16住	685
	17住	685
	18住	685
	19住	685
	21住	686
	22住	686
	23住	686
	24住	686
	29住	686
	30住	687
	32住	687
	33住	687
	34住	688
	35住	688
	36住	688
	37住	688
	38住	689
	40住	689
	41住	689
	43住	689
	44住	689
	45住	690
	54住	690
	55住	690
	56住	692
	57住	692
	58住	692
	59住	693
	60住	693
	62住	693
	63住	694
	65住	694
	68住	694
	70住	694
	71住	695
	72住	695
	73住	695
	75住	695
	74住	696
	76住	696
	77住	696

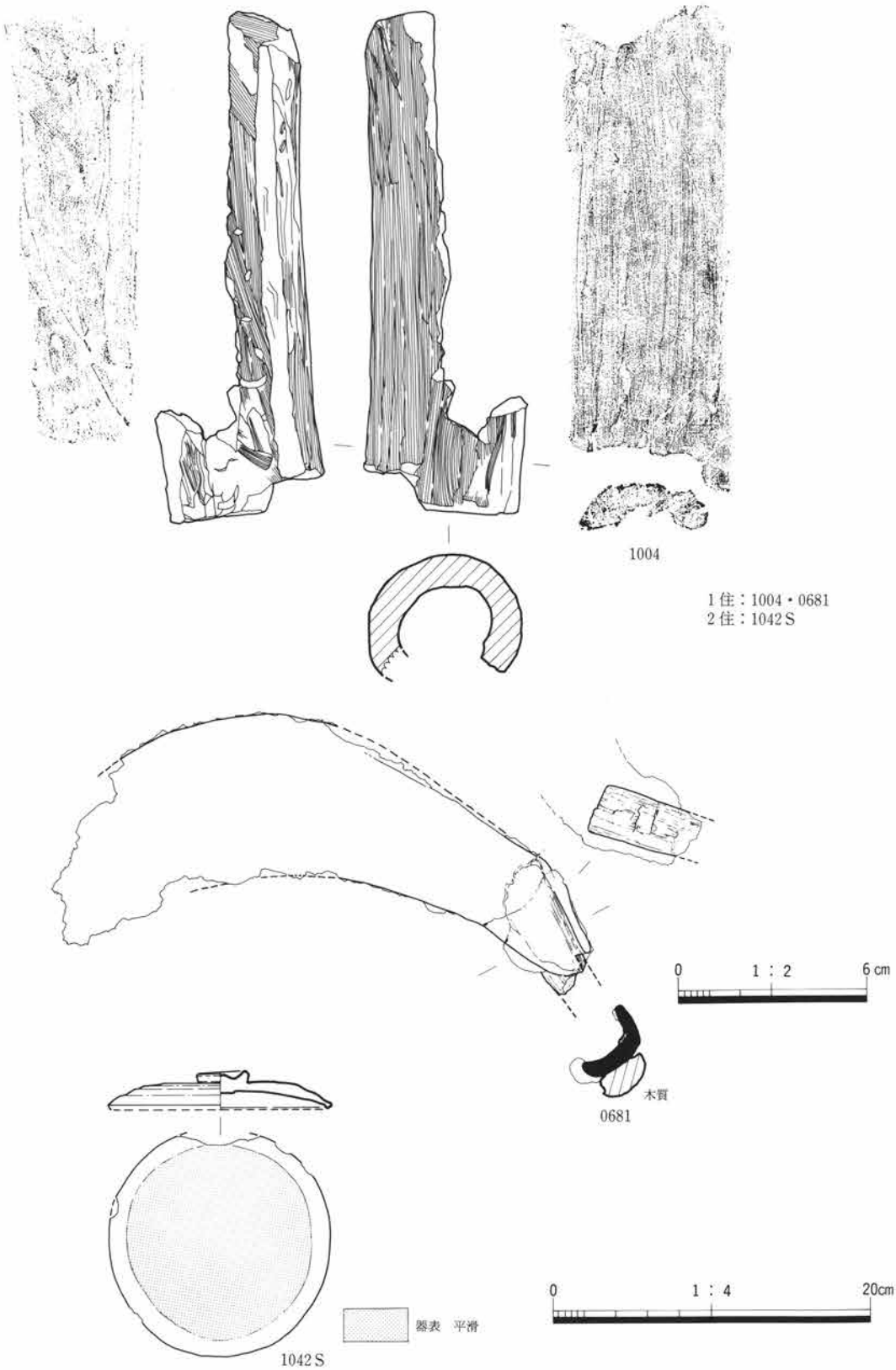
区	遺構番号	掲載頁
4	78住	697
	80住	698
	81住	698
	84住	698
	85住	698
	86住	699
	101住	701
	102住	701
	103住	701
	104住	702
	105住	702
	106住	702
	107住	703
	109住	703
	110住	703
	111住	703
	112住	703
	113住	703
	114住	704
	117住	704
	119住	704
	120住	704
	121住	705
	122住	705
	127住	705
	128住	706
	129住	706
	130住	707
	135住	708
	137住	708
	138住	708
	141住	708
	142住	708
	145住	709
	146住	709
	147住	710
	149住	711
	150住	711
	152住	711
	153住	712
	154住	713
	155住	713
	34坑	715
	88坑	715
	144坑	715
	223坑	715
	224坑	715
5	1住	716
	2住	716
	3住	716
	4住	716
	6住	716
	8住	716
	9住	716

区	遺構番号	掲載頁
5	10住	716
	11住	717
	12住	717
	17住	717
	19住	717
	20住	717
	21住	717
	22住	718
	23住	718
	24住	718
	25住	719
	26住	719
	27住	719
	28住	722
	29住	722
	30住	722
	31住	722
	32住	723
	33住	723
	34住	723
	35住	723
	36住	724
	37住	725
	38住	725
	39住	726
	41住	726
	42住	726
	43住	726
	44住	727
	45住	727
	46住	727
	47住	728
	48住	728
	49住	729
	50住	730
	52住	730
	53住	730
	54住	730
	56住	730
	57住	731
	58住	731
	59住	732
	60住	732
	61住	732
	62住	732
	63住	733
	64住	734
	65住	734
	66住	734
	67住	734
	68住	735
	101溝	735
	B2溝	735
	C1溝	736

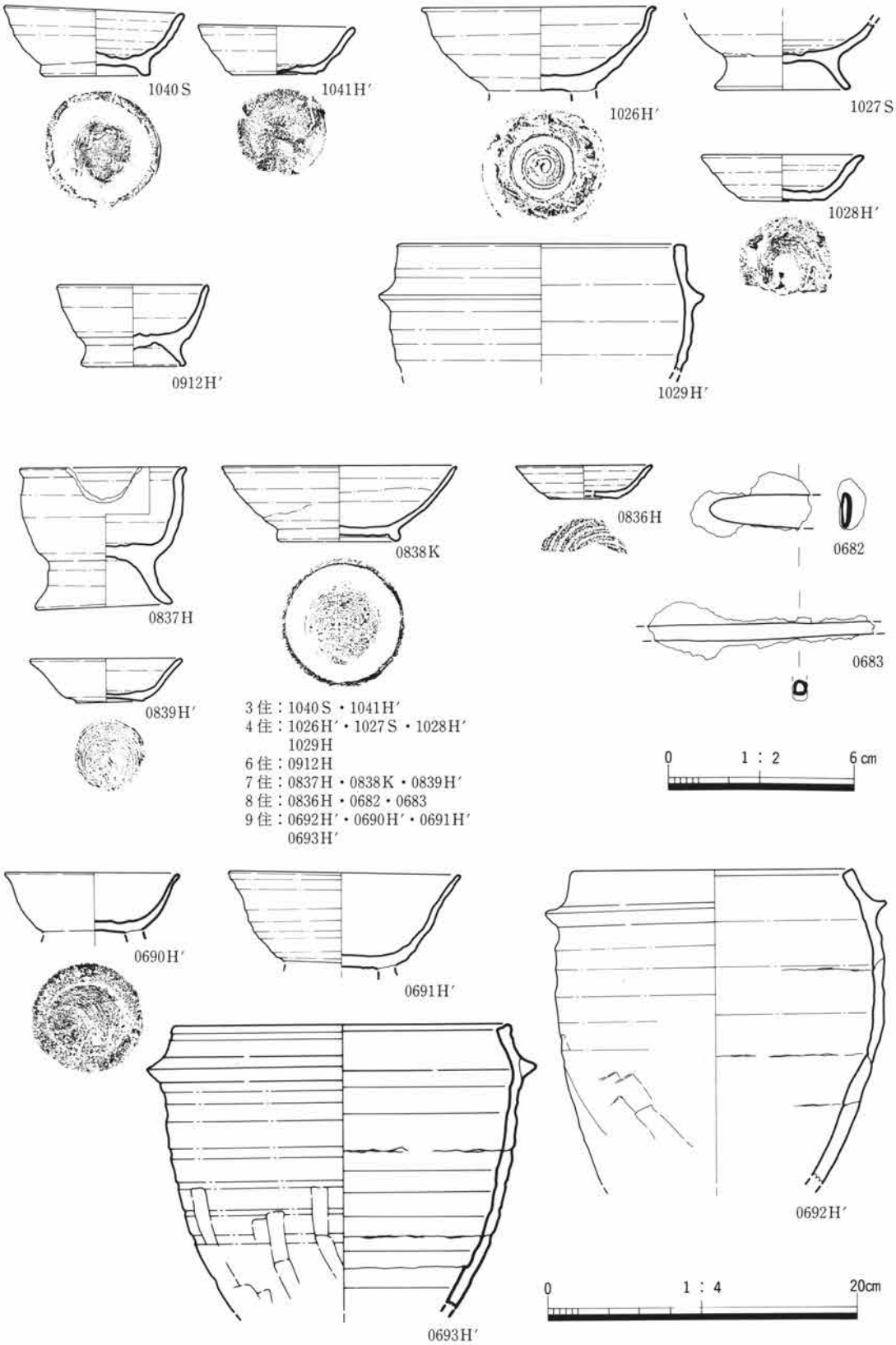
区	遺構番号	掲載頁
5	23坑	736
	43坑	736
	遺構外	737
6	1住	737
	1坑	737
遺構外縄文		738



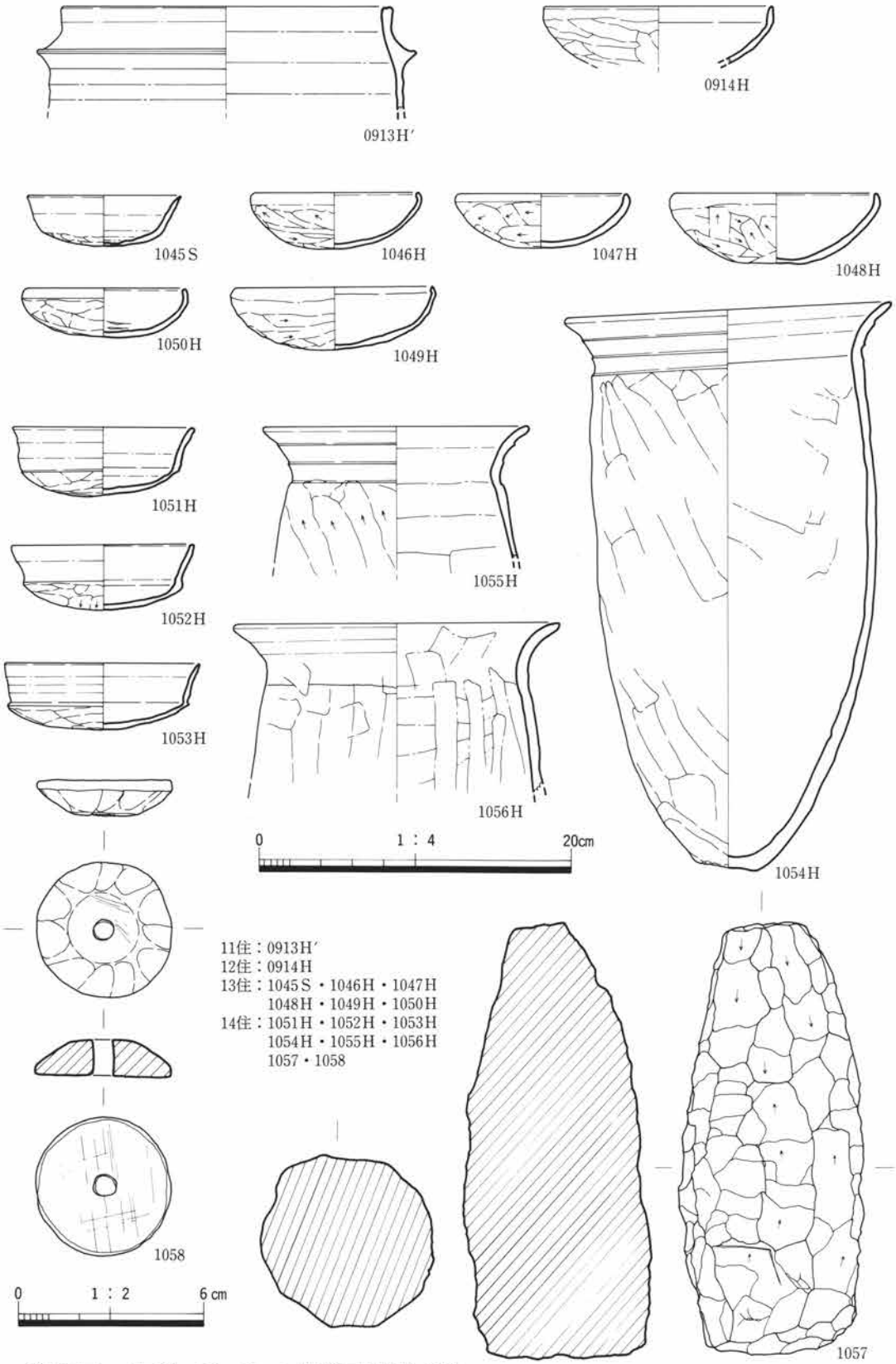
第687図　4 区 1 号住居跡出土遺物



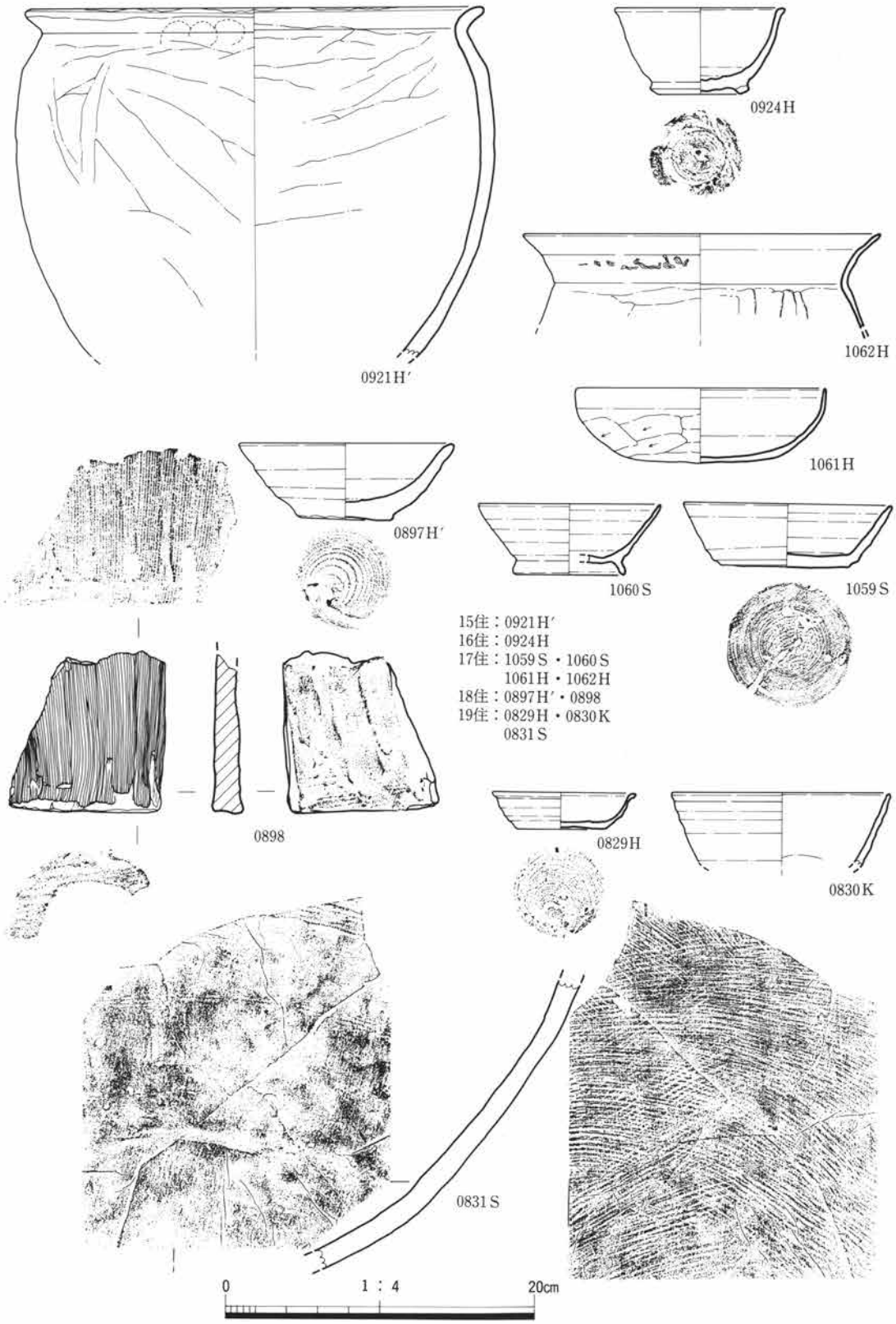
第688図　4区1・2号住居跡出土遺物



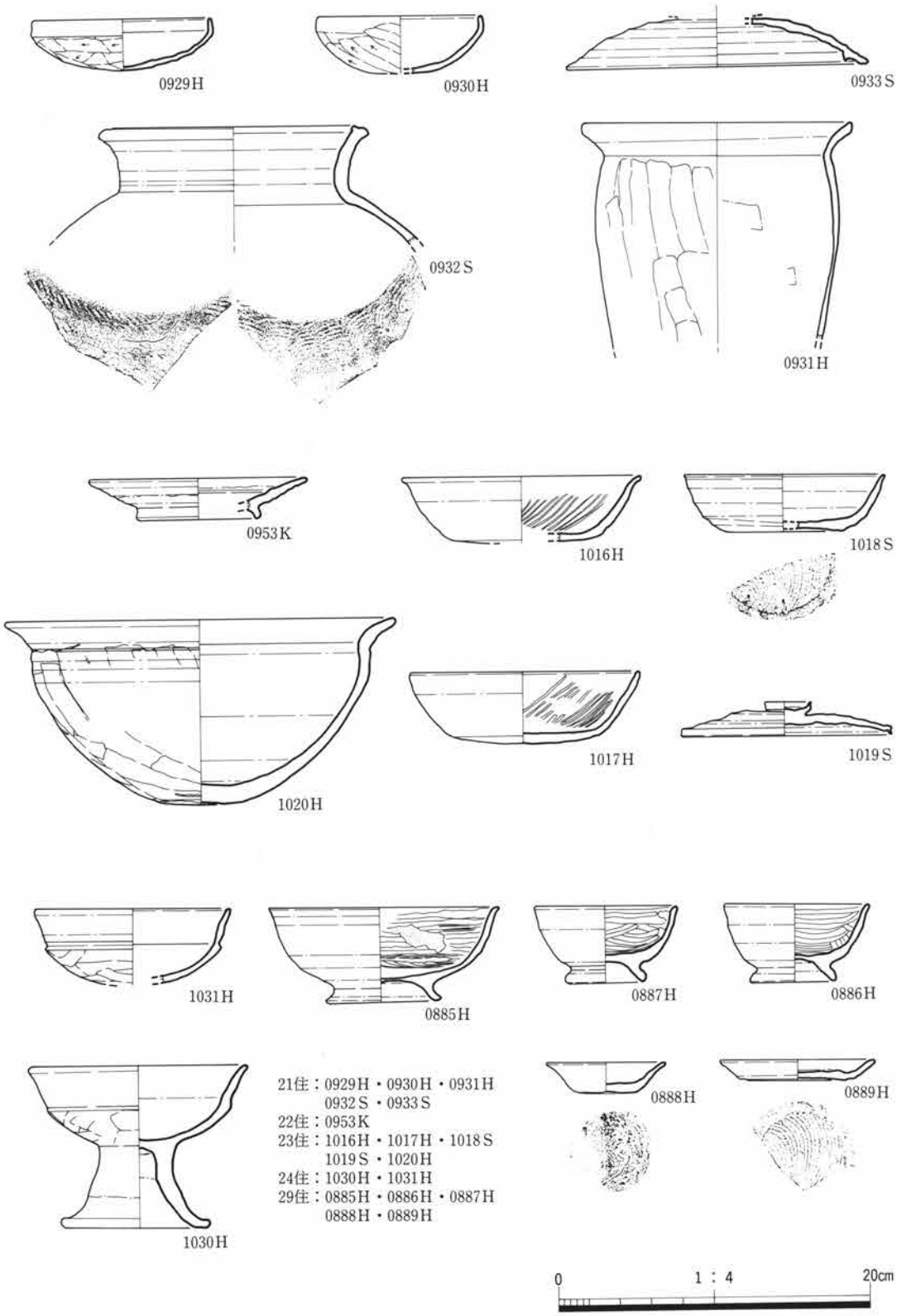
第689図　4区3・4・6・7・8・9号住居跡出土遺物



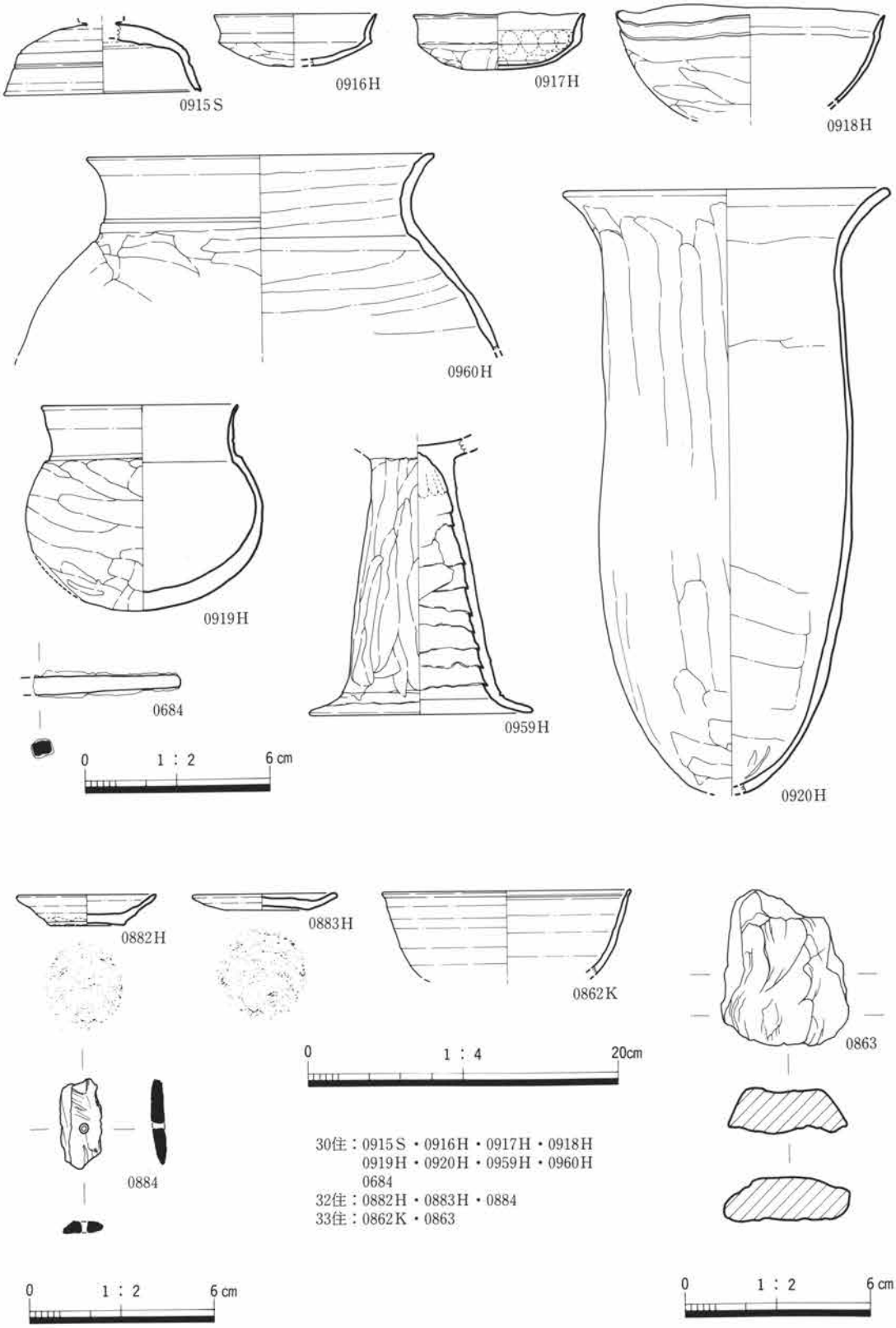
第690図　4区11・12・13・14号住居跡出土遺物



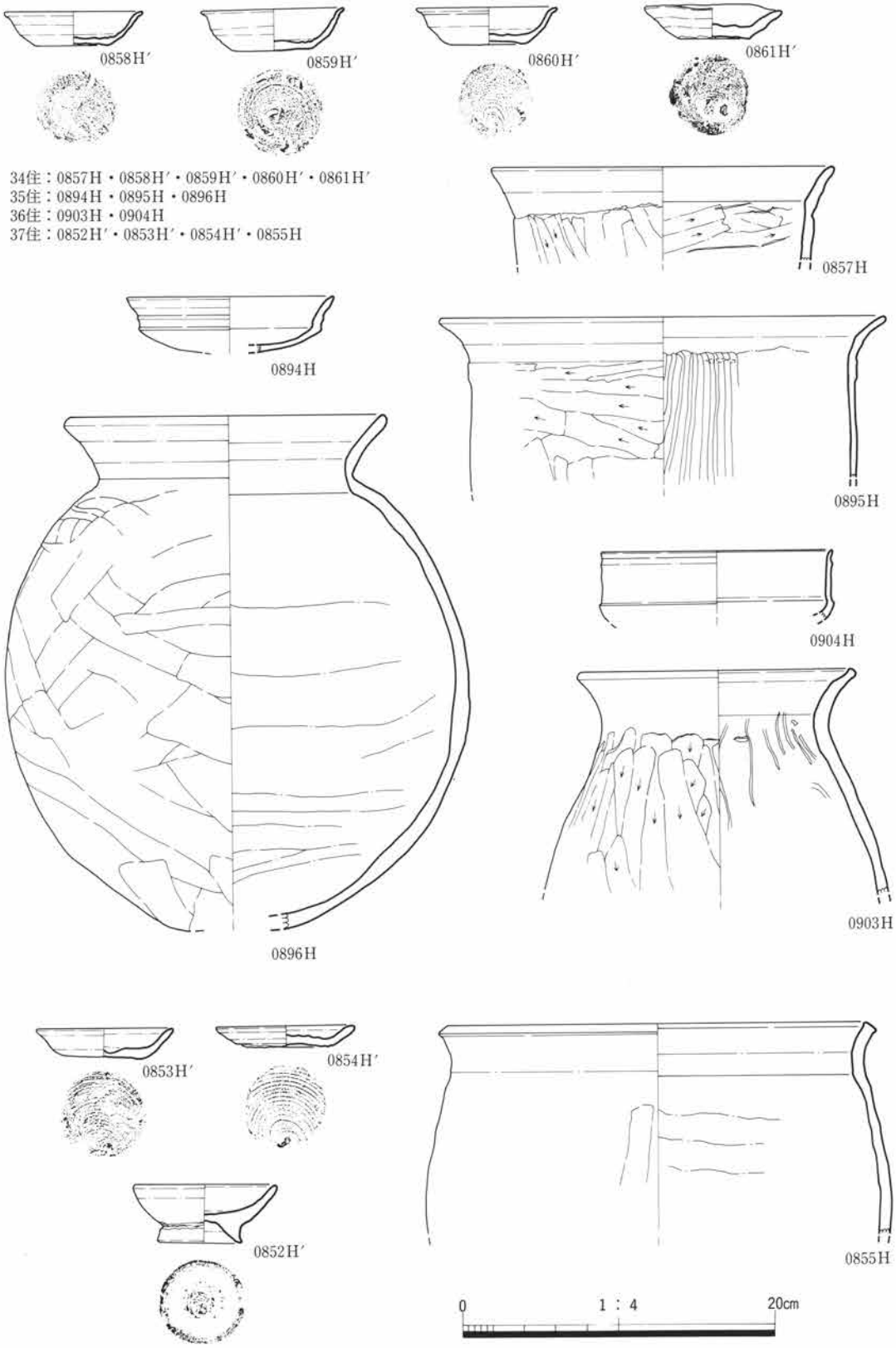
第691図　4区15・16・17・18・19号住居跡出土遺物



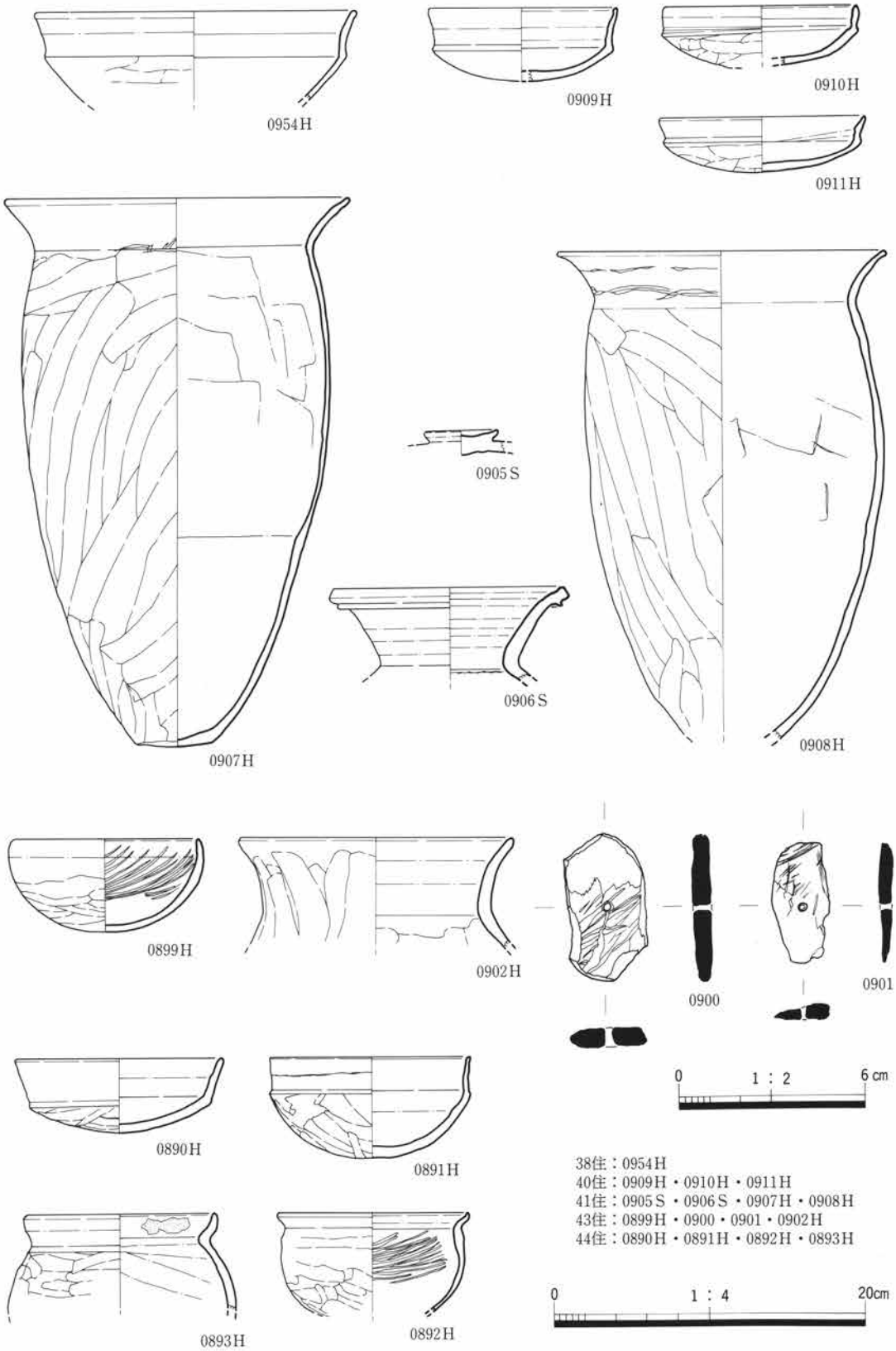
第692図　4区21・22・23・24・29号住居跡出土遺物



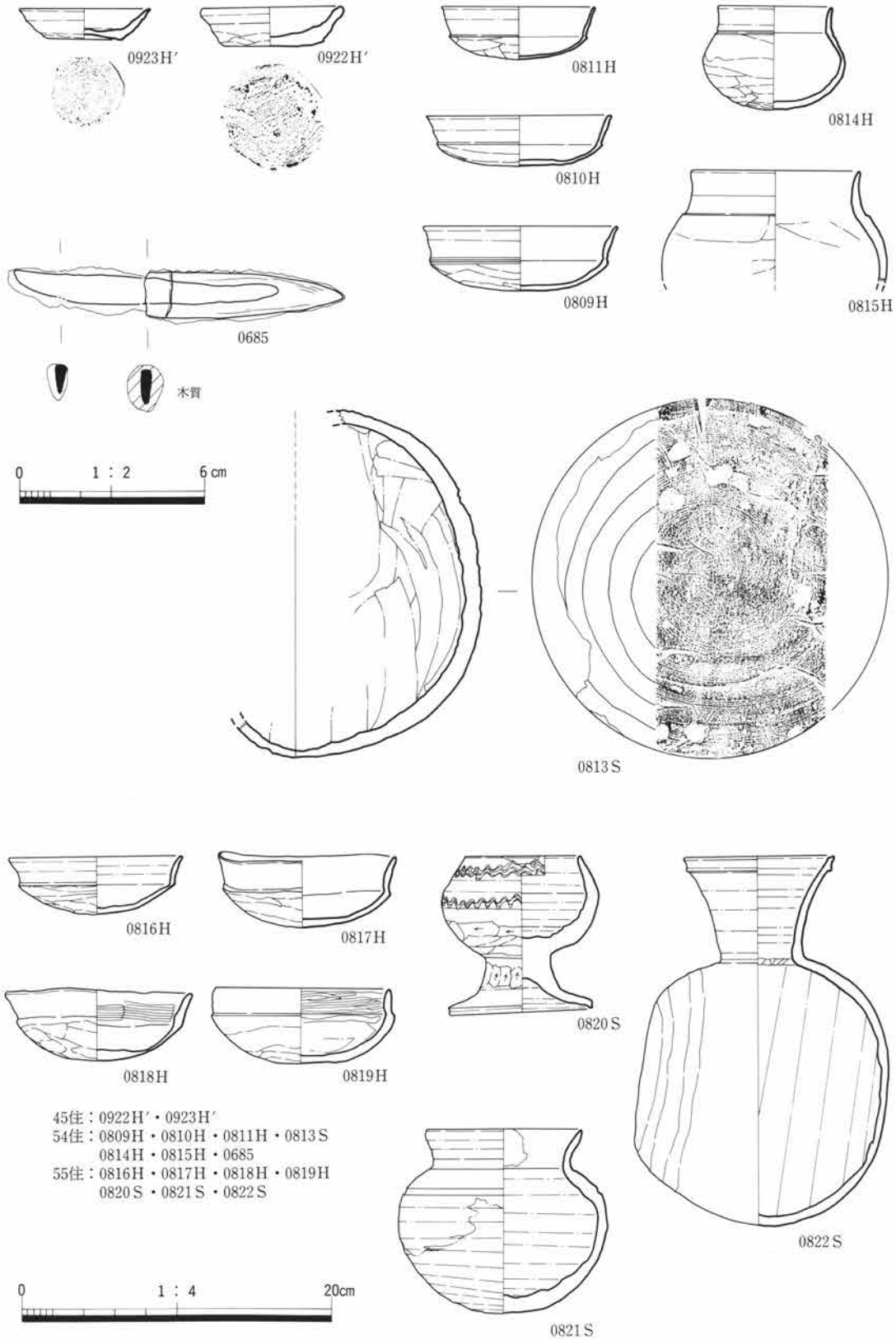
第693図　4 区30・32・33号住居跡出土遺物



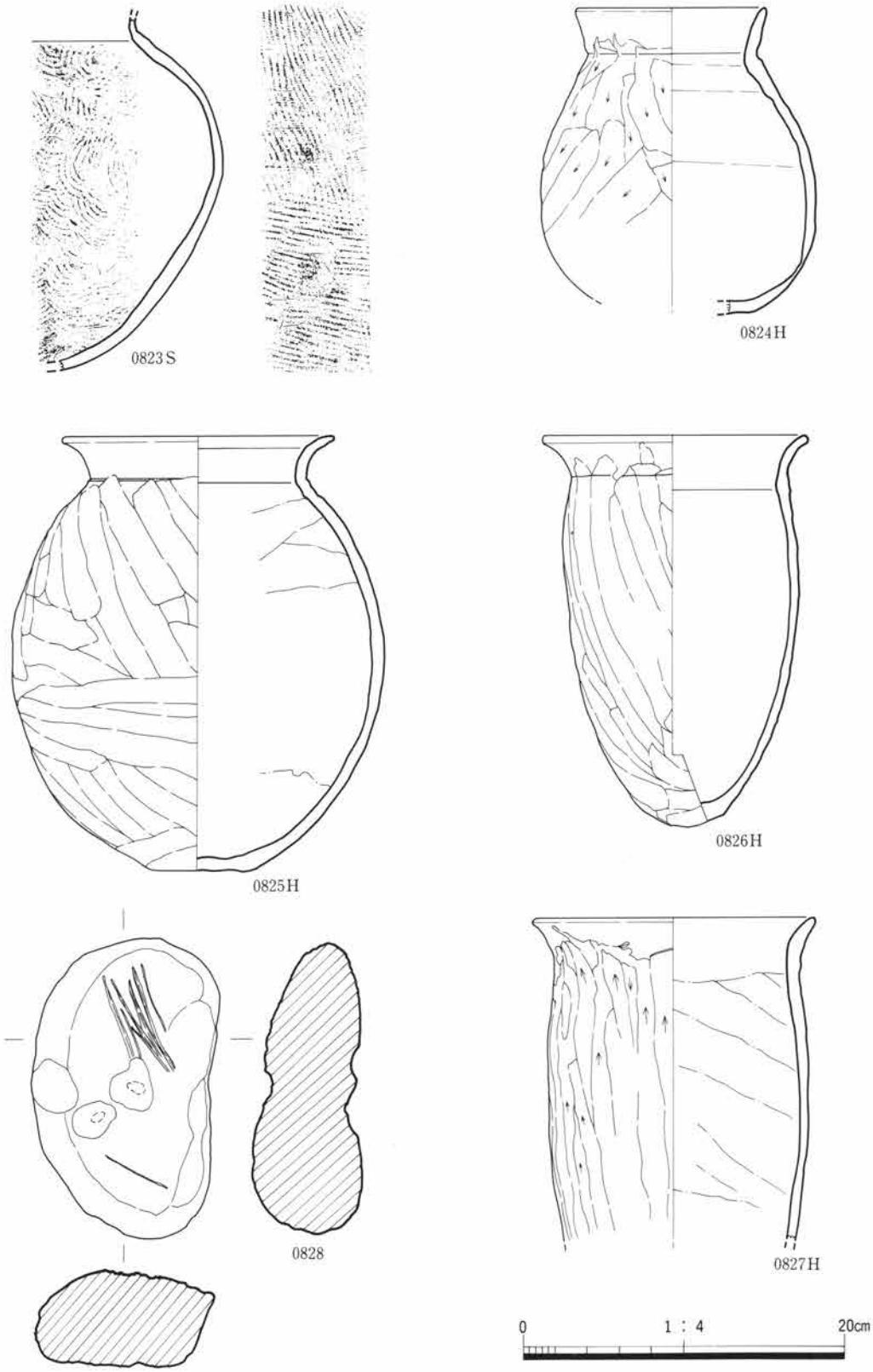
第694図　4区34・35・36・37号住居跡出土遺物



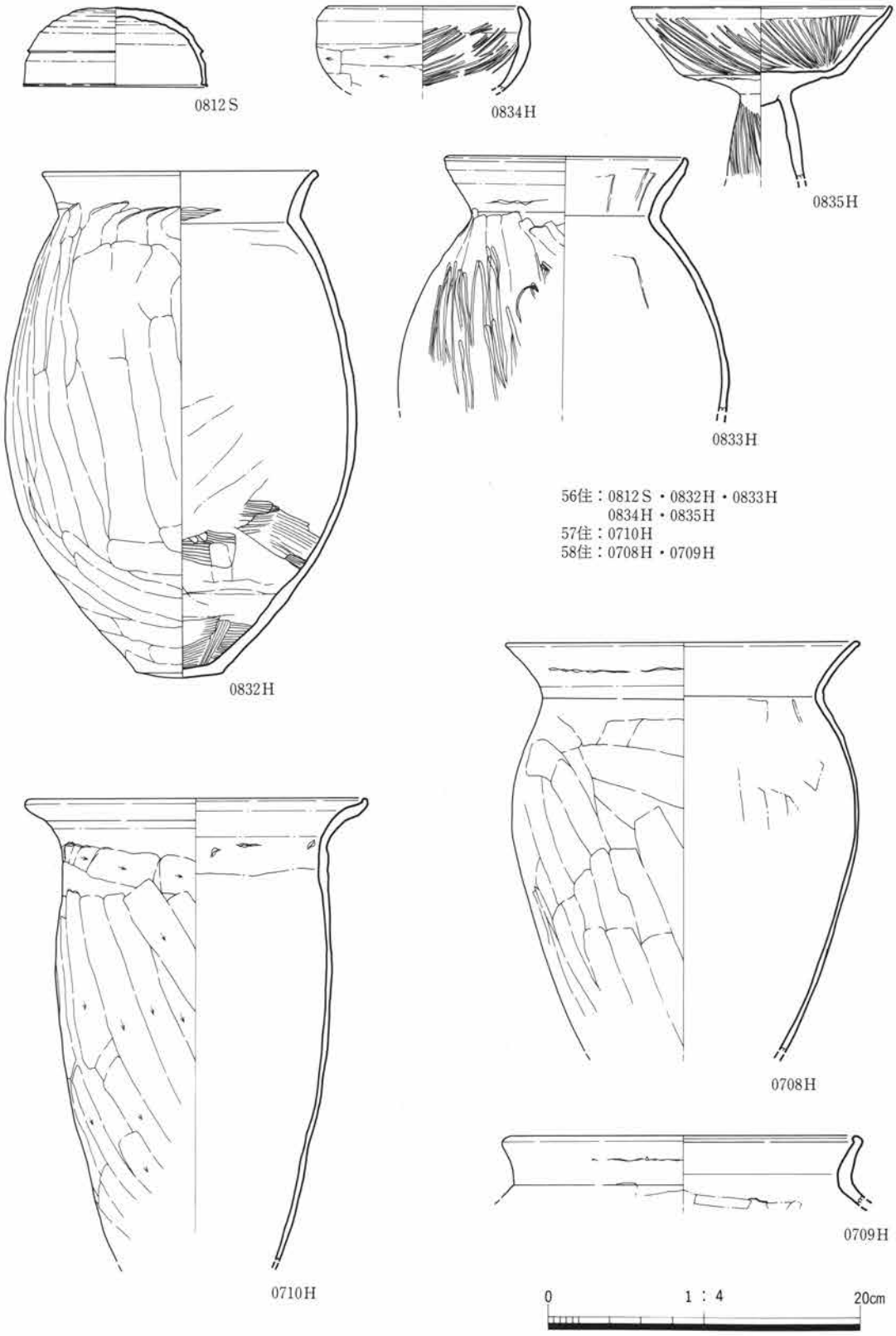
第695図　4 区38・40・41・43・44号住居跡出土遺物



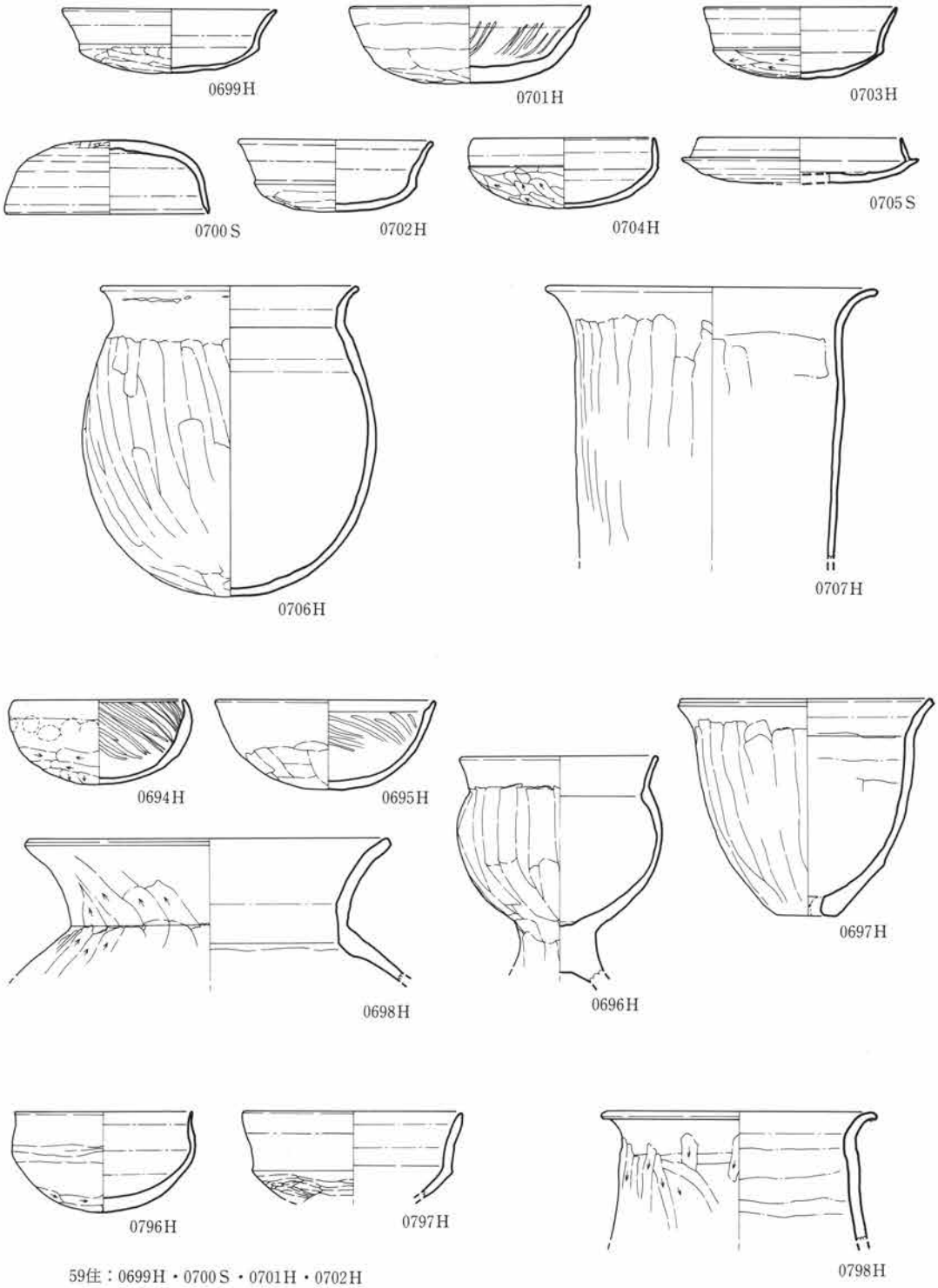
第696図　4区45・54・55号住居跡出土遺物



第697図　4 区55号住居跡出土遺物

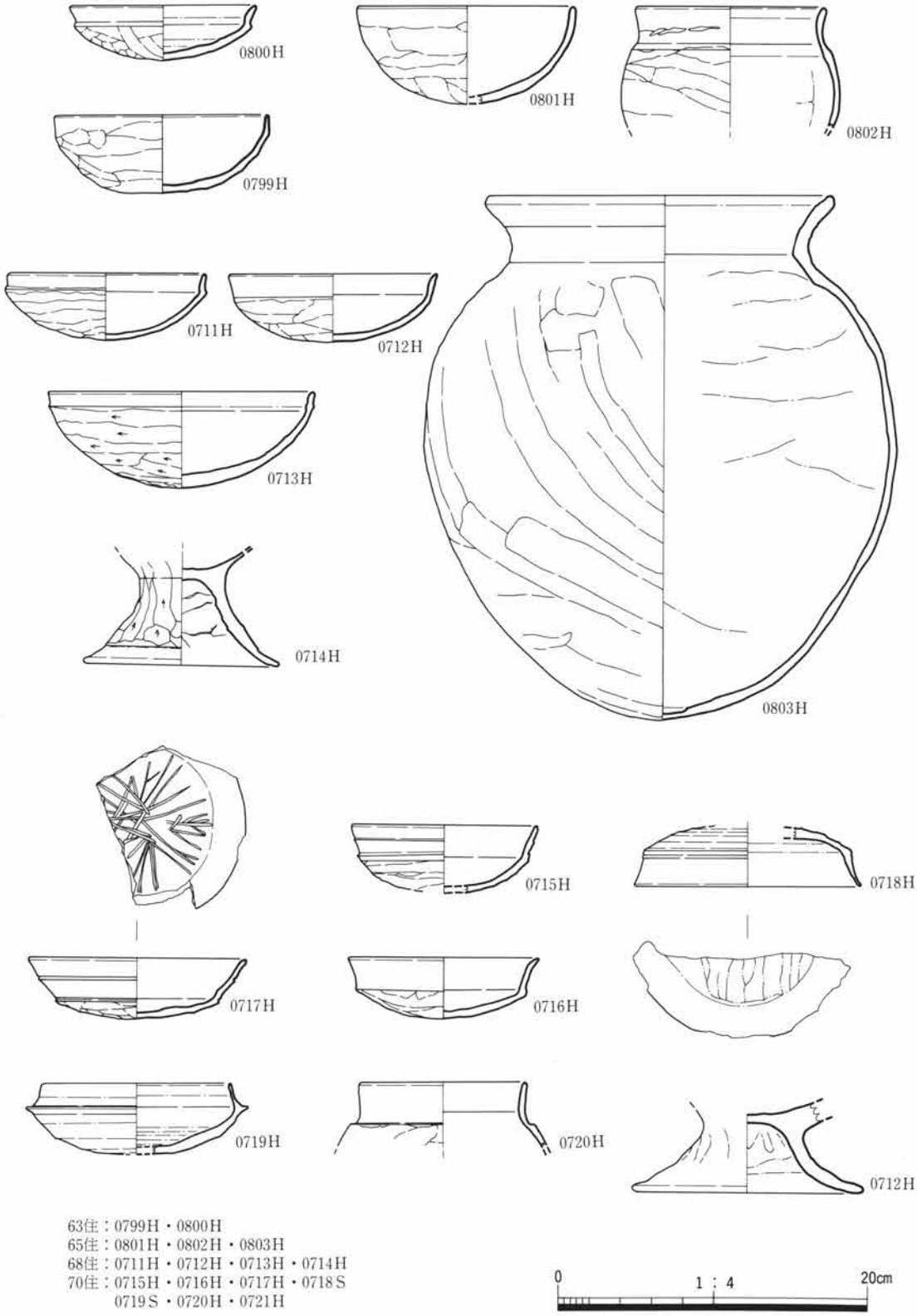


第698図　4区56・57・58号住居跡出土遺物



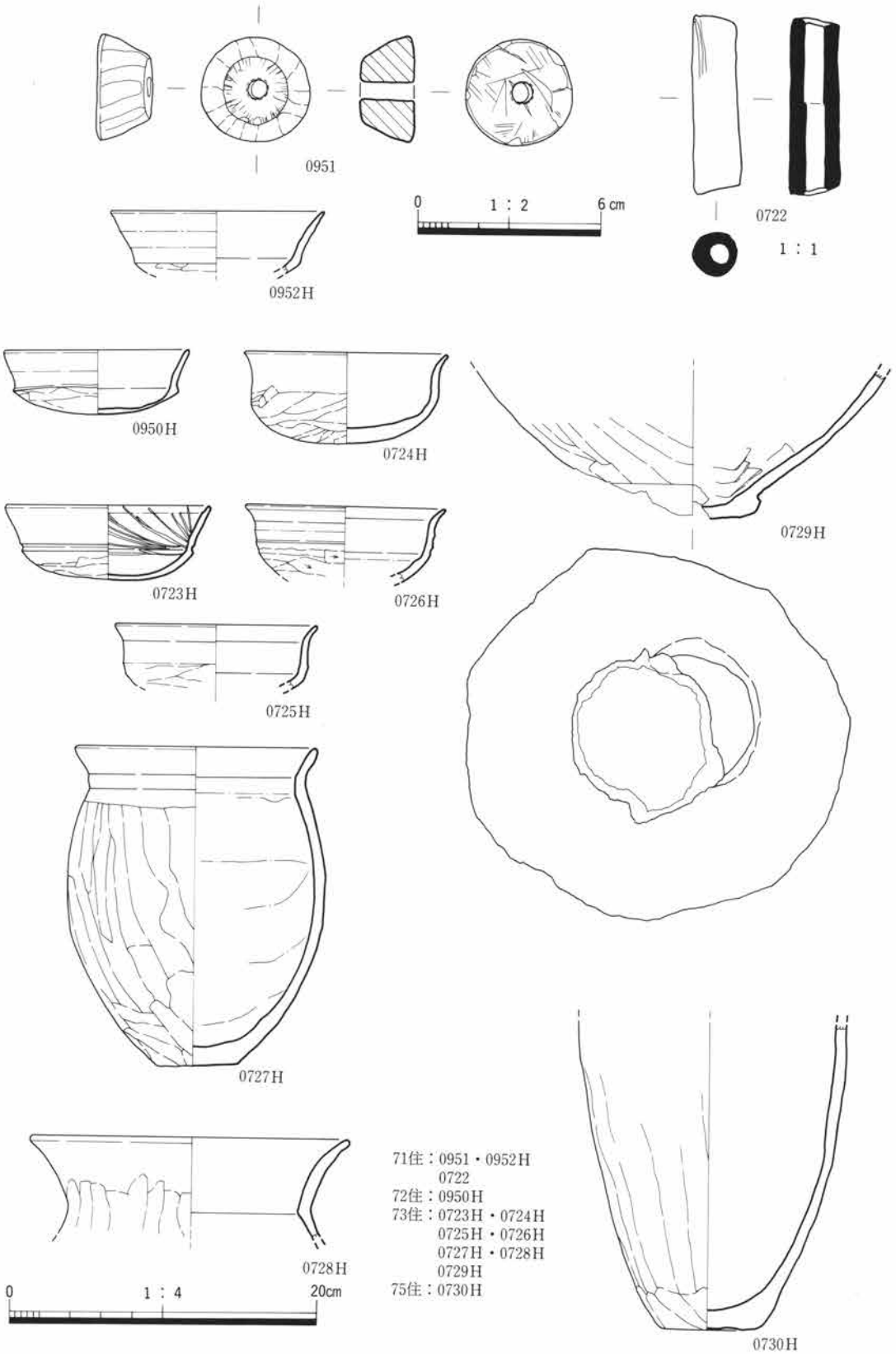
59住：0699H・0700S・0701H・0702H
0703H・0704H・0705S・0706H
0707H
60住：0694H・0695H・0696H・0697H
0698H
62住：0796H・0797H・0798H

第699図　4 区59・60・62号住居跡出土遺物

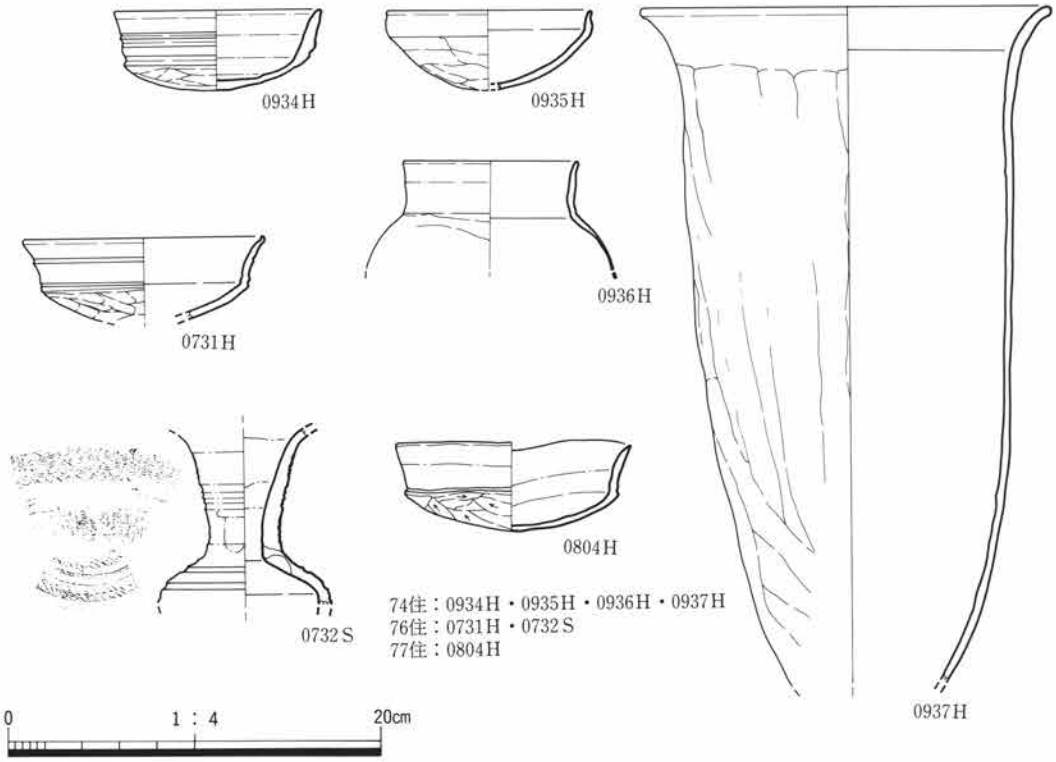


63住：0799H・0800H
65住：0801H・0802H・0803H
68住：0711H・0712H・0713H・0714H
70住：0715H・0716H・0717H・0718S
0719S・0720H・0721H

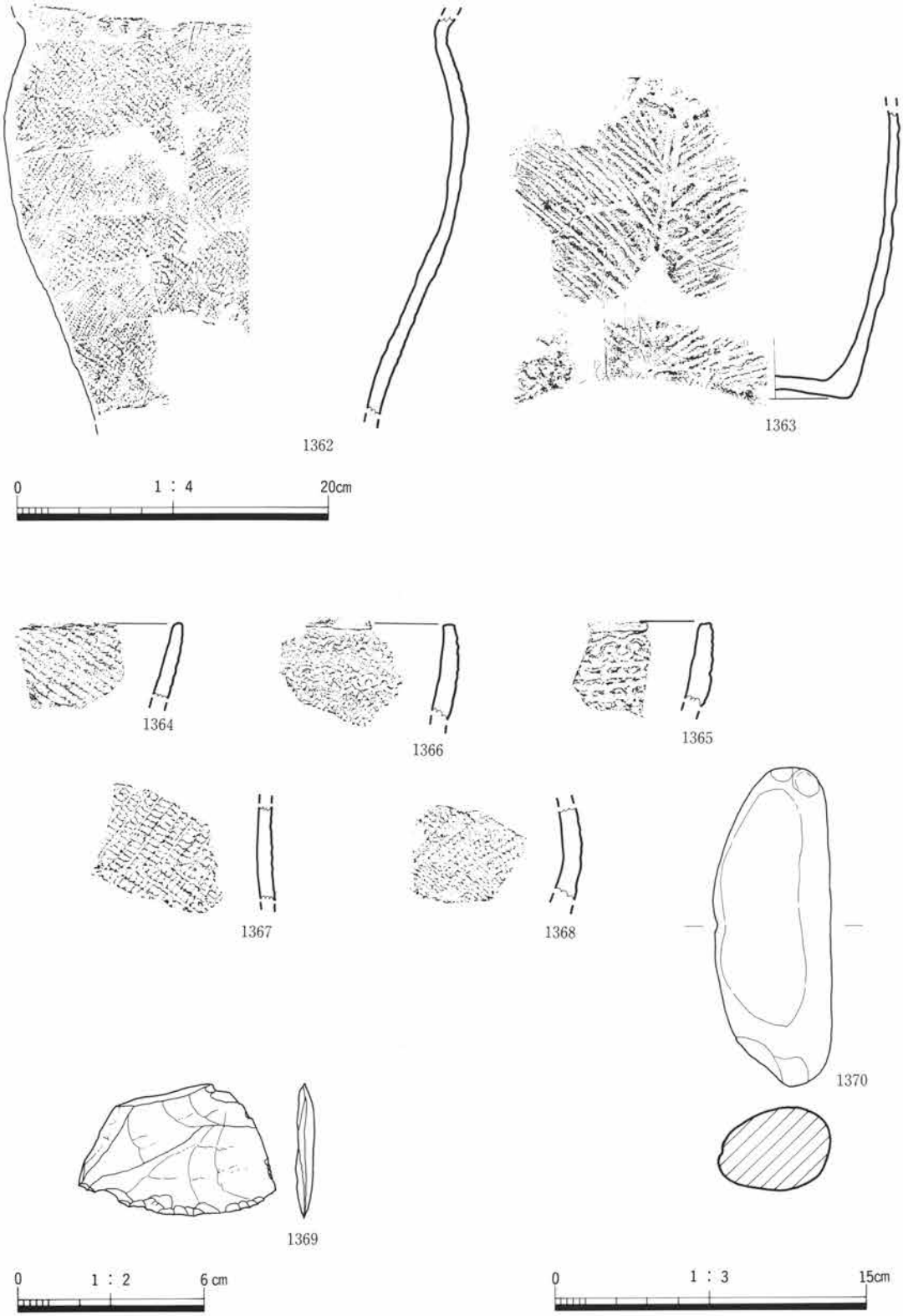
第700図　4区63・65・68・70号住居跡出土遺物



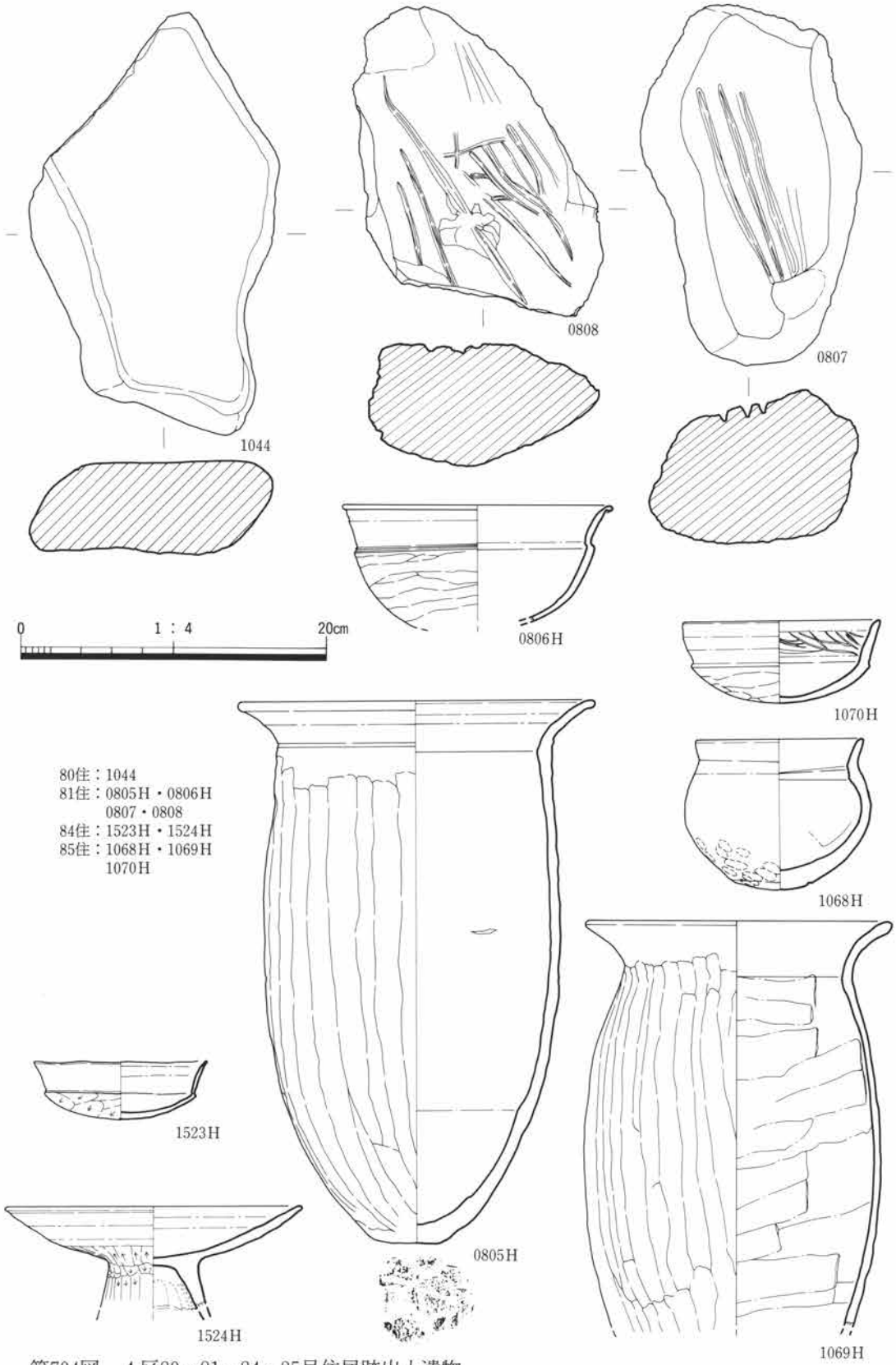
第701図　4 区71・72・73・75号住居跡出土遺物



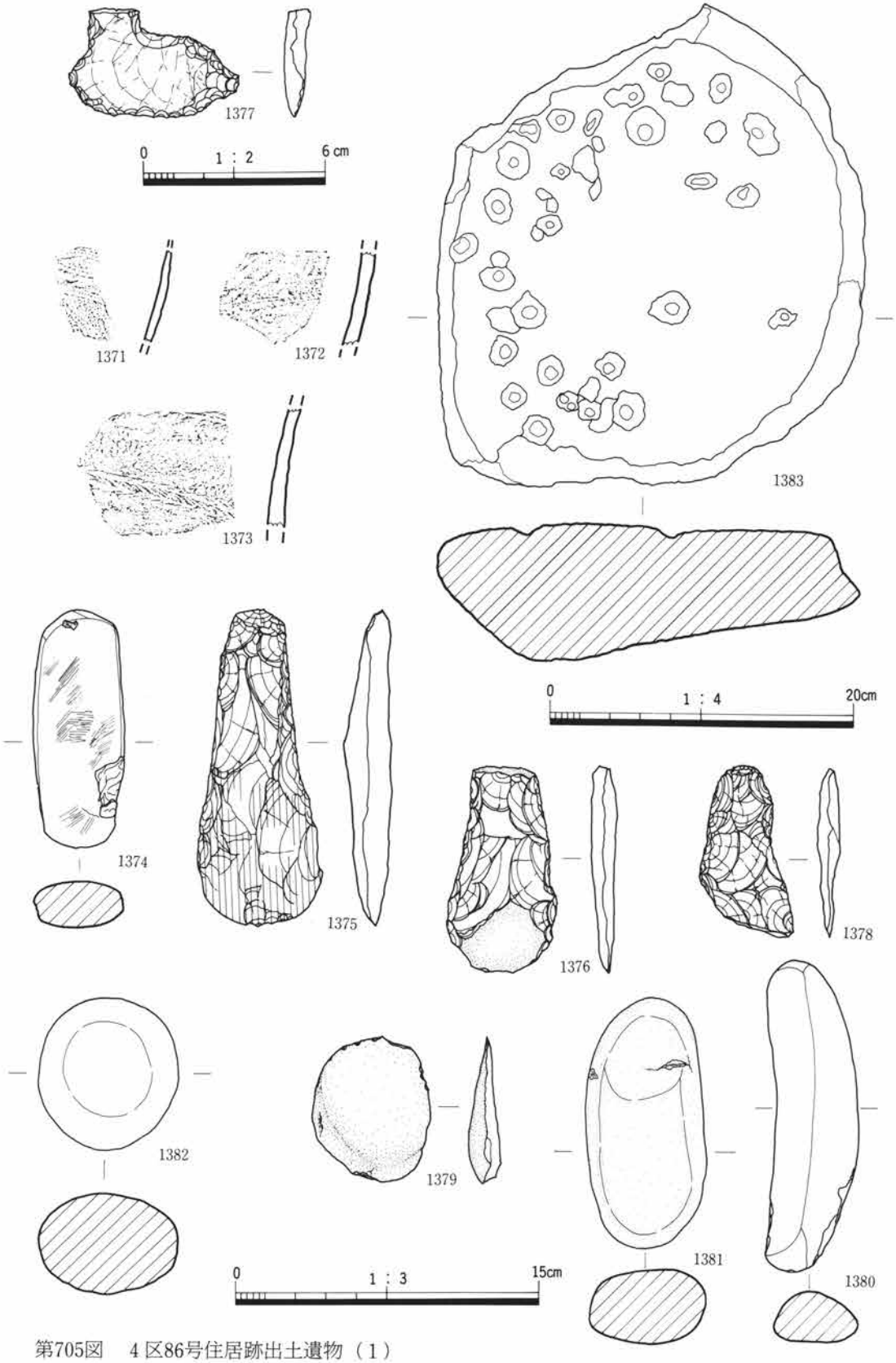
第702図　4区74・76・77号住居跡出土遺物



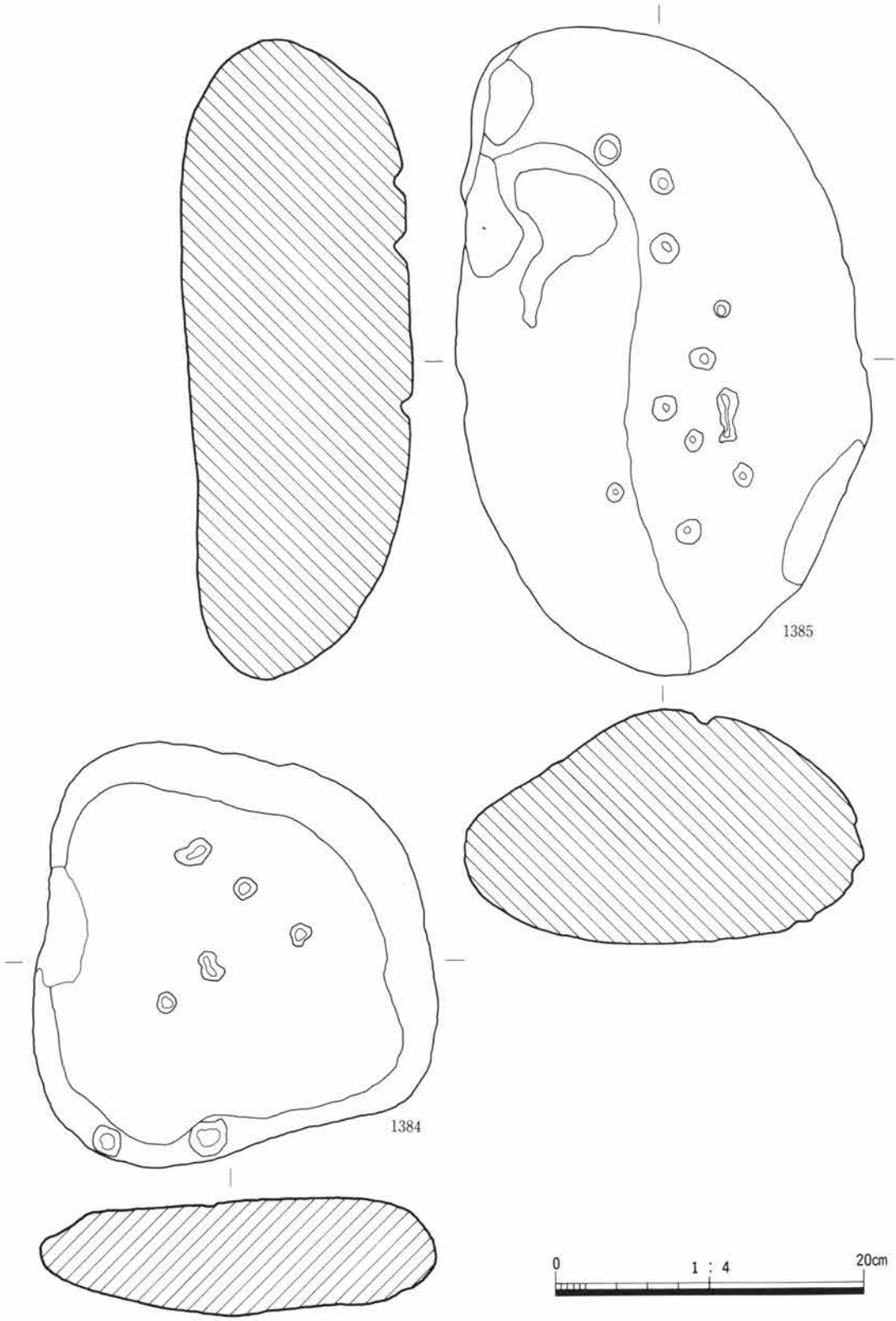
第703図　4 区78号住居跡出土遺物



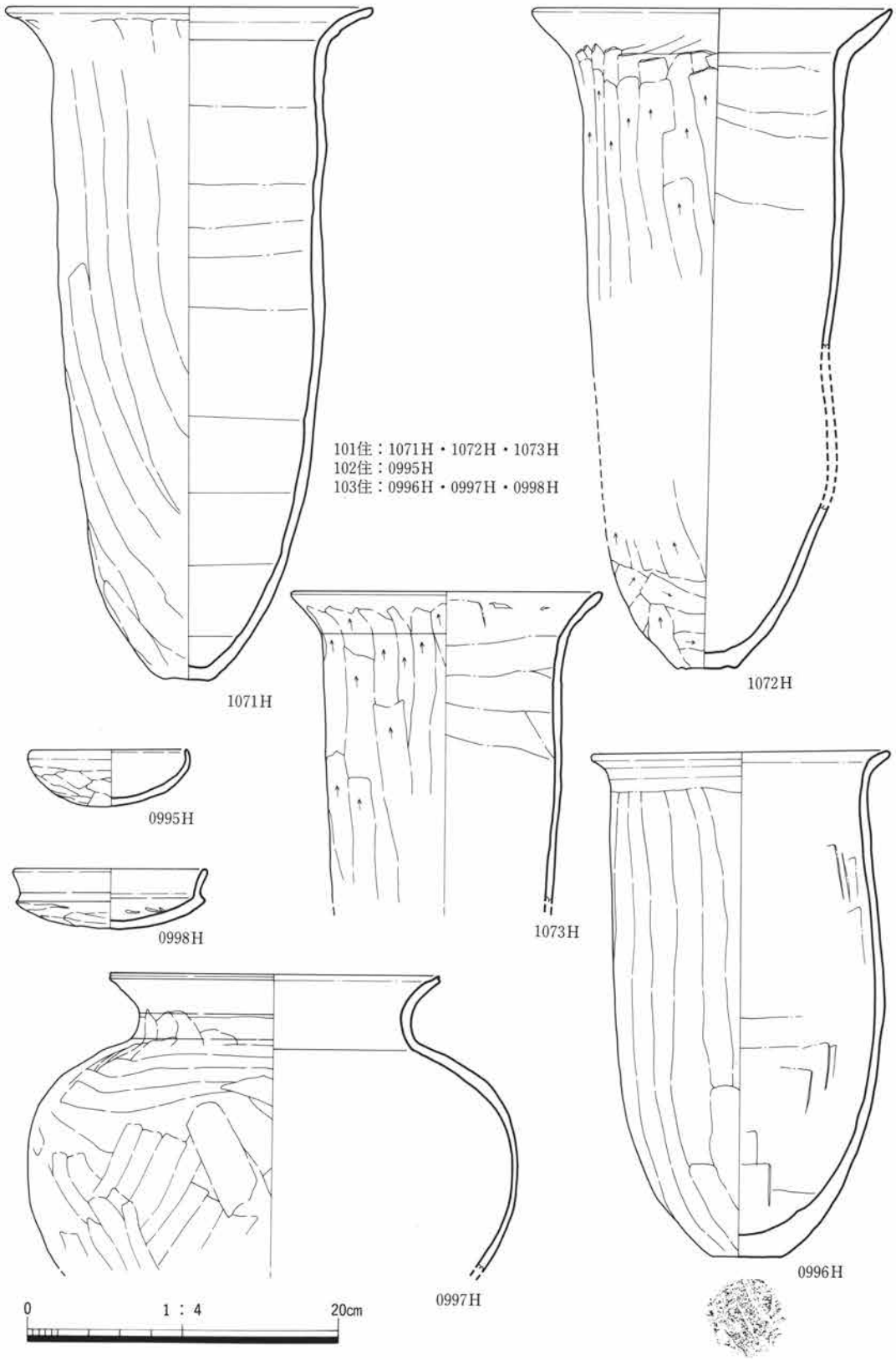
第704図　4区80・81・84・85号住居跡出土遺物



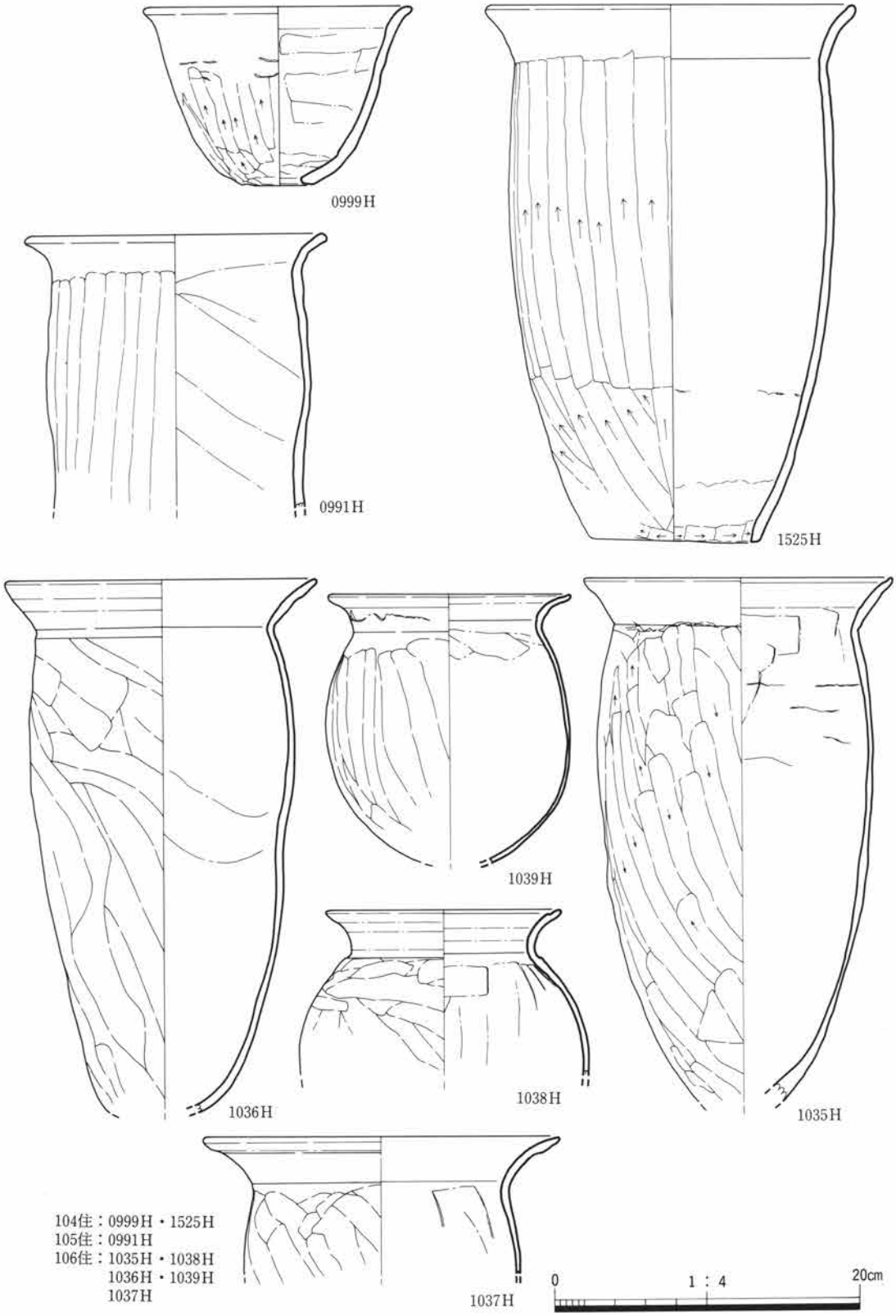
第705図　4 区86号住居跡出土遺物（1）



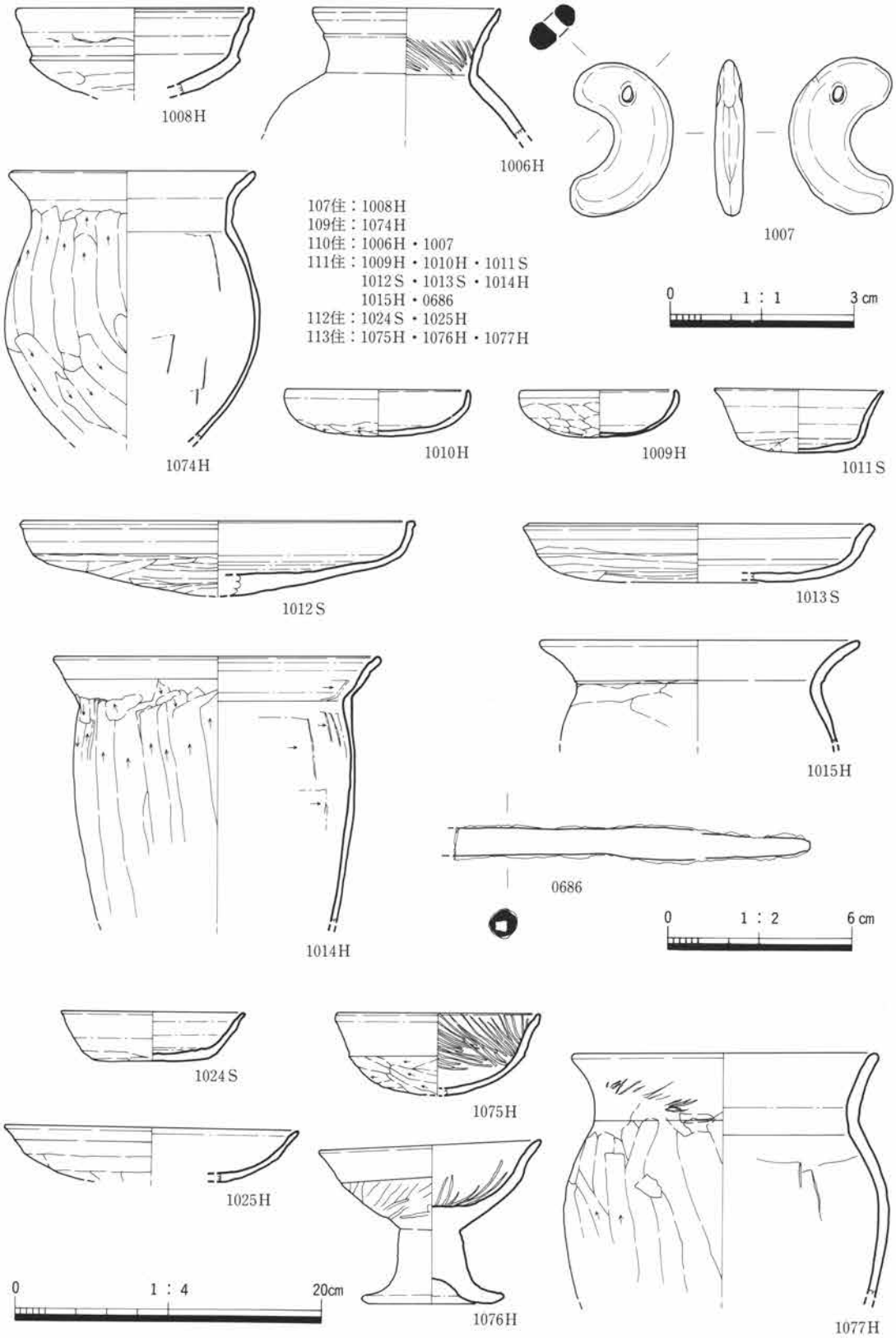
第706図　4区86号住居跡出土遺物（2）



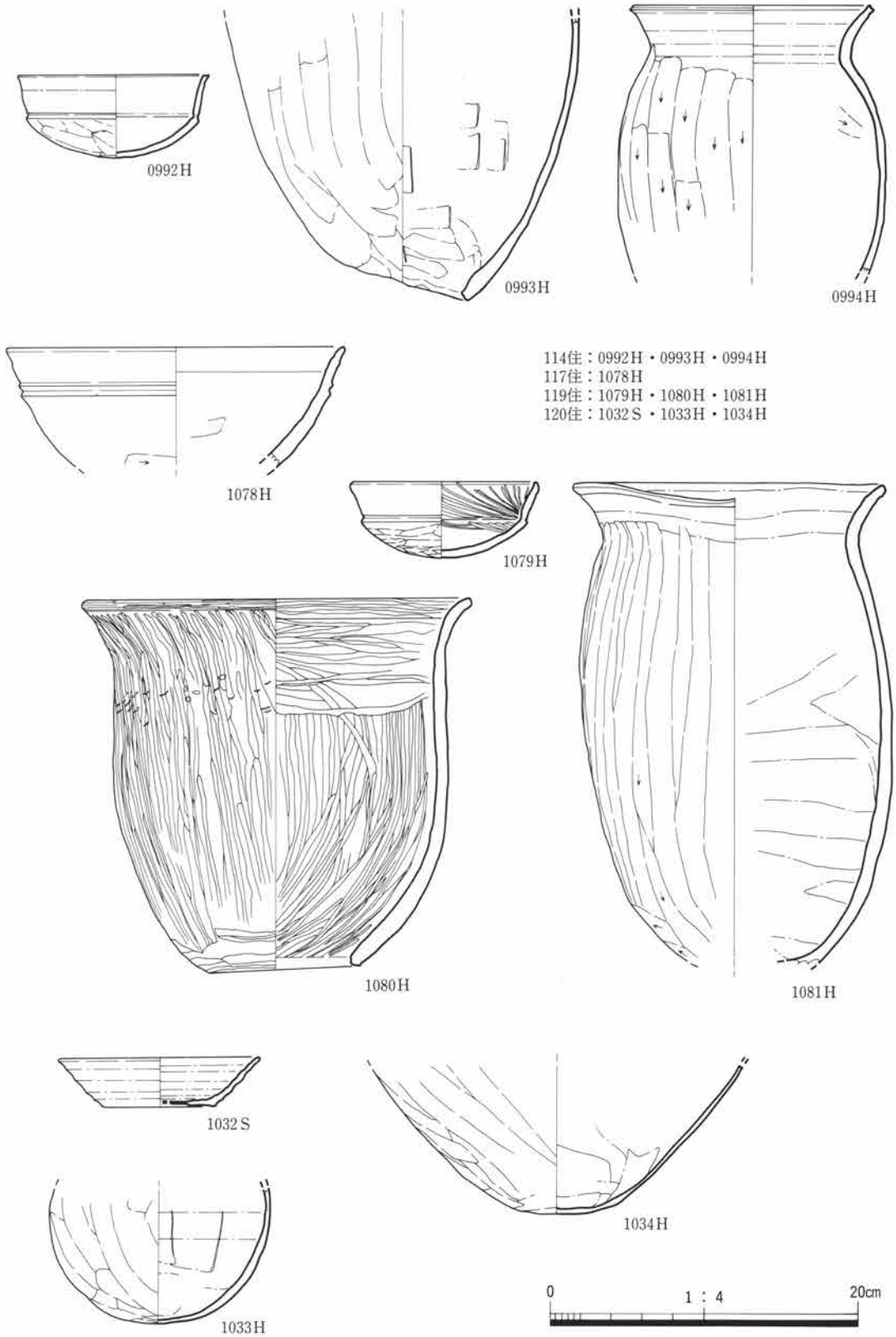
第707図　4 区101・102・103号住居跡出土遺物



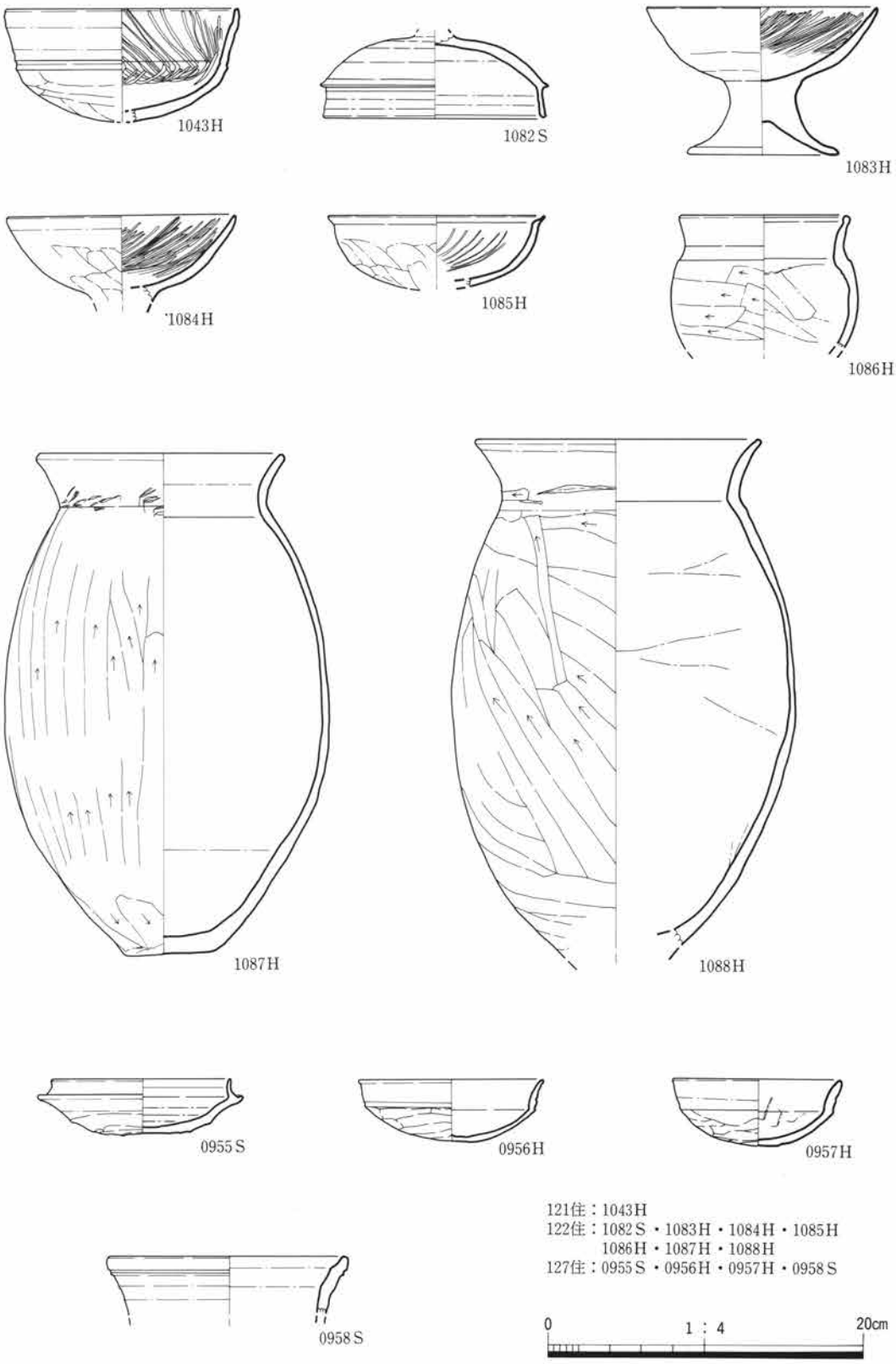
第708図　4区104・105・106号住居跡出土遺物



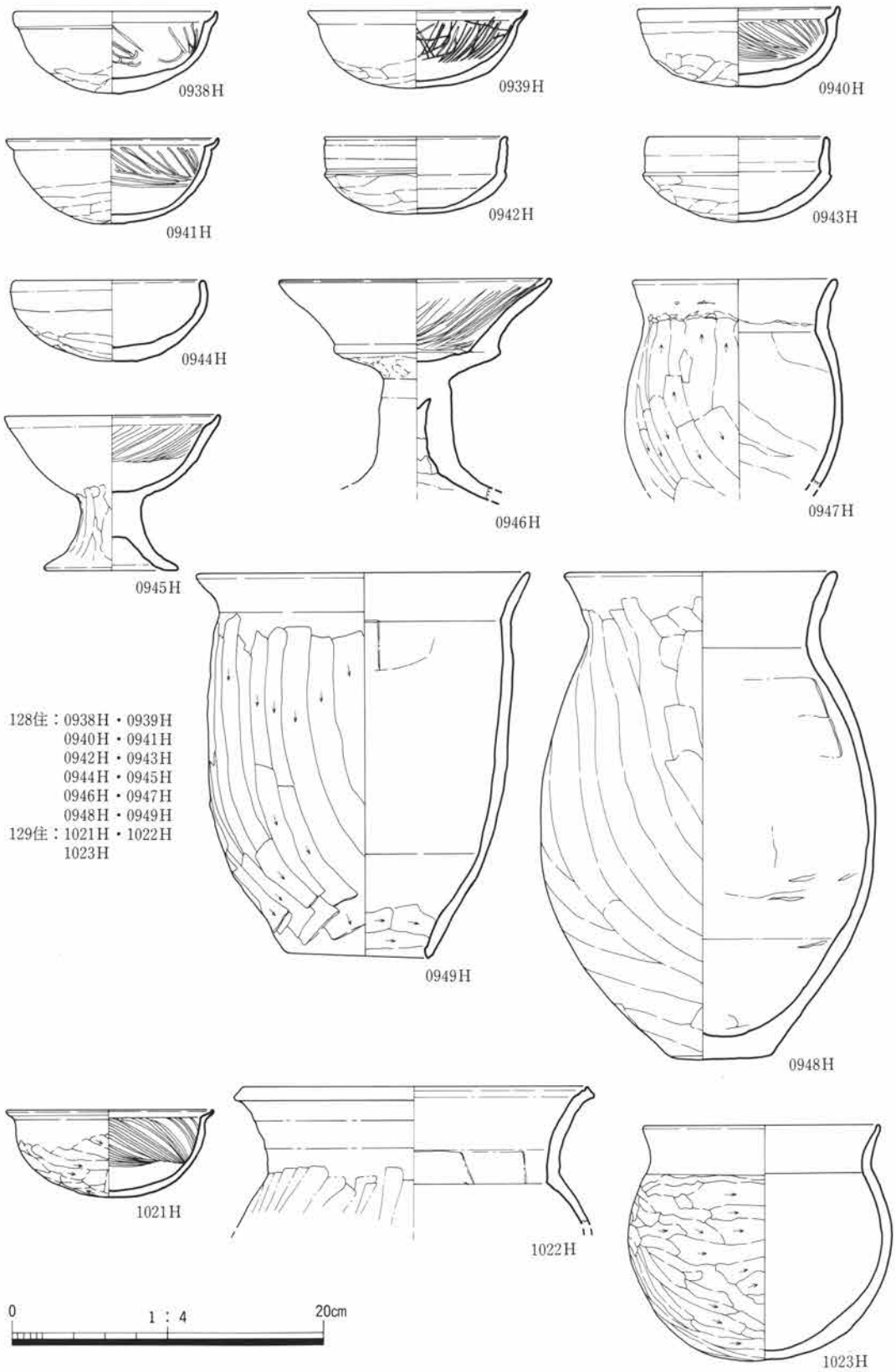
第709図　4区107・109・110・111・112・113号住居跡出土遺物



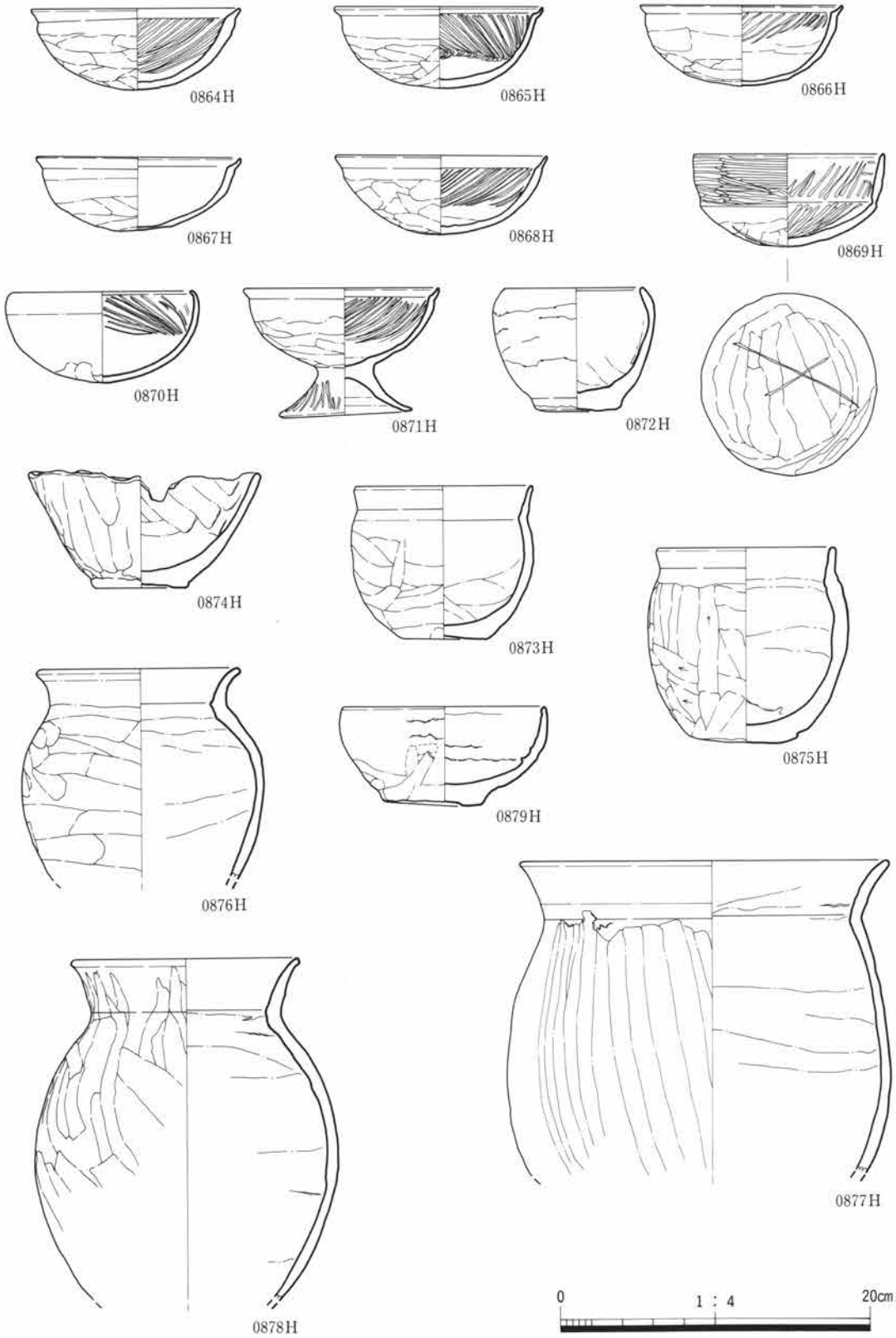
第710図　4区114・117・119・120号住居跡出土遺物



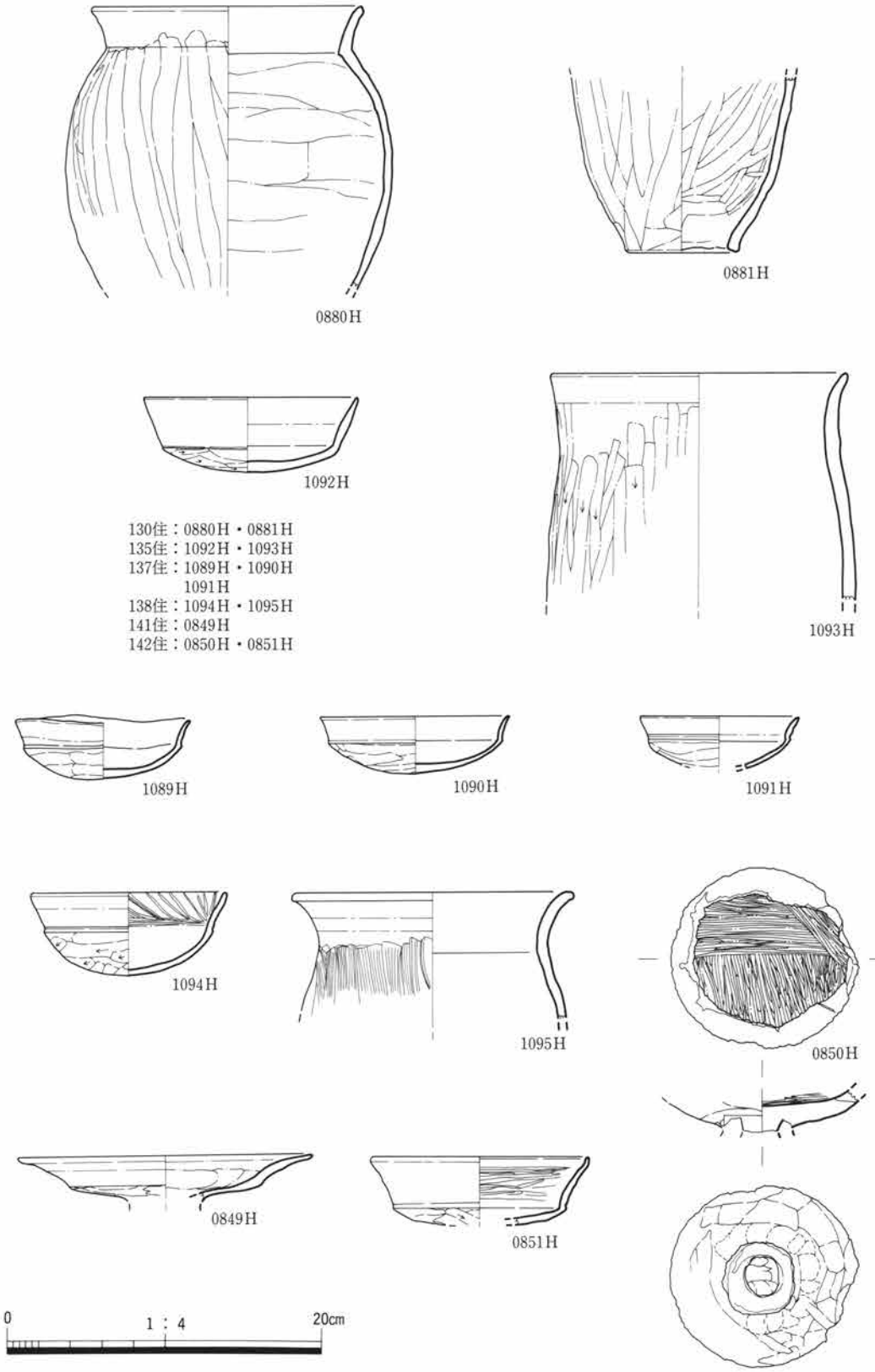
第711図　4 区121・122・127号住居跡出土遺物



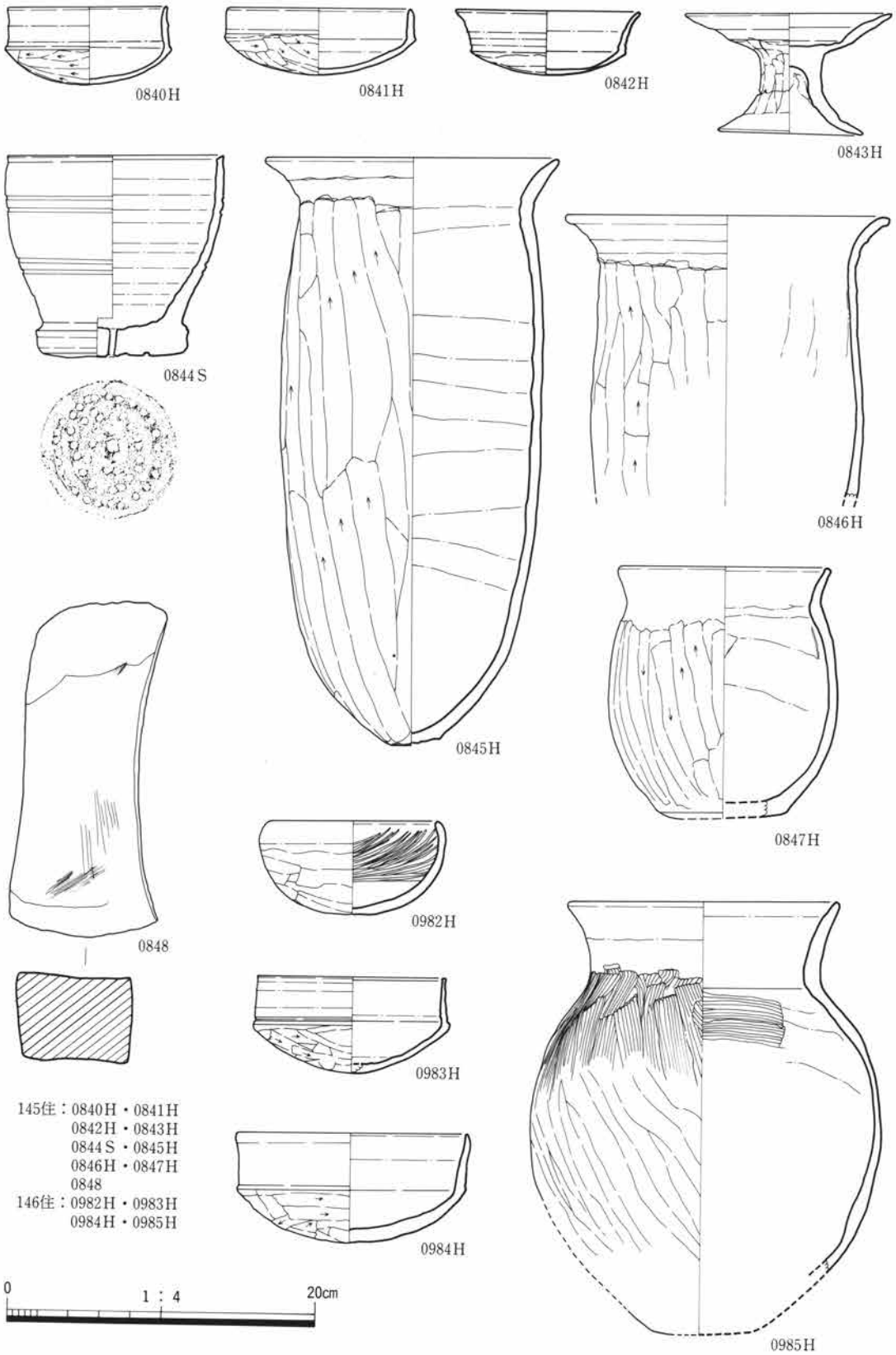
第712図　4区128・129号住居跡出土遺物



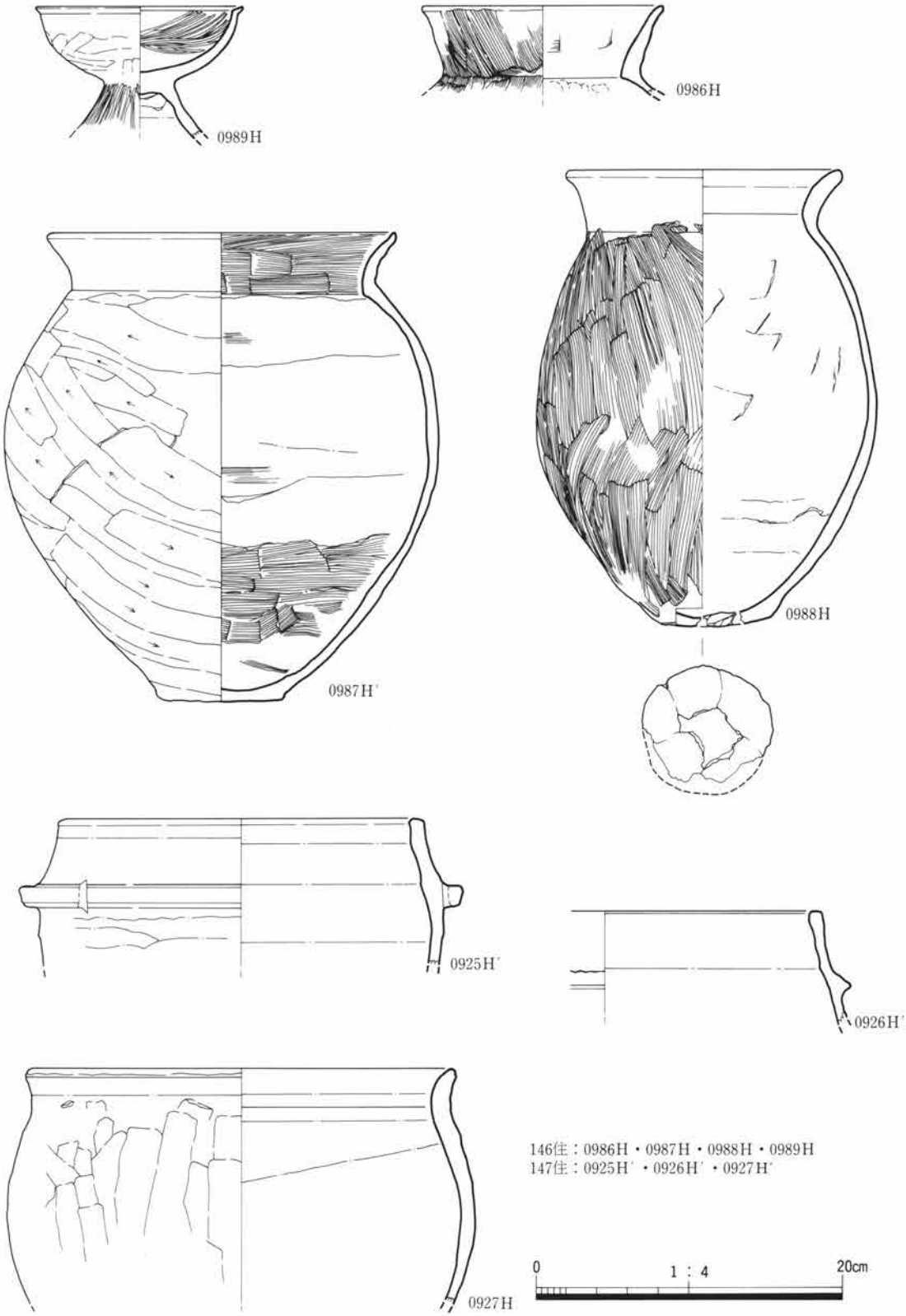
第713図　4 区130号住居跡出土遺物



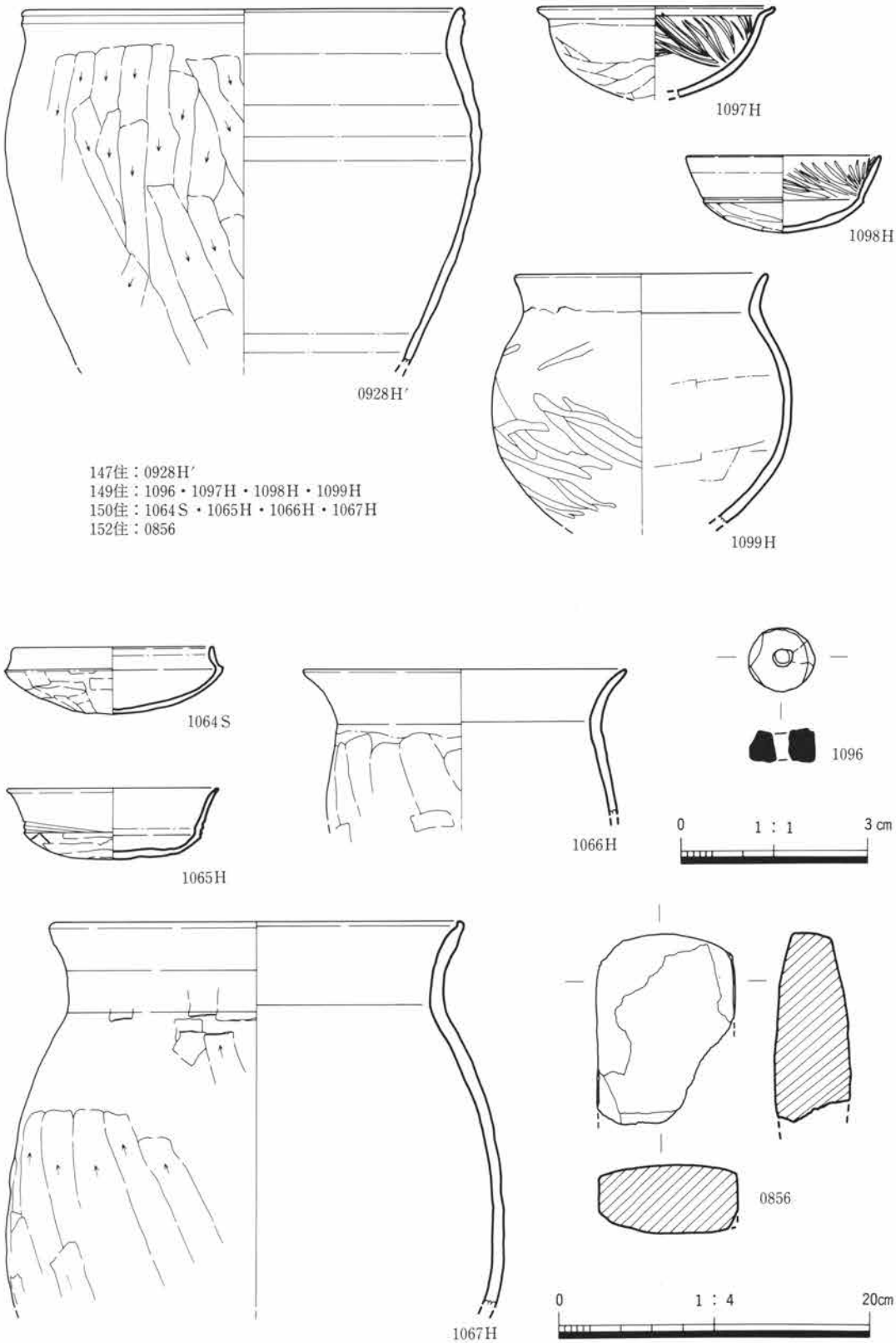
第714図　4区130・135・137・138・141・142号住居跡出土遺物



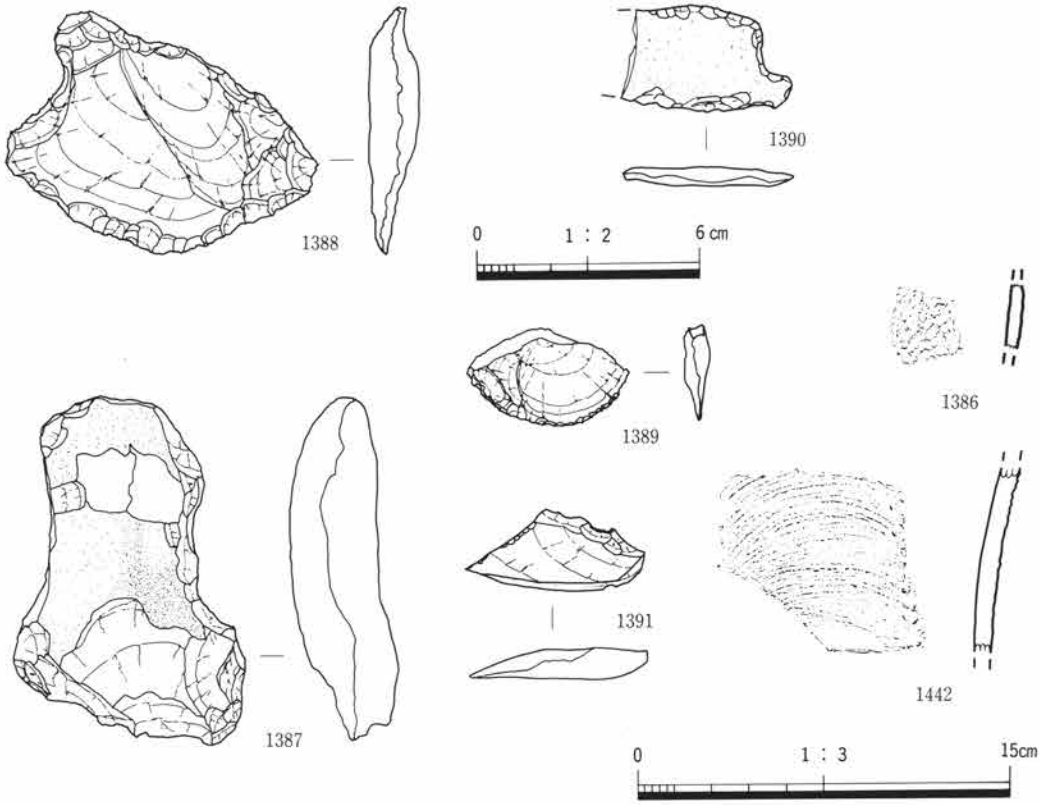
第715図　4 区145・146号住居跡出土遺物



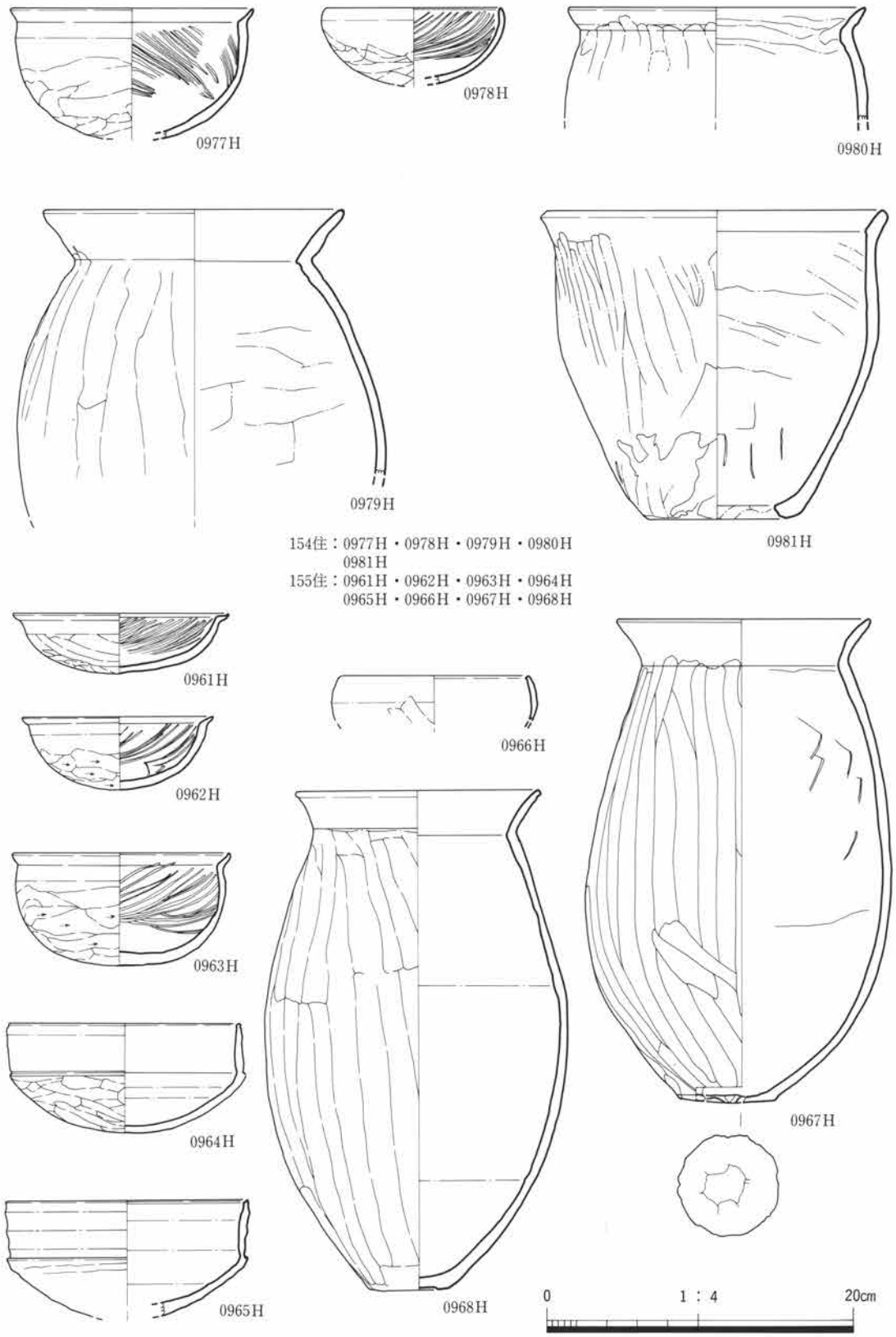
第716図　4区146・147号住居跡出土遺物



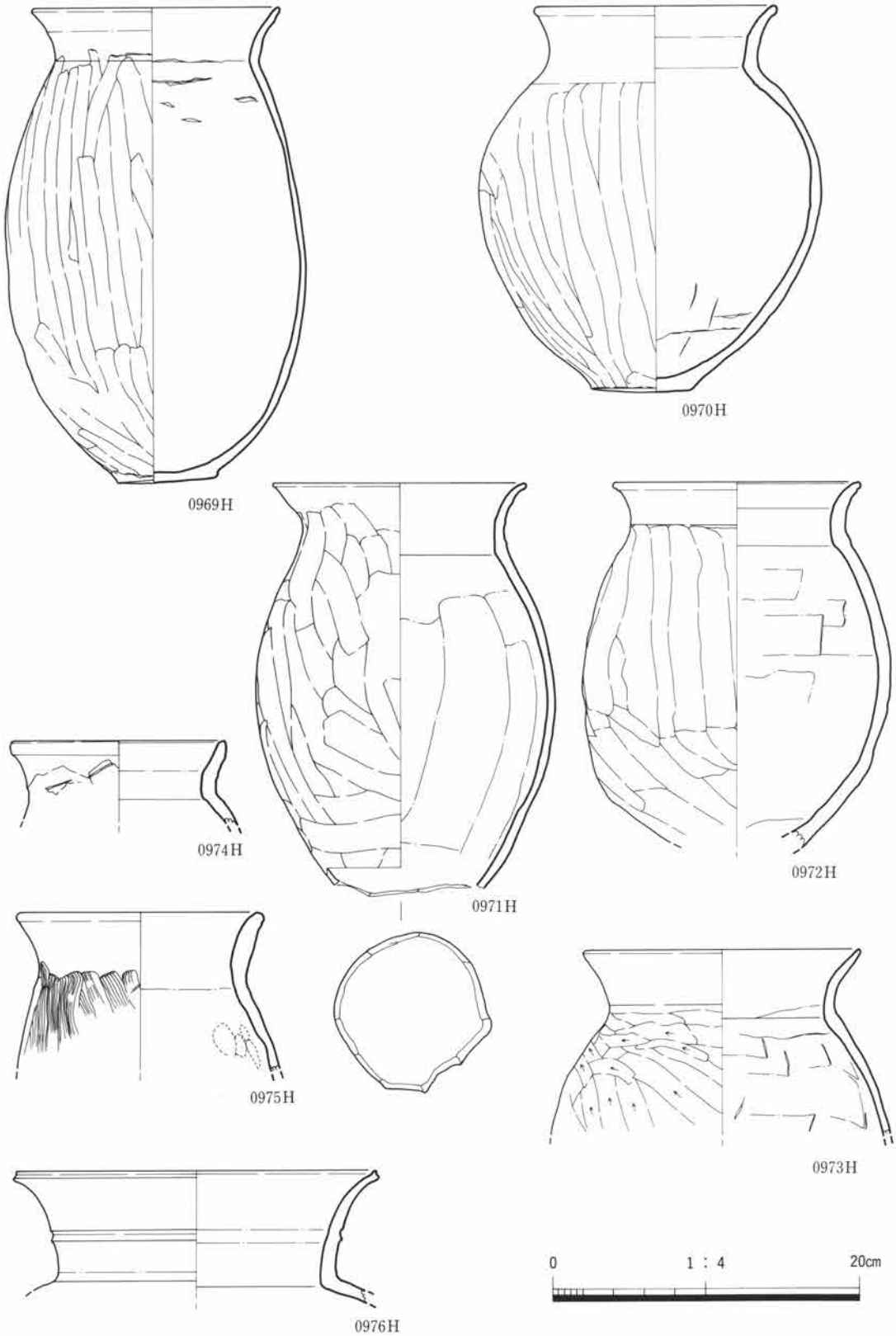
第717図　4 区147・149・150・152号住居跡出土遺物



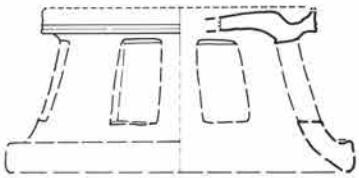
第718図　4区153号住居跡出土遺物



第719図　4 区154・155号住居跡出土遺物

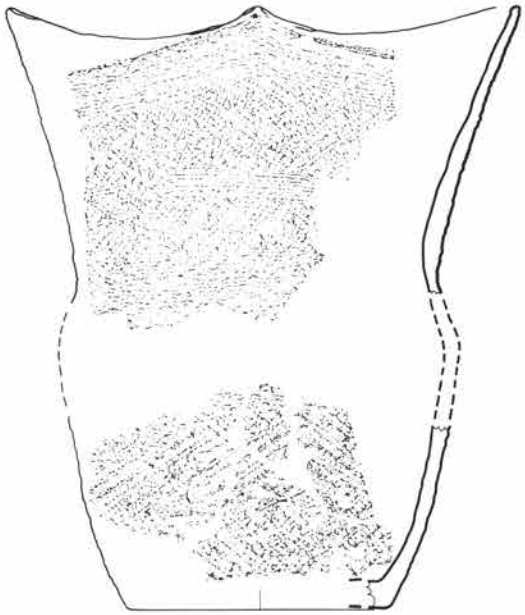


第720図　4区155号住居跡出土遺物



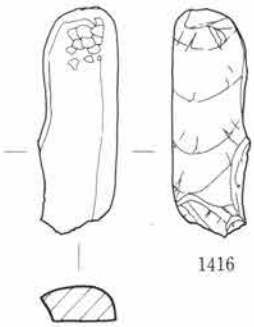
1100 S

0990 S



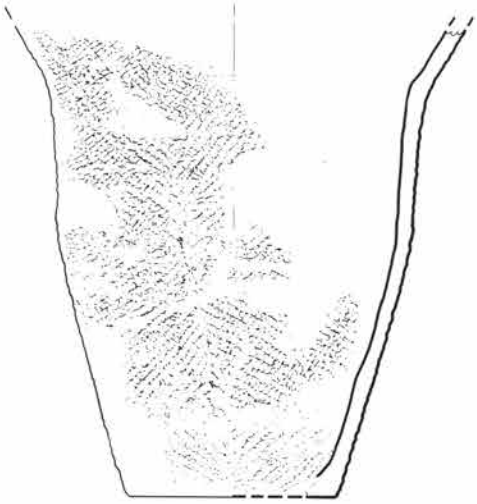
1417

1418



1416

0　1：3　9 cm

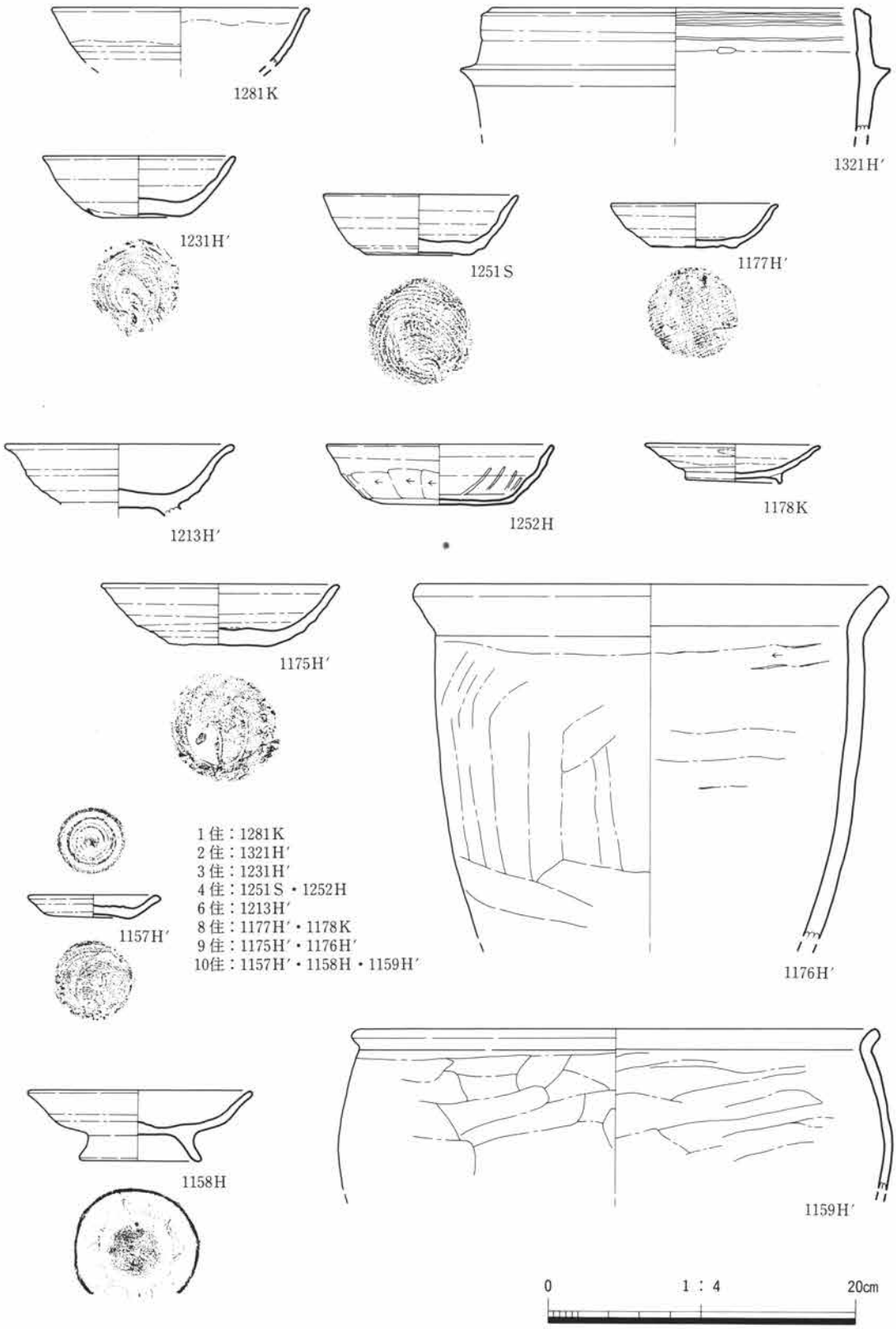


1520

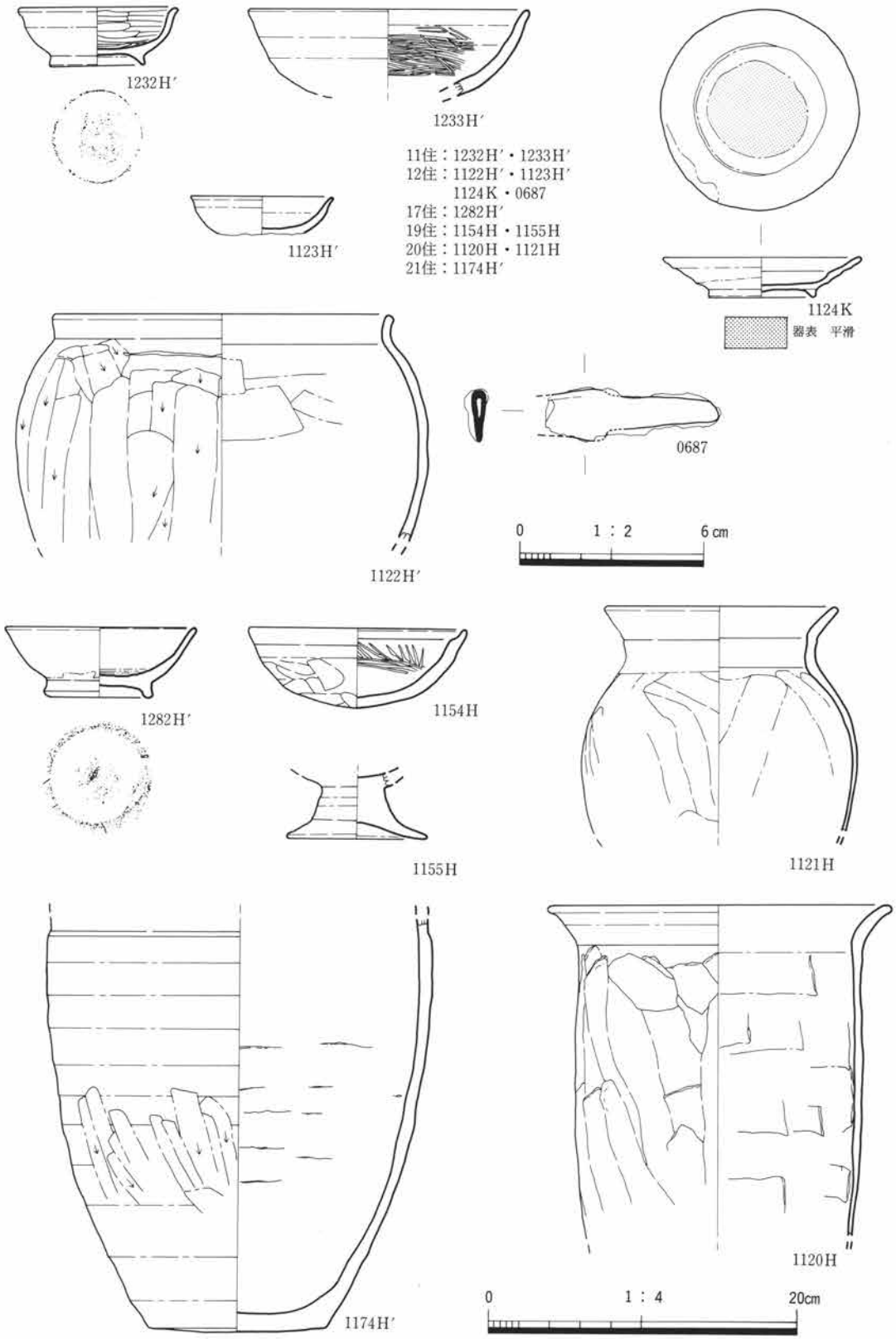
0　1：4　20cm

34土坑　：1100 S
88土坑　：0990 S
144土坑：1418・1520
223土坑：1416
224土坑：1417

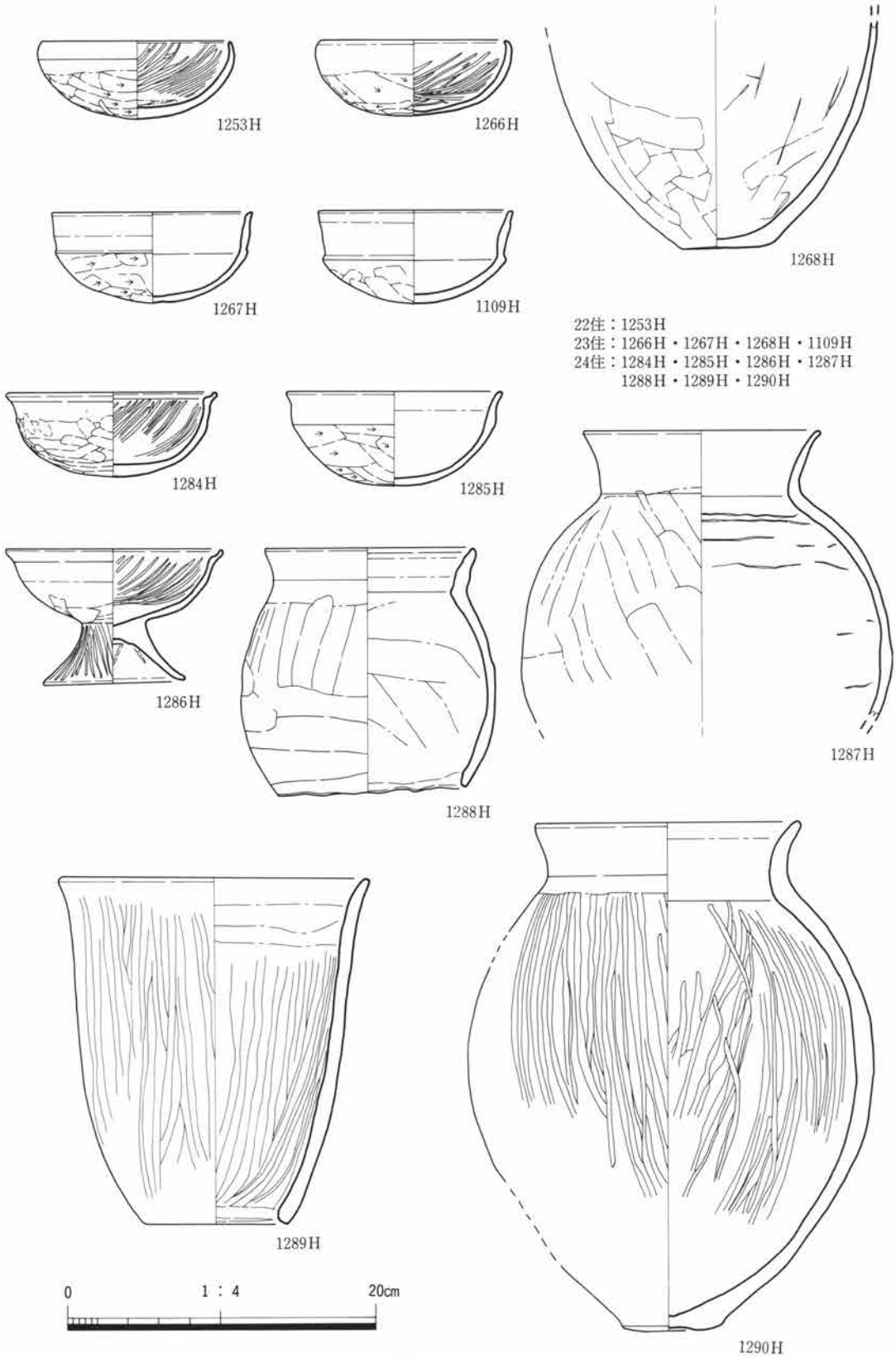
第721図　4 区34・88・144・223・224号土坑出土遺物



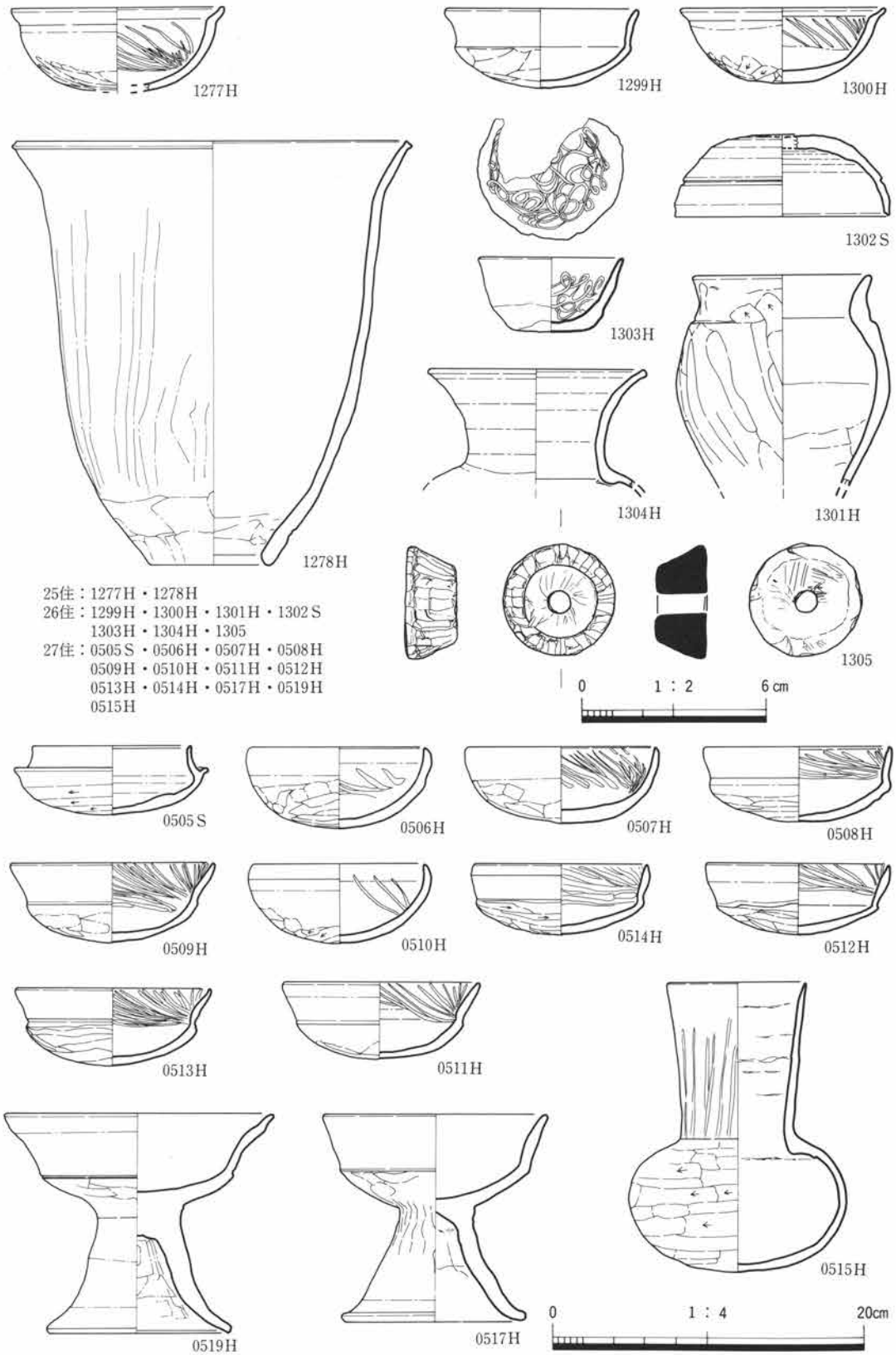
第722図　5区1・2・3・4・6・8・9・10号住居跡出土遺物



第723図　5 区11・12・17・19・20・21号住居跡出土遺物

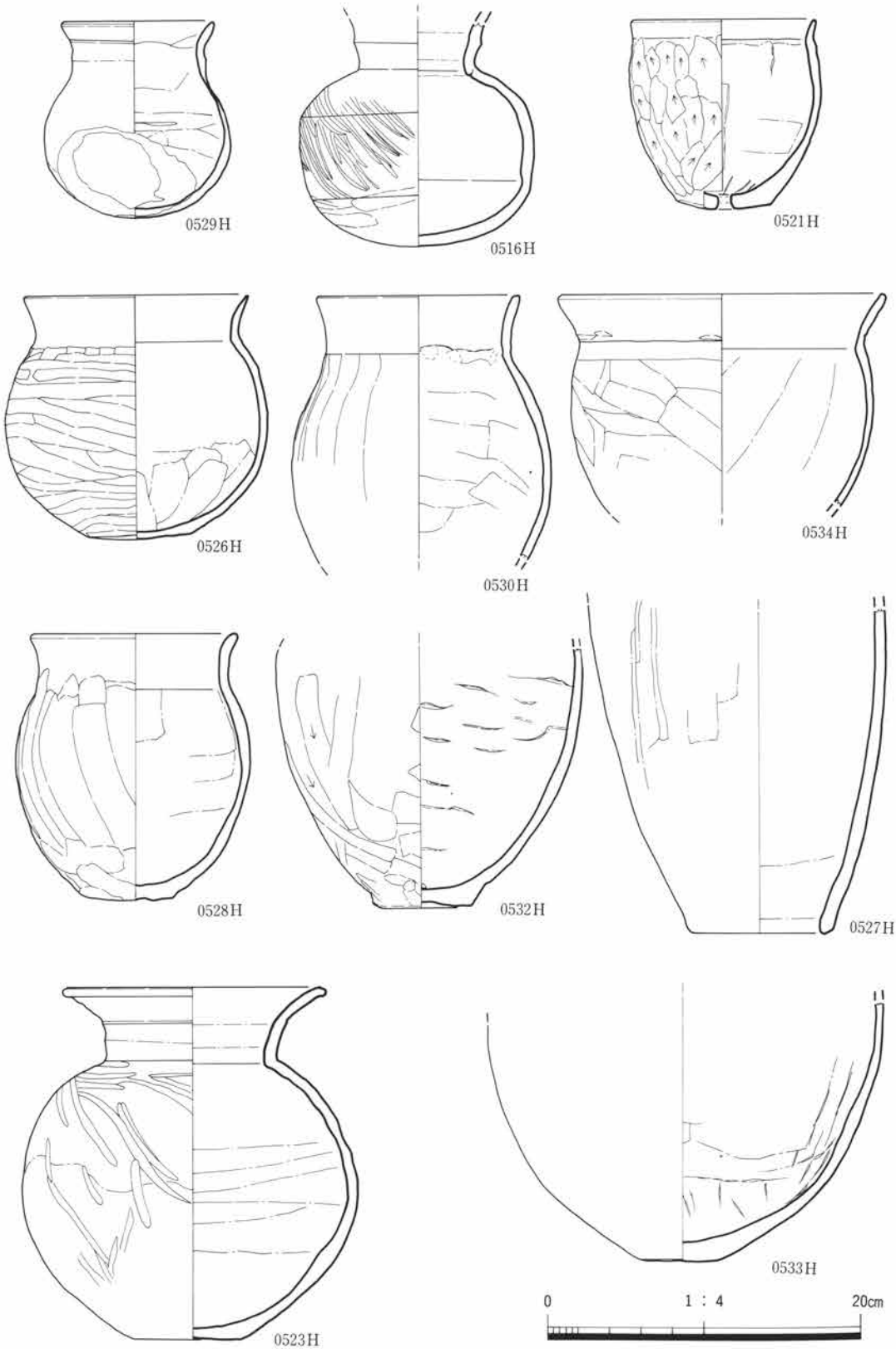


第724図　5区22・23・24号住居跡出土遺物

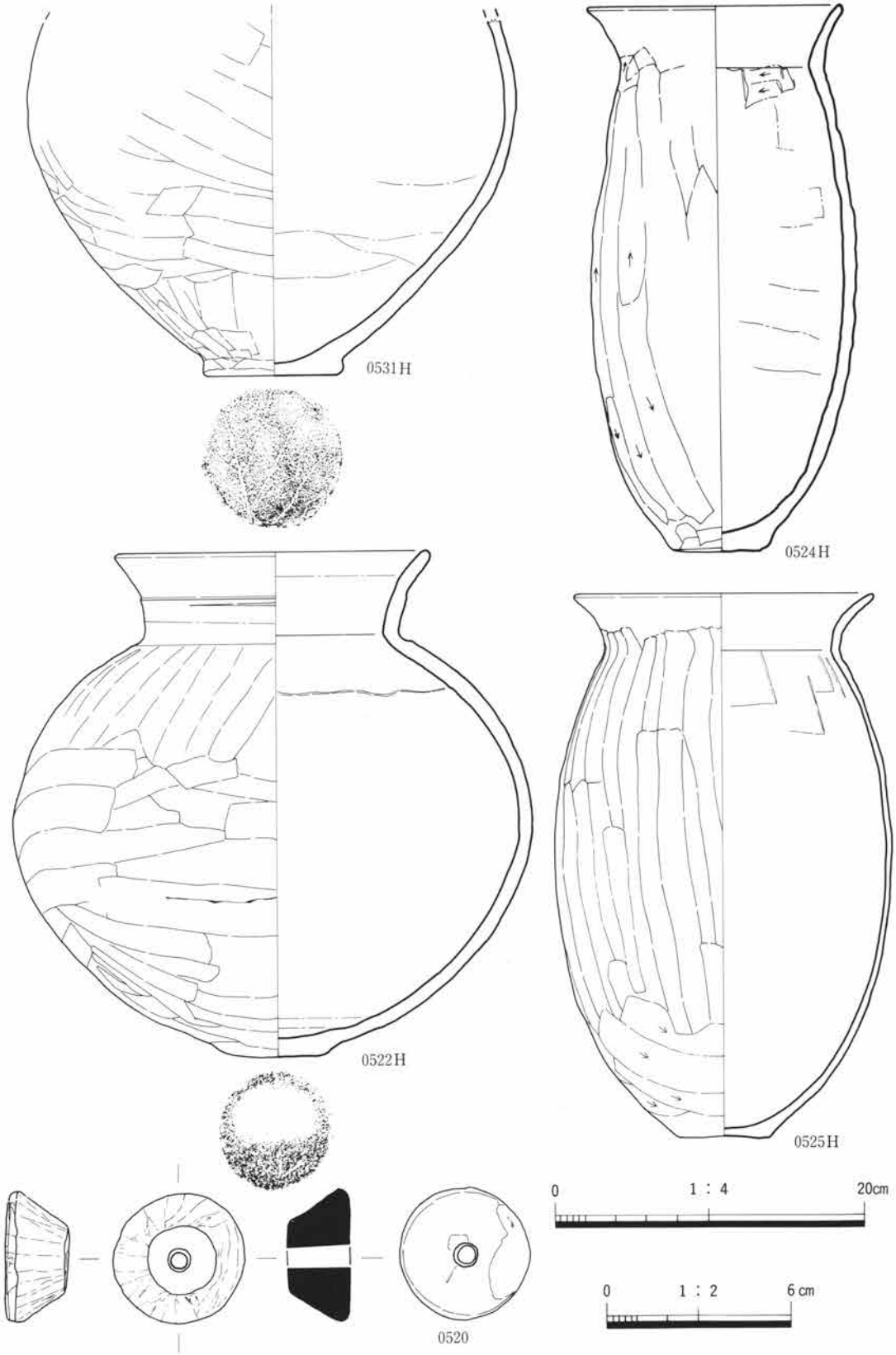


25住：1277H・1278H
26住：1299H・1300H・1301H・1302S
1303H・1304H・1305
27住：0505S・0506H・0507H・0508H
0509H・0510H・0511H・0512H
0513H・0514H・0517H・0519H
0515H

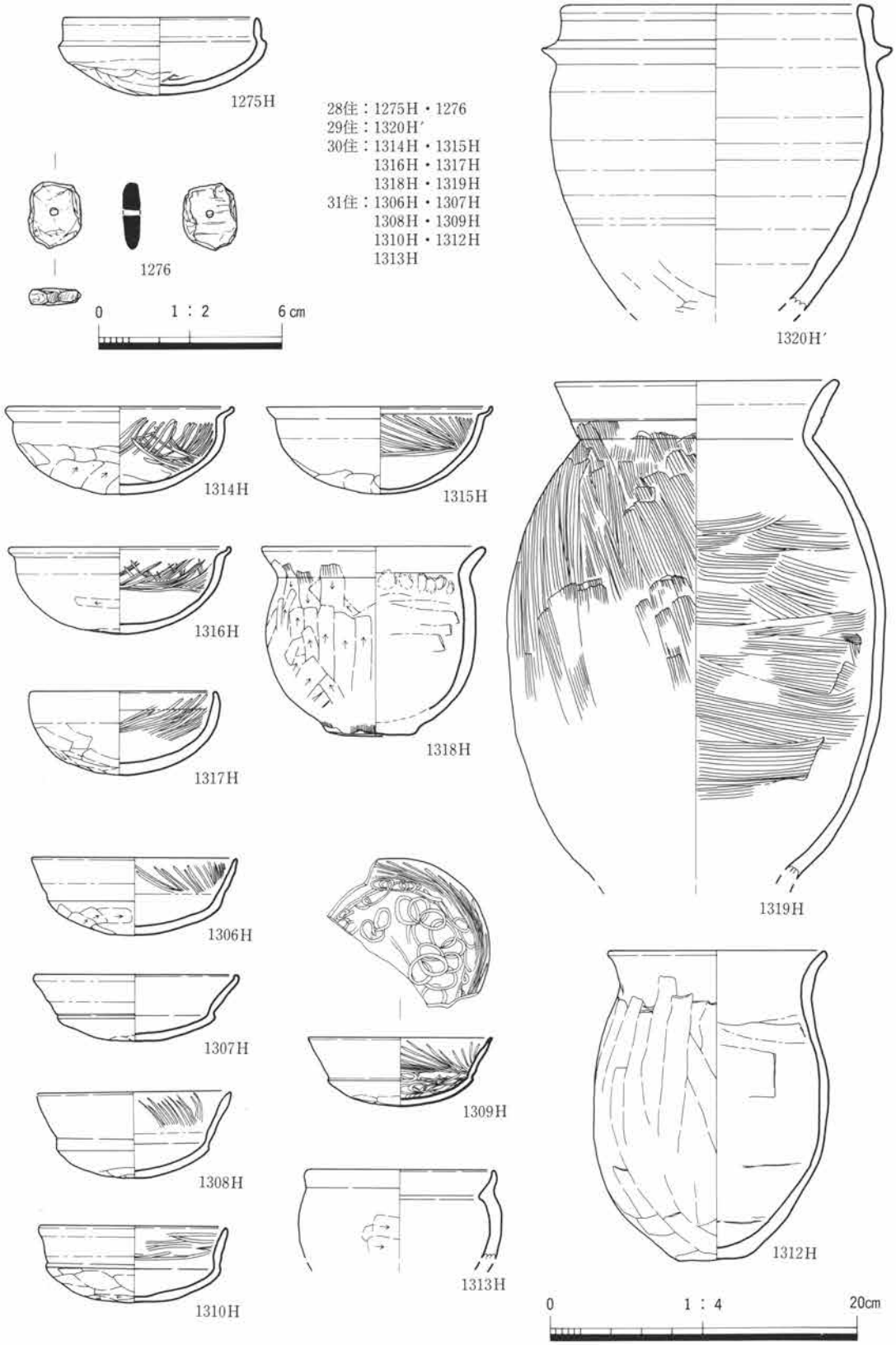
第725図　5区25・26・27号住居跡出土遺物



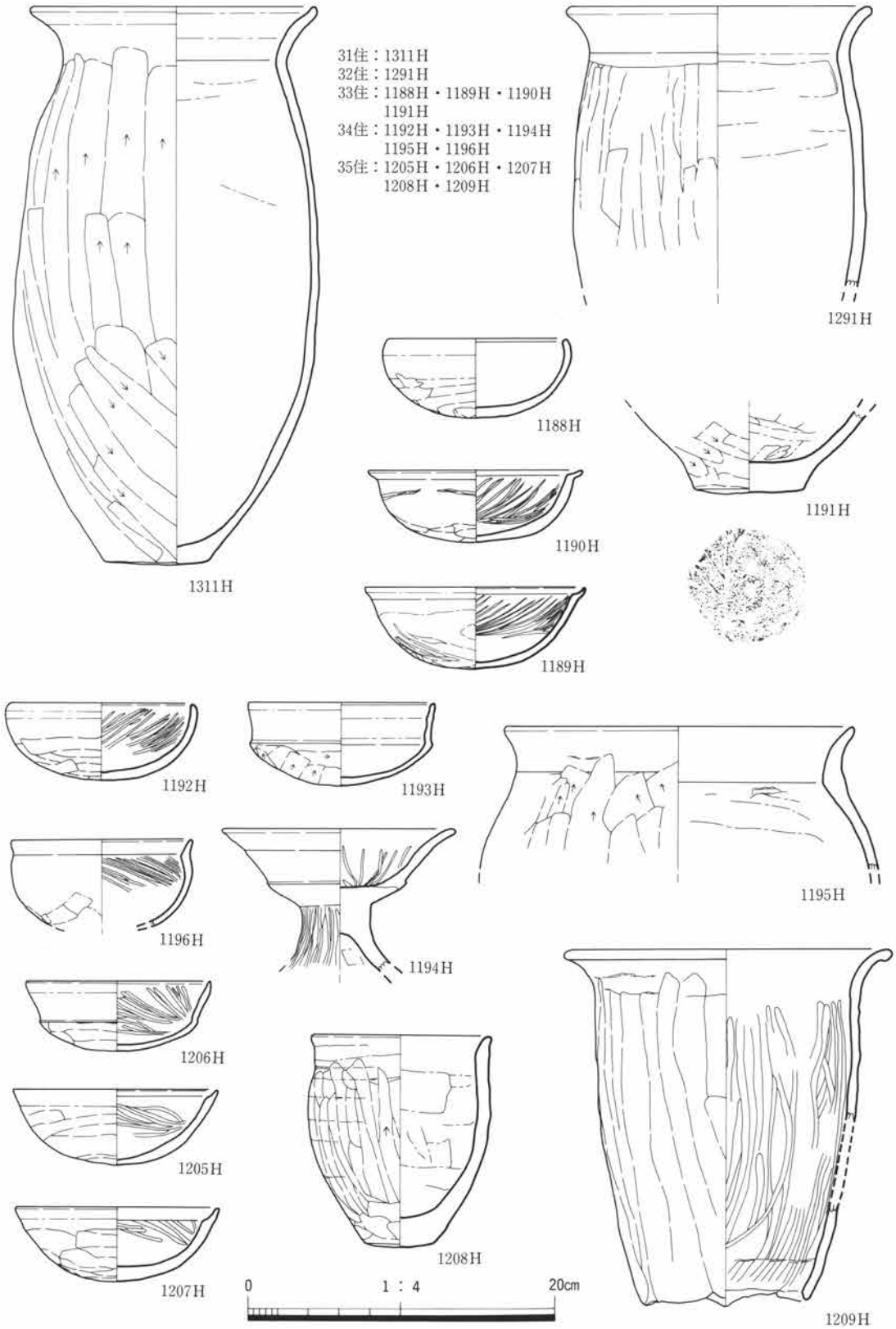
第726図　5区27号住居跡出土遺物（1）



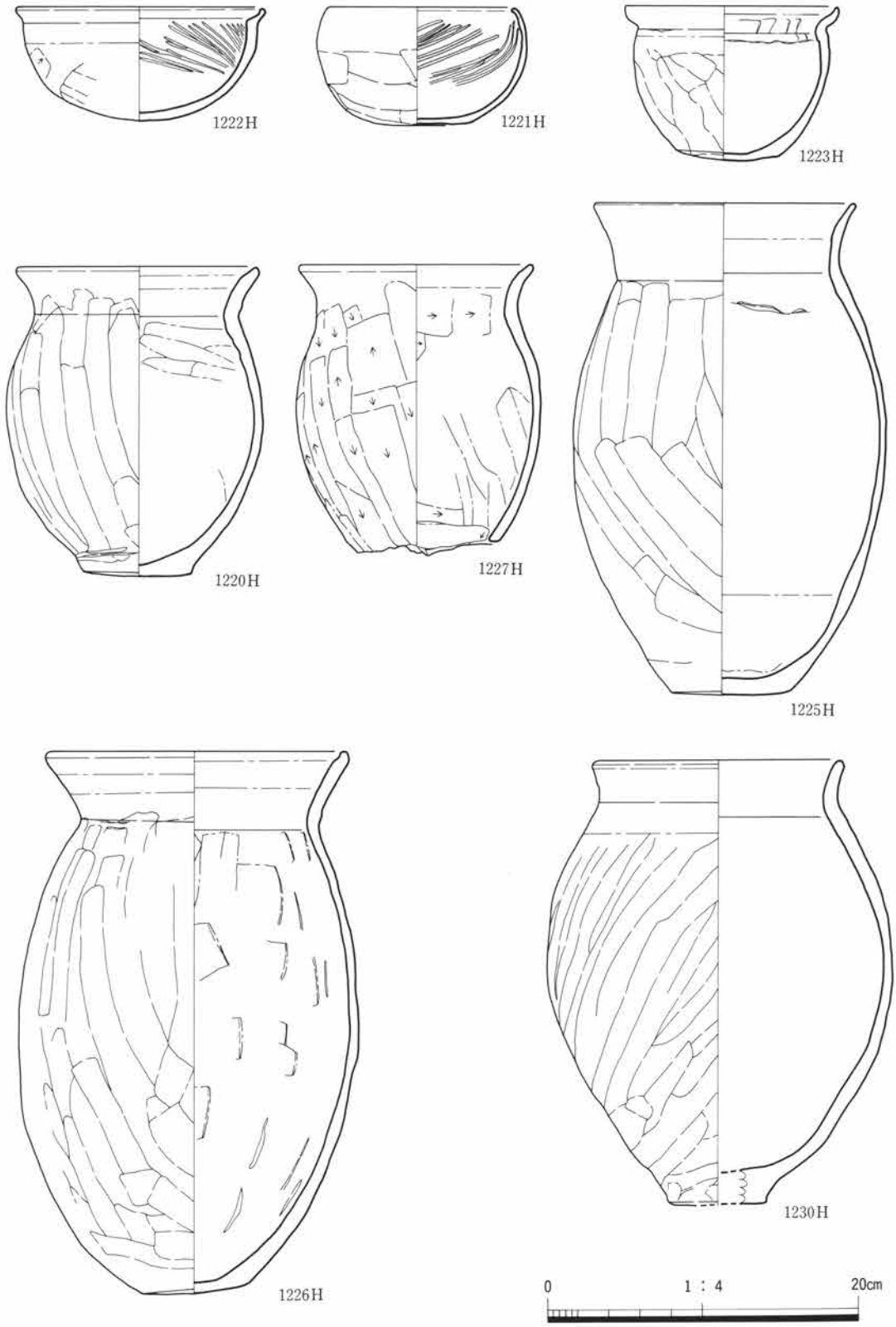
第727図　5区27号住居跡出土遺物（2）



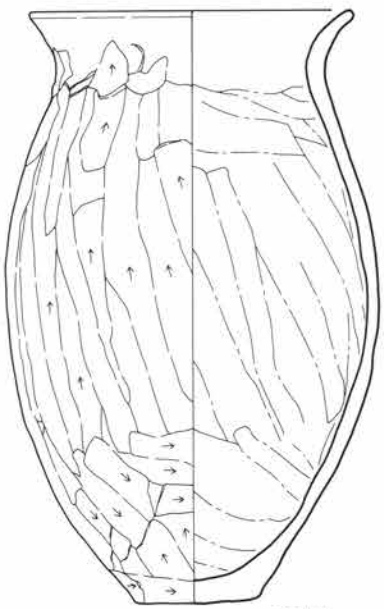
第728図　5区28・29・30・31号住居跡出土遺物

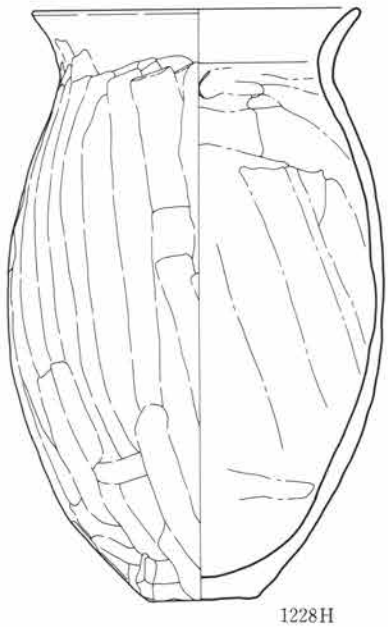


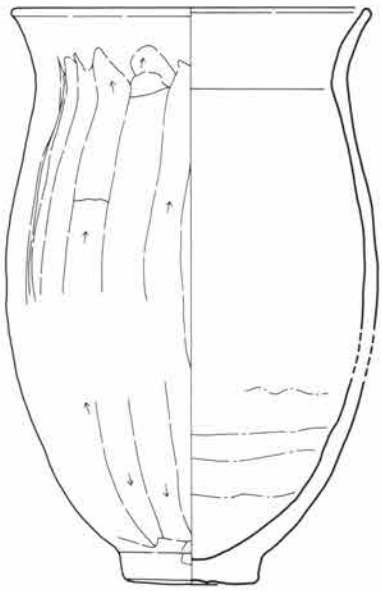
第729図　5 区31・32・33・34・35号住居跡出土遺物

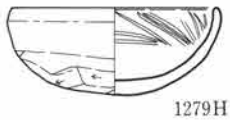


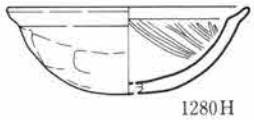
第730図　5区36号住居跡出土遺物

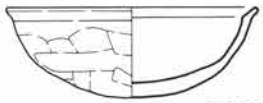

1224H

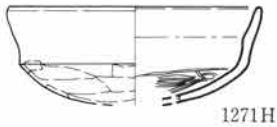

1228H

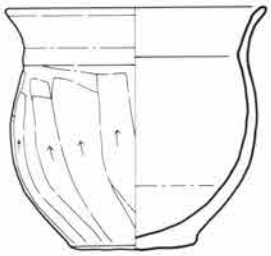

1229H


1279H


1280H


1269H

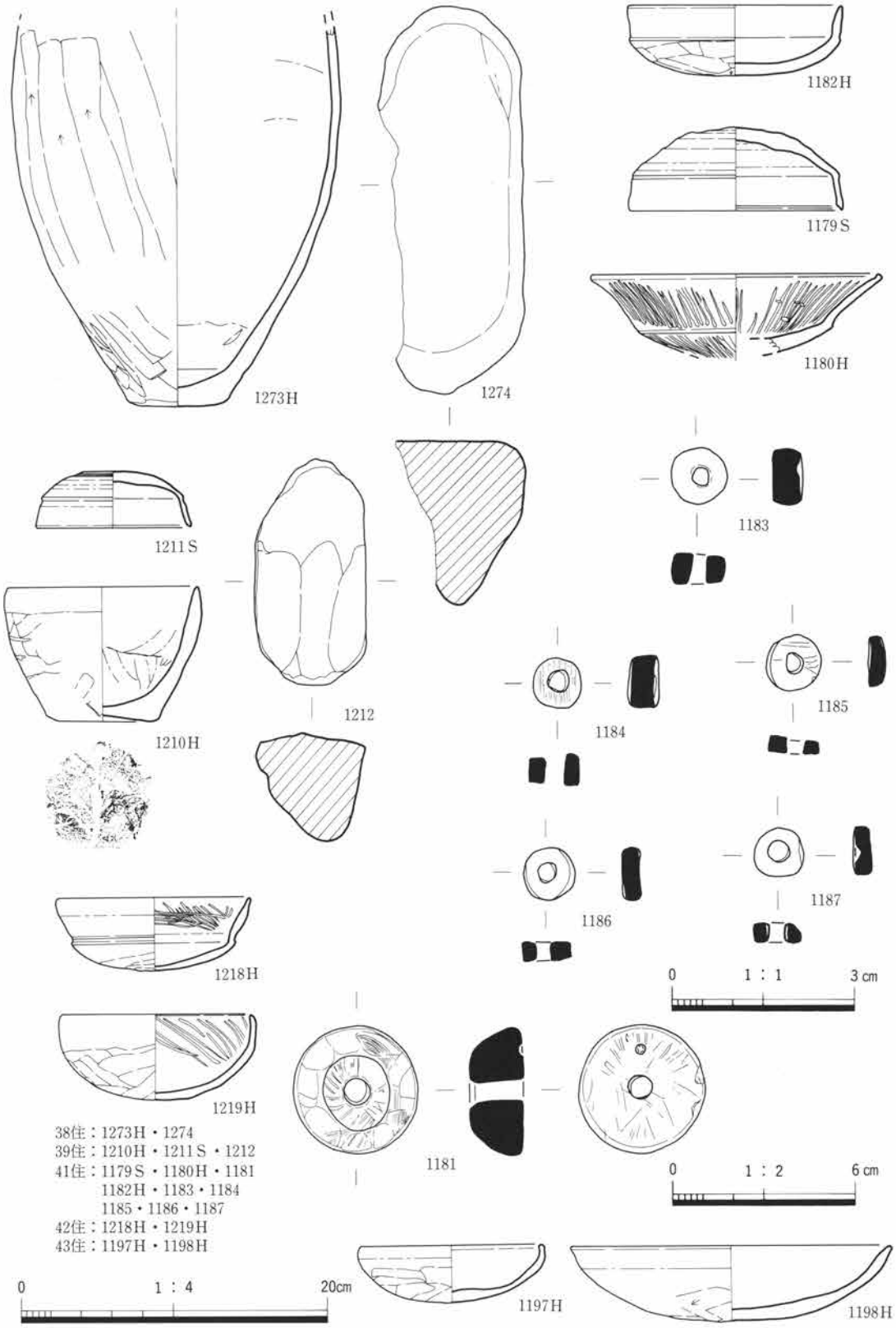

1271H


1270H

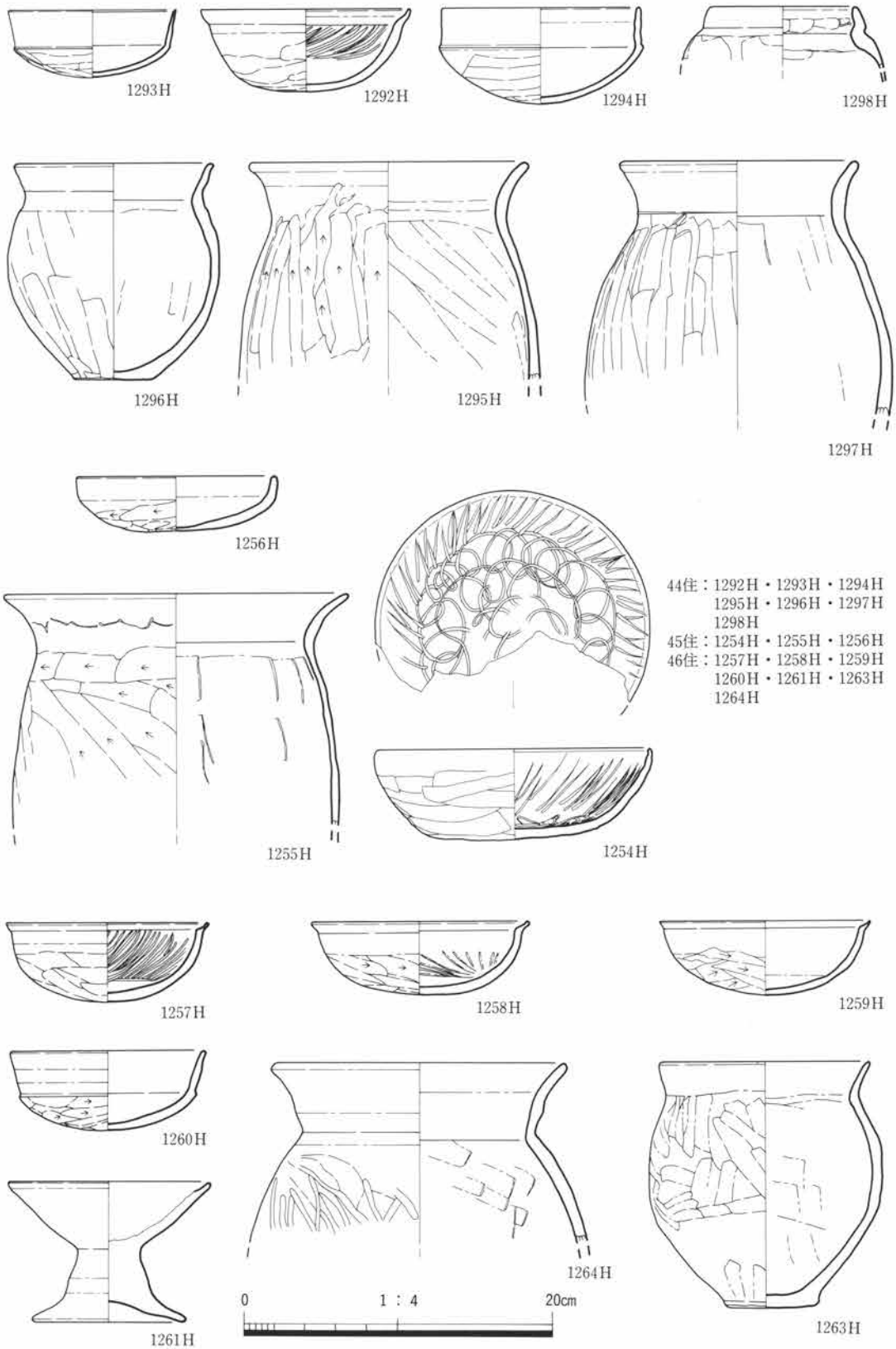
1272H

36住:1224H・1228H・1229H
37住:1279H・1280H
38住:1269H・1270H・1271H・1272H

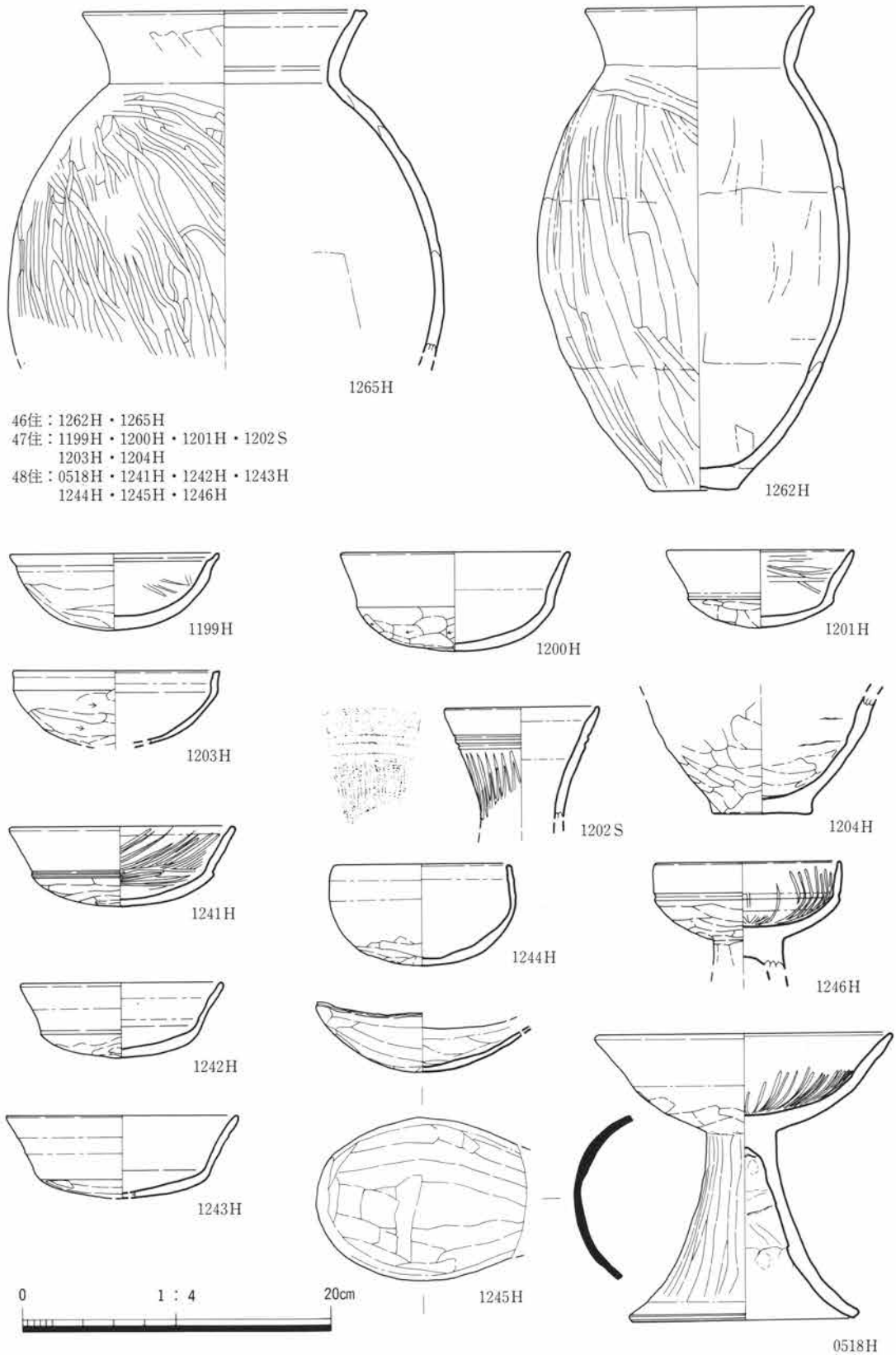
第731図　5区36・37・38号住居跡出土遺物



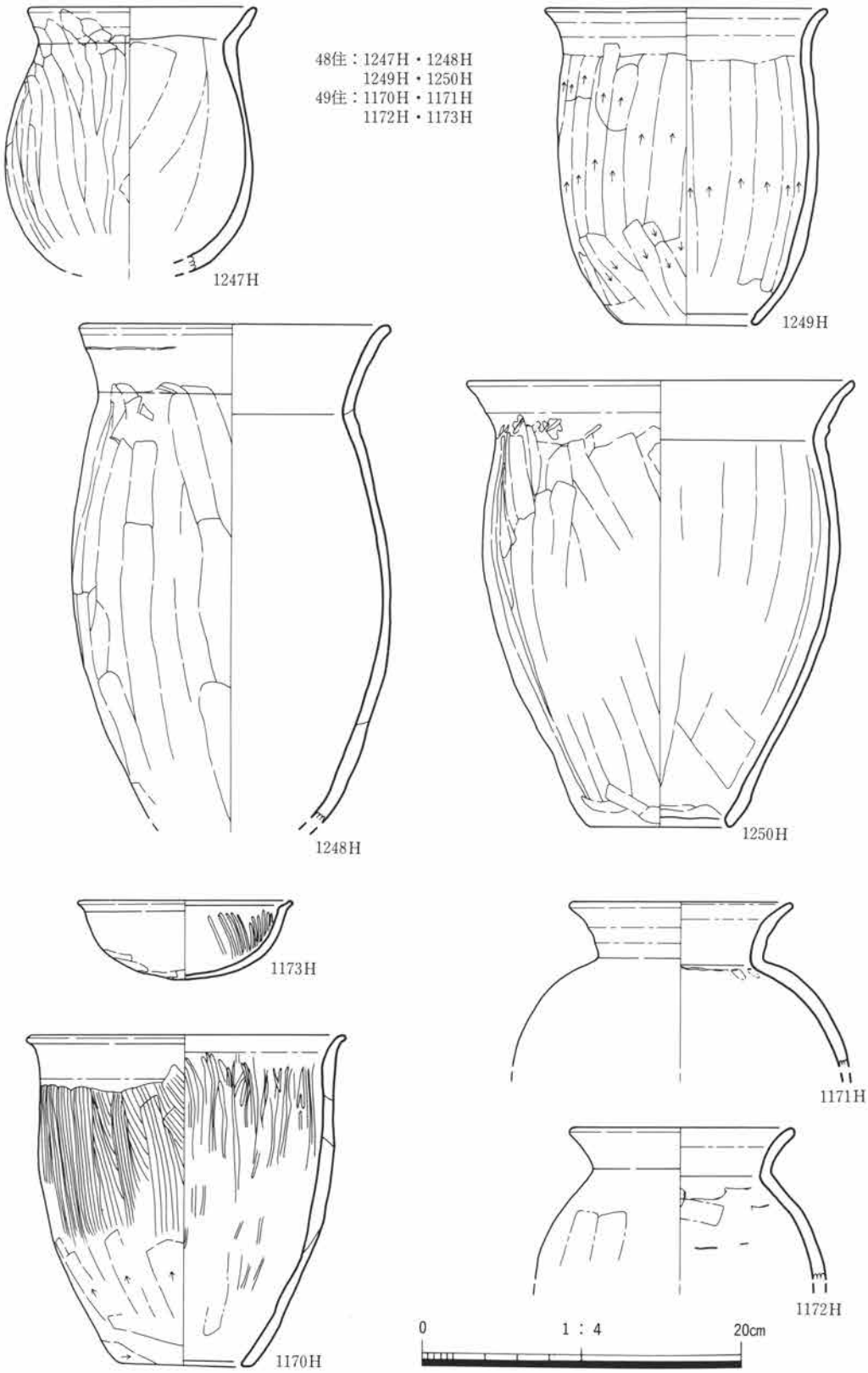
第732図　5区38・39・41・42・43号住居跡出土遺物



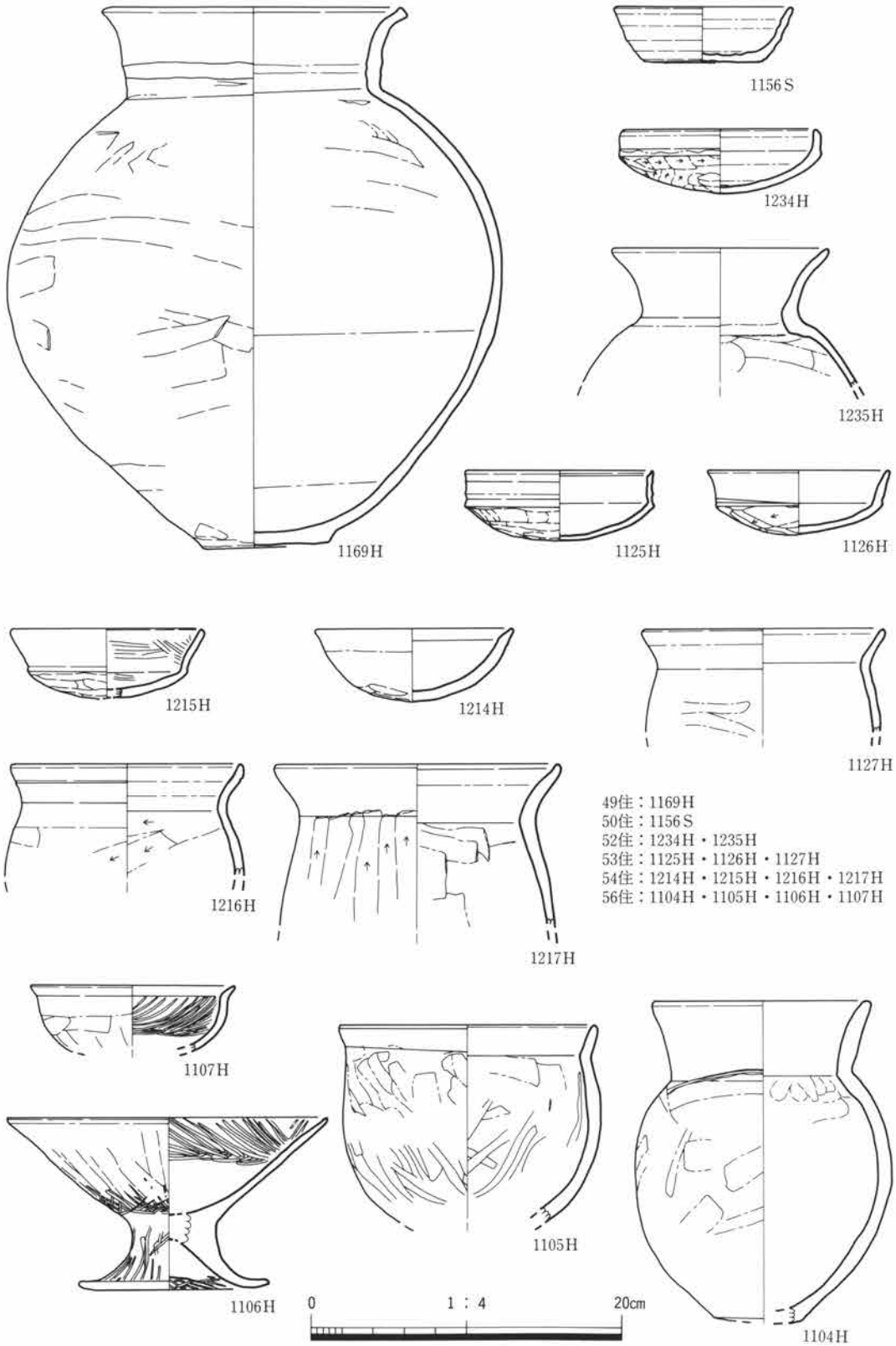
第733図　5 区44・45・46号住居跡出土遺物



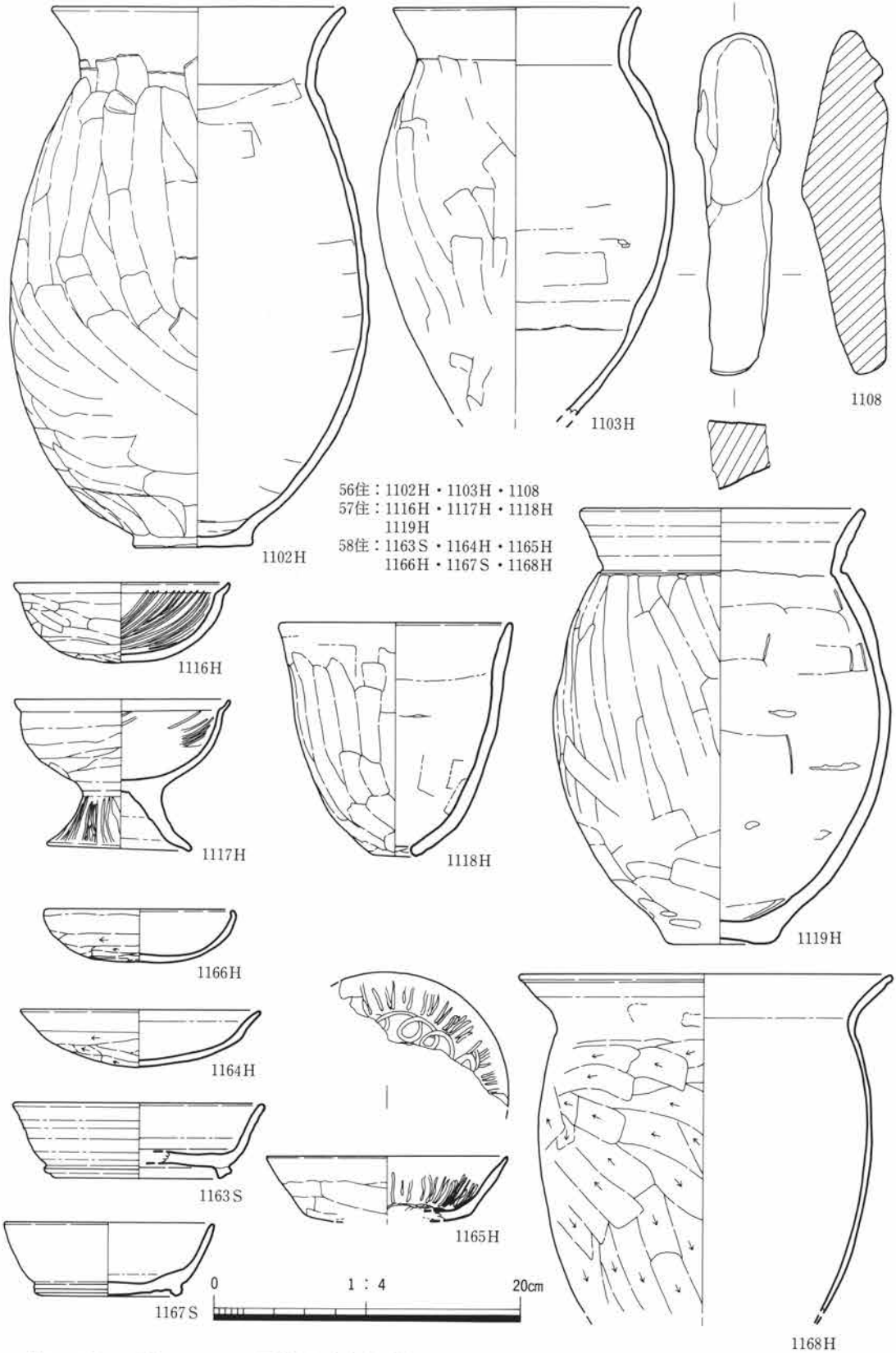
第734図　5区46・47・48号住居跡出土遺物



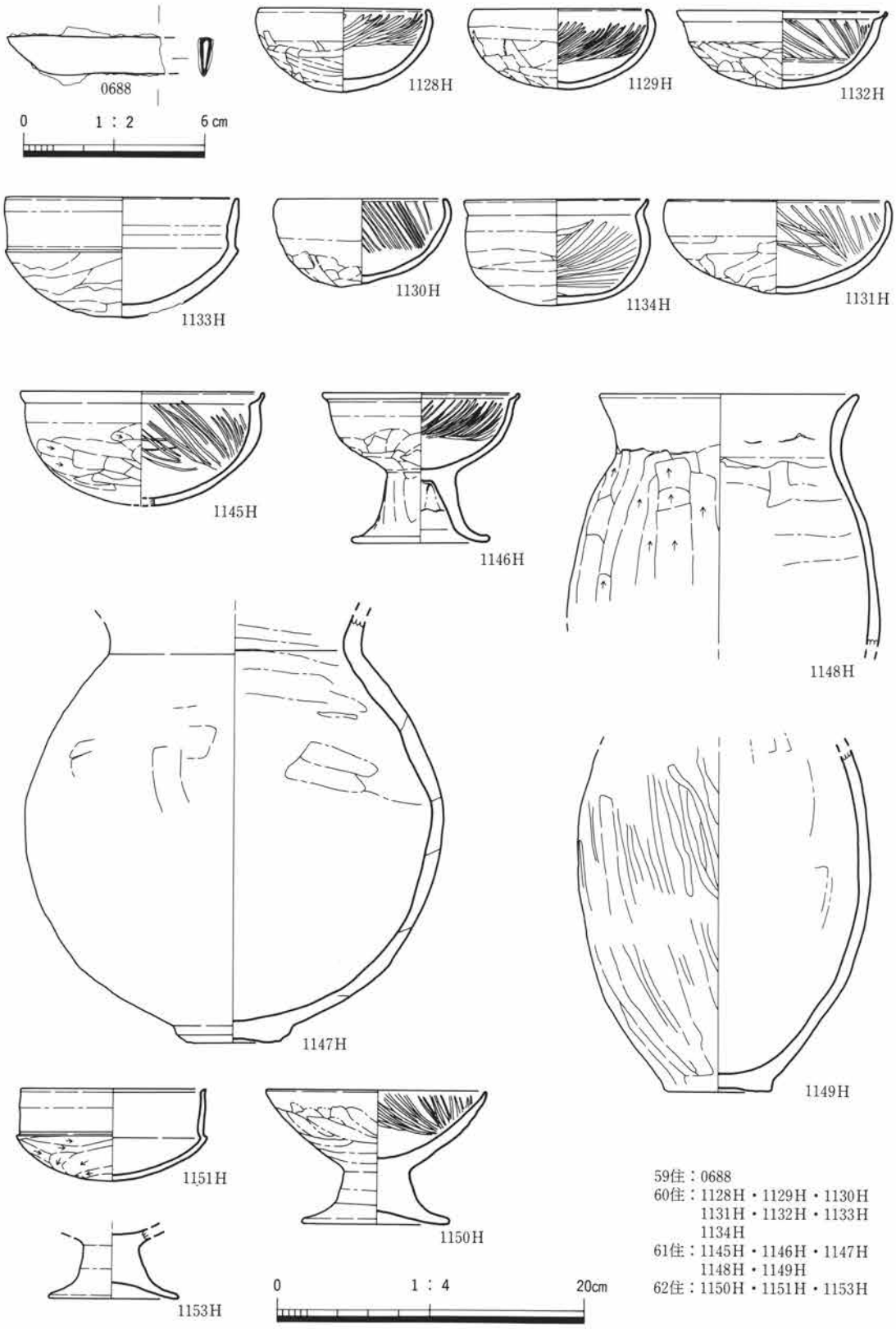
第735図　5 区48・49号住居跡出土遺物



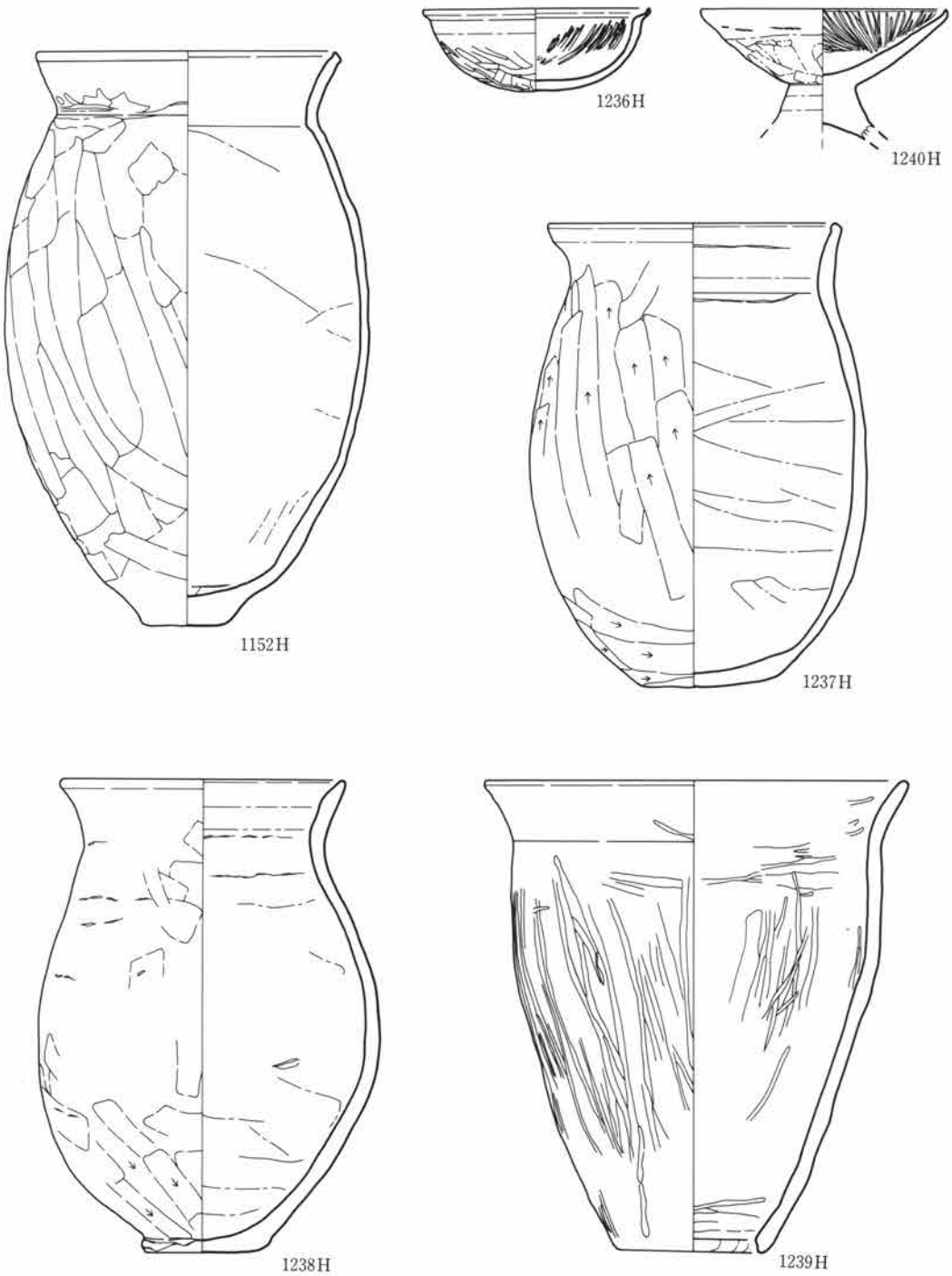
第736図　5区49・50・52・53・54・56号住居跡出土遺物



第737図　5 区56・57・58号住居跡出土遺物



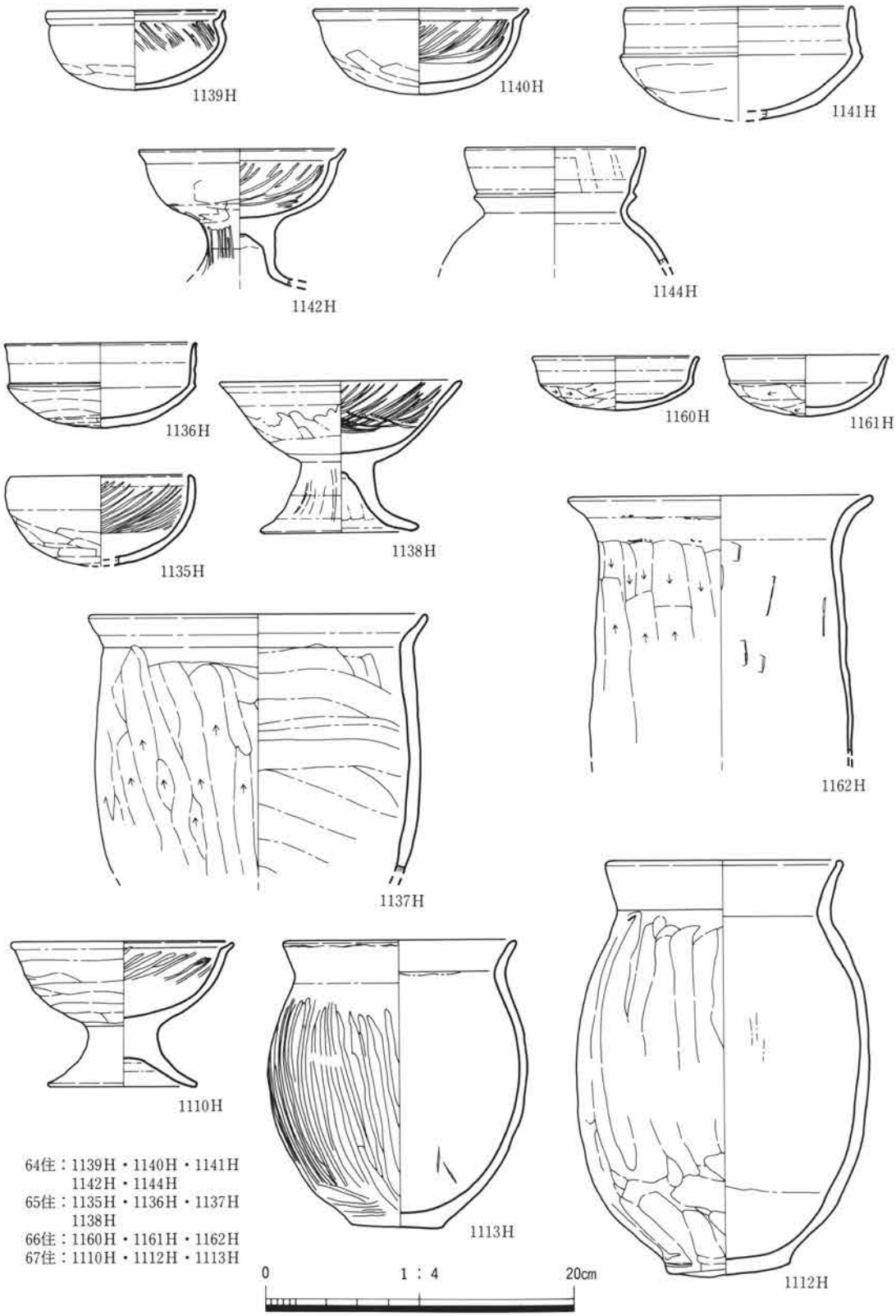
第738図　5区59・60・61・62号住居跡出土遺物



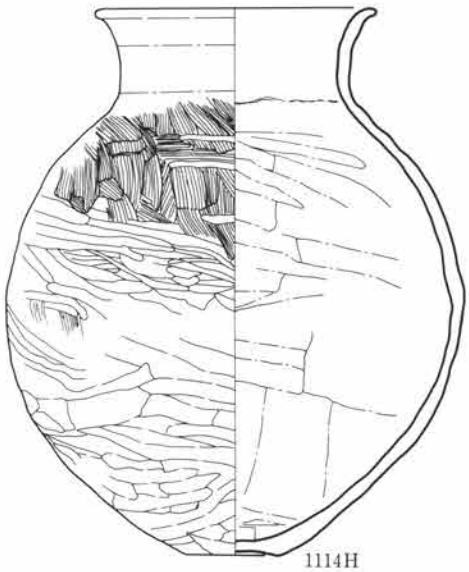
62住：1152H
63住：1236H・1237H・1238H
1239H・1240H

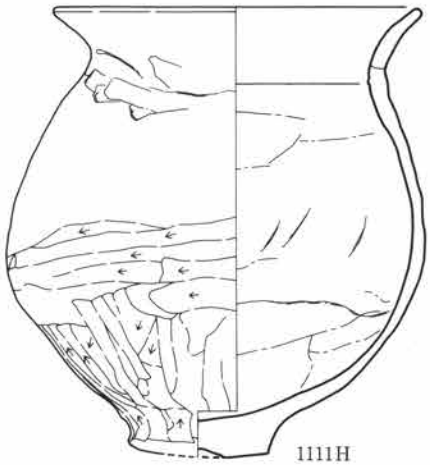
0　1：4　20cm

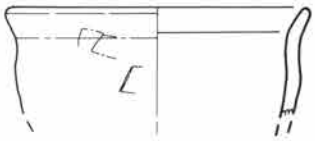
第739図　5 区62・63号住居跡出土遺物

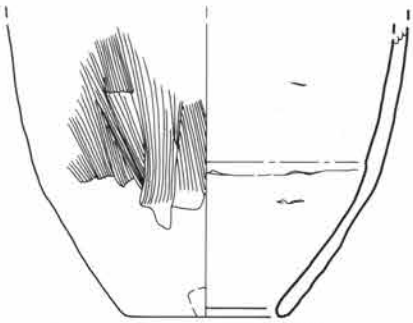


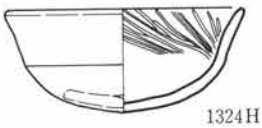
第740図　5区64・65・66・67号住居跡出土遺物

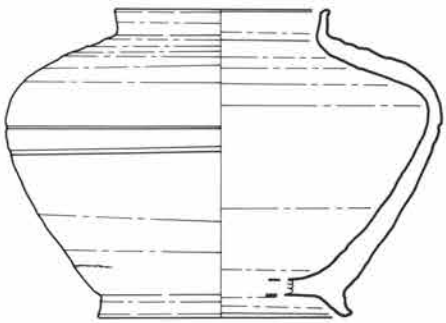


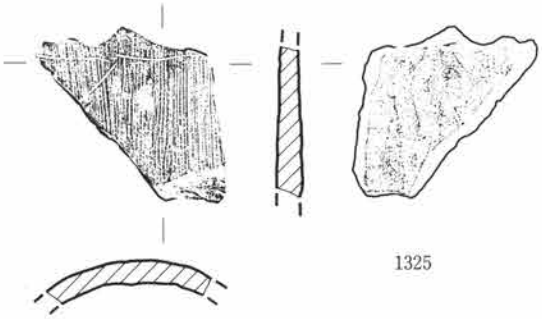






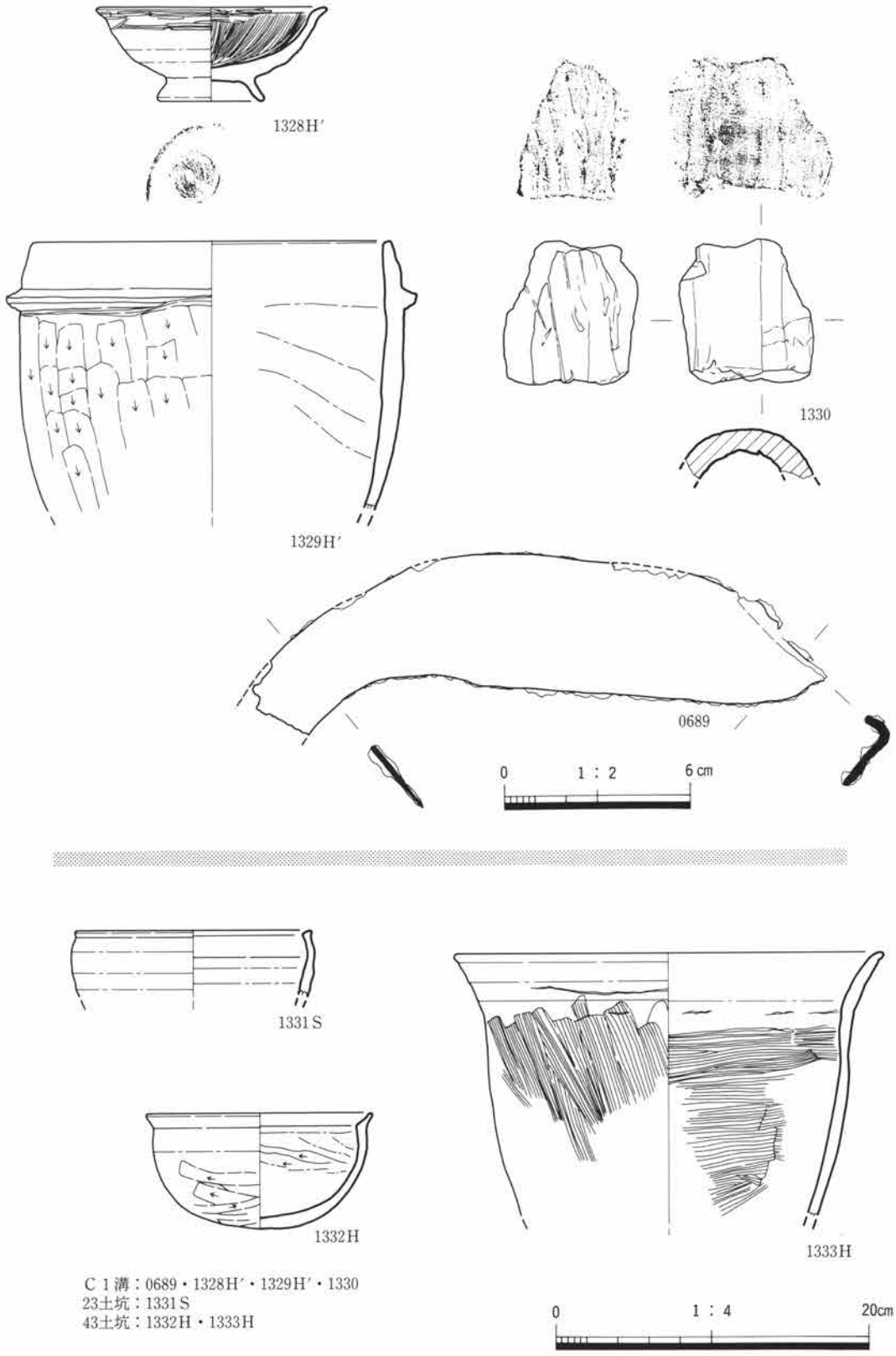




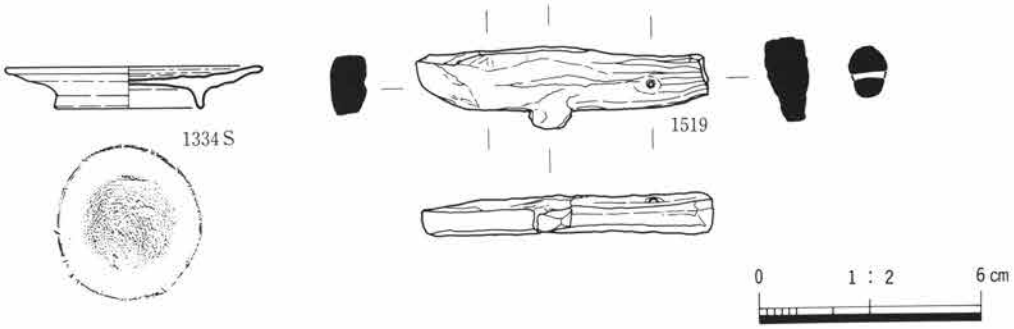


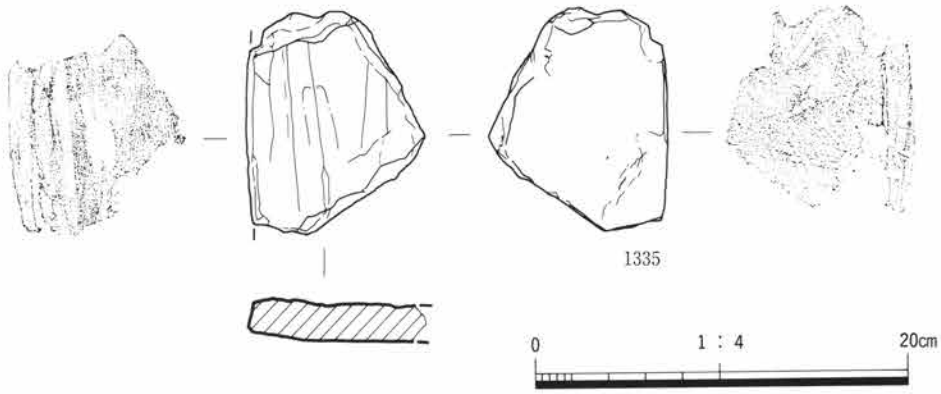
67住　：1111H・1114H・1115H
68住　：1283H
101溝　：1322S・1323S・1324H・1325
B3溝　：1326H′・1327H′

第741図　5区67・68住居跡、101・B2号溝出土遺物

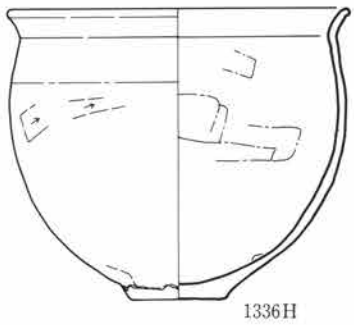


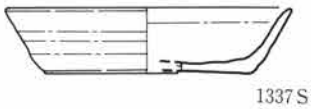
第742図　５区Ｃ１号溝、23・43号土坑出土遺物





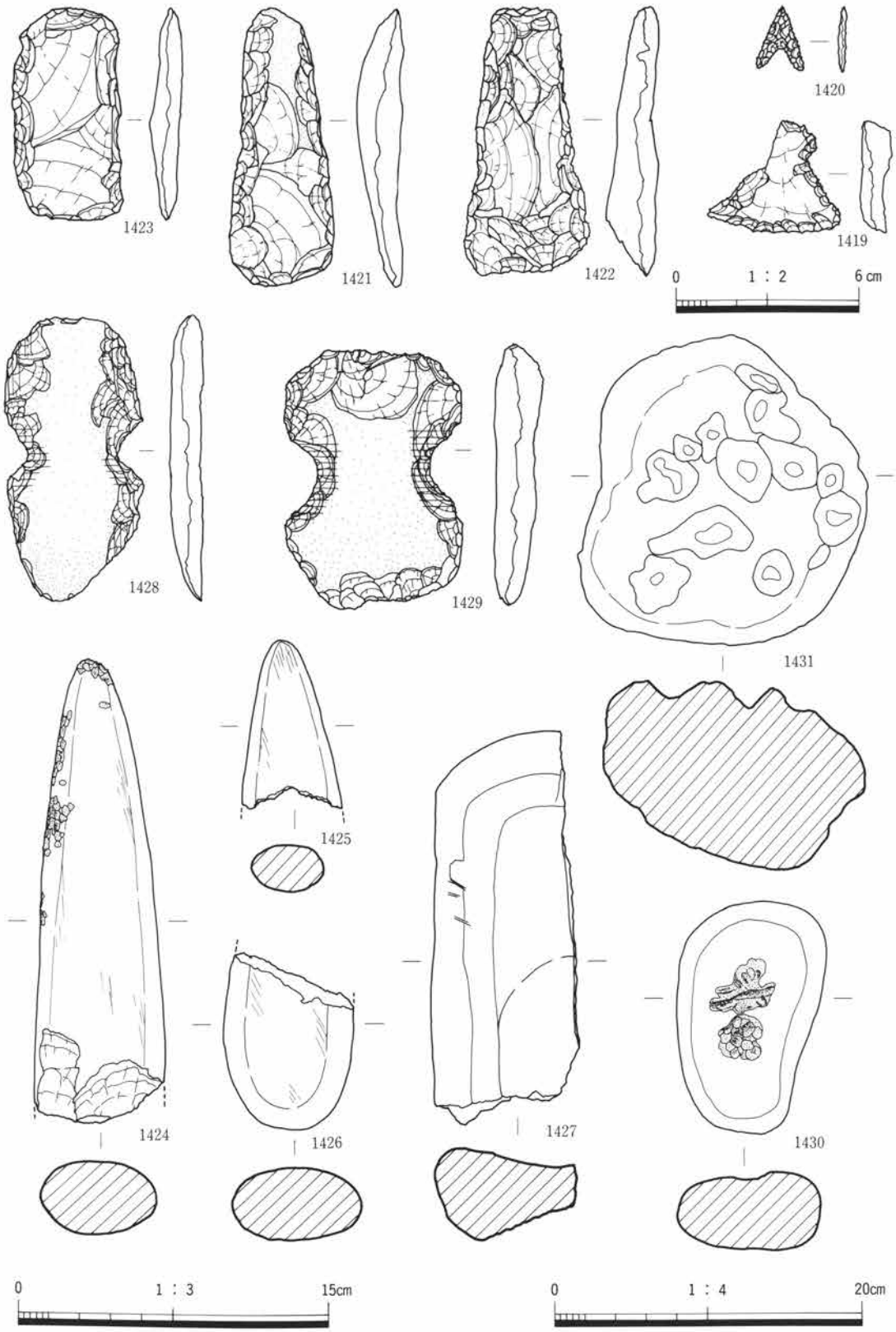
第743図　5 区遺構外出土遺物



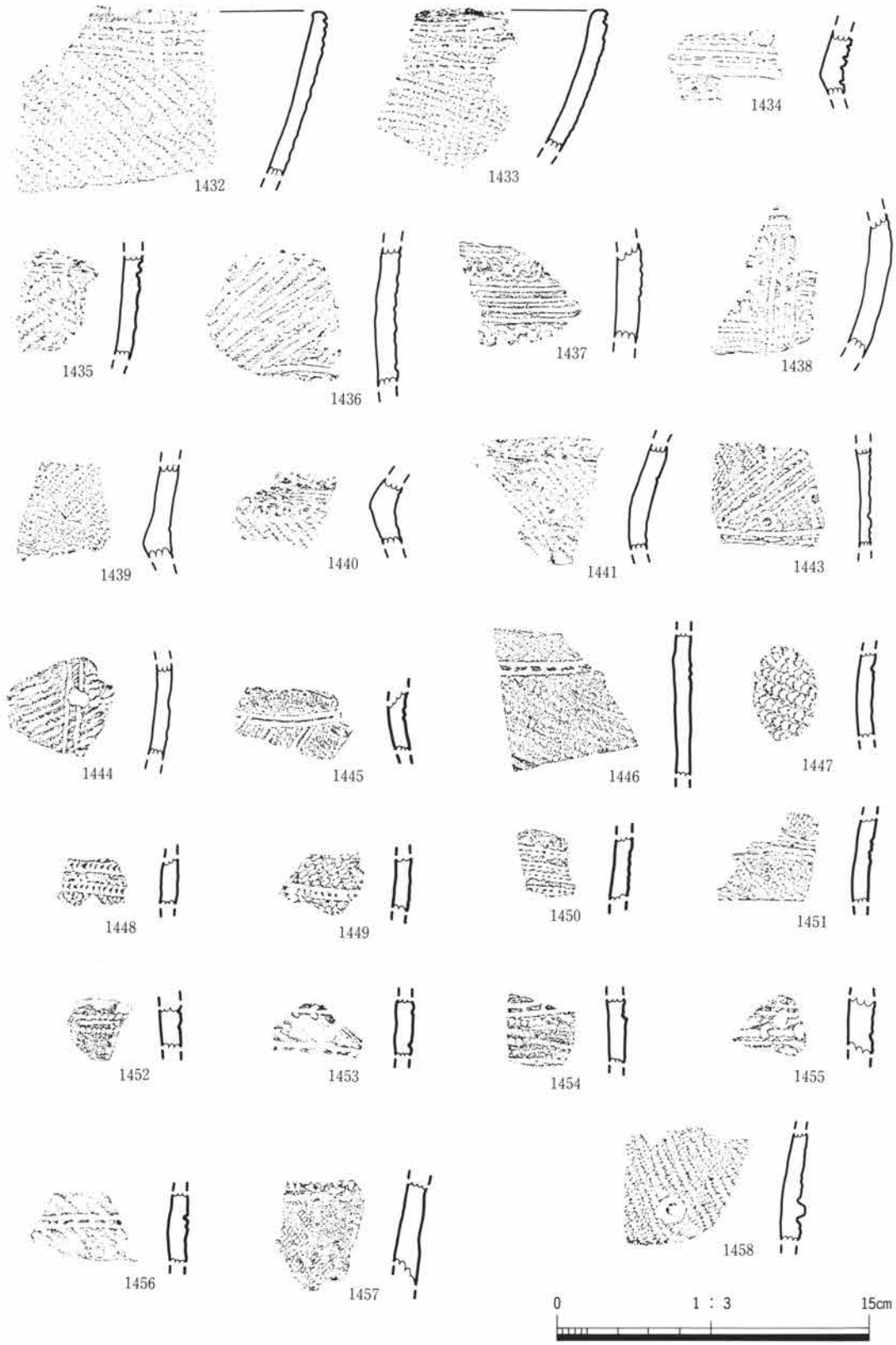


1 住　：1336H
1 土坑：1337 S

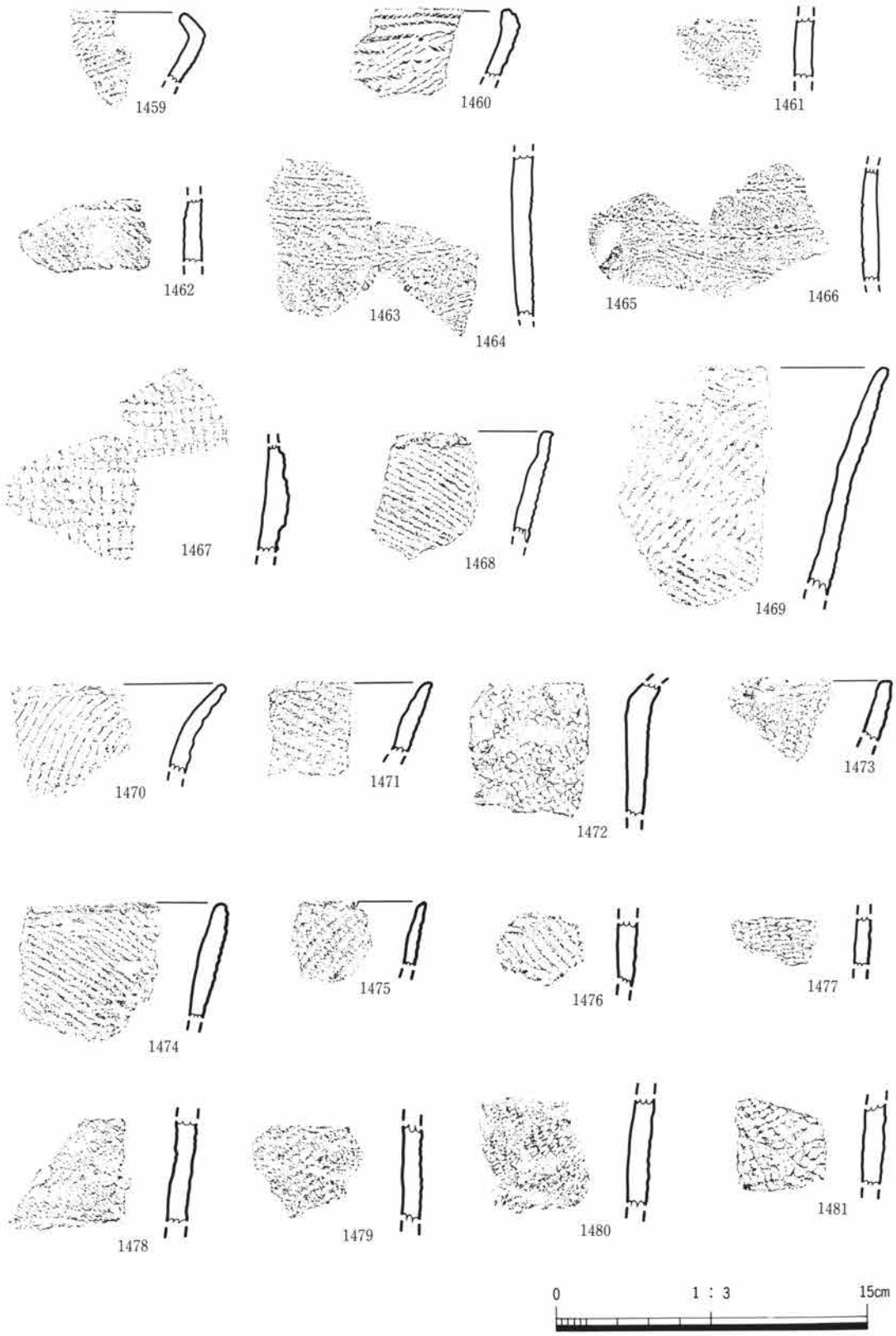
第744図　6 区 1 号住居跡、6 区 1 号土坑出土遺物



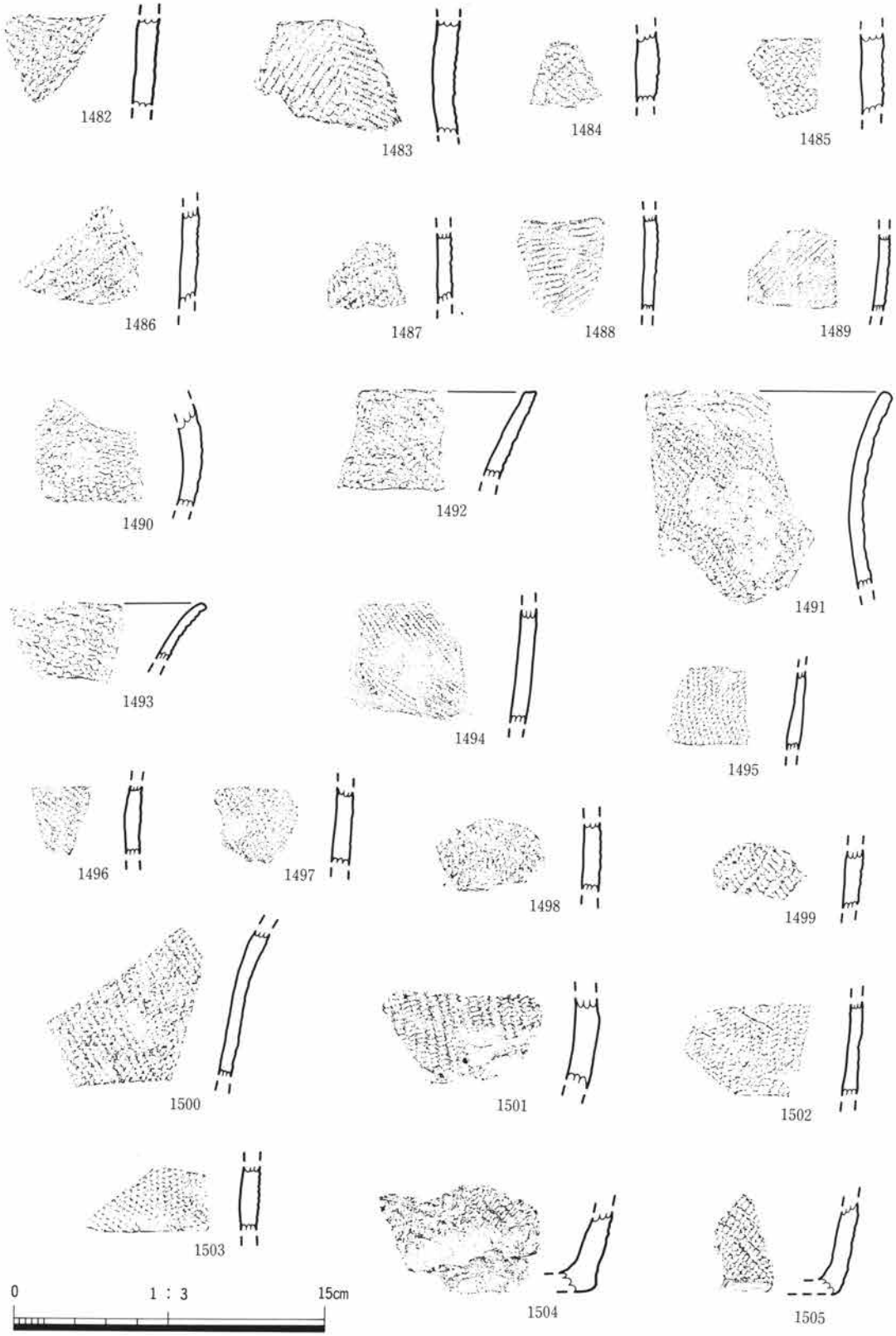
第745図　遺構外出土縄文時代遺物（1）



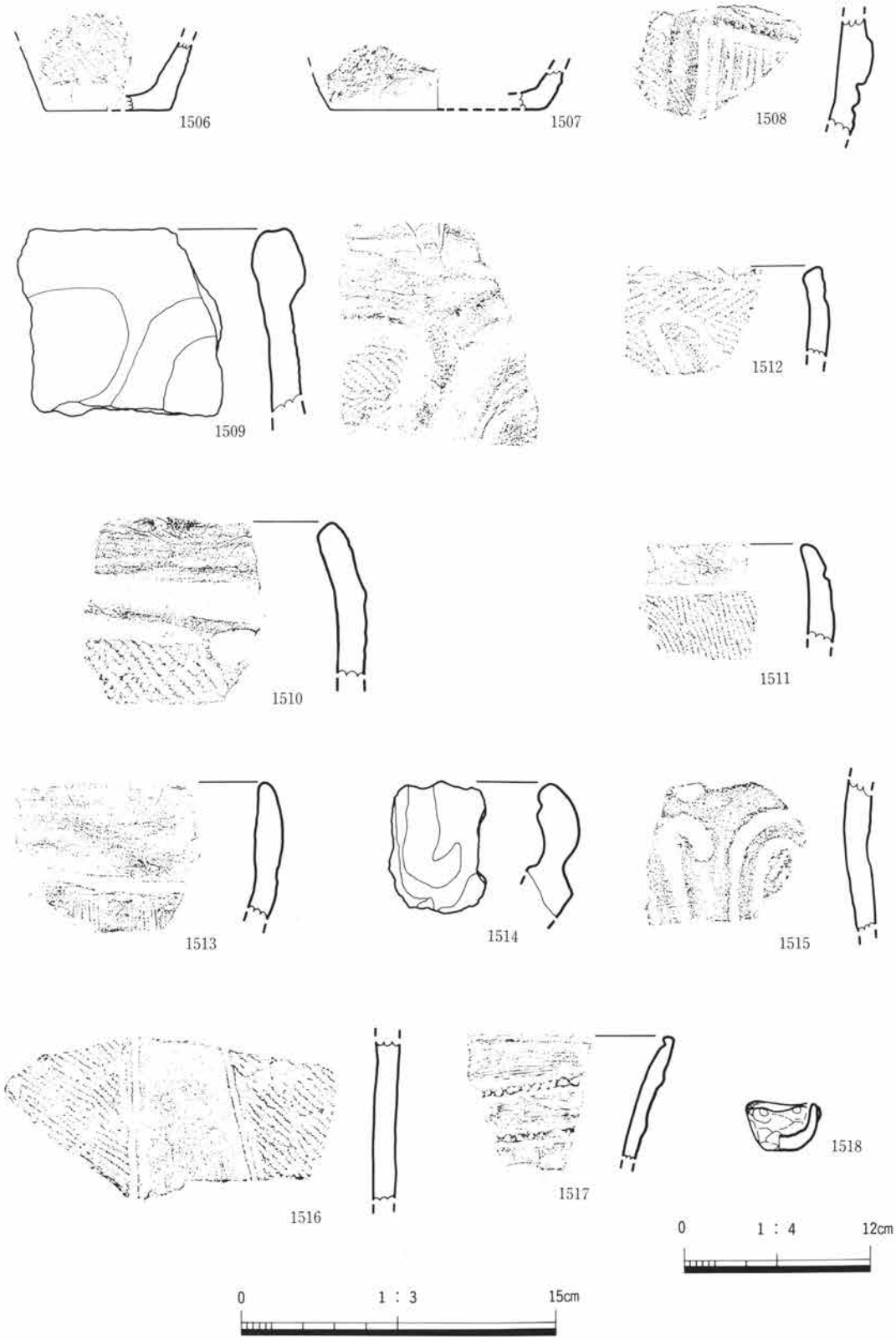
第746図　遺構外出土縄文時代遺物（2）



第747図　遺構外出土縄文時代遺物（３）



第748図　遺構外出土縄文時代遺物（4）



第749図　遺構外出土縄文時代遺物（５）

遺物計測値表

＊1　遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・遺物計測値表の遺物番号・写真図版編の遺物番号は、それぞれ同じ遺物を指す。

＊2　整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。

＊3　遺物計測値は出土遺構ごとに掲載しており、4→5→6区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前詰めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順で掲載した。

＊4　器形・調整等の特徴を観察した記述は割愛した。

＊5　土器の計測値のうち、甕類等で備考欄④「胴」としたのは胴部最大径を示す。その他は適宜表現した。

＊6　計測値の口＝口径、高＝器高、底＝底径を表し、底部が●であるものは丸底、－は計測不可、口径値・器高値・底径値を（　）でくくったものは、それぞれ復原口径、現存高、復原底径を示す。

＊7　出土位置は水平位置－垂直位置で示し、認定された床面からの高さ10cm以内を「床面」とした。住居内部の水平位置は中央・各辺・各隅・内部施設と方角とを併用して表現した。単に「カマド」としたものは、カマド覆土出土も含む。

＊8　備考欄③土器の色調は『標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修、1970年）を用いて表したが、個人差・光源の違い等により、現物の色調と一致しない場合がある。

＊9　整理番号をもつ登録遺物は、発掘調査記録図（遺物分布図）と同定可能な遺物取り上げ番号（＝遺物注記）、及び整理作業中に撮影した写真番号を遺物台帳に記録してある。未掲載遺物（土器片等）については、所見の一部を遺物台帳に記録した。

遺物計測値表　遺構別　目次

区	遺構番号	掲載頁
4	1住	745
	2住	745
	3住	745
	4住	745
	6住	746
	7住	746
	8住	746
	9住	746
	11住	747
	12住	747
	13住	747
	14住	747
	15住	748
	16住	748
	17住	748
	18住	748
	19住	749
	21住	749
	22住	749
	23住	749
	24住	750
	29住	750
	30住	750
	32住	751
	33住	751
	34住	752
	35住	752
	36住	752
	37住	752
	38住	753
	40住	753
	41住	753
	43住	753
	44住	754
	45住	754
	54住	754
	55住	755
	56住	756
	57住	756
	58住	756
	59住	756
	60住	757
	62住	758
	63住	758
	65住	758
	68住	758
	70住	759
	71住	759
	72住	759
	73住	759
	74住	760
	75住	760
	76住	760
	77住	761

区	遺構番号	掲載頁
4	78住	761
	80住	761
	81住	762
	84住	762
	85住	762
	86住	762
	101住	763
	102住	764
	103住	764
	104住	764
	105住	764
	106住	764
	107住	765
	109住	765
	110住	765
	111住	765
	112住	766
	113住	766
	114住	766
	117住	766
	119住	767
	120住	767
	121住	767
	122住	767
	127住	768
	128住	768
	129住	769
	130住	769
	135住	771
	137住	771
	138住	771
	141住	771
	142住	771
	145住	771
	146住	772
	147住	773
	149住	773
	150住	773
	152住	774
	153住	774
	154住	774
	155住	775
	34坑	776
	88坑	776
	144坑	776
	223坑	776
	224坑	777
5	1住	777
	2住	777
	3住	777
	4住	777
	6住	777
	8住	777
	9住	778

区	遺構番号	掲載頁
5	10住	778
	11住	778
	12住	778
	17住	779
	19住	779
	20住	779
	21住	779
	22住	779
	23住	779
	24住	780
	25住	780
	26住	780
	27住	781
	28住	783
	29住	783
	30住	783
	31住	784
	32住	784
	33住	785
	34住	785
	35住	785
	36住	786
	37住	787
	38住	787
	39住	787
	41住	787
	42住	788
	43住	788
	44住	789
	45住	789
	46住	789
	47住	790
	48住	791
	49住	791
	50住	792
	52住	792
	53住	792
	54住	792
	56住	793
	57住	793
	58住	794
	59住	794
	60住	794
	61住	795
	62住	795
	63住	795
	64住	796
	65住	796
	66住	797
	67住	797
	68住	797
	101溝	797
	B2溝	798
	C1溝	798

区	遺構番号	掲載頁
5	23坑	798
	43坑	798
	遺構外	799
6	1住	799
	1坑	799
遺構外縄文		799

4区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0681	鎌 鉄製	切先欠 木質遺存	遺存長17.3 刃部最大巾 5.1	中央西寄 床面	④基部と柄との角度44度
1000	円筒形土 製品 土師質	⅔？	口 － 高 (28.3) 底 10.1	東辺中央 壁際床面	①褐色粒，細砂②酸化③赤色
1001	円筒埴輪	小片	高 15.6 幅 10.9	カマド右 脇	①細砂②酸化③橙色
1002	円筒埴輪	小片	高 13.0 幅 －	カマド右 脇	①白色小粒多②酸化③明赤褐色
1003	円筒形土 製品 土師質	小片	高 9.5	東辺中央 壁際床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色
1004	円筒形土 製品 土師質	⅓？	高 31.5	カマド	①細砂多②酸化③橙色④支脚に転用
1005	甑 土師質	口縁部 小片	口 29.3 高 7.9 底 －	カマド	①黒色小粒多②酸化③鈍い黄橙色

4区第2号住居跡

1042	蓋 須恵器	略完	口 13.8 高 2.4 ツマミ 3.0	南東寄床 面	①黒色小粒②還元③灰白色④口唇部磨滅

4区第3号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1040	高台付椀 須恵器	⅔	口 11.5 高 4.6 底 7.1	南西隅床 面	①細砂②還元③オリーブ黒色
1041	杯 土師質	½	口 (10.1) 高 3.2 底 5.5	北西隅床 面	①細砂②酸化③橙色

4区第4号住居跡

1026	高台付椀 土師質	⅔	口 15.0 高 5.0 底 (7.0)	カマド右 前床面	①砂粒②酸化③淡黄色
1027	高台付椀 須恵器	底部	口 － 高 (4.2) 底 4.8	カマド右 前床面	①細砂②酸化気味③灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1028	杯 土師質	½	口 10.6 高 3.0 底 5.0	カマド	①砂粒多②酸化③淡黄色
1029	羽釜 土師質	口縁部	口 18.8 高 (8.2) 底 —	中央床面	①砂粒②酸化③淡黄色・オリーブ灰色

4区第6号住居跡

0912	高台付椀 土師質	¼	口 (10.1) 高 5.3 底 (7.2)	中央南寄床面	①細砂②酸化③褐色

4区第7号住居跡

0837	高台付椀 土師器	略完	口 11.0 高 9.0 底 9.2	カマド右脇床直上	①精良②酸化③淡黄色④古い片口状の割
0838	高台付椀 灰釉陶器	½	口 15.4 高 4.9 底 8.0	カマド左前床直上	①精良②還元③灰黄色
0839	杯 土師質	略完	口 10.0 高 3.8 底 4.6	南西辺中央フク土	①砂粒多②酸化③橙色

4区第8号住居跡

0682	鏃 鉄製	先端部	遺存長 3.9 最大幅 1.1	北東寄床面	④0683と接合しない
0683	鏃 鉄製	茎？	遺存長 7.3 断面0.5角	北東隅フク土	
0836	杯 土師器	⅓	口 9.0 高 2.2 底 4.8	カマド前床面	①黒色小粒多②酸化③灰白色

4区第9号住居跡

0690	高台付椀 土師質	⅔	口 10.5 高 4.0 底 6.8	北西隅床面	①細砂②酸化③鈍い橙色④高台剝
0691	高台付椀 土師質	高台欠	口 14.8 高 (6.2) 底 —	北西隅床面	①細砂多②酸化③鈍い橙色
0692	羽釜 土師質	口縁部 ～体部	口 18.3 高 (20.2) 底 —	北西隅床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④胴21.6

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0693	羽釜 土師質	口縁部 ～体部 ⅓	口 (22.0) 高 (18.3) 底 －	北西隅床面	①砂粒②還元③鈍い黄橙色④胴23.2

4区第11号住居跡

0913	羽釜 土師質	口縁部	口 21.6 高 (6.7) 底 －	カマド内	①細砂多②酸化気味の還元③淡黄色

4区第12号住居跡

0914	杯 土師器	⅓	口 15.1 高 (3.7) 底 －	東辺北寄壁際床面	①褐色粒②酸化③橙色

4区第13号住居跡

1045	杯 須恵器	略完	口 10.0 高 3.3 底 ●	西辺北寄壁際床面	①砂粒②還元③灰色
1046	杯 土師器	¾	口 11.1 高 3.7 底 ●	カマド前床面	①細砂②酸化③橙色
1047	杯 土師器	略完	口 11.3 高 3.5 底 ●	南辺東寄床面	①細砂②酸化③橙色
1048	杯 土師器	略完	口 13.2 高 4.5 底 ●	南辺東寄壁際床面	①細砂②酸化③橙色
1049	杯 土師器	¾	口 12.7 高 4.0 底 ●	南辺東寄床面	①細砂②酸化③橙色
1050	杯 土師器	¾	口 10.3 高 3.2 底 ●	カマド内	①細砂②酸化③橙色

4区第14号住居跡

1051	杯 土師器	⅔	口 11.8 高 4.4 底 ●	南西中央床面	①細砂②酸化③橙色
1052	杯 土師器	略完	口 11.9 高 4.2 底 ●	貯蔵穴	①褐色粒②酸化③橙色
1053	杯 土師器	¾	口 12.6 高 4.4 底 ●	カマド右脇壁際床面	①褐色粒②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1054	甕 土師器	⅔	口 21.0 高 36.0 底 4.0	西辺カマド前床面	①砂粒多②酸化③淡黄色④胴18.4
1055	甕 土師器	口縁部	口 17.0 高 8.6 底 －	南西隅床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1056	甕 土師器	口縁部 小片	口 11.0 高 (10.0) 底 －	南西部ピット内	①砂粒多②酸化③淡黄色
1057	支脚？	完形	長 28.5 高 11.5	西辺カマド前床面	③白灰色④軽石(二ツ岳)，重さ2.09kg
1058	紡錘車 滑石製品	完形	径 4.4 孔 0.6 高 1.2	掘形	③暗青灰色④重さ32.4g

4区第15号住居跡

0921	甕 土師質	口縁部 ～体部	口 30.1 高 22.4 底 －	カマド	①砂粒②酸化③黒褐色④胴31.5

4区第16号住居跡

0924	高台付椀 土師質	¼	口 (11.1) 高 5.6 底 (5.4)	中央北東寄床面	①細砂②酸化③黄灰色

4区第17号住居跡

1059	杯 須恵器	略完	口 13.5 高 4.0 底 8.2	南東寄床面	①砂粒②還元③灰色
1060	高台付杯 須恵器	¼	口 (12.0) 高 4.6 底 (7.3)	南東寄床面	①精良②還元③灰色
1061	杯 土師器	⅕	口 (16.5) 高 5.0 底 ●	南東寄床面	①白色粒，細砂②酸化③橙色
1062	甕 土師器	口縁部	口 (23.1) 高 (6.5) 底 －	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③橙色

4区第18号住居跡

0897	杯 土師質	¾	口 14.2 高 14.8 底 6.1	北辺東寄壁際	①細砂多②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0898	円筒形土製品？ 土師質		口 － 高 10.4 底 －	南辺中央床面	①細砂②酸化③灰黄色④埴輪？

4区第19号住居跡

0829	杯 土師質	略完	口 9.5 高 2.4 底 5.9	北辺西寄床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0830	椀 灰釉陶器	口縁部	口 (14.4) 高 (4.8) 底 －	中央東寄床面	①精良②還元③灰白色
0831	甕 須恵器	底部片	口 － 高 (18.4) 底 －	カマド前床面	①白色粒②還元③暗灰色

4区第21号住居跡

0929	杯 土師器	¾	口 10.5 高 3.4 底 ●	南東ピット内	①細砂②酸化③橙色
0930	杯 土師器	¼	口 (10.6) 高 (3.7) 底 ●	中央北寄床面	①細砂②酸化③橙色
0931	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (17.9) 高 (13.9) 底 －	カマド	①細砂多②酸化③橙色④胴16.0
0932	甕 須恵器	口唇部	口 (17.8) 高 － 底 －	カマド前床面	①精良②還元③褐灰色
0933	蓋 須恵器	¼	口 (19.5) 高 (3.0) ツマミ －	フク土	①砂粒②還元③灰色

4区第22号住居跡

0953	高台付皿 灰釉陶器	¼	口 (14.4) 高 2.7 底 (8.2)	南辺中央壁際床面	①精良②還元③灰黄色

4区第23号住居跡

1016	杯 土師器	⅓	口 15.5 高 5.3 底 8.9	カマド左袖・カマド内	①細砂②酸化③橙色
1017	杯 土師器	⅔	口 15.0 高 4.6 底 8.2	南辺東寄床面	①細砂②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1018	杯 須恵器 拓	⅓	口 3.0 高 3.6	カマド前床面	①黒色粒多②還元③灰色
1019	蓋 須恵器	¾	口 13.5 高 2.2 ツマミ 3.0	カマド右袖前フク土	①白色小粒②還元③灰白色
1020	甕 土師器	½	口 25.4 高 11.7 底 ●	カマド内	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色

4区第24号住居跡

1030	高杯 土師器	略完	口 14.2 高 10.4 底 9.7	カマド	①精良②酸化③極暗赤褐色④支脚
1031	杯 土師器	⅓	口 (12.7) 高 4.9 底 —	カマド掘形	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色

4区第29号住居跡

0885	高台付椀 黒色土器	⅓	口 15.2 高 6.1 底 7.5	北西寄床面	①細砂②酸化③鈍い黄橙色
0886	高台付椀 黒色土器	略完	口 9.6 高 5.1 底 5.8	北西寄床面	①細砂②還元③浅黄橙色
0887	高台付椀 内黒土器	略完	口 9.4 高 4.9 底 5.2	中央床面	①細砂②酸化③鈍い黄橙色
0888	杯 土師器	⅓	口 8.0 高 2.1 底 (4.0)	カマド内	①細砂②酸化③浅黄橙色
0889	杯 土師器	¼	口 (10.0) 高 1.3 底 (7.0)	中央床面	①細砂②酸化③橙色

4区第30号住居跡

0684	刀子又は 鏃 鉄製品	茎	遺存長4.8	北辺中央床面	④断面略方形
0915	蓋 須恵器	小片	口 (13.0) 高 (4.4) ツマミ —	北辺中央壁際床面	①砂粒②還元③灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0916	杯 土師器	小片	口 (10.7) 高 (3.4) 底 ●	カマド右 前床面	①細砂②酸化③橙色
0917	杯 土師器	完形	口 11.2 高 3.6 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③橙色
0918	杯 土師器	¾	口 (17.7) 高 (5.6) 底 ●	カマド左 脇床面	①精良②酸化③橙色
0919	甕 土師器	略完	口 12.8 高 13.3 底 ●	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③橙色④胴15.6
0920	甕 土師器	⅔	口 21.3 高 39.1 底 −	カマド・ カマド前	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴16.4
0959	高杯 土師器	脚部	口 − 高 (17.7) 脚 14.7	カマド (正立)	①細砂②酸化③鈍い黄橙色④支脚
0960	甕 土師器	口縁部	口 22.8 高 (12.7) 底 −	カマド前 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い黄褐色

4区第32号住居跡

0882	杯 土師器	⅓	口 (9.3) 高 2.0 底 5.2	カマド左 脇床直上	①細砂②酸化③鈍い黄橙色
0883	杯 土師器	⅓	口 (9.5) 高 1.1 底 5.7	フク土	①褐色粒，細砂少②酸化③橙色
0884	模造品 滑石製		長 2.9 幅 1.3	フク土	③オリーブ灰色，重さ2.4g，剣形，単孔

4区第33号住居跡

0862	椀 灰釉陶器		口 16.4 高 (5.5) 底 −	中央床面	①精良②還元③灰白色
0863	剝片 滑石		長 5.0 幅 4.15 厚 1.5	カマド	③灰白色④滑石，重さ46.0g

4区第34号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0857	甕 土師器	口縁部	口 (22.5) 高 (6.0) 底 －	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色
0858	杯 土師質	¾	口 9.0 高 2.1 底 4.5	南西隅床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0859	杯 土師質	¾	口 9.5 高 2.7 底 5.4	南辺中央床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0860	杯 土師質	⅓	口 9.2 高 2.2 底 5.0	南西隅床面	①小石，細砂②酸化③赤橙色
0861	杯 土師質	略完	口 9.0 高 2.1 底 4.6	西辺中央壁際フク土	①褐色粒②酸化③明赤褐色

4区第35号住居跡

0894	杯 土師器	¼	口 13.6 高 3.6 底 ●	Aカマド右脇床面	①砂粒②酸化③黄灰色
0895	甑 土師器	口縁部	口 (29.0) 高 (10.4) 底 －	Aカマド	①砂粒②酸化③黄灰色
0896	甕 土師器	½	口 21.0 高 33.0 底 6.0	中央床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い橙色④胴30.0

4区第36号住居跡

0903	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 (14.0) 底 －	中央床面	①砂粒②酸化③橙色
0904	杯 土師器	口縁部	口 15.0 高 (4.5) 底 －	北西隅床面	①細砂②酸化③橙色

4区第37号住居跡

0852	高台付椀 土師質	⅔	口 9.3 高 3.6 底 5.5	北辺中央フク土	①細砂②酸化③鈍い橙色
0853	杯 土師質	略完	口 9.0 高 2.0 底 5.0	北東隅フク土	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0854	杯 土師質	完形	口 9.1 高 1.4 底 6.0	カマド	①精良，褐色粒②酸化③鈍い橙色
0855	甕 土師器	口縁部	口 (28.5) 高 (13.5) 底 －	カマド	①砂粒②酸化③暗赤褐色④胴30.3

4区第38号住居跡

0954	杯 土師器	小片	口 (12.1) 高 (5.8) 底 －	カマド	①褐色粒②酸化③橙色

4区第40号住居跡

0909	杯 土師器	⅓	口 12.6 高 4.7 底 ●	中央北寄 床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0910	杯 土師器	½	口 12.6 高 3.9 底 ●	中央北寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④内黒
0911	杯 土師器	⅓	口 13.5 高 4.6 底 ●	北東寄床 面・中央 南寄床面	①砂粒②酸化③橙色

4区第41号住居跡

0905	蓋 須恵器	ツマミ	ツ径 4.8 高 (1.6)	南辺中央 壁際床面	①白色小粒②還元③灰色
0906	甕 須恵器	口縁部	口 15.0 高 (5.6) 底 －	中央南寄 床面	①白色小粒②還元③灰色
0907	甕 土師器	略完	口 22.9 高 35.3 底 5.0	カマド・ カマド前	①砂粒多②酸化③橙色④胴20.5
0908	甕 土師器	¾	口 21.0 高 (31.6) 底 －	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③黄橙色④胴19.0

4区第43号住居跡

0899	杯 土師器	¼	口 12.1 高 6.0 底 ●	南東壁際 床面	①褐色粒，細砂②酸化③赤橙色
0900	模造品 滑石製	略完	長 4.8 幅 2.5	北辺西寄 壁際床面	④重さ12.7g，剣形，単孔

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0901	模造品 滑石製	略完	長 3.8 幅 1.9	北辺西寄 壁際床面	③灰色④重さ5.0g，剣形，単孔
0902	甕 土師器	口縁部	口 18.1 高 (6.1) 底 －	北東隅床 面 口唇部下	①砂粒②酸化③橙色

4区第4 4号住居跡

0890	杯 土師器	略完	口 13.6 高 4.8 底 ●	南辺中央 床面	①褐色粒，細砂②酸化③暗赤褐色
0891	杯 土師器	⅓	口 (13.2) 高 6.5 底 ●	中央南寄 床面	①精良②酸化③赤褐色
0892	杯 土師器	口縁部 小片	口 12.4 高 (6.3) 底 －	中央南西 寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0893	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 12.4 高 (6.3) 底 －	カマド・ カマド左 袖脇	①細砂②酸化③橙色

4区第4 5住居跡

0922	杯 土師質 (高台？)	完形	口 9.5 高 2.6 底 6.7	北辺東寄 壁際床面	①褐色粒，細砂②酸化③灰黄褐色
0923	杯 土師質	⅔	口 (8.5) 高 1.95 底 5.2	北辺東寄 床面	①細砂②酸化③鈍い橙色

4区第5 4号住居跡

0685	刀子 鉄製	略完 木質遺存	全長 11.0 刃長 4.3 幅 0.9	中央東寄 床面	
0809	杯 土師器	略完	口 12.6 高 4.2 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③橙色
0810	杯 土師器	½	口 (12.1) 高 (3.2) 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③橙色
0811	杯 土師器	½	口 (10.0) 高 (3.4) 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0813	提瓶 須恵器	体部	口 － 高 (22.0) 底 ●	南辺中央壁際床面	①精良，細砂②酸化気味③灰色
0814	壺 土師器	½	口 (7.5) 高 6.6 底 ●	中央南寄床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色④胴9.2
0815	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (11.0) 高 7.1 底 －	中央南寄床面	①細砂②酸化③橙色④胴14.6

4 区第５５号住居跡

0816	杯 土師器	完形	口 11.3 高 3.7 底 ●	中央西寄床面	①精良②酸化③橙色
0817	杯 土師器	完形	口 11.6 高 4.6 底 ●	カマド左脇床面	①精良②酸化③橙色
0818	杯 土師器	略完	口 12.3 高 4.6 底 ●	カマド左脇床面	①細砂②酸化③橙色
0819	杯 土師器 内黒	完形	口 11.4 高 4.9 底 ●	カマド左壁	①細砂②酸化③淡黄色
0820	台付壺 須恵器	略完	口 7.6 高 10.0 底 9.4	カマド左脇床面	①白色小粒②酸化気味③鈍い橙色
0821	壺 須恵器	完形	口 10.0 高 11.9 底 ●	北東隅床面	①細砂②還元③灰白色④胴13.8
0822	提瓶 須恵器	略完	口 9.8 高 24.15 底 ●	中央南西寄床面	①砂粒②還元③灰白色
0823	甕 須恵器	体部片	口 － 高 22.5 底 ●	東辺北寄床面	①細砂②還元③褐灰色
0824	壺 土師器	⅔	口 12.2 高 (19.1) 底 －	カマド前床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴17.6
0825	甕 土師器	¾	口 17.4 高 27.2 底 5.5	北寄床直上	①白色粒，砂粒多②酸化③橙色④胴23.5

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0826	甕 土師器	¾	口 (17.0) 高 24.5 底 1.2	北寄床直上	①砂粒多②酸化③暗赤褐色④胴15.0
0827	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 20.5 底 －	カマド・ カマド前	①褐色粒，砂粒多②酸化③明赤橙色④胴16.5
0828	不明 石		長 19.0 幅 11.9 厚 6.1	南辺中央 壁際床面	④重さ806.9g，軽石(二ツ岳)

4区第56号住居跡

0812	蓋 須恵器	⅓	口 12.0 高 5.0 ツマミなし	北西隅床面	①白色小粒②還元③灰色
0832	甕 土師器	½	口 18.0 高 32.5 底 6.0	カマド左 袖先端部	①砂粒，褐色粒②酸化③橙色④胴22.8
0833	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 16.0 高 (16.2) 底 －	カマド左 袖前床面	①細砂②酸化③橙色④胴21.8
0834	杯 土師器	⅕	口 12.6 高 (5.3) 底 ●	カマド左 袖先端部	①褐色粒，細砂②酸化③橙色④内面暗文
0835	高杯 土師器	⅓	口 17.0 高 (10.8) 底 －	南西隅床面	①褐色粒②酸化③橙色④暗文

4区第57号住居跡

0710	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 22.0 高 (30.0) 底 －	カマド右 袖前床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴17.8

4区第58号住居跡

0708	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 22.8 高 (26.0) 底 －	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴22.2
0709	甕 土師器	口縁部 小片	口 (23.2) 高 4.6 底 －	北東隅床面	①褐色粒②酸化③橙色

4区第59号住居跡

0699	杯 土師器	略完	口 13.2 高 4.0 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0700	蓋 須恵器	¾	口 12.6 高 4.5 ツマミなし	南東隅床面	①砂粒少②還元③オリーブ灰色
0701	杯 土師器	⅔	口 14.8 高 4.7 底 ●	カマド右前床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0702	杯 土師器	小片	口 12.0 高 4.3 底 ●	カマド前床面	①褐色粒②酸化③橙色
0703	杯 土師器	¾	口 11.8 高 4.4 底 ●	カマド右脇床面	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い橙色
0704	杯 土師器	¼	口 11.5 高 4.3 底 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③灰白色
0705	杯 須恵器	口縁部 小片	口 (12.5) 高 (2.8) 底 ●	南辺東寄壁際床面	①砂粒②還元③灰白色
0706	甕 土師器	½	口 15.8 高 18.7 底 ●	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③灰白色④胴18.0
0707	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 20.4 高 16.5 底 －	カマド右前床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴16.5

4 区第 6 0 号住居跡

0694	杯 土師器	完形	口 10.6 高 5.2 底 ●	南辺中央東寄壁際	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0695	杯 土師器	¾	口 (13.8) 高 5.5 底 ●	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い橙色
0696	台付甕 土師器	台部欠	口 12.4 高 (13.7) 底 －	南辺中央床面・カマド	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴12.7
0697	甑 土師器	¾	口 15.6 高 13.2 底 3.7	南辺中央床面・カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④鉢形
0698	甕 土師器	口縁部 小片	口 (22.4) 高 8.8 底 －	カマド・カマド前床面	①砂粒多②酸化③浅黄色

4区第62号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0796	杯 土師器	¼	口 11.0 高 6.1 底 ●	北東寄床面	①精良②酸化③黒褐色
0797	杯 土師器	⅓	口 13.5 高 (5.5) 底 －	北東寄床面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0798	甕 土師器	口縁部	口 (17.0) 高 (8.0) 底 －	東辺壁際床面	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

4区第63号住居跡

0799	杯 土師器	¾	口 13.7 高 4.9 底 ●	北東寄床面	①細砂②酸化③橙色
0800	杯 土師器	⅓	口 (12.0) 高 3.5 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③灰褐色

4区第65号住居跡

0801	杯 土師器	⅓	口 (14.1) 高 6.2 底 ●	南辺中央壁際床面	①砂粒②酸化③橙色
0802	甕 土師器	⅓	口 (12.3) 高 (7.7) 底 －	北辺中央床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴14.0
0803	丸胴甕 土師器	⅔	口 (22.5) 高 33.2 底 ●	カマド左前床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴30.4

4区第68号住居跡

0711	杯 土師器	¾	口 12.6 高 4.3 底 ●	南辺東寄壁際床面	①細砂②酸化③橙色
0712	杯 土師器	⅔	口 13.4 高 4.3 底 ●	中央南寄床面	①細砂②酸化③橙色
0713	杯 土師器	½	口 17.0 高 6.2 底 ●	南辺東寄壁際床面	①精良②酸化③橙色
0714	台付甕 土師器	台部	口 － 高 (7.0) 底 12.6	中央北西寄床面	①細砂②酸化③淡橙色

4区第70号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0715	杯 土師器	¾	口 11.9 高 4.4 底 ●	カマド左前床面	①細砂②酸化③橙色
0716	杯 土師器	½	口 12.3 高 3.9 底 ●	中央北西寄床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0717	杯 土師器	¼	口 (14.0) 高 (3.9) 底 (10.5)	カマド・中央北東寄床面	①精良②酸化③黒褐色
0718	蓋 須恵器	¼	口 (14.5) 高 (3.7) ツマミ －	中央南寄床面	①砂粒少②還元③灰色
0719	杯 須恵器	¼	口 (12.5) 高 － 底 －	北辺中央床面	①白色粒②還元③灰色
0720	甕 土師器	口縁部	口 10.4 高 4.2 底 －	中央北西寄床面上	①精良②酸化③橙色
0721	台付甕 土師器	台部 ½	口 － 高 (6.3) 底 (14.9)	カマド	①砂粒②酸化③橙色

4区第71号住居跡

0722	管玉	完形	長 2.9 径 0.75	北東ピット北側床面	③暗緑灰色④重さ2.4g，碧玉？
0952	杯 土師器	⅓	口 (14.0) 高 (4.0) 底 －	中央北寄床面	①褐色粒②酸化③暗赤褐色

4区第72号住居跡

0950	杯 土師器	¾	口 12.2 高 4.1 底 ●	貯蔵穴・カマド	①精良②酸化③橙色
0951	紡錘車 滑石製	完形	長 3.4 幅 3.5 厚 1.3	西辺北寄床面	③暗青灰色④重さ29.4g

4区第73号住居跡

0723	杯 土師器	½	口 13.4 高 4.8 底 ●	中央北西寄床面	①砂粒②酸化③赤色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0724	杯 土師器	略完	口 13.2 高 5.9 底 ●	貯蔵穴内	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0725	杯 土師器	口縁部 小片	口 (13.1) 高 (4.0) 底 ●	カマド右脇壁際床面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0726	杯 土師器	口縁部 小片	口 (13.0) 高 (4.7) 底 ●	東辺中央床面	①精良②酸化③鈍い赤褐色
0727	甕 土師器	略完	口 15.7 高 20.5 孔 5.2	東辺中央床面	①砂粒②酸化③橙色④胴16.7
0728	甕 土師器	口縁部	口 20.6 高 6.5 底 —	貯蔵穴内	①白色粒②酸化③灰黄色
0729	甕 土師器	底部	口 — 高 9.7 底 (9.5)	東辺南寄壁際床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色

4区第74号住居跡

0934	杯 土師器	略完	口 11.3 高 4.3 底 ●	東辺北寄壁際床直上	①細砂②酸化③浅黄橙色
0935	杯 土師器	½	口 11.2 高 4.3 底 ●	東辺北寄壁際床直上	①細砂②酸化③橙色
0936	甕 土師器	口縁部	口 (9.5) 高 (5.7) 底 —	中央南寄床面	①精良②酸化③橙色
0937	甕 土師器	底部欠	口 22.1 高 (36.2) 底 —	カマド	①砂粒多②酸化③橙色④胴17.7

4区第75号住居跡

0730	甕 土師器	底部	口 — 高 19.7 底 6.1	カマド	①褐色粒，砂粒多②酸化③明赤褐色

4区第76号住居跡

0731	杯 土師器	⅕	口 13.0 高 4.4 底 ●	北辺東寄壁際床面	①褐色粒，精良②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0732	甕 須恵器	頸部 ～体部	口 － 高 (9.2) 底 －	北東寄床面	①精良②還元③灰色④口縁部打欠？

4区第77号住居跡

0804	杯 土師器	略完	口 12.6 高 4.6 底 ●	北東寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色

4区第78号住居跡

1362	深鉢	口頸部 ～体部	中央床面	①繊維③橙色④ＲＬ・ＬＲの附加条１種，黒浜，胴29.5
1363	深鉢	胴下半部～ 底部	中央北寄床面	①繊維③鈍い褐色④黒浜
1364	深鉢	口縁部 小片	中央床面	①繊維③褐色④ＲＬ，黒浜
1365	深鉢	口縁部 小片	中央東寄床面	①繊維③鈍い黄褐色④コンパス爪形ＲＬ，黒浜
1366	深鉢	口縁部 小片	フク土	①繊維③オリーブ黒色④コンパス，ＲＬ，黒浜
1367	深鉢	体部	中央北寄床面	①繊維③鈍い黄色④ＲＬ・ＬＲ羽状縄文，附加条１種，黒浜
1368	深鉢	体部	中央東寄 床面	①繊維③黒褐色④ＬＲ，黒浜
1369	剥片石器		南隅床面	④黒色頁岩
1370	すり石		フク土	④粗粒安山岩，長15.0，幅4.3，厚4.0

4区第80号住居跡

1044	不明 石	略完	長 28.5 幅 16.0 厚 6.2	北西寄床面	④輝緑岩，重さ3.9kg

4区第81号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0805	甕 土師器	略完	口 23.2 高 35.0 底 4.1	南東隅床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴19.0
0806	杯 土師器	⅔	口 17.7 高 7.9 底 －	南東寄フク土	①精良②酸化③橙色
0807	砥石？		長 23.2 幅 14.3 厚 10.0	北寄床面	③灰白色④軽石(二ツ岳)，重さ15.2kg
0808	砥石？		長 21.0 幅 16.2 厚 8.0	北寄床面	③灰白色④軽石(二ツ岳)，重さ15.1kg

4区第84号住居跡

1523	杯 土師器	完形	口 11.5 高 3.8 底 ●	土層断面内床面	①細砂②酸化③黄橙色
1524	高杯 土師器	脚部欠	口 19.5 高 (6.4) 底 －	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

4区第85号住居跡

1068	甕 土師器	¾	口 11.0 高 9.7 底 ●	南東隅床面	①褐色粒，砂粒②酸化③赤色④胴12.1
1069	甕 土師器	底部欠	口 19.9 高 (26.3) 底 －	中央フク土	①砂粒多②酸化③鈍い黄橙色④胴19.3
1070	杯 土師器	略完	口 12.8 高 5.3 底 ●	フク土	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色

4区第86号住居跡

1371	深鉢	体部小片	－	フク土	③明赤褐色④爪形文，ＲＬ，諸磯ａ
1372	深鉢	体部小片	－	フク土	③鈍い赤褐色④沈線刻み，Ｌｒ，諸磯ｂ
1373	深鉢	体部小片	－	表土	③灰白色④沈線刻み，ＲＬ，諸磯ｂ

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1374	打製石斧	完形	長 11.4 幅 4.5 厚 2.3	南東隅ピット内	④変質蛇紋岩，重さ191.1g
1375	打製石斧	完形	長 15.2 幅 4.9 厚 2.2	南東隅ピット内	④黒色頁岩，重さ177.2g
1376	打製石斧	完形	長 9.8 幅 5.2 厚 1.3	南東隅床面	④珪質頁岩，重さ70.7g
1377	石匙	完形	長 3.5 幅 5.4 厚 0.7	フク土	④黒色頁岩，重さ12.7g
1378	剝片石器	－	長 7.3 幅 4.3 厚 1.2	南東寄床面	④黒色頁岩，重さ27.8g
1379	剝片石器	－	長 7.0 幅 6.7 厚 1.5	中央床面	④黒色頁岩，重さ60.6g
1380	すり石	完形	長 15.1 幅 4.1	東辺南寄壁際床面	④黒色頁岩，重さ266.9g
1381	すり石	完形	長 12.1 幅 5.8 厚 3.7	フク土	④粗粒安山岩，重さ402.2g
1382	すり石	完形	長 7.2 幅 6.9 厚 4.9	中央北寄床面	④粗粒安山岩，重さ274.0g
1383	多孔石	完形	長 31.9 幅 28.1 厚 9.2	東辺寄床面	④粗粒安山岩，重さ11.1kg
1384	多孔石	完形	長 27.6 幅 26.0 厚 7.4	北東隅床面	④粗粒安山岩，重さ8.3kg
1385	多孔石	完形	長 41.5 幅 26.0 厚 15.0	南東寄床面	④粗粒安山岩，23.1kg

4区第101号住居跡

1071	甕 土師器	略完	口 23.6 高 41.8 底 2.8	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴17.4

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1072	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (23.0) 高 (42.0) 底 (3.8)	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴16.6
1073	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 19.9 高 (19.8) 底 －	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴15.3

4区第102号住居跡

0995	杯 土師器	略完	口 10.6 高 3.6 底 ●	中央床面	①白色粒②酸化③明赤褐色

4区第103号住居跡

0996	甕 土師器	¾	口 19.4 高 32.3 底 4.5	南辺西寄 床面	①白色粒多②酸化③赤色④胴17.5
0997	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 18.7 高 (21.4) 底 －	南東隅 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴32.0
0998	杯 土師器	略完	口 12.5 高 3.8 底 ●	南東隅床 面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色

4区第104号住居跡

0999	甑 土師器	½	口 17.9 高 11.6 孔 3.3	南東柱穴 内	①砂粒②酸化③鈍い黄橙色
1525	甑 土師器	⅓	口 24.1 高 34.7 孔 10.2	南東柱穴 内	①砂粒多②酸化③黄橙色④胴20.8

4区第105号住居跡

0991	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (20.0) 高 17.7 底 －	南辺西寄 床面	①砂粒多，小石②酸化③鈍い褐色④胴17.6

4区第106号住居跡

1035	甕 土師器	底部欠	口 (20.1) 高 34.1 底 －	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴18.0
1036	甕 土師器	底部欠	口 20.3 高 (34.7) 底 －	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴17.3

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1037	甕 土師器	口縁部	口 23.3 高 (9.0) 底 —	カマド前床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
1038	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (15.5) 高 (10.7) 底 —	カマド前床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④胴19.0
1039	甕 土師器	底部欠	口 15.9 高 (17.3) 底 —	北東寄床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴16.0

4区第107号住居跡

1008	杯 土師器	⅓	口 (15.6) 高 5.6 底 —	カマド周辺	①細砂②酸化③橙色④高杯？

4区第109号住居跡

1074	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (16.1) 高 (17.3) 底 —	カマド左脇床面	①白色粒，砂粒多②酸化③浅黄色④胴16.5

4区第110号住居跡

1006	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 12.1 高 (8.4) 底 —	東辺北寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い赤褐色
1007	模造品 滑石製	完形	長 2.5 幅 1.0 厚 0.5	中央溝内	③灰白色④重さ2.7g，両面穿孔，曲玉形

4区第111号住居跡

0686	鏃 鉄製	茎	遺長 11.6 外径 0.8～1.1	フク土	④中空
1009	杯 土師器	完形	口 10.6 高 3.0 底 ●	北西寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
1010	杯 土師器	½	口 (12.2) 高 3.1 底 ●	カマド・フク土	①細砂②酸化③橙色
1011	杯 須恵器	½	口 11.0 高 4.2 底 ●	北西寄床面	①細砂②還元③灰色
1012	皿 須恵器	¼	口 25.8 高 (4.9) 底 —	北東隅床面	①白色小粒②還元③オリーブ灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1013	皿 須恵器	⅙	口 23.0 高 (3.6) 底 －	北東隅床面	①褐色粒②還元③鈍い黄橙色
1014	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 23.4 高 (17.2) 底 －	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴18.3
1015	甕 土師器	口縁部	口 20.8 高 (6.0) 底 －	カマド前床面	①砂粒②酸化③赤褐色

4区第112号住居跡

1024	杯 須恵器	略完	口 12.0 高 3.3 底 7.2	カマド右袖脇	①褐色粒，砂粒②還元③灰色
1025	杯 土師器	小片	口 19.2 高 (3.5) 底 －	中央南東寄床面	①細砂②酸化③橙色

4区第113号住居跡

1075	杯 土師器	½	口 13.2 高 (5.4) 底 －	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
1076	高杯 土師器	⅔	口 14.5 高 10.2 底 9.3	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1077	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (20.0) 高 (15.9) 底 －	北西寄床面	①砂粒多②酸化③浅黄色④胴21.1

4区第114号住居跡

0992	杯 土師器	⅔	口 12.4 高 5.6 底 ●	カマド・フク土	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色
0993	甑 土師器	体部 ～底部	口 － 高 (18.0) 底 8.3	南辺中央壁際床面	①砂粒②酸化③橙色④単孔
0994	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 16.0 高 (18.0) 底 －	中央北寄床面	①砂粒②酸化③橙色④胴17.6

4区第117号住居跡

1078	杯 土師器	小片	口 (21.9) 高 (7.6) 底 －	カマド右脇床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い橙色

4区第１１９号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1079	杯 土師器	略完	口 12.3 高 5.0 底 ●	東辺中央 床面	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色
1080	甑 土師器	略完	口 25.4 高 23.9 孔 9.3	東辺中央 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴21.8
1081	甕 土師器	底部欠	口 20.3 高 (30.8) 底 －	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③灰白色④胴20.0

4区第１２０号住居跡

1032	杯 須恵器	½	口 13.0 高 3.2 底 (7.3)	カマド内	①白色小粒②還元③灰色
1033	甕 土師器	体部 ～底部	口 － 高 (8.7) 底 ●	南辺東寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴14.3
1034	甕 土師器	底部	口 － 高 9.7 底 ●	カマド右 脇前	①細砂多②酸化③橙色

4区第１２１号住居跡

1043	杯 土師器	¼	口 (14.8) 高 (7.1) 底 ●	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色

4区第１２２号住居跡

1082	蓋 須恵器	⅓	口 14.0 高 (5.2) ツマミ －	カマド右 脇床面	①白色粒②還元③灰色
1083	高杯 土師器	略完	口 14.7 高 － 底 9.6	カマド・ カマド前	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1084	高杯 土師器	杯部	口 14.6 高 (6.0) 底 －	カマド右 脇床面	①褐色粒②酸化③橙色
1085	杯 土師器	小片	口 (13.9) 高 (4.5) 底 －	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
1086	甕 土師器	小片	口 (10.8) 高 (8.4) 底 －	カマド	①砂粒多②酸化③灰褐色④胴11.8

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1087	甕 土師器	略完	口 16.0 高 31.5 底 5.6	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄橙色④胴20.5
1088	甕 土師器	底部欠	口 18.1 高 28.0 底 －	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴21.7

4区第１２７号住居跡

0955	杯 須恵器	略完	口 11.4 高 3.4 底 ●	貯蔵穴	①白色粒②還元③灰色
0956	杯 土師器	略完	口 11.8 高 3.9 底 ●	貯蔵穴	①細砂②酸化③橙色
0957	杯 土師器	完形	口 10.8 高 4.2 底 ●	貯蔵穴	①精良②酸化③橙色
0958	甕 須恵器	口縁部	口 15.5 高 (3.7) 底 －	貯蔵穴	①白色粒②還元③灰色

4区第１２８号住居跡

0938	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.3 底 ●	カマド	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0939	杯 土師器	略完	口 14.2 高 4.9 底 ●	カマド・ 甕下	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0940	杯 土師器	略完	口 13.1 高 5.0 底 ●	カマド焚 口	①褐色粒，砂粒②酸化③暗赤褐色
0941	杯 土師器	略完	口 13.8 高 5.4 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒，細砂粒②酸化③橙色
0942	杯 土師器	完形	口 11.8 高 4.9 底 ●	カマド左 袖基部	①褐色粒②酸化③橙色
0943	杯 土師器	完形	口 11.8 高 5.4 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒②酸化③赤褐色
0944	杯 土師器	完形	口 12.2 高 5.2 底 ●	カマド右 脇床面・ 甑下	①細粒②酸化③暗赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0945	高杯 土師器	略完	口 14.0 高 9.9 底 8.7	カマド中央(倒立)	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0946	高杯 土師器	裾部欠	口 17.8 高 (14.2) 底 －	カマド左脇床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0947	甕 土師器	底部欠	口 13.3 高 13.3 底 －	カマド中央やや上	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴14.0
0948	甕 土師器	完形	口 17.5 高 30.9 底 6.7	カマド中央(正立)	①砂粒②酸化③鈍い橙色④胴21.5
0949	甑 土師器	略完	口 21.6 高 24.55 孔 9.0	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③橙色④胴19.4

4区第129号住居跡

1021	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.6 底 ●	中央南西寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1022	甕 土師器	口縁部	口 23.1 高 8.9 底 －	南東隅床面	①砂粒②酸化③鈍い黄橙色
1023	甕 土師器	完形	口 15.5 高 14.9 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③橙色④胴17.2

4区第130号住居跡

0864	杯 土師器	略完	口 13.5 高 5.2 底 ●	南辺中央床面	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色
0865	杯 土師器	略完	口 13.5 高 5.4 底 ●	カマド右袖前床面	①褐色粒，細砂②酸化③明褐色
0866	杯 土師器	完形	口 13.2 高 5.2 底 ●	南辺中央床面	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0867	杯 土師器	略完	口 13.4 高 4.7 底 ●	南辺中央床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0868	杯 土師器	略完	口 13.9 高 5.1 底 ●	南辺西寄床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0869	杯 土師器	完形	口 12.4 高 6.0 底 ●	カマド右脇床面	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い赤褐色
0870	杯 土師器	¼	口 (11.7) 高 5.8 底 ●	カマド	①細砂②酸化③明赤褐色
0871	高杯 土師器	略完	口 13.0 高 8.3 底 8.8	カマド中央(倒立)	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0872	壺 土師器	⅓	口 (9.2) 高 7.9 底 5.8	南辺中央床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0873	甕 土師器	⅔	口 11.7 高 9.8 底 5.5	南辺中央床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④胴11.9
0874	鉢 土師器	略完	口 14.8 高 7.0 底 6.2	カマド右袖脇	①砂粒②酸化③鈍い橙色④体部打欠
0875	甕 土師器	略完	口 11.6 高 12.5 底 (6.7)	カマド中央(倒立)	①細砂②酸化③橙色④胴13.0
0876	甕 土師器	底部欠	口 13.3 高 (13.5) 底 －	カマド左袖先端部(倒立)	①砂粒②酸化③鈍い褐色④胴16.0
0877	甕 土師器	⅓	口 24.0 高 20.0 底 －	北東寄床面	①砂粒多②酸化③明褐色④胴25.1
0878	甕 土師器	⅓	口 14.4 高 (22.1) 底 －	中央床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④胴19.6
0879	壺 土師器	¼	口 13.4 高 6.1 底 6.5	南辺中央床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0880	甕 土師器	口縁部～体部	口 (17.4) 高 18.0 底 －	カマド左袖前床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴21.0
0881	甑 土師器	体部	口 － 高 (11.0) 孔 (7.4)	南辺西寄床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色

4区第135号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1092	杯 土師器	¾	口 13.6 高 40.7 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③橙色
1093	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (19.0) 高 (14.4) 底 －	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い褐色

4区第137号住居跡

1089	杯 土師器	¾	口 11.0 高 4.0 底 ●	東辺北寄 土師器	①細砂②酸化③橙色
1090	杯 土師器	⅔	口 12.1 高 3.7 底 ●	東辺北寄 床面	①砂粒②酸化③橙色
1091	杯 土師器	½	口 (10.2) 高 (3.5) 底 ●	フク土	①細砂②酸化③橙色

4区第138号住居跡

1094	杯 土師器	½	口 (12.5) 高 50.3 底 ●	不明	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1095	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (18.0) 高 8.0 底 －	不明	①細砂②酸化③鈍い橙色

4区第141号住居跡

0849	高杯 土師器	杯部 ⅓	口 (19.0) 高 (3.0) 底 －	貯蔵穴	①砂粒②酸化③橙色

4区第142号住居跡

0850	高杯 土師器	杯部	口 － 高 (1.4) 底 －	北西辺西 寄床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0851	杯 土師器	¼	口 (14.0) 高 (4.3) 底 －	フク土	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色

4区第145号住居跡

0840	杯 土師器	完形	口 10.6 高 5.0 底 ●	南辺西寄 壁際床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0841	杯 土師器	完形	口 12.2 高 4.3 底 ●	北東隅床面	①細砂②酸化③暗灰黄色
0842	杯 土師器	½	口 12.1 高 4.1 底 ●	南辺中央床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0843	高杯 土師器	略完	口 13.6 高 8.9 底 9.9	南西寄床面	①細砂②酸化③橙色
0844	すり鉢 須恵器	略完	口 14.0 高 13.1 底 10.0	中央南寄床面	①精良，白色粒多②還元③暗緑灰色
0845	甕 土師器	略完	口 19.4 高 37.7 底 3.5	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④胴17.2
0846	甕土師器	口縁部 ～体部	口 (21.4) 高 18.0 底 －	中央南寄床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴18.0
0847	甕 土師器	⅓	口 (14.0) 高 16.2 底 (8.4)	北西柱穴内	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴15.0
0848	砥石	完形	長 22.0 幅 9.5	南辺西寄壁際床面	③鈍い黄色④砥沢石，重さ1.76kg

4区第146号住居跡

0982	杯 土師器	½	口 (11.1) 高 6.0 底 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③暗赤褐色
0983	杯 土師器	⅔	口 12.2 高 (6.2) 底 ●	貯蔵穴	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0984	杯 土師器	½	口 14.8 高 7.0 底 ●	カマド右脇床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0985	甕 土師器	½	口 (17.6) 高 28.1 底 (6.6)	カマド	①白色小粒多②酸化③灰黄色④胴22.7
0986	甕 土師器	口縁部	口 15.6 高 (5.5) 底 －	カマド右脇床面	①白色小粒多②酸化③鈍い黄橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0987	甕 土師器	略完	口 22.4 高 30.7 底 8.0	南東隅床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴28.5
0988	甕 土師器	略完	口 17.8 高 29.5 底 7.0	カマド	①砂粒②酸化③橙色④胴22.4
0989	高杯 土師器	裾部欠	口 13.6 高 (7.7) 底 －	フク土	①褐色粒②酸化③橙色

4区第147号住居跡

0925	甑 土師質	口縁部	口 (24.0) 高 (9.5) 底 －	カマド左袖部	①黒色小粒②酸化③鈍い黄橙色④鍔穿孔
0926	羽釜 土師質	口縁部小片	口 (28.6) 高 (7.4) 底 －	カマドフク土	①砂粒②酸化③鈍い褐色
0927	甕 土師質	口縁部	口 28.3 高 (15.1) 底 －	カマド	①砂粒②酸化 ③橙色④胴31.0
0928	甕 土師質	口縁部 ～体部	口 29.0 高 (22.8) 底 －	カマド	①砂粒，小石②酸化③橙色④胴31.0

4区第149号住居跡

1096	模造品 滑石製	完形	幅 (10.0) 厚 0.5	フク土	③灰色④重さ0.8g，白玉
1097	杯 土師器	⅔	口 15.4 高 (6.1) 底 ●	床下	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1098	杯 土師器	¼	口 12.6 高 5.0 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1099	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (16.5) 高 (16.0) 底 －	床下	①白色粒②酸化③暗赤褐色④胴19.4

4区第150号住居跡

1064	杯 須恵器	略完	口 13.0 高 4.3 底 ●	中央北寄床面	①砂粒②酸化③黒褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1065	杯 土師器	完形	口 13.6 高 4.5 底 ●	北東隅床直上	①褐色粒，精良②酸化③鈍い橙色
1066	甕 土師器	口縁部～体部	口 (20.9) 高 (9.5) 底 －	中央北東寄床面	①砂粒，小石②酸化③赤色
1067	甕 土師器	口縁部～体部	口 (26.8) 高 (24.4) 底 －	北東寄床面	①砂粒、小石②酸化③明赤褐色④胴32.0

4区第１５２号住居跡

0856	砥石		長 12.0 幅 9.0 厚 3.9	東辺中央南寄壁際床面	③灰黄褐色④砥沢石，重さ693.5ｇ

4区第１５３号住居跡

1386	深鉢	体部小片	－	中央床面	①繊維③明赤褐色④ＲＬ，黒浜
1387	打製石斧	完形	長 13.8 幅 9.3 厚 3.5	中央東寄フク土	④細粒安山岩，重さ456.0ｇ
1388	石匙	完形	長 5.9 幅 8.0 厚 1.3	中央床面	④黒色頁岩，重さ61.1ｇ
1389	剥片石器	完形	長 3.8 幅 6.4 厚 1.0	南辺中央壁際フク土	④黒色頁岩，重さ20.1ｇ
1390	石匙	先端欠	長 4.5 幅 2.8 厚 0.5	東辺中央壁際床面	④黒色頁岩，重さ8.1ｇ
1391	剥片石器	完形	長 7.1 幅 3.2 厚 1.1	フク土	④黒色頁岩，重さ26.7ｇ
1442	深鉢	胴部小片	－	中央南東寄床面やや上	③鈍い橙色④平行沈線＋円形刺突諸磯ａ

4区第１５４号住居跡

0977	杯 土師器	¼	口 (16.0) 高 8.5 底 ●	カマド前床面	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0978	杯 土師器	¼	口 (11.8) 高 (5.0) 底 −	フク土	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0979	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (19.8) 高 20.0 底 −	カマド・ カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴24.4
0980	甕 土師器	口縁部	口 (19.5) 高 (7.3) 底 −	カマド	①細砂②酸化③鈍い橙色
0981	甑 土師器	⅓	口 22.9 高 20.0 底 9.0	カマド左 袖先端部	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴21.3

4区第155号住居跡

0961	杯 土師器	½	口 14.3 高 3.9 底 ●	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0962	杯 土師器	¼	口 (12.7) 高 4.8 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0963	杯 土師器	略完	口 14.4 高 7.3 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0964	杯 土師器	¾	口 (15.4) 高 7.1 底 ●	南辺中央 壁際床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0965	杯 土師器	⅝	口 16.1 高 (7.6) 底 ●	西辺中央 床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
0966	杯 土師器	小片	口 (12.4) 高 2.9 底 −	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
0967	甕 土師器	略完	口 (16.7) 高 31.5 底 6.5	カマド前 床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色④胴20.0
0968	甕 土師器	略完	口 16.0 高 32.3 底 5.3	カマド前 床面	①砂粒②酸化③暗赤色④胴マド20.0
0969	甕 土師器	略完	口 16.3 高 31.0 底 6.0	カマド前 床面	①褐色粒，細砂②酸化③橙色④胴19.5

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0970	甕 土師器	完形	口 16.0 高 25.0 底 6.5	カマド右脇床面(西側)	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴22.1
0971	甕 土師器	底部欠	口 16.6 高 (26.9) 底 −	カマド右脇床面(東側)	①砂粒少②酸化③暗褐色④胴19.5
0972	甕 土師器	底部欠	口 16.0 高 (23.7) 底 −	カマド前床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴19.9
0973	甕 土師器	口縁部 〜体部	口 18.3 高 (11.9) 底 −	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③鈍い黄橙色
0974	甕 土師器	口縁部	口 14.2 高 (5.5) 底 −	カマド左袖基部脇	①砂粒②酸化③鈍い黄橙色
0975	甕 土師器	口縁部 〜体部	口 16.3 高 (10.0) 底 −	カマド前床面	①細砂②酸化③鈍い黄橙色
0976	甕 土師器	口縁部 ・底部	口 (24.0) 高 (8.4) 底 −	北東床面・北西床面	①細砂②酸化③鈍い褐色④頸部凹線

4区第34号土坑

1100	硯 須恵器	小片	口 (14.6) 高 (1.8)	フク土	①細砂②還元③灰色

4区第88号土坑

0990	蓋 須恵器	¾	口 10.5 高 3.0 ツマミ 1.4	フク土	①白色小粒②還元③灰白色

4区第144号土坑

1418	深鉢	⅙	−	中央フク土	①繊維③赤褐色④RL，LR附加，黒浜
1520	深鉢	口頸部 〜底部	−	フク土	①繊維③橙色④RL・LR黒浜

4区第223号土坑

1416	敲石	½	長 9.0 幅 3.2 厚 1.7	フク土	④黒色頁岩，重さ76.2g

4区第224号土坑

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1417	深鉢	口縁部 ～底部	中央東寄 床面	①繊維③明赤褐色④櫛条工具による波状沈線，ＲＬ＋附加条ＬＲ＋附加条

5区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1281	椀 灰釉陶器	口縁部	口 (16.8) 高 (3.7) 底 －	掘形第3 土坑西壁	①精良②還元③灰白色

5区第2号住居跡

1321	羽釜 土師質	口縁部 小片	口 (25.4) 高 (7.8) 底 －	南西隅床 面	①砂粒②還元③浅黄橙色

5区第3号住居跡

1231	杯 土師質	¼	口 (12.5) 高 4.0 底 5.2	南辺西寄 壁際床面	①砂粒少②酸化③橙色

5区第4号住居跡

1251	杯 須恵器	略完	口 12.7 高 3.9 底 7.0	中央南寄 床面	①砂粒少②イブシ焼成，還元③灰白色
1252	杯 土師器	⅔	口 14.7 高 3.9 底 9.8	南辺中央 壁際床面	①細砂②酸化③橙色

5区第6号住居跡

1213	高台付椀 土師質	⅔ 高台欠	口 (15.0) 高 (4.6) 底 －	南東隅床 面	①砂粒，褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第8号住居跡

1177	杯 土師質	完形	口 11.0 高 2.7 底 5.5	南辺東寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④静止糸切
1178	高台付皿 灰釉陶器	¾	口 11.5 高 2.5 底 6.3	中央床面	①精良，黒色粒②還元③灰白色

5区第9号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1175	杯 土師質	¾	口 15.4 高 3.9 底 6.9	カマド	①白色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1176	土釜 土師質	口縁部 ～体部	口 (31.0) 高 (22.7) 底 －	南西隅床面・カマド	①白色粒，砂粒多②酸化③鈍い褐色

5区第10号住居跡

1157	杯 土師質	略完	口 8.7 高 1.4 底 5.0	中央北寄床面	①褐色粒②酸化③鈍い橙色
1158	高台付皿 土師質	略完	口 14.4 高 4.5 底 (7.7)	中央床面	①細砂②酸化③鈍い黄色
1159	土釜 土師質	口縁部	口 (34.4) 高 (10.4) 底 －	カマド前床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴36.0

5区第11号住居跡

1232	高台付椀 土師質 内黒	略完	口 10.4 高 3.7 底 6.1	カマド前フク土	①白色粒②酸化③鈍い橙色
1233	高台付椀 土師質 内黒	口縁部 ～体部	口 (18.0) 高 (5.0) 底 －	カマド前床面	①白色小粒②酸化③鈍い橙色

5区第12号住居跡

0687	刀子 鉄製	茎	遺長 5.7	フク土	④刃部欠
1122	土釜 土師質	口縁部 ～体部	口 (22.0) 高 (14.5) 底 －	南西隅床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴26.7
1123	杯 土師質	略完	口 9.2 高 2.4 底 5.5	カマド前フク土	①白色粒②酸化③鈍い橙色
1124	高台付皿 灰釉陶器	略完	口 12.8 高 2.5 底 6.1	フク土	①精良②還元③灰白色

5区第17号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1282	高台付椀 土師質	⅔	口 12.2 高 4.5 底 6.3	貯蔵穴	①砂粒，白色粒②酸化③灰白色

5区第19号住居跡

1154	杯 土師器	¼	口 (14.0) 高 5.1 底 ●	東辺北寄壁際床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色
1155	高杯 土師器	脚部	口 － 高 (4.2) 底 9.2	中央床面	①褐色粒②酸化③橙色

5区第20号住居跡

1120	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 21.8 高 (21.2) 底 －	カマド前床面	①白色粒，砂粒多②酸化③橙色④胴18.7
1121	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 14.8 高 (14.4) 底 －	カマド奥壁	①白色粒，砂粒多②酸化③赤褐色④胴17.8

5区第21号住居跡

1174	土釜または羽釜 土師質	体部 ～底部	口 － 高 (27.0) 底 11.5	カマド付近	①砂粒②酸化③灰黄褐色④胴25.0

5区第22号住居跡

1253	杯 土師器	⅔	口 12.2 高 5.0 底 ●	南辺壁際床面	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色

5区第23号住居跡

1109	杯 土師器	略完	口 12.6 高 5.9 底 ●	カマド左脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1266	杯 土師器	略完	口 12.0 高 4.8 底 ●	カマド左脇床面	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1267	杯 土師器	⅔	口 13.0 高 5.8 底 ●	カマド中央	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1268	甕 土師器	底部	口 － 高 (14.0) 底 5.5	南東ピット内	①砂粒多②酸化③鈍い褐色

5区第24号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1284	杯 土師器	略完	口 13.6 高 5.4 底 ●	南辺中央 壁際 フク土	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
1285	杯 土師器	¼	口 (14.0) 高 6.0 底 ●	カマド	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1286	高杯 土師器	⅘	口 14.1 高 8.6 底 9.2	中央北寄 床面	①白色粒，細砂②酸化③橙色
1287	丸胴甕 土師器	口縁部 ～体部	口 15.4 高 (18.5) 底 －	カマド右 袖脇床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴24.0
1288	甕 土師器	底部欠	口 13.8 高 (15.8) 底 －	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴16.6
1289	甑 土師器	略完	口 20.0 高 22.5 底 9.0	カマド左 脇床面	①白色粒②酸化③明黄褐色
1290	甕 土師器	⅓	口 17.2 高 32.5 底 6.6	中央南寄 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴26.2

5区第25号住居跡

1277	杯 土師器	½	口 13.7 高 (5.3) 底 ●	カマド左 袖脇床面	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い赤褐色
1278	甑 土師器	完形	口 25.2 高 27.0 孔 7.1	カマド左 脇床面	①砂粒②酸化③橙色④胴20.0，単孔

5区第26号住居跡

1299	杯 土師器	略完	口 12.7 高 5.1 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③橙色
1300	杯 土師器	⅕	口 (13.2) 高 4.2 底 ●	南辺東寄 床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1301	甕 土師器	底部欠	口 11.5 高 (13.6) 底 －	中央床面	①砂粒多②酸化③赤色④胴13.8

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1302	蓋 須恵器	⅓	口 13.8 高 (5.1) ツマミなし	フク土	①白色粒②還元③灰色
1303	杯 土師器	⅔	口 9.4 高 4.7 底 4.8	中央南寄 フク土	①細砂②酸化③鈍い黄橙色
1304	壺 土師器	口縁部	口 14.2 高 (7.5) 底 －	中央南寄 フク土	①褐色粒②酸化③橙色
1305	紡錘車 滑石製	完形	外径 3.6 上面径 2.3 孔径 0.7	フク土	③灰色④重さ28.5

5区第27号住居跡

0505	杯 須恵器	略完	口 10.3 高 4.4 底 ●	北西寄床 面	①白色粒，砂粒②還元③灰色
0506	杯 土師器	完形	口 11.3 高 5.1 底 ●	北西寄床 面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0507	杯 黒色土器	¾	口 12.3 高 4.9 底 ●	北辺西寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色
0508	杯 土師器 内黒	完形	口 11.9 高 4.8 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0509	杯 土師器	完形	口 13.1 高 5.1 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0510	杯 土師器	完形	口 11.2 高 5.1 底 ●	南東隅 床面	①細砂②酸化③橙色
0511	杯 土師器	完形	口 12.7 高 4.9 底 ●	南東隅 床面	①砂粒②酸化③橙色
0512	杯 土師器	略完	口 12.0 高 4.5 底 ●	貯蔵穴内	①砂粒②酸化③鈍い橙色
0513	杯 土師器	完形	口 12.5 高 5.0 底 ●	貯蔵穴内	①砂粒②酸化③赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
0514	杯 土師器	完形	口 11.2 高 4.5 底 ●	南東隅 床面	①砂粒②酸化③橙色
0515	長頸壺 土師器	略完	口 8.9 高 18.6 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色④胴14.0
0516	壺 土師器	口縁部 欠	口 － 高 (14.3) 底 ●	カマド右 脇床面	①細砂②酸化③赤褐色④胴15.1
0517	高杯 黒色土器	略完	口 14.4 高 13.3 底 11.4	貯蔵穴内	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0519	高杯 土師器	¾	口 17.1 高 14.0 底 11.7	西辺中央 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色
0520	紡錘車 土製	略完	上面径 2.2 底面径 4.2 厚 2.1	西辺中央 壁際床面	①細砂②酸化③黒褐色④重さ31.7g
0521	甑 土師器	完形	口 11.8 高 12.6 底 6.1	カマド右 脇床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④胴12.4
0522	丸胴甕 土師器	略完	口 (20.1) 高 32.4 底 6.3	南辺東寄 壁際床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④胴34.0
0523	丸胴甕 土師器	略完	口 16.9 高 22.6 底 7.0	北辺中央 床面	①白色粒多②酸化③明黄褐色④胴21.6
0524	甕 土師器	略完	口 16.6 高 31.2 底 6.4	北辺西寄 壁際床面	①3㎜大の石②酸化③鈍い黄橙色④胴17.2
0525	甕 土師器	略完	口 19.0 高 35.2 底 6.0	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄橙色④胴21.8
0526	甕 土師器	完形	口 14.4 高 15.6 底 6.8	南東隅床 面	①砂粒②酸化③明赤褐色④胴17.0
0527	甑 土師器	体部 ～底部	口 － 高 (20.9) 底 8.5	カマド左 袖	①白色粒②酸化③灰褐色
0528	甕 土師器	略完	口 13.4 高 16.9 底 5.6	カマド	①白色粒多②酸化③橙色④胴15.2

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0529	壺 土師器	¾	口 9.9 高 12.5 底 ●	カマド内	①細砂粒②酸化③明黄橙色④胴12.0
0530	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (13.2) 高 (16.9) 底 －	カマド右 前床面	①砂粒，白色粒②酸化③橙色④胴16.8
0531	丸胴甕 土師器	底部	口 － 高 (22.6) 底 9.2	カマド右 脇床面	①白色粒②酸化③赤褐色④胴32.0
0532	甕 土師器	底部	口 － 高 (16.6) 底 6.4	中央北寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色④19.8
0533	甕 土師器	底部	口 － 高 (1.7) 底 5.5	カマド内	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色
0534	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (21.2) 高 (13.7) 底 －	中央南寄 床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④胴19.5

5区第28号住居跡

1275	杯 土師器	¾	口 12.6 高 5.0 底 ●	南東隅壁 際床面	①褐色粒，細砂②酸化③鈍い橙色
1276	模造品 滑石製	略完	長 2.2 幅 1.8 厚 0.6	中央西寄 床面	③灰色④重さ3.6g，孔径0.2，不整形，白玉？

5区第29号住居跡

1320	羽釜 土師質	⅙	口 (20.4) 高 (19.5) 底 －	カマド奥 壁	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色④胴21.6

5区第30号住居跡

1314	杯 土師器	¾	口 14.6 高 5.6 底 ●	カマド前 床面	①白色粒，褐色粒②酸化③橙色
1315	杯 土師器	略完	口 14.6 高 5.6 底 ●	カマド北 側床面	①褐色粒②酸化③橙色
1316	杯 土師器	略完	口 14.4 高 5.6 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1317	杯 土師器	略完	口 12.0 高 5.4 底 ●	カマド左 袖脇床面	①褐色粒②酸化③灰褐色
1318	甕 土師器	⅔	口 14.5 高 12.0 底 (5.8)	カマド前 床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色④胴13.7
1319	甕 土師器	¼	口 (18.4) 高 (32.5) 底 —	南東隅壁 際床面	①白色粒②酸化③明赤褐色④胴24.3

5区第31号住居跡

1306	杯 土師器	略完	口 13.3 高 5.0 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1307	杯 土師器	½	口 13.1 高 4.3 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1308	杯 土師器	⅔	口 12.5 高 5.5 底 ●	カマド右 袖前床面	①褐色粒，細砂②酸化③赤褐色
1309	杯 黒色土器	⅓	口 (12.0) 高 4.5 底 ●	カマド右 袖基部脇	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1310	杯 土師器	完形	口 12.2 高 4.2 底 ●	カマド中 央	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い橙色
1311	甕 土師器	⅔	口 19.0 高 35.8 底 6.1	中央南寄 床面	①白色粒，砂粒多②酸化③鈍い黄橙色④胴19.8
1312	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 14.0 高 20.0 底 5.0	カマド右 袖下	①白色粒，砂粒多②酸化③浅黄色④胴15.0
1313	甕 土師器	口縁部 小片	口 (12.1) 高 (5.7) 底 —	中央北寄 床面	①褐色粒②酸化③橙色

5区第32号住居跡

1291	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (19.4) 高 (18.3) 底 —	カマド前 床面	①砂粒②酸化③鈍い橙色

5区第33号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1188	杯 土師器	¾	口 11.6 高 5.1 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒②酸化③橙色
1189	杯 土師器	¾	口 14.5 高 5.3 底 ●	貯蔵穴内	①褐色粒多②酸化③橙色
1190	杯 土師器	口縁部 欠	口 14.1 高 4.6 底 ●	貯蔵穴内	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1191	甕 土師器	底部	口 － 高 (5.3) 底 7.3	カマド	①白色粒少②酸化③鈍い黄橙色

5区第34号住居跡

1192	杯 土師器	略完	口 12.0 高 5.0 底 ●	カマド右 袖前	①砂粒②酸化③橙色
1193	杯 土師器	¼	口 12.2 高 5.5 底 ●	カマド右 袖	①砂粒②酸化③明赤褐色
1194	高杯 土師器	⅓	口 (15.1) 高 (9.2) 底 －	中央北寄 床面	①砂粒少②酸化③明赤褐色
1195	甕 土師器	口縁部 小片	口 (23.0) 高 (9.2) 底 －	中央南寄 床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄橙色
1196	杯 土師器	¼	口 (11.7) 高 (5.6) 底 －	フク土	①細砂②酸化③鈍い橙色

5区第35号住居跡

1205	杯 土師器	略完	口 13.4 高 4.9 底 ●	北辺中央 床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1206	杯 土師器	略完	口 12.0 高 4.5 底 ●	カマド右 袖脇床面	①砂粒②酸化③橙色
1207	杯 土師器	⅔	口 13.2 高 4.8 底 ●	カマド内	①褐色粒②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1208	甕 土師器	完形	口 13.6 高 14.7 底 4.4	カマド中央	①砂粒多②酸化③赤褐色④胴11.8
1209	甑 土師器	5/6	口 20.8 高 22.9 底 10.6	カマド前床面	①白色粒，砂粒多②酸化③浅黄色④胴17.0

5区第36号住居跡

1220	甕 土師器	完形	口 15.8 高 19.8 底 7.1	カマド中央	①3～5㎜大の石②酸化③鈍い褐色④胴16.5
1221	杯 土師器	完形	口 12.2 高 7.6 底 4.6	カマド燃焼部	①細砂②酸化③鈍い褐色
1222	杯 土師器	3/4	口 (16.1) 高 7.2 底 ●	カマド中央	①砂粒多②酸化③明赤褐色
1223	鉢 土師器	2/3	口 (13.9) 高 9.8 底 6.6	カマドフク土	①褐色粒，砂粒②酸化③赤色④胴12.8
1224	甕 土師器	完形	口 17.0 高 31.3 底 6.6	カマド燃焼部	①砂粒多②酸化③橙色④胴19.8
1225	甕 土師器	略完	口 17.2 高 21.5 底 7.5	カマド左袖先端	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴20.2
1226	甕 土師器	略完	口 19.7 高 34.8 底 7.2	カマド中央焚口	①砂粒多②酸化③橙色④胴22.0
1227	甕 土師器	底部欠	口 15.3 高 (18.3) 底 －	カマド中央焚口	①3～5㎜大の石②酸化③橙色④胴16.4
1228	甕 土師器	完形	口 17.4 高 31.3 底 6.0	カマド右袖先端	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴20.2
1229	甕 土師器	1/2	口 (19.2) 高 30.6 底 7.0	貯蔵穴	①砂粒多②酸化③橙色④胴20.0
1230	甕 土師器	2/3	口 (16.4) 高 28.4 底 (6.4)	カマドフク土	①白色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴22.3

5区第37号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1279	杯 土師器	¼	口 (11.0) 高 4.6 底 ●	西辺南寄 床面	①細砂②酸化③橙色
1280	杯 土師器	¼	口 (13.0) 高 (4.5) 底 ●	カマド右 袖脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色

5区第38号住居跡

1269	杯 土師器	⅔	口 13.6 高 4.8 底 ●	中央北寄 床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1270	甕 土師器	完形	口 14.0 高 12.8 底 6.5	カマド	①3～7㎜大の石②酸化③鈍い橙色④胴13.2
1271	杯 土師器	⅚	口 (13.6) 高 (5.1) 底 －	南辺東寄 床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1272	壺 土師器	¾	口 (12.0) 高 (18.8) 底 6.2	中央床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴17.5
1273	甕 土師器	体部 ～底部	口 － 高 (24.6) 底 6.6	南東隅床 面	①3～5㎜大の石②酸化③鈍い赤褐色④胴21.3
1274	砥石	略完	長 25.0 幅 9.4 厚 10.6	東辺北寄 床面	④粗粒安山岩，重さ3.2kg

5区第39号住居跡

1210	甕 土師器	⅔	口 (12.4) 高 8.7 底 (7.0)	東隅床面	①白色粒②酸化③鈍い赤褐色④胴12.8
1211	蓋 須恵器	½	口 (10.2) 高 3.6 ツマミなし	フク土	①白色粒②還元③灰色
1212	砥石	略完	長 14.6 幅 7.3 高 7.0	南東辺中 央壁際床 面	④軽石(二ツ岳)，重さ423.8g

5区第41号住居跡

1179	蓋 須恵器	¼	口 (13.9) 高 5.3 ツマミなし	中央床面	①白色粒，砂粒②還元③暗灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1180	高杯 土師器	杯部	口 19.0 高 (5.5) 底 －	北西張出部床面	①白色粒，砂粒少②酸化③橙色
1181	紡錘車 滑石製	完形	外径 4.2 孔径 0.6 厚さ 1.7	南西寄床面	③暗青灰色④重さ38.9g
1182	杯 土師器	¼	口 (14.0) 高 4.5 底 ●	フク土	①細砂②酸化③橙色
1183	模造品 滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.5	フク土	④重さ0.7g，臼玉
1184	模造品 滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.5	フク土	③鈍い黄橙色④重さ0.5g，臼玉
1185	模造品 滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.3	フク土	③オリーブ灰色④重さ0.3g，臼玉
1186	模造品 滑石製	完形	外径 0.9 孔径 0.3 厚さ 0.3	フク土	③灰白色④重さ0.4g，臼玉
1187	模造品 滑石製	完形	外径 0.8 孔径 0.4 厚さ 0.3	フク土	③灰白色④重さ0.3g，臼玉

5区第42号住居跡

1218	杯 土師器	½	口 (12.8) 高 4.7 底 ●	カマド	①褐色粒，砂粒②酸化③赤褐色
1219	杯 土師器	⅔	口 (12.6) 高 5.5 底 ●	カマド左袖掘形	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第43号住居跡

1197	杯 土師器	略完	口 12.1 高 3.7 底 ●	フク土	①砂粒多②酸化③橙色
1198	杯 土師器	¼	口 (20.9) 高 4.8 底 ●	フク土	①褐色粒，細砂②酸化③橙色

5区第44号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1292	杯 土師器	略完	口 13.6 高 5.3 底 ●	西辺中央床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色
1293	杯 土師器	略完	口 10.8 高 4.3 底 ●	北東寄床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色
1294	杯 土師器	⅓	口 (13.0) 高 (6.1) 底 ●	カマド左袖脇床面	①褐色粒，砂粒②酸化③赤褐色
1295	甕 土師器	口縁部	口 18.3 高 (13.9) 底 －	カマド	①砂粒②酸化③橙色④胴20.2
1296	甕 土師器	¼	口 (13.0) 高 13.8 底 5.2	カマド左袖脇床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色④胴13.8
1297	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 15.6 高 (16.4) 底 －	カマド左袖中	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴20.0
1298	甕 土師器	口縁部	口 9.4 高 (3.8) 底 －	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

5区第45号住居跡

1254	杯 土師器	⅔	口 17.6 高 6.0 底 (12.0)	東辺中央床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④内面暗文
1255	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (22.3) 高 (14.8) 底 －	南辺寄中央床面	①細砂多②酸化③鈍い橙色④胴21.0
1256	杯 土師器	略完	口 13.0 高 3.5 底 ●	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

5区第46号住居跡

1257	杯 土師器	略完	口 13.0 高 5.0 底 ●	中央西寄床面	①褐色粒，白色粒②酸化③橙色
1258	杯 土師器	略完	口 14.1 高 4.7 底 ●	カマド内右袖寄	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1259	杯 土師器	¾	口 13.6 高 4.8 底 ●	カマド中央	①白色粒，褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1260	杯 土師器	⅔	口 12.6 高 5.0 底 ●	北西寄床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1261	高杯 土師器	⅓	口 (13.0) 高 8.0 底 (10.0)	東辺北寄壁際床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1262	甕 土師器	略完	口 14.9 高 30.9 底 5.8	中央床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴19.4
1263	甕 土師器	略完	口 13.6 高 15.6 底 6.0	カマド中央倒立	①砂粒②酸化③橙色④胴15.5
1264	甕 土師器	口縁部	口 (18.6) 高 (11.3) 底 －	南東隅壁際床面	①白色粒②酸化③橙色
1265	丸胴甕 土師器	口縁部～体部	口 (17.4) 高 (20.0) 底 －	中央床面	①白色粒，細砂②酸化③橙色④胴28.3

5区第47号住居跡

1199	杯 土師器	⅓	口 (13.7) 高 4.9 底 ●	カマド左袖	①褐色粒，細砂②酸化③橙色
1200	杯 土師器	⅓	口 (15.0) 高 6.4 底 ●	カマド	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1201	杯 土師器	口縁部小片	口 (12.2) 高 5.0 底 ●	中央北西寄床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
1202	瓶 須恵器	口縁部小片	口 (10.0) 高 (7.2) 底 －	中央床面	①白色粒，細砂②酸化気味還元③浅黄色
1203	杯 土師器	略完	口 13.4 高 4.8 底 ●	中央東寄フク土	①細砂②酸化③橙色
1204	甕 土師器	底部	口 － 高 (7.5) 底 6.2	カマド	①白色粒②酸化③鈍い橙色

5区第48号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0518	高杯 土師器	¾	口 19.1 高 18.4 底 14.5	カマド右脇床面	①白色粒②酸化③鈍い橙色
1241	杯 土師器	略完	口 14.7 高 5.1 底 ●	南辺東寄床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1242	杯 土師器	¾	口 13.2 高 4.8 底 ●	カマド左脇床面	①細砂，褐色粒②酸化③橙色
1243	杯 土師器	½	口 (15.2) 高 (5.3) 底 ●	南西ピット中	①砂粒②酸化③橙色
1244	杯 土師器	⅔	口 11.6 高 6.6 底 ●	カマド左脇床面	①砂粒，内黒②酸化③橙色
1245	匙形 土師器		長さ 13.7 幅 10.4 器高 3.9	南辺東寄床面	①褐色粒，砂粒少②酸化軟③明赤褐色
1246	高杯 土師器	脚部欠	口 12.2 高 (6.9) 底 －	カマド前床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
1247	甕 土師器	⅓	口 (14.6) 高 (16.5) 底 －	中央床面	①3～7mmの石②酸化③橙色④胴15.7
1248	甕 土師器	¾	口 19.8 高 (31.2) 底 －	中央南寄床面	①5～10mmの石②酸化③鈍い黄褐色④胴20.2
1249	甑 土師器	¾	口 (17.7) 高 20.0 孔 (8.5)	中央床面	①3～8mmの石砂粒多②酸化③浅黄橙色④胴16.3
1250	甑 土師器	½	口 24.6 高 28.0 底 8.8	中央南寄床面	①褐色粒，砂粒②酸化③橙色④胴22.5

5区第49号住居跡

1169	丸胴甕 土師器	⅔	口 19.6 高 34.0 底 8.2	カマド左袖前床面	①褐色粒，砂粒少②酸化③橙色④胴31.5
1170	甑 土師器	略完	口 20.0 高 20.5 孔 (8.4)	中央北東寄床面	①砂粒少②酸化③赤色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1171	甕 土師器	口縁部	口 14.2 高 (10.2) 底 —	左袖基部	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1172	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 (14.3) 高 (9.4) 底 —	カマド奥壁	①砂粒②酸化③明赤褐色
1173	杯 土師器	¼	口 (13.7) 高 4.9 底 ●	カマドフク土	①白色粒，細砂②酸化③鈍い赤褐色

5区第50号住居跡

1156	杯 須恵器	½	口 (15.4) 高 3.5 底 (7.6)	南辺東寄壁際	①白色小粒②還元③灰白色

5区第52号住居跡

1234	杯 土師器	½	口 12.9 高 4.0 底 ●	中央北東寄床面	①精良②酸化硬質③橙色
1235	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 13.6 高 (7.4) 底 —	中央南寄床面	①褐色粒，砂粒多②酸化③赤褐色

5区第53号住居跡

1125	杯 土師器	¾	口 12.0 高 4.4 底 ●	南辺壁際床面	①細砂粒②酸化③暗赤褐色
1126	杯 土師器	完形	口 11.4 高 4.0 底 ●	南辺壁際床面	①砂粒②酸化軟質③橙色
1127	甕 土師器	口縁部小片	口 (15.6) 高 (6.9) 底 —	南辺壁際床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第54号住居跡

1214	杯 土師器	¾	口 12.7 高 4.6 底 ●	北東隅床面	①砂粒②酸化③赤褐色
1215	杯 土師器	⅕	口 (12.4) 高 (4.4) 底 ●	南東寄床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1216	甕 土師器	口縁部	口 15.0 高 (7.0) 底 —	南東寄床面	①砂粒②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1217	甕 土師器	口縁部 小片	口 (18.4) 高 (11.5) 底 —	南東寄床面	①砂粒多②酸化③橙色

5区第56号住居跡

1102	甕 土師器	略完	口 18.8 高 34.8 底 7.6	カマド前床面	①白色粒②酸化③橙色④胴23.4
1103	甕 土師器	⅔	口 16.0 高 (26.2) 底 —	中央床面	①褐色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色④胴19.4
1104	甕 土師器	⅔	口 14.0 高 (20.3) 底 (5.6)	カマド前床面	①砂粒多，白色粒②酸化③橙色④胴16.4
1105	甕 土師器	底部欠	口 16.3 高 (12.4) 底 —	カマド前床面	①褐色粒，細粒②酸化③鈍い赤褐色④胴16.5
1106	高杯 土師器	¾	口 20.4 高 11.0 底 12.1	南辺中央壁際床面・カマド	①褐色粒，細砂②酸化③明赤褐色
1107	杯 土師器	¼	口 (13.0) 高 (4.2) 底 ●	南辺中央壁際床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1108	砥石 石		長 22.2 幅 5.5 高 5.1	貯蔵穴内	④変玄武岩，重さ913.3g

5区第57号住居跡

1116	杯 土師器	⅔	口 14.2 高 5.2 底 ●	南東辺寄床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④内外面炭化物
1117	高杯 土師器	略完	口 14.1 高 9.8 脚 9.6	中央南寄床面	①白色粒，砂粒多②酸化③明赤褐色
1118	甑 土師器	完形	口 15.3 高 15.0 孔 2.6	カマド前フク土	①砂粒②酸化③鈍い褐色④鉢形単孔
1119	甕 土師器	⅓	口 (18.7) 高 28.1 底 (6.7)	西辺中央床面	①砂粒，白色粒②酸化③灰黄色④胴22.0

5区第58号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1163	高台付杯 須恵器	⅓	口 (16.4) 高 4.8 底 (12.2)	中央北西寄床面	①褐色粒②還元③灰色(内面鈍い橙色)
1164	杯 土師器	¾	口 15.5 高 3.7 底 ●	中央北西寄床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
1165	杯 土師器	口縁部	口 15.6 高 (4.3) 底 (10.5)	南辺中央壁際	①細砂②酸化③橙色④内面暗文
1166	杯 土師器	¼	口 (12.5) 高 (3.4) 底 ●	中央西寄床面	①細砂②酸化③橙色
1167	高台付杯 須恵器	⅓	口 (13.8) 高 4.7 底 (9.7)	フク土	①白色粒，細砂②還元③灰白色
1168	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 24.5 高 (23.0) 底 －	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴21.8

5区第59号住居跡

0688	刀子 鉄製	切先	遺存長 5.3 刃部幅 1.2 棟厚 0.4	フク土	④接合しない小片2個

5区第60号住居跡

1128	杯 土師器	略完	口 10.8 高 5.4 底 ●	カマド左袖脇床面	①砂粒②酸化③橙色
1129	杯 土師器	略完	口 11.4 高 5.1 底 ●	カマド	①褐色粒②酸化③橙色
1130	杯 土師器	⅔	口 11.0 高 5.5 底 ●	カマド左袖脇床面	①褐色粒多②酸化③橙色
1131	杯 土師器	½	口 14.2 高 6.0 底 ●	カマド左袖前床面	①褐色粒②酸化③橙色
1132	杯 土師器	略完	口 13.6 高 5.0 底 ●	南西隅床面	①褐色粒多②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1133	杯 土師器	略完	口 15.3 高 7.7 底 ●	カマド右袖前床面	①褐色粒多②酸化③橙色
1134	杯 土師器	¾	口 12.0 高 6.8 底 ●	貯蔵穴内・カマド左袖床面	①褐色粒多②酸化③橙色

5区第61号住居跡

1145	杯 土師器	底部欠	口 16.0 高 7.3 底 ●	カマド左袖前床面	①褐色粒・細砂②酸化③橙色
1146	高杯 土師器	完形	口 12.9 高 9.7 脚 9.0	カマド中央	①褐色粒②酸化③橙色
1147	丸胴甕 土師器	⅓	口 － 高 (27.6) 底 (7.2)	カマド右袖脇床面	①砂粒多②酸化③明褐色④胴27.4
1148	甕 土師器	口縁部～体部	口 16.9 高 16.2 底 －	カマド右袖	①砂粒，白色粒②酸化③鈍い橙色
1149	甕 土師器	口縁部	口 － 高 (22.2) 底 7.0	カマド左袖脇床面	①砂粒②酸化③赤褐色④胴19.0

5区第62号住居跡

1150	高杯 土師器	¾	口 14.4 高 8.6 底 9.7	北西隅床面	①細砂②酸化③明赤褐色
1151	杯 土師器	½	口 (12.0) 高 (5.8) 底 ●	カマド右前床面	①細砂②酸化③橙色
1152	甕 土師器	略完	口 18.1 高 33.7 底 4.8	カマド右脇壁際床面	①砂粒②酸化③鈍い黄橙色④胴21.5
1153	高杯 土師器	脚部	口 － 高 (4.4) 底 8.5	カマド左脇床面	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第63号住居跡

1236	杯 土師器	略完	口 13.5 高 4.8 底 －	南西隅床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1237	甕 土師器	略完	口 17.5 高 27.0 底 7.1	南西寄床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄橙色④胴19.7
1238	甕 土師器	⅔	口 17.0 高 27.7 底 7.0	南辺南寄床面	①砂粒多，白色粒②酸化③灰黄褐色④胴20.0
1239	甑 土師器	略完	口 25.0 高 27.7 孔 9.0	南西寄床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④胴21.6
1240	高杯 土師器	脚部欠	口 14.4 高 (17.5) 底 －	南西隅床面	①細砂②酸化③明赤褐色

5区第64号住居跡

1139	杯 土師器	½	口 11.6 高 5.2 底 ●	カマド左脇壁際床面	①黒色小粒②酸化③橙色
1140	杯 土師器	略完	口 14.1 高 5.5 底 ●	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③褐色
1141	杯 土師器	⅔	口 15.0 高 7.2 底 ●	カマド前床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
1142	高杯 土師器	裾部欠	口 13.6 高 (8.8) 底 －	カマド前床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
1144	壺 土師器	口縁部	口 (11.9) 高 (7.6) 底 －	フク土	①砂粒少②酸化③明赤褐色

5区第65号住居跡

1135	杯 土師器	¼	口 (11.6) 高 (5.8) 底 ●	カマド右袖脇床面	①褐色粒，砂粒②酸化③明赤褐色
1136	杯 土師器	略完	口 12.6 高 5.4 底 ●	カマド右袖脇床面	①白色粒，砂粒②酸化③赤褐色
1137	甕 土師器	口縁部～体部	口 (22.0) 高 (16.7) 底 －	中央床面	①砂粒多②酸化，硬③明赤褐色④胴21.2
1138	高杯 土師器	⅔	口 (15.8) 高 9.7 底 10.4	カマドフク土	①砂粒②酸化③明赤褐色④脚部炭化物

5区第66号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1160	杯 土師器	略完	口 11.0 高 3.5 底 ●	南寄床面	①砂粒②酸化③橙色
1161	杯 土師器	略完	口 10.8 高 3.8 底 ●	東辺北寄壁際床面	①白色粒②酸化③明赤褐色
1162	甕 土師器	口縁部～体部	口 (20.0) 高 (16.8) 底 －	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴17.2

5区第67号住居跡

1110	高杯 土師器	略完	口 14.6 高 9.3 底 9.6	カマド中央	①細砂，褐色粒②酸化③橙色
1111	甕 土師器	略完	口 19.2 高 24.0 底 7.6	カマド右袖前床面	①白色粒多②酸化③橙色④胴22.4
1112	甕 土師器	略完	口 15.4 高 26.8 底 8.0	カマド右袖脇床面	①砂粒，褐色粒②酸化③灰褐色④胴19.0
1113	甕 土師器	¾	口 15.0 高 18.5 底 5.7	カマド右袖基部	①砂粒，白色粒②酸化③明赤褐色④胴16.8
1114	丸胴甕 土師器	½	口 (14.4) 高 (29.0) 底 5.2	カマド右袖脇床面	①細砂②酸化③橙色④胴24.4
1115	甑 土師器	底部	口 － 高 (15.4) 孔 (7.6)	北辺壁際床面	①白色粒，砂粒②酸化③鈍い赤褐色

5区第68号住居跡

1283	甕 土師器	口縁部	口 (16.3) 高 (5.9) 底 －	カマド前床面	①精良②酸化③灰褐色

5区大溝＝第101号溝

1322	短頸壺 須恵器	⅔	口 11.5 高 16.2 底 13.5	フク土	①砂粒②還元③灰白色④胴23.2

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1323	高台付杯 須恵器	⅓	口 (15.5) 高 3.75 底 11.3	フク土	①白色粒少，細砂②還元③灰白色
1324	杯 土師器	¼	口 (12.7) 高 5.4 底 ●	フク土	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
1325	埴輪	小片	厚 1.4	フク土	①細砂②酸化③橙色④ヘラ文様？

5区B３号溝＝B２号溝

1326	手ずくね	完形	口 5.0 高 3.0 底 3.3		①細砂②酸化③鈍い赤褐色
1327	手ずくね	略完	口 6.2 高 4.7 底 4.2		①砂粒②酸化③明赤褐色

5区C１号溝

0689	鎌 鉄製	切先欠	遺存長18.2 刃部幅 2.5 基部幅 4.2	フク土	④柄と基部とのなす角度37度
1328	高台付椀 土師質	略完	口 14.8 高 5.9 底 6.5	フク土	①白色小粒②酸化③橙色
1329	羽釜	口縁部 ～体部	口 (23.0) 高 (17.0) 底 －	フク土	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴24.5
1330	丸瓦 埴輪？	小片	縦 (9.0) 横 (8.2) 厚 1.7	フク土	①黒色小粒多②酸化③鈍い橙色

5区第２３号土坑

1331	杯 須恵器	口縁部 小片	口 (15.0) 高 (4.1) 底 －	フク土	①砂粒②還元③灰色④すり鉢？

5区第４３号土坑

1332	杯 土師器	略完	口 14.4 高 7.2 底 ●		①細砂②酸化③橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1333	甑？ 土師器	口縁部 ～体部	口 (27.4) 高 (17.0) 底 －		①白色小粒②酸化③明赤褐色

5区遺構外

1334	高台付皿 須恵器	略完	口 13.7 高 2.2 底 7.8	5区	①6mmの小石，砂粒②還元③灰白色
1335	平瓦	小片	長さ(11.7) 幅 (9.6) 厚 (2.0)	5区	①白色小粒，黒色小粒②還元③淡黄色

6区第1号住居跡

1336	甕 土師器	½	口 (18.3) 高 15.4 底 5.1	南辺中央 壁際床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴18.0

6区第1号土坑

1337	杯 須恵器	¼	口 (15.4) 高 3.4 底 (11.0)		①白色粒，黒色小粒②還元③灰色

各区遺構外出土遺物

1518	手ずくね	略完	口 4.5 高 3.0 底 2.0	4区86住 南土坑	①精良②酸化③橙色④地点不明
1519	模造品 滑石製	完形	長 7.9 幅 2.3 厚 1.0	5区C1 溝付近	④重さ24.3g，地点不明，刀子形

各区遺構外縄文土器

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1432	深鉢	口縁部 小片	4区137坑	①繊維③鈍い黄橙色④爪形文，RL，黒浜
1433	深鉢	口縁部 小片	5区61住	①繊維③鈍い赤褐色④爪形文，RL・LR羽状縄文，黒浜

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1434	深鉢	胴部小片	4区34住	①繊維③鈍い黄橙色④爪形，黒浜
1435	深鉢	胴部小片	3区	①繊維③橙色④爪形文，ＬＲ・ＲＬ羽状縄文，黒浜
1436	深鉢	胴部小片	5区23住	①繊維③鈍い褐色④平行沈線(半裁竹管)，黒浜
1437	深鉢	胴部小片	3区14住	①繊維③鈍い橙色④コンパス＋沈線，黒浜
1438	深鉢	胴部小片	3区14住	①繊維③鈍い橙色④コンパス＋沈線，黒浜
1439	深鉢	胴部小片	4区155坑	①繊維③明黄褐色④コンパス，ＲＬ，ＬＲ，附加羽状縄文，黒浜
1440	深鉢	胴部小片	3区6溝	①繊維③鈍い橙色④コンパス，ＲＬ，黒浜
1441	深鉢	胴部小片	1区東表土	①繊維③鈍い赤褐色④平行沈線，ＲＬ，黒浜
1442	深鉢	胴部小片	4区153住	③鈍い橙色④平行沈線＋円形刺突，諸磯ａ
1443	深鉢	胴部小片	4区70住	③鈍い橙色④平行沈線，円形刺突，ＲＬ，諸磯ａ
1444	深鉢	胴部小片	4区70住	③鈍い赤褐色④平行沈線Ｌｒ，諸磯ａ
1445	深鉢	胴部小片	3区28住	③鈍い赤褐色④平行沈線ＬＲ，諸磯ａ
1446	深鉢	胴部小片	4区155坑	③黒褐色④爪形文，ＲＬ，諸磯ａ
1447	深鉢	胴部小片	4区23住	③暗赤褐色④爪形を多段に施文，浮き島？

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1448	深鉢	胴部小片	3区696m	①繊維③浅黄色④爪形文ＲＬ，黒浜
1449	深鉢	胴部小片	3区北2層	①繊維③橙色④爪形文，ＲＬ，黒浜
1450	深鉢	胴部小片	B1溝	③鈍い赤褐色④爪形，諸磯ａ
1451	深鉢	胴部小片	5区67住	③鈍い赤褐色④刺突の平行沈線，ＲＬ，諸磯ｂ
1452	深鉢	胴部小片	注記なし	③鈍い黄橙色④巾広爪形文，諸磯ｂ
1453	深鉢	胴部小片	3区1溝	③橙色④巾広爪形文，ＲＬ，諸磯ｂ
1454	深鉢	胴部小片	4区155坑	③鈍い橙色④平行沈線＋爪形文，ＲＬ，諸磯ｂ
1455	深鉢	胴部小片	3区696m	③鈍い橙色④平行沈線＋爪形文，ＲＬ，諸磯ｂ
1456	深鉢	胴部小片	3区696m	③鈍い橙色④平行沈線＋爪形文，ＲＬ，諸磯ｂ
1457	深鉢	胴部小片	5区20住	③鈍い橙色④ＲＬ，諸磯ａ
1458	深鉢	胴部小片	3区696m	③明黄褐色④円形刺突，ＲＬ，諸磯ａ
1459	深鉢	口縁部小片	4区表土	③赤褐色④浮線，ＬＲ，諸磯ｂ
1460	深鉢	口縁部小片	4区105住	③暗赤褐色④ＬＲ，諸磯ｂ
1461	深鉢	胴部小片	4区122住	③鈍い黄褐色④浮線，ＲＬ，諸磯ｂ

番　号	器　種	遺　存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1462	深　鉢	胴部 小片	5区表土	③橙色④浮線，ＲＬ，諸磯ｂ
1463	深　鉢	胴部 小片	1区東表土	③鈍い赤褐色④浮線をモチーフした沈線，ＲＬ，諸磯ｂ
1464	深　鉢	胴部 小片	1区東表土	③鈍い赤褐色④１４６３と同一個体，諸磯ｂ
1465	深　鉢	胴部 小片	1区東表土	③灰黄褐色④浮線文，ＲＬ，諸磯ｂ
1466	深　鉢	胴部 小片	1区東表土	③灰黄褐色④１４６５と同一個体，諸磯ｂ
1467	深　鉢	胴部 小片	4区112住	③鈍い赤褐色④三角文，浮島III
1468	深　鉢	口縁部 小片	5区表土	①繊維③鈍い黄橙色④Ｒｌ，黒浜
1469	深　鉢	口縁部 小片	5区38住	①繊維③橙色④Ｒｌ，Ｌｒの羽状縄文，黒浜
1470	深　鉢	口縁部 小片	4区155住	①繊維③浅黄橙色④Ｌｒ，黒浜
1471	深　鉢	口縁部 小片	4区34住	①繊維③明黄褐色④ＲＬ，黒浜
1472	深　鉢	胴部 小片	4住付近	①繊維③赤色④ＬＲ，黒浜
1473	深　鉢	口縁部 小片	3区1溝	①繊維③浅黄橙色④ＬＲＬ，黒浜
1474	深　鉢	口縁部 小片	4区74住	①繊維③橙色④Ｒｌ，黒浜
1475	深　鉢	口縁部 小片	4区26住	①繊維③橙色④ＬＲ，黒浜

番　号	器　種	遺　存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1476	深　鉢	胴部小片	3区26住	①繊維③鈍い黄橙色④ＲＬ，０段３条，黒浜
1477	深　鉢	胴部小片	5区26住	①繊維③明黄褐色④ＲＬ，０段３条，黒浜
1478	深　鉢	胴部小片	6区2層	①繊維③黄褐色④ＬＲ，０段３条，黒浜
1479	深　鉢	胴部小片	6区2層	①繊維③明黄褐色④ＬＲ，０段３条，黒浜
1480	深　鉢	胴部小片	5区52住	①繊維③橙色④羽状縄文ＲＬ・ＬＲ，黒浜
1481	深　鉢	胴部小片	5区2層	①繊維③橙色④羽状縄文ＲＬ・ＬＲ，黒浜
1482	深　鉢	胴部小片	5区2層	①繊維③鈍い黄橙色④羽状縄文，ＲＬ・ＬＲ，黒浜
1483	深　鉢	胴部小片	5区2層	③鈍い赤褐色④羽状縄文ＲＬ・ＬＲ，０段多条，黒浜
1484	深　鉢	胴部小片	3区24住	①繊維③橙色④ＬＲ＋附加条１種，黒浜
1485	深　鉢	胴部小片	4区表土	①繊維③鈍い黄橙色④ＬＲ＋附加条１種，黒浜
1486	深　鉢	胴部小片	5区7住	①繊維③橙色④ＲＬ＋附加条２種，黒浜
1487	深　鉢	胴部小片	3区696m	③橙色④ＲＬ＋附加条２種
1488	深　鉢	胴部小片	3区696m	③鈍い赤褐色④Ｌｒ，諸磯
1489	深　鉢	胴部小片	3区51住	③橙色④Ｌｒ，ウスデ，諸磯

番　号	器　種	遺　存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1490	深　鉢	胴部 小片	5区表土	③淡黄色④ＬＲ
1491	深　鉢	胴部 小片	4区64住	③明赤褐色④ＲＬ，諸磯ａ
1492	深　鉢	口縁部 小片	3区北端 2層	③鈍い橙色④ＲＬ，諸磯ａ
1493	深　鉢	口縁部 小片	3区61住	③明赤褐色④ＲＬ，諸磯ａ
1494	深　鉢	胴部 小片	3区696m	③鈍い黄褐色④ＲＬ，諸磯
1495	深　鉢	胴部 小片	3区34住 付近	③灰黄褐色④ＲＬ，諸磯
1496	深　鉢	胴部 小片	3区51住	③橙色④ＲＬ，諸磯
1497	深　鉢	胴部 小片	3区696m	③明褐色④ＲＬ，ＬＲの附加条１種，羽状縄文，諸磯
1498	深　鉢	胴部 小片	4区74住	③橙色④ＬＲ＋附加条１種，諸磯
1499	深　鉢	胴部 小片	3区北2層	③橙色④ＬＲ＋附加条１種，諸磯
1500	深　鉢	胴部 小片	3区29住	③明黄褐色④ＲＬ，諸磯ａ
1501	深　鉢	胴部 小片	3区44住	③暗赤褐色④ＲＬ，諸磯
1502	深　鉢	胴部 小片	4区155住	③橙色④ＲＬ，諸磯
1503	深　鉢	胴部 小片	3区北2層	③明赤褐色④ＲＬ，ＲＬを向きを変えて施文，諸磯

番　号	器　種	遺　存	出土位置	①胎土　②焼成　③色調　④備考
1504	深　鉢	底部 小片	5～6区表土	①繊維③明褐色④ＲＬ，黒浜
1505	深　鉢	底部 小片	4区155住	①繊維③橙色④ＲＬ，黒浜
1506	深　鉢	底部 小片	3区53住 54住	③橙色④ＲＬ，諸磯
1507	深　鉢	底部 小片	3区70住	③鈍い赤褐色④ＲＬ，諸磯
1508	深　鉢	胴部 小片	4区220坑	③橙色④ＬＲ隆帯，沈線中期中葉
1509	深　鉢	口縁部 小片	5区56住	③浅黄橙色④ＲＬ，加層利ＥⅢ
1510	深　鉢	口縁部 小片	5区68住	③黒褐色④ＲＬ，加層利ＥⅢ
1511	深　鉢	口縁部 小片	4区214坑	③鈍い黄橙色④ＬＲ，加層利ＥⅣ
1512	深　鉢	口縁部 小片	4区2層	③鈍い黄橙色④ＬＲ，ＲＬ沈線，加層利ＥⅣ
1513	深　鉢	口縁部 小片	4区2層	③浅黄橙色④条線，加層利ＥⅢ
1514	深　鉢	取っ手 小片	4区46住	③鈍い黄橙色④加層利ＥⅢ
1515	深　鉢	胴部 小片	4区表土	③浅黄色④ＬＲ，加層利ＥⅢ
1516	深　鉢	胴部 小片	5区47住	③浅黄橙色④ＲＬ，加層利ＥⅢ
1517	深　鉢	口縁部 小片	5区東表土	③鈍い黄橙色④隆帯刻み堀之内Ⅱ

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1419	石匙	完形		3区東58・59住	④チャート
1420	石鏃打製	完形		5区6住	④チャート
1421	石斧打製	完形		2区3坑	④細粒安山岩
1422	石斧打製	完形		注記なし	④黒色頁岩
1423	石斧打製	完形		3区20住	④黒色頁岩
1424	石斧磨製	刃部欠		4区39坑	④緑色片岩
1425	石斧磨製	⅓		2区東表土	④変玄武岩
1426	磨石	½		3区14住	④流紋岩
1427	石皿	小片		5区	④緑色片岩
1428	石斧打製	完形		5区2層	④黒色頁岩
1429	石斧打製	完形		4区24・28住	④硬質泥岩
1430	敲石	完形		4区155坑	④粗粒安山岩
1431	多孔石	完形		5区A類溝	④粗粒安山岩

㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第93集　　資料編2

三ッ寺II遺跡 ―上越新幹線関係埋蔵文化財発掘調査報告第13集―

平成2年8月25日　印刷
平成2年8月31日　発行

編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橘村大字下箱田784番地の2
電話（0279）52－2511（代表）
印　刷／朝日印刷工業株式会社